

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.1
2008
7

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— 2008-2009年度 矢橋ガバナーご挨拶
- 2 ————— 2008-2009年度の地区目標、国際ロータリーテーマ
- 3 ————— 2008-2009年度 李東建国際ロータリー会長メッセージ
- 5 ————— 酒井正人直前ガバナーご挨拶
- 6 ————— 渡邊恭久ガバナーエレクトご挨拶
- 7 ————— 遠藤正之地区研修リーダーご挨拶
- 8 ————— ガバナー補佐ご挨拶
- 11 ————— ガバナー補佐名簿
- 12 ————— ガバナー公式訪問日程
- 13 ————— 2008-2009年度地区組織図
- 14 ————— クラブ会長・幹事一覧
- 15 ————— 2008-2009年度地区予算
- 16 ————— ロータリー定期報告関係一覧
- 17 ————— ロータリー定期報告先所在地ほか一覧
- 18 ————— 2008-2009年度地区カレンダー(予定表)
- 19 ————— 例会の変更等および地区大会の予告
- 20 ————— ガバナー公式訪問に関するお願い・文庫通信
- 21 ————— 交換留学生募集・ガバナー事務所からのお願い



夢をかたちにしてみませんか？

国際ロータリー第2510地区

2008-2009年度ガバナー 矢橋 温郎

(札幌西RC)

2008-09年度 地区ガバナーを仰せ付けられました矢橋です。ロータリアン諸兄とロータリーを楽しんでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。…と、ここでは「ロータリアン諸兄」と言ってみました。辞書では諸兄を「男性が、同性の友人たち・同輩あるいは近しい先輩などに対して、敬愛の気持ちをこめていう語」とあります。女性ロータリアンも増えているなかで同性を限定しているような表現ですが、ご容赦をお願ひします。諸兄にこだわるのは、「ロータリーの友」におけるRI会長メッセージが「DEAR FELLOW ROTARIANS,」で始まるからです。日本語版では「親愛なる同僚ロータリアンの皆さん」と表記されます。「同僚」という単語からは、職場の仲間が想起されます。「同僚の皆さん」という呼びかけは、日常あまり聞かない表現だなあ、と友誌の横組みをめくるたびに思ひます。違和感、かえって印象に残ります。「同僚ロータリアン」。この部分を抜き出して改めて眺めてみても、非日常的な言葉です。その非日常性に、「同僚」意識を高める効用があります。「同僚」意識の喚起がロータリーの職業奉仕につながる、とのメッセージが込められているのでは、と推測して思ひます。

RI会長メッセージ、手続要覧などロータリーに関する文言は、英語で発信されます。的確な和訳に、関係者が腐心されています。RIテーマも和訳が必要です。今年度RI会長の李東建さんが掲げるテーマ「夢をかたち」は、「Make Dreams Real」の和訳。直訳すると「夢を現実に」でしょうか。私は英語が不得手ですが、中学生が習う英単語・英文法を駆使するとそんな感じかと思われ思ひます。これが高校生の受験英語になると、意識が求められます。李東建さんは「Make Dreams Real」から何を伝えたいのか。夢の現実化とはどういう状態を指すのか。ロータリー用語を和訳する方々は語学堪能ですので、高度な語彙を組み合わせ思ひます。その結果生まれたのが「夢をかたち」。英文和訳は、長文を訳すよりも簡素な3つの単語を訳す方が難しいこと思ひます。現実をかたちに替えるだけで雰囲気は和らぎ思ひます。

夢は、睡眠中に見るだけでは、目覚めて間もなく忘れて思ひます。はかない夢、なんて表現も思ひます。夢は、寝ている最中に見るだけのものでもありません。希望や願望も夢の類です。夢みたいなことを言ひ、と若かりし頃たしなめられた経験をお持ちの方も思ひ多いのではない思ひます。事業で成功を収めたロータリアンは、数多くいらっしや思ひます。夢みたいな、と言われた仕事を実践した成果なら、それこそ「夢をかたち」した素晴らしい事例です。睡眠中に見る夢にもいろいろ思ひます。もう一度見たい楽しい夢もあれば、怖い夢にうなされたりすることが思ひます。「夢をかたち」と言ひても、なんでもかんでも現実にすればいいものでもなく思ひます。怖い夢は朝起きて、顔を洗っているあいだに忘れて思ひたい思ひます。一方で楽しい夢は、現実になれば嬉しい思ひます。あれは正夢だったのか!とうかれるような思ひます。うなされるよりもうかれる方がいい思ひます。つまり、かたちにすべきは実現すると喜ばれる夢思ひます。その夢は、もちろん悪夢ではありません。正夢になって嬉しい夢。「夢をかたち」は、ひとこと言ひれば「正夢」。3つの英単語を2つの漢字に訳すのもそっけないからと、あえて「夢をかたち」にしたのだと勝手に解釈して思ひます。

「夢をかたちに」のロゴマークは、白地に青と赤が絡み合っています。韓国出身のRI会長にちなんで太極旗をモチーフにしたようにも窺えます。デザインは、母親が子どもをあやしている様子に映ります。ほほえましい光景が、ロゴマークからにじみます。他方、悲しい想像を働かせると、病気の子どもを介抱する母親にも見えてしまいます。最悪の場合、病死した子どもを抱き上げ、現実を直視できず悲しみに暮れる母親、にも。李東建さんは、子供の死亡率が高止まりなのを非常に心配しています。要因は、衛生的な問題であり、食糧的な問題であり、それらに連なる経済的な問題、事故、戦争、そして災害などがあります。最近でもミャンマーのサイクロン、中国・四川省の大地震で多くの命が失われました。中国では学校が倒壊し、たくさんの児童が亡くなりました。我が子を掘り出し、抱え、泣き叫ぶ母親が、テレビに映し出されました。その姿は、まさにこのロゴマークでした。私が生まれる11年前、1923年に関東大震災が発生しました。この大正の大災害時、世界中のロータリアンから日本に義捐金が寄せられました。昭和を経て平成になった今でも、地震は無くなりません。とはいえ85年前の地震が、ロータリー・クラブは何ができるかを日本に示唆してくれたのも確かです。「夢をかたちに」といっても、悪夢はかたちにしてはいけない。母親がロゴマークで抱く子どもは元気で、夢や希望を抱えていなくてははいけないのであります。



元気な子どもたちが「僕ね」「私ね」と我先に夢を聞いて欲しいとせがむ世の中。
そんな子どもたちの夢を語る姿を好々爺然として目を細めて聞ける世の中。
そんな世の中が正夢になりますよう。

国際ロータリー第2510地区
2008-2009年度
地区目標

1. 4つのテストを唱和しよう。
職業倫理をもう一度高めるよう見直そう。
2. ロータリー財団に1人100ドル、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドルを協力しよう。
財団はロータリー活動の推進力。皆で応援しよう。
3. 1クラブ1名純増を達成しよう。
現在の会員数の水準を維持し年度末までに年間1名純増を。

2008-2009年度
**国際ロータリー
テーマ**

「Make Dreams Real」
「夢をかたちに」

世界の「子供たち」に光を当てよう。



- ポリオ撲滅
- 保健と飢餓追放
- 水の保全
- 識字率向上



世界の「子供たち」に光を当てよう

2008-2009年度国際ロータリー会長 **李 東建**
(漢江IRC)

ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になります。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものであります。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は2008-09年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」して下さるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注いできました。この決定にはしるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にありま

す。この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願いし上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり6,000人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができます。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらん限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。

RI会長賞について

奉仕プロジェクト(必須)

子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを地元レベルまたは国際レベルで実施する。

会員目標(必須)

2009年3月31日までに1名の会員純増を達成する(推奨目標:10パーセントの会員純増)。

会員増強

- ✓ クラブ会員が地区会員増強セミナーに出席するよう、確認する。
- ✓ 2009年3月31日までに、会員(クラブ会長を除く)の10パーセント以上が、新会員をクラブに入会させる。
- ✓ クラブ会員1名が会長主催地域会議に出席するようにする。
- ✓ 2009年3月31日までに、少なくとも1名の財団プログラム(国際親善奨学生、研究グループ交換チームメンバー、ロータリー世界平和フェロー)、あるいはRIプログラム(元青少年交換学生、元ロータリーアクティブ会員、元インターアクティブ会員)の学友を勧誘する。
- ✓ 2009年3月31日までに、複数の会員を勧誘したクラブ会員を正式な形で表彰する。
- ✓ 会員の多様性を奨励し、均整の取れた会員基盤を推進する。クラブに現在会員のいない属性のグループから新会員を入会させる。
- ✓ 会員見込者を探し出し入会を誘うために、資格を備えた地元社会の企業や専門職務のリーダーに関する分析を行う。
- ✓ 移転するロータリアンが移転先の新しい地域社会のクラブに入会できるよう手助けをすることによって、会員をロータリーにとどめる。
- ✓ www.rotary.orgの「会員アクセスページ」を利用して、毎月、RIに新会員の報告を行う。

クラブ奉仕

- ✓ 会員の5パーセントがRI国際大会に出席するようにする。
- ✓ 地元の公共図書館が高校の図書室に、「ザ・ロータリアン」誌または「ロータリーの友」誌の購読権を寄贈する。
- ✓ 適切とみなされる場合、次期クラブ役員ならびに会員が、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区協議会、地区ロータリー財団セミナー、地区大会に出席するよう、確認する。
- ✓ ポリオ撲滅に対し卓越した奉仕を行った会員を表彰する。
- ✓ 今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に参加するよう、一人ひとりに呼びかけるようにする。プロジェクト委員会の委員を務める、あるいはクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。
- ✓ クラブのロータリアンで広範囲にわたるさまざまなクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者として表彰する。
- ✓ 少なくとも5つの機会に奉仕活動や親睦活動に参加してもらうことで、会員の家族でロータリアンではない人々(配偶者、成人した子供、親、物故会員の配偶者など)をロータリー家族に迎え入れる。
- ✓ ロータリアンとその家族のためにプロジェクトや活動を援助する、ロータリー家族委員会を任命する。
- ✓ 地元の非政府団体から講演者を招いたり、国連ミレニアム開発目標(www.un.org/millenniumgoals、英語)に関するクラブ・プログラムを実施する。
- ✓ ロータリー世界平和フェロー(現在のフェローと元の参加者)をクラブの会合に招き、スピーチをしてもらう。

職業奉仕

- ✓ 職場や職業生活での倫理と四つのテストの適用に関する集会を開く。
- ✓ すべての新クラブ会員に「四つのテスト」または「ロータリアンの職業宣言」(200-JA)を配布する。
- ✓ ロータリアンが若い人々を職場に連れて行き、職業の機会について教育するための日を設ける。
- ✓ 少なくとも1名の会員に、職場で高校生や大学生のためにインターンの場を提供してもらう。
- ✓ 職業奉仕月間(10月)中に職業奉仕活動を組織する。
- ✓ ロータリー・ボランティアとして1名のクラブ会員を登録し、ボランティア奉仕活動補助金を申請するよう奨励する。
- ✓ 1名のクラブ会員に、研究グループ交換チームメンバーを職場に受け入れてもらう。

- ✓ 地元の青少年のための就職相談や開発プロジェクトに参加し、キャリア目標を達成するために正式な学校教育がいかに重要かを強調する。

社会奉仕

- ✓ 地域社会のニーズ査定を行い、少なくともクラブ会員の半分とその配偶者が参加する新規の地元奉仕プロジェクトを立ち上げるために、その査定結果を活用する。プロジェクトの支援団体としてGoodwill Industries International(国際友好産業振興団体)*を考慮する。
- ✓ 新しいロータリー地域社会共同隊を提唱する。
- ✓ 地元地域で水プロジェクトを実施する。
- ✓ 地域社会の飢餓問題に取り組むことによって子供の死亡率を低下させるプロジェクトを実施する。
- ✓ 地域社会の児童虐待やストリートチルドレンの問題に対処するプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- ✓ 保健への認識向上キャンペーンもしくは保健問題に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- ✓ 地域社会で識字率の向上に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。国際読書協会*と協同でプロジェクトを開発することを検討する。
- ✓ 道や公園の安全性など、子供の安全確保に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- ✓ 印刷媒体、ラジオやテレビ番組、看板などを利用し、公共奉仕広告(可能であれば、ロータリー公共イメージ・キャンペーンで提供されている公共奉仕広告)を掲載(放送)することによって、一般の人々にロータリーについて広める。
- ✓ 平和あるいは紛争解決を推進するために立案されたプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- ✓ クラブ会員とロータリー財団学友とが協力して遂行できる社会奉仕プロジェクトを実施する。
- ✓ 新しいインターアクティブ・クラブまたはロータリー・クラブを提唱する。
- ✓ ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の行事参加者を後援する。
- ✓ 学校を後援する。

国際奉仕

- ✓ 世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表に登録されているプロジェクトを支援する、もしくはプロジェクトを登録する。
- ✓ 国連ミレニアム開発目標(www.un.org/millenniumgoals)を出発点として、少なくともクラブ会員の半分が参加できる新規の国際奉仕プロジェクトを立案し、着手する。
- ✓ 子供の死亡率低下を目標に、きれいな水、保健、飢餓救済、識字率向上を目的とするプロジェクトを実施するために、ロータリー財団マッチング・グラントまたは保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金を申請する。
- ✓ 「毎年あなたも100ドルを」の目標である、クラブ会員一人当たり米貨100ドル以上のロータリー財団への年次プログラム基金寄付を達成する。
- ✓ 水管理や衛生管理に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- ✓ 国際的な識字率向上プロジェクトを実施する。
- ✓ 少なくとも1つのロータリー財団教育プログラム補助金(奨学金)を得るために、地区レベルで競う資格のある候補者(国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チームメンバーもしくはリーダー、大学教員のための補助金参加者)を探し出す。
- ✓ 研究グループ交換チームを派遣する、チームメンバーを受け入れる、またはロータリー友情交換プログラムに参加する。
- ✓ 世界ネットワーク活動グループについてのクラブ・プログラムを実施する、またはクラブ会員の少なくとも5パーセントをグループの一つに入会させる。
- ✓ ポリオ・プラス、またはポリオ・プラス・パートナーにクラブから寄付を行う。
- ✓ ポリオ・プラス、および世界ポリオ撲滅推進活動におけるロータリーの役割に関するクラブ・プログラムを実施する。
- ✓ クラブ会員1名に、ロータリー財団国際親善奨学生のための受入側カウンセラーの役割を引き受けてもらう。
- ✓ 子供の飢餓問題に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- ✓ 青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェローを派遣する、または受け入れる。

*RIは、これらの団体と正式な協力関係を結んでいます。



夢をかたちにしてください

国際ロータリー第2510地区

直前ガバナー **酒井 正人**

(函館五稜郭RC)

R I会長の李東建氏は特に子どもたちに焦点を当てていただきたい。そして、私たちは死亡率を下げることに尽力しますと話し、「2008-09年度、私は皆さまに世界の子どもの“夢をかたち”に”していただくことを提唱します」と、R Iテーマが発表されました。矢橋温郎ガバナーはサンディエゴの国際協議会で“夢をかたち”の趣旨に添って研修を積み、周到的な準備をして参りました。矢橋温郎ガバナーは穏和で誠実なお人柄とローリーに対する豊富な見識をお持ちです。クラブ会長、幹事はもとより、地区においても、各種委員会委員、ロータクト委員長、国際友好委員長ほか多くの委員長、代表幹事、ガバナー補佐を歴任され、更にガバナーノミニ、ガバナーエレクトとして2年間、地区内の諸活動を冷静に分析され、ロータリー研究会にも積極的に参加して一層の知識を蓄え、地区を牽引をする最適者だと思えます。存分なご活躍を期待いたします。

地区内73クラブに対する取り組みについては公式訪問予定表が示すように極めて繊細で丁寧なプログラムが組まれております。地区代表幹事を歴任した豊かな経験と見識を生かしての計画と推測できますので、各クラブの会長・幹事さんにとっては頼りがいのあるガバナーとしてご活躍を期待できるでしょう。しかしながら、温厚な反面これだと決めたときには梃子でも動かない、信念を通す人であると思えますので、素晴らしいリーダーシップを発揮され指導してくれるものと確信しています。

矢橋温郎ガバナーには長年ロータリーに対する信念と想いが夢として蓄積されているはずで、その“夢をかたち”に”していただきたいと思えます。健康に充分留意され、出来るだけロータリーライフを楽しんで頂きたいと願っています。ご活躍を期待いたします。



エレクト就任と 矢橋ガバナーにエールを

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **渡邊 恭久**
(滝川IRC)

「滝川ロータリークラブは100名の会員を擁し、地域や財団に大きく貢献していながら、創立以来50年の歴史を数えたのに、滝川クラブはおろか、中空知（第2グループ）から、まだ1人もガバナーを送り出していない」と、地域でいつも話題になっていましたが、この滝川ロータリークラブ創立50周年を機に、候補者を出そうという機運となり、先ず滝川クラブの指名委員会で候補について協議し、地区ガバナー指名委員会に推薦をしようとしたものです。当然、滝川を代表するに相応しい会員もあり、難なく候補者が決まるだろうと、人ごとのように距離をおいていましたところ、晴天の霹靂。小生にこの話が来たものです。もとより小生は非力で、名声もモノもなくまた、健康の面でも、更には会社を含めて経済的に全期間を遂行するための要件を維持できるか、全く自信がないとご遠慮を申し上げておりましたが、半月にわたる熱心な要請から、時間だけは作れる、更にはクラブ会員の総意とバックアップに絆され、一昨年12月にお引き受けする決意をしたものです。2007年1月20日に開催された地区ガバナー指名委員会の決定の申達を持って、丸山ガバナーとPGの佐藤地区指名委員長が来滝されたおりに、謹んで受託したことです。

以来、今日まで1年半、出来る限り地区の諸会合やセミナーに出席し雰囲気慣れ学習をしまっていました。このあと、年内に東京でGETSが2回、地区内はもとより、国内のセミナー、ロータリー研究会などを消化し、半年後にはサンディエゴの国際協議会での研修へと繋がっていきます。今は、まだ見習いの立場でロータリーを味わって過ごしていますが、幸い、敬愛する矢橋ガバナーとの公私にわたる、1年半のお付き合いの中で、矢橋さんのロータリーに対する思いの深さ、地区委員会運営のご経験や学習された知識は、小生にとって見習うべきの多いことを感じていることです。またお人柄は、豊かで大きく敬愛して余りあるものがありますし、矢橋さんは、かつてアフガニスタンの社会が不安定だった頃の同国出身の米山の学友が、その事情で帰国出来ないことを知り、矢橋さんの自社で、彼を採用、現在も北海航測(株)の社員として在籍していることや、更にもう既に外国には130ヶ国以上を訪れている国際派で、典雁や美術品のコレクターとしても有名であります。正直、矢橋さんの底知れぬ深さに魅了されている小生です。

ともあれ、矢橋ガバナーにとって、これから1年、お元気で体調を維持され、第2510地区の効果的な地区の運営とロータリー活動に持ち前の指導力を発揮されますようにと念じ、エールといたします。

《経 歴》

生年月日：昭和10年4月15日

出生地：北海道滝川市

自宅住所：滝川市東町4丁目116番地9号

職業分類：塗装工事

勤務先：株式会社社ミクニ舎 取締役会長

最終学歴：北海道学芸大学札幌分校
(現北海道教育大学札幌校)
一類中学課程卒業

【ロータリー歴】

1976年：滝川ロータリークラブ入会

1992年：滝川ロータリークラブ会長

1997年：地区ロータリー財団委員

2000年：第2グループ ガバナー補佐

2000年：地区会員増強委員

2007年：ガバナーノミニ

ロータリー財団 (M.P.H.F)
米山功労者マルチプル3回

【主な経歴】

北海道職業訓練審議会（職業能力開発審議会）委員を異例の20年。滝川地方高等職業訓練校校長を20年の後、スキルアップセンター空知の会長を20年。著書に「匠の系譜」を発刊するなど、職業訓練、人材育成をライフワークとした。他に、滝川市教育委員長。滝川経営者協会会長。滝川音楽協会会長。中空知ソフトテニス連盟会長。社団法人日本塗装工業会 筆頭副会長などを経て。現在、滝川商工会議所会頭。



新年度を迎えて

国際ロータリー第2510地区

地区研修リーダー(PG) **遠藤 正之**
(札幌幌南RC)

■ ■ ■
各クラブの会長、幹事さんをはじめ全会員の皆様、いよいよ2008-2009年度第2510地区では矢橋温郎ガバナー年度を迎えました。この日のために諸準備を重ねてこられた皆様のこれからの活躍を期待し、心からお喜び申し上げます。

私は3年目の地区研修リーダーという大変な責務を負うことになりました。その役割は矢橋ガバナー、渡邊ガバナーエレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修にあたるという責務があります。

2008-2009RI会長は韓国から初めて選出された李 東建さんです。又テーマは「Make Dreams Real」「夢をかたちに」-世界の「子供たち」に光をあてようです。子供の死亡率を低下させるために、ポリオ撲滅、保健と飢餓追放、水の安全、識字率向上が強調事項となっています。

特に今年度はCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)がロータリー再生の切り札として推奨されています。矢橋ガバナーも国際協議会に参加してCLPの有効性について話しておられます。10年前DLPを私の年度で準用した頃のことを思い出します。カルロ・ラビッツァ元RI会長は「周囲が速やかに新千年紀に移行する中で、私たちは20世紀に取り残される恐れがあります。」と言って、変化を求めています。私達はクラブ再生の為に、又地区再生のためにCLPについて前向きに検討を始めなければなりません。

当地区におきましても、お手伝いが出来る体勢作りを急いでいます。どうぞ気軽にお尋ね下さい。親切に答えていただけると幸いです。(ガバナー補佐、地区クラブ奉仕委員会など)

CLPの施行に関する9箇条を紹介します。①効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。②「効果的なロータリー・クラブになるための活動計画の指標」を活用し、クラブの長期目標と調和する年次目標を設定する。③計画過程に会員を関与させクラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を随時伝える。④クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション(連絡)を保つようにする。⑤将来の指導者育成を確実にする一貫した引継ぎ計画の概念を含め、指導者の継続性を確保する。⑥クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、クラブ細則に修正を加える。⑦クラブ会員の親睦をさらに深めるような機会を提供する。⑧会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するよう計らう。⑨包括的な研修プランを立案する。以上の9箇条です。決してCLPは強制ではありません。CLPを採用して小規模なクラブから大クラブまで効果的なクラブを目指し、ロータリーを活性化して戴きたいと思っております。

最後に地区目標について

- ①4つのテストを唱和しよう。職業倫理をもう一度高めるよう見直そう。
- ②ロータリー財団に一人100ドル、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドルを協力しよう。
- ③1クラブ1名純増を達成しよう。(現在の会員数の水準を維持し年度末までに年間1名純増を。)

会長・幹事さんがリーダーシップを発揮して下さることと、矢橋ガバナー年度が、有意義で「夢をかたちに」に向けて邁進されることを祈念申し上げます。

ガバナー補佐ご挨拶



『個々のロータリアンが
光輝けるように』

ガバナー補佐(第1グループ担当)
大西 道祥
(深川RC)

本年度第1グループのガバナー補佐を務める事になりました。精一杯務めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

2008・2009年度のRI会長李東建氏のテーマは「夢をかたちに」であります。

これをもとに矢橋ガバナーは地区目標として①4つのテストを唱和しよう。②ロータリー財団に1人100ドル、ポリオ・プラスに1クラブ1000ドルを協力しよう。③1クラブ1名純増を達成しよう。の3つの目標を掲げておりますが、今日ロータリアンの減少、財源確保の問題など、ロータリーの存在自体が問われてきている時代になり、RIテーマ、地区目標の実現は大変厳しいものがありますが、微力ながら誠心誠意努力したく思っております。

地球の歴史に比べれば、ほんの瞬間に重なり合った命の集合体が今という時です。個々の命がその素晴らしい光を発する事のできるロータリーである事を願っております。

1年間皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い致します。



『一期一会の心で
奉仕させていただきます』

ガバナー補佐(第3グループ担当)
吉野 顕隆
(栗沢RC)

「夢をかたちに」のテーマの下、新年度が始まりました。矢橋ガバナーは1.職業倫理を高めるため4つのテストを唱和しよう、2.財団はロータリー活動の推進力、1人100ドル、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドルを協力しよう、3.会員1クラブ1名純増を達成しよう、の3つの地区目標を立てられました。

第3グループは美唄、江別、江別西、岩見沢、岩見沢東、栗沢、栗山、当別の8クラブ会員数320余名、広範囲な地域です。ガバナー公式訪問が効果的で地区目標達成出来るよう支えて参りたいと思っております。

又、地区大会への参加、IMの開催、グループ内親睦行事、クラブ訪問、ガバナー月信の購読等のPRをさせていただきたいと思っております。

この1年間、一期一会の心で奉仕させていただきますので、第3グループの皆さん、栗沢クラブの会員、ガバナーはじめ役員の方皆さん、家族の皆さん宜しくお願い致します。



『夢をかたちに、を
モットーに』

ガバナー補佐(第2グループ担当)
神部 洋史
(滝川RC)

この度、ガバナー補佐に任じられました滝川クラブの神部です。一年間、よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐として矢橋ガバナーのお手伝いをさせて頂くことにより、次年度滝川がホストを務めさせていただく渡邊年度の布石となり、また試金石となれば幸いと存じております。

今年度の李東建RI会長のテーマ「夢をかたちに」はロータリアンにとって、最も理解し易く、最も説得力のあるテーマだと思います。しかし①ポリオ撲滅②保健と飢餓追放③水の保全④識字率向上などの強調事項は毎年繰り返されていますので、「結果を出さねばならないRI世界戦略」が見てとれます。

矢橋ガバナーの3つの地区目標も、単一のクラブとしては過酷な試練になると思われる事情も考慮されますので、それらのご意見も上申して参りたいと存じます。



『奉仕の理想に
むかって』

ガバナー補佐(第4グループ担当)
大島 利一
(札幌西北RC)

ロータリー活動の親睦を楽しむことだけでロータリークラブに入会して16年になります。会員減少の中で順番制だと覚悟した上で幹事、会長を務めさせていただきましたが、この度は第4グループ担当ガバナー補佐を委嘱されるとは晴天の霹靂で自分の能力を知っているだけに、生真面目一本の矢橋温即ガバナーの顔と足跡を汚すのではないかと責の重さを強く感じており、1年間の任期で己の体重が無くなってしまおうのではないかと心配しております。

これまでホームクラブでの多くの奉仕活動への計画や参加をしてきたが、最近思うことは、思い付きでの奉仕でなかったか、自己満足だけで本当に感謝された活動だったのか、奉仕を受ける先が奉仕受け慣れしていないか、押し付け的な行事になっていないか、実行に移すまでに気配りを本当に行き取り組んだ奉仕だったのか、活動への反省を行うことも必要ではないかと思うことがあります。

しかし、地区の情報の枠にとらわれない各クラブ独自の奉仕活動が最も大切であり、歴史のあるロータリークラブのこれまでの奉仕活動を学習し更に一歩一歩着実に奉仕の理想に向けて勉強したいと思っております。矢橋ガバナーの方針達成にお役に立つよう、各クラブにガバナーの意向をお伝えする中継の役目に徹したいと考えております。

クラブ会員皆様のご1年間の活動とご協力を心からお願い申し上げます。



『みんなで楽しめる ロータリーを!』

ガバナー補佐(第5グループ担当)
土谷 享
(札幌幌南RC)

第5グループ担当ガバナー補佐の任命を受けた土谷享です。当第5グループは創立50年を越す歴史のあるクラブから10年未満の若いクラブまで、そして会員数130名を越す当地区内最大級のクラブから20名未満の少人数のクラブまでの8クラブで構成されています。しかしいずれのクラブも生き生きとした確かなクラブ運営・活動を展開している多彩な第5グループなのです。

当RI、2510地区でDLP(地区リーダーシップ・プラン)が採用されたのは遠藤正之ガバナー年度からでしたから、すでに8年が経過しています。ようやくCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)も検討・実行されだしたクラブも増えてきたようですので、今年度はもう少し議論が進みそうな気がいたします。その議論をみんなでかたちになるよう努めていきましょう。

「夢をかたちに」のRIテーマのもと、矢橋温郎ガバナーが掲げる地区目標の達成を目指して、みんなで考え、みんなで汗を流し、みんなで楽しめるロータリーでありたいと念じて努めて参りますので、各クラブ会長・幹事さんをはじめ会員のみなさんのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



『CLP導入で 長期計画を!』

ガバナー補佐(第7グループ担当)
羽芝 涼一
(千歳セントラルRC)

私の所属する第7グループは、古参クラブ(千歳、恵庭、北広島)に新鋭ではあるが、結成20年未満の新参クラブ(千歳セントラル、長沼、由仁)を加え、6クラブの編成である。

新参クラブが創立された時点では、会員数300名を超える偉容を誇っていたが、現在は180名を若干移動する栄枯盛衰の限りである。しかし、これは他のグループも同様な推移をしていることでしょう。そこで、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を積極的に導入し、組織や地域内の諸問題を協議し、かつ、長期計画による各クラブの活性化と親睦の輪の拡大を図ることが最も肝要であり、今後のクラブ運営のターニングポイントであると思われます。私は各クラブを適時に訪問し、重点施策を推しすすめ、グループ内の融和を図ることは勿論のこと、長沼町国際交流フェスティバル(長沼RC)の応援体制と参加促進を強くアピールし、また千歳ロータリークラブ(RAC)(千歳・恵庭RC所管)の活性化と躍進につなげるべく、千歳セントラルRCを、今年度より加え研ぎすまされた指導力の発揮で、確固たる組織の拡充を図ってまいります。

一方、IMの開催については、全員の登録を目指し、過去最大規模とすべく、早くから実行委員会を立ち上げ(平成21年3月7日(土)を予定)、かつ、従来同グループであった第12グループ(苫小牧、苫小牧北、苫小牧東、白老RC)との合同でのIM開催をすべく奔走してまいります。2つのグループによる「地球温暖化環境問題」でCO₂(二酸化炭素)排出削減に向けて、新たな決意を秘め、組織の英知を結集してゆく所存でございます。



『ロータリーの原点は親睦』

ガバナー補佐(第6グループ担当)
佐藤 泰視
(岩内RC)

2008-2009年度第6グループガバナー補佐を務めることになりました、岩内クラブの佐藤でございます。ロータリー歴も浅く、十分なトレーニングも積んでいない私ですが皆様のご指導、ご協力をいただき責任を果たしたいと思っております。

今年度RIテーマ「夢をかたちに」のもと、矢橋ガバナーは3つの地区目標を掲げています。目標達成のため、グループ内ロータリアン皆様と、好意と友情を深め、親睦を旨として地区とクラブのパイプ役として微力ながら頑張っております。

この1年間、宜しくお願い申し上げます。



『クラブ間格差・ ロータリアン格差』

ガバナー補佐(第8グループ担当)
園 修
(浦河RC)

国際ロータリーはイデオロギー、思想、主義を超越し世界のロータリアンが全員同じ目的に向かって同等の活動をするのが会員の連携を密にする大変良いところであるが近年、世界的に退会者が増え運営に支障をきたすクラブも出ています。

原因はどこにあるのだろうか?

1つには都市部の大多数が企業経営者の集団と地方の小規模企業オーナー、俸給者、公務員の集団との格差。

2つには6~70人のクラブと20人前後のクラブとの格差。

3つには会員増強のために無理して入会させ、教育の不徹底からなる自覚不足の会員間の格差などが考えられる。

これらの問題をクリアするには、その町の人口に見合う会員数、推薦入会時にRIの目標、事業、理念を正しく報告した上で、認識をもった者のみを入会させ且つ、新入会員研修も充分に行うなどが考えられます。

30年前、父がいたRCと今日を比較すると会員数減少、出席率の低下、メンバー間の交流不足、炉辺会合の皆無等々。

この度ガバナー補佐を担当するに当たり、第8グループの会長、エレクト、幹事会で上記の問題を提起して十分に相談し会員各位の助言のもとRIの原点にもどるべく活動したいと考えているところです。



『会員増強に力を』

ガバナー補佐(第9グループ担当)
若木 日出男
(登別RC)

2008～2009年度のガバナー補佐を務めることになり、非力を省みず引き受けて責任の重さを痛感しています。

李東建RI会長は強調事項として、保健、飢餓の追放、水の保全、識字率の向上を継続して掲げていますが、どれも生存の基本的な条件であり、気候の変調、環境破壊、温暖化、地域の紛争等微妙に関連している諸現象を考慮の上、一歩でもその夢に近づき形にしたいという思いの表でしょう。

ロータリークラブ誕生100年を経てから、会員の減少が続いています。この傾向に何とか歯止めをかけるのが、グループの急務と考え、会員の維持、増強に力を注ぎたいと思います。

皆様の助力、協力をいただきながら何とか1年を務めたいと願う次第です。



『親睦と奉仕が
クラブの柱』

ガバナー補佐(第11グループ担当)
光銭 裕二
(函館五稜郭RC)

本年度、第11グループのガバナー補佐を務めることになりました光銭でございます。グループのリーダーとして、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。もとより浅学非才でロータリー歴も浅い私でございますが、この一年間皆様方のご協力とご支援を賜りながら楽しく勉強させていただきたいと存じます。本年度、李東建RI会長のテーマ「夢をかたちに」と副題でございます「世界の子供たちに光を当てよう」に照らし合わせてRIの強調事項を、また矢橋ガバナーの3つの地区目標

- 1) 4つのテストを唱和しよう
- 2) ロータリー財団に1人100ドル、ポリオプラスに1クラブ1000ドルを協力しよう
- 3) 1クラブ1名純増を達成しよう

をグループ内各クラブによく理解していただき、実現できるように努力していく所存でございます。

ところで今、ロータリークラブでは会員の減少・出席率の低下などの問題が、一方目を外に転じると地球温暖化などの環境問題、児童虐待・青少年の薬物乱用など新世代に関わる問題等々それぞれの地域でさまざまな問題を抱えています。これらの問題を解決するために今こそしっかりとした基盤を持ったロータリークラブの果たす役割が求められていると確信しています。そしてそのしっかりとした基盤の元をなすものがクラブ内の親睦と奉仕する心だと思えます。どうぞこの1年間、よろしく御願ひ申し上げます。



『ロータリーで学ぼう』

ガバナー補佐(第10グループ担当)
上野 一義
(七飯RC)

昨年12月にガバナー補佐の委嘱を受け、すぐに次期ガバナー補佐会議、続いて2月には研修セミナー、3月にはPETSと盛り上がって来まして、よしがんばるぞ!と張り切っておりましたが、その後さしたる行事も無くテンションも低下しておりました。7月からはいよいよ実務です。気持ちを引き締めてがんばらなくてはなりません。とはいえ薄学浅才の身、ガバナーの意向をしっかりと担当クラブに伝え、クラブの要望などをガバナーに伝えるパイプ役に徹したいと思っております。

これからの一年間、ガバナーを始めとした地区の役員の方々、それに担当クラブの会長、幹事、会員の皆様との交流の機会が増えるものと思われま。これらの交流を通じてロータリーを語り、ロータリーを学び、ロータリーを楽しみたいと思っております。よろしく御願ひいたします。



『夢をかたちにそして
会員を1名でも増やそう』

ガバナー補佐(第12グループ担当)
板谷 剛
(苫小牧RC)

これからの一年間、皆様の好意と友情に支えていただき、誠に微力ではありますが補佐としての責務を務めさせていただきたいと思えます。

グループ内各クラブの協力を得ながら、矢橋ガバナーの掲げる地区目標の伝達、実行、そして各クラブの意見、要望を取り継いで行くつもりです。最後に活力あるロータリー活動の展開に向かって努力する所存であります。宜しく御願ひいたします。

2008~2009年度

地区ガバナー補佐名簿

(敬称略)

氏名	所属RC	職業分類	勤務先住所・電話番号・FAX・メールアドレス	自宅住所・電話番号・FAX・メールアドレス
第1グループ担当 おおにし みちよし 大西 道祥	深川	消化器科医	社会福祉法人北海道中央病院 院長 〒074-0012 深川市西町1番7号 電話(0164)22-2135	〒074-0001 深川市1条1番18号 電話(0164)23-3960 FAX(0164)22-7781
第2グループ担当 かんべ ひろし 神部 洋史	滝川	麻酔科医	医療法人シーザーズ・メディ・ケア 神部ペインクリニック・内科病院 理事長・院長 〒073-0031 滝川市栄町3丁目4-27 電話(0125)22-2021 FAX(0125)22-5686 E-mail:president@kanbe.biz	〒073-0031 滝川市栄町3丁目5-28-505 電話(0125)24-1527 FAX(0125)24-0891 E-mail:kanbe@cocoa.ocn.ne.jp
第3グループ担当 よしの けんりゅう 吉野 顕隆	栗沢	仏教	浄土真宗本願寺派賢誠寺 住職 〒068-0127 岩見沢市栗沢町本町156 電話(0126)45-2219 FAX(0126)45-3377 E-mail:kenryu@taupe.plala.or.jp	〒068-0127 岩見沢市栗沢町本町156 電話(0126)45-2219 FAX(0126)45-3377 E-mail:kenryu@taupe.plala.or.jp
第4グループ担当 おおしま としかつ 大島 利一	札幌西北	塗装工事	株大島塗装店 代表取締役社長 〒063-0823 札幌市西区笄寒3条2丁目4-18 電話(011)663-1351 FAX(011)664-8827 E-mail:kaoshima@rose.ocn.ne.jp	〒063-0823 札幌市西区笄寒3条2丁目6-20 電話(011)662-1852
第5グループ担当 つちや さとる 土谷 享	札幌幌南	学生寮	株友愛取締役会長 〒062-0033 札幌市豊平区西岡3条4丁目3-25 電話(011)852-3291 FAX(011)852-2422 E-mail:tutiya@k3.dion.ne.jp	〒062-0033 札幌市豊平区西岡3条4丁目3-25 電話(011)852-3291 FAX(011)852-2422 E-mail:tutiya@k3.dion.ne.jp
第6グループ担当 さとう ひろみ 佐藤 泰視	岩内	電気工事請負業	有佐藤電気商会 代表取締役 〒045-0022 岩内郡岩内町字清住105番地の1 電話(0135)62-0883 FAX(0135)62-3963	〒045-0022 岩内郡岩内町字清住105番地の1 電話(0135)62-0883 FAX(0135)62-3963
第7グループ担当 はしば りょういち 羽芝 涼一	千歳 セントラル	貴金属販売	株羽芝商店 代表取締役 〒066-0041 千歳市清水町2丁目28 電話(0123)23-2347 FAX(0123)27-3695	〒066-0074 千歳市緑町5丁目1-15 電話(0123)22-3211
第8グループ担当 その おさむ 園 修	浦河	洋品ファッション	株園商店 代表取締役 〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目 電話(0146)22-2145 FAX(0146)22-4998	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目 電話(0146)22-2145 FAX(0146)22-4998
第9グループ担当 わかきひでお 若木日出男	登別	玩具販売	ワカキ玩具店 店主 〒059-0464 登別市登別東町2丁目27-3 電話(0143)83-1730 FAX(0143)83-1731	〒059-0464 登別市登別東町2丁目27-3 電話(0143)83-1730 FAX(0143)83-1731
第10グループ担当 うえの かずよし 上野 一義	七飯	脳神経外科医	みなと内科脳外科医院 院長 〒041-0822 函館市亀田港町38-15 電話(0138)62-3385 FAX(0138)62-3386	〒041-1111 亀田郡七飯町本町648-19 電話(0138)65-7519 FAX(0138)65-7519 E-mail:uekamli3@msb.nev.ne.jp
第11グループ担当 こうせん ゆうじ 光銭 裕二	函館五稜郭	歯科医	光銭歯科医院 院長 〒041-0851 函館市本通2丁目31-16 電話(0138)56-4141 FAX(0138)56-4154 E-mail:vcnhkd@titan.ocn.ne.jp	〒041-0851 函館市本通2丁目31-16 電話(0138)56-4154 FAX(0138)56-4154 E-mail:dentistk@triton.ocn.ne.jp
第12グループ担当 いたや つよし 板谷 剛	苫小牧	陶磁器販売	株千鳥屋板谷商店 代表取締役社長 〒053-0023 苫小牧市錦町2-1-3 電話(0144)34-5161 FAX(0144)33-4055	〒053-0806 苫小牧市大成町2-4-3 電話(0144)73-0011

2008~2009年度

ガバナー公式訪問日程

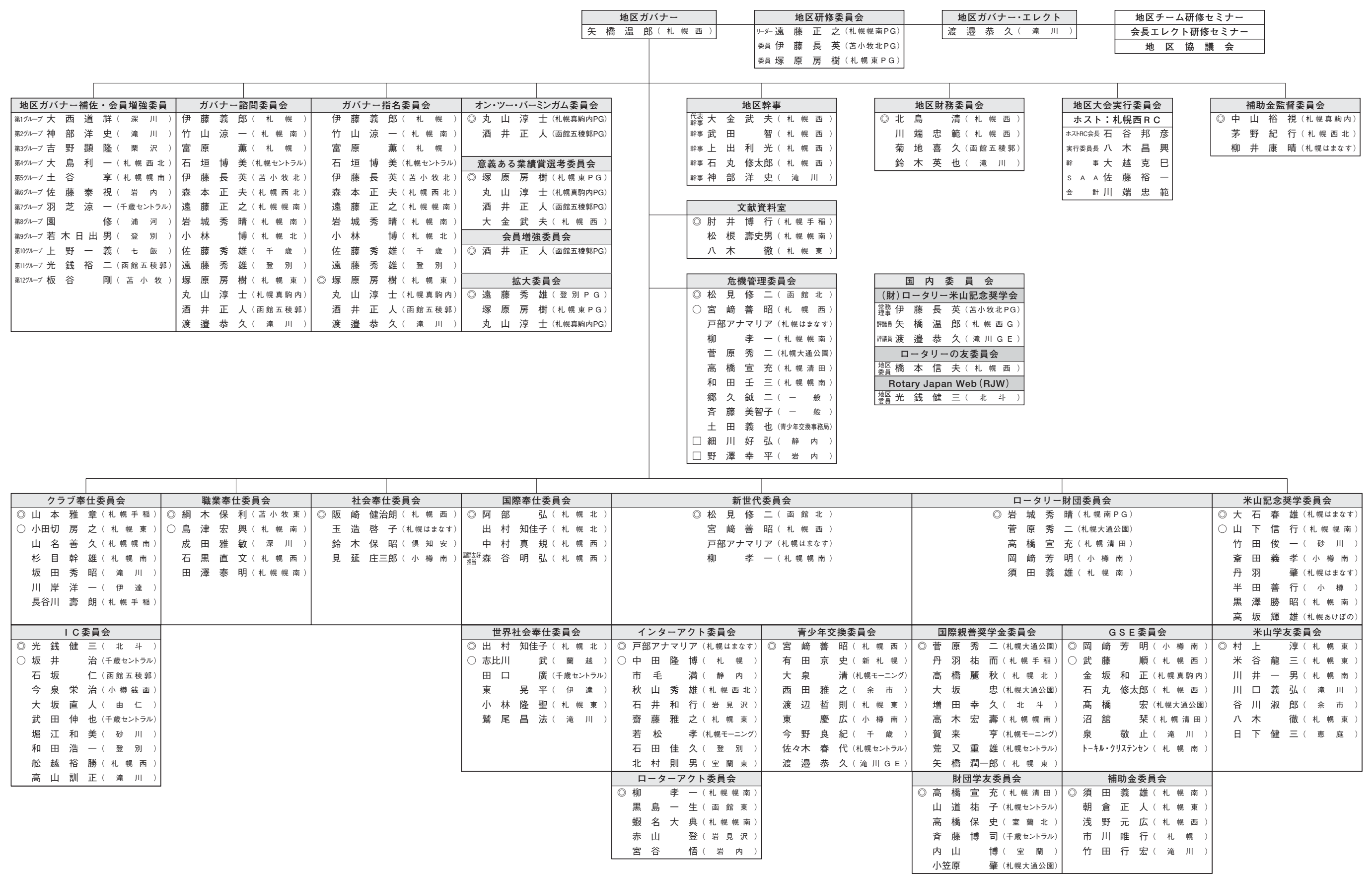
No.	月 日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事 懇 談 会	クラブ 協議会	例 会
1	7月15日	火	3	江 別 西	10:00	11:00	12:30
2	7月16日	水	3	栗 沢	10:00	11:00	12:10
3	7月17日	木	3	美 唄	10:00	11:00	12:15
4	7月22日	火	2	赤 平	10:00	11:00	12:30
5	7月23日	水	2	砂 川	10:00	11:00	12:30
6	7月24日	木	2	芦 別	10:00	11:00	12:15
7			2	滝 川	16:00	17:00	18:30
8	7月28日	月	7	長 沼	17:00	18:00	19:00
9	7月29日	火	3	栗 山	10:00	11:00	12:30
10	7月31日	木	3	江 別	10:00	11:00	12:30
11	8月1日	金	6	小 樽 南	10:00	11:00	12:30
12	8月4日	月	5	札幌大通公園	16:30	17:30	18:30
13	8月5日	火	3	岩 見 沢 東	10:00	11:00	12:30
14	8月7日	木	7	由 仁	10:00	11:00	12:15
15	8月19日	火	1	深 川	10:00	11:00	12:30
16			1	妹 背 牛			
17			1	留 萌			
18	8月20日	水	1	羽 幌	10:00	11:00	12:30
19			1	小 平			
20	8月25日	月	6	蘭 越	10:00	11:00	12:15
21	8月26日	火	6	小 樽	10:00	11:00	12:30
22	8月27日	水	6	余 市	10:00	11:00	12:30
23	8月28日	木	6	岩 内	10:00	11:00	12:30
24	9月2日	火	9	伊 達	10:00	11:00	12:30
25			9	室 蘭 北	16:00	17:00	18:00
26			9	室 蘭 東	10:00	11:00	12:30
27	9月3日	水	9	登 別	16:00	17:00	18:00
28	9月4日	木	9	室 蘭	10:00	11:00	12:30
29	9月5日	金	9	洞 爺 湖	10:00	11:00	12:30
30	9月8日	月	8	三 石	10:00	11:00	12:30
31	9月9日	火	8	浦 河	10:00	11:00	12:30
32			8	様 似	16:00	17:00	18:00
33	9月10日	水	8	静 内	10:00	11:00	12:30
34	9月11日	木	8	え り も	10:00	11:00	12:15
35	9月16日	火	7	千歳セントラル	10:00	11:00	12:30
36	9月17日	水	7	恵 庭	10:00	11:00	12:30
37	9月18日	木	6	小 樽 銭 函	10:00	11:00	12:30

No.	月 日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事 懇 談 会	クラブ 協議会	例 会
38	9月19日	金	4	札幌あけぼの	10:00	11:00	12:30
39	9月24日	水	6	倶 知 安	10:00	11:00	12:15
40	9月26日	金	12	苫 小 牧	10:00	11:00	12:30
41	9月29日	月	10	長 万 部	10:00	11:00	12:10
42			10	函 館 亀 田	16:00	17:00	18:30
43	9月30日	火	11	函 館 東	10:00	11:00	12:30
44			11	函 館 五 稜 郭	16:30	17:30	18:30
45	10月1日	水	10	森	10:00	11:00	12:00
46	10月2日	木	10	函 館	10:00	11:00	12:30
47	10月6日	月	5	札 幌 南	10:00	11:00	12:30
48	10月7日	火	3	当 別	10:00	11:00	12:30
49	10月8日	水	4	札幌モーニング	7日16:00	7日17:00	7:30
50	10月9日	木	12	苫 小 牧 東	10:00	11:00	12:30
51	10月14日	火	12	苫 小 牧 北	10:00	11:00	12:30
52	10月16日	木	3	岩 見 沢	10:00	11:00	12:30
53	10月21日	火	10	函館セントラル	16:00	17:00	18:30
54	10月28日	火	12	白 老	10:00	11:00	12:30
55	10月29日	水	5	新 札 幌	10:00	11:00	12:30
56	10月30日	木	7	千 歳	10:00	11:00	12:30
57	11月4日	火	10	七 飯	16:00	17:00	18:30
58	11月5日	水	11	函 館 北	10:00	11:00	12:30
59			11	北 斗	16:30	17:30	18:30
60	11月6日	木	11	江 差	10:00	11:00	12:30
61			11	松 前	16:00	17:00	18:00
62	11月11日	火	5	札 幌 清 田	10:00	11:00	12:30
63			5	札幌セントラル	16:00	17:00	18:30
64	11月12日	水	5	札 幌 真 駒 内	10:00	11:00	12:30
65	11月13日	木	4	札 幌 西 北	10:00	11:00	12:30
66	11月14日	金	5	札 幌 幌 南	10:00	11:00	12:30
67	11月15日	土	4	札 幌 手 稲	10:00	11:00	12:30
68	11月17日	月	4	札 幌 北	10:00	11:00	12:30
69	11月18日	火	4	札幌はまなす	10:00	11:00	12:30
70	11月25日	火	7	北 広 島	10:00	11:00	12:15
71	11月26日	水	4	札 幌	10:00	11:00	12:30
72	11月27日	木	5	札 幌 東	10:00	11:00	12:30
73	12月2日	火	4	札 幌 西	10:00	11:00	12:30

2008~2009年度

国際ロータリー第2510地区 地区組織図

◎委員長 ○副委員長 □オプザーバー



国際ロータリー第2510地区クラブ会長・幹事一覧

グループ	クラブ名	会長 幹事	クラブ事務所所在地	事務所 TEL/FAX
6	小樽銭函	櫻場 義昌 村田 昌敬	047-0261 小樽市銭函3丁目29番地 (医)ひまわり会礼樽病院内	T(0134)62-4676 F(0134)62-4676
	蘭越	本間 義明 金子 一憲	048-1301 磯谷郡蘭越町蘭越町8-2 ふれあいプラザ21内	T(0136)57-5437 F(0136)57-5576
	余市	本多 宏行 中井 克雄	046-0003 余市郡余市町黒川町3丁目141	T(0135)21-4171 F(0135)21-4172
	千歳	末広 孝博 齊藤 博徳	066-0037 千歳市北栄2丁目2-1 ANAクラウンプラザホテル千歳内	T(0123)23-4470 F(0123)23-4600
	千歳セントラル	井上 英幸 武田 伸也	066-8520 千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳1階	T(0123)26-5788 F(0123)26-5788
	恵庭	山澤 興治 斉藤 茂生	061-1434 恵庭市柏陽町1丁目20-1 キャッスルENWIA内	T(0123)32-2388 F(0123)32-6066
7	北広島	瀬川 五水 大谷 恵一	061-1134 北広島市広葉町5丁目6-8	T(011)373-8892 F(011)373-8892
	長沼	田嶋 俊美 高木 繁秀	069-1343 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル2階	T(0123)88-0801 F(0123)88-0801
	由仁	川合 俊雄 大坂 直人	069-1203 夕張郡由仁町東栄78 (株)後藤組内	T(0123)83-2634 F(0123)83-2564
	えりも	佐藤 寿博 築紫 富美雄	058-0204 幌泉郡えりも町字本町170-1 日高信用金庫えりも支店内	T(01466)2-2311 F(01466)2-2314
	三石	小島 安彦 中村 一重	059-3112 日高郡新ひだか町三石港町16 中村工務店内	T(0146)33-2619 F(0146)33-2625
	様似	小嶋 仁洋 高村 洋子	058-0014 様似郡様似町大通2丁目35-2 日高信用金庫大通支店内	T(0146)36-2341 F(0146)36-4584
8	静内	吉田 恒昌 在田 恒昌	056-0018 日高郡新ひだか町静内吉野町3丁目1-1 静内ウエリントンホテル内	T(0146)43-2481 F(0146)43-2495
	浦河	高杉 保廣 吉川 滋政	057-0013 浦河郡浦河町大通2-5-2 (有)丸十漁業内 永井崇啓様方	T(0146)22-1370 F(0146)22-1688
	伊達	笹木 博文 河原 文博	052-0021 伊達市末永町33-3 ホテルローヤル内	T(0142)23-0512 F(0142)23-0516
	室蘭	吉澤 政彦 中田 敏行	051-0022 室蘭市海岸町2-3-2 室蘭産業会館4階	T(0143)22-7545 F(0143)22-7545
	室蘭東	富田 孝夫 松永 英樹	050-0073 室蘭市宮の森町1丁目1-64 中島神社達峰殿内	T(0143)44-3338 F(0143)43-7400
	室蘭北	斉藤 永賢 徳永 賢二	050-0074 室蘭市中島町2丁目28-6 ホテル・サンルート室蘭内	T(0143)45-6569 F(0143)45-6569
9	登別	仲川 弘誓 土生 裕司	059-8691 登別市中央町5丁目6-1 登別商工会議所会館内	T(0143)85-2428 F(0143)85-2428
	洞爺湖	阿野 康春 千葉 薫	049-5721 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉54 秋田ビル2階	T(0142)75-3345 F(0142)75-2430
	函館	藤井 方雄 工藤 敏夫	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館亀田	出戸 秀光 山田 隆保	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	森七	出町 英二 石山 嘉治	049-2325 茅部郡森町字本町6-22 森商工会議所内	T(01374)2-2432 F(01374)2-2684
	七長	柴田 晴史 伊藤 一彦	041-1104 亀田郡七飯町上藤城137-6 (有)七飯石材内	T(0138)65-2123 F(0138)65-8450
10	長万部	井上 正範 村松 和弘	049-3521 山越郡長万部町本町 長万部商工会館内	T(01377)2-2270 F(01377)2-5257
	函館セントラル	鍋谷 操子 野崎 均	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	江差	佐藤 英志 隅田 秀男	043-0044 檜山郡江差町字橋本町100 レストラン津花館内	T(0139)52-5151 F(0139)52-5151
	函館五稜	阿彦 治康 蝦名 康夫	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館東	松山 垣信 池田 信一	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館北	山下 清司 成田 豊	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
11	北斗	渡邊 景子 内村 敦子	049-0111 北斗市七重浜8-4-1 函館スハビー子内	T(0138)49-4411 F(0138)49-2288
	松前	伊藤 幸司 佐々木 伸一	049-1506 松前郡松前町字唐津83-1 ハッピーイトウ内	T(0139)42-2201 F(0139)42-2747
	白老	山手 康樹 田辺 真樹	059-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-1 白老観光センター内	T(0144)85-2736 F(0144)85-2988
	苫小牧	得能 隆泰 櫻田 泰清	053-0042 苫小牧市表町1丁目1-13 経済センタービル6階	T(0144)36-2688 F(0144)33-3159
	苫小牧東	高井 昌機 長岡 英幸	053-0022 苫小牧市表町2丁目3-18 富士ビル5階	T(0144)35-3344 F(0144)33-7744
	苫小牧北	廣島 勇治 橋本 勇治	053-0022 苫小牧市表町2丁目3-18 富士ビル5階	T(0144)33-0112 F(0144)33-7744

由仁RC会長、北斗RC幹事が変更になりました。

グループ	クラブ名	会長 幹事	クラブ事務所所在地	事務所 TEL/FAX
1	深川	渋谷 賢光 轡田 光章	074-0003 深川市3条6番7号 プラザホテル板倉内	T(0164)23-2121 F(0164)23-2125
	羽幌	忠津 大橋 大橋 鉄夫	078-4108 苫前郡羽幌町南大通2丁目 (有)大栄印刷内	T(0164)62-3222 F(0164)62-3222
	妹背牛	大崎 公介 伊藤 馨三	079-0501 雨竜郡妹背牛町364番地21 妹背牛商工会館内	T(0164)32-2025 F(0164)32-2003
	小平	東海林 孝一郎 斉藤 展正	078-3301 留萌郡小平町字小平町356-2 小平町文化交流センター内	T(0164)56-9500 F(0164)56-9555
	留萌	齋藤 清藏 遠藤 光一	077-0044 留萌市錦町1丁目 留萌産業会館内	T(0164)42-2058 F(0164)42-9000
	赤平	若林 弘基 佐藤 元紀	079-1136 赤平市本町2丁目1-15 エルムパートナーズ会計事務所2階	T(0125)32-3676 F(0125)32-3988
2	芦別	沼前 治孝 板垣 勝	075-0031 芦別市南1条東1丁目11番地 芦別商工会議所内	T(0124)22-3444 F(0124)22-2345
	砂川	山田 信一 神原 二三夫	073-0152 砂川市東2条北3丁目1-1 砂川パークホテル内	T(0125)52-3989 F(0125)52-4572
	滝川	細田 光人 山口 清悦	073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ7階	T(0125)22-3344 F(0125)24-2755
	美唄	本田 俊朗 高田 正則	072-0025 美唄市西2条南2丁目2-3 美唄ホテルスエヒロ内	T(0126)62-2501 F(0126)63-4942
	江別	金田 敏雄 金田 一夫	067-0074 江別市高砂町10番地15	T(011)382-0939 F(011)382-0936
	江別西	滝沢 仁明 西川 廣	069-0812 江別市幸町10番地7	T(011)382-0081 F(011)382-0081
3	岩見沢	北川 宗三 中野 幹雄	068-0004 岩見沢市4条東1丁目6-1 ホテルサンプラザ4階	T(0126)24-0700 F(0126)24-0020
	岩見沢東	坂口 堅一 稲垣 政敏	068-0006 岩見沢市6条東1丁目1 平安ビル2階	T(0126)23-0945 F(0126)23-0945
	栗沢	金山 英昭 宮森 裕	068-0127 岩見沢市栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館内	T(0126)45-2002 F(0126)45-4655
	栗山	関吉 一郎 山崎 信治	069-1511 夕張郡栗山町中央2丁目1番地 カルチャープラザEki内	T(0123)72-1278 F(0123)72-4001
	当別	小野 廣實 近藤 勝宏	061-0223 石狩郡当別町弥生1091 (株)田西会館内	T(0133)22-0575 F(0133)22-0575
	札幌	久保田 俊昭 指川 司	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
4	札幌あけぼの	鈴木 徹雄 栢植 保昭	063-0052 札幌市西区宮の沢2条3丁目10-3	T(011)671-6589 F(011)671-6590
	札幌北	菊地 為次 岩崎 和子	001-0908 札幌市北区新琴似8条1丁目1-45 坂田ビル3階	T(011)736-6616 F(011)736-8322
	札幌モーニング	福田 十太郎 樋口 正明	060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6 ストークマンション札幌906	T(011)700-4511 F(011)700-4512
	札幌西	嶋野 貞隆 堀川 孝明	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第1道通ビル1階	T(011)242-3360 F(011)219-1308
	札幌西北	石谷 邦彦 前原 絢子	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
	札幌手稲	小川 真治 出口 修	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
5	札幌東	栗津 健太郎 中川原 憲	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)231-6724
	札幌清田	星野 恭亮 伊藤 公一	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
	札幌幌南	中島 永昭 小仲 美智子	060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1-14 コアレックスビル5階	T(011)632-5303 F(011)632-5308
	札幌真駒内	森正 志雅 佐々木 雅之	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
	札幌南	齋藤 康嗣 渋谷 良治	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
	札幌大通公園	夏井坂 信幸 藤澤 豊	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744
6	札幌セントラル	大坂 忠宏 高橋 宏	060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1 ライオンズマンション第三大通801 高橋宏様方	T(011)301-2552 F(011)301-2552
	札幌新	荒又 重雄 高橋 都	060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目5-1 ジムテル210ビル449	T(011)272-2390 F(011)272-2390
	札幌内	伊藤 豊寛 村上 寛	004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35 新札幌駅前ハイヴ202号	T(011)801-1311 F(011)801-1312
	札幌俱知安	永井 明正 廣田 正	045-0013 岩内郡岩内町字高台121-5 あすなろセンター内	T(0135)62-3355 F(0135)62-2544
	札幌小樽	斎藤 知之 石本 要	044-0033 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ホテル第一会館内	T(0136)22-1158 F(0136)23-2258
	札幌小樽南	谷内 馨一 平松 正人	047-0032 小樽市福穂1丁目4-1 小樽グランドホテル内	T(0134)25-1515 F(0134)23-4196

国際ロータリー第2510地区 地区予算

【一般地区資金】

収入の部

科	目	2007-08年度 予算	2008-09年度 予算	2008-09年度 概要
1. 前期繰越金		22,728,543	18,704,043	
2. 一般地区資金	上期@4,730	14,190,000	13,717,000	半期人数: 2008-09年度2,900人
	下期@4,730	14,663,000	13,717,000	半期人数: 2008-09年度2,900人
3. R I 助成金		2,400,000	2,400,000	
4. ガバナー月信購読料		2,555,000	2,555,000	@3,500×73RC×10部
5. 雑収入		100,000	100,000	
収入合計		56,636,543	51,193,043	

支出の部

科	目	2007-08年度 予算	2008-09年度 予算	2008-09年度 概要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費		500,000	500,000	
2. ガバナー記念品費		100,000	100,000	
Aの部小計		600,000	600,000	
B. 助成金				
1. 地区協議会		800,000	800,000	
2. 都市連合会(IM)		0	0	
3. 会長エレクト研修セミナー(PETS)		400,000	400,000	
4. 地区指導者育成セミナー		100,000	100,000	
5. 地区チーム研修セミナー		350,000	350,000	
Bの部小計		1,650,000	1,650,000	
C. 負担金				
1. ガバナー会		610,000	580,000	@200×2,900人
	(平和奨学生支援金)	46,500	43,500	@15×2,900人
	(RIJYEC維持協力金)	0	290,000	@100×2,900人・2007-08年度より発足
2. 日本ロータリー文庫		915,000	870,000	@300×2,900人
Cの部小計		1,571,500	1,783,500	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会		200,000	200,000	
2. 地区ガバナー諮問委員会		500,000	500,000	
3. 地区ガバナー補佐会議		1,000,000	1,000,000	
4. 地区委員長会議		400,000	400,000	
5. 地区研修リーダー会議		30,000	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会		100,000	100,000	
7. 地区IC委員会		150,000	150,000	
8. 地区拡大委員会		30,000	30,000	
9. 地区会員増強委員会		50,000	50,000	
10. 地区職業奉仕委員会		50,000	50,000	
11. 地区社会奉仕委員会		300,000	300,000	
12. 地区新世代委員会		100,000	100,000	
13. 地区インターアクト委員会		150,000	150,000	
14. 地区ロータリーアクト委員会		150,000	150,000	
15. 地区青少年交換委員会		400,000	400,000	
16. 地区国際奉仕委員会				地区国際奉仕委員会に担当委員をお招き
17. 地区国際友好委員会		300,000	300,000	
18. 地区ロータリー財団委員会		60,000	60,000	
19. 地区国際親善奨学金委員会		50,000	50,000	
20. 地区GSE委員会		50,000	50,000	
21. 地区財団学友委員会		50,000	50,000	
22. 地区補助金委員会		20,000	20,000	
23. 地区米山記念奨学委員会		30,000	30,000	
24. 地区米山学友委員会		30,000	30,000	
25. 地区財務委員会		20,000	20,000	
26. 地区オン・ツ・バーミンガム委員会		50,000	50,000	
27. 地区意義ある業績賞選考委員会		20,000	20,000	
28. 地区他委員会		100,000	100,000	
29. 予備費		160,000	160,000	
Dの部小計		4,550,000	4,550,000	
E. 旅費				
1. ガバナー会		150,000	150,000	2回
2. パストガバナー会		500,000	500,000	7月、東京開催
3. ロータリー研究会		1,250,000	1,250,000	11月、東京開催
4. ガバナーエレクト国際協議会		700,000	700,000	
5. 全国ガバナーエレクト会議		150,000	150,000	2回
6. 全国地区連絡会議		400,000	400,000	1C1回、青少年2回/他
7. その他会議		250,000	250,000	
Eの部小計		3,400,000	3,400,000	
F. ガバナー事務所費		14,581,000	14,581,000	
G. ガバナーエレクト事務所費		4,800,000	4,800,000	
H. ガバナー月信発行費		3,800,000	3,800,000	13回発行
I. ガバナー公式訪問費		1,200,000	1,200,000	
J. 地区文献資料室費		1,050,000	1,050,000	
K. 地区IC活動費		530,000	530,000	
L. 総予備費		200,000	200,000	
M. 臨時支出金		0	0	
支出合計		37,932,500	38,144,500	
次期繰越金		18,704,043	13,048,543	
総計		56,636,543	51,193,043	

【特別地区資金】

収入の部

科	目	2007-08年度 予算	2008-09年度 予算	2008-09年度 概要
1. 前期繰越金		4,876,107	4,877,357	
2. 一般地区資金	上期@3,820	11,460,000	11,078,000	半期人数: 2008-09年度2,900人
	下期@3,820	11,842,000	11,078,000	半期人数: 2008-09年度2,900人
3. 雑収入		0	0	
収入合計		28,178,107	27,033,357	

支出の部

科	目	2007-08年度 予算	2008-09年度 予算	2008-09年度 概要
A. 負担金				
1. 地区大会		5,337,500	5,336,000	@1,840
2. 地区協議会		3,233,000	3,230,600	@1,114
Aの部小計		8,570,500	8,566,600	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費		1,573,800	1,258,600	@434
2. 地区ロータリーアクト事業費		2,025,200	1,618,200	@558
3. 地区新世代活動事業費		366,000	327,700	@113
4. 地区青少年交換事業費		4,880,000	3,903,400	@1,346
5. 地区社会奉仕事業費		122,000	107,300	@37
6. 地区世界社会奉仕事業費		1,982,500	1,583,400	@546
7. 地区財団奨学生事業費		610,000	548,100	@189
8. 地区GSE事業費		2,515,000	849,700	@293
9. 地区財団学友事業費		158,600	139,200	@48
10. その他の事業費		393,450	353,800	@122
11. 世界平和奨学金事業費		42,700	37,700	@13
12. 予備費		61,000	2,862,300	@987
Bの部小計		14,730,250	13,589,400	
C. 規定審議会代議員費		0	0	
D. 臨時支出金		0	0	
支出合計		23,300,750	22,156,000	
次期繰越金		4,877,357	4,877,357	
総計		28,178,107	27,033,357	

ガバナー事務所費の内訳明細

科	目	2007-08年度 予算	2008-09年度 予算	2008-09年度 概要
1. 給与手当		4,305,000	4,305,000	
2. 家賃・光熱費		2,776,000	2,776,000	
3. リース料		600,000	600,000	
4. 事務用品費		240,000	240,000	
5. 印刷費		800,000	800,000	
6. 登録料など負担金		150,000	150,000	
7. 会議費		360,000	360,000	
8. 通信費		540,000	540,000	
9. 旅費交通費		840,000	840,000	
10. 渉外費		480,000	480,000	
11. 資料費		240,000	240,000	
12. 備品費		100,000	100,000	
13. 地区要覧費		700,000	700,000	
14. ガバナー補佐事務費		1,200,000	1,200,000	@100,000×12人
15. 雑費		1,000,000	1,000,000	
16. 予備費		250,000	250,000	
合計		14,581,000	14,581,000	

2008-09年度予算の説明

(収入)

- 前期繰越金は2006-07年度決算確定額より2007-08年度地区予算で予定される支出額を差引いて計上した。
- 地区資金の人头分相金は前年度と同額とし一般地区資金、1人年額9,460円、特別地区資金、1人7,640円とした。
- 地区内会員数は会員減少を踏まえて、上期・下期とも2,900人で予定した。
- 人头分相金により年度資金を賅うことが難しいので繰越金により補填をする。

(支出)

- 一般地区資金関係
 - 2008-09年度は都市連合会(IM)開催支援のための予算を計上しない。
 - 2007-08年度よりRIJYEC維持協力金の支出が開始されたため予算を計上した。
 - その他、基本的に前年度予算を踏襲した。

特別地区資金関係

- 2008-09年度はGSE受入・派遣準備年度となるため、地区GSE事業費を前年度より減額した。
- 2008-09年度は規定審議会が開催されないため予算を計上しない。
- 事業費に対して一律予算100万円以下は10%カット、予算100万円以上は20%カットしてあります。尚、カットした金額は予備費に計上し必要に応じて支出を検討したい。地区GSE事業費は2005～06年度実績と同額を計上してあります。
- その他、基本的に前年度予算を踏襲した。

2008~2009年度

ロータリー定期報告関係一覧

報告事項	報告書式・方法およびその時期	報告先
* 半期報告	書類はR I 日本事務局から直接幹事へ送付されます。 a.半期報告 b.会員リスト 2008年7月1日、2009年1月1日付で送付して下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
国際ロータリー 取扱分・送金明細書 (人頭分担金・比例人頭 分担金・資料代・WCS)	人頭分担金・資料代：2008年7月1日付で作成 (半期報告書) 2009年1月1日付で作成 比例人頭分担金・資料代：2008年10月1日付で作成 (四半期報告書) 2009年4月1日付で作成	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 新会員の報告	書式見本は「幹事要覧 (P.32) 会員情報書式」に掲載 新会員入会の都度報告します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 会員退会届け	書式見本は「幹事要覧 (P.32) 会員情報書式」に掲載 会員が退会した時に報告します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 会員の情報変更	書式見本は「幹事要覧 (P.32) 会員情報書式」に掲載 会員の記載事項が変更になった時報告します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
月次出席報告	毎月、最終例会終了後15日以内に報告して下さい。 書式は「会員数および出席報告」をコピーしてご使用下さい。	ガバナー事務所
* 役員または 例会情報の変更	クラブ会長、幹事の氏名及び住所並びに例会場・例会時刻等 の変更があった場合、直ちに報告が必要です。 グループ担当ガバナー補佐へのご連絡もお願い致します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：グループ内クラブ 写：担当ガバナー補佐
* 公式名簿記載資料	R I から次年度クラブ役員の公式名簿記載資料が、10~11 月頃送付されます。次年度クラブ役員をもれなく記載し12 月末迄に各々ご送付下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：ガバナーエレクト事務所
地区大会 選挙人指名、信任状証明書	信任状委員会が発行する信任状に記載します。 信任状は選挙人が地区大会に持参することになります。	地区大会信任状委員会
R I 国際大会 代議員の選任、委任状に よる代理者の指定、信任状	R I から信任状が送付されてきます。 会員数、代議員数、代議員の選定日を記入し会長、幹事の 署名をします。代議員に関してはクラブで代議員を定める か、慣例的に代理者をガバナー・エレクトに指定することが 多くなっています。	国際大会信任状委員会
ロータリー財団	寄付を实践した場合、「ロータリー財団への寄付・送金明細 書」に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は次頁をご覧ください。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
(財)ロータリー 米山記念奨学会	寄付を实践した場合、各クラブへ送付されている振込用紙 に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は次頁をご覧ください。	(財)ロータリー 米山記念奨学会 写：ガバナー事務所

* 印の報告書はR I ウェブサイト (www.rotary.org) の「会員アクセスページ」を通じて行えます。

2008~2009年度

ロータリー定期報告先所在地・連絡先と送金の振込口座一覧

名 称	所 在 地	TEL	FAX	送金の目的・種別	銀行振込口座
国際ロータリー	Rotary International One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201 U.S.A.	1-847-866-3000	1-847-328-8554 または 1-847-328-8281	特記事項 1.ロータリーレートはRIより連絡があります。 円に換算時の端数は送金合計金額で切り上げて処理して下さい。 2.振込手数料は各クラブでご負担をお願い致します。 3.送金期限を厳守願います。	
ロータリー財団	The Rotary Foundation One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A.	寄付増進関係 1-847-866-3222 人道的プログラム 1-847-866-3304	1-847-328-5260 1-847-866-1894		
国 際 ロ ー タ リ ー 日 本 事 務 局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	奉仕室 03-3903-3161 財団室 03-3903-3192 経理室 03-3903-3183 資料室 03-3903-3194	03-3903-3781 (各室共通)	国際ロータリーへの振込 (人頭分担金・比例人頭分担金・資料代・WCS等)	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				税制上の優遇措置扱い分 (20万円以上の教育的分野への寄付、恒久基金と年次プログラム基金の区別は問わない)	三井住友銀行 本店営業部 普通預金8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島四郎
				個人又は法人が10万円以上20万円未満の年次寄付をする場合	三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通預金1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事長 岩井敏
				クラブ寄付、ポリオ・プラス、税制上の優遇措置を受けない恒久基金、10万円未満の年次寄付など	三井住友銀行 本店営業部 普通預金0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
					三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				米ドル建の振込	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金0100707 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
第2510地区 ガバナー事務所	〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目 大通藤井ビル7F	011-207-2510	011-207-2512	一般地区資金 特別地区資金 ガバナー月信購読料	北洋銀行東屯田支店 普通預金 3543412 国際ロータリー第2510地区 財務委員長 北島 清
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階	03-3436-6651	03-3436-5956	ロータリーの友購読料	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金6326314 ロータリーの友事務所
(財)ロータリー-米山 記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階	03-3434-8681	03-3578-8281	普 通 寄 付 特 別 寄 付	三井住友銀行 京橋支店 普通預金0920373 (財)ロータリー-米山記念奨学会

地区カレンダー（予定表）

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	月	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 IM、クラブ周年行事	
2008～2009年度 地区カレンダー（予定表）		7	5(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 08-09財団奨学生壮行会 07-08青少年交換長期派遣生帰国 08-09青少年交換長期派遣生出発	7	1(火) 7(月) 11(金)～12(土)	第1回ガバナー会 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 ロータリーの友委員会 国際ロータリー会長主催会議 ロータリー財団地域セミナー		
	2	会員増強および拡大月間	8	インターアクト海外研修 08-09アメリカ・カナダ・フィンランド受入学生来日	8				
	0		29(金)～30(土)	地区野球大会(岩見沢市)					
	0	新世代のための月間	9	青少年交換学生秋期キャンプ		7(日)		滝川RC50周年記念式典 第2グループIM 第6グループIM	
	8		20(土)	米山奨学生研修旅行予定	9	13(土) 14(日)～15(月)			
	(10	地区大会記念囲碁大会 地区大会記念ゴルフ大会 地区年次大会(ロイトン札幌他) 地区指導者育成セミナー	10	26(金)			函館北RC45周年記念式典
	平	職業奉仕月間 米山月間	11		11				
	成	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 (11/5を含む1週間)	12		12				
	20	家族月間	13(土)	次期地区ガバナー補佐会議予定					
	年	ロータリー理解推進月間	1	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 ガバナー補佐会議 青少年交換短期派遣生選考試験 2009学年度米山奨学生選考試験 WCS検証ツアー(予定)	1	14(金) 19(水)～20(木) 21(金)～22(土) 29(土)		ROTARY-NO-TOMO発行 ロータリーの友委員会(予定) ロータリー財団地域セミナー 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会 ロータリー研究会(東京)	小樽RC75周年記念式典 第3グループIM
	(10(土)						
	2	世界理解月間 ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23)	2	10-11国際親善奨学生応募開始 財団学友帰国報告会予定 ガバナー補佐研修セミナー予定(砂川) サッポロ・インターナショナルナイト参加(青少年交換) 2009年3月終了米山奨学生歓送会予定 地区チーム研修セミナー/会長エレクト研修セミナー (会長エレクト研修セミナー (砂川) 地区R財団セミナー、地区米山セミナー 09-10国際親善奨学生オリエンテーション 青少年交換学生春期スキー・キャンプ(予定)	2	7(土)～8(日) 21(土) 24(火)		国際協議会(米国・サンディエゴ)	中学校スポーツ大会(札幌手稲RC) 第4・5グループ合同IM 洞爺湖RC40周年記念式典
0		14(土)							
0	識字率向上月間 世界ロータリーアクト週間 (3/13を含む1週間)	3		3	7(土) 14(土)		ロータリーの友委員会(予定)	第7・12グループ合同IM 札幌東RC50周年記念式典	
9		12(日)							
(18(土)							
平	ロータリー雑誌月間	4	地区協議会、地区会員増強セミナー(滝川) 10-11国際親善奨学生応募締切り 米山奨学生カウンスラー研修会予定	4			ROTARY-NO-TOMO発行		
成		14(日)							
21		1(金)～2(土) 17(日)							
年		5	米山学友主催家族懇親会 10-11国際親善奨学生選考試験 新田ガバナー補佐・新旧地区委員長合同引継会議(札幌) ロータリーアクト地区年次大会 インターアクト地区年次大会	5			第3700地区(韓国)地区大会	深川RC50周年記念式典 羽幌RC30周年記念式典 長沼町国際交流フェスティバル	
(17(水) 20(土)							
21	RI国際大会 ロータリー親睦活動月間	6		6	17(水) 20(土) 21(日)～24(水)		国際大会(英国・バーミンガム) 米山記念奨学会、理事会・評議員会	新札幌RC25周年記念式典 白老RC30周年記念式典	
年		9	矢橋年度地区要覧発行	9					

※地区内クラブの周年記念行事等の日程は早めにご連絡下さい。

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 岩見沢RC：7月1日より例会曜日が下記の通り変更になります。

旧例会曜日：金曜日 12：30 → 新例会曜日：木曜日 12：30

- 札幌あけぼのRC：7月1日より定例夜間例会（第1例会日）を廃止します。

また、本来の例会場「石屋製菓」の体制がまだ整っていないため、暫定的例会場と暫定的休会受付場所は下記の通りです。宜しくお願い致します。

- ◆暫定的例会場：寿司の松よし

札幌市西区西野2条9丁目 電話 011-662-6411

- ◆暫定的休会受付場所：札幌あけぼのロータリークラブ事務局

札幌市西区宮の沢2条3丁目10-3 電話 011-671-6589

国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 地区大会のご案内

● ● ●

ガバナー 矢橋 温郎

大会実行委員長 八木 昌興

ホストクラブ

札幌西RC会長 石谷 邦彦

2008～2009年度の地区大会は、以下の日程で開催いたします。今回は、「夢をかたちに」という国際ロータリーのテーマを受けて「北海道 その夢」というテーマを掲げて、北海道にゆかりのある講師を2名お招きしております。多くのロータリアンおよびご家族のご参加をお待ち申し上げます。

- 2008年 10月13日(月) — 記念囲碁大会 …………… 日本棋院北海道本部
- 10月24日(金) — 記念ゴルフ大会 …………… 札幌南カントリークラブ
- 10月25日(土) — [大会第1日] …………… ロイトン札幌
会長・幹事会
地区指導者育成セミナー
RI会長歓迎晚餐会
- 10月26日(日) — [大会第2日] …………… ロイトン札幌
本会議
記念講演会(寺島実郎氏、三浦雄一郎氏)
記念懇親会 …………… 北海道厚生年金会館
スパウス・プログラムもございます。

ご登録に関しては、各クラブに登録申込関係書類を送付いたしますので、クラブ単位で申してください。
申込期限は2008年8月15日(金)とさせていただきます。

地区大会実行委員会事務局：E-mail：rid2510dcc2008@sc-ltd.co.jp

2008-2009年度 ガバナー公式訪問に関するお願い

公式訪問は、「公式訪問日程」の通り7月15日、江別西ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の2週間前までにガバナー事務所へお送りください。

- ①クラブ定款と細則
- ②今年度(2008-2009)クラブ活動計画書と前年度(2007-2008)活動報告書
※公式訪問が7月のクラブで未決定の場合は、前年度分で代用可能です。
- ③充填・未充填職業分類表
- ④会員名簿
- ⑤クラブ会報(最近の4~5回分)
- ⑥過去5年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑦貴クラブの特徴(クラブの自慢、良い事業等)をご紹介します。

2 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席ください。

3 クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、多くの会員に出席を奨励してください。
- ②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ戴き固くご辞退致します。

4 報 告

クラブ幹事は、公式訪問の記録とスナップ写真3枚を、訪問終了後1週間以内に、ガバナー事務局に送付してください。(メールで送っていただければ、なお幸いです。)

文 庫 通 信

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたします。

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

[文庫資料をご希望の場合は]

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- 絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。一部PDFで閲覧できます。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ビデオテープは有料でダビングを致します。

[貸出し]

- 視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙)で貸出し致します。

[登録資料の紹介]

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

[ご 寄 贈]

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

7月のロータリーレート 1ドル=106円

2009～2010年度長期青少年交換留学生募集

次年度(2009年)、長期青少年交換留学生を右記の様に募集いたします。ご希望のクラブは応募されますようお願いいたします。尚、本プログラムはロータリアンの子女、孫も応募することが可能なプログラムです。留学先の希望は伺いますが、最終決定は面接後になりますのでご理解の上ご検討、ご応募ください。ホストファミリーが1クラブでは困難な場合は、マルチというグループや近隣のクラブで共同する方法もありますので是非、ご応募ください。不明な点は委員会までご質問ください。

募集内容

- 1、募集期間 2008年9月30日締め切り
- 2、派遣地区 アメリカ、オーストラリア(受入1月)
カナダ、フィンランド
- 3、派遣期間 2009年7月～8月から1年間
- 4、募集人数 15歳～19歳未満の男女、7～8名
- 5、面接、説明会 10月上旬予定(委員会より応募者に連絡。)
- 6、申し込み 〒004-0021 札幌市厚別区青葉町9丁目4-15
国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会
事務局 土田 義也
TEL 090-8706-4847 FAX 011-802-2512

ガバナー事務所からのお願い

1. クラブの出席報告について
毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。(FAX、メールもしくは電話可)
2. 変更等のご報告について
新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告ください。
新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせください。
また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。
3. クラブの移動例会等について
地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡ください。
4. 各月ごとのクラブ会報について
当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付ください。
5. ガバナー月信への原稿寄稿について
特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日です。(メールでも可)

2008-2009年度 ガバナー事務所スタッフ

地区代表幹事 大金 武夫 (札幌西RC) 担当:総括	地区幹事 武田 智 (札幌西RC) 担当:主として四大奉仕	地区幹事 上出 利光 (札幌西RC) 担当:主として新世代	地区幹事 石丸修太郎 (札幌西RC) 担当:主として財団・米山	地区幹事 神部 洋史 (滝川RC) 担当:2009-2010年度関係
地区財務委員長 北島 清 (札幌西RC) 担当:財務関係	地区財務委員 川端 忠範 (札幌西RC) 担当:会計	地区財務委員 菊地 喜久 (函館五稜郭RC) 担当:財務関係	地区財務委員 鈴木 英也 (滝川RC) 担当:2009-2010年度財務	ロータリーの友地区委員 橋本 信夫 (札幌西RC) 担当:ロータリーの友関係

編集後記 国際ロータリー第2510地区 2008年～2009年度ガバナー月信の発行にあたり、各号の表紙の構成を始めた。ここ5年間の月信も参考に拝見した。矢橋温郎ガバナーが所属する札幌西ロータリークラブには、3～4名のセミプロ写真家が席を置いている。この方々の写真を拝見する機会も今までに何度もあった。

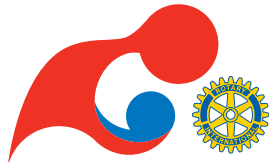
それらの中から、第2510地区内の四季折々の季節感を表した自然・風景等を、No.1～No.13号までの表紙に使用させてもらうことに決めた。これからの1年間、ガバナー月信の中身はもとより、表紙も楽しみに各号の出版をお待ち戴きたい。作品を提供してくれた仲間へ感謝する次第です。(武田)

6月8日開催の新旧地区ガバナー補佐・委員長合同引継会議後の懇親会の席上、佐藤泰視次期ガバナー補佐(第6グループ担当)より、昨日、倶知安RCの齋藤知之新会長の結婚祝賀会に出席した話が出て我がテーブル一同大いに沸き立った。

新年度を迎え、会長就任と結婚の二重のお慶びにお祝い申し上げます。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F 電話(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



Make Dreams Real

夢をかたちに

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：札幌豊平川花火大会
撮影：田宮 哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.2
2008
8

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 会員増強・拡大月間にちなんで
- 3 ————— RI会長主催会議(会員増強)に出席して
- 5 ————— 2008年 国際ロータリー年次大会の参加報告
- 6 ————— 2008-2009年度 地区委員会活動計画
- 12 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について
- 13 ————— 私の“Rotary Notes”
始祖ポール・パーシー・ハリス
- 15 ————— ガバナー補佐レポート
北海道のロータリー誕生と第7グループの存在
- 16 ————— 2008~2009年度 地区大会のご案内
- 17 ————— 2011-2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い
文庫通信
- 18 ————— ホームページでおなじみの「源流」セミナーのご案内
第15回 GSE相手地区決定
- 19 ————— 地区ホームページの紹介
- 20 ————— 地区カレンダー(8月・9月)
- 21 ————— 世界のロータリーマガジンから

ガバナーメッセージ



妻から学んだ国際交流の極意

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

8月になりました、新年度も、もう1ヶ月経過しました。会長・幹事さんにおかれましては、例会の進め方もスムーズに馴染んできたところでしょうか。新鮮な緊張感を維持しているうちに、もうすぐお盆休みです。多くのクラブで例会をひと休みさせることでしょうか。新年度がスタートして、1ヶ月経ったら全国的なお休みです。ゴールデンウィークもそうですが、ひと息つけるようにうまくできております。

「5月病」は新入社員に蔓延しがちです。ロータリー年度では、さながら「8月病」とでも申しませうか。今月が会員増強月間なのは、仲間を増やして「8月病」を忘れませう、とのRIの意向かと言われてもしようがありません。お盆明けも引き続きロータリーを楽しみませう。さて、8月に特別な思い入れのある方は、特に私の世代には多いことでしょうか。私は11歳のとき、地元の岐阜で終戦を迎えました。

この稿を借りて、妻を紹介させてください。

妻の父親は、広島で被爆し、翌日亡くなりました。優秀な医師だったそうです。岡山県内で開業していましたが、出向いた先での被爆でした。母親はその前に亡くなっているため、昭和20年8月7日から妻たち4人の兄弟姉妹は、親のいない苦勞を背負うことになりました。だからといって妻は、原爆を落とした米国を悪く言うことはありません。それどころかロータリー青少年交換事業では、米国からの受入学生のホストファミリーを積極的に引き受けてきました。驚くほどの溺愛ぶりです。妻にとって、原爆を落とし、父親を奪った敵国の娘たちです。彼女たちは「お母さん」の生い立ちを知りません。交換学生といっても高校生。話せばショックは如何ばかりかとの配慮かと思っていました。が、「ただ話すのが面倒だっただけ」と妻は片付け、それよりも翌日学校へ持って行く弁当のおかずを悩ませます。

妻は、英語が不得手です。それを有効活用し、原則、日本語で話しかけます。大きな声で、はっきりと。日本語がわからないはずの学生に、これが不思議と通じます。日常生活は、それで不自由しません。意思の疎通も図れます。同時期に来日した学生のなかで、我が家で預かった子もっともきれいな日本語を話したことも。中途半端に英語を使われるよりも、より多くの日本語を覚えることができたこと、このホストマザーの評判は頗るよかったです。私も、英語は不得意です。これまで百数十カ国・地域を訪れました。英語が喋れれば、現地の様子もより深く理解できたかもしれません。では英語が流暢ではないから危険に晒されてばかりかといえそうでもなく、うまい具合に毎回安全に帰国しております。

英語がわからないというのに、GSE委員や国際友好委員長など海外と接する役回りを仰せ付かってきました。英語が使えれば、委員会活動にもっと貢献できたかもしれません。が、こうした委員会には必ず語学堪能なロータリアンがいらっしゃるものです。英語ができないなりに、国内向けの仕事もまた委員会にはたくさんございます。微力ながらお手伝いできる場面は意外にあるものです。英語ができなければ国際奉仕や財団の活動には寄与できないという先入観は、おかげで取り払われました。ガバナーは英語が喋れなければ務まらないという思い込みも、サンディエゴの国際協議会で払拭できました。でも、やはり、世間話程度でも言葉は喋れるに越したことはありません。

先月、洞爺湖でサミットが開かれました。交通規制で動き辛かろうと、公式訪問は思い切って大幅にずらしました。そのため、例年地区大会までに終える行程も、年末近くまでずれ込みます。あわてて回るよりも、ゆっくりみなさんとお話できるよう、スケジュールを組んでみました。多くのガバナーが安堵感からか、地区大会を終えた直後に体調を崩すそうです。大会後も公式訪問が続く今年、体力維持が個人的重要課題です。74歳の年相応にケアしてはきておりますが、身体により取り組みがございましたらガバナー事務所までご一報ください。



会員増強・拡大月間にちなんで

国際ロータリー第2510地区

地区会員増強委員長 PG 酒井 正人
(函館五稜郭RC)

8月は会員増強および拡大月間です。会員増強には、新会員の勧誘、現会員の退会防止、および新クラブの結成（拡大）があります。これらの目的達成のためには、1人でも多くの適格者にクラブに人会したいという興味を与えるため、また、クラブ会員の減少を防ぐために、地元地域社会への奉仕を維持、改善し、個々の会員を効果的に参加させ、その関心を絶えず引き付けるような活動を行うべきでしょう。

それには、次の諸点が主要な要素とみなされます。

- 1) 会長の強いリーダーシップ
- 2) オリエンテーション、入会式、クラブ活動に溶け込むこと、あるいは参加することを網羅した新会員のための充実したプログラム
- 3) 会員間の適切な競争と新会員の推薦者の表彰
- 4) 会長およびガバナーが成長しているクラブと地区内の会員増加を適切に表彰し、現会員の退会防止を図ること
- 5) 妥当な会費、地域社会に対するロータリーの奉仕とロータリアンならびにその家族が受けるロータリー・クラブ会員の恩恵を強調する注目に値するようなロータリーの広報

個々のロータリー・クラブとしては適格者にロータリーに人会したいという興味を与えるため、また会員の減少を防ぐため、クラブは次のことを行わなければならない。

- 1) 潜在的な職業分類を探るために地域社会内の事業および専門職の業務を特定し、これらの職業分類に該当する資格ある候補者を探し出すこと
- 2) 奉仕活動を常に地域社会にとって意義あるものにし、プロジェクトと奉仕活動について地域社会に効果的に知らせる
- 3) 個々の会員を効果的に参加させ、その関心を絶えず引きつけるようなクラブ活動を行うこと

具体的に新会員を増やす事としては、目標を数値化することが大切です。その他に入会见込みのある人には担当者を2人つけて、ロータリーの例会に来てもらう、月1回をビジターの日として例会を見てもらう、ロータリー財団学友・ローターアクターなどは一度ロータリーの活動を体験しているのでロータリーのことを理解しているのだから中から探す、会員が知り合いをリストアップする、現在ビジネスの世界で有能な女性が多くいるので女性会員の入会を奨励することや、ロータリーの素晴らしさを理解してもらうための広報の充実が必要です。

会員維持（退会防止）は新規に客を開拓するより、既存のお得意様を維持する方が、より効率的で簡単なように、退会理由の分析をして防げるものが無いかどうかを検討して改善に努めることです。止むを得ない退会には死亡退会や事業の撤退（縮小、廃業、倒産）がありますが、退会を防ぐことが出来る可能性があるものとしては、最初の1年、2年で失望して辞めていく（価値観の相違）場合や、排他的で口では新会員といいつつ、実際に新会員を歓迎していない場合や、特定の会員による事業上の利害関係を優先させた上下関係や人間関係があり、クラブに入り込むことが出来ない場合があります。ロータリーの新世代に対して、活動しやすいような土壌をつくってあげる必要があります。彼らがもっと自由に、もっとフレキシブルにロータリー活動を容認することも必要でしょう。クラブに馴染んでもらうためにはCLPの導入により会員の情報の共有や積極的なクラブ運営に関与を促すことや、新入会員に対するオリエンテーションの充実をしてフォローアップして行くことが必要でしょう。

新しいクラブの設立（拡大）には、既存のクラブのクローンをつくるのではなく、今までと全く違ったクラブをつくるという発想を持つことが必要ではないでしょうか。例えばイブニングクラブ、モーニングクラブや「かながわ湘南RC」のような若い人や低会費で運営するクラブや女性だけのクラブ等と発想を変えてみることも必要なかも知れません。

RI会長主催会議（会員増強）に出席して

2008年7月7日ホテルグランパシフィックLE DAIBAで国際ロータリー2008-09年度RI会長主催会議（会員増強）が開催された。年度を通じて世界の12カ所で開催されるこの会議では、クラブの会員増強のためのアイデアが話し合われる。ロータリー・クラブを対象として行われる同会議は、小グループによる討論が行われ、会員の勧誘と維持の最善の方法は何か、さらには変化に対する適応について討議が行われる。対象者はクラブと地区の会員増強委員会委員長と委員、クラブ会長とクラブ役員、地区ガバナーと地区役員となっていて、当地区からは矢橋温郎ガバナー、渡邊恭久ガバナーエレクトと地区増強委員長の私の3名が出席した。李 東建RI会長は年度最初の訪問国に日本を選んだが、この度のRI会長主催会議には1200名を超えるメンバーが集まり、過去最高の参加であった。

プログラムは9：30から10：30までは李 東建RI会長とRonald L. Beaubien RI会員増強・会員維持委員長の基調スピーチがあった。



李 東建RI会長基調スピーチでは、「父親が韓国のソウルロータリークラブメンバーであった時は、韓国は貧しく、またロータリーメンバーも少なかったが、父親は私にロータリー・クラブの将来性を評価していたし、韓国の将来の成長に対しても希望をもっていた。そして現在、韓国は経済成長を果たしている、地域でのロータリーの必要性は低下していないし、世界の中で膨大な数の子供たちが死亡している現実がある。26000人の子供たちが毎日死亡している。しかも、これらは避けることのできる原因によって多くが死亡しているのです。ロータリーが提唱している水、健康、飢餓、識字の進展によって避けることが出来るのであります。私は幼児の死亡率が減少している事にロータリーが貢献していると思う。世界でロータリーが発展することで子供達を救うことが出来ます。世界の子供たちが救いの手を求めているのです。地域社会のニーズに対応し健康と希望を増強する責務がロータリーにあり、その責務を果たすことは“会員増強の考え方を変える”ことにあります。今まではクラブの2~3のメンバーしか会員増強を真剣に考えていなかったし、もっと緊急なテーマの陰に隠れていました。ロータリーのメンバーは長年の間120万人程度で停滞しているのに、世界からロータリーへの“ニーズ”が年々増大している。その世界のニーズへ我々の責務を果たすためには多くのクラブを創設し、クラブ会員を増強することが必要になります。だから、私は10%の会員増強と、一地区あたり2クラブを創設したいとお願いしています。この目標を実現させるためには、ロータリアンにふさわしいメンバーを我々が探し出すことであり、これから入会するロータリー会員は地域社会で年齢、職業が違う人たちであり、新入会員が皆様のクラブを刺激し、発展する中心メンバーになることを夢見ていただきたい。」との趣旨の話をされた。

続いてRonald L. Beaubien RI会員増強・会員維持委員長の基調スピーチでは、「ロータリーには変化が必要になっている。将来のニーズと様々な課題への対応をするための変化が必要になっている。決まりきったことをしているのは安心かも知れないが、それでは現状維持どころか衰退する。時代遅れの方法が問題を解決するのをさまたげている。むしろ、決まりきった方法で続けることで問題を拡大することになる。変化を恐れずチャレンジすることが一番大事であり、新しい考えを恐れない、恐れるのは古い考えを変えないことであります。クラブには若い会員が必要なのはみんな知っている。もはや、ランチョンロータリーには若い人たちは入会しません。社会奉仕団体は急激に成長しているのが現実です。今日の若い人たちは仕事が忙しくても意味があってやりがいのある奉仕活動をしたいという今まで以上の意欲を持っています。だからこそ奉仕団体は拡大しているのです。」との趣旨の話をした。

10:30から12:30までは6クラブによる実例発表が行われた。

第2530地区いわき桜ロータリー・クラブ（女性会員で活躍）赤間幸子会長

日本では女性だけのクラブ唯一である。20名で設立し現在19名。主な活動は、白血病の映画の上映を通じて骨髄バンクへの協力や、継続テーマを持つことを前提に、女性ならではの発想から子育てにかかわる幼児教育を継続テーマとして取り組み、定期的な勉強と、幼稚園訪問、小さな子供を持つ母親を招待してワークショップ「子育てサロン」を継続している。

第2750地区東京中央ロータリー・クラブ、勝屋俊夫元会長（直前ガバナー補佐）

37名でスタートし10年目1997年137名で100名の増強を実現している。その後、紆余曲折を経て昨年度は210名でスタートし6月末で235名となり25名の純増となった。クラブの会員増強の考え方は、創立時はクラブの生存権をかけての増強であった。それは名門ホテルでの例会で37名のメンバーでは固定された会場をホテル側で与えてくれなかったのが大きな動機であったと思う。



第2780地区厚木県央ロータリー・クラブ、北村正敏直前会長

（33名→45名）

創立して10年のできたてのクラブである。昨年14名入会し、2名が退会している。年度末の退会者はゼロ。クラブの特徴は創設時、特別代表から「新しいロータリーを作るように」と要請され、その精神は現在にもつながっている。特に「公開例会」を継続している。公開例会でも点鐘をはじめしっかり例会をしている。

第2660地区大阪ネクストロータリー・クラブ、杉浦功一直前幹事

設立して一年に満たない。財団学友が中心になっている。神奈川湘南ロータリーに次ぐクラブであるが、規定改正後結成された最初のクラブとなる。22名で学友8名、交換3名その他11名の構成。職業分類は大学教員5名、音楽家などバラエティーに富んでいる。最年長が47歳、最年少は30歳で団塊世代のジュニアが中心構成。若手が中心で職場も遠いメンバーが多い。会場はただで、食事もなしの例会にしている。

第2760地区名古屋東南ロータリー・クラブ、伊藤秀雄直前会長（67名→93名）

「会員増強はだれかがやるだろう」という意識で会員が減少しているクラブであった。会長年度の初めに「チャレンジ100」をテーマに、一年間で28名の増強をし、現在93名になった。どんなことを言っても、クラブ会長、幹事、増強委員長の名が一生懸命やらなければ実現しない。ビジターフィーを取らないで例会に友達を連れていくことを奨励している。

第2730地区指宿ロータリークラブ、野田博隆直前会長（42名→51名）

18年前の52名をピークであったが、3年前32名まで減少したことに危機感をもって会員増強を実施した結果である。クラブで実践したことは、勧誘用の独自リーフレットを作成して目当ての人に渡す。毎月一回新入会員へ情報委員会での勉強会を実施したことで退会を防止することにつなげた。増強委員長、会長が熱心でなければ増強は実現しないと痛切に感じている。また、新入会員の入会後のケアが大事とも思っている。

13:30から16:30 グループ討議とグループ討議の発表。

参加者を10人程度100のテーブルに分けて会員増強、退会防止についてのワークショップが行われ約20のテーブルの代表から熱心な報告がされた。

16:30 その後質疑応答と挨拶があった。

李 東建RI会長は「韓国のロータリアンは日本のロータリーとロータリアンを尊敬しているし、手本ともしている。会員数は世界の2番であるし、ロータリー財団への貢献も2番目である。つまり、本家である米国を除けば1番です。しかし、その座を奪おうとしている国もあります。私は日本の皆さんがこの座を守ろうとするなら、如何なる協力も惜しみません」との挨拶をして、この度のRI会長主催の会員増強に関する会議が閉会となった。

2008年 国際ロータリー年次大会の参加報告

国際ロータリー第2510地区

PG 丸山 淳士

(札幌真駒内RC)

2008年6月15日から18日、米国カリフォルニア州ロサンゼルスにおいて、開催された年次大会に、第2510地区からおよそ30名の皆さんが参加しました。

14日土曜日午後、千歳空港を出発し、同日ロサンゼルスに到着し、恒例の「北海道ナイト」が開催されました。酒井ガバナー、渡邊ノミニーも参加し、長旅の疲れも吹き飛ばす楽しい一夜からプログラムが始まりました。

翌日の「日本人朝食会」には、飲み過ぎで欠席の会員もおりましたが、ほとんどの皆様が元気に参加いたしました。その後、午後1時からと午後4時からの2つのグループに分かれてオープニングセレモニーに出席し、第1日目を無事に終了しました。

翌日からは大会に出席するグループとメキシコ観光グループに分かれてのプログラムです。

年に一度各国から参加した友人と暖かい握手を交わし、友情の広場での交流と楽しく有意義な参加となりました。メキシコ行きが決まった経緯は、日本で関東以北只一人のメキシコ名誉領事、星野恭亮（札幌東RC会員）氏の存在がきっかけです。

サミットもあり、メキシコ外務大臣とも親交の深い星野会員にお願いして、この際メキシコとの親交も深めてこよとということになった次第です。星野会員のご努力により、メキシコシティ到着時点から空港にメキシコ外務省の担当官が出迎え、スムーズに国賓待遇で空港を後にし、手配の車に乗車しそのまま市内観光、外務省での外務省関係者との懇談会も開催され、日本とメキシコの友好関係や今後の経済状況などについて話し合いがもたれました。

その後、これもメキシコ外務省のご厚意により、古いお城の跡地で現在はコロナビールのオーナーの豪邸に案内していただき、広大な敷地に昔のお城そのままの状態を再現した中での生活を拝見し、豪華な昼食をご馳走になりました。馬が30頭もいて、池有り森有りの昔の殿様の雰囲気そのままに驚きの一日でした。

翌日は、外務大臣と直接お話をする機会も与えられ、警備の厳しい外務省内をVIP待遇でご案内いただきました。またとない経験をし、14名一同感激した次第です。

来年は英国、バーミンガムです。皆様多数のご出席をお待ち申し上げます。報告とさせていただきます。



北海道ナイトでの酒井ガバナーの挨拶



北海道ナイトでの会食



開会式での日本国旗入場

2008—2009年度 | 地区委員会活動計画



地区オン・ツー・バーミンガム委員会

委員長
丸山 淳士
(札幌真駒内RC・PG)

1. 活動方針

韓国から急遽バーミンガムに開催地が変更になったこともあり、参加人員が減少することが危惧されている。そのため、例年以上に会員に対し、参加をアピールすることが求められている。あらゆる機会を通して、オン・ツー・バーミンガムをアピールするとともに、参加の方法や新しい情報を継続的に各クラブに提供していく。

2. 活動計画

- ①全クラブに「オン・ツー・バーミンガム委員会」または、「オン・ツー・バーミンガム連絡担当者」を置き、連絡を密に取っていく。
- ②今年度より地区委員会は各クラブ単位でのオン・ツー・バーミンガムを推奨し、それぞれのクラブが実情に沿った参加方法を選択していただくようお願いしていく。近隣地域のクラブ同士が連絡を取り合い、独自の方法で参加する方がより多数の参加を期待できるものと考えている。
- ③現地で「北海道ナイト」は、各クラブからの要請があれば地区委員会が設定する。
- ④常に新しい興味ある情報を、発信する。



地区文献資料室

委員長
肘井 博行
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

現在のロータリーにふさわしい文献・資料の収集、整理に努める。

2. 活動計画

- ①旧文献の内、現在でも通用する資料についてはDV化など工夫する。
- ②数多くの会員に利用して戴くよう広報を工夫する。
- ③文献活用経験につき交流する。(ガバナー月信に投稿してもらうなど)



地区クラブ奉仕委員会

委員長
山本 雅章
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

本年度の地区ガバナー方針に基づき、ロータリーの奉仕理念を追求しつつ、クラブ活性化に向けた協力体制を行っていききたい。

2. 活動計画

- ①クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について
理想的なロータリークラブを運営するときの条件は、地域特性と、会員数にも大きく関係してくるものです。今まさに、クラブの管理組織の検討が叫ばれて枠組み、すなわち委員会構成を検討する時期にさしかかっています。地区内の各クラブがCLP導入にどの程度関わっているか、またどのような考え方をお持ちであるか調査をして、地区の方針の一助としたい。
- ②会員増強と退会防止について
地区目標である純増1名を確実にするための方策を模索し、各クラブに材料の発信をしたい。
- ③ロータリー情報について
ロータリーを理解するために新しい情報は欠くべからざるものであります。クラブや会員にとっての効果的な情報入手をIC委員会と協力して発信していきたい。



地区会員増強委員会

委員長
酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

1. 活動方針

会員増強の趣旨を理解してもらうよう努め、矢橋ガバナーの地区目標を達成出来るように働きかけます。

2. 活動計画

- ①年度前に会員増強セミナーを開催(2008年6月1日)
- ②委員会委員(ガバナー補佐)に適宜グループ内の動向を報告してもらい、各クラブの会員維持につなげたい。
- ③年度末には次年度の委員会に協力して、会員増強セミナーを支援する。



地区IC委員会

委員長
光銭 健三
(北斗RC)

1. 活動方針

- ①インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。
- ②地区ホームページの充実。
- ③地区委員会とクラブの距離を近づけるお手伝いをする。
- ④クラブのIT化への協力。

2. 活動計画

- ①メールマガジンの配信
 - ・RI、ロータリーの友などからインターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ②地区ホームページの作成
 - ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とロータリーの広報に寄与する。
 - ・各地区委員会と連携しクラブにとって地区が身近なものになるようにする。
 - ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。
- ③インターネットの活用の普及促進
 - ・RIのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
 - ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。
- ③クラブホームページ作成のお手伝い
 - ・昨年度から行っているホームページ作成講習会「5分でできるホームページ作成」を今年度も継続的に行う。
- ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。
 - ・オンライン（インターネット上）、オフライン（直接会う委員会）で情報交換を行うことによりお互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。



地区職業奉仕委員会

委員長
綱木 保利
(苫小牧東RC)

1. 活動方針

- ①2008～09年度李東建RI会長のテーマは、「Make Dreams Real」（夢をかたちに）～世界の子供たちに光を当てよう～です。ロータリーの公式標語に忠実に、ロータリーの根幹とも言うべき「職業奉仕」理念に基づいて、ロータリアン

各自の職場、地域社会における奉仕の実践を通し、「夢をかたちに」の指針に応えるよう、“職業奉仕”の普及及び実践に努める。

- ②2008～09年度RI第2510地区矢橋温郎ガバナーの地区目標「3項目」に従い、各クラブで各職場でThe Four-Way Test（4つのテスト）の唱和がさらに積極的に行われるように、そして職業奉仕を通して“職業倫理をもう一度高める”ように見直すことを各クラブに奨励する。

2. 活動計画

- ①各クラブ会員に職業奉仕の意識が高まるよう、職業奉仕に関する「クラブ・フォーラム」・「勉強会」の実施を奨励する。
- ②職業奉仕に関する「クラブ卓話」での卓話者の要請に応える。
- ③職業奉仕に関する資料・文献などの配布または紹介を行い、各クラブの職業奉仕がより活発になるよう努力する。
- ④小中学校での出前授業・職場体験等、自己の職業経験を社会に還元する活動を奨励するため、何が出来るか検討しクラブの要請に応える。



地区社会奉仕委員会

委員長
阪崎 健治郎
(札幌西RC)

1. 活動方針

地区社会奉仕委員会は、基本的には前年度の活動方針を継承しながら推進していきます。またロータリーの活動の原点はロータリアン個人と各クラブの活動にあるということを再認識し、その上で従来までの活動を十分検証して継続すべき活動には誇りと自信を持って進化させ、もし一定の役割を終えたと判断した活動には勇断をもって休止し、フレッシュな精神で新しい活動を創造されることに期待を持っています。

ことに当年度は地域と緊密な関係を強化するために、近隣にある語らいの場の提供をお願いし、地域住民と地元ロータリアンとが自由な雰囲気できり合い、社会の様々な問題を共有しつつ考える「ロータリー・ファミリーハウス」の設置を検討してまいります。そこから多様な活動を発見し、開発し、社会奉仕の実をあげるように努めていきます。

2. 活動計画

- ①前年度に実施した各クラブの活動状況を入手し、それらを分類・分析してクラブ全体が当地区の社会奉仕活動の現状を把握する。
- ②同時に当年度に各クラブの活動計画を調査し、当地区の活動力を確認する。
- ③地区が定めたグループ（多少合併する場合がある）ごとに各委員長会議を開催し、活動報告と計画の進捗、並びに意見交換を7月中に行う。

④新規挑戦活動として、各クラブのある地域周辺にある集会所（例：お近くの喫茶店・カフェなど）をお借りし、自由に出入りする一般の地域住民とロータリアンとが歓談や交流の機会の可能性を検討する。これを「ロータリー・ファミリーハウス」と仮称し、提供者と交渉する。家庭問題や子どもの問題などを一緒に考えたり語り合ったりする場とする。

⑤この活動のために、地区社会奉仕委員会は理解いただくためのガイドラインと相手交渉のお願い状を作成し配布する。前半はその可能性の調査、後半は実施へと進む。年度終期には評価し、継続の可否を検討する。

⑥地区社会奉仕委員会専用のインターネットを立ち上げ、各クラブの活動の提供と閲覧を通して地区全体とのコミュニケーションをより豊かにしていく。各クラブは地区の活動情報をクラブ全員にできるだけ伝達をお願いしたい。



地区新世代委員会

委員長
松見 修二
(函館北RC)

1. 活動方針

- ①新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりに広く理解して戴くことに努める。
- ②次世代を担う新世代の人々に今、ロータリーは何をすべきかを検証します。
- ③地区内各クラブへの新世代奉仕活動の拡大を図ります。
- ④新世代活動を広報に活用して促進を図ります。

2. 活動計画

- ①地区内各クラブの新世代委員会と情報交換を密にして地区委員会との連携を深めます。
- ②9月の『新世代のための月間』で“ロータリアンは青少年の模範”標語をクラブ会報や広報資料を活用されるように奨励します。
- ③高校生を中心としたインターアクト委員会で実践される世界平和の取組みを支援します。
- ④ロータリーアクト委員会が行動する、青年男女の奉仕を通じて親睦と国際交流を支援します。
- ⑤青少年交換委員会が実践するロータリー親善使節の留学学生交換プログラムを支援します。



地区 ローターアクト委員会

委員長
柳 孝一
(札幌南RC)

1. 活動方針

会員数およびクラブ数共に、減少傾向に歯止めがかからない現状をふまえ、地区レベルでのサポート状況を抜本的に見直し、ひとつのアクトクラブを複数のロータリークラブで提唱する方針に変換を図りたい。

2. 活動計画

- ①地区内を2ゾーンに分割する
各グループのガバナー補佐に協力していただき、提唱クラブの担当委員長、並びに会長・幹事にゾーン会議への出席を求め、情報交換に努める。
- ②各アクトクラブ運営の情報公開
現状では各クラブの予算等は公開されていない為、各提唱クラブはそのサポート体制を他と比較できない。会費・助成金等、地区内に公開し、各クラブのより充実した提唱体制を図る。
- ③その他
 - ・地区大会・地区協議会の2大行事の成功
 - ・第2500地区との交流会の実施とサポート
 - ・海外研修の内容充実、全国研修会への参加
 - ・地区新世代活動との協調（キャンプ等への参加）
 - ・ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）のPR
 - ・休会中のアクトクラブの再開への働きかけ



地区 インターアクト委員会

委員長
戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

1. 活動方針

インターアクト・クラブは「奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を14才から18才迄の青少年に与える為」に結成されています。この方針を地区内ロータリアンの方々に理解していただき、インターアクト・クラブの活動により多くの協力、援助をしていただくように努力いたします。

2. 活動計画

- ①インターアクト年次大会の開催
- ②研修旅行の実施
- ③RI第2510地区地区大会への参加
- ④他地区のインターアクト・クラブとの交流を行う。
- ⑤地区インターアクト委員会（6回/年）を開催する。



地区青少年 交換委員会

委員長
宮崎 善昭
(札幌西RC)

1. 活動方針

オーストラリア、フィンランド、カナダ、アメリカと青少年交換を実施する。ロータリアンの子女も参加可能な国際プログラムであり、新世代育成に大きな効果が期待できること、ロータリークラブの国際性をアピールするプログラムとして、派遣生の増強を図っていくこととする。

2. 活動計画

- ①派遣生、受入生、各々7名（オーストラリア3名、フィンランド1名、カナダ1名、アメリカ2名）の実施
- ②歓迎会、送別会、壮行会の実施
- ③秋期キャンプ、研修旅行の実施
- ④派遣生オリエンテーションの実施
- ⑤地区大会、サッポロ・インターナショナル・ナイトへの参加
- ⑥派遣生募集広報の強化



地区世界社会奉仕 委員会

委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様と共に、意義あるWCS活動を推進する。

2. 活動計画

各クラブの皆様へWCS支援について御理解頂き、事業に御参加頂けるようサポートをする。

- ①卓話、ガバナー月信、地区行事を通してWCS事業の意義や活動状況を紹介し、各クラブの皆様へ御理解を頂く。
 - ②WCS事業の実施をサポートして行く。（パートナー発掘、書類作成、検証等）
 - ③マッチング・グラント等の申請手続きのサポートをする。
- ※これらを通じ、参加希望クラブが意義あるWCS事業を実施できるよう全面的に支援する。



地区国際奉仕委員会

委員長
阿部 弘
(札幌北RC)

1. 活動方針

国際奉仕委員会は、世界社会奉仕委員会（WCS）と国際友好に関連する担当者が、それぞれの目的に合わせて効果的に活動ができるように最大限の支援を行う。すなわち、発展途上国を対象とした人道的支援プログラムが効果的に遂行できるように努める。また、外国地区との親善交流プログラムも支援する。

2. 活動計画

- ①世界社会奉仕委員会（WCS）の活動を全面的に支援する。
 - 1) WCSでは、すでにタイ国のチェンマイ・ノンカイなどの15事業を完了し検証した。現在は、スリランカ、モンゴル、インドネシアなどの事業を実施中である。これらの事業を無事に終了させることを第一の目標とする。
 - 2) アジア諸国からの援助要請を検討し、地区内の支援クラブを支援し、コーディネーターとしての役割を果たす。
 - 3) 過去のプログラムについて追跡調査をし、可能な限り検証活動を続けるよう努める。
- ②国際友好に関連しては、韓国の姉妹地区（RI第3700地区）と多面的な情報交換を行い、親善友好プログラムを企画し、両地区ロータリアンの積極的な交流を図る。
- ③国際奉仕活動のPRと各クラブにおける国際関連事業計画や活動報告のために作られた「国際奉仕委員会だより」を継続して発行してゆく。



地区米山記念 奨学委員会

委員長
大石 春雄
(札幌はまなすRC)

1. 活動方針

米山記念奨学会の指命は、「将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事」と掲げられております。これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

2. 活動計画

- ①委員会活動がスムーズに行えるよう、年3回程度委員会を開催する。
- ②10月の米山月間には、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄付のお願いをする。
- ③地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
- ④地区内奨学生、及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。



地区米山学友委員会

委員長
村上 淳
(札幌東RC)

1. 活動方針

2008—09年度のRIのテーマ「夢をかたちに」に則り、米山学友委員長として学友会員に対し「夢をかたちに」の実践の機会を増やし、「四つのテスト」に沿った活動を行うことを目指します。

2. 活動計画

以下の8項目の実践を目指して活動する予定です。

- ①米山学友会の名簿の最新版の更新
- ②学友会員との更なる交流と精神的支援の構築
- ③米山月間における各RCへの卓話
- ④米山記念奨学委員会主催の各種行事への積極的参加
- ⑤長沼RC主催の国際フェスティバルへの参加
- ⑥米山学友会総会及び懇親会の開催
- ⑦米山学友会の家族懇親会の開催
- ⑧機関紙「米山だより・北海道」の発行



地区ロータリー財団委員会

委員長
岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

1. 活動方針

ロータリー財団の基本方針に準じて、地区としてその方針を推進する。

財団への認識を高め、ロータリアンとしての財団に理解と協力を推進する。

2. 活動計画

- ①財団へ個人100ドル、クラブ1,000ドルを寄付する。
- ②恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力と推進
- ③各種プログラムに積極的に推進する。
- ④各小委員会のプログラムを推進する。
- ⑤2008—09年度の年次寄付目標は地区の会員数によって目標を定める。



地区国際親善奨学金委員会

委員長
菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために、1947年初めての奨学生を送り出しました。留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、留学先のロータリークラブの会合に出席して、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割を果たすことが期待されていますし、留学終了後には地元のホストクラブを中心に、留学中の体験について、報告することも期待されています。

当委員会では、こうした奨学生の選考とともに、留学に出发するまでのサポートもおこないますので、各クラブからの積極的な奨学生の応募を期待しますとともに、留学生を送り出すスポンサークラブになりました場合には、なお特段のご協力をお願いする次第です。

2. 活動計画

2008年

- | | | |
|-----|------------|--------------------------|
| 7月 | 09—10年度奨学生 | 第1回オリエンテーション
(第1回委員会) |
| | 08—09年度奨学生 | 壮行会 |
| 8月 | 09—10年度奨学生 | 英文申請書作成指導 |
| 9月 | 09—10年度奨学生 | 第2回オリエンテーション
(第2回委員会) |
| | 09—10年度奨学生 | 英文申請書、ロータリー財団本部へ送付 |
| 12月 | 10—11年度奨学生 | 募集要項・ポスター作成 |

2009年

- | | |
|------|--|
| 1月 | 第3回委員会(募集要項・ポスター確認・発送) |
| 3月 | 09—10年度奨学生 第3回(最終)オリエンテーション(1泊の合宿予定)(第4回委員会) |
| 5月 | 10—11年度奨学生候補者最終面接選考(第5回委員会) |
| 6~7月 | 09—10年度奨学生 壮行会 |

2010—2011年度奨学生選考日程案

- | | |
|----------------------|-------------|
| 募集要項・ポスター印刷完成・送付作業 | ……2009年1月 |
| 募集開始 | ……2009年2月中旬 |
| 各クラブへの申請書提出締め切り | ……4月上旬 |
| 各クラブから奨学金委員会への提出締め切り | ……4月末 |
| 書類審査 | ……5月上旬 |
| 面接選考 | ……5月下旬 |
| 合格発表 | ……6月上旬 |



地区GSE委員会

委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

1. 活動方針

- ①地区内ロータリー会員に対して、研究グループ交換（GSE）事業の理解促進活動を積極的に行う。
- ②GSE事業の受け入れ、派遣に関わる費用の見直しを図り、GSE事業がより充実し、より多くの会員の参画を得て実施出来る環境作りを行う。
- ③地区ロータリー財団事業を地区内のロータリー会員に理解していただけるよう、地区ロータリー財団事業に対して協力をしていく。
- ④更に魅力あるGSEプログラムに改良するために、プログラム内容の充実を図る。

2. 活動計画

- ①今期は次年度（渡邊エレクト年度）に派遣受入が行われるGSEプログラムの対象国に派遣する派遣チームリーダーの選考をします。
- ②GSE派遣メンバーを広く募集し、派遣メンバー選考試験を行い派遣メンバーを決定します。
- ③毎月1回委員会を開催し、受け入れ派遣の準備に併せGSEプログラムの勉強と見直しを行います。
- ④第2510地区内のクラブに対してGSEプログラムの理解を深めて頂く為、積極的に卓話にのぞめる体制を整えます。
- ⑤下半期には次年度（2009年～2010年度）のGSE受け入れの為に受け入れグループとホスト・ロータリークラブを決定します。
- ⑥下半期に各受け入れグループのコーディネーターを選出して頂き、コーディネーター会を開催します。
- ⑦次年度のGSEプログラムは我が地区では初めての試みですが、重点的GSEプログラム（例えば福祉関係を中心とした方々のGSE等）を考えてみる予定です。



地区財団学友委員会

委員長
高橋 宣充
(札幌清田RC)

1. 活動方針

- ①財団学友会の活動に対する助言と支援。
- ②財団学友のロータリー活動への参加促進。
- ③財団学友に対する、会員の理解を深める。
- ④財団学友会活動の広報。

2. 活動計画

- ①委員会の開催
※年間4回の委員会を開催。活動計画の検討と確認を行う。
- ②第5回帰国財団学友報告会及び総会・懇親会の開催
開催日時：2009年2月前後予定
※留学した元財団親善奨学生と元GSE団員の派遣体験報告と帰国後の活動について発表する会
- ③財団学友のクラブ例会での卓話機会の増進
※クラブの要望に応じて学友が卓話を行い、ロータリー財団事業への理解を深め会員との交流を図る。
- ④財団学友会への賛助金拠出を推進
※財団学友の存在意義を高め、学友を活用すると共に賛助会員としてご支援を御願います。学友会の活動費として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めている。
- ⑤学友会活動状況を報告している『学友ニュースレター』発行の支援
※学友会設立以来、毎年発行している『学友ニュースレター』は、学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに貢献しています。
- ⑥財団学友の地区大会への参加促進。
※スポンサークラブからの積極的な働きかけをお願いする事が重要です。多くの学友が参加して、国際ロータリーへの理解を深めてほしいものです。
- ⑦学友会名簿の改訂版の編集をおこなう。
- ⑧新規奨学生・GSEへの支援を実施する。



地区補助金委員会

委員長
須田 義雄
(札幌南RC)

1. 活動方針

地区の奉仕活動や人道的活動を支援する補助金申請に対し、その活動内容について審査する。委員会はロータリー財団の寄付の状況、クラブ自主申告の実績表を参考にし、ガバナー、財団委員長、担当委員に加え、監督委員の方も同席して厳正、且つ公平にその審査を行い決定する。

2. 活動計画

- ①申請書は財団セミナーの時、各クラブに配布してあるが、再度希望する場合は申し出れば、ガバナー事務所より発送する。
- ②申請書の受付は7月31日から翌年3月31日までである。
- ③ロータリー財団申請手続早見用引きを参照するが、成功の要件としてウェブサイト（www.rotary.org）を参照する事を勧める。
- ④地区の活動の条件を含め、クラブ独自の奉仕活動、地域に密着しての内容についてできるだけ相談に応じ助言する。
- ⑤この事は地元の報道機関を通じて、プロジェクト広報活動を積極的に取り上げてもらうように働きかける。
- ⑥補助金審査委員会を年に2回以上開催する。



地区補助金 監督委員会

委員長
中山 裕視
(札幌真駒内RC)

1. 活動方針

補助金の使用は、ロータリアンの浄財寄付である大切なロータリー財団の資金です。

地区の奉仕活動や人道的活動を支援するために使用することが目的ですので、補助金の支出が効果的であり且つ適切に実行されることを監督いたします。

2. 活動計画

- ①申請書審査の公平について
 - ②地域社会が参加し、プロジェクトが地域社会のものか
 - ③会員の3分の2以上から賛同を得られるプロジェクトであるか
 - ④クラブの負担、補助金の割合、会員の奉仕度合はどうか
 - ⑤ただの寄付又は賞品の提供などではないか
 - ⑥ロータリアン及びその関係者に補助金が使われていないか
- 以上の事を基本にして補助金使用、支出の監督をいたします。



ロータリーの友

地区委員
橋本 信夫
(札幌西RC)

1. 活動方針

『友』の「地区たより」に第2510地区の特色を盛り込んだ記事を掲載する。また各クラブ・会員に本誌が親しまれ、ロータリー活動の情報源として広く利用されるようPRする。

2. 活動計画

「ロータリーの友」には国内34地区、約10万人のロータリアンを対象に、国際ロータリーの動向や基本方針、国内各地区・各クラブの活動状況、会員の交流、地区大会の様子や卓話の要旨など、様々なロータリー情報が掲載されています。また本誌は国際ロータリーの日本地域雑誌として指定され、全会員が購読するよう求められています。

- ①本誌2009年4月号の「地区たより」(1月20日締切り)に、矢橋ガバナートと連携しながら第2510地区の特色を盛り込んだ記事を掲載する。
- ②本誌を、時代に即した問題意識や奉仕の志を深め、国際情勢や国内外のロータリアンとの連帯を促すための情報源として、各クラブ・各会員に広く読まれるようPRする。
- ③月信、第2510地区ホームページや「友」インターネット速報などを活用し、ロータリー理解推進月間(1月)、世界理解月間(2月)、ロータリー雑誌月間(4月)、地区大会(10月)などに合わせて本誌のPRキャンペーンを行う。

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別RC：8月14日(木) 休会(定款第5条第1節により)
8月21日(木) 納涼例会 19:00～
場所：原始林観光(江別市文京台31-4)
8月28日(木) 移動例会 12:30～
場所：野幌セレモニーホールはやし(江別市野幌町54-5)
- 江別西RC：8月5日(火)の例会を下記に変更。
8月2日(土) 移動例会「友愛夏祭り」 場所：静苑ホーム
- 岩見沢東RC：8月12日(火) 休会(7月24日の3クラブ合同納涼夜間例会の振替休会)
8月15日(金)～17日(日) お盆休み(ご用件のある方は、会長・幹事までお願い致します)
- 室蘭RC：8月14日(木) 休会(定款第5条第1節により)
8月28日(木)の例会を8月30日(土)に変更
- 室蘭東RC：8月13日(水) お盆休会
- 室蘭北RC：8月12日(火) 休会(定款第5条第1節により)
8月19日(火) 夜間例会「クラブフォーラム」 18:30～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧東RC：8月7日(木) 移動夜間例会「盛夏・納涼ビール祭」 18:00～
場所：ホテルサンルート苫小牧



始祖ポール・パーシー・ハリス

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《ごあいさつ》

北国も爽やかな夏を迎え、いよいよロータリーの新年度が始まりました。矢橋ガバナーはもちろんのこと、会長・幹事さんは、くれぐれも健康に気をつけられ、それぞれの任務を無事に果たされることを心からご期待申し上げます。

思えば1988-89年度、当地区のガバナーとして札幌東ロータリークラブより大橋康次会員が選ばれました。その時の月信に札幌西ロータリークラブの当時、情報資料室長をされていた岡崎純会員が、毎月、情報資料室ニュース、副題『ロータリアンナイト』というタイトルで麗筆をふるわれました。そのおかげで大橋ガバナーの月信は地区の内外から高い評価を得ることができました。

それから20年、札幌西ロータリークラブから矢橋温郎ガバナーが誕生されました。そして私に毎号、月信のコラムにロータリーに関する小文をとの執筆依頼がありました。非才な自分にはとうてい無理と躊躇しました。しかし20年前に岡崎会員にお世話になったご恩返しをしなければと思い返しお引き受けしました。とはいえ、岡崎会員の該博なロータリー知識に加え和漢の素養にも長じ、滋味掬すべき文章は到底私の及ばぬところ。まして“An old dog will learn no (new) tricks.” 老犬は(新しい)芸を覚えなれないといひます。そこで私なりに自分の学んだロータリーの雑学(Notes)を訥々と書き連ねてまいりたいと思います。

《“THE GOLDEN STRAND” 黄金の絆》

過去を知ることにより、未来への道は開けます。ロータリーの歴史を学ぶには国際大会議事録をはじめ、RI理事会議事録、各種会合の数々の報告書、関連資料があります。しかしこれらはあくまでロータリーの運営と組織管理規定の公式記録であり、主役である肝心のロータリアン不在で、個人の感動、情緒、情熱、哲学が埋没されています。その中で唯一とっていいくらい、日常のロータリーの人間像を生き生きと描いた本があります。

シカゴRCの60年の歴史を物語風に書き綴った、“THE GOLDEN STRAND”という本で、著者は(Oren Arnold)というシカゴRCの会員です。われわれが知っているロータリーの物語はすべてこの本に由来するといってもよいでしょう。幸い当地区の文献史料室に原書があったので10数年前、たどたどしい翻訳を試みました。ロータリーの先達が海図のない海をどのように航海してきたのかを、“THE GOLDEN STRAND”を中心にご紹介をしてみたいと思います。月信第1号では全世界のロータリアンが敬愛してやまないロータリーの始祖、ポール・ハリスに敬意を表して彼の素顔を垣間見てみましょう。

《同僚の見たポール・ハリス》

我々は、謹厳で知的な雰囲気の一見近寄りがない、ポール・ハリス像を写真で目にしています。しかし実像は少し違うようです。“THE GOLDEN STRAND”の著者(Oren Arnold)は始祖ハリスと同じシカゴRCの仲間でした。彼によると『創立

者は敬われるべきである。しかし現実の問題として、彼は白馬にまたがっていたわけでもなく、きらきら光る剣を振りかざしていたわけでもなかった。どちらかといえば、彼はごく普通の若者で、生計を立てるのに一生懸命で、外の仕事を引き受けるのには忙しすぎた。人々は彼を人は良いが、ぐずぐずするきらいがあるといいます。しかし彼はアイデアがひらめいたと同時に活動を起こしました。

彼は数人の仲間を呼び、自分の計画を伝えました。熱意は人の心を打つものです。みな一致賛同しました。そしてこのようにシカゴで、世界中で毎週一回の「黄金の時」すなわちロータリーの昼食会がやってくるのです。その若者がポール・ハリスでした（Oren Arnold）はハリスの印象とシカゴRC誕生の発端をこのように記しています。当時のロータリアンにとって、毎週一回のロータリーの例会はまさに「黄金の時」だったのです。

《会長職を辞任したハリス》 初期シカゴRCのお家騒動

1909年1月まで2年2期、クラブ会長を務める予定のハリスは、1908年10月に3カ月を残して突然辞任しました。ハリスの人柄が今まで我々が教えられていたものと大きく相違するのか、または我々が想像できないくらいクラブ運営に落胆、失望してしまったのでしょうか。シカゴRCの一触即発の危機は、ハリスの熱心なクラブ拡大に起因しています。ハリスはシェルドンとともにサンフランシスコRCを立ち上げようとしていました。

クラブの例会では、拡大状況の報告ばかりで、いつもゲストスピーカーの話す時間が残り少なくなっていました。「もうそんなナンセンスなことはやめろ。我々は西海岸で起こっていることに興味はないんだ。少数の会員がクラブを牛耳ろうとしている」出席率も低下し、乱闘騒ぎまで起きました。会員のDr.ネフの「後少していよいよこのクラブもお陀仏だなあ」というセリフが残っています。例会の雰囲気が悪くなるとハリスが会長を辞任した後、急遽、会長に選ばれたハリー・ラグルスが、壇上に駆け上がり、“Come on, fellows, let's sing!”（諸君、歌おうよ!）と大声で叫びました。クラブの危機を乗り切るため会員の気持ちを一つに結集させ、盛り上げる非常手段でした。これがロータリーソングの嚆矢となりました。

ポールの会長辞任でシカゴRCは解散するかもしれないと言う危機に見舞われたのに、それが無事にすんだのはシカゴRCの大勢の会員の努力があったのでしょうが、ハリー・ラグルスのソングがなかったら、今日のロータリーもどうなっていたかわからないのです。

《上杉謙信とポール・ハリス》

英雄色を好むといいますが、二人の共通点は、浮いた噂（女性の影）が全くないということです。ハリスの伝記をいくら読んで、異性に関しては幼年時代、櫛遊びをした時に会った女の子ジョージ・リリーについてのごく短い記述があるだけです。彼の関心事は女性よりロータリー運動にあったのでしょうか。

ジーン夫人と結婚したのは42歳の時でした。ハイキングで彼が有刺鉄線をくぐった時、上着にかぎ裂きができました。それを見たスコットランド出身の可愛い娘さんが、「私、直してあげるわ」。彼は彼女を見てインスピレーションに打たれました。ハリスの生涯唯一のロマンスでした。二人は子宝に恵まれず、国際ロータリーが二人の養子でした。ハリスはシカゴのマウントホープ墓地に、ジーン夫人は故郷スコットランドのエジンバラの墓地に眠っています。彼女の墓石には“SHE HATH DONE WHAT SHE COULD”と刻まれています。「ここに眠れるもの、まこと悔ゆることなき人生をおくれり」これは千種会の小堀憲介氏による名訳です。海を隔てていても二人は強いきずなで結ばれています。

ハリス夫人が「私たち二人は信仰によって永遠の力の中に結ばれている」と語ったように――。心よりお二人のご冥福を祈ります。



北海道のロータリー誕生と 第7グループの存在

地区ガバナー補佐（第7グループ担当）

羽芝 涼一
(千歳セントラルRC)

ロータリークラブ誕生と地域情勢

シカゴに誕生したロータリー（1905年）は、東京ロータリークラブ（1920年）を創立させ、1932年に日本で8番目のクラブとして札幌ロータリークラブを生み、やがて札幌クラブは小樽ロータリークラブをスタートに千歳ロータリークラブを1968年に誕生させた。以後別表の如く、恵庭ロータリークラブをスタートに10年毎に2クラブを誕生させていることに注目される。

北海道の道央圏に位置する第7グループは今や国際化時代、情報化時代という背景、特に新千歳空港という特殊な地域ということから国際社会との交流やインターネットに代表される国際情報化社会への変化に着目され、G8、J8の国際レベル会議や地球環境を守る為のアイドリッグ運動の展開で話題を集めている。

特に千歳・恵庭・北広島市は人口の増加に加え、ハイテク産業の進出にも著しいものがあり、交通アクセス、スポーツ競技場や会議を網羅したコンベンション施設、宿泊施設等、札幌に次ぐ諸施設が充実しており、今後将来に亘り利便性の優れたエリアでもあります。

7グループの特色と今後

設立時より会員数の減少したクラブもありますが、自由でのびのびと明るい親愛の雰囲気溢れるクラブの面々です。特に設立以来の継承事業である長沼クラブが提唱する長沼国際交流フェスティバルは、外国人との文化習慣の相互理解、世界と親善、世界平和を目指すロータリー活動の一端を強く地区内に発信しています。又、小粒な存在であるが由仁クラブは、街そのものが農業を基幹として古くから拓けた風光明媚な所でメンバーが街に土着しており、クラブ活動に敬老の日のイベントやスポーツ交流に熱い行動力が見られます。

私達の第7グループの活動は、交換留学生や世界社会奉仕（WCS）活動は勿論の事、とりわけ千歳セントラルロータリークラブの米山詣出があります。クラブ誕生以来、米山氏をよく理解する事によりロータリーを学ぼうと毎年生誕地を訪問。疲弊した記念館の新築寄付を始めた事です。それは当時のロータリアンの心に火を付け、東京ロータリークラブ中心として新館をオープンさせました。ご披露時には本家の東京ロータリークラブより前に千歳セントラルロータリークラブが表彰を受け、その証左に新館脇に千歳セントラルロータリークラブの植樹（梅吉翁の好んだ梅）がさん然と輝いているのを訪問される人々は見ることが出来ます。ここに東京～札幌～第7グループの偉大さがあると思います。

このような素晴らしい環境下にある第7グループとして夢をかたちに（国際ロータリー会長テーマ）を実現すべく、DLPやCLPの重要性についてグループ内クラブを数多くの機会に訪問し、理解と推進に努め、グループ内の結束は勿論のこと、お互いに問題点を共有しながら、出会い・友情・奉仕を確認していく所存でございます。

面白!比較

クラブ名	創立	創立時会員数	2008.3会員数
札幌	1932年	30名	124名
千歳	1968年	22名	64名
恵庭	1970年	23名	43名
北広島	1980年	22名	17名
千歳セントラル	1990年	38名	35名
長沼	1991年	28名	19名
由仁	1992年	25名	10名

国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 地区大会のご案内

ガバナー 矢橋 温郎 大会実行委員長 八木 昌興

去る、7月15日に地区内のすべてのクラブに地区大会のご案内を送付いたしました。

ご案内のように、本会議における記念講演会では、経済事情に通じました寺島実郎氏とチョモランマ登頂に成功された三浦雄一郎氏に、我々ロータリアンに対して「夢をかたちに」するお話をさせていただく予定です。このような機会を是非ご利用頂き、ロータリアンとしての夢を皆で追うことが出来れば素晴らしいことだと考えております。

またRI会長歓迎晩餐会においては、美しい音楽を楽しんでいただく趣向を凝らしておりますので、ご期待頂ければ幸甚と存じます。

日程は以下の通りですが、記念行事も含めてお誘い併せの上多くの皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

2008年

10月13日(月) 記念囲碁大会日本棋院北海道本部

10月24日(金) 記念ゴルフ大会札幌南カントリークラブ

10月25日(土) 大会第1日ロイトン札幌

- 会長・幹事会
- 地区指導者育成セミナー
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

10月26日(日) 大会第2日ロイトン札幌

- 本会議
- 記念講演会(寺島実郎氏、三浦雄一郎氏)
- 記念懇親会北海道厚生年金会館
- スパウス・プログラムもございます。

大会への登録は、各クラブに配布してあります、登録用紙もしくは、地区ホームページに掲載の様式を利用して、大会事務局までお寄せ下さい。

なお、各クラブの幹事様にお願いをしてあります各クラブの紹介は、各クラブの登録者の掲載と併載する予定としております。地区大会の記録誌に掲載予定でありますので、お忘れの無いように、大会事務局までお寄せ下さい。

ご質問などは地区大会事務局までお寄せ下さい。

登録締め切り日

8月15日

各クラブで登録者を取りまとめ、期日までに下記地区大会事務局までお寄せ下さい。

地区大会事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
国際ロータリー第2510地区 地区大会実行委員会事務局
TEL 080-3296-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510dcc2008@sc-ltd.co.jp

2011—2012年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 矢橋 温郎
地区ガバナー指名委員長 塚原 房樹

2011—2012年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定



〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より（1）

- ◎ [韓国のロータリー現況]
李 東均 2008 8p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)
- ◎ [韓国新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日]
禹 鳳濟 2008 4p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)
- ◎ [ロータリーを支えよう—真心込めて]
四津谷仁朔 2008 6p
(絆(IV))
- ◎ [世界はあなたを待っている]
関場慶博 2007 5p
(第12回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書)
- ◎ [価値ある増強]
井上瑛夫 2008 5p
(D.2680 月信)
- ◎ [ロータリーの神髄]
深川純一 2008 12p
(D.2680 月信)
- ◎ [職業宣言]
鈴木政昭 2008 2p
(D.2800 月信)
- ◎ [2680地区2007～2008年度
ロータリー財団セミナー]
松下 衛 2007 10p
(D.2680 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

8月のロータリーレート 1ドル=〇〇〇円

ホームページでおなじみの 「源流」セミナーのご案内

会長・幹事さん、盛夏の候、お元気でご活躍のことと思います。

さて、全国のロータリアンが日頃ウェブサイト上でお世話になっている、田中毅PG主宰の第11回「ロータリー源流セミナー」が初めて札幌市で開催されることになりました。このセミナーは、ロータリーの奉仕理念を体系的に学ぶ場です。つきましては、この機会にクラブ会長・幹事ならびに地区委員の方々、またセミナーに興味のあるクラブ会員の方々に是非ご参加して戴きたくご案内申し上げます。

日時：2008年9月20日（土） 受付12:00～12:45

場所：札幌センチュリー・ロイヤルホテル「中央区北5条西5丁目」

参加費：セミナー ¥3,000 懇親会 ¥8,000

（参加費は当日受付にて申し受けます）

■セミナースケジュール・テーマ（予定）・講師

13:00～13:40	世界社会奉仕	小船井修一（PG）
13:40～14:20	世界社会奉仕	笹谷 芳夫（G補佐）
14:20～15:00	世界親睦活動	塚原 房樹（PG）
15:00～15:40	3-H	石井 良昌（PG）
15:40～16:20	国際奉仕一般	田中 毅（PG）
16:20～17:00	質疑応答	
17:30～19:30	懇親会（ホテル内移動）	着席にて

■源流セミナー主宰者：田中 毅PG

世話人代表	関堂 勝幸（札幌東RC）
世話人	小山 秀昭（札幌手稲RC）
世話人	高橋 敏雄（札幌手稲RC）
世話人	久末 満三（札幌手稲RC）
世話人	阿部 光行（札幌手稲RC）
世話人	松田 秀夫（札幌手稲RC）
世話人	柳 孝一（札幌幌南RC）

お問合せ先：関堂勝幸（札幌東RC：携帯番号090-8900-1113） ※申込締切：9月10日まで

第15回 GSE相手地区決定

このほど、当地区と国際ロータリー第2360地区（スウェーデン）との間において正式に2009～2010年度においてGSEを行うことが決まりました。受入・派遣の時期は2010年4～5月になる見込みです。

今回の派遣は、当地区では初めての試みとして、重点的GSEを企画しています。派遣メンバーの職業分野として社会福祉・医療介護の分野に携わる者に限定し、その効果を高めること狙いとしております。派遣チームリーダーや派遣メンバーの募集、また受入に際しては各クラブの皆様のお世話になりますが何卒宜しく願い申し上げます。追って詳細を連絡させていただきます。

（地区GSE委員会 委員長 岡崎 芳明）

広報補助金のご案内

国際ロータリー理事会は、2008-09ロータリー年度に広報補助金試験的プロジェクトを継続することを承認しました。広報補助金は地区単位で支給され、一般の人々にロータリーを推進し、ロータリーの公共イメージを改善しようと努める地区を支援するために使用されるものです。2008-09年度、申請できる補助金は**最高10,000米ドル**までとなっており、資金が尽きるまで続けられます。

当地区では、広報プロジェクトに関心があるクラブからの広報プロジェクトを募集いたしますので、9月15日までにガバナー事務所宛にご提出下さい。

広報補助金申請に関する詳しい資料は、ガバナー事務所にございますのでご請求下さい。

地区ホームページの紹介

(<http://www.ri2510.gr.jp>)

地区IC委員会

委員長 光銭 健三

ri2510dico@kosen.or.jp (北斗RC)



IC委員会 (Internet Communication) の仕事の一つにインターネットのホームページを利用して会員の皆様に役立つ情報を提供することがあります。今回はRI第2510地区のホームページをご紹介します。正式にはウェブサイト (Web Site) やウェブページ (Web Page) という呼び方が正しいのですが日本ではホームページという呼び方が浸透してしまいましたので、ここではホームページと言うことにします。

地区のホームページは1998年から2001年まではそれぞれの年度でガバナー事務所が試行的に開設していました。2002年には正式にドメイン (ri2510.gr.jp) を取得して、文献資料室が担当し、2003年からIC委員会が担当して現在のようなホームページを運営しています。昨年度1年間のアクセス数は13302回でした。

地区のホームページには次の内容を掲載しています。

1. ガバナーのページ：毎月ガバナーからのメッセージ、地区目標、ガバナー月信、ガバナー公式訪問日程表、ガバナープロフィールなど
2. 第2510地区のページ：地区内クラブの詳細、地区組織一覧、地区カレンダー
3. 地区大会のページ：地区大会の日程、プログラムなど
4. ウェブオフィス：各種資料のダウンロード
5. リンク集：国際ロータリー、地区委員会、地区内クラブのホームページやその他役に立つホームページへのリンク
6. メールマガジン、メーリングリストの登録ページ
7. アーカイブス：過去の地区ホームページ (完全保存)
8. その他：例会变更のお知らせやガバナー訪問、委員会、地区行事等の写真と記事

これらのコンテンツの中で他の地区のホームページにはない特徴は、過去のホームページの内容をガバナー月信を含めて完全に保存していることです。これにより情報提供が目的だったホームページが有用な資料として保存され、過去の地区大会をはじめ、地区行事の内容やガバナーのメッセージ等々、地区の歴史とも言える多くの情報を知ることが出来ます。

メールマガジンは登録会員やクラブに対してインターネットのメールを利用して情報を送るものでIC委員会の委員が分担して送信しています。現在登録している会員数は約500名で、内容は地区ホームページの更新情報、RIやロータリーの友からの最新情報やロータリーレポートの情報などで、速報性を重視しています。

メーリングリストはメールを利用して情報や意見を交換するもので、現在175名の会員が登録しています。

IC委員会ではホームページやメールマガジンを通して、さらに多くの役立つ情報を提供させていただきますので、多くの皆様に活用していただきたいと思います。

また、各クラブのIT化やホームページ開設についてなどのご相談もお待ちしております。

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強・拡大月間	
1 (金)	公式訪問（小樽南RC）
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	公式訪問（札幌大通公園RC）
5 (火)	公式訪問（岩見沢東RC）
6 (水)	第1回WCS委員会（札幌）
7 (木)	公式訪問（由仁RC）
8 (金)	
9 (土)	
10 (日)	
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	
17 (日)	
18 (月)	
19 (火)	公式訪問（深川RC、妹背牛RC）
20 (水)	公式訪問（留萌RC、羽幌RC、小平RC）
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	
24 (日)	
25 (月)	公式訪問（蘭越RC）
26 (火)	公式訪問（小樽RC）
27 (水)	公式訪問（余市RC）
28 (木)	公式訪問（岩内RC） （財）ロータリー米山記念奨学会評議員会（東京）
29 (金)	地区野球大会（岩見沢）
30 (土)	
30 (土)	
31 (日)	

9月 新世代のための月間	
1 (月)	
2 (火)	公式訪問（伊達RC、室蘭北RC）
3 (水)	公式訪問（室蘭東RC、登別RC）
4 (木)	公式訪問（室蘭RC）
5 (金)	公式訪問（洞爺湖RC）
6 (土)	
7 (日)	滝川RC創立50周年記念式典（滝川） 第2グループIM（滝川）
8 (月)	公式訪問（三石RC）
9 (火)	公式訪問（浦河RC、様似RC）
10 (水)	公式訪問（静内RC）
11 (木)	公式訪問（えりもRC）
12 (金)	
13 (土)	第6グループIM（岩内）
14 (日)	第1回ガバナー・エレクト研修セミナー（東京）
15 (月)	
15 (月)	敬老の日
16 (火)	公式訪問（千歳セントラルRC）
17 (水)	公式訪問（恵庭RC）
18 (木)	公式訪問（小樽銭函RC）
19 (金)	公式訪問（札幌あけぼのRC）
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	秋分の日
24 (水)	公式訪問（倶知安RC）
25 (木)	
26 (金)	函館北RC創立45周年記念式典（函館） 公式訪問（苫小牧RC）
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	公式訪問（長万部RC、函館亀田RC）
30 (火)	公式訪問（函館東RC、函館五稜郭RC）

世界のロータリーマガジンから

世界各地で、多くのロータリーマガジンが出されている。世界共通の話題が提供されていることも多いが、想像だにしない記事にも遭遇する。今まさに北海道で開催されているサミットの議題の1つに国際社会の格差問題がある。第2510地区、所属クラブとしても長年、発展途上国援助に真剣に取り組んでいるが、その取り組みにヒントになるような記事を見つけることができた。オーストラリアを中心に発行されているROTARY DOWN UNDERの7月号に掲載されたOperation Uplift! (持ち上げ大作戦) という記事である。本作戦の中心人物のロータリアン、Liz Bakerさんと頭上からぶら下がるカラフルな「B?」の写真に目を奪われて記事を読んでしまった。観光地としても名高いフィジーやトンガ、バヌアツに対する援助である。あちらのご婦人は、大変立派な体格をされていることは、ご承知のことと思う。しかもニュース等の映像でもご婦人が一家の働き手として頑張っておられる様子を見ることが多い。極めて湿度の高い現地の風土の下では当然、汗がしたたり落ちる。皆さんも、炎天下の労働の際、下顎から、首をつたって、汗が胸の中央に流れることを経験したことがおありと思う。これが、かの国の気候風土で、繰り返しおこると、胸壁に湿疹、そして真菌(カビ)の感染、最後は膿瘍の形成と進行し、深刻な健康問題となってしまうらしい。ここで、「ブラジャー ; B」の登場である。「B」をつけることによって、空気の流通がよくなり感染症を予防することが可能になるらしい。たかが「B」であるが、収入の殆どを食料にあてなくてはならない現地の事情からすると、約10時間の労働賃金に相当する新品の「B」の購入は難しいようである。この作戦は大成功でこれまで約3万8千個の「B」(新品および中古品 ; 中古品の場合、輸入税がかからない)をフィジーに送ったとの事である。この作戦を契機に、材木工場などで、裸足で作業する人のためにブーツを送る「裸足よりましキャンペーン ; better than bare-foot campaign」が開始されている。かの国のニーズを理解し、単なるほどこしではない手の差しのべかたである。現地の事情に疎い小生にはびっくり仰天の記事であった。(地区幹事)

編集後記

ガバナーの重要な任務の一つにガバナー月信を各月、地区内各クラブの会長・幹事宛に発行しなければならぬとRI細則に定められている。主たる内容は会員数、出席報告を始め、地区諸行事、特筆すべき地区内クラブの功績等である。

ガバナーによると、日本国内の全てのガバナーが月信をお互いに交換し合い、他地区の情報伝達を得て刺激し合うのだと言う。事実、7月に入ってから各地区より続々と送られて来る。しかしその体裁、内容は千差万別。誠にシンプルな単なる書簡程度のものであれば、一方では贅を尽くした雑誌まがいのものもある。それぞれ各地区のガバナーの人柄、地区の活発さ、地区幹事の意欲等色々透けて見える。おそろかに出来ぬと感じた。

本号より2本の連載物を提供します。1本は地区きっての知性、塚原パストガバナーです。昨今ロータリーの思想の伝承に危機を感じている識者が大勢います。それらの人々に背を押され、塚原パストガバナーに是非にと筆を執って戴く事を快諾して戴きました。ロータリーキャリアが長い人にも、新しく入会された人にも多少のロータリーの知識さえあれば十分に理解して戴けるようお願い致しました。本号より12回に分け連載していきます。

最初の原稿を拝読させて頂きましたが、長丁場の序章ともいうべきものです。是非ご期待下さい。

別のシリーズは12名の地区ガバナー補佐の面々による担当しているグループの紹介記事です。編集人としては、ありきたり

のものでなく何かユニークなお話又は特筆すべき活動等を提供戴くよう注文しております。各々個性溢れるガバナー補佐です。これ又ご期待を。

トップを切って論客の羽芝ガバナー補佐(千歳セントラルRC)にお願いしたところ、ご快諾戴き、早速め切前に原稿を頂戴した。心より感謝します。

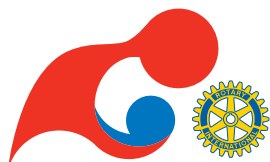
それを読んで参考の為、幾つかの資料を調べて驚いた事がある。1996年にポール・ハリス没後50年を記念して故西條パストガバナーを長として地区史が編纂された。そのクラブ編、千歳セントラルRCの紹介ページの「クラブの沿革と特徴」というタイトルの中に次の様な一文が載っている。

引用すると『昨年は千歳セントラルRCも創立5周年記念式典を挙げるにあたり、次世に誇れる魅力あるロータリーとして新しい価値ある創造に向けて「夢」を「かたち」に変えて素晴らしい奉仕をすることを10年、30年に向かって努力するクラブです(原文のまま)』との一節があった。

文中、「夢」「かたち」と出て来る事に驚愕したのだ。文意のニュアンスに多少の違いはあれ、その10年後の今年のRI会長のテーマそのものではないか。この一文を執筆された方がどなたかは存じ上げないが、多分当時、千歳セントラルRCの要職にあった方でありましょう。その先見性に改めて驚くと同時に大いなる敬意を表するものである。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)

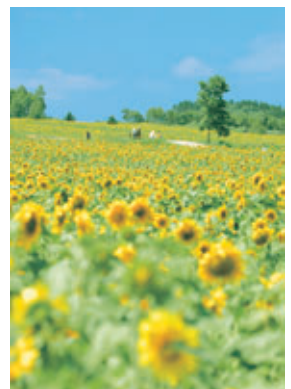


Make Dreams Real

夢をかたちに

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：北竜町のひまわり
撮影：田宮 哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.3
2008
9

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 遠藤正之の過去ガバナー追悼
- 4 ————— ロータリアンは青少年の模範 新世代のための月間に寄せて
- 5 ————— 新世代月間に向けて「ローターアクトクラブの現況」
- 7 ————— 地区青少年交換委員会活動について
- 8 ————— 地区インターアクト委員会活動状況
- 9 ————— 特別寄稿 北海道洞爺湖サミットを終えて
- 10 ————— ロータリー財団セミナーに学んで
- 12 ————— 地区社会奉仕委員会ブロック意見交換会から見えるもの
- 14 ————— 第99回ロータリー世界大会報告
- 16 ————— 私の“Rotary Notes”
ロータリーの故郷
- 18 ————— ガバナー補佐レポート
「元気、活気、ヤル気」溢れる第3グループ紹介
- 19 ————— ガバナー公式訪問
- 22 ————— 新入会員のご紹介
- 24 ————— 地区委員会報告
- 25 ————— 2011-2012年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い
文庫通信
- 26 ————— 2009~2010年度 青少年交換留学生募集のお知らせ
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について
- 27 ————— 出席率・会員数
- 28 ————— 地区カレンダー(9月・10月)
- 29 ————— 地区大会記念行事へのお誘い

ガバナーメッセージ

新世代のための月間は、^た誰がための月間国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

9月は「新世代のための月間」です。インターアクト（IAC）やローターアクト（RAC）を提唱しているクラブは例会に招きましょう。交換学生のホストクラブは、ホストファミリー以外の会員との交流を企画しましょう。新世代との活動にあまり力を入れていないクラブもこれを機に、地域の若者と共にできる奉仕活動を検討してみましょう。というのが、今月のRI月間の主旨です。

9月だから新世代にこだわると困ることもあります。例えば、IACは高校生です。9月は新学期。平日・昼間が例会のクラブでは、来てもらうにも昼休みでは足りません。ゆっくりロータリアンとお話したり、せっかくだから卓話でもとなれば、授業を休んでもらうことになりかねません。そのため夏休みに例会へ来てもらうケースも聞きます。授業優先の高校生には、その方が現実的です。新世代“のための”月間でありながら、ロータリアンも学校も気を使う、誰がための月間なのでしょう。

斯様にRI月間は、ロータリーの様々な活動を1年間に並べて俯瞰してみましょう、というくらいに理解いただけると有効かと思われれます。若者にまつわる取り組みを考えるだけでも、9月が新世代のための月間に指定された甲斐があります。こうしてみると、新世代のための月間と謳いながら、実はロータリアン（が新世代について考える機会）のための月間、ともいえましょうか。

私はロータリー・クラブに入会して4年目に、地区RA委員長を仰せ付けられました。当時、札幌西RCではRACを提唱しており、若手ロータリアンとしてアクター達と雪まつりで雪像を作ったり、フィリピンから来日したアクターと藻岩山に登ったりと汗を流したものでした。当時は28歳まで、その後30歳までに会員資格が延長されましたが、RACは減る一方です。全国的な傾向かと思いきや、クラブ数・会員数共に増加している地区もあるそうです。昨年、当時の地区RA代表を囲んでかつてのアクターが集まりました。往時の青年も立派な中年。その成長を見られる楽しみも、RACにはあります。地区ライラ委員も仰せ付かったことがあります。当地区で初めてRYLAを開くのに勝手がわからず、他地区に教わりに出向いたものです。

近年、当地区RYLAは復活・休止を繰り返しています。RYLAに真剣に取り組むには、地区ライラ委員会とホストクラブの連携が欠かせません。大勢の若者を宿泊させ、プログラムを練るため、準備・運営には人手も必要です。去年やったから今年も、という程度の認識では難しく、毎年度のガバナーに熟慮が求められます。自ら立ち上げに携わったRYLAを自らのガバナー年度に開催できないのは残念ですが、今年度も休止としました。次年度以降、RYLA復活にかけるガバナーの登場を期待します。

IAC、RAC、RYLAとくれば、青少年交換にも触れなければなりません。息子を豪州に派遣してもらった縁で、我が家でも受入学生をホストしてきました。家族ぐるみでお付き合いできたこともあれば、帰国後うんともすんとも言ってこない子もいます。いずれにせよ楽しい思い出です。

斡旋業者が増え、今や高校生の留学は珍しくなくなりました。ロータリーだからこそ安全に1年間暮らせる、という安心感を除けば、ロータリーでなければという時代ではなくなりました。4Dルールに対する現代の高校生の違和感。携帯やネットなどによる、交換学生間の誤った認識の伝達。各クラブ担当委員長さんは、ホストファミリー探しに奔走。志を持った高校生の派遣・受入を手伝っているのか、高校生に行っていただく・来ていただくという姿勢に変化していないか。ゆっくり考えてみたいものです。

今月の巻頭言、やや辛口仕様です。それだけ私の新世代に対する思いは強いわけです。辛口ついでに「ロータリーの友」。毎年9月号の特集が代わり映えしないことにお気付きの御仁は、かなり読み込んでらっしゃる。

遠藤正之パストガバナー 逝く

2008年7月24日逝去（享年77歳）



パストガバナー
遠藤 正之 氏

- 生年月日（出身地）1931年9月21日（室蘭市）
- 所属クラブ 札幌幌南ロータリークラブ
- 勤務先・役職 医療法人社団 遠藤小児科医院 理事長
- 主な略歴
 - 1958年3月 札幌医科大学卒業
 - 1963年3月 札幌医科大学大学院修了
 - 1963年4月 札幌医科大学小児科入局
 - 1969年9月 遠藤小児科医院開院
- 主なロータリー歴
 - 1971年4月16日 札幌幌南ロータリークラブ入会
 - 1983～84年度 " 幹事
 - 1994～95年度 " 会長
 - 1997～98年度 第5分区代理
 - 2000～01年度 国際ロータリー 第2510地区ガバナー
- メジャードナー
ポール・ハリス・ソサエティ
ベネファクター
米山功労者マルチプル（4回）

追悼記

遠藤パストガバナーを悼んで

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

遠藤先生は2000-01年度のパストガバナーを務められました。RIテーマが「意識を喚起しー進んで行動を」だった年度です。それから私まで8人のガバナーがあとに続いております。

石垣ガバナー年度には分区代理を務められました。私は当時、地区幹事（現在の代表幹事）として大変お世話になりました。

遠藤先生がガバナーになられてからの活躍ぶりを回想したいのですが、ちょうど私がロータリーを離れていたときで、残念ながら目の当たりにすることはできませんでした。それだけに失われた期間を補填すべく、遠藤先生にはガバナー心得をもっと教わりたかったという念が募ります。そんななかでも遠藤年度に着手され、現在まで続いているものを見ると、ご活躍の様子が窺えます。

たとえば、それまでの分区代理がガバナー補佐になりました。佐藤パストガバナー、渡邊ガバナーエレクトに大金地区代表幹事と、そうそうたる顔ぶれが遠藤ガバナーのもとで初代のガバナー補佐を務め上げました。札幌大通公園ロータリークラブの創立も、遠藤年度です。

ガバナーを終えられてからも、益々精力的でした。昨年末の次年度ガバナー補佐会議。地区研修リーダーの遠藤先生は、絵本「ハチドリの一ひしずく」をスクリーンに映し出されました。山火事を消そうと一羽のハチドリが、くちばしに溜めた水を一滴ずつ運ぶ話です。その後の研修にも引用されるやに聞いておりましたが、結局これが最後になってしまいました。

2月の地区チーム研修セミナーには、ハワイでの息子さんの拳式から駆けつけてくださいました。その身体で海外まで、と驚いたものです。

遠藤先生が子どもたちを診察する病院の2階にあるガバナー事務所。そこから足掛け2世紀の、様々な取り組みが生まれました。その取り組みと一緒に、遠藤先生の穏やかな声と柔らかな表情も継承できれば。 合 掌

故 遠藤正之師の御霊前に捧ぐ

パストガバナー **岩城 秀晴**
(札幌南RC)

2008年7月24日の午後に師のご逝去の報を受けて、私はしばし言葉を失った。7月21日には、師の病床を訪れ、御見舞申し上げたときには御元気であり、冗談を交えながら世間話を申し上げて御別れしたばかりであったからだ。間をおいて、我にかえって、現実を見つめた時に、師の顔と声が、私の頭を横切った。まことに悲しき現実であった。同時に、そして、昭和51年当時の思い出が、走馬燈のように走り去ったのでした。

私は師とは月に1度は必ず仕事上のことで御会いしていた。そして、医師としての診療所経営について、御相談させて戴いた思いです。その時に、ロータリーの会費の損金の不算入又は交際費となるかどうかの会話等でありました。

その時に、師は私にロータリーの入会を熱心に御推奨戴きました。当時のロータリークラブは、テリトリーが厳しくて、どこにでも入会できるということではなかったので、師を通して、スポンサーを探して戴き、私は札幌南クラブに入会できたのです。

**「生のみが我らにあらず 死もまた我らなり
我らは生死を並有するものなり」**

清沢満之（絶対他力の大道より）

羽部 大仁
(札幌南RC)

2008年7月24日午後1時13分遠藤正之パストガバナーは、77歳を一期に神様の国へ召されました。先生と親しくされた方は多く、私が出る幕などありませんが、お許しを頂戴して思い出の一端を述べることにします。

先生との出会いは、札幌南RC入会がご縁となりました。早い頃は子供達の主治医として土日返上で診て貰いました。私の血圧が高くなってからは主治医として、今年の地区協議会までお世話になっていました。

いつもハブちゃんと呼ばれて出掛けました。特に札幌南RCからガバナーをと“勝手連”なるものを立ち上げた一人でしたから、先生がノミネートされて以来恥ずかしながらガバナースタッフの一員としてお手伝いさせて戴きました。いや足手まといであつたかも知れませんが。

2000-01年度第2510地区ガバナーとしての先生は実に立派でした。RIのテーマは「意識を喚起し一進んで行動を」でした。文字通りの一年間であつたと確信しています。この一年を「札幌南ロータリークラブ40周年誌」に回顧録として掲載されています。その一文をご紹介します。「地区リーダーシッププランの準用にあたり」と題された章に「地区内はリーダーシッププランのもとに12分区で運用されることになりました。最

加えて、師が2000年～01年度のパストガバナーとして、当時の虻田町の火山噴火災害もあり、その人道的プログラムを十分に奉仕されたものでありまして、私もガバナーエレクトとして、御手伝いもさせて戴いたこともありました。以来、1年先輩のパストガバナーとして、地区大会、地区協議会には、研修リーダー・財団委員長として、第2510地区パストガバナーとして、その識見と能力を発揮されまして、地区のリーダーとして粉骨碎身、自己の業務を省みず、ロータリーの地区管理に御尽力されました。

また、昨年5月には、第4グループの1Mには、CLPについてのシンポジウムに参加して、これからのロータリーのあり方を切々と説かれておられました。唯々敬服の念に駆られた場面でもありました。

師は、残念にも志半ばにして病魔に侵されて、生命を落とされたことは、同志と致しまして、真に堪えられないところであります。もっともっと、師の御尽力によって、ロータリーの運営にますます輝かしいものが発揮されることが出来なくなったことが無念で一杯であります。

然し、師は立派な御息も歯科医として御成長されて、これからの社会に御貢献できることと思います。

最後になりますが、師に対しての心からなる哀悼の意を捧げ御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

初のパストガバナー補佐が12名誕生し、今ではお一人お一人の活動が目映り、懐かしい話し声が耳に響いてくるようです。本当に良く奉仕して下さいました。佐藤秀雄パストガバナー（千歳RC）も12名のガバナー補佐のお一人でした。（中略）一緒に奉仕していただいたクラブ会長・幹事さんに、分区に於いて卓越した指導力を発揮された12名のガバナー補佐に勿論私を支えてくれた札幌南ロータリークラブの会員お一人お一人に、そしてスタッフの皆さんに深甚なる敬意と感謝を申し述べた次第です。」と一年を感謝と思いやりに溢れる言葉で振り返っておられます。

先生は将に真のロータリアンでした。それは敬虔なクリスチャンであつたことに起因すると思われまふ。先生の葬儀の折り堤牧師さんが、若い頃教会の医師団に加わりポリオのボランティアで活躍されたと申されました。以前先生からポリオについてそんな話を聞いたことを思い出しました。

その生涯をロータリーの奉仕に捧げられた先生は、カルロ・ラビツア元RI会長の言葉「周囲が速やかに新千年紀に移行する中で、私たちは20世紀に取り残される恐れがあります。」を引用して早急な変化を求めています。その変化については志半ばであつたと思ひますが、マンネリ化したクラブと地区の再生を天国から導いて下さることを念願して筆を置くことにします。遠藤先生永らくお疲れ様でした。先生との出会いとご指導を今生の宝として生きていきたいと思ひます。ありがとうございました。

ロータリーアンは青少年の模範 新世代のための月間に寄せて

地区新世代委員長 松見 修二
(函館北RC)

■ 新世代

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来の準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務であり、全てのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むように奨励されています。(1998年6月理事会会合、決定348号)

■ 新世代への奉仕は

・保 健

ポリオ・プラス、保健教育、幼児期発育、薬物とアルコール濫用の防止、エイズに対する認識の向上、障害者への支援、貧困プロジェクト、飢餓プロジェクト。

・人間的価値

地域社会における普遍的な人間的価値の推進、家族及び地域社会の模範としての行動、父母への助言者プロジェクト、家族にクラブ奉仕へ参加してもらうこと、異世代交流プロジェクト、文字教育プロジェクト、紛争解決プロジェクト、子供の権利に関するロータリー方針の支持、自分の時間を惜しみなく与えること。

・教 育

実用的な識字能力、奨学金、青少年交換、模擬国連、職業訓練、青少年のための就業経験とインターシップ、環境保全、地域社会における青少年のイメージ向上、新世代のニーズに対する地域社会の認識向上。

・自己開発

新世代のためのロータリー会議、助言者プロジェクト、インターアクト及びローターアクトクラブ、インターアクト及びローターアクトクラブ会員を対象とした指導力研修、ロータリー青少年指導者養成プログラム、地域社会における青少年諮問機関の設置、仲間支援プロジェクト、余暇の生産的な使い方の助長。

(1998年6月理事会会合、決定219号)

この様に新世代のプログラムは多岐に渡っていますが、その根源はクラブとロータリアン一人一人にあります。

20世紀は人類にとって文明の発達と成熟の時代でした。では21世紀はどんな時代でしょうか。地下資源に起因する利権と民族に絡む紛争、世界の内の貧困に苦しむ国(地域)では数秒に何人かの子供たちが亡くなっています。ロータリーは政治と宗教に不介入としていますが果たしてこれでロータリーが目指す世界平和は実現できるのでしょうか。この現実を新世代に適切に伝え、身近な新世代と接しこれからの社会を担う若者たちに自発的行動を促すように働きかけることがロータリー新世代プログラムの基本と思います。

新世代月間に向けて 「ローターアクトクラブの現況」

地区ローターアクト委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

矢橋ガバナー、大金地区代表幹事からの要請を受け、急遽地区委員長を拝命いたしました柳です。2003-04年度から三年間同職を務めておりました。矢橋ガバナーの元、一年間ローターアクトクラブのため、精進してまいります。よろしくお願いいたします。

ガバナー月信への投稿依頼を受け、改めてローターアクトクラブとロータリークラブとの関係を考えて、現状を少々分析いたします。今回は、ロータリアンからローターアクトクラブへの関係から。

そもそもローターアクトクラブ（以下RAC）は1967-68年度国際ロータリーの理事会で「国際理解と奉仕活動を通じ指導力と良き市民育成の目的で青年のためのクラブを結成しそれを後援してゆく計画」を採択しました。1968年3月にアメリカで初めてのRACが誕生しました。これは良いプログラムと日本のロータリークラブがこのRAC計画



例会風景

に飛びつきました。遅れること僅か3ヶ月、日本にもRACが誕生します。同年7月我が第2510地区で岩見沢RACが、日本で2番目にクラブとして誕生しました。岩見沢RACは今年40周年を迎えます。その後、地区内にRACがどんどん誕生します。（周年事業の一環でRACを提唱した例が多いようです）詳しい資料が手元に無いので正確ではありませんが、地区内のRACクラブはピークで16~17クラブあったはずですが、それが今年度は8クラブです。なぜ半分まで減ってしまうのでしょうか？

結論からいうと「RACを作った後の、維持が大変」それに「クラブでRACに関わっているロータリアン以外、RACに対し関心が薄い（無い）」からだと考えます。

RACに関わるロータリアンは常に「RACの会員不足・会員増強」で頭を悩ませています。会員さえ何の心配なく集まって、決まった例会を行っていたら、「親睦や奉仕活動」は自動的に行われることは、想像できます。

元々卒業したインターアクターの受け皿として、誕生したRACですが、地区内でインターアクト出身のローターアクトは数名いるだけです。

その他、ロータリアンの子弟のローターアクト



海浜ゴミ拾い

一も数名おります。ロータリアン企業の従業員も数名、ROTEX・学友も数名で、一番多い例はローターアクターの知人・友人です。

会員不足は「30才卒業」というRACの会員規定がそうさせていることは、言うまでもありません。3～4年RACを経験してようやく、活動がおもしろくなってきてところで、自らの意志に反し、年齢退会をしなければいけないという、宿命があります。

それではどのようにすれば、いいのでしょうか？

決定打ではありませんが、まず提唱クラブはRACに対して関心を持つロータリアンを増やし、クラブ全体で支援・指導していくことが一番だと思えます。その方法はクラブ運営に合わせ、行われるべきだと存じます。クラブ全体がキーワードになります。是非その体制作りをお願いいたします。

最後に第2510地区の8クラブを紹介します。（設立順）

○岩見沢RAC（提唱岩見沢RC）

日本で2番目に誕生したRACで今年40周年を迎えます。

会員不足が最大の悩みか？積極的なロータリアンの指導が必要です。

○函館大学RAC（提唱函館東RC）

地区内唯一の大学ベースのRAC、会員8名。その特長を生かした活動を期待したい。提唱クラブの支援体制は良好と思われれます。

○札幌南RAC（提唱札幌南RC）

札幌北RACが活動停止し、メンバー6名は札幌南RACへ移籍。札幌市内唯一のRAC、現在19名と会員増強中。勢いがあります。

○函館RAC（提唱函館RC）

前年度地区代表を輩出。3名と少数ながら、地区活動には欠かせないクラブ、会員増強は急務と思われれます。

○赤平RAC（提唱赤平RC）

今年度地区代表を輩出。ここ10年地区内で中心的・模範的なクラブで、奉仕活動等を通して、赤平市民にも認知されています。会員17名

○室蘭北RAC（提唱室蘭北RC）

会員3名、停滞気味か？第8、9、12グループ唯一のRAC。ロータリアンの絶大な指導が必要でしょう。

○岩内RAC（提唱岩内RC）

積極的な活動が必要か。2～3名の会員増強で劇的に良くなる可能性があります。さらなるロータリアンの協力が不可欠です。

○千歳RAC（提唱千歳・恵庭・千歳セントラルRC）

今年度から千歳セントラルRCが提唱に加わり、3RCで共同提唱する新しい形のRAC、会員15名。活発な奉仕活動も評価したいです。



フードパーティー

地区青少年交換委員会活動について

地区青少年交換委員長 宮崎 善昭
(札幌西RC)

長期青少年交換活動は、高校生の1年間の交換留学プログラムです。このプログラムの大きな特徴は、①1年間の長期留学であること。(他の団体では、1年間の長期留学を実施していない。)、②ロータリアンの子女(孫)が参加できること。(ロータリー他の国際関連プログラムは参加できない。)、③交換留学であること。(日本人の生徒を送り出し、外国人の生徒を受け入れる。)などです。留学生は、通常1年間で3~4箇所のホームステイを経験し、外国家庭の文化や習慣の違いを経験します。また、ロータリークラブの親善大使として、地区大会、クラブ行事、地域活動、IM(インターシティ・ミーティング)などのプログラムに参加します。

このプログラムは、もともと青少年奉仕プログラムでしたが、2002~03年度からは新世代プログラム(インターアクト、ロータリーアクト、ライラ、青少年交換)として分類され、特に15歳~18歳までの青少年健全育成に焦点を絞った奉仕活動として位置づけられました。何時の時代にもロータリークラブは次代のリーダーとしての青少年育成をその使命の一つとして多くのエネルギーと資金を提供してきましたが、それは、ロータリークラブがその基本的な精神を地域で有形化するための効果的な方法論としての確信があったからでした。青少年交換プログラムは高校生が参加対象です。多感な青年の時期に外国に留学し、異国の文化に触れ、生活を共にしながら、コミュニケーションは単に言語力や論理的な話し方によって成立するのでなく、相手の立場や気持ちを理解が必要なこと、自分が傍観者ではなく当事者として思い、気持ち、価値観を伝えたいという強いニーズがなければ成り立たないことを経験的に身に着ける機会でもあります。この豊かな経験は、人間同士は異質を認めながらも「共に生きる」ことが可能であることの自覚、つまり本当の「平和」は決して武力ではなく、尊敬心と誠実さ、責任感などの人間一人ひとりの相互信頼感と寛容な精神によって実現していくという深い学びに繋がるものという希望を持っています。

一人の日本人の子どもを外国に送り出し、一人の外国人の子どもを迎え入れる面倒を看るといふ膨大なエネルギーの必要なプログラムです。しかし、これを実施することにより子どもたちに崇高な理想に拠って生きているロータリアン(大人)の姿を現実のものとして見せることができ、私たちが先達として彼らに対し義務を果たしていくことになるのではないかと考えています。



地区インターアクト委員会活動状況

地区インターアクト委員長 戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

昨年度のインターアクト年次大会は登別大谷高等学校と登別ロータリークラブがスポンサーとなり、6月28日、29日の両日にわたり登別市で開催されました。当日ご来賓として上野 晃登別市長、武田 博登別市教育長と竹本将人登別大谷高等学校校長、そして酒井ガバナー、遠藤秀雄パスト・ガバナーを始め多くのロータリアンのご出席を戴きました。

また、地区の9インターアクトクラブの顧問の先生方と94名のインターアクターが参加のもと盛大に、有意義に大会を終える事ができました。諸準備をして下さいました登別大谷高等学校と登別ロータリークラブの皆様には厚くお礼申し上げる次第であります。

当委員会として昨年度に重点的に取り組んだ事は、①各インターアクトクラブの活動内容を各スポンサークラブに伝達し、お互いの協力態勢を作る事。②海外研修旅行で訪問国のインターアクターとの交流を考慮する事。③年次大会の充実。④地区大会でインターアクトクラブの活動のアピール。⑤地区予算の再検討等についてであり、松見地区新世代委員長に来て戴き6回の委員会を開催しました。今年度はこれ等の結果を踏まえて当委員会は活動してまいりますので、皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

今年度の最初の活動として例年通り、韓国への海外研修旅行を8月5日から9日迄行いました。参加者はインターアクター12名、顧問教師4名、ロータリアン2名の計18名でした。私はこれ迄に2回この研修旅行に参加しましたが、今年度は都合により残念ながら一緒できませんでした。訪問先は、木浦の「共生園」で、そこでは園生と親しく又将来の夢を語り合いながら心に残る楽しい交流が持たれたとの事。又ソウルでは博物館や歴史等の展示館の見学と市内観光を行った事。そして参加した12名のインターアクター同志も5日間の旅行でお互いに打ち解け合っている姿を見て将来の良き思い出ができたと感じられた事等々のお話を同行した秋山委員より聞いております。



過去の2年間、そして今年度の海外研修旅行を振り返ってみて残念に思うことは訪問国のロータリアンやインターアクター達との交流が皆無の事です。特に韓国のRI第3700地区と当地区は以前より、矢橋ガバナー等のご尽力により姉妹地区になっている所です。多少の時間は要すると思いますが、このご縁をもとに韓国のインターアクターとの交流の機会を持つように活動する必要があると考えています。

最後になりましたが、日頃からインターアクト委員会に多くのご協力、ご支援を戴いている地区役員の皆様、スポンサークラブを始めとする各ロータリークラブの皆様には深く感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬお力添えの程お願い申し上げます。

特別寄稿

第2510地区
洞爺湖にて
サミット
開催

北海道洞爺湖サミットを終えて

洞爺湖ロータリークラブ
幹事 千葉 薫

昨年の4月に安倍前首相が洞爺湖畔を訪れ、首脳会議の会場となるホテルを背に「北海道洞爺湖サミット」を2008年7月7日から9日までの3日間、洞爺湖町で開催することを発表しました。一昨年の暮れ突然に洞爺湖の名前が急浮上し地元としても大変に驚きもしましたが、町としても早速、観光協会、商工会などと連携を取り北海道などへ陳情活動が始まりました。当時は北海道も手を上げておらず、大阪、横浜、京都、岡山、新潟など多くの名だたる都市が1年も2年も前から担当課を作りパンフレットを作り誘致活動を推し進めていたところでした。

洞爺湖が指名されたのは、最後は安倍前首相の決断であったとシェルパの方が先日講演の席で話をしていました。会議場になるホテルが山の上であり警備上で都合が良いというだけでなく、景観の良さ自然環境の点も考慮されたものであり、また北海道で行うことによる経済面、観光面での効果を見込んだ総合的な評価があったようです。

町長を会長としてサミット推進町民会議が立ち上がり、町内の経済団体、産業団体をはじめ多くの町民の関わりの中で、様々な事業がそしてイベントが実施されました。当ロータリークラブも会長が代表で会議に出席をして、このサミットを機に交通安全の旗を100枚作成寄贈しています。

今回のサミットの主要テーマが地球温暖化による環境問題ということで、町民会議では「おもてなしの心で世界へ、環境と観光の町洞爺湖」をキャッチフレーズに1年余りに亘って活動をしました。町内清掃、海浜清掃、植樹、花壇の整備など等、町をきれいに・花のおもてなしでやってきました。また町としてチーム・マイナス6%に参加しています。温度調節で減らそう、水道の使い方、自動車の使い方、商品の選び方で、買い物とごみで、電気の使い方、この小さな事が住民の意識の中にも徐々に浸透して醸成されていくのだらうと思います。

またイベントは200日、100日、50日前を実施、英国大使との交流会、船上PMFコンサート、町民盆踊りなど等。議会においては「環境宣言」を採択、洞爺湖環境基本条例、さわやか環境条例の制定をしました。洞爺湖町役場の公用車が天ぶら油車で2台走っています。洞爺湖農協では貯蔵施設「雪蔵」の事業を取り入れ、出荷の調整や販路の拡大に繋げています。洞爺湖温泉利用共同組合は温泉の排水熱を利用したヒートポンプ事業でCO₂の排出量削減に貢献しているとともに効率の良い事業運営になっています。この共同組合は洞爺湖ロータリークラブの前会長の川南氏が理事長をされており、最先端のシステムで視察も各地から来ているとのこと。現在安倍前首相が発表した場所に、北海道洞爺湖サミット宣言の地としてモニュメントが出来ました。また現地本部に使用されていた旧火山科学館もサミット記念館（仮称）として来年オープンする予定です。サミットが終わり、アフターサミットが問われています。





ロータリー財団セミナーに学んで

地区ロータリー財団委員長 **岩城 秀晴**
(札幌南RC・PG)

「ロータリー財団セミナーZONE 1.2.3.4A」のセミナーが7月11日（金）の10：00から17：10までと、翌日12日（土）2日間に亘って、東京都新宿区の京王プラザホテルにおいて開催された。

ロータリー財団は1917年、米国のアトランタ国際大会において、アーチC.クランプ氏が、「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国のイリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となり、今日に至っております。

この理想のもとに、ロータリアンが「世界でよいことをしよう」と未来の夢を実現すべく、推進活動をより効果的な方策を開発することを提唱しておりました。

各項目について、講師が熱心に解説をされておりましたので、各項目ごとに御理解を戴きたいと存じます。詳細は以下のとおりです。

その1 未来の夢を語りませんか、として、田中作次氏が説明され、ロータリーが財団を通して、その理想に馳せ、その実現にはロータリー財団に寄付をし、人道的、教育的プログラムに参加して、初めてロータリアンとしての使命が果せられ、かつ、実現することが未来の夢であり、我々ロータリアンとしての求めているところではないだろうか。

その2 ロータリー財団年度目標としては、高ければ良いとして考えられるから、当地区は2007年5月末現在で、282,718ドルで全会員2,859名として、1人当たり97.24ドルとなっており、34地区中の下から12番目位にランクされております。このような順位をつけてその評価の位置づけをすることは、財団委員長として、はしたない行動であります。現実はこのようになっておりますことを明確にしておきます。

その3 前年と同じように、今年も大口寄付者推進計画を推進しており、当地区からのアドバイザーとして選出はなかったが、第2500地区の清水幸彦氏がアドバイザーに任命されました。当地区からの推進をはかって行きたい。

その4 としては、恒久基金の理解を深めるために、恒久基金日本委員会を設け、渡辺好政氏（第2690地区）が委員長となり、恒久基金の特性として、大金を使わない基金で、投資収益のみを財団プログラムに毎年使う方策のものです。

その5 としては、プログラムのうちの一つとして、教育的には国際親善奨学金があり、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。目的は、男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異の国民間の理解と、友好関係の増進に寄与することによって、毎年800名～1,000名くらいの財団奨学生がロータリークラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、親善使節として行動をする。この関係についての解説が小島哲氏により説明され、推進方を要請された。

その6 教育的プログラムに世界平和フェロシップという比較的新しいプログラムがあります。このプログラムはポール・ハリス没後50周年と財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、財団管理委

員会、国際関係を研究するためのロータリー・ポール・ハリス・センター設立計画を立てまして、異なる地域の評価の高い八つの大学と提携して行われるプログラムです。八つの大学は、世界問題、紛争解決、国際的研究として優れております。日本の大学では、国際キリスト教大学で、これまでに日本からは1期生～7期生まで輩出しております。

このように、高いレベルのプログラムに財団は基金を設立して、世界平和の貢献に寄与しようとしております。コーディネーターは川尻氏でした。

その7 ロータリー財団学友で、コーディネーターは岡本氏でしたが、日本人では緒方貞子氏を始め、多数の優秀な学友が活躍しており、その数は2008年6月現在では日本で7,530人となっています。2007年の規定審議会で、ロータリー財団学友がロータリークラブ正会員になることが認められました。ロータリークラブ、地区ゾーンの行事の招集者には、ロータリー財団管理委員の出席が要請されているような行事に学友を参加させることを御願いたします。

その8 には、人道的補助金について、片岡室長が説明をされていましたが、その要旨は、国内または地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金を出す制度が2003年7月から実施しました。

2008年～09年度の日本では、33地区が申し込みする予定ですが、その申し込みが円滑に行っていない。その理由は、

- ①財団委員長が旅行中で署名できなかった。
(申請期間は、7月1日から3月末ですので、十分時間的余裕があると思う。)
- ②マッチング・グラントのプライマリーが、地区で相手が最終報告を提出していなかった。
- ③DDFの残高より多額の申請をした。
- ④補助金の申請にはプロジェクトの内容が不適格プロジェクトをした場合が多く、補助金委員長は、注意されることを望まれていた。

多くはハンドブックの50ページ以降を通読する必要があります。

2010年7月より、補助金を大別して次のとおりとなります。

- 1.ロータリー財団新地区補助金
- 2.ロータリー財団グローバル補助金

その9 年次寄付については、北RRFCにより説明されました。年次寄付は財団プログラムを継続するための燃料の役割を果し、毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定して、その目標の総額が地区の目標となりました。3年後にはプログラムに使用されます。当第2510地区では1人が100ドルを目標にしておりますが、これが2007-08年度では、97.24ドルとなっております。

その10 として、「新公益法人制度の施行に備えて」テーマで、NPOロータリー日本財団理事長岩井氏が説明されましたが、日本では1997年7月より、教育的プログラムに対する30万円以上の寄付に限って税制上の優遇措置が受けられるようになり、2005-06年度からは、教育的プログラムで20万円以上の寄付をした場合となりました。

取扱いは、日本事務局財団室の「日本ロータリー奨学金委員会口座」に送金します。国際ロータリー日本事務局財団室では、6月、12月の年2回に国際交流基金特定寄付金とし、国際交流基金では、2008年の所得に対する税制上の優遇を受けることができます。しかし、一方では、NPO法人では、公益法人制度改革により、2008年12月1日の施行に間に合うように、公益財団法人の設立を目指しています。従って、この法人が設立されるまでは、この寄付行為の受皿がはっきりしないので、設立が完了するまでは、寄付は取扱い出来ないこととの説明でありました。

以上がロータリー財団セミナーでの要旨であります。昨年も参加致しまして、何とか財団の概念だけは理解できたと思っておりますが、会員の皆様には十分な御説明をすることが出来ないと思っております。財団に対する熱意だけでは難しい問題解決にはならないと思っておりますが、各位の御理解と御協力を心から御願申し上げます。

地区社会奉仕委員会ブロック意見交換会から見えるもの

地区社会奉仕委員長 阪崎健治郎
(札幌西RC)

2008～09年度地区社会奉仕委員会は、毎年度当初に全クラブから「活動計画書」をご提出いただき、それらを冊子にして4つのグループ、[10、11]（函館管内）[7、8、9、12]（苫小牧管内）[4、5、6]（札幌管内）[1、2、3]（滝川管内）に分かれて意見交換会を行った。製本された資料を配布し、それに基き発表していただいた。この「活動計画書」はすでに全クラブの社会奉仕委員長に配布した。

活動は実に多岐にわたっているので、すべてこの紙面で紹介できないが、典型的に活動を分類してみたので、相互に学びあうよい材料にさせていただくことを希望する。

1 意欲的にクラブは活動を開始

当年度はすでに地区社会奉仕委員会のホームページでもご紹介したが、基本的には前年度の方針である「ロータリーの活動の主体はクラブであり、地区はあくまでも側面的に支援する役割に徹し、情報の橋渡しをする役割であること」を踏襲する。

今の日本社会は憂うべき事態であり、私たちはこの歪んだ状況を看過する事は出来ない。100年前に創られたロータリーの運動は、その時代の問題を果敢に取り組み、一定の成果を上げてきた。それはまさに先達の人々が培ってきた努力の結晶であると信じる。ロータリアンはそれぞれのクラブに帰属していることを誇りに思い、高邁な理想に向かって歩み続けている。また意識や言動においても品性や品格を高め、こころの内側にある深い人間性を培ってきたのである。しかし今日のように社会が劣化し、希望を見出せない喪失感漂う中、クラブも個人も厳しく社会を見つめ、この社会の浄化のために何をすべきかを源流に求めつつ、創造的な活動を推進されることを地区の当委員会の方針に掲げた。

さて今回の意見交換会は幾つかの特徴を示している。まず全体的に会員の減少傾向が止まっていないという事実である。それゆえに取り組みに難渋し、苦闘しているクラブが幾つかある。そのこととも関連するのか、すべての継続活動を中止し、リセットして新しい活動を模索しているクラブもあった。時にはそうした勇断は現状に甘んじることなく、創造的に開発し、会員自体に新鮮さを与える点で疑問は持たない。しかしながら継続を否という考えを前面に出すことは、せっかく実りかけたものを終息させる恐れもあり、長年の積み重ねてきた努力を不意にするばかりでなく、意欲を減退させる危険性もある。

プロジェクトによっては長い時間をかけて醸成することも必要なことではないだろうか。

長年にわたってクラブと市民とが一緒になって「ロータリーの森」を育ててきた函館セントラルRCの創立記念植樹のエゾ山桜のメンテナンス、創立50周年を記念事業として植樹し、ローソンから150万円の緑の募金の助成+クラブで補強して育成する函館東RC、「ロータリーの森」の運営と「果樹の森」の保全作業の実施と市民との交流会や「友好の森」と湿地帯植物園と連動したロータリー姉妹、友好植樹帯の能登霧島つつじ、江差れんげつつじの庭園化の作業を行う江差RC、千歳RCは分収造林を実施、7,500本の桜を植栽し、現在では5mに成長した「ロータリーの森」など植林と整備活動は数多くのクラブが実施している。このような活動は森林を保有しなければならないが、何十年もかかるプロジェクトだけに「育て続けること」を覚悟することが絶対的条件になる。

地区としては、近年の奇怪な事件を通して、家族や学校さらに職場など周囲から認められないという閉塞感を持つ人々が増加していることに目を向け、人との絆を取り戻し、他者とのコミュニケーションを豊かにするために、より深く地域に密着したサービス活動ができないかと考えた。それが年度方針に挙げた「絆を創るラウンジ」の設置である。各クラブの近くにある気さくに利用させていただきそうな喫茶店やカフェなどに協力願ひ、ロータリアンと市民とがひとつテーブルを囲み、自由に歓談する場を作ってはどうかという提案である。自分たちはコップの中の水ではなく、積極的に市民との豊かなコミュニケーションを作り出す一滴としてコップからこぼれ出てよき水でありたい。そこから見えてくる問題点や課題を共有し解決に向けて努力することを想像している。

2 各クラブの活動から見てきたもの

- ①会員減少による活動の縮小と結束力の効果……総じて会員の減少傾向が見られる。そのために思うような委員会構成が出来ず活動が停滞気味になった反面、減少によって責任感が強まり、結束力や協力の姿勢が高まったクラブがある。蘭越RCは11名という会員で懸命に取り組まれている。
- ②大都市にあるクラブの活動の難しさ……地域と密着した活動をするには何よりもクラブの活力の有無が問われる。大都市、特に札幌管内のクラブは、テリトリーが不鮮明なことや入退会の率が高いことなどによって他地域のクラブに比べ、密着度はそう高くない。そのためにせつかくのロータリーの心を伝えきれずに相手側に金銭的援助を期待されるとの報告があった。そのことを踏襲するクラブもいくつか見られた。その正否の判断は困難だが、容易に前例踏襲する姿勢は慎重であるべきだろう。ロータリーが触発財として新鮮な空気を地域に発信することが重要なことだ。
- ③CLPの導入……すでに一部のクラブでは、クラブ・リーダーシップ・プランを取り上げ、三大奉仕活動などを一括して「奉仕プロジェクト委員会」に改称し、委員会の権限と活動範囲を拡大しているクラブが幾つか見られる。このことはすでに国際ロータリーでもガイドしている。委員会の数よりも質の向上と多くのメンバーの参加と協力を得ることにシフトされつつある。
- ④活動を類型化すると、
- 「交流活動型」……多様な活動の中には、同種的なまたは近似的な活動は多いが、中にはユニークな活動も見られる。活動対象は青少年のほか、高齢者や障がい者へと幅を広げ、施設や病院などと連携した活動のほか、文化・スポーツ・音楽など様々なイベント企画・協力・支援活動。
- 「自然・環境保護活動型」……植樹・花壇の整備、公園の環境保全、さらに「ロータリーの森」として長年にわたり育生に取り組むクラブが多い。中には数十年の歴史を積んでいるクラブもあり、新しく取り組むクラブは経験豊富なクラブから学習してスタートしてはどうか。
- 「市民協力活動型」……地域の団体主催の活動と一緒に参加協力、またはロータリー文庫の寄贈など市民とのふれあいに力点を置いている活動
- 「市民意識啓発運動型」……交通、防災、献血、羽根募金や施設への資金提供など既成の団体からの要請に応じて市民への啓発に協力する活動
- 「相談事業推進協力型」……函館亀田RC、室蘭東RC、苫小牧北RC、千歳RCなどが地域と連動しながら実施。
- 「特別活動」……滝川RCの「難病の子ども達専用のキャンプ事業」は壮大な計画で日本でも未着手なプロジェクトだ。すでにサイトも決め、一部の高額な指定寄付もあり、医師会の協力も得ながら進行している。このプロジェクトには社会的資源を活用し、地区を上げて協力する必要がある。

以上のように活動を大雑把に括ったので、更に細部にわたり検討したいと考えている。今後の注意としては、近年多くのボランティアグループがひとつの施設に重なるように訪問しており、時には施設側のリズムを崩すこともある。また特に養護・福祉施設においては未だに社会の浄財を求めるといって経営的に安定しているとはいえない。当然福祉行政が問題であるが、それとは別にクラブは相手側とじっくりと話し合いながら、ロータリーならではの活動の発掘が必要だ。例えば「傾聴ボランティア」など、じっくりと日ごろの心の内に耳を傾けながら、居住者の人生のパートナーとして役割を取ることは決して不可能ではない。時代に即応した活動をするために、3つのCが頭に浮かぶ。ひとつは地域つまりコミュニティに密着すること、二つ目は対話・コミュニケーションの促進、三つ目は他者のために自分が何かの役に立つというケアリングではないだろうか。社会奉仕はコミュニティ・サービスと訳されている。何をどのようにサービスするとコミュニティは喜ばれるのか、それが私たちの範疇の活動ではないかと考えている。ご遠慮なく地区委員会にご注文をいただきたい。

地区社会奉仕委員会はホームページを設定した。地区のホームページから訪問していただきたい。

地区社会奉仕委員会 委員長 阪崎健治朗（札幌西RC）
委員 鈴木 保昭（倶知安RC）
委員 玉造 敬子（札幌はまなすRC）
委員 見延庄三郎（小樽南RC）

第99回ロータリー世界大会報告

青木 功喜

(札幌東RC)

なぜ世界大会に出席するか

ロータリーは国際組織であり、年1回の世界大会に出席しますと、ロータリーの規模の大きさ、幅の広さ、奥の深さを実感できます。手続要覧には、次期クラブ役員はロータリーの発展を活発に推進するため国際大会に出席することが推奨されています。このため米国では次期クラブ会長には世界大会への旅費を支給するクラブもあります。外国のロータリアンのみならず日本の他の地区のロータリアンとも一堂に会えるのは国際大会のみです。そのため日本人朝食会や北海道ナイトなども企画されています。会期中は友愛の家では多くのロータリーグッズがありますし、外国のロータリークラブのプロジェクトを知ることができます。百聞は一見にしかず、一度参加するとロータリーの新しい世界が開けます。道端にたつてパレードを見るのではなく自分もパレードに参加してみましよう。

世界大会のプログラムと参加数

世界大会は開会式の後に3日間にわたって午前は本会議、午後は分科会があります。分科会は2010年までの継続事業である水、識字率向上、保健飢餓救済のプログラムと昨年の標語ロータリーは分かち合いの心のテーマが71もあります。物理的に全部は聞けないので、ロータリー財団の最新情報、ロータリー家族、GSEに関する分科会を中心に旧交を温めて来ました。

第一日目 ロータリーの歴史

1：会長挨拶

分かち合いは例会、地域社会、世界と広げると共に、自分にない能力を他の人に補ってもらえることを感謝しようと言うRI会長の挨拶に始まりました。

2：国際インナーフォーイール（IIW）会長の講演。

アメリカのIWの活動が盛んでないのは残念であるが、IWは女性会員と競争する気はなく、ロータリーの負けないような大きな奉仕活動をしようとしているのではない。生活の範囲内でできる奉仕を行い、ロータリアンの主人を理解しサポートしたい。女性ロータリアンは過去10年間で15%になったに過ぎない。世界のロータリアンの数は米国、日本などのロータリアン大国では確実に減っている。この退会防止にはロータリーファミリーの協力も大切であろうときわめて控えめな話は好感が持たれた。IIWはロータリアンのご夫人の会で日本では第2510地区の札幌東RCの夫人による札幌IWがただ1つ正式加入しており、今年10年目を迎えます。

3：ロータリー財団の沿革

財団学生であった元駐英大使であったフィリップレーダーさんは、道は歩いてこそ道になる。道の向こうに何かあるか判らなくても信頼できる友人がいればその道のりは楽しくなる。このことを多くのロータリアンが教えてくれ、私の人生も大きく改善されたと話した。RIの財団委員長はただお金をやればいいではありません。私たちは学生に希望を与えてやることにより、その学生はロータリアンとして帰ってくるのですと付け加えていた。

2日目の本会議（今日のロータリー）

ポリオ撲滅

ロータリーは1985年以来650億円をポリオ撲滅計画に参加して来ましたがロータリーだけでは終結させる

ことは困難な情勢でありました。昨年ハーバード大学がポリオは撲滅すべきか、封じ込めるべきかの議論に対して数学モデルを用いて撲滅と封じ込めにかかる財政的人的コストの比較を医学雑誌ランセットに発表した。発展途上国はポリオ撲滅により1000億円以上の保健医療費が節約できる。封じ込めに切り替えるならば今後40年間は1000万人の子供がポリオ感染の危機に曝されるという結論でした。このことを読んだビル&メリンダゲイツ財団はポリオ撲滅に後一步というところまで前進できたロータリーの今までの並々ならぬ尽力に敬意を表してロータリー歴史上最大の100億円の寄付を申し出てくださいました。このため国際ロータリーはゲイツ財団に自分たちで同額の100億円を集めポリオ撲滅を約束しました。その後WHO、CDC、UNICEFの関係者が講演しました。

分科会の印象

1：米国での世界大会

今回の世界大会は2番目にRCができたサンフランシスコと5番目のロサンゼルスが競争し合って決まり、国際大会というよりは米国大会という印象が強いものでした。ロータリーがシカゴに発足してから2年後に世界大会がもたれたので今回の会は99回目です。このためアメリカのロータリークラブは100年目を迎えたクラブが多く、本会議の中でも100周年を迎えた16の米国のロータリークラブが紹介され、会長に各々記念の盾を授与していました。今回のロサンゼルス大会の登録者は18,702名で米国が半数の9,108人で日本からの参加者が1,620人とアメリカについて多い参加者登録でした。今回は登録カードをもらうのにパスポート提示が要求され、町を歩くときはカードをつけるなどの注意もありました。最も多い米国のロータリアンは米国以外の開催地を望み、3年に1回は米国以外で開催されます。

2：退会防止

世界のロータリアンの数を見ますと2002年サンアントニオ大会から上向きに増加していますが、これはアジア諸国、アフリカ諸国の開発途上国の増加であり会員数が多い米国、日本、韓国は減少しています。特に我が国は13万から10万と25%の減少です。今回の分科会でも折角入った新会員の退会防止をいかにするかというのが大きな話題でした。

3：継続プログラム

2007年のソルトレーク大会従来から言われていた単年度プログラムから継続プログラムを取り入れようということになりロータリーは2007年から2010年まではロータリーの継続奉仕には保健と飢餓追放、水、識字率向上が取り上げられています。従来のロータリーは個人奉仕、単年度プログラムという考えに変化が起きて来ています。

3日目の本会議（未来のロータリーと閉会式）

1：李会長エレクトの講演

子供の死亡率低下を減らし妊婦の健康状態を改善しようがあります。毎年予防できるはずの原因で1000万人以上の子供が命を落とし、50万人以上の女性が妊娠に関連した原因で亡くなっています。肺炎下痢マラリアはしかが5歳未満の子供の死亡の第1の原因です。その背景にあるのは栄養失調という問題で死亡の60%はその背後に栄養失調があります。これらの予防には訓練を受けた助産婦、HIV検査、蚊帳、母乳です。我が国での食べ残す食べ物の量はこれらの国で欲している食べ物の2倍であるという報告もありました。

2：閉会式

今回は英国のバーミンガムで25年ぶりに、6月21日から24日まで開催されます。登録は今年中であれば280\$当日であれば380\$です。次はカナダのトロント、続いて米国のニューオリンズが予定されています。閉会式に出席する会員が多いですが閉会式出席もいいものです。最後に全員でスコットランド民謡蛍の光を合唱しバーミンガムでの再会を誓った。



ロータリーの故郷

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《谷間の村を訪ねて》

ポール・ハリスの自序伝『ロータリーへの道』“My Road to Rotary”の序文に次のような言葉があります。『私の七十余年の人生で、大切なものが二つあります。一つは故郷ニューイングランドの谷間、もう一つはロータリー運動です。私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと、故郷の谷間、村人の人情、宗教や政治に対する寛容の心にまでさかのぼってゆきます。見方によればロータリーは故郷の谷間で産声を上げたのです』ハリスは父が事業に失敗したため3歳の時から幼少時代をニューイングランドの祖父母の家で送りました。

かねてより私は、ぜひこの目でロータリーが生まれたニューイングランドの谷間を見たいと念願していましたが、1996年、ポール・ハリスの没後50周年を機会に故郷の谷間の村、ウオーリングフォードを訪ねてまいりました。ウオーリングフォードに行くにはいろいろな交通手段がありますが、オルバニー（ニューヨークの州都）経由で行くことにしました。ニューヨークのペンシルバニア・ステーションから、アムトラック（日本のJR）のモントリオール行きに乗りオルバニーまで行きます。車窓の左手に対岸の緑が霞むほど広いハドソン河が悠然と流れていて、ヨットハーバーが随所に見えました。列車はひたすらハドソン河に沿って北上を続け、2時間後にオルバニー着、あらかじめ予約しておいたレンタカーで、北ハイウェイ7号線から9号線を北上してバーモント州ウオーリングフォードを目指しました。バーモントは仏語で緑の山という意味で、6月のグリーン山脈の新緑は殊の外美しく、楓、柏の中に白樺が点在して、所々にサイロが見え隠れするさまは、まるで北海道の緑豊かな富良野、十勝地方をドライブしているようでした。ハイウェイの両側に骨董品の店（アンティークショップ）が次々と現れます。週末にはニューヨーカー達が大量このアンティーク街道を訪れるそうです。ここはヤンキーの故郷なのです。二本のグリーン山脈の間を走ること約2時間、行く手の右側に大きな円形の「ロータリーマーク」の立て看板が現れました。ついにウオーリングフォード村に来たのだと心が躍りました。楓の街路樹が並び、手入れの行き届いた旧家が点々と散在している村のハイウェイを数百メートル行くと、教会通りの角にポールが少年時代、日曜日ごとに礼拝に通った白いペンキ塗のコングリゲーションル教会が現れ、続いてノース・メイン通り沿い右手に祖父のハワード・ハリスの家を見つけました。まさにここがロータリーの故郷なのです。

《宗教自由の揺籃の地》

かつてハリスは、自分の祖先をたどっていくと「ピルグリムファザーズ」にまでさかのぼることができるかと語ったことがありました。「ピルグリムファザーズ」とは1620年、信仰の自由を求めて、メイフラワー号でイギリスからニューイングランドに移住し、プリマスに植民地を建設したピューリタンの一団（巡礼父祖）の人達で

す。ピューリタニズムは戒律の厳しい宗教で軍隊的宗教とさえいわれました。ハリスは前述したように父が事業に失敗したためニューイングランドのピューリタンの祖父母の家で幼少期を過ごしました。後にハリスは長い人生を振り返ってみると隣人に対する寛容の心はニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美德として大事なものでとしみじみ述懐しています。ではなぜニューイングランドに「寛容の心」が育まれたのでしょうか。それはニューイングランドに各国から移民が続々と入植しました。従来のピューリタンとともにプロテスタントの諸派が数を増し、カトリック移民やアイルランドと仏領カナダの移住者達は、宗教の壁を「寛容の心」を以って超越し融合しました。ニューイングランドは「宗教自由の揺籃の地」となったのです。寛容“Toleration”という言葉は特に宗教の自由を表す時に使います。ちなみに/the Act of Tolerationは（英国の）信教自由令《1689年》のことです。

《ロータリーの寛容 “Toleration”》

日本は島国の単一民族ですが、アメリカは少数民族の集まりで「人種のるつぼ」(Melting Pot)の国です。人々が同じ目的を目指して溶け合う(Melting)には、寛容“Toleration”が必要条件です。ただ最近のアメリカは、多文化主義の台頭で(Melting Pot)よりむしろ混ざるが溶け合わない「サラダボウル」(Salad Bowl)という言葉も生まれました。しかし当時ポールが宗教自由揺籃の地で村人から学んだ「寛容」こそが、多人種のアメリカでロータリー運動を展開していくための鍵でした。会員の政治や宗教に制約を加えることなど決してしてはならず、皆が互いの信条や意見に対して広く寛容でなければならないと決意していました。もし人間がその仲間をそのありのままの姿で受け入れることができないなら、友愛も親睦もありえないとハリスは認識していました。「ロータリーとは何か」、「ロータリアンとは何か」がいつも問われますが、これは簡単に答えられません。ロータリーは理解しやすいと同時に定義しがたいからです。ロータリーは対立する政治哲学、信条の違いが唱える「否定」を潔しとせず、「寛容の心」を以ってこれらを超越することによって、長きにわたって国際理解を妨げてきた障壁のすべてを乗り越える生き方があります。ロータリーはこういうものと対決するのではなくこれらが持つ価値を止揚(アウフヘーベン)します。ロータリーは人間性を高める生き方があります。

ロータリーの寛容はこのように非常に次元の高いものであるにもかかわらず、現実においてはこのことが少しも理解されず、ロータリーの諸会合においてホストクラブの幹事さんが「一生懸命この会合の準備をしましたが、どうか至らない点はロータリーの寛容の精神に免じてお許し下さい」などと低次元の親睦概念に振り回されマアマア主義が横行しているのは残念です。

今、RIでは未来のテーマとして「多様性」が取り上げられています。文化や価値の違いを尊重しつつ、いかに世界の秩序を形成してゆけば良いのか、いかにして新たな普遍主義や理念を生み出してゆけば良いのでしょうか。そのためにはこれまで消極的な価値とみられてきた寛容とか他者への思いやりといったものに積極的な価値観を与えていくことであると思います。ハリスは「ロータリアン誌第一号/1910年」の巻頭に「合理的ロータリアニズム」という論文を寄せました。その中でもし自分が広い場所で眼下に大勢のロータリアンを眺めながら、神様から何か一言だけ言えと言われたら躊躇することなくありったけの大声で寛容“Toleration”と叫ぶであろうと語っています。ハリスのロータリーのバックボーンは生涯を通じて寛容“Toleration”の精神で貫かれていました。そしてこれこそが会長・幹事さんがクラブを管理運営していくための秘訣といえましょう。



「元気、活気、ヤル気」溢れる 第3グループ紹介

地区ガバナー補佐（第3グループ担当）

吉野 顕隆
(栗沢RC)

残暑お見舞い申し上げます。

矢橋ガバナー年度は世界が注目する北海道洞爺湖サミットの大イベントと共にスタート致しました。地球の温暖化防止のためのCO₂の排出規制、原油高騰問題、アフリカ支援等8ヶ国の首脳が「人類のために夢をかたちに」するため第2510地区で開催されました。サミットが終わり、いよいよガバナー公式訪問が第3グループの江別西クラブから始まりました。第3グループは江別市内に2クラブ、岩見沢市内3クラブ、美唄市、栗山町、当別町に各1クラブの8クラブです。

江別西クラブは滝沢仁会長の地域密着型奉仕で幼稚園、老人福祉施設、子供雪像作り等のイベント参加で地域に元気をモットーに活動しています。

次に江別クラブは金田敏雄会長が第47代目になる歴史あるクラブです。前年度安孫子ガバナー補佐が活躍されました。野幌原始の森に蛍が沢山舞うために継続的に清掃奉仕、ネパール日本友情学校整備支援、米山奨学生例会卓話等、国際奉仕活動が盛んで活気のあるクラブです。

岩見沢クラブは創立55周年の伝統ある第3グループのリーダークラブです。北市宗三会長は「すばらしき仲間と楽しい例会」を会長方針に充実したすばらしい活動をされています。岩見沢クラブは第2510地区で唯一、ローターアクト、インターアクトクラブを持つクラブです。創立40周年を迎えるローターアクトは益々の活躍を希望します。

岩見沢市内2クラブ目は岩見沢東クラブです。5月に創立25周年を盛会裡に終了され、熱気溢れるクラブです。坂口堅一会長は「地域のロータリー」を今年度のテーマとされました。地産地消、環境、防災を主眼にして地域を活性化されるロータリーにしたいとスタートしました。坂口会長頑張って下さい。

岩見沢市内3クラブ目は、岩見沢市に合併して3年目になる新岩見沢市民の栗沢クラブです。金山英昭会長は、現在会員は24名ですが、会員の増強に力を入れて、ロータリーのすばらしさ、楽しさをわかち合えるよう頑張りますとヤル気満々の抱負を語っています。

第3グループ6クラブ目は美唄クラブです。今年5月に創立35周年、心よりお祝い申し上げます。本田俊朗会長はクラブ運営方針を「思いやりは奉仕の心」とクラブをまとめられ、思いやりの心を持って「奉仕の精神」をより高く掲げ、「夢をかたち」にするため、地域に密着した活動を進めようと新年度をスタートされています。

第3グループ7番目のクラブは栗山クラブです。関吉一郎会長年度は新世代に目を向けて地域の子供たちに活発な活動をしています。7月には近隣中学校11校が参加して「第9回栗山ロータリー旗新人戦野球大会」、新事業でロータリー防犯自衛団を立ち上げ青色灯をつけた車十台が町内をパトロールして安全な町づくりに奉仕しています。

第3グループ8クラブ目は当別クラブです。当別クラブは、札幌北クラブをスポンサークラブとして創設され33年になる充実したクラブです。当別町は宮城県岩手山伊達藩により開拓された縁で岩手山ロータリークラブと姉妹クラブ、又、スウェーデン・レクサンド市と当別町が姉妹都市交流を結んでいることもあり、スウェーデン・レクサンドロータリークラブとも長年交流を続けているクラブです。小野廣實会長年度もすばらしい特色ある国際奉仕をされることと思います。

第3グループ8クラブは「ロータリーの夢をかたち」にするため「元気」「活気」「ヤル気」で満ち溢れています。どうぞ第2510地区のロータリアンのメーキャップをお待ちしております。

第2510地区矢橋ガバナーのご健康とロータリアンのご活躍を念じ上げます。

ガバナー公式訪問

江別西ロータリークラブ

7月15日（火）

矢橋ガバナーにとって初めての公式訪問に選ばれたのは、第3グループの江別西ロータリークラブでした。晴天の下、滝沢会長に迎えられて公式訪問が行われました。吉野第3グループ担当ガバナー補佐とともに会長・幹事会及びクラブ協議会に臨んだ後、いよいよ例会となりました。

例会ではまず、この日新入会員となられた寺岡氏が、ガバナーよりバッジを付けられ、25名の会員から祝福を受けられました。朗らかなムードの中食事を摂り、その後のガバナーからの卓話では、ガバナーご自身のロータリー歴を実に真面目にかつ愉快にお話され、笑いを誘うほど砕けたムードを醸し出し、その後のお話もとても判りやすく、会員の皆様にご理解を得られた様子でした。

地区幹事の石丸氏から地区大会のご案内があった後、全員で記念撮影を行い、公式訪問は無事終了しました。



栗沢ロータリークラブ

7月16日（水）

本日、矢橋ガバナーが吉野ガバナー補佐と共に当クラブをご訪問下さいました。金山会長ほか、各委員長一同列席し、栗沢RCの事業計画や活動の様子を一通り確認くださいました。

その後、会員全員の例会に参加くださいまして、2008～09年度RI会長 李東建氏の紹介、今年度のテーマ、『MAKE DREAMS REAL』『夢をかたちに』を具体的に実践できるように、全うする為に強調事項を説明されました。

強調事項は、栗沢RCでも事業計画で実践する内容である事を確認された矢橋ガバナーから各全員に力強くお話をしました。

- 強調事項
1. 4つのテストの実践
 2. ロータリー財団に1人100ドル
 3. 1クラブ1名の増員達成



美唄ロータリークラブ

7月17日（木）

午前10時から矢橋温郎ガバナーをお迎えして吉野ガバナー補佐と本田会長、高橋会長エレクト、高田幹事の5人で懇談会をいたしました。話は、美唄の街の窮状や会員の減少の話、その中で露天掘りが復活して頑張っている話もあり、ロータリーの今後についても色々なご示唆をいただきました。また午前11時からクラブ協議会を白鶴の間で各委員長にご出席いただき、それぞれより今年の活動について伺いました。真ヶ口会員と田中会員は新入会員としてご挨拶もしていただきました。

午後0時30分からの例会においては吉野ガバナー補佐からガバナーの紹介をいただき、その後矢橋ガバナーから、暖かな人柄がにじみ出るお話を頂き、会員一同ガバナーに聞き入った次第であります。



赤平ロータリークラブ

7月22日(火)

矢橋温郎ガバナーと第2グループ担当神部ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。朝10時から会長・幹事・会長エレクトとの懇談会がもたれ、その後午前11時から各クラブ委員長との協議会を行いました。最後に12時半から例会が開かれ、無事終了しました。

新年度の初めに毎年、ガバナーと間近に接し、赤平ロータリークラブの活動状況をつぶさに説明できる数少ない機会なので、若林会長をはじめ、各委員長は熱心に話しに聞き入り、また、自分達の活動方針などを詳しく説明しました。例会での講話の冒頭で、西澤会員とはローターアクトクラブを通じて、旧知の仲である事を紹介され、表情もほぐれ、グッと身近に感じられました。



砂川ロータリークラブ

7月23日(水)

午前10時会長・幹事会、11時からクラブ協議会が開催された。会長から砂川クラブは「老壮青」バランスのとれたクラブと紹介を受けました。

女性会員の獲得に向けガバナーから例を挙げてのご示唆がなされ、また推奨ロータリー・クラブ細則2007年版手順要覧では、CLPに沿った文章に改正されたため、これに沿って細則を検討する機関設置を確約されました。例会は54名の会員のほとんどが出席してホテル自慢の手の込んだ料理が出され、ガバナーのスピーチに耳を傾けた。良く纏まったクラブだと感じられました。



滝川ロータリークラブ

7月24日(木)

午後4時より滝川クラブの会長・幹事会にエレクトと副会長が同席し、クラブの現況説明を受けた。滝川クラブは会員数102名の大クラブであり、一時途絶えていた女性会員の増強もなされた旨の報告があり、ガバナーもご満悦のご様子。

午後5時からクラブ協議会が行われクラブ奉仕関係の説明を副会長から、四大奉仕関係は各委員長から活動計画の説明が行われた。ここでも細則の検討について話題が及んだが、ガバナーが特に発言をされ「大きなクラブほどCLPの導入には前向きではない傾向があるが、滝川クラブも慎重に対処する」よう要望された。

例会時間を変更して午後6時から行われた例会では、点鐘に続きガバナーに敬意を表し国歌斉唱で始まり、滝川クラブ独自に歌い続けられている「四つのテスト」の斉唱を聴いていただいた。例会は大勢の会員とともに美味しい和食メニューであったが、やはり「土用の丑の日」のため、少しではあったが国産の鰻も出されていた。ガバナーには「鰻攻め」に感じた一日であったかも知れない。グループ内4クラブの公式訪問を終えるにあたってのスピーチは一層弁舌さわやかに感じられた。



(赤平RC、砂川IRC、芦別RC、滝川IRC報告：神部第2グループ担当ガバナー補佐)

芦別ロータリークラブ

7月24日(木)

午前10時に芦別クラブ会長・幹事・エレクト・副会長の御案内で自慢の「ロータリーの森」の見学に一寸したドライブをして、きれいに整備されたロータリーの歯車状に作られた花壇をバックに記念撮影をしました。その後、カナディアン・ワールドの中の「創立50周年記念桜の園」を見学し、植樹の苦労話で花が咲きました。例会場へ戻りクラブ協議会を行い、CLPに沿った形での細則の整備や退会者への配慮や救済策などについてガバナーの意見を求められた。例会は丁度「土用の丑の日」だったため、大変美味しい肉厚の鰻重を頂きました。ガバナーのスピーチは35分間の持ち時間を十二分に使ったテーマと地区目標の丁寧な解説を戴きました。



栗山ロータリークラブ

7月29日(火)

栗山ロータリークラブでは、矢橋ガバナーの公式訪問に合わせて、「栗山RC防犯パトロール隊」の結成を行いました。

最近の各種凶悪犯罪の続発から、子供達をそのような危険から守ることを念頭に、警察活動に頼るだけではなく、地域連帯の再生や交通安全運動など、犯罪に強い街づくりを目指して、自家用車によるパトロールを始めることといたしました。このためクラブとしてはガバナー公式訪問の当日に、矢橋ガバナー及び吉野ガバナー補佐に御臨席を賜り、青色回転灯装備車パトロール隊結団・出動式を執り行いました。



2008-09年度のRIのテーマは「夢をかたちに」であります。時宜を得て当クラブでは「事故防止と犯罪防止」と置き換えて、その実践化に邁進します。

江別ロータリークラブ

7月31日(木)

当クラブは2008年7月31日、矢橋温郎ガバナーをお迎えしての公式訪問例会を開催し、会長・幹事懇談会では、矢橋ガバナーから今年度の李東建RI会長の方針、RI2510地区の近況などを聞くと共に、当クラブの現況、及び活動方針をお話しました。吉野顕隆ガバナー補佐、本田正一補佐幹事も同席いただき、協力的なお話を頂きました。

クラブ協議会では、各委員会の活動方針を発表し吉野ガバナー補佐から講評をいただいた後、矢橋ガバナーから総括していただき、「ほたる生息地の清掃」「子供たちと一緒の餅つき大会」「4つのテスト唱和」には評価を頂きました。

公式訪問例会では、「夢をかたちに」のRI会長方針、ガバナー地区目標についてお話をいただき、今年度の当クラブ活動の上で目標達成に役立ててまいります。有難うございました。



小樽南ロータリークラブ

8月1日(金)

午前10時より、矢橋温郎ガバナーと佐藤泰視第6グループ担当ガバナー補佐の出席のもと公式訪問に先だち、福島会長・斎田次期会長・板垣幹事が同席して懇談会を開催しました。第2510地区の今までの歴史及び現況について懇談し、その後今日の公式訪問の進行について協議を行いました。

午前11時より、クラブ協議会を開催し、そこでクラブ奉仕委員長を始め各委員長より今期の活動計画について発表し、ガバナーよりアドバイスをいただきました。特に岡崎ロータリー財団委員長の財団寄付についての決意表明や、今期で2年目に入ったCLPについては好評を頂きました。

午後12時30分より、例会を開催し矢橋ガバナーのロータリー歴を披露していただきながら、ロータリーについてのお話を伺い、矢橋ガバナーの人の温かさやロータリーへの熱い思いを感じさせていただきました。



新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



金内 俊市
(深川IRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
信用金庫



水上真由美
(深川IRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
医療法人評議員



菱口 亮
(深川IRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
老人ホーム



彦坂 忠人
(千歳セントラルRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
農業コンサルタント



匂坂 将史
(えりもRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
配管工事



柳 昌好
(えりもRC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
福祉協議会



齋藤 俊一
(室蘭北RC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
病院経営



岩淵 健悦
(砂川IRC)

■入会/
7月2日
■職業分類/
鉄筋加工



大橋 俊彦
(砂川IRC)

■入会/
7月2日
■職業分類/
配管工事



羽染 晋
(羽幌RC)

■入会/
7月3日
■職業分類/
一般自動車販売



藤田 智敬
(羽幌RC)

■入会/
7月3日
■職業分類/
生命保険



木村 清延
(岩見沢RC)

■入会/
7月3日
■職業分類/
労災病院



中村 興治
(岩見沢RC)

■入会/
7月3日
■職業分類/
耳鼻咽喉科医



金刺 秀明
(岩見沢RC)

■入会/
7月31日
■職業分類/
電気供給



安藤 泉
(新札幌RC)

■入会/
7月9日
■職業分類/
電気工事



野元 和光
(千歳RC)

■入会/
7月10日
■職業分類/
旅行業



中村 修治
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
通信機器販売



大森 徹
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
印刷



谷口 博俊
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
電気通信



佐藤 文則
(苫小牧RC)

■入会/
7月18日
■職業分類/
地方銀行



長谷川 滋
(苫小牧RC)

■入会/
7月18日
■職業分類/
ホテル



越水 一賀
(岩見沢東RC)

■入会/
7月15日
■職業分類/
生命保険



後藤 満
(伊達RC)

■入会/
7月15日
■職業分類/
新聞発行



池田 昌弥
(苫小牧北RC)

■入会/
7月22日
■職業分類/
OA機器販売

地区委員会報告

■委員会名： 米山記念奨学委員会	■開催日： 2008年 7月12日（土）
■委員長： 大石 春雄	■開催場所： 札幌サンプラザ
	■出席人数： 6人

札幌サンプラザにて地区委員6名が集い、本年度第1回委員会を開催し、下記の内容の検討を行いました。

1. 2009学年度指定校と被推薦者数の決定について
 - ・指定校は14校 被推薦者数は42名に決定
2. 2008—2009年度行事計画について
 - ・米山奨学生研修旅行を9月20日（土）に開催することとなった。
 - ・地区大会において展示ブースを設けることとなった。
 - ・次年度候補生の試験案内は12月に発送することとなった。
 - ・次年度奨学生選考試験を2009年1月10日（土）に行うこととなった。
 - ・2009年3月終了者の歓送会を2009年2月21日（土）に行うこととなった。
 - ・カウンセラー研修を2009年4月18日（土）に行うこととなった。
3. 決算及び予算について
4. 今年度の行事担当について

■委員会名： GSE委員会	■開催日： 2008年 7月22日（火）
■委員長： 岡崎 芳明	■開催場所： 場所：ロイトン札幌3F
	■出席人数： 9人

岩城財団委員長の同席を賜り、地区の全ての委員8名がそろい、下記の内容の検討を行いました。

1. 本年度の活動計画について、次年度に行われるGSEプログラムの準備として、チームリーダーの募集、メンバーの募集、および受け入れのためのコーディネーターの選出、受入クラブの選定を行うこととした。
2. 次年度GSEプログラムの相手地域として、スウェーデンの第2360地区に決定しているが、派遣・受入の時期については2010年4月に受入、5月に派遣という日程を基本として準備することとなった。
3. 本年度活動内容に関わる各委員の役割分担を行った。
4. 今年度の具体的な活動の第1として、チームリーダーの選出があり、このため地区内のクラブに推薦をお願いすることとなった。
5. 今後の委員会開催日程を決定した。

2011—2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 矢橋 温 郎
地区ガバナー指名委員長 塚原 房 樹

2011—2012年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定



(251号)

〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より（2）

- ◎ [ロータリーの理想]
ピチャイ・ラタクル 2008 6p
(D.2580 地区大会記録)
- ◎ [ロータリーの向うべき道 (シンポジウム)]
小沢一彦 (モデレーター) 2008 23p
(D.2780 地区大会報告書)
- ◎ [職業奉仕の重要性について
(2008年国際協議会レポート)]
渡辺好政 2008 2p
(D.2690 月信)
- ◎ [ロータリーの綱領]
鈴木政昭 2008 2p
(D.2800 月信)
- ◎ [決議23-34の徹底的解析]
田中 毅 2008 8p
(D.2510 地区大会記録)
- ◎ [決議34号]
鈴木政昭 2008 3p
(D.2800 月信)
- ◎ [増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法
それは新会員の意識を高めることから出発する]
服部芳樹 2008 5p
(D.2510 地区大会記録)
- ◎ [今だからこそ問う ロータリーとは何か]
深川純一 2008 8p
(D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ [ロータリーを生きる]
佐古亮尊 2008 13p
(D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ [CLPとロータリー]
神崎正陳 2007 6p
(D.2500 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

9月のロータリーレート 1ドル=108円

2009～2010年度 青少年交換留学生募集のお知らせ

次年度（2009～2010年度）長期青少年交換留学生を下記のように募集しています。ご希望のクラブは、応募されるようお願い申し上げます。尚、本プログラムはロータリアンの子女、孫も参加可能なプログラムですので貴クラブ会員に広く広報くだされば幸いに存じます。留学先のご希望は伺いますが最終決定は面接、オリエンテーション後になりますのでご理解ください。

国際奉仕を兼ねた新世代プログラムです。

募 集 内 容

- 募集期間 …… 2008年9月30日締切り
 交換国(派遣) …… アメリカ、オーストラリア、カナダ、フィンランド
 派遣期間 …… 2009年8月～2010年7月 1ヶ年間
 募集人数 …… 15歳～19歳未満の男女 7名（中・高校生）
 面接、説明会 …… 10月上旬予定（後日委員会より連絡）

申込・問い合わせ 〒004-0021 札幌市厚別区青葉町9丁目4-15
 国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会事務局 土田 義也
 TEL 090-8706-4847 FAX 011-802-2512

■邦訳版ロータリー章典の改訂版、2008年6月版のウェブ掲載

RIのウェブサイトを「会員」、「方針と手続」、「方針に関する文書」と順次リンクしていただく関連資料にロータリー章典が掲載されておりますので、こちらからダウンロードすることができます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/PoliciesAndProcedures/PolicyDocuments/Pages/ridefault.as>

なお、直接ファイルをご覧になる場合には以下のリンク先をご利用ください。
 ファイルサイズは4.2MBになります。

http://www.rotary.org/Rldocuments/ja_pdf/code_ja.pdf

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別RC：9月18日（木） 移動夜間例会 18：30～
場所：マリナーラ（江別市緑町東3丁目）
- 9月25日（木） 移動例会 12：30～
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）
- 江別西RC：9月9日（火） 江別西・青年会議所合同夜間例会 18：30～
場所：市民会館
- 岩見沢東RC：9月23日（火） 移動例会「第11回岩見沢東RC杯争奪少年サッカー大会」 09：00～
場所：岡山スポーツフィールド
- 小樽RC：9月9日（火） 移動例会 12：30～ 場所：小樽公園子供の国
- 室蘭RC：9月18日（木） 夜間例会 18：00～ 場所：室蘭プリンスホテル
- 室蘭東RC：9月14日（日） 家族同伴野外例会
- 9月17日（水） 振替休会
- 室蘭北RC：9月2日（火） 夜間例会「ガバナー公式訪問」 18：00～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 9月7日（日） 移動例会「知利別川清掃活動・植樹」 場所：知利別川
- 9月9日（火） 振替休会
- 9月23日（火） 休会
- 苫小牧RC：9月19日（金） 夜間例会「相模原RC公式訪問歓迎夜間例会」 18：00～
場所：グランドホテルニュー王子

出席率・会員数

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.7.31	増減	内女性	
1	深 川	5	36	36	0	3	89.03
	羽 幌	4	48	48	0	1	83.00
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	91.66
	小 平	3	14	14	0	0	71.43
	留 萌	5	45	45	0	0	90.48
	小 計			152	152	0	4
2	赤 平	4	29	28	-1	1	83.50
	芦 別	5	44	44	0	0	90.76
	砂 川	5	52	54	2	0	97.74
	滝 川	5	99	101	2	1	82.00
	小 計			224	227	3	2
3	美 唄	5	38	38	0	0	85.04
	江 別	5	34	34	0	1	89.41
	江 別 西	5	27	28	1	3	92.82
	岩 見 沢	5	87	90	3	0	89.33
	岩 見 沢 東	5	34	35	1	4	88.60
	栗 沢	5	23	24	1	1	100.00
	栗 山	5	26	26	0	2	96.52
	当 別	5	34	34	0	0	84.27
	小 計			303	309	6	11
4	札 幌	5	117	120	3	0	97.56
	札幌あけぼの	3	18	18	0	1	94.00
	札幌はまなす	5	25	25	0	4	71.19
	札 幌 北	3	43	43	0	6	87.81
	札幌モーニング	5	49	51	2	0	77.12
	札 幌 西	4	62	63	1	4	94.98
	札 幌 西 北	5	39	41	2	5	93.63
	札 幌 手 稻	4	34	35	1	1	93.58
	小 計			387	396	9	21
5	札 幌 東	5	120	120	0	0	96.65
	札 幌 清 田	5	18	18	0	4	96.67
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	99.58
	札幌真駒内	5	35	35	0	3	94.12
	札 幌 南	3	92	95	3	0	96.45
	札幌大通公園	3	9	9	0	2	85.19
	札幌セントラル	4	14	14	0	6	68.50
	新 札 幌	5	32	33	1	3	87.41
小 計			385	389	4	18	90.57
6	岩 内	5	21	21	0	0	90.78
	俱 知 安	5	46	46	0	4	75.20
	小 樽	5	69	69	0	0	86.25
	小 樽 南	4	73	73	0	0	85.21
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	85.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	78.78
	余 市	5	39	41	2	4	92.20
	小 計			280	282	2	10

7月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,853人(98人)
増加会員数	37人
当月平均出席率	86.64%

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.7.31	増減	内女性		
7	千 歳	5	63	64	1	3	80.30	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	72.14	
	恵 庭	4	39	41	2	0	90.38	
	北 広 島	5	17	17	0	0	92.94	
	長 沼	3	20	20	0	3	75.00	
	由 仁	5	10	10	0	0	82.22	
	小 計			184	187	3	7	82.16
8	え り も	5	22	22	0	0	94.70	
	三 石	3	15	15	0	1	97.78	
	様 似	4	23	23	0	1	87.50	
	静 内	5	72	72	0	1	90.50	
	浦 河	5	34	34	0	2	92.35	
	小 計			166	166	0	5	92.57
	9	伊 達	4	53	54	1	0	77.70
室 蘭		4	43	44	1	0	86.07	
室 蘭 東		5	41	42	1	0	80.86	
室 蘭 北		5	34	34	0	2	99.41	
登 別		5	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		5	9	9	0	0	80.00	
小 計				211	214	3	4	84.65
10	函 館	4	87	87	0	0	78.84	
	函 館 亀 田	3	45	45	0	2	100.00	
	森	4	34	35	1	0	78.30	
	七 飯	4	16	16	0	0	77.10	
	長 万 部	4	10	10	0	0	85.00	
	函館セントラル	4	24	27	3	1	74.08	
	小 計			216	220	4	3	82.22
11	江 差	5	19	19	0	1	80.00	
	函 館 五 稜 郭	4	55	55	0	0	100.00	
	函 館 東	5	45	45	0	4	84.23	
	函 館 北	5	30	31	1	0	91.76	
	北 斗	5	19	18	-1	2	65.80	
	松 前	2	5	5	0	0	80.00	
	小 計			173	173	0	7	83.63
12	白 老	5	26	26	0	0	74.40	
	苫 小 牧	4	50	54	4	2	73.40	
	苫 小 牧 東	4	25	25	0	2	90.50	
	苫 小 牧 北	4	34	33	-1	2	94.46	
	小 計			135	138	3	6	83.19
合 計			2,816	2,853	37	98	86.64	

地区カレンダー（9月・10月）

9月 新世代のための月間	
1 (月)	
2 (火)	公式訪問 (伊達RC、室蘭北RC)
3 (水)	公式訪問 (室蘭東RC、登別RC)
4 (木)	公式訪問 (室蘭RC)
5 (金)	公式訪問 (洞爺湖RC)
6 (土)	
7 (日)	滝川RC創立50周年記念式典 (滝川) 第2グループIM (滝川)
8 (月)	公式訪問 (三石RC)
9 (火)	公式訪問 (浦河RC、様似RC)
10 (水)	公式訪問 (静内RC)
11 (木)	公式訪問 (えりもRC)
12 (金)	
13 (土)	第6グループIM (岩内)
14 (日)	第2830地区識字率向上セミナー (青森) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー (東京)
15 (月)	敬老の日
16 (火)	公式訪問 (千歳セントラルRC)
17 (水)	公式訪問 (恵庭RC)
18 (木)	公式訪問 (小樽銭函RC)
19 (金)	公式訪問 (札幌あけぼのRC)
20 (土)	第11回源流セミナー (札幌) 地区米山奨学生研修旅行 (小樽・二木)
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	秋分の日
24 (水)	公式訪問 (倶知安RC)
25 (木)	
26 (金)	函館北RC創立45周年記念式典 (函館) 公式訪問 (苫小牧RC)
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	公式訪問 (長万部RC、函館亀田RC)
30 (火)	公式訪問 (函館東RC、函館五稜郭RC)

10月 職業奉仕月間、米山月間	
1 (水)	公式訪問 (森RC)
2 (木)	公式訪問 (函館RC)
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	公式訪問 (札幌南RC)
7 (火)	公式訪問 (当別RC)
8 (水)	公式訪問 (札幌モーニングRC)
9 (木)	公式訪問 (苫小牧東RC)
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌) 体育の日
14 (火)	公式訪問 (苫小牧北RC)
15 (水)	
16 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	公式訪問 (函館セントラルRC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
25 (土)	地区年次大会 (札幌)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問 (白老RC)
29 (水)	公式訪問 (新札幌RC)
30 (木)	公式訪問 (千歳RC)
31 (金)	

●●●●● 地区大会記念行事へのお誘い ●●●●●

地区大会の記念行事として、囲碁大会とゴルフ大会を下記の日程で行います。普段はなかなか知り合える機会の無い、ロータリアンが趣味を介してお知り合いになれる絶好の機会です。是非多くの皆様の参加をお待ちしております。

また、地区大会当日のスパウス・プログラムも用意しておりますので、お誘い併せの上ご参加頂ければ幸甚と存じます。

地区大会登録後でも、記念行事への参加受付は行っておりますので、各クラブを通じて、大会事務局までお申込頂きますようお願い申し上げます。

囲碁大会	10月13日(月) 敬老の日 午後0時より 登録料 5,000円 日本棋院北海道本部囲碁会館にて
ゴルフ大会	10月24日(金) 午前7時30分スタート 登録料 10,000円 札幌南カントリークラブ 駒丘コース プレー代 7,000円
スパウス・プログラム	10月26日(日) 午前10時より 登録者は無料 北海道大学博物館見学、サッポロ海陽亭にて昼食 (インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、ROTEX、 米山奨学生、財団奨学生、米山・財団学友も参加できます)
■連絡先：地区大会事務局	〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階 国際ロータリー第2510地区 地区大会実行委員会事務局 TEL 080-3296-2510 FAX (011) 207-2512 e-mail: rid2510dcc2008@sc-ltd.co.jp

| 編 集 後 記 |

去る7月5日、矢橋ガバナーは意を決してローターアクトクラブ(RAC)の提唱クラブ会議を招集した。停滞気味のローターアクト(RA)活動に活を入れようとしたのである。内容はレポート(地区RA委員会)に譲るとして、当日赤平ロータリークラブの若林会長の話が一際目立った。即ち赤平市は夕張化を防ぐとして官民あげて再生化運動を行っている。為に土日の会合には仲々出席出来ぬとの事。今日も委員が出席不可能の為、一人参加したわけだ。市民を総動員し活動しているが人口減、不況感、等々でロータリークラブの増強もままならず、メンバー一同大変苦勞をしている。それに反し、ここ数年赤平RACの元気が良い。会員も増えている。その理由は市民あげてのボランティア活動に触発された若い人々の危機感の現れではないか。会やロータリーがしょぼくれ、若い人々の元気に勇気づけられているとの話に一同大きく頷く。これを聞いていた悪戯っ子曰く、今後RACがRCを提唱する現象が起こるのではないかと、一同大爆笑。

7月24日夕刻、編集会議も終わりに近付いた頃、突如札幌南RC事務局より遠藤正之PG逝去の報が入り一同慟然とする。就任以来、年度前10数回に及ぶ研修会合を行うに当たり、地区研修リーダーの遠藤正之PGの懇切な指導を受け、無事職責を果たしたところである。一番最近では4月開催の地区協議会では、熱心な

ご講演を拝聴したシーンを皆脳裏描いていたからである。後で聞き及んだところ、その時分には既に相当深く病魔に冒され、我慢の極に達していたという。

告別式はキリスト教会で厳粛に執り行われ多くの参拝者が出席した。そのときの神父による在りし日の遠藤正之PGの経歴の一端は我々の胸を打つものであった。一部を要約すると、遠藤正之PGは室蘭中学の校長を父に持ち、地元の室蘭工業大学に進んだが、うつうつとして1日とも心の安らぐ日は無かったという。青年らしい理想に燃え、自分の在り方はこれで良いのか、人の為に尽くすには何が出来るのかと自問自答の毎日であったという。結果として医学の道に進み、人の不幸を少しでも和らぐのが自分の使命であるとして札幌医科大学に入学し勉学に励むのである。学生時代、キリスト教に触れ入信、札幌北一条教会で洗礼を受け、キリスト教の青年医師団と無医村にバス診察の巡回に精を出す事になる。その後、同じ小児科医師仲間とポリオ撲滅の運動を展開。驚く事に後年、国際ロータリーが取上げるずっと以前にである。そんな若い青年医師時代の紹介があったわけだが、親しい交際をさせて戴いていた我々にも全く知らない事が多かった。それだけ遠藤正之PGは自慢話とも取られがちな事を我々に開陳する事もなく世を去った。

遠藤正之PGのご冥福を心よりお祈り申し上げます。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：共和町 神仙沼
撮影：村上 登 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.4
2008
10

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ガバナーメッセージ
- 2 職業奉仕月間にあたって
- 3 ロータリー米山記念奨学事業とは
- 4 米山奨学事業にご理解・ご協力を
- 5 地区米山学友委員会の活動について
- 6 米山奨学生紹介
- 6 私の“Rotary Notes”
- 国際ロータリーのビルダー
- 8 ガバナー補佐レポート
- 3か月、60年、104年、
- 9 クリンギンスミス氏が2010-11年度RI会長に指名される
- 10 第2グループIMと滝川クラブ創立50周年
- 12 第2510地区親睦野球大会を終えて
- 13 地区委員会報告
- 2008-2009年度 WCS事業申請締切日のお知らせ
- 14 ガバナー公式訪問
- 17 訃報 岩田弘志 前ガバナー補佐が逝去
- 18 新入会員のご紹介／訃報
- 19 岩手・宮城内陸地震災害義援金報告
- ロータリー財団寄付
- 米山記念奨学会寄付
- 20 2008-09年度 地区大会来訪 RI会長代理の紹介
- 2011-2012年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い
- 文庫通信
- 21 出席率・会員数
- 22 地区カレンダー(10月・11月)
- 23 地区組織図等の変更について
- 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

札幌でお会いしましょう

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

今年度第1四半期が終わり、今月はいよいよ地区大会です。大会2日目、記念講演にはふたりの講師をお迎えします。

おひとりは、北海道出身の寺島実郎さん。(財)日本総合研究所の会長、三井物産戦略研究所の所長ほか様々な要職・公職を抱える論客です。テレビや雑誌に頻繁に登場しては、国際紛争から地域社会の課題まで、難しいテーマをすらすらと解説されます。お忙しい日常、情報収集等よく勉強する時間があるものだ、と週刊誌の寺島さんのコメントを眺めながら感心しております。翻ってガバナーを仰せ付かっている私。ロータリアン歴だけはいたずらに重ねてきましたが、さてロータリーについて語れと言われると、いまだ心許無い。ただ、公式訪問を毎日のようにこなしておりますもので、場慣れはしました。PETSの頃は、緊張のあまり口の中が乾き切って、唾液の出る薬を買い求めたほどでしたが。日本中の視聴者を相手に持論を展開する寺島さんですから、ロイトンのステージでもよどみないお話を聞かせてくださることでしょう。45年前、当地・札幌を闊歩する寺島さんの高校生姿を思い浮かべながら、みなさんと一緒に拝聴したいものです。

もうひとり三浦雄一郎さん。世界歴代2位となる75歳でエベレスト再登頂を果たしたのが、5月26日。講演日のちょうど5ヶ月前です。後期高齢者の星!なんて崇められているそうです。ロータリアンにも75歳前後の方は多いですね。斯く言う私も、三浦さんより2年若いだけ。若いからといってエベレストを目指せるわけもなく、藻岩山を目指すのも躊躇します。膝関節の軟骨が磨り減っているようで、階段の昇り降りもきつい。トシだから仕方ない、と片付けようと思ったら、年上の三浦さんがエベレストに登っちゃった。

いつの時代にも元気な年寄りはいるもので、私の若い頃にも「あの爺さん、元気だなあ」と敬服した先輩がいました。自分が来年から後期高齢者と呼ばれる年代になってもなお、三浦さんのような元気な先輩のお話を聴けるのは嬉しいものです。

地区大会の記念講演、講師は例年おひとりですが、今年はおふたりにお願いしました。例年の2倍、お楽しみください。

地区大会にはRI会長代理をお迎えするほか、他地区からガバナーの来訪を受けます。同期のガバナーから「矢橋さんこの大会、行くからね」と言われると、ロータリーの友情を実感します。同時に、私も他地区の大会をいくつか訪ねる予定です。今月、大会を開催する地区は11地区。国内34地区の1/3が10月に集中します。来月は10地区。公式訪問の合間を縫っても、多くは出席できません。同期のガバナーは、米国における国際協議会の1週間の缶詰勉強で連帯感を養います。帰国後も情報交換やら相互訪問やらで、関係を持続させます。パストガバナーになってからも、同期で定期的に集まるのが慣例。先日も当地区のパストガバナーが音頭をとって全国から集結、道内を旅行されました。その旅程、札幌市内での夕食時、配られたお皿にはガバナーだった年度のRIテーマのロゴマークが刷られていたそうです。そのホテルの職員が、ローターアクトの元地区代表。たまたまその宴席を担当したので、パストガバナーたちに喜んでもらおうと趣向を凝らしたのだとか。久方ぶりのロゴを眺めながらの食事は、ますます盛り上がったことでしょう。

私は、「夢をかたちに」の赤と青のロゴを毎日見ながらガバナーの仕事をしています。今年度が無事終了し、同期のガバナーたちと集まって何年後か、ふいに「Make Dreams Real」が目飛び込んだら。思い出すのは唾液促進剤よりも、地区大会の会場を埋め尽くすみなさんの笑顔であることを期待して。

10月26日、札幌でお会いしましょう。

職業奉仕月間にあたって

地区職業奉仕委員長 網木 保利
(苫小牧東RC)

ロータリー哲学（理念）の中核、それは「職業奉仕」にあります。そして職業奉仕はロータリーが職業人の集まりであり、自らの職業の実践を通して他人の役に立とうとするから、「ロータリーの金看板」ともいわれます。すなわち「利益を得ながら奉仕を行う」ことがロータリーの基本です。ここで大切なことは、「奉仕の心」を伴わない実践ではなく心と実践が相俟って初めて、結果として利益が得られるのであり、それを称してロータリーの専門用語として「職業奉仕」といわれています。ロータリーにおける職業奉仕はA・Fシェルドン（1868—1935）の「He Profits Most Who Serves Best」（最もよく奉仕する者、最も多く報われる）によって今日の姿となっています。

私たち職業人が自分の事業を継続的に発展させようと願うこと、また企業経営によって利益を得ることは当然であり、決して卑しいことではありませんが、非合法・非道徳的な方法、他人から批判を浴びる方法で事業を伸ばしたり利益獲得に走った場合、一時的に大きな利益を得ることがあっても、それは決して長続きするものではない、ということも当然であります。

職業奉仕の実践は顧客の満足度を最優先した事業経営の方法ですから、結果として当然の如く高い職業倫理が発揚されます。それは、職業倫理の高揚を目的とした活動ではなく、職業奉仕を実践したならば、結果として職業倫理が高まるというものです。これが原始ロータリーにおける一般奉仕理念であり、四大奉仕の分化に伴って現在の職業奉仕に引き継がれてきました。

しかるに企業に纏わる不祥事が今なお続発し、後を絶ちません。例会出席での「精神的親睦」（ゴルフや懇親会のことではありません）を通して一人ひとりに感謝が芽生え、結果として利他の心を涵養し、この利他の心が善意を呼び起こし、互いに深い友情と信頼で結ばれ奉仕の理念を発揮する必要があります。

この職業奉仕を実践する一助として「ロータリアンの職業宣言」、職業奉仕を自己評価する尺度として「4つのテスト」が用意されています。また、私達は健全な人間教育を基礎として、初めてロータリーの「サービスの理念」とこれに基づく職業倫理を心の中に確立することが出来るのではないのでしょうか。「教育」とは知識を得ることではなく、能力を引き出すこと。つまり人間の資質の開発や発展を意味し、それは奉仕をすることを自らに適用することによって信頼性、忍耐力、行動力が高められ、勝者に導かれます。

日本においては今から400年前（江戸時代初期）に「鈴木正三」という思想家がおりました。「正三」の職業観は「何れの事業（ことわざ）も皆仏行なり」。すなわち「職業即仏行」を説き、ロータリー誕生の250年前に既に、当時の日本の民衆の中にこの職業意識を普及させました。特に「万民徳用」・「驢鞍橋」は戦後においても大きな影響を及ぼしました。これはまた、プロテスタントの職業倫理とも一致し、シェルドンのサービスの理念と対比しますと、ロータリー本来の職業奉仕とは違いますが、日本人が職業奉仕をより深く理解する上で意義あることと思われまます。

21世紀の産業構造は大きく変化しております。私達はシェルドンの職業奉仕を原点としつつ、綱領や（4方向を一つの単位としての）4つのテストを各クラブが積極的にその理解と周知、普及を奨励し、ロータリアン一人ひとりが力強く一步を踏み出してその理解と周知、普及に努め、時代の変化に即応した道徳律（倫理訓）を作ったり、新しい職業奉仕のあり方を話し合い、実践により自分が関係する周囲の経営環境や生活環境に強い影響を及ぼす時が来ているのではないのでしょうか。そして今一度低下した職業倫理の高揚を取り戻しましょう。格調高いロータリー理念の中にあつて、自らの職業奉仕でロータリーライフを楽しみたいものです。

ロータリー米山記念奨学事業とは

(財)ロータリー米山記念奨学会 常務理事 **伊藤 長英**
(苫小牧北RC・PG)

10月は米山月間です。ご承知の通りこの事業は、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

■**事業の使命** 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育成することです。“平和と国際理解の推進”そのものです。

■**日本独自の他地区合同奉仕活動** “日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として1952年東京RCが始めた事業が、日本全国のRCの共同事業として発展し、1967年に(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。日本独自の多地区合同奉仕活動です。

■**なぜ留学生支援なのか?** 「今後、日本の生きる道は平和しかない。それを世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないか」。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから50年以上の歳月が流れましたが、この事業の使命は一貫して不変です。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

■**日本最大の民間奨学事業** 最近の年間奨学生数約800名、事業費約14億5千万円、今までに支援してきた奨学生数は、累計で14,500人。その出身国は、世界113の国と地域に及ぶ。

■**世話クラブ・カウンセラー制度** 奨学金による経済的援助だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのがこの奨学事業の最大の特長です。「普通の学生生活では知り得ない日本社会を体験できた」「ロータリーの奉仕の心に触れて、人間的に成長できた」など、奨学生にはかけがえのない経験となると同時に、支援するロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し理解を深める機会となっています。

■**寄付金はこのように使われます** 頂いた寄付は、すべて奨学生のために使っています。管理費は利子収入で賄っています。

■**寄付について** 2007～08年度の一人当たり平均寄付額は、全国平均14,904円です。我が2510地区の平均寄付額は11,018円で、全国34地区中24位でした。矢橋ガバナーが今年3月2日に行われた米山セミナーにおいて示された目標額は前年度の目標と同額です。

普通寄付金：4,000円

特別寄付金：1ヵ月1,000円として 1ヵ年12,000円

普通寄付金+特別寄付金=16,000円です。

2007～08年度に目標を達成できたのは10クラブ、全国平均を上回ったのは14クラブでした。

尚、クラブ創立記念特別寄付及び地区大会記念寄付も各クラブや各地区から頂いています。

■**米山記念奨学会への寄付金には税法上の優遇措置が受けられます。(特定公益増進法人)**

個人が特別寄付をした場合：特別寄付金額-5,000円=寄付金控除額

法人が特別寄付をした場合：一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入できます。

■**米山学友の活躍と恩返し**の寄付 我々のお世話したアジアを中心にした米山学友は、すでに13,687名に達しています。彼ら学友は夫々の国で各界において活躍しています。その中の一人、北京で弁護士事務所を開いている姫軍(ジ・ジュン)さんからは、今年2回目の50万円のご寄付を頂き大口寄付者となり、今後毎年50万円の寄付をされるつもりと伺っています。また韓国の田鎬鎮(ジョン・ホ・ジン)さんは、毎月1万円の寄付を続けられ、既に36万円になりました。その他大勢の学友からのご寄付が合計1千万円を超える額に達しました。大変嬉しいことです。

■**広報活動** 今年6年ぶりにビデオ(DVD)を作成し9月中に各クラブへ送付しました。米山月間に各クラブにてご覧下さい。米山奨学事業・豆辞典は毎年作成し、全ロータリアンに配布しています。内容が大変充実していますので是非参考にして下さい。

米山記念奨学事業へのご理解を深めて頂き、ご協力をお願い申し上げます。

米山奨学事業にご理解・ご協力を

地区米山記念奨学委員長 **大石 春雄**
(札幌はまなすRC)

(財)ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

この米山奨学事業は、日本最初のロータリー・クラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで構想が立てられたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に文部省（現文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。これまでに113カ国から14,500人の奨学生が巣立っており、規模と実績ともに民間で最大の留学生奨学団体となっています。

今年度は、全国では813名の留学生を支援しており、中国47.0%・韓国14.1%・台湾6.6%となっております。第2510地区では、18名の奨学生を支援しており、中国9名、韓国3名、台湾2名、ラオス・フランス・カンボジア・スリランカ各1名となっております。

1. 目的・使命

米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。米山奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

2. 寄付金の推移

社会情勢の影響から毎年減り続けていた寄付金は、2005—06年度に普通寄付金、特別寄付金とも上昇に転じました。2007—08年度は普通寄付金0.91%減、特別寄付金0.42%増、前年度比0.42%の増となりました。因みに寄付額の総計は、1,451,904,470円であり一人当たりの平均金額は、14,904円でした。

第2510地区は、32,096,996円であり一人当たり平均額は11,018円であり、全国24位となっております。一人当たり最高額は、第2590地区神奈川県横浜市、川崎市で、29,169円となっております。13年連続首位を更新中です。留学生の支援人数は寄付金に応じて決定しますので、ロータリアン皆様の更なるご支援をお願いする次第であります。

3. 寄付金の目標

ロータリアンの皆様から頂いた寄付金は、全額奨学金として使われております。奨学金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は国内全クラブから各クラブで決められた金額×会員数です。特別寄付金は、任意の寄付であり会員個人、法人またはクラブからの寄付金です。今年度の矢橋温郎ガバナーは、普通寄付4,000円、特別寄付金12,000円、合計16,000円を目標とし、お願いしているところです。

最後に

米山奨学事業は日本のロータリアンが築きあげた、国際平和に資する奉仕活動です

日本に居ながら国際交流。母国の未来を担う若者にロータリースピリットを伝えましょう

卒業後も連絡を取り合い、クラブや地区に、近況を知らせてください

地区米山学友委員会の活動について

地区米山学友委員長 村上 淳
(札幌東RC)

このたび米谷龍三前委員長の後を受けて、2008—09年度から米山学友委員長を仰せつかりました。なにぶんロータリークラブでの在籍も浅く、また米山奨学会や米山学友会についても初めての経験であり、知識や理解がまだまだ不足しておりますが、台湾ご出身の米山学友会陳会長並びに見延初代学友委員長・米谷前委員長、更には大石米山奨学委員長の皆さんのご協力とご支援を頂きながら、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。たまたま私は、海外留学と海外勤務の経験が約6年近くあるので、その経験も今後少しでも役に立てることができればと思います。米山学友会は、この12月でちょうど10周年とのことですし、米山学友委員会も7年目に入ったと聞いております。5月31日に開催された米山学友家族懇親会で初めて会員の皆さんにお会いでき、短い時間でしたが熱心な皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。

次年度の活動方針は、基本的には従来の方針を継承して行きますが、今年度RIのテーマである「夢をかたちに」に則ってその実践に向けて努力すると共に、ロータリーの基本的な理念である「四つのテスト」にも沿った活動を目指したいと思います。

そして米山記念奨学会からの奨学金の支援を受けた留学生が、米山奨学期間の修了後も米山学友となって、現役奨学生とロータリアンとの交流を深めながら、将来日本と出身国とを結ぶ架け橋となつていただくと共に、ロータリーの理想とする国際交流と国際親善および国際平和の創造と維持に貢献するという目的を達成するための一助となるように、微力ながら努力して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

米山奨学生紹介

- ①国籍
- ②大学名
- ③課程学年
- ④専攻
- ⑤奨学金種類
- ⑥期間
- ⑦世話クラブ



ダシルワ・プブドゥ君
①スリランカ
②室蘭工業大学
③修士2年
④情報工学
⑤YM奨学生
⑥2007/4～2009/3
⑦室蘭RC



アヌルプアマイティ君
①ラオス
②鶴岡学園大学
③修士2年
④鶴岡学(畜産飼料)
⑤YM奨学生
⑥2007/4～2009/3
⑦江別西RC



周 宇君
①中国
②小樽商科大学
③修士2年
④現代商学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



何 曉光君
①中国
②札幌大学
③修士2年
④経営学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



黄 仕 豪君
①台湾
②札幌国際大学
③修士2年
④観光学研究
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦新札幌RC



王 大 力君
①中国
②北海道大学
③修士2年
④経営学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



楊 穎さん
①中国
②北海道文教大学
③修士2年
④言語文化コミュニケーション
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦恵庭RC



プーマニーウォン・ボンマツト君
①ラオス
②室蘭工業大学
③学部4年
④情報工学
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌RC



洪 嘉 偉君
①台湾
②鶴岡学園大学
③修士6年
④獣医学
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦江別RC



Kim Hyeon
①フランス
②北海道大学
③修士2年
④言語文学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌東RC



李 焜 直君
①韓国
②北海道大学
③修士2年
④現代経済経営
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌西RC



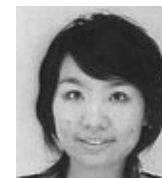
肖 桐さん
①中国
②北海道大学
③修士2年
④生命理学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌東内RC



ディアブ・チャムラウン君
①カンボジア
②北海道大学
③学部4年
④情報工エレクトロニクス
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌西RC



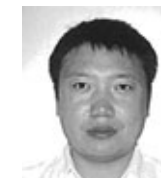
宋 昌 鎡君
①韓国
②北海道大学
③修士4年
④獣医学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌RC



宿 媛さん
①中国
②北海道大学
③修士2年
④海洋応用生命科学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦西館五稜RC



田 元 勇君
①中国
②北海道大学
③修士2年
④環境起学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦西館東RC



于 洪 文君
①中国
②北海道大学
③修士3年
④環境起学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌手稲RC



金 銀 珠さん
①韓国
②北海道大学
③修士2年
④国際広報メディア
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌はまなすRC



国際ロータリーのビルダー

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《チェスレイ・ペリー》

“THE GOLDEN STRAND”によるとポール・ハリスがロータリーの全国組織を夢見たのは、第2番目のサンフランシスコ・ロータリークラブが出来た1908年の秋であると書かれています。ペリーはロータリークラブの連合会（現在の国際ロータリーの前身）を作ることに詳細な計画を立てていました。しかしこの新しい組織の一員として忠誠を誓うことに対して、多くのシカゴクラブの会員たちは造反しました。No1クラブを自負する彼らは「我々のクラブから自由な行動を奪う」と叫びました。またあるものは「それぞれのクラブに自治権を与えるべきです。われわれは協力をいといませんが、制限を受けようとは思いません」と主張しました。しかし他の一派はこう主張しました。「ちょうどいくつかの州がアメリカ連邦政府を形作っているように、ロータリークラブの連合には力があります。統合された連合会ならもっと多くのことが遂行できるに違いありません」この見解が最終的に勝利をおさめました。そして1910年16のロータリークラブがシカゴのコンGRESSホテルで第一回全米ロータリークラブ連合会が開催されました。

《デザイナーとビルダー》

ポール・ハリスは言いました。「もし自分がロータリーの設計者といわれる資格があるとすれば、チェスレイ・ペリーは間違いなく国際ロータリーの建設者である。」まことにその通りで彼のロータリーのビルダーとしての功績はハリスの陰に隠れていることが多いが、もしペリーがいなかったなら今日のロータリーは望めなかったでしょう。チェスレイがシカゴクラブに入会したのは1908年でハリー・ラグルスが紹介者でした。入会時に彼がロータリーに期待したものは「友情」でしたがその点は期待通りでした。しかしペリーはそれ以外にはるかに強く印象付けられるものを発見しました。そのとき彼は36歳で、19世紀から20世紀への変り目に起こった「食うか食われるか」の激しい商売の世界を十分すでに知りつくしていました。ところが彼の驚いたことに、ロータリアンの実業家はお互いに助け合い、さらに競争相手と仲良くしているではないか。彼はロータリーの「奉仕の理想」を“Thoughtfulness and helpfulness to others”（他人への思いやりと助け合い）と表現しました。

これは“The Golden Rule”（黄金律）で「マタイ伝」の中の「己の欲することを人のためにせよ!」と言うキリストの言葉です。同じ意味のことは、釈迦も孔子も、モハメッドも述べている、つまり世界万人に通用する道徳律なのです。ペリーは52年の長い間ロータリアンでした。特に1910年からの32年間は国際ロータリーの事務総長（幹事）を務め、その間にロータリーの定款・細則を整備し、また、RIの行うべき任務を組織化しました。彼は名利には恬淡で、数々の功績にもかかわらずRIの会長にはならず、生涯を一ロータリアンとして、ハリスを助けロータリーの発展に尽くした偉大な人でした。

《生涯一ロータリアン》

1954年のシアトルの国際大会でペリーを名誉事務総長に推薦する提案がなされ、会場は満場一致で賛成しようとなりました。その時会場の片隅から年老いた一人のロータリアンが立ち上がり、「ロータリアンは何一つ野望を持つべきではない。ただ一ロータリアンとしてあるのが理想である。従って彼はこの提案である名誉事務総長を辞退すべきだと考えます。かく言う私の名はチェスリー・ペリーであります。」と。会場はしばし万雷の拍手が鳴りやまなかったそうです。

彼はシカゴロータリークラブの会員であることに誇りを持ち、RIの事務総長の職を辞した2年後に、シカゴクラブの会長を務めました。

《ペリーのロータリー観》

ペリーは、ロータリーは決して独裁的な組織であってはならない、常に各クラブの自主性を尊重しなければいけないという固い信念を持っていました。さらにクラブよりロータリアン個人のほうがはるかに重要だと考えていました。世界を改造する最善の方法は、人間そのものを改造しなくてはならない、人間個人の進歩こそ最大の重要事項であると信じて疑いませんでした。

現在RIは各クラブの地域性などを無視して、RIの方針に従うのは当然とばかり、半強制的に世界中のクラブを判で押したような画一的なクラブにしようとしています。DLPやCLPをはじめ指導力養成マニュアルが次々開発され、クラブの自主性は薄れました。われわれは円滑なクラブ運営のためにはRI提唱の科学的組織マネジメントの弊害も心得ておかねばなりません。

《CLP導入の準備》

近年、ロータリーの研修資料はCLP採用を前提として編集されています。CLPは個々のクラブの強化のために推奨される管理体制です。RIはDLPの延長線上としてクラブに強力に採用を奨励しています。当地区としては、次年度は地区、クラブともに十分な検討期間にしたいと考えています。なぜなら導入するためにはクラブの長期的ビジョン策定推進のマニュアル作りが先決です。クラブがCLPを導入するためには、現在、次期、元クラブ指導者による長期計画の策定など9項目の条件をクリアしなければなりません。大切なことはRIから言われたからCLPをやるのだということではありません。日本には日本のクラブ運営の特徴がありますし、それぞれのクラブにもそれぞれの特徴があるので丸写しをすることは避けなければならないというのが当地区の考えです。魅力あるクラブ作りのためまず各クラブの明確な意思とビジョンが必要なのです。

《真のリーダーシップ》

元RI会長のラタクルさんは、2005年のアナハイムの国際協議会で、リーダーシップについてスピーチをされました。「最も理想的な指導者とは、部下からその存在さえも意識されない。部下から敬愛される指導者は、それよりも一段劣る。これよりさらに劣るのは部下から恐れられる指導者である。良き指導者とは、功を成し遂げても自らはそれについて語らず、人々が『われわれが自分たちの力で成し遂げたのだと喜ばは、それで目標は果たされたとする』という中国の思想家・老子の教えを引用しました。

1960年2月のある寒い日曜日の朝、自宅から郵便物を小脇に抱えてポストへ歩んでいったペリーは枯れ木の崩れるように倒れ、天国に召されてゆきました。享年88歳でした。遺骨は遺言によって一生、住み働いたシカゴやエバンストンの町から毎日眺めて暮らしていたミシガン湖に撒かれました。



3ヵ月・60年・104年.

地区ガバナー補佐（第4グループ担当）

大島 利一

（札幌西北RC）

第4グループのガバナー補佐に就任してから3ヵ月になる。指名を受けてからだ9ヵ月になる。私の担当するクラブは8クラブである。これまでに各クラブを2回訪問させてもらった。第4グループの紹介はノルマの訪問回数終了後に報告したいと思う。自分のホームクラブ以外のクラブに訪問する機会が余り無かったので他クラブの運営や例会の楽しみ方・特色などホームクラブと違う活動と親睦が見られ訪問毎に新しい発見がありロータリー活動が一層楽しさが増えて大いに勉強になりありがたい役職を与えて頂いたと心から思う。

私の趣味の一つに切手蒐集がある。蒐集暦は60年程になる。国際ロータリーが誕生してから104年目、私がクラブ会長を務めさせてもらったのが新しいロータリースタートの101年目だった。国際ロータリーの100年を祝って世界各国から記念切手が発行された。世界で切手を発行している国と機関は253程ある。そのうちロータリー100年記念切手を発行した国数は不明だが、私がこれまでに集めた国数は68カ国になる。小型シートを含め129種類になる。発行国のほとんどが発展途上国で聞きなれない国名が多い。切手のデザインでは1番多いのはロータリーのロゴマークだけのものが34種で、描がかれているロゴマークが正確なものかどうか検証するのも楽しいし、意地悪くロータリーから援助を受けたので儀礼的に発行した切手なのか推測するのも面白い。2番目に多いのはポリオに関連したデザインで中にはポリオのワクチン開発者ジョナス・ソークを描いた切手もありこのデザインからは本当に感謝して記念切手を発行してくれたのだと思うと嬉しくなる。3番目は子供の教育関係を描いた切手が16種類。ロータリーの創始者ポール・ハリスを描いた切手が14種で4番目。面白いのはポール・ハリスとケネディ大統領とのツーショットだと説明のある切手を良く見ると不適切行為で有名なクリントン大統領の写真だったり発展途上国の気にしない気質も見られ説明エラーを捜すのも楽しい。その他のデザインは飢餓・自然環境をテーマにしたものとなっている。日本で発行した切手のデザインは発展途上国の子供と思われるもので、どこの国の子供なのか不明でテーマもポリオなのか飢餓・識字なのか奉仕活動が良く分からなく切手蒐集家からの評価は低い。しかもグレナダ国発行の切手のデザインと類似しているのめいかなものかと思ってしまう。一般の人達に日本のロータリーの活動が理解してもらえるようなデザインとして切手を発行してもらうためにもロータリーとしての広報活動は大事なのだと考えさせられてしまう。2008～09年度のRIテーマは『夢をかたち』である。『夢をかたち』することは沢山ある。国際的・地区・グループ・クラブ・個人それぞれがコンセンサスを得てできることから“かたち”にして行けば良いと思う。大小にかかわらず“かたち”にするには汗をかく必要がある。切手を集めるのも結構汗がでる。たかが切手と思われるが、なかなかどうしてされど切手である。ロータリアンの切手蒐集家との切手談議で親睦と友情を深めるのも楽しい『夢』である。



発行国 パプアニューギニア
初代会長シルベスターとポール・ハリス



発行国 ネパル
子供とポリオワクチン



発行国 タンザニア
ポリオ開発者 ジョナス・ソーク



日本切手 シートの一部
子供たち

クリンギンスミス氏が 2010—11年度RI会長に指名される

記事：Jennifer Lee Atkin
国際ロータリー・ニュース2008年8月13日

米国（ミズーリ州）、カークスビル・ロータリー・クラブに所属するレイ・クリンギンスミス氏が、2010—11年度RI会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合は、10月1日をもってクリンギンスミス氏が会長ノミネーとなります。

ミズーリ大学で経営学および法律の学位を取得した後、ロータリー財団国際親善奨学生として、南アフリカのケープタウン大学へ留学し、大学院生としての研究を終えました。1973年より、カークスビルにあるノースイースト・ミズーリ州立大学（現在はトルーマン州立大学と改称）で総合弁護士と経営学の教授を務め、1995年に退職しましたが、その間5年にわたり、管理学部長の地位も修めました。

現在は弁護士事務所を経営するクリンギンスミス氏ですが、2001年から2004年にかけては、郡政委員を務めたほか、1971年からは、メーコン・アトランタ州立銀行の理事を、1982年からはChariton Valley Association for Handicapped Citizens（シャリトン・バレー障害者協会）の会長を務めています。ジュディー夫人との間には、子供が二人、孫が三人います。

1961年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998年規定審議会（インド、ニューデリーで開催）ならびに2008年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RIに奉仕してきました。1985—87年度にはRI理事となり、1986—87年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002年にはロータリー財団管理委員となり、2005—06年度には副委員長を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功労表彰状と特別功労賞の両方を受賞しています。さらに、ミズーリ州発育障害者のための計画審議会（Missouri Planning Council for Developmental Disabilities）による保護者・介護者賞（Parent/Caretaker Award）、社会奉仕に対するトーマス D.コシュラン賞（Thomas D.Cochran Award）、ミズーリ州司法協会青年弁護士会による表彰、自身が理事を務めたこともある米国ボーイスカウト・グレートリバー地方連盟によるSilver Beaver賞など、地域社会で数々の表彰を受けています。

ロータリーの最盛期はこれからやってくる、とクリンギンスミス氏は信じています。

「世界をより良くするために影響を与えるロータリアンの力と評判は、これまでになく高くなっていると思います。ロータリーの未来は明るいのです」とクリンギンスミス氏。「RIの長期計画とロータリー財団の未来の夢計画は、未来へのロードマップ（具体的計画）として優れています。しかし、協同パートナーの選定や、若年会員の勧誘、また、もっと若いリーダーが地区ガバナーとなれるよう地区に変革を促していくことについて数々の決断を下していくには、リーダーたちが型にはまらないビジョンと賢明さを持ち備えていなければなりません」



2010—11年度国際ロータリー会長の指名委員会により選出された、米国（ミズーリ州）、カークスビル・ロータリー・クラブのレイ・クリンギンスミス氏。
Photo by Alyce Henson/Rotary Images

第2グループIMと滝川クラブ創立50周年

地区ガバナー補佐（第2グループ担当）

神部 洋史

（滝川IRC）

去る9月7日（日）滝川市ホテルスエヒロで「第2510地区第2グループ（以下G）都市連合会（以下IM）」、「滝川ロータリークラブ（以下RC）創立50周年記念式典」および「創立記念祝賀会」が無事終了したので報告させて頂く。（なお記念ゴルフコンペと懇親会は前日の6日に砂川市の空知CCで無事終了した）

第1ラウンドは午後3時からのIMであった。G内の4クラブからは総計230名の内207名（実に90%）のご登録を戴いた。式次第に沿って報告すると、ガバナー補佐（以下AG）による点鐘、戸井実行委員長の開会宣言、再度AGが登壇して、ご来賓の紹介と変則的なIMの開催時期説明と3つの行事の同日開催のためにスリム化したIMに、ご理解を戴く挨拶をした。次に北谷次期AGの紹介と次年度各RC会長・幹事予定者の紹介、さらに齋木前AGへ記念品贈呈とセレモニーが執り行われ、厳粛な中にもロータリーの雰囲気にも包まれた役職の委譲式が行われた。IMの勉強会として塚原パストガバナー（以下PG）から50周年に相応しく『過去に学んで行動せよ』というタイトルでご講話を戴いた。（内容略記）



織田信長の「人間50年、化天（げてん）の内を比ぶれば、夢幻のごとくなり」、=半世紀と言えば長い、しかし過ぎてみればまた一瞬のことにように思われる、と解説されご講話が始まった。RIの50周年の記念式典は、1955年にシカゴクラブ発祥の地で盛大に行われたが、当時のRIの会長は「4つのテスト」の生みの親ハーバート・テラーであった。彼はこの式典で「過去は偉大な序曲である。過去に学んで行動せよ」という言葉を残した。この言葉をこれからの第2GのRC発展の礎石にして欲しい。そこにはすべてのRCにとって大事な行動と思索の源泉があるから。ロータリーの創立以来、「ロータリーとは何か」を探求してきた。そして得た結論はロータリーの目的は「人を作る運動」だということだった。職業人として自己の人格を高め自分の企業を繁栄させることができる。このことがロータリーの魅力であり、ロータリーの「存在理由」と「存在価値」はまさにそこに尽きる。そのため成人教育の場としてクラブ例会があり、例会出席と親睦が強調されてきた。今、ロータリーの目的が忘れられ、その結果魅力を失い、会員を失い、ステータスを失い、ロータリーはその土台から覆ろうとしている。

ポール・ハリスは「例会の一時間は神様になる時間だ」と言った。この良質な心を持って、会社に戻り企業をマネージすると社員を始め、顧客、取引先の間に友情あふれた関係が生まれる。最後にロータリーの本質を、「温故知新、先人が築いた過去智慧から学んで頂きたい」、と結んで満場の拍手で講話を終えられた。

矢橋ガバナー（以下DG）は総評の中で、塚原PGは、日本で有数の「ロータリーの生き字引」と絶賛し、同席された渡邊ガバナー・エレクト（以下GE）と、紹介された次年度会長・幹事さらには次期AGとにエールを贈られた。点鐘してIMは無事終了となった。

予定より15分ほど早く終わることが出来たのも、偏に塚原PGのご講話へのご配慮の賜物と感謝と感激をしているところである。

第2ラウンドは、午後4時からの滝川IRC創立50周年記念式典である。矢橋DG、渡邊GE、佐々木ガバナーノミニ（以下GN）をはじめ5名のPG、7名のAG、2名の地区幹事をはじめスポンサー・クラブである旭川IRC野口孝純会長、はるばる千葉県千倉RC（友好クラブ）の5名の会員や地区内外の各RCの会員と滝川市長をはじめ市内各界の長など約300名の出席のもと、凝りに凝ったビジュアルでハートフルな演出の式典が始まった。細田会長による点鐘の後、国歌とロータリーソングを斉唱、この10年間の物故者に黙祷を捧げ、柳実行委員長が冒頭式辞を朗読、充分に時間をかけてご参会された方々の紹介をして、会長挨拶と矢橋DGならびに田村滝川市長の祝辞と続いた。祝電を披露しスポンサー・クラブ表彰、会長・幹事・副会長経験者表彰、93歳になったチャーターメンバーの神部弘二名誉会員と43年間皆勤の佐藤克己会員を特別表彰した。記念事業として「ソーラップチ・キッズ・キャンプ」に記念碑とスノーモービル2台の目録贈呈を行った。滝川市からは大変喜んで戴き、市長より感謝状を授与された。式典は無事予定された時間内に終了し、点鐘して閉会した。



滝川市に開設準備中のキッズ・キャンプに対する今後に関しても注視していきたい。



最終ラウンドは午後5時半からの記念祝賀会であった。およそ300名の参加者を迎えて、鈴木副実行委員長が歓迎の挨拶を行い、海老原国学院短期大学学長の祝杯のご発声で開宴となった。DGやPG、さらにはAGや地区幹事と市長をはじめとする各界の長が座った上席は、さながら「滝川の地区大会前夜」を彷彿とさせる出来事であったように感じたのは私だけだったろうか。アトラクションは懐かしのオールデイズの曲に、チークダンスをする方も出るなど和気あいあいとした雰囲気最高の懇親の場であった。最後に滝川市選出の大河道議の万歳三唱で締め、比較的大きな会場にも関わらず、輪が幾重にもなった「手に手つないで」を川口RC会長エレクトの指揮で大いに熱唱し、盛会裏に散会となった。

ご出席された多くのご来賓各位、さらにはIMと創立記念行事に携わった滝川IRCすべての会員と、ご協力戴いた会員夫人に深甚なる感謝を申し上げ報告とする。

第2510地区親睦野球大会を終えて

岩見沢RC野球同好会 早川 卓伸
(岩見沢RC)

8月29日(金)前夜祭、8月30日(土)開会式と両日に渡り第27回全国ロータリークラブ野球大会地区予選での第2510地区親睦野球大会が岩見沢RCホストで参加チーム、前年度優勝の静内RC、伊達RC、滝川RC、今回初参加の小樽RC・小樽南RC連合の5チームで開催されました。以前は8チームの参加で盛大に行われておりましたが、会員の減少、高齢化によりチーム数が減り昨年は4チーム、今年度は小樽連合の参加にて5チームとなりました。

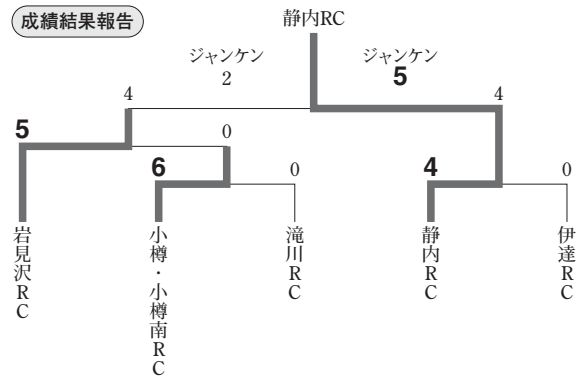


我が野球同好会は10年前、伊達RCの勧誘で初めて野球大会がある事を知り、過ぎ去りし青春時代の憧れの地、甲子園球場の素晴らしい感動と体験を味わいたく結成されました。結成時は滝川RCと対戦、大敗を喫し以後3年間連続1回戦敗退と不名誉な記録を更新し、その間新会員の増強、補強により優勝候補として恐れられるチームとして力をつけてきました。

今年度は8月29日(金)、例会に引き続き前夜祭が開催され公務多忙の中、名誉会員の岩見沢市長渡辺孝一様、また吉野ガバナー補佐のご臨席を賜り、5チーム計130名の参加で好意と友情の輪を広げて岩見沢の夜の



成績結果報告



街へと繰り出し、楽しい一夜を過ごす事が出来ました。

8月30日(土)、心配していた雨も上がり吉野ガバナー補佐の始球式で試合開始、小樽連合対滝川RCの対戦が行われ、昨日のアルコールが残っていたためか珍プレーが続出するなど和気藹々の中3試合が経過しました。決勝戦は予想通り昨年の決勝戦の再現、岩見沢RC対静内RCとなり実力伯仲で時間切れ4対4の引き分けで大会規定により9人のジャンケン勝負となりました。以前5連敗で敗れたことが思い出され、ジャンケンに弱い我がチーム、やはり2対5で敗れ昨年に続き見事、静内RCの優勝で盛会裡に終わることが出来ました。

また次回開催地は静内RCのホストで開催されることが決定されております。是非共、参加チームが増え親睦の輪が広がりますよう、また静内の夜で楽しい思い出を残せますようご期待申し上げます。

地区委員会報告

<p>■委員会名： GSE委員会</p> <p>■委員長： 岡崎 芳明</p>	<p>■開催日： 2008年8月25日（火）</p> <p>■開催場所： ロイトン札幌</p> <p>■出席人数： 9人</p>
<p>1. 派遣チームリーダーの選考（岡崎委員長） 前回の委員会の後、各クラブに要請したが、今のところ返事は無い。委員より、数名の候補者の名前が挙がり、その方々に接触を順次していくこととした。出来たら、10月の地区大会までに決定できると良いと考えている。</p> <p>2. 派遣メンバーの募集・選考（高橋委員、岡崎委員長） 募集を広く行うことが重要である。まず、募集の為にポスターを制作する必要がある。そのためのキャッチコピーを全員で検討することとした。このための掲示板を神部地区幹事が提供していただくこととなった。</p> <p>3. 相手地区との交信状況（石丸委員） 去る8月21日に、第2360地区よりRIIに対する申請書を提出した旨の連絡が入った。来年、バーミンガムで行われる国際大会に出席の意向も、連絡があった。</p> <p>4. 地区大会におけるブース設置の件（岡崎委員長） 地区大会実行委員会には、ブースの設置申込は行った。展示物をどのようにするか、また、どのような主旨で展示するか、次回の委員会までに検討し、次回決定する。次回は、9月17日（水）午後6時より、以上の討議を経て午後7時40分散会 出席者：岩城財団委員長、岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、石丸、泉、トーキル各委員、神部地区幹事</p>	

2008—2009年度 WCS事業申請締切日のお知らせ

日頃はWCS事業に御理解と御支援を頂き、誠に有難うございます。おかげ様で本年度も、20クラブ程の皆様にも事業参加への申請を頂き、事業の開始手続きに入っております。昨年度事業につきましても完了をし、現在、東南アジアの子供達、人々への大きな力になっております。

また、本年度はマッチング・グラントの申請締切などに伴う準備を要する事から、**事業申請締切日を2008年12月20日**と設定させて頂くことと致しました。

事業申請予定でまだ申請を完了していないクラブにつきましては、期日までに申請をお願い致します。今後ともWCS事業への御理解、御支援をどうぞ宜しくお願い致します。皆様の温かい御支援をお待ちしております。

（申請用紙は第2510地区WCS委員会ホームページからもダウンロードできます。御利用下さいませ）

地区WCS委員長 出村 知佳子



ガバナー公式訪問

長沼ロータリークラブ

7月28日（月）

第7グループ長沼RC2008-09年度の会長として1年間務めさせていただくことになりました田嶋です。ロータリー歴は浅く、会員の仲間にはいつも教えられることばかりです。これから先の1年間を考えると不安でいっぱいですが、長沼RCのメンバーの皆さんは、驚くほど真摯で誠実な方ばかりです。労を厭わずサポートしてくれる安心感があり心強い限りです。本年度の地区目標のひとつに1クラブ1名純増を達成しようがあります。当クラブはここ何年間増減なく18名を維持してきましたが、前年度1名、そして新年度早々1名の新会員を迎えることが出来ました。新会員と共に智恵を出し合い、更なるクラブの活性化をはかり、国際ロータリーのテーマ「Make Dreams Real」に貢献していきたいと思えます。



札幌大通公園ロータリークラブ

8月4日（月）

ロータリーの新年度が始まり、8月4日にはクラブの行事として重要なガバナーの公式訪問の日を迎えた。当会は会員数が9名と少人数なので全員が理事を務めている。そのため、クラブ協議会と例会とは同じ顔ぶれになるので、会長・幹事懇談会の後、クラブ協議会を省略して直ちに例会に出席いただいた。例会では点鐘の後ロータリーソングを斉唱し、引き続き「四つのテスト」を唱和した。当クラブでは毎回の例会で「四つのテスト」を唱和しているが、それはちょうど2008-09年度の地区目標に沿ったものである。矢橋ガバナーから地区目標についての講話の後、全会員を含めて話し合いをすすめた。最後は土谷享ガバナー補佐からの講評で公式訪問を締めくくった。



岩見沢東ロータリークラブ

8月5日（火）

8月5日、当クラブに矢橋ガバナーの公式訪問を頂き緊張の1日を送りました。会長・幹事会の開始40分前に来場され、時間まで喫茶室で雑談を致しましたが、ガバナーの気さくな言葉で和やかに時間を過ごすことができました。会長・幹事会では、喫茶室の雰囲気そのまま持ち込まれ、私どもの緊張が和らいだひと時であります。クラブ協議会では、当クラブ各委員長によります年間事業計画にも熱心に耳を傾けて頂き、貴重なご意見・ご指導を頂きました。RI会長のテーマ「夢をかたちに」、そしてガバナーの「正夢を分かちあいましょう」を当クラブの合言葉に、これからも邁進致したいと思えます。ご指導宜しくお願い致します。本年度、矢橋ガバナーのご健康・ご活躍を祈念申し上げます。



由仁ロータリークラブ

8月7日（木）

晴天に恵まれた公式訪問は予定を変更して、会長・幹事会はゆにガーデンにて行いました。（写真）日陰のテラスで風が心地よく、良いおもてなしができたと思っております。また、開放的な風景の中でガバナーに小さなクラブの活動をお聞きいただいたり、ガバナーのロータリーにまつわるいろいろなお話をお聞きできたことを会長、幹事、エレクト一同感謝しております。

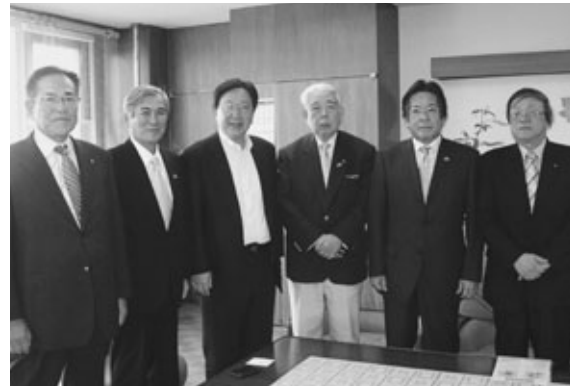


クラブ協議会・例会は何時もどおりの由仁町民センターにて行いました。ガバナー卓話、誕生祝いの会員にはガバナーから祝い品を手渡していただきました。矢橋ガバナー・羽芝ガバナー補佐には、再びご夫婦でゆにガーデンを訪れていただきたいという思いをこめて“ゆにガーデンシーズン入場券”を贈呈いたしました。

深川・妹背牛ロータリークラブ

8月19日（火）

午前10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会が開催され、深川IRC・妹背牛RCそれぞれのクラブの現況説明と活動計画について説明の後、ガバナーよりアドバイスを頂いた。午後12時30分からは合同例会が開催され、国歌斉唱「四つのテスト」斉唱などセレモニーの後、矢橋温郎ガバナーのスピーチでロータリーへの熱い思いをお聞かせ頂いた。例会終了後、大西道祥ガバナー補佐とご一緒に深川市役所へ山下市長を表敬訪問いただき、ガバナーと市長の和やかな懇談のうちに公式訪問の日程を終了した。ありがとうございました。



留萌・羽幌・小平ロータリークラブ

8月20日（水）

8月20日（水）、矢橋温郎ガバナー公式訪問を羽幌RC、小平RC、留萌RC合同として行い、10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会、昼食を挟んで12時30分より例会と早朝より出席された3クラブ会員と共に終始和やかなうちに終わることができました。矢橋ガバナーには「夢をかたちに」、「強調事項」は勿論のこと、語りかけることの重要性を再認識させて戴きました。大西ガバナー補佐にはIMの日程。仮テーマの報告を戴きました。共にロータリーへの情熱を静かに身体にまとい、言葉の端にその熱を垣間見せる様は、晴天に恵まれたこの日によくお似合いになっていました。



蘭越ロータリークラブ

8月25日（月）

矢橋ガバナー、佐藤ガバナー補佐を迎えての公式訪問では有意義な楽しい時間でした。会長・幹事会の途中で我がクラブではロータリー歴の長い新見 健会員、又地区の世界社会奉仕副委員長の志比川武会員も同席し、蘭越ロータリークラブの活動状況等を報告し、ガバナーのご教示を戴きました。一切、堅苦しさはなく、互いに忌憚のない会長・幹事会でした。最後は、ロータリー四方山訪で花を咲かせ、所定の時間が少ないくらいでした。その後、クラブ協議会、そしていつも通りの例会へと進行し、ガバナーも蘭越ロータリークラブの特徴であるフレンドリーな身の丈に合った活動を続けている事を感じとられたと思います。大変楽しい公式訪問でした。矢橋ガバナー有難うございました。



小樽ロータリークラブ

8月26日（火）

矢橋温郎国際ロータリー第2510地区ガバナーと佐藤泰視第6グループ担当ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。午前10時より「会長、幹事、会長エレクト、副幹事懇談会」が始まり、ガバナーより第2510地区の歴史および現況の説明があり、当クラブからはCLPの導入案につき質問いたしました。ガバナーより的確なご示唆を戴きました。11時よりクラブ協議会が開催され、会長方針、四大奉仕委員長の活動方針、続いて各委員長より活動計画の発表がありました。その後ガバナーよりアドバイスを戴きました。12時30分よりほとんどの会員が出席のもと例会が開催され、佐藤ガバナー補佐よりガバナー紹介を頂き、矢橋ガバナーより李東建RI会長の方針と第2510地区の目標についてのお話を戴き、矢橋ガバナーのロータリーへの熱意を会員に話して頂きました。大変なごやかなうちに終了させていただきました。



余市ロータリークラブ

8月27日（水）

午前10時より会長・幹事会が始まりクラブ協議会、例会と進み、特にクラブ運営について又CLPについての注意点等について詳しくお話を戴きました。その後例会では講師として講演を戴き、RI会長の強調事項、米山・財団の近況、ポリオ・プラス、CLP等について細かにお話を戴きました。又国際大会への参加、10月25日～26日地区大会参加へ沢山の参加呼びかけにて公式訪問例会を無事終了致しました。



岩内ロータリークラブ

8月28日（木）

例会に先立ち、会長・副会長・会長エレクト・幹事との懇談会及びクラブ協議会を行いました。例会では、矢橋ガバナーが地区ローターアクト委員長をした当時の岩内クラブでの思い出話、ロータリー財団、米山記念奨学会に関するお話をされました。最後に地区目標の四つのテストの唱和、財団への1人100ドルの寄付、1クラブ1名会員増を掲げ、和やかに公式訪問は終了致しました。



訃報 岩田弘志 前ガバナー補佐が逝去



岩田 弘志 会員（室蘭RC）
2008年7月29日逝去（享年84歳）

■主なロータリー歴

1996年2月15日	室蘭ロータリークラブ入会
1999～2000年度	第54代会長
2003～2004年度	国際奉仕委員長
2007～2008年度	ガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

岩田弘志会員を偲んで

パストガバナー 酒井 正人

岩田弘志会員が7月29日、脳幹出血のためご逝去されたとの報に接し心からご冥福をお祈り致します。岩田弘志会員は1996年2月15日室蘭ロータリークラブに入会し1999～2000年度、同クラブの会長を務め、私のガバナー年度である2007～2008年度には第9グループ担当のガバナー補佐を務められました。

岩田ガバナー補佐は日頃から地球環境問題には特に興味を示すと共に、熱心に取り組んでおりました。当時のガバナー補佐会議においてもこの種の問題、地球温暖化対策などにはクラブや地区レベルを越えて日本のロータリアンが一致団結して取り組むべきであると力説していたのを関係者の記憶に残っていることと思います。本年2月には室蘭市において第9グループのインターシティーミーティングが岩田弘志ガバナー補佐のご指導のもと開催され、テーマに「室蘭工業大学と地域 — 特に地球環境問題」を取り上げ、基調講演に室蘭工業大学の丸山 博氏により、気候変動に関する政府間パネルの最新レポートによって、直面している温暖化問題にどのような対策が必要であるか等を問題提

起し、パネルディスカッションでは産学関係者による対策に実例を紹介する等ご自身の関心の高さを実証していました。

ご承知の通り、岩田氏は胆振支庁長、道商工観光部長を経て室蘭市長を昭和54年から平成7年4月まで4期16年務めました。その間、新日鉄室蘭の高炉存続に最も力を入れ、財政再建と行政改革に着手、現在も受け継がれる改革の基礎を築いた手腕の持ち主でもありました。勇退の翌年からロータリアンとしてロータリー活動をしておりましたが市長としての行政の経験を生かし発想と行動力はロータリー以外にも活躍の場を広げ自ら代表を務める国際民間交流組織・タイ東北部奨学基金の活動ではタイ教育省から表彰も受けたほどです。

特に私の記憶には公式訪問やインターシティーミーティング、そして最後にお目に掛かった本年6月に登別で開催されたインターアクト年次大会等でお逢いしたとき、いつも私の体調を気遣い「大丈夫か、無理をするな」と声をかけて下さったのが忘れられません。

岩田弘志会員享年84歳、氏のご遺徳を偲び、衷心より哀悼の意を表します。 合掌

室蘭ロータリークラブ会長 吉澤 政彦

7月29日、岩田弘志会員がご逝去されました。

毎週お元気に例会に出席されておりましたので信じられず、大変驚いています。これまで室蘭市に対するご貢献始め、多方面に数々の業績を残されました。まだまだこれからとも思いますと、大変残念でなりません。

岩田会員は9年前、第54代の会長として見事な手腕を発揮されました。また、昨年度は第2510地区のガバナー補佐として重責を担われ、すぐれた見識で大所高所から私どもを指導されました。特に本年2月16日に開催されたIM「室蘭工業大学と地域…特に地球環境問題について…」では、ガバナー補佐として成功されたこと

は、記憶に新しいところです。

今年度のクラブの活動につきましても、「地球環境、温暖化、省エネ、省資源の問題は避けて通れない。結果がなかなか見えるものではないが、小さなことでも身近な所から取り組む必要がある」と常々仰っていました。

私どもは岩田会員の遺志として何か形に表し、そのことの一端をこれから実行致します。

これまで室蘭ロータリークラブと私共会員に寄せられました数々のご厚情に、衷心より感謝申し上げます。奉仕の実践を率先された岩田会員のご冥福を祈り、お別れの言葉と致します。 合掌

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



寺岡 秀一
(江別西RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 情報処理



坂本 与市
(江別西RC)

■入会/ 7月15日
■職業分類/ 生態系保全協会



鈴木 良二
(江別西RC)

■入会/ 8月12日
■職業分類/ 自動車卸売業



池田 博英
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 建設業



泉澤 洋介
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 金融



氏江 経雄
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 薬局



川崎 正春
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 金融



東谷 守
(森RC)

■入会/ 7月9日
■職業分類/ 水産物卸売業



佐々木嗣明
(苫小牧RC)

■入会/ 8月1日
■職業分類/ 新聞発行



成田 雅則
(苫小牧東RC)

■入会/ 8月7日
■職業分類/ 電力供給

訃 報



松宮 國彦 会員 (札幌東RC)

2008年6月10日逝去 (享年64歳)

【ロータリー歴】

1999年8月5日入会

2003~2004年度 国際奉仕委員長

2004~2007年度 地区国際親善奨学金委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (4回)

米山功労者 (1回)

岩手・宮城内陸地震災害義援金報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました『岩手・宮城内陸地震災害義援金』について、下記の61クラブから総額2,053,436円を頂戴し、8月19日にガバナー会へお振込みしましたのでご報告致します。皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

深川 R C	岩見沢東 R C	札幌東 R C	余市 R C	室蘭東 R C	函館東 R C
羽幌 R C	栗沢 R C	札幌清田 R C	千歳 R C	室蘭北 R C	函館北 R C
妹背牛 R C	当別 R C	札幌幌南 R C	千歳セントラル R C	登別 R C	白老 R C
小平 R C	札幌 R C	札幌真駒内 R C	恵庭 R C	函館 R C	苫小牧 R C
留萌 R C	札幌あけぼの R C	札幌南 R C	長沼 R C	函館亀田 R C	苫小牧東 R C
砂川 R C	札幌はまなす R C	札幌大通公園 R C	由仁 R C	森 R C	苫小牧北 R C
滝川 R C	札幌北 R C	新札幌 R C	えりも R C	七飯 R C	
美唄 R C	札幌モーニング R C	岩内 R C	三石 R C	長万部 R C	
江別 R C	札幌西 R C	小樽 R C	静内 R C	函館セントラル R C	
江別西 R C	札幌西北 R C	小樽南 R C	伊達 R C	江差 R C	
岩見沢 R C	札幌手稲 R C	小樽銭函 R C	室蘭 R C	函館五稜郭 R C	

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	川島 昭二 会員(1回)	7月18日
芦別 R C	関口 孝八 会員(1回)	7月18日
岩見沢東 R C	坂口 堅一 会員(2回)	7月11日
岩見沢東 R C	稲垣 政敏 会員(1回)	7月11日
岩見沢東 R C	渡辺 劭 会員(2回)	7月11日
岩見沢東 R C	渡辺 博人 会員(2回)	7月11日
札幌真駒内 R C	吉村 洋吉 会員(8回)	7月18日
砂川 R C	竹田 俊一 会員(1回)	8月29日
砂川 R C	山田 信一 会員(1回)	8月29日
滝川 R C	泉 敬止 会員(1回)	8月29日
滝川 R C	神部 洋史 会員(4回)	8月29日
滝川 R C	上田 英二 会員(1回)	8月29日
滝川 R C	中島 健 会員(6回)	8月29日
滝川 R C	細田 光人 会員(3回)	8月29日

江別 R C	安孫子建雄 会員(2回)	6月20日
札幌清田 R C	三戸 和昭 会員(2回)	8月29日
札幌南 R C	山口 潔 会員(1回)	8月29日
苫小牧北 R C	紺野 誠一 会員(5回)	8月1日

■ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	荒川 忠義 会員	7月18日
芦別 R C	角幡 裕明 会員	7月18日
芦別 R C	滝 勝美 会員	7月18日
芦別 R C	沼前 治孝 会員	7月18日
芦別 R C	野口 英明 会員	7月18日
江別西 R C	服部 涉 会員	7月11日
砂川 R C	山崎 義彦 会員	8月29日
札幌西北 R C	小林 義伸 会員	8月29日
札幌西北 R C	秋山 秀雄 会員	8月29日
札幌清田 R C	村本 忠 会員	8月29日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢東 R C	津元美智代 会員(2回)	7月8日
札幌北 R C	樋口 正明 会員(5回)	7月25日
札幌北 R C	福田十太郎 会員(7回)	7月25日
札幌北 R C	竹原 巖 会員(9回)	7月25日
函館東 R C	松山 茂 会員(2回)	7月30日
函館東 R C	渡辺 友子 会員(5回)	7月30日

札幌西 R C	森谷 明弘 会員(6回)	8月5日
札幌西北 R C	小林 義伸 会員(1回)	8月29日
札幌大通公園 R C	田中 利男 会員(1回)	8月5日
伊達 R C	新井田 孝 会員(1回)	8月21日

■米山功労クラブ

札幌北 R C	24回	7月25日
函館東 R C	21回	7月30日



2008-09年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会来訪 RI会長代理の紹介

名 前：Vicente J. Carlos (ヴィセンテ・カルロス) 愛称ヴィンセ
 生 年 月 日：1945年11月19日 (62歳)
 生 誕 地：フィリピン、マニラ市
 職 業：弁護士 (職業分類：航空法弁護士)
 所属クラブ：マニラ・ロータリークラブ
 第3810地区 1990-91年度ガバナー

2011-2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 矢 橋 温 郎
 地区ガバナー指名委員長 塚 原 房 樹

2011-2012年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長 (地区ガバナー事務所気付) 宛、文書 (書式任意) をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項~5項及び第8節の資格条件に適用していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条 (ガバナーの指名と選挙)
 国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定



(252号)

[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎ [世界の現状と日本の針路]
奥田 碩 2007 15p (D.2760)
- ◎ [今、日本が直面する内外の課題]
櫻井よしこ 2007 10p (D.2570)
- ◎ [世界の潮流と日本の進路]
寺島実郎 2007 9p (D.2660)
- ◎ [国家の品格]
藤原正彦 2007 4p (D.2650)
- ◎ [新政権でも改革と挑戦は続く
~求められる幾百人のリーダーたち]
佐々木 毅 2007 8p (D.2540)
- ◎ [地域から交流する日本~オホーツクへの期待]
月尾嘉男 2007 3p (D.2500)
- ◎ [歴史から見た大阪~浪華の民活]
松平定知 2007 4p (D.2660)
- ◎ [自然のすごさに学ぶ]
石田秀輝 2007 20p (D.2800)
- ◎ [夢をもたらす氷の世界]
本堂武夫 2007 8p (D.2510)
- ◎ [人と地球の命のために-今、私たちにできること]
C.W.ニコル 2007 6p (D.2820)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

10月のロータリーレート 1ドル=106円

出席率・会員数

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.8.31	増減	内女性		
1	深 川	3	36	36	0	3	90.36	
	羽 幌	3	48	48	0	1	89.13	
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	77.78	
	小 平	4	14	14	0	0	71.43	
	留 萌	3	45	45	0	0	89.92	
	小 計			152	152	0	4	83.72
2	赤 平	3	29	28	-1	1	86.60	
	芦 別	3	44	44	0	0	92.31	
	砂 川	3	52	54	2	0	95.06	
	滝 川	4	99	101	2	1	78.00	
	小 計			224	227	3	2	87.99
3	美 唄	3	38	38	0	0	89.60	
	江 別	3	34	34	0	1	86.27	
	江 別 西	3	27	29	2	3	89.65	
	岩 見 沢	3	87	89	2	0	91.57	
	岩 見 沢 東	4	34	35	1	4	90.63	
	栗 沢	3	23	24	1	1	98.40	
	栗 山	3	26	26	0	2	96.83	
	当 別	1	34	34	0	0	89.01	
	小 計			303	309	6	11	91.50
	4	札 幌	3	117	123	6	0	98.14
札幌あけぼの		3	18	17	-1	1	96.00	
札幌はまなす		3	25	25	0	4	75.36	
札 幌 北		3	43	42	-1	6	89.43	
札幌モーニング		3	49	51	2	0	75.70	
札 幌 西		4	62	63	1	4	94.74	
札 幌 西 北		3	39	41	2	5	93.01	
札 幌 手 稻		4	34	35	1	1	96.43	
小 計				387	397	10	21	89.85
5		札 幌 東	3	120	122	2	0	95.58
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00	
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	98.25	
	札 幌 真 駒 内	3	35	36	1	3	94.18	
	札 幌 南	3	92	95	3	0	94.51	
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	88.90	
	札幌セントラル	3	14	14	0	6	73.20	
	新 札 幌	3	32	33	1	3	88.51	
	小 計			385	392	7	18	91.64
	6	岩 内	3	21	21	0	0	85.18
俱 知 安		3	46	46	0	4	72.60	
小 樽		3	69	69	0	0	86.46	
小 樽 南		4	73	73	0	0	92.14	
小 樽 銭 函		3	21	21	0	2	85.00	
蘭 越		4	11	11	0	0	82.50	
余 市		3	39	41	2	4	88.00	
小 計				280	282	2	10	84.55

8月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,862(98人)
増加会員数	46人
当月平均出席率	86.04%

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.8.31	増減	内女性		
7	千 歳	3	63	64	1	3	78.60	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	72.14	
	恵 庭	3	39	40	1	0	86.32	
	北 広 島	3	17	17	0	0	86.28	
	長 沼	4	20	20	0	3	81.25	
	由 仁	3	10	10	0	0	85.19	
	小 計			184	186	2	7	81.63
8	え り も	3	22	22	0	0	82.57	
	三 石	4	15	15	0	1	93.33	
	様 似	4	23	23	0	1	83.70	
	静 内	3	72	74	2	1	74.53	
	浦 河	3	34	34	0	2	99.02	
	小 計			166	168	2	5	86.63
	9	伊 達	4	53	54	1	0	79.62
室 蘭		3	43	44	1	0	80.62	
室 蘭 東		3	41	41	0	0	77.90	
室 蘭 北		3	34	34	0	2	100.00	
登 別		3	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	92.00	
小 計				211	213	2	4	85.67
10	函 館	3	87	87	0	0	74.93	
	函 館 亀 田	3	45	45	0	2	99.24	
	森	3	34	35	1	0	77.10	
	七 飯	3	16	16	0	0	77.00	
	長 万 部	3	10	10	0	0	83.30	
	函館セントラル	3	24	28	4	1	58.33	
	小 計			216	221	5	3	78.32
11	江 差	4	19	19	0	1	68.30	
	函 館 五 稜 郭	4	55	57	2	0	100.00	
	函 館 東	3	45	45	0	4	86.99	
	函 館 北	3	30	31	1	0	90.00	
	北 斗	3	19	18	-1	2	72.20	
	松 前	3	5	5	0	0	80.00	
	小 計			173	175	2	7	82.92
12	白 老	3	26	26	0	0	70.67	
	苫 小 牧	4	50	55	5	2	80.00	
	苫 小 牧 東	3	25	26	1	2	91.02	
	苫 小 牧 北	4	34	33	-1	2	88.25	
	小 計			135	140	5	6	82.49
合 計			2,816	2,862	46	98	86.04	

地区カレンダー（10月・11月）

10月 職業奉仕月間、米山月間	
1 (水)	公式訪問 (森RC)
2 (木)	公式訪問 (函館RC)
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	公式訪問 (札幌南RC)
7 (火)	公式訪問 (当別RC)
8 (水)	公式訪問 (札幌モーニングRC)
9 (木)	公式訪問 (苫小牧東RC)
10 (金)	
11 (土)	ロータースクワッド地区協議会 (函館)
12 (日)	
13 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌) 体育の日
14 (火)	公式訪問 (苫小牧北RC)
15 (水)	
16 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	公式訪問 (函館セントラルRC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
25 (土)	地区年次大会 (札幌)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問 (白老RC)
29 (水)	公式訪問 (新札幌RC)
30 (木)	公式訪問 (千歳RC)
31 (金)	

11月 ローターリー財団月間	
1 (土)	岩見沢ロータースクワッドクラブ創立40周年記念式典 (岩見沢)
2 (日)	
3 (月)	文化の日
4 (火)	公式訪問 (七飯RC)
5 (水)	公式訪問 (函館北RC、北斗RC)
6 (木)	公式訪問 (江差RC、松前RC)
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	公式訪問 (札幌清田RC、札幌セントラルRC)
12 (水)	公式訪問 (札幌真駒内RC)
13 (木)	公式訪問 (札幌西北RC)
14 (金)	小樽RC創立75周年記念式典 (小樽) 公式訪問 (札幌幌南RC)
15 (土)	公式訪問 (札幌手稲RC)
16 (日)	
17 (月)	公式訪問 (札幌北RC)
18 (火)	公式訪問 (札幌はまなすRC)
19 (水)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
20 (木)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー (東京)
21 (金)	ロータリー研究会 (東京)
22 (土)	ロータリー研究会 (東京)
23 (日)	勤労感謝の日
24 (月)	振替休日
25 (火)	公式訪問 (北広島RC)
26 (水)	公式訪問 (札幌RC)
27 (木)	公式訪問 (札幌東RC)
28 (金)	
29 (土)	第3グループIM (栗沢)
30 (日)	

地区組織等の変更について

ロータリー財団より遠藤正之PGの逝去により、第1ゾーン・カードコーディネーターが当地区の伊藤長英PGに指名されました旨ご連絡がありました。

過日の地区ガバナー諮問委員会にて遠藤正之PGの逝去に伴い、地区研修リーダーを塚原房樹PGに変更することに決定致しました。

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別RC：10月16日（木）の例会を10月14日（火）に変更
- 江別西RC：10月14日（火）江別RC・江別西RC合同例会 18：30～ 場所：江別市民会館
- 岩見沢RC：10月23日（木）の例会は10月26日（日）地区大会参加のため振替
10月30日（木）の例会を下記に変更
11月1日（土）岩見沢ローターアクトクラブ創立40周年記念式典
16：30～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東RC：10月7日（火）の例会は第11回岩見沢東RC杯争奪少年サッカー大会（9月23日）の振替休会と致します。
10月14日（火）の例会を下記に変更
10月19日（日）12：30～ 場所：いわみざわ公園
10月21日（火）移動夜間例会 場所：焼肉ラマ
10月28日（火）の例会は地区大会（10月26日）の振替休会と致します。
- 当別RC：10月14日（火）第12回ロータリー&ライオンズ交流合同例会 18：00～
場所：田西会館
- 小樽RC：10月7日（火）移動例会 12：30～ 場所：小樽住吉神社
- 室蘭RC：10月15日（水）3RC合同職場訪問例会 場所：札幌地方裁判所室蘭支部
10月16日（木）10月15日に振替
10月30日（木）休会
- 室蘭東RC：10月15日（水）3RC合同職場訪問例会 場所：札幌地方裁判所室蘭支部
10月29日（水）休会

編集後記

故遠藤正之PGの悲しみが未ださめやらぬうちに、岩田弘志前地区ガバナー補佐（第9グループ担当）の悲報が飛び込んで来て我々を慌てさせた。あんなにお元気だったのにという思いは皆一様に感じた。亡くなる丁度1ヶ月前に長文のメールを頂戴した。内容を要約すると締切1ヶ月後に報告書の提出の催促を受けた。直ちにまとめ速達で送付したのだが、大体にして地区からの書類が多すぎる。又各種報告の提出期限がまちまちで色々仕事の事や他の団体の役員を仰せつかっていたり、又ガバナー補佐としての各種会議、IMの企画から実施まで等に多忙を極めている。お互いの繁雑さを避けるためにも事務局より書類、報告の類の一覧表でも事前にお送り戴ければ失念なかったのではないかと。大事な報告書提出には期限近くに注意を喚起するようメールの一本でも欲しかった等一つ一つの事例を挙げ細かな事がびっしり書き込まれていた。一つ一つ尤もな事と思い、近いうちにお小言に対しお話を承る機会をと思っていた矢先であった。岩田氏はしばしば、会合毎に必ず発言され高邁な理念を通して忘れ去られているロータリーの真髄を呼び起こすようなお話をされた。又ともすればロータリーのルールや毎年変わる諸事について言及し、それに追われるあまり形骸化に陥らんとするロータリーに喝を入れるような話等、正に塩爺（ジイ）ならぬ岩

田爺とでも言うべき人であった。会合出席者全員に強い印象を残されたのだ。件のメールはガバナー事務所の引継ぎをしっかりやるよう要請し、最後に次の一文を残している。「1年半の間、各会議では必ず発言し、うるさい爺（ジジイ）と言われたのでしょうが、これで終りと致します。お喧しい事でご迷惑だったでしょう」もって最後のお言葉を傾聴し、心から御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

色々なポジションの方々に出稿をお願いする。毎年各々の強化月間に従った。だがイレギュラーの出稿要請もある。前号での洞爺湖RC、千葉幹事の地元でしか判らないG8のドキュメントを特別寄稿戴いた。編集会議で話し合い、洞爺湖RCの阿野会長にご依頼申し上げたら千葉幹事から原稿が提供されたのだ。恐らく北海道では我々生きているうちは二度と経験できないであろうサミットである。一般新聞では報道されぬ地元ロータリアンの眼を通した模様である。これを見たロータリーの友の橋本信夫地区委員より直ちに連絡が入り、ロータリーの友への転載を申し出てきた。多分近く友誌上で改めて全国の皆様に披露されるわけだが、我々としてもどういう形で掲載されるのか今から楽しみである。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)

お詫びと訂正 ガバナー月信9月号（第3号）P15下段、2：閉会式の部分において「次はカナダのトロント」となっておりますが、次は「カナダのモントリオール」の間違いです。お詫び申し上げます。



Make Dreams Real

夢をかたちに

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：札幌藻岩山麓ななかまど
撮影：田宮 哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー 一月信

No.5
2008
11

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510 2008-2009 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— ロータリー財団について考えてみよう
- 3 ————— RI第2510地区ロータリー財団国際親善奨学生の現状
- 4 ————— ロータリー財団学友委員会活動について
- 5 ————— ロータリー財団月間にあたり
- 6 ————— 地区補助金について
- 7 ————— 青少年交換事業
新年度生歓迎会・帰国報告会
- 8 ————— 私の“Rotary Notes”
ロータリーの哲学者
- 10 ————— ガバナー補佐レポート
クラブ訪問が自分の勉強に
- 11 ————— 札幌大通公園ロータリークラブから、「ご協力有難うございました」
- 12 ————— 地区委員会報告
- 13 ————— ガバナー公式訪問
- 16 ————— 新入会員のご紹介
札幌東RC・札幌西北RC合同例会 井上 康生氏を迎えて
- 17 ————— ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
文庫通信
- 18 ————— 2009国際ロータリー年次大会
バーミンガム大会旅行案のご案内
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー（11月・12月）
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

地区大会へのご参加ありがとうございました

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

■ ■ ■
たくさんのロータリアン、ロータリー家族のみなさまに参加いただき、地区大会が成功裏に終わりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

過去に地区大会ホストの経験はありましたが、環境の変化や時代の流れのためか、手間取ることも多々ありました。それでもみなさまに楽しんでいただこうと、ホスト役の札幌西ロータリークラブのみなさんや大会事務局、ガバナー事務所スタッフとで準備万端、臨みました。行き届かない点がございましたら、ロータリーの好意と友情に免じてお赦しください。

ところでこの「ロータリーの好意と友情に免じて」という文言。以前はよく聞かれました。特に地区大会や地区協議会などです。規模の大きな集まりだから多用されたのか、クラブ例会ではあまり聞かれないような気がします。とりわけ使われたのが、開会が予定より遅れたときなどです。「ロータリーは時間厳守」とは私が入会当時、よく先輩会員に言われたものです。

ある会合では、開会がわずか数分遅れただけで、司会者から「ロータリーの一」との謝罪の言葉がありました。スケジュールが立て込んでいるわけでもないのに。もしかしたらその方は、「ロータリーの一」を言いたかっただけなのかも知れません。今なら、そんな想像もできます。

単なる「予定時刻を過ぎまして申し訳ございません」ではなく、ロータリアン同士だからこそ許し合えること、その慣用句としての「ロータリーの好意と友情に免じて」をあえて口にしてみたかっただけではないでしょうか。そう考えると、このフレーズはただの詫言文句と同時に、これから始まるロータリアンの集まりを再確認し、ロータリー精神を喚起する、点鐘にも相当する口上なのかもしれません。

今年度、ガバナーとしてみなさんに提案したことのひとつに『「四つのテスト」の唱和』があります。「好意と友情」は、まさに「四つのテスト」の一節。好意と友情を深めるために集った会合で、改めてそれを口にした当時の司会者は、粹でした。

さて先月は米山月間でした。旧聞に属するようで恐縮ですが、少し米山月間にちなんだお話を。

私の会社には、米山学友が勤務しています。アフガニスタン出身の彼は、北大大学院で複雑系を研究していました。9.11のアメリカ同時多発テロ事件で世界中から注目されることになりましたが、それ以前の同国の動静はあまり知られていませんでした。

私は海外旅行が好きで、それもできるだけ観光客が行かないような地域、行きたがらないような国、行ったら怒られるかもしれないエリアに興味があります。北朝鮮への入国は真っ先に済ませ、次はアフガニスタンか、と考えていたところに彼と出会いました。文献で知り得た情報を彼に投げかけて、その信憑性を確認することを私は楽しみました。

一方の彼は来日した当時、予想以上に日本人がアフガニスタンを知らないことに困惑したそうです。9.11まではマスコミの注目度も低く、母国が「忘れられた国」になったような気がして不安だったといえます。そこに私のような興味本位な日本人が現れたのも何かの縁です。

同時に彼は、札幌はまなすロータリークラブというお世話クラブにも恵まれました。同クラブの方々からはよく「困ったことがあったら言いなさい」と声をかけられたそうです。これは奇しくも私の口癖でもありまして、同じロータリアンとはいえ別の場面から同じ言葉で励まされたことで、孤独感が解消されたと後に語っていました。

彼が博士号を取得する頃には、母国の政情はすっかり悪化し、帰るに帰れない状態でした。奥さんを母国から呼び寄せていた彼は、慣れ親しんだ札幌での就職を希望。当社は地理情報システムを扱っている関係でIT技術者を欲していたところなので、アフガニスタン情勢が落ち着くまで手伝ってもらうことになりました。

同国では今年8月にも日本人NGO職員が拉致・殺害されるなど、まだまだ不安定な様子です。手放すには惜しいのですが、彼が帰国できるくらいに彼の国が復興することを祈っております。

寄付による奨学金支援、カウンセラーやお世話クラブとして奨学生の相談に乗ったりと、様々な関わり方があります。加えて、学友を社員として迎え、一緒に働くというのもまた一興です。

ロータリー財団について考えてみよう

地区ロータリー財団委員長 **岩城 秀晴**
(札幌南RC・PG)

ロータリー財団は、ロータリーの国際的な人道的奉仕を動かすエンジンの役割を担っています。ロータリー財団がなければ、ロータリーのプログラムは存在しなかったでしょう。それは、人道的補助金、国際親善奨学金、GSEもなかったと思われます。11月は年次寄付を推進する月です。そしてロータリー財団がどのような寄付金の使い道をしているのか、これは毎年同じように会員の皆様方をお願いをしているのですが、RI第2510地区としては、

1. 活動方針として、ロータリー財団の基本方針に準じて、財団への認識を高め、ロータリアンとして財団に理解と協力を推進することに致しております。
2. 活動計画としては、
 - ①財団へ1人100ドルとクラブ1,000ドルを寄付する。
 - ②恒久基金、使途指定、そして大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力と推進。
 - ③各種プログラムを積極的に推進する。
 - ④各小委員会：特に地区国際親善奨学金は教育的プログラムで国際理解と世界平和を促進するために1947年に初めて奨学生を送り出しており、当地区からも毎年6名程度の奨学生を出しております。またGSE委員会では、2010年4月には当地区とスウェーデン地区との交換誓約が出来まして実行になるのですが、そのメンバーの募集を行う準備を進めており、チームのリーダーとなられる方には札幌東RCの奥貫一之會員が就任されて進められて行くことになっております。

このように財団のプログラムには教育的プログラムは5つ程ありますが、当地区におけるプログラムは以上が大きなものです。

一方、人道的補助金プログラムは4つありまして、地区補助金、マッチング・グラントがあります。その中の地区補助金プログラムは植樹、車椅子の贈呈、お祭りや行事への協賛、スポーツ大会、コンサート等地域社会に対する奉仕活動に対して補助金を申請して受取ることができます。これには大変難しい要件がありますので申請にあたっては地区補助金委員会にお尋ね下さい。この外にマッチング・グラントにより世界社会奉仕委員会が他国のロータリークラブを援助する場合に、そのプログラムに補助金を申請しますとロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントになります。この申請手続きについては、ロータリー財団地域セミナーハンドブックP65をご参照下さい。以上が、寄付金の使い方としてのプログラムの要約です。

さて、愈々それでは寄付については大きく分けて年次寄付と恒久基金寄付があります。2007～08年度の当地区年次寄付は311,997.38ドル(110.06%達成)となっております。1人100ドル以上を目標にしておりますのでご賢察下さい。また、個人、法人とを問わず、教育的プログラムに20万円以上を寄付した場合には優遇措置扱いとなります。

その他寄付には冠名奨学金、冠名奨学金基金、冠名基金がありますが、その寄付の方法についても「財団の友」「遺贈友の会」がありますので、この基本的なパターンをご承知して戴きたく存じます。また、寄付の種類を問わず、年次、使途指定、恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上寄付した人は大口寄付者となります。2007年10月現在で世界7,726名、日本では779名です。

以上、ロータリー財団月間にあたりまして大変現実的な算術的な理論の構成でご説明を申し上げましたが、やはり100年前にロータリーの原点であるポール・ハリスの考え方に賛同した者と致しましては「人類が私たちの仕事」であり「夢をかたちに」でありましょう、その目的を達成するためにご精進致しますことをご期待とお願いを申し上げます。

RI第2510地区ロータリー財団 国際親善奨学生の現状

地区国際親善奨学金委員長 菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

当地区における国際親善奨学金には、文化研修と呼ばれる3ヵ月または6ヵ月の集中語学研修プログラムと、1学年度またはマルチ・イヤー奨学金という1学年または2年間の主として大学院での勉学を助成するためのプログラムがあります。どの奨学金も、国際理解と世界平和を促進するために、ロータリーの国際親善使節として派遣されるものです。そのために、奨学生は単に資金援助を受けるのみならず、スポンサー地区とホスト地区双方でクラブのカウンセラー（顧問ロータリアン）が任命され、貴重な助言や支援を受けることになります。この点が他の奨学金とは異なる本奨学金の大きな特徴である、ということが出来ます。

さて、当地区では2008-09年度に7名の留学生を派遣することになっており、すでに数名の留学生は出発し、現地で活動を始めています。写真は南アフリカに留学している池見さんのものです。7名の留学生は次のとおりです。佐藤知香子（3ヵ月、インド、札幌はまなす）、池見真由（6ヵ月、ケニヤ、札幌大通公園RC）、伊藤珠代（6ヵ月、ハンガリー、札幌手稲RC）、松橋由佳（6ヵ月、アメリカ、札幌モーニングRC）、佐藤好恵（6ヵ月、カナダ、札幌東RC）、庄美紗恵（6ヵ月、スペイン、北斗RC）、長谷川敬（マルチ・イヤー、フランス、苫小牧RC）。留学生の壮行会は7月5日に盛大に行なわれ、多くのロータリアンの方から出発にあたっての激励の言葉をいただきました。



また、来年度出発する予定の2009-10年度の奨学生候補者も6名決定しており、すでに2回のオリエンテーションを受け、書類はすべて財団本部に提出済みです。あとは本部からの返事を待っているところです。これらの候補者も壮行会でご挨拶する機会を得ていますが、下の写真はこの壮行会の際の写真です。6名の候補者は次のとおりです。櫛引友美子（6ヵ月、カナダ、札幌はまなすRC）、田中栄子（6ヵ月、英国、札幌幌南RC）、西出佳代（1学年度、ルクセンブルク、札幌北RC）、芳住啓輔（マルチ・イヤー、オーストリア、札幌東RC）、三浦順子（マルチ・イヤー、アメリカ、札幌大通公園RC）、田中慎吾（マルチ・イヤー、室蘭北RC）。今年の特徴はマルチ・イヤーの奨学生が多いことでしょうか。スポンサークラブのカウンセラーの方のご支援をお願いします。

最後になりましたが、2010-11年度の奨学生に関しましては、募集要項やポスターを年明けの1月に配布しまして、2009年の2月頃から募集を開始いたします。応募に際しましては当地区のロータリークラブの推薦が必要ですので、各クラブに応募があった場合には、面接などのご対応をよろしくお願いいたします。



ロータリー財団学友委員会活動について

地区財団学友委員長 **高橋 宣充**
(札幌清田RC)

財団学友とは、元ロータリー財団国際親善奨学生、元GSEチーム・メンバーとリーダーで構成されており、日本では女性では緒方貞子氏を始めとして、多数の優秀な学友が活躍しています。学友数は、2007年7月末世界で105,722人、日本で7,410人です。ロータリアンになった学友の数は、世界で17,789人、日本で388人です。

クラブと地区は、ロータリーの活動、特に奉仕活動に、学友を招待するように奨励されています。学友に、クラブや地区での講演をしたり、新しい奨学生の選考や指導を助けたりするように依頼するべきです。また学友は、ロータリークラブの会員候補者としても有望ですし、近年R1定款の制定案により財団学友が条件を満たせば正会員となる資格が認められたことも、これからの会員増加につながることでしょう。

財団学友委員会の活動としましては、学友に対して活動の助言、支援を行うべく第2510地区財団学友会を2001年5月に発足したのを機に活動を連携し行っております。合同委員会の開催、クラブ例会での卓話、学友会ニュースレターの発行（現在まで7号）、地区大会への参加、奨学候補生へのオリエンテーションなどを行います。本年2月2日にはルネッサンスサッポロホテルにおいて『第4回帰国財団学友報告会』を開催し、ロータリアン、学友、派遣候補者など懇親会なども含め64名の参加者とともに、演者の海外留学の貴重な経験談を拝聴しました。ロータリーのプログラムだから安心して海外で勉学に励むことができた事など、改めてこのプログラムの素晴らしさを直接耳にする機会を得ました。

今後も多くの学友と連絡、情報を密にして活性化に努めて参りたいと思います。それぞれのクラブにおかれましても学友との交流を図り、行事にも参加させていただきロータリーの発展にも結びつきますよう、今後とも財団学友会活動へのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



学友報告 渡辺多会子さん



報告会風景



白畑学友会会長 挨拶

地区財団学友委員会

委員 山道 祐子（札幌セントラル）
高橋 保史（室蘭北）
斉藤 博司（千歳セントラル）
内山 博（室蘭）
小笠原 肇（札幌大通公園）

地区財団学友会役員

会長 白畑 博信
副会長 梶川 裕史
副会長 鈴木 抄織
幹事長 菅原 桂子（以下10名）
会計 伊藤 和弘
顧問 岡 宏幸
顧問 菅原 秀二



参加者の皆さん

ロータリー財団月間にあたり

地区GSE委員長 岡崎 芳明
(小樽南RC)

GSE（研究グループ交換）プログラムは、ロータリー財団の中の代表的な教育的プログラムの一つであります。しかしGSEという事をロータリアンの方に尋ねると、（ああGSEは外国人の方をクラブで受け入れ、ロータリアンの家にホームステイをさせながら観光させるあれですね……）と言う反応が返ってくる事も珍しくありません。つまりロータリアンの皆様の中にはGSEという言葉は知っていても、実際にどのような活動なのかを御理解頂けている方は案外少ないと思われます。尋ねてみますとGSEが単なる外国との親睦交換のプログラムと思っている方が多いのには驚いております。

本来（研究グループ交換）という名前からわかります様に、受け入れだけでなく派遣も含め初めて交換と言えますし、（研究グループ）ですから研究する為のグループ、つまり観光させる事を目的として受け入れや派遣をするのではなく、異国文化の体験と職業研究とが要です。

詳しく申し上げますとGSEプログラムは、職業を持った25歳から40歳までの職業経験の比較的浅い職業人の方を対象にしており、海外への派遣を通して自分の職業は海外でどの様に行われているかを体験し、その経験を自国に持ち帰り、地域に貢献出来る国際人を育て上げるプログラムです。つまり職業人の方を派遣し、職業人の方を受け入れるプログラムであり、その地区で選考された将来有望な職業人の集まりがGSE団員であるという事です。GSEというと受け入ればかり目立っておりますが、GSE団員を派遣するという事こそ、地区にとっては重要な意味を持つ事であります。

それは海外での経験を生かし、国際的な視野を持つ人材を育てられる事と、世界的な規模のロータリアンの奉仕活動、ロータリー財団活動の素晴らしさ等を体感し、派遣後には、学友会会員として、また時にはロータリアンとなり、内外からサポートしてくれる人物になる可能性が生まれるという点です。

次年度はスウェーデンRI第2360地区とのGSEプログラムを行います。

RI第2360地区はスウェーデン二番目の都市（イエーテボリ）を中心にした地区です。今回はRI第2510地区では初めて行う（特別重点的GSE）を行います。特別重点的GSEとは特定の職業人ばかりを集めて行うプログラムです。

今回はスウェーデンとのGSEプログラムの為、チームメンバーは特に社会福祉・介護に関する職業（障害者支援・高齢者支援）の方々を募集し、福祉先進国のスウェーデンでホームステイをしながら視察・研修を5週間体験して頂きます。

派遣チームリーダーは札幌東ロータリークラブの奥貫一之会員に決定いたしました。奥貫派遣チームリーダーは北海道リハビリの理事長をされている方であり、スウェーデンと関係が深い方でもある為、今回の福祉介護の特別重点的GSEチームの派遣チームリーダーには最適の方と思われます。チームメンバー募集は近々開始され選考試験メンバー決定は3月頃を予定しております。GSE派遣は2010年4月から5月を予定しており、GSE受け入れは2010年の5月から6月頃の予定です。

ただRI第2360地区からの受け入れGSEチームは、今までと同様に不特定の職業の方々が5週間滞在研修をする予定です。

昨年はマレーシアRI第3300地区からの素晴らしいメンバーがやってきました、我々に深い感動を与えて帰国致しました。GSEチームのメンバーからの報告書では、滞在地での素晴らしい体験を通し日本のイメージがより良いものになったと、又派遣団員からは人生の中で最も得難い経験の1つで有り、沢山の方にこのGSEプログラムの素晴らしさを味わって頂きたいという意見が大半を占めております。

この様にGSEプログラムは国際親睦の面は基より、ロータリアンの奉仕精神やロータリーの教育活動を広く世界に示す最高の広報媒体になるものと確信しております。

是非ロータリー財団月間にあたり、皆さんのクラブで過去に派遣したGSEメンバーの体験談を披露させて頂く機会を与えて頂きたく思うと共に、ロータリー財団に対するご理解と御支援、並びにGSEプログラムに対する御協力を重ねてお願い申し上げます。

地区補助金について

地区補助金委員長 須田 義雄
(札幌南RC)

2008～09年度第1ゾーン～第4ゾーンAのロータリー財団地域セミナーが7月11日 東京で開催されました。ロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕を更に強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が重要なポイントになります。

地区補助金DSG (District Simplified Grant) はクラブまたは地区内、国内また、ロータリークラブの無い国のニーズに応えるプロジェクトを実施し、一定の条件を満たせば地区補助金を受け取ることができます。

2006～07年度、地区補助金委員会が設置されていない地区は、マッチング・グラントを申請できなくなりました。地区補助金委員会はロータリークラブが人道的補助金を申請し、最終報告を提出するに至るまで、指導・援助するのが主な役割です。

2000年4月から3年間国内又は、地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団の補助金を出すという地域社会援助プログラムが試験的に行われた後、2003年7月1日から地区補助金制度がスタートしました。

今年は5回目の申請になりますが、プロジェクトの内容は年々条件が厳しくなっています。今回の地域セミナーハンドブックP49～53に詳細に記載されていますので、十分に精読し内容を確認してから申請されることをおすすめします。

<地区補助金の手続き（地区とロータリー財団）>

第1段階（10月末まで）

地区のDDFを確認のうえ、地区補助金の額を決定します。

第2段階（3月31まで）

地区は、地区補助金をロータリー財団に申し込みます。

第3段階（5月15日まで）

地区は、ロータリー財団より地区補助金の受理番号の通知を受けます。

以後の問合せはこの番号を使います。

第4段階（7月1日以降）

クラブの報告をすべて集めていれば、地区からロータリー財団へ最終報告をします。地区の最終報告の提出期限は補助金の支払日から1年以内となっております。

RI理事会は2008年6月の会合で未来の夢計画に基づく新補助金 (New Grant based on Future Vision Plan) を決め、2010年7月から開始し、まずパイロット地区の試行後、2013～14年度から正式に新補助金に移行することになりました。

今年度の予算は33,000ドルで、10月末日現在、クラブからの地区補助金申請書は3件のみで12月中に第1回の地区補助金申請内容の審査を予定していますので、これに間に合うように奮ってご応募下さいようお願い致します。申請書は、財団セミナーの時に各クラブに配布していますが、再度希望する場合はガバナー事務所へご連絡下さい。

青少年交換事業

新年度生歓迎会・帰国報告会

地区青少年交換委員長 宮崎 善昭
(札幌西RC)

2008年8月23日(土)、2008～2009年度青少年交換留学生2名(フィンランド、カナダ)の歓迎会、並びに2007～2008年度留学帰国生7名の帰国報告会が、厚生年金会館で開催されました。本地区は世界4カ国(オーストラリア、アメリカ、カナダ、フィンランド)7地区と毎年留学生を交換しています。今年度は5名を派遣し、4名を受け入れています。

プログラムは、①受け入れ留学生(inbound)オリエンテーションとして留学に際しての注意事項の確認が行われます。留学生は、日本で生活をするにあたり10項目に及ぶ約束を守って1年間生活することを誓約し同意のサインをします。このオリエンテーションには、ホストクラブの会長、新世代委員長を始めとしてホストファミリー、クラブ・カウンセラーも同席し、見届けます。

②留学生日本語チェックは、留学生が1年間日本語を学ぶためのもので、ボランティアの日本語教師によって行われ1年間の学習計画を話し合います。

③帰国学生(outbound)報告会は、青少年交換委員会に対して行われます。1年間の留学を終え外国の生活で楽しかったこと、辛かったこと、工夫し努力したことなどの経験を通しての学びや新たな目標、希望について一人ずつ報告を行います。交換プログラムの改善点などの意見もこの報告会で出しますので、委員会としては情報収集の絶好の機会としています。

④歓迎レセプションは、地区ガバナー、地区新世代委員長を始め、ホストクラブ会長、幹事、青少年交換委員長、クラブ・カウンセラー、ホスト高校教師、ホストファミリー、日本語教師などの関係者が出席し、激励スピーチや学生によるパフォーマンスなど行い関係者の交流を深めます。

この「青少年交換プログラム」を何故RIが推奨し、国際大会の際、世界の青少年交換委員長会議を合わせて開催しているかは、本プログラムがロータリー運動の精神を継承する青少年の育成を図るための有効な手段であるという認識に他なりません。私たちロータリアンは、先ず自らが人間的に成長を果たしつつ職場や社会に様々な奉仕や貢献をしていこうと願うものですが、この運動の価値観を次代を担う青少年に伝える必要があるのではないかと思います。また、国際的奉仕団体の奉仕「証し」として内外にこの活動を広報していくことが大切であると考えています。

会員の高齢化、減少が続いていますが、このように国際青少年奉仕活動を連綿と実践していくエネルギーを通して、新たな会員の獲得にも繋がるのではないかと希望をもちます。





ロータリーの哲学者

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《アーサー・フレデリック・シェルドン》

ポール・ハリスの自伝“*This Rotarian Age*”の中に「天の祐け」という章があります。それはロータリー運動に不滅の足跡を残す二人の人物がシカゴクラブに入会してきたことです。一人は前回ご紹介したチェス・ペリーで、もう一人はミシガン州Vernonという小さい村で生まれたアーサー・フレデリック・シェルドンでした。チェスはロータリーのハードの面、すなわち（国際ロータリーの組織）を構築し、シェルドンはロータリーのソフト面（奉仕概念の開発）に貢献しました。シェルドンはミシガン大学を優秀な成績で卒業、セールスマンとして成功をおさめた後、シカゴにビジネススクールを創設して「サービス」を根底にした「セールスマンの科学」を教えました。彼の学校はいろいろな販売の方法を教えました。一番力を入れて指導したのは、商業道德の重要性についてでありました。彼は商売において「永続的に利益を保証する唯一の信頼すべき方法は、よく他人のために尽くすこと、すなわちサービスがそれである」と断定しました。シェルドンは入会して2年未満にもかかわらず、シカゴの कांग्रेसホテルで開かれた第一回全米ロータリークラブ連合会で次のようなスピーチをしました。「19世紀の特徴は競争／competitionであった。それは同族相食む／dog-eat-dogの世界であった。しかし20世紀初頭には、人類の知性が輝きを増すにつれ売り手と買い手の「協調」／cooperationの時代でなければならなくなった。なぜなら他人への公正な商行為を行うものだけが報いられることになるからである。商売は人道的サービスの科学である。すなわち『もつともよく奉仕をする者こそ最大の利益を得る』／He profits most who serves best」ちなみにこの句についてハリスは著書“THIS ROTARIAN AGE”の中で「1908年のある夕、ミネアポリスの理髪店の椅子からその組んでいた長い脚を解いて飄然と戸外にあらわれたシェルドンの頭脳には、『最もよく奉仕をする者、最大の利益を得る』という句が醸成されていた」と記しています。

《第二回大会のスピーチ》 互惠主義からの決別

シェルドンはハリスから翌年のポートランドの大会でもう一度スピーチをしてほしいと頼まれました。残念ながら彼は英国に行かねばならずやむを得ず原稿を送りました。チェス・ペリーが大会でそのレポートを読みました。人々は座席から身を乗り出すように演説の朗読を熱心に聞き入りました。その内容は“THE GOLDEN STRAND”によると「経営学は／He profits most who serves bestに基づくサービス学である。いかなる団体、会社もサービスに従事した人々の成功の積み重ねである。広い意味においてすべての人はセールスマンである。各自は売るべきものを持っている。広い意味で人生の成功は幸運とかチャンスによるものではなく、道徳的、物質的および精神的な法則に支配されるものである。すべてこれらの自然法則と調和して働けば、最高の成功を勝ち得られるはずである。人もし天地の理法／cosmic consciousnessを知ればおのずから万物存在の意味が解けてくる。それは人類連帯／solidarity of the raceの自覚であり、万有一如／the all-onenessの認識

であり人類みな兄弟の理解である。この高い水準に立って眺めるとき、人々は次の事実が謝りない現実であることを理解するであろう。すなわちビジネスの上であろうと、あるいはいかなる場所においても、/He profits most who serves bestでなければならない」

朗読が終わったとき、感極まってしわぶき一つなく、しばしの間座っていた聴衆の間から割れんばかりの拍手が起きました。そして大会決議委員長のジム・ピンカムが立ち上がり、「ロータリアンは今までに神の教え/Golden Ruleと仲間同士の商業取引の悪習慣をどう意義づけるかについて論議してきたが、この6つの単語でまとめられた言葉こそ我々の考えを明確に表現したものである。/He profits most who serves bestこそ、この大会決議の結びの言葉にしてはどうでしょうか」と叫びました。この瞬間会場は歓声の渦と化し歓呼の声で採択されました。ロータリアンたちは「ロータリーの本当の存在意義は何か?」と問い続けてきたのです。彼らは初期の慣習である会員同士の互惠取引に皆満足していたわけではありません。取引上の利益は二次的なもので第一の目的とすべきでないと感じていたのです。そう感じた人々も口にするだけで、実際には全く行動には移さなかったのです。シェルドンのスピーチを聞いて実行の伴う最初の脱皮をしたのです。

《2つのモットー》

1911年ポートランドの全国大会が開かれました。大きな船でコロンビア川を下りながらの快適な大会でした。その日のスピーカーが創立後間もないミネアポリスクラブのフランク・コリンズでした。彼は「ロータリークラブでなすべきことはただ一つ、第一歩が肝心なのである。自分のために何かを得ようとして入ってくる人々は間違っている。そんな人はロータリアンとはいえない。私のクラブの設立以来遵守されている方針は『サービスだ、利己でない』/Service, Not Self なのです」またもや/Serviceという語が登場しました。大会の参加者はコリンズの話に熱心に聞いて、彼の一句/Service, Not Selfに対して大拍手を送りました。このスピーチはシェルドンの/He profits most who serves bestが発表されたのと同じ時のものです。二つの句はやがてあちこちのロータリークラブで使われることになりましたが、そのうちに/Service, Not Selfは『超我の奉仕』/Service, Above Selfと変わりました。そしてこの二つの句がモットーとして正式に採択されたのは1950年のデトロイトの大会でした。しかし/He profits most who serves bestの方は不運に見舞われます。ロータリーに女性会員が入会するようになり、“He”は男性名詞なので差別用語に当たるので、廃止しようという提案が規定審議会に出されたことをご記憶の方も多いと思います。幸い日本のRI理事の猛烈な反対により『最もよく奉仕をする者、最大の利益を得る』という句は現在復活しました。

《プロフィット》

さらにシェルドンのモットーは一部の人の誤解を受けました。それは“profit”が金や物を意味しているので気に入らないという方が多いようです。事実、英語の“profit”は金銭上の利益を意味しています。ハリスはこれを「人生の“something”である」といいました」しかし『ロータリー通解』の中でガイ・ガンディカーは“profit”をこのように表現しています。「自己の職業を通じての活動、自己のクラブ活動、公共的慈善活動の結果、人はどのような利益/profitを期待できるのか。その利益は、売値と原価の差額から生じる近視眼的、かつ瑣末なものではない。利益とはすべてのロータリアンが、もっと立派な人物そしてもっとスケールの大きい人間になり、自己に対し、仲間に対してもまた社会に対しても、もっと優れた奉仕をする機会がもっとたくさん与えられることを言うのである」このように“profit”は金でも、ものでもないことがお分かりいただけたでしょう。



クラブ訪問が自分の勉強に

地区ガバナー補佐（第11グループ担当）

光銭 裕二

（函館五稜郭RC）

第11グループは、昭和32年創立で昨年50周年を迎えた函館東RC、昭和37年創立の江差RC、昭和39年に創立され今年45周年を迎えた函館北RC、昭和44年創立の松前RC、昭和45年創立され来年40周年を迎える函館五稜郭RC、平成8年創立の北斗RC（旧上磯RC）の以上6クラブです。ガバナー補佐に就任して3ヶ月経過しましたが、担当クラブの1回目の訪問を全て終了し、大きな行事として函館北RCのクラブ創立45周年記念例会及び函館東RC、函館五稜郭RCのガバナー公式訪問を終えたところです。第11グループ全体としては会員減少とそれに伴う予算面での制約はあるものの、クラブ内の親睦が十分図られ、各クラブ会長のリーダーシップのもとそれぞれ個性のある奉仕活動を実践しています。以下、各クラブ訪問時の印象についてお伝えいたします。

- **函館東RC**：すでにガバナー公式訪問の随行を含めて3回訪問しました。1回目の訪問は函館湾内クルーズ観光船「ブルームーン」での夜間例会で、「松山・池垣丸」（松山会長、池垣幹事）の一年間の無事を祈って出航安全祈願例会が行われました。昨年立派な創立50周年行事を成し遂げたクラブの結束力でもわかるように非常にあたたかく、まとまりのあるクラブです。
- **江差RC**：歴史と伝統に裏付けられたしっかりとした例会を行い、江差ロータリーの森交流会やパークゴルフ大会など、地域に根ざした奉仕プログラムを積極的に実践しています。会員増強についてチャーターメンバーの今川徳郎委員長から「初心を思い出して会員増強にがんばりたい」という力強いお言葉を頂き、私自身励みになりました。
- **函館北RC**：創立45周年記念例会を含めてすでに3回訪問させていただきました。山下清司会長のクラブ運営方針が徹底され、それに対してベテランの会員が積極的にバックアップしているバランスのとれたクラブという印象を受けました。会員減少に伴うクラブ運営の厳しさの中、洞爺丸海難慰霊碑清掃奉仕活動、函館ハーフマラソンの協賛・大会協力など多くのプログラムを実践しています。
- **松前RC**：会員5名のクラブですが、少ない会員でもロータリークラブを維持していることに敬意を表したいと思います。クラブ活性化と会員増強の点から一般市民の方が参加できる卓話として、講演会を企画するための人的な面での支援、奉仕プログラムに対する地区補助金の活用を提案しているところです。
- **函館五稜郭RC**：各委員会の連携がよく取れ、まとまりのあるクラブです。特に長年に取り組んでいる函館野外劇への参加、箱館五稜郭維新パレードへの参加は地域との交流という点で評価できると思います。さらに今年度から行われた地域の高齢者と保育園児との交流会「手に手つないで」も今後の展開に期待したいと思います。
- **北斗RC**：会員数20名のクラブですが、各学校や市教委、自衛隊などと連携をとり、子供たちの防災キャンプを実施し防災意識の高揚に貢献しています。さらに薬物乱用防止街頭募金活動など、特に新世代に対する奉仕プログラムに積極的に取り組んでいます。



以上各クラブを訪問して多くの会員の方とお会いして、ロータリーに関することやその他多くのことを私自身勉強させていただいています。まだまだガバナー公式訪問、IMなどいろいろな行事が予定されています。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

札幌大通公園ロータリークラブから、 「ご協力有難うございました」

ワンコインで奉仕の理想の実現を!と呼びかけて、札幌大通公園ロータリークラブは2007年10月から、メイクアップのための受付で500円硬貨を一つニコニコBOXに入れて頂くことを始めました。従来のメイクアップでは、ただ記名するだけでした。私たちは、この記名するだけの行為をもっと意味のある行動になるようなものに変更したいと考えました。500円硬貨を一つニコニコBOXに入れてもらえれば、その浄財を何らかの奉仕活動に役立てることが出来ると考えたのです。こうすることで、札幌大通公園ロータリークラブで受付をすることが奉仕の理想を実現することにつながると考えました。

1年間で62名の方が協力して下さいまして32,800円が集まりました。もう少し金額がまとまってから、適切な社会奉仕活動に役立てたいと思っております。第2510地区には73のクラブがあります。もしも全てのクラブが受付でワンコインを拠出してもらう方式をとるとしますと、単純に計算してもおよそ240万円になります。私たちのクラブの受付はあまり多い方ではありませんから、他のクラブの受付ではもっと多い金額が集まると予想されます。もしも全国でこの方式を採用するとすれば、全国には34地区あるわけですから、8,000万円を超える額が集まると考えられます。希望的な観測になりますが1億円が集まることも夢ではないと想像できます。私たちは声を大にして呼びかけたいと思っております、ワンコインで奉仕の理想の実現を!と。



第2510地区の2008~2009年度の目標の一つは「四つのテストを唱和しよう」です。勿論それは単に唱和するだけではなく、「四つのテスト」の精神を実践しようと呼びかけていることであることは言うまでもありません。「四つのテスト」の最後の項目は「みんなのためになるかどうか」です。私たちが考えた、受付のメイクアップでワンコインをニコニコBOXに入れてもらう方式は「みんなのためになる」のです。それは「四つのテスト」の精神を具体化することに通じることになるわけです。

メイクアップのために記名するという行為は「みんなのためになる」わけではありません。しかしこの時に、ワンコインでこの活動に協力して頂けたら、それはロータリーの奉仕活動に参加することにつながるのです。その資金が財団への寄付であれ、何らかの奉仕活動のためであれ、有効に活用されるとしたならば、それは大変意味のある行為になるのではないのでしょうか。

ロータリーは「奉仕の理想に集いし友」のあつまりです。「四つのテスト」はロータリアン一人ひとりが持っている貴重な宝です。私たちがロータリー活動の中で行う何気ない行動が、「四つのテスト」の精神に沿った活動に変化するとすれば、素晴らしいことではないのでしょうか。私たちは心を込めて呼びかけます。ワンコインで奉仕の理想の実現を!

地区委員会報告

<p>■委員会名： IC委員会</p> <p>■委員長： 光銭 健三</p>	<p>■開催日： 2008年9月27日（土）</p> <p>■開催場所： ガバナー事務所</p> <p>■出席人数： 7人</p>
<p>1. 地区大会ブースについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区メーリングリストやメールマガジンの登録受け付けを行う。 オフラインミーティングのコーナーを設ける。 （地区メーリングリスト登録者やJRIC会員のオフミコーナー） パソコンを3台程度用意してインターネットコーナーを設ける。 プロジェクターを使ってデモンストレーションを行う。内容は「5分で出来るホームページ講習会」やアクロバットの使い方など。 その他ブース設営の役割分担を行った。 <p>2. 今年度の活動予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年に続いて「5分で出来るホームページ講習会」を開催する。 開催場所は札幌として準備を進めることとする。 地区メールマガジンへの情報投稿を地区委員が分担して行う。 IC委員会で管理している地区ホームページの内容をさらに充実させるために各委員が積極的に情報を提供する。グループの情報やクラブの情報、ガバナー訪問の情報など。 	

2009 - 2010年度GSEプログラム決定

スウェーデンにありますR I 第2360地区と当地区の間でのGSEプログラムが国際ロータリーより承認されました。（福祉・介護を中心とした特別重点GSE）

また、派遣のチームリーダには、奥貫一之氏（札幌東RC・社会福祉法人北海道リハビリリー理事長）に決定いたしました。つきまして、以下の要領にて派遣団員の募集を行います。

- 募集人数 4名（簡単な日常英会話の出来る方が望ましい）
- 募集期間 2008年11月15日～2009年1月15日
- 選考日 2009年2月1日（日）面接と英会話の簡単な口頭試問もあります
- 選考結果発表 2009年2月15日
- 派遣期間 2010年4月24日～2010年5月30日（暫定）
- 派遣先 スウェーデンの南西部イエーテボリを中心とした地域
- 募集資格 社会福祉の中でも身体障害者および高齢者の支援業務に従事する者で、実務経験が最低2年あり、応募時に25歳～40歳の方
- 派遣訓練 語学を中心とした研修を約1年間（月1回）受講していただきます。
- 応募方法 ガバナー事務所・各ロータリークラブを通してGSE委員会へ
- 連絡先 R I 第2510地区ガバナー事務所 GSE委員会
札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル7F
電話（011）207-2510 Fax（011）207-2512
e-mail:rid2510@nifty.com

ガバナー公式訪問

伊達ロータリークラブ

9月2日（火）

- ・会長挨拶：クラブの活動が近視眼的なものに陥らないよう、大所高所よりご指導下さい。
- ・ガバナー挨拶：本日は、皆さんの話を、直接聞きたく、クラブ協議会に参加しました。
- ・各委員長活動計画発表

・ガバナー講評：姉妹友好クラブ委員会や周年事業における、植樹された樹木の管理育成に関して、自身の体験からも重要であり、維持管理の事業を続けて欲しい。

姉妹友好クラブ同士で、青少年の交流などの事業行う際、セクハラ問題に対応する新たな保険が作られたので、加入してリスクに対処した上で事業を推進して欲しい。

新世代活動推進においては、青少年交換留学は、ロータリアンの子弟が参加できる唯一の留学制度であり、高校生のいるメンバーに大いに活用してもらいたい。国際奉仕のWCSに関して、財団の補助金委員会の資金を活用した事業を検討しては？

新入会員へのロータリー情報提供に関しては、例会へ出席することが1番だと思います。

- ・会長謝辞：ガバナーから各委員会へのご指摘を生かして活動して行きたい。



室蘭北ロータリークラブ

9月2日（火）

9月2日（火）矢橋ガバナーがホテルサンルート室蘭へ到着されました。室蘭北ロータリークラブでは齊藤会長をはじめとする、若木ガバナー補佐、ガバナー補佐幹事和田さん、室蘭北ロータリークラブ副会長の齊藤（泰）さん、そして、徳永幹事でお出迎え致しました。当初、矢橋ガバナーとロビーにて雑談を交わした後、8階にある特別室にて会長・幹事懇談会を開催し、室蘭北ロータリークラブの現状及び今年度の活動報告を行い、矢橋ガバナーより、ご指導を受けました。会長・幹事会は無事1時間程で終了し、引き続き4階にてクラブ協議会を始めました。クラブ協議会の中では、当クラブ委員長より、各委員会活動計画を発表し、矢橋ガバナーよりコメントを頂きました。クラブ協議会は時間が足りなかったため、懇親会にて矢橋ガバナーより具体的に活動内容についてお話を頂きました。矢橋ガバナー及び若木ガバナー補佐、和田ガバナー補佐幹事に於かれましては大変お疲れ様でした、また、感謝申し上げます。



室蘭東ロータリークラブ

9月3日（水）

矢橋ガバナーと若木ガバナー補佐をお迎えし、10時より会長・幹事会を開催しました。矢橋ガバナーは昔から室蘭を訪れる事が多く、土地柄を良くご存知なことから楽しくお話を伺いました。

11時からのクラブ協議会においては各委員会の活動計画を発表しましたが、特にインターアクトクラブの活動について活発な意見交換がなされ、最後にはガバナー講評を戴きました。

12時30分から例会にご出席戴き、「保健と飢餓追放」「水の保全」「識字率の向上」といった強調事項への取組みによって子供達の命が無為に失われるのを防がなくてはならないこと、バーミンガム国際大会への多くの会員が参加して欲しいことなどの卓話を戴いて終了しました。



登別ロータリークラブ

9月3日（水）

9月3日、登別市内のホテル平安で、矢橋ガバナーをお迎えして開催いたしました。当日は当クラブ、毎年恒例の「やまべを食する会」（当クラブの会員が釣ってきたやまべをいろいろな料理法で食する）を、この日に合わせました。

当日は30名程の出席で、ガバナーといろいろなお話、いろいろな料理のやまべで有意義な一晩でした。



室蘭ロータリークラブ

9月4日（木）

9月4日にガバナー公式訪問があり、矢橋ガバナー、若木第9グループガバナー補佐、和田ガバナー補佐幹事を迎えて、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会が行われた。会長・幹事懇談会及びクラブ協議会では、吉沢会長、各委員長が、活動計画と活動実績（WCS事業としてのタイへの水事業の協賛、子供達や体の不自由な方に対する活動など）を報告し、矢橋ガバナーより、活動への評価とさらなる期待を込めたコメントを頂いた。例会では、矢橋ガバナーは、室蘭ロータリークラブとのこれまでの数々の交流についてお話された他、RI方針、ロータリー財団、米山奨学会へ一層の理解と協力をお願いするとの話をされた。その後、新宮室蘭市長へ表敬訪問され、室蘭市長との親好を図られました。



洞爺湖ロータリークラブ

9月5日（金）

10時よりの会長・幹事懇談会、9時30分に会場に入られるという日程を載っていたのでその前に行ったつもりが、ガバナーはひと足先にロビーのソファーに座っておりました。大変恐縮して始まった会議ですが、和やかな懇談形式をとって載いて懇談会もクラブ協議会もスムーズに終了致しました。定例会におけるガバナーのお話は笑わせる場面も作りながらロータリーに思いを馳せる熱のこもったものでありました。ロータリーの現状や今後の問題など多岐にわたり感銘を致しました。今後益々我々のリーダーとしてご活躍をお願いするところです。写真はこの度行われた洞爺湖サミットの宣言の地として建てられたモニュメントの前で写したものです。



三石ロータリークラブ

9月8日（月）

当クラブの公式訪問は、矢橋ガバナーと第8グループ園ガバナー補佐を迎え、三石舞地区にある三石温泉「蔵三」で行いました。「蔵三」は「道の駅・みついし」の中にあり、広い駐車場があるため、バスや自家用車で来るお客さんが多い施設です。会長・幹事との懇談は10時半からクラブ協議会、例会は会員15名の少人数クラブですので同じメンバーで11時半から13時半まで行いました。当クラブは大きく目立つような活動はできませんが、自分たちのできる事を、誠意をもってやり遂げることを基本にしております。ポリオ・プラス1クラブ1,000ドル拠出は小クラブにとって負担になる事を申し上げたり、各委員会の活動状況や当クラブの特徴的な活動のいくつかを説明申し上げたりしました。



浦河ロータリークラブ

9月9日（火）

朝10時から会長・幹事・会長エレクトとの懇談会で当クラブの現況をお話し、それに対しガバナーからRIの方針などを交えながらお話し戴きました。

11時からクラブ協議会を行い、各委員長から活動方針や事業推進する上での問題点をお話し、ガバナーは一つ一つにご自分の経験や各地の例などを挙げながらお答え戴きました。

12時半からは、例会を開催しガバナーには講話をして戴きましたが「夢をかたちに」のRI会長方針や当クラブへのアドバイスなど時間が足りなくなるほど有意義な内容と、ガバナーの温かい人柄が溢れ一同感激しました。行き届かない面が多々あったと思いますが、お別れに「ありがとう。がんばって下さい」と手を振ってくれたガバナーの笑顔に感謝し、これからのロータリー活動に邁進致します。



様似ロータリークラブ

9月9日（火）

当日、矢橋ガバナーは予定時刻より1時間程早く到着されましたので、公式スケジュール以外にも色々なお話を伺うことができました。和やかな雰囲気の中でガバナーのお人柄等を知る事ができました。

例会では、新入会員がおりましたので、ガバナーより直接にロータリーバッジ、また新入会員紹介者にはスポンサーバッジの贈呈がございました。またご経験豊富なガバナーより当クラブに貴重なご意見、ご指導を戴きました。ロータリー財団の地区補助金の有効な活用法や他地区クラブの様々な活動等にも触れられ、非常に有意義な例会となり、最後には参加者全員公式訪問記念写真におさまり公式訪問は終了致しました。



新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



加藤 敏浩
(白老RC)

■入会/
9月1日
■職業分類/
石材業



高橋 博昭
(岩見IRRC)

■入会/
9月18日
■職業分類/
区域貨物運送



松本 新一
(苫小牧北RC)

■入会/
9月30日
■職業分類/
社会保険労務士



星 巖
(浦河RC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
小売業



榎本 淳一
(浦河RC)

■入会/
7月1日
■職業分類/
ニュース報道・編集者



村井 正明
(浦河RC)

■入会/
9月2日
■職業分類/
ホテル管理

札幌東RC・札幌西北RC合同例会 卓話「柔道と私」

総合警備保障㈱ 参与・シドニーオリンピック金メダリスト 井上 康生氏を迎えて

9月18日(木)に札幌西北RCとの合同例会で、総合警備保障㈱参与・シドニーオリンピック金メダリストの井上康生氏を迎えての例会が開催されました。約100名の出席という多人数の例会は久々であり、大変賑やかな中での開催でした。

井上康生氏は非常に大きくガッシリした方だと想像していましたが、思ったよりもスリムで少し意外に感じました。卓話では幼少の頃から中学・高校生までの活躍、怪我をしてしばらく勝てなかった時期、スランプから抜けだせない時期、アテネオリンピックでの惨敗、世界選手権から始まりシドニーオリンピックでの金メダル獲得、父や母・家族そして東海大学の山下泰裕先生との出会い、ALSOK入社後の周囲の方々との絆のお話しには心打たれるものがありました。特に親であり師匠である父から教え込まれた厳しい教育、礼儀の大切さ、相手を思い遣る心、そして母の励ましと息子を信じきる心等のお話しは今の時代にこそ最も大切なことではないかと強く感じました。

最後に普段お目にかかれない、各界の著名人を招いてのこのような楽しい合同例会がこれからも益々盛んに開催されることを期待し、また願っております。



札幌東RC クラブ会報委員長 上田 進

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌東 R C 名塩 良一郎 会員(4回) 9月30日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌東 R C 安田 経 会員 9月30日

新札幌 R C 伊藤 豊 会員 9月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

美唄 R C 大竹 繁夫 会員(4回) 9月24日

函館五稜郭 R C 鈴木 良二 会員(2回) 9月19日

函館東 R C 池垣 清信 会員(21回) 9月30日

苫小牧北 R C 伊藤 長英 会員(31回) 9月30日



(253号)

〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より(3)

- ◎ [ロータリーのサーヴィス・コンセプトについて考えよう]
松宮 剛 2007 9p (D.2500 地区大会報告書)
- ◎ [ロータリーの心と原点を大切にしよう]
廣畑富雄 2006 10p (D.2700 地区大会記録)
- ◎ [ロータリーの原点]
成川守彦 2006 5p (D.2700 地区大会記録)
- ◎ [教育という大業]
佐藤千壽 2008 12p (D.2670 地区大会記録)
- ◎ [ロータリー財団活動の成果
～世界平和への貢献(シンポジウム)]
内藤幸彦 他 2008 4p (D.2590 地区大会の記録特集号)
- ◎ [CLPを理解しよう]
成川守彦 2007 5p (D.2670 IM報告書)
- ◎ [ネパールの医療活動について]
伊藤公夫 2008 3p (D.2540 地区大会記録)
- ◎ [松枯れ防止活動]
那波宗久 2008 3p (D.2540 地区大会記録)
- ◎ [ロータリーの初期の人々
シェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・デイビッドソン]
三木明訳 2007 13p (D.2680 月信)
- ◎ [五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)]
ガイ・ガンディカー
田中毅訳 -- 4p (ロータリーの源流から)
[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

11月のロータリーレート 1ドル=100円

2009国際ロータリー年次大会 バーミンガム大会旅行案のご案内

2009 RI Convention in Birmingham, England, 21-24 June

RI第2510地区の皆様と一緒に第100回の記念大会に参加をするツアーを設定したいと思います。下記の旅程案をご検討の上、ご意見などお寄せください。ぜひ、大勢の皆様と楽しい旅行にしたいと思います。

尚、下記の旅程案は、皆様のご意見で変更をすることがありますので、あらかじめご了承ください。

① スコットランド湖水地方とバーミンガム世界大会参加コース 8日間

- ◆日 程：6月20日～6月27日 6泊8日間 添乗員付き
- ◆旅程概略：①千歳～経由～バーミンガム②世界大会参加～③イングランド・湖水地④世界遺産エジンバラ⑤車窓を楽しみながら～ロンドン⑥オックスフォード～ストラットフォード・アポン・エイボン（シェイクスピアの生家など）～ロンドン市内視察（世界遺産・大英博物館など）⑦ロンドン～経由～⑧新千歳
- ◆ポイント：風光明媚な湖水地方を巡りスコットランド、イングランドの観光地を楽しめます。

② ベルギー・パリとバーミンガム世界大会参加コース 8日間

- ◆日 程：6月20日～6月27日 6泊8日間 添乗員付き
- ◆旅程概略：①千歳～経由～バーミンガム②世界大会参加③ロンドン～ブリュッセル④登山列車～гент～ブルージュ市内視察⑤⑥パリ（エッフェル塔・コンコルド広場・凱旋門等）・セーヌ河ディナークルーズ～ヴェルサイユ宮殿～⑦パリ～経由～⑧新千歳
- ◆ポイント：ベルギーの首都ブリュッセルとパリを巡りイギリスへ向かいます。（TGVを利用）

③ スイス、英国、バーミンガム世界大会参加コース 8日間

- ◆日 程：6月19日～6月27日 7泊9日間 添乗員付き
- ◆旅程概略：①千歳～経由～ロンドン②③ロンドン市内視察～バーミンガム④⑤～チューリッヒ・インターラーケン（登山列車）～グリンデルワルト散策⑥ツエルマット（マッターホルン視察）⑦ローザンヌ⑧～ジュネーブ市内視察～経由～⑨新千歳
- ◆ポイント：スイス・アルプスの山岳リゾートを楽しんだ後、世界大会へ

④ バーミンガム世界大会参加とロンドンコース 6日間

- ◆日 程：6月20日～6月25日 4泊6日間 添乗員なし
- ◆旅程概略：①千歳～経由～バーミンガム②世界大会参加③バーミンガム自由④ロンドンへ⑤ロンドン自由～経由～⑥新千歳
- ◆ポイント：イギリス経験者へ世界大会に参加をして、ロンドン自由行動でお楽しみください。

⑤ イタリア周遊とバーミンガム世界大会参加コース 9日間

- ◆日 程：6月15日～6月23日 7泊9日間 添乗員付き
- ◆旅程概略：①千歳～経由～ミラノ②水の都ベニス③フィレンツェ（ピサの斜塔）④イタリア新幹線～ローマ⑤ローマ・バチカン市国⑥ロンドン経由バーミンガム⑦世界大会参加⑧ロンドン経由～⑨新千歳
- ◆ポイント：イタリア、ミラノ・ベニス・フィレンツェ・ローマ4都市を巡り、世界大会に参加。

【ご旅行のご相談、お問合わせは】

株式会社日本旅行北海道札幌営業部 西村 勉
電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174

⑥ 「コッツウォルズ」とスコットランド・バーミンガム世界大会参加コース 8日間

- ◆日 程：6月18日～6月25日 6泊8日間
- ◆旅程概略：①千歳～経由～ロンドン②③ストラットフォード・アポン・エイボン観光（コッツウエルズ観光）④世界大会参加⑤イングランド・湖水地方観光⑥エディンバラ観光⑦ロンドン～経由～⑧新千歳

◆この旅程はJTB北海道法人営業札幌支店へお問合せ下さい。
電話：011-271-7023 FAX：011-222-2910

●ご旅行代金の確定は11月中旬になる予定です。●上記以外の特別コースの企画も承っております。

第2510地区オン・ツー・バーミンガム委員長 丸山 淳士

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.9.30	増減	内女性	
1	深 川	4	36	36	0	3	90.44
	羽 幌	4	48	48	0	1	82.70
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	83.33
	小 平	4	14	14	0	0	69.64
	留 萌	4	45	45	0	0	84.74
	小 計		152	152	0	4	82.17
2	赤 平	3	29	28	-1	1	92.00
	芦 別	4	44	44	0	0	89.10
	砂 川	4	52	55	3	0	96.82
	滝 川	4	99	101	2	1	81.00
	小 計		224	228	4	2	89.73
3	美 唄	4	38	38	0	0	86.00
	江 別	4	34	34	0	1	88.23
	江 別 西	5	27	29	2	3	88.96
	岩 見 沢	4	87	90	3	0	93.41
	岩 見 沢 東	5	34	35	1	4	86.88
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.70
	栗 山	3	26	26	0	2	100.00
	当 別	4	34	34	0	0	84.45
	小 計		303	310	7	11	90.58
4	札 幌	4	117	125	8	0	97.48
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	25	0	4	80.44
	札 幌 北	4	43	42	-1	6	91.25
	札幌モーニング	3	49	52	3	0	76.21
	札 幌 西	4	62	63	1	4	97.22
	札 幌 西 北	4	39	40	1	5	94.81
	札 幌 手 稻	4	34	35	1	1	92.14
	小 計		387	399	12	21	91.19
5	札 幌 東	4	120	124	4	0	96.17
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	35	36	1	3	90.71
	札 幌 南	3	92	95	3	0	96.51
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	83.30
	札幌セントラル	4	14	14	0	6	72.80
	新 札 幌	4	32	32	0	3	83.08
小 計		385	393	8	18	90.32	
6	岩 内	4	21	22	1	0	83.48
	俱 知 安	4	46	46	0	4	71.73
	小 樽	4	69	69	0	0	87.11
	小 樽 南	4	73	74	1	0	94.70
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	80.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	90.00
	余 市	4	39	41	2	4	83.60
	小 計		280	284	4	10	84.37

9月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,872人(99人)
増加会員数	56人
当月平均出席率	86.51%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.9.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	64	1	3	78.50
	千歳セントラル	3	35	35	0	1	85.70
	恵 庭	4	39	40	1	0	84.20
	北 広 島	4	17	17	0	0	91.18
	長 沼	4	20	20	0	3	73.70
	由 仁	4	10	11	1	1	89.47
	小 計		184	187	3	8	83.79
8	え り も	4	22	22	0	0	97.72
	三 石	4	15	15	0	1	96.67
	様 似	4	23	24	1	1	88.70
	静 内	5	72	73	1	1	86.29
	浦 河	4	34	34	0	2	100.00
	小 計		166	168	2	5	93.88
9	伊 達	4	53	54	1	0	77.77
	室 蘭	4	43	45	2	0	71.80
	室 蘭 東	4	41	41	0	0	77.60
	室 蘭 北	4	34	34	0	2	100.00
	登 別	4	31	31	0	2	80.65
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	92.00
	小 計		211	214	3	4	83.30
10	函 館	4	87	89	2	0	74.58
	函 館 亀 田	4	45	46	1	2	98.86
	森	4	34	35	1	0	82.20
	七 飯	4	16	16	0	0	68.70
	長 万 部	4	10	10	0	0	85.00
	函館セントラル	4	24	26	2	1	65.38
小 計		216	222	6	3	79.12	
11	江 差	4	19	19	0	1	72.30
	函 館 五 稜 郭	4	55	56	1	0	100.00
	函 館 東	4	45	44	-1	4	85.20
	函 館 北	4	30	31	1	0	92.50
	北 斗	4	19	18	-1	2	60.00
	松 前	3	5	5	0	0	80.00
小 計		173	173	0	7	81.67	
12	白 老	4	26	27	1	0	72.80
	苫 小 牧	4	50	55	5	2	83.99
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	87.50
	苫 小 牧 北	4	34	34	0	2	96.83
	小 計		135	142	7	6	85.28
合 計		2,816	2,872	56	99	86.51	

地区カレンダー（11月・12月）

11月 ローターリー財団月間	
1 (土)	岩見沢RAC創立40周年記念式典（岩見沢）
2 (日)	
3 (月)	文化の日
4 (火)	公式訪問（七飯RC）
5 (水)	公式訪問（函館北RC、北斗RC）
6 (木)	公式訪問（江差RC、松前RC）
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	公式訪問（札幌清田RC、札幌セントラルRC）
12 (水)	公式訪問（札幌真駒内RC）
13 (木)	公式訪問（札幌西北RC）
14 (金)	小樽RC創立75周年記念式典（小樽） 公式訪問（札幌幌南RC）
15 (土)	公式訪問（札幌手稲RC）
16 (日)	
17 (月)	公式訪問（札幌北RC）
18 (火)	公式訪問（札幌はまなすRC）
19 (水)	ロータリー財団地域セミナー（東京）
20 (木)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー（東京）
21 (金)	ロータリー研究会（東京）
22 (土)	ロータリー研究会（東京）
23 (日)	勤労感謝の日
24 (月)	振替休日
25 (火)	公式訪問（北広島RC）
26 (水)	公式訪問（札幌RC）
27 (木)	公式訪問（札幌東RC）
28 (金)	
29 (土)	第3グループIM（栗沢）
30 (日)	

12月 家族月間	
1 (月)	
2 (火)	公式訪問（札幌西RC）
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	次期地区ガバナー補佐会議（札幌）
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	天皇誕生日
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別 RC：11月20日（木）移動夜間例会 18：30～
場所：美華大飯店（江別市牧場町23-17）
- 岩見沢東RC：11月25日（火）休会
第3グループIM（11月29日）の振替
- 千歳 RC：11月20日（木）移動夜間例会 18：30～ 場所：丸駒温泉
- 千歳セントラルRC：11月25日（火）移動例会「エコプロジェクト事業所視察」
- 長沼 RC：11月 3日（月）、11月24日（月）休会
- 室蘭東 RC：11月26日（水）夜間例会 場所：蓬岫殿
- 室蘭北 RC：11月18日（火）夜間例会「親睦会（ボーリング大会）」 18：30～
場所：室蘭グランドボール
（ホテルサンルート室蘭集合後移動）
- 苫小牧 RC：11月14日（金）の例会を下記に変更します。
11月12日（水）第12グループ合同移動夜間例会 18：30点鐘
場所：天然温泉 なごみの湯（苫小牧市柳町2-7-6）

編集後記

多分本号が会員の手許に届く頃は既に地区大会を終え過去のものとなっている。執筆中の目下地区大会準備に忙殺されている。そこで地区大会の楽屋裏話を少々。準備立ち上げはかなり早かったが、その後停滞一向に進まず、目下足下に火が点いたような状況にある。今大会の特徴は2巨人?による講演である。RI会長のテーマに沿って、しからば北海道における壮大な夢をという標題のもと、寺島実郎氏にまず依頼をしたのが昨年の暮である。しかし氏は超多忙のため日程調整がなかなか決まらず快諾を得たのは今夏であった。

もう一つの企画はそれを受けて各界の論客をお願いし、それぞれの分野での具体的な将来像の展望をと論議して戴くというものであったが、話の中々まとまらず、ふっと湧いたように三浦雄一郎氏に登板願う事になった。両氏は全くカテゴリーの違う分野での活躍されている事は周知である。寺島氏には政治経済の面からの北海道の将来像を、また、三浦氏にはスポーツ文化と二側面から北海道に光を当てて戴くという事に落ち着いたわけである。願わくばお二方の講演が参加者全員に大いなる感銘を与える結果になるよう、心より念じている次第である。

最近の地区大会運営には大会を成功させるべくプロの導入が見受けられる事が多いが、会員減少での資金的問題等があり、札幌西RC全会員による手作りの大会開催という事で、つまり素

人による運営のために多分随所でボロが出るのではないかとの危惧があるわけだが、そこはロータリアン同志の友情と寛容の精神でご理解頂く次第である。

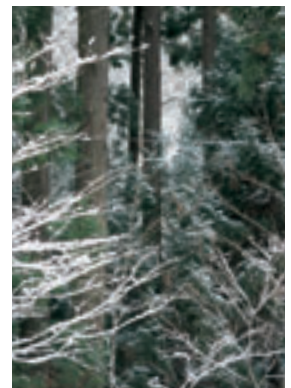
最近、ガバナー公式訪問に随伴する機会があった。僅か10クラブ弱ではあったが、大変興味深かった。ガバナー公式訪問は既に3分の2くらい迄進んでいる。今年は最近の傾向として数クラブを合同で行うのが通例のようだが、矢橋ガバナーは1クラブ、1クラブを丹念に訪問し、またDLPばりのガバナー補佐にクラブ協議会の全てを委譲するのを避け、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、公式訪問例会の三点セットを丁寧に進めている。Face to Face が矢橋ガバナーの信条だ。よく最近側面で人口過疎地での小規模クラブでの活動停滞や毎週例会の実行が危ぶまれているとかの話をする事があるが、どうしてどうして規模の大小やバックグラウンドとしての地域の経済的疲弊にかかわらず大変よく運動を展開されているように感じた。また派手なパフォーマンスに欠ける事があれ、地域に密着した活動、ロータリー財団への協力等、ロータリーに寄せる心情に熱いものを感じ、今後の第2510地区のロータリー運動の未来に大いなる希望を改めて強く感じた次第である。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：初雪の円山
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.6
2008
12

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 李東建国際ロータリー会長メッセージ
- 3 ————— 第36回 ローターアクト地区協議会
- 4 ————— 国際ロータリー第2510地区 2008-09年度地区大会Photo
- 6 ————— 地区大会回顧
- 7 ————— 地区大会を振り返って
- 8 ————— ヴィセンテ J. カルロスRI会長代理ご夫妻をお迎えして
- 9 ————— 第3700地区のロータリアンを地区大会にお招きして
- 10 ————— スパウス・新世代プログラム同行記
- 11 ————— 地区大会記念囲碁大会
地区大会記念ゴルフ大会2008を終えて
- 12 ————— 地区大会を振り返って
- 13 ————— 第1回 ローターアクト自転車リレー報告
- 14 ————— 私の“Rotary Notes”
東は東、西は西
- 16 ————— ガバナー補佐レポート
「小粒でもピリッと辛い」第1グループ紹介
- 17 ————— ガバナー公式訪問
- 20 ————— ローター財団寄付
米山記念奨学会寄付
文庫通信
- 21 ————— 新入会員のご紹介／訃報
- 22 ————— 出席率・会員数
- 23 ————— 地区カレンダー（12月・1月）
- 24 ————— 米国の金融危機の影響について
次回のGSEプログラムに想う
- 25 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

折り返し地点にさしかかって

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

12月2日、札幌西ロータリー・クラブ例会への出席で、ガバナー公式訪問が終了します。一緒に出席してくださった12名のガバナー補佐に、まずは御礼申し上げます。

最後の訪問先はホームクラブ、というのが慣例になっています。「訪問」というよりは、帰ってきました、ですね。「ただいま」。ゴールに飛び込む仲間が「おかえり」と出迎えてくれる情景をイメージします。箱根駅伝のような。そういえば箱根駅伝は来月ですね。でも、襷を渡す第二走者は、今年度にはいません。その意味では、これは駅伝ではなくてマラソン。73クラブという中継点を回っても、襷はかけたまま。私が渡す次の走者は、渡邊ガバナー・エレクトです。ではホームクラブへの公式訪問で何故、駅伝を思い浮かべたのか。やはり迎えてくれる仲間の顔が、ゴールテープの向こう側に見えるからでしょうか。箱根から大手町に帰ってくる復路でのゴール地点。苦楽を共にした陸上部の仲間が、順位に関係なく、泣いてアンカーを迎える。そんなシーンを毎年1月3日、テレビで見ているもので印象に残っているのかもしれませんが。

我がホームクラブの会員みなさんが、泣いて迎えてくれるなんて期待してませんが（笑）。きっと、淡々と、いつものように三越に行って、ちょっとした会員卓話かと思ふほど自然な例会になるのではと思われま。逆にそちらの方を期待します。そうあって欲しいのです。ホームクラブは堅苦しくないからこそ、ホームクラブ。地区大会の準備と運営において、ホームクラブのみなさんには大変お世話になりました。改めて御礼を申し上げますつもりです。泣いて迎える会員がいなくても、私が泣いて感謝の言葉を述べるかもしれません。そのためにも、ガバナー公式訪問はホームクラブを最後にとっておくのかも知れません。公式訪問で泣いたガバナーの話はこれまで聞いたことがありませんが、地区大会を終えて感極まったガバナーはたくさんいらっしゃいます。緊張の糸が切れ、それまでの苦労を思い出してしまうのでしょうか。地区大会が公式訪問のゴール地点であれば、尚更です。

中学生や高校生は、文化祭が終わるとよく泣きます。思春期特有の感受性かと思っていました。後期高齢者に同じ現象が起こるのは、思春期への若返りか、涙腺が緩みやすくなっただけか。地区内73クラブ、7月15日の江別西ロータリー・クラブを皮切りに、合同・ダブルヘッダーを含め61日間かかりました。大会終了時点でまだ20クラブ残っているほどのゆっくりとしたペース。その2ヶ月間にはIMや周年記念式典にお招きいただいたり、大会準備で夜遅くまで議論を交わしたり、他地区の大会に参加したり、東京で研修を受けたり等々毎日がロータリーです。これほどドブプリとロータリー漬けになるとは思いませんでした。

クラブ会長も大役です。任期の1年間はロータリー漬けだと覚悟したものです。今年度会長のみなさんも、その覚悟で臨まれたことでしょう。そして、ようやく折り返し地点が見えてきた、という達成感と疲労感を楽しんでいるのでは。私も、4年前に会長を務めたときはプレッシャーを感じたものでした。が、こうしてガバナーとしてロータリー漬けの毎日を過ごしていると、会長というのは週1回の集約された責務だということに気がきます。仕事上多忙だからとか、あまりひとをまとめるタイプではないから、といった理由で、せっかく会長に推されても断る方が最近増えたと聞きます。確かに責任感がなければ務まらない職務です。そのぶん、週1回、1時間の例会を、1年間仕切るだけで、1年後にはなんとなく成長した気分を味わえることも請合います。

米山梅吉翁は例会を「人生の道場」と称しました。1年間、道場主を務め上げるのもよい機会。最終例会の閉会点鐘をむせび泣きながら叩くほど道場で鍛錬された会長こそ、RIは表彰すべきだなどと勝手に考えます。

今年度の往路は、忙しいながらも楽しい半年でした。復路もみなさんと一緒にロータリーを楽しめますよう。



尊敬する日本のロータリーの指導者の皆さま

RI会長

李 東建

ヨーロッパからアジアへ向かう機上で、「ただ今、インド上空を飛行中です」との機長の案内放送を聞き、この手紙をしたためております。それというのも、数週間前、中国出張の際に、機内で事務総長が渡してくれた一枚の報告書を見たことを思い出したからです。そこには、会員数世界第2位を誇る日本のロータリーが、インドに追い越されたという内容が記されていました。

私は、衝撃的なその内容を信じるのができませんでした。ちょうどその時、私の乗っていた飛行機は富士山の上空を飛んでいました。私は誰よりも、日本のロータリーに関心を抱いております。日本のロータリアンの中には、ロータリー発祥地のアメリカに勝るとも劣らぬロータリー運営をしているとおっしゃる会員もおられました。

数年前、宮崎で開催されたRI第2730地区大会に会長代理として出席したことがあります。第2730地区は、私の亡父がRI第3660地区ガバナー（1985—86年度）在任中、姉妹地区でありました。当時、亡父と同期のガバナーがまだご存命で、臥病中にもかかわらず、亡父に対する懐かしさから、私と会っていただきました。

テーブルを前にして対座した老紳士は、次のようにおっしゃいました。「貴殿のお父上は私よりも2歳年上でしたが、寡黙な人でありました。当時の日本のロータリーは韓国とともに旭日昇天の勢いで活動をしていましたが、今は一寸、気持ちが緩んでしまったような感じがします。しかし、日本人は団結力があるから、すぐ立ち直るでしょう。日本人が「よーし！」と気合を入れ、肝に銘じたら、会員増強も世界第一の実績を挙げることができると思いますよ」

その後、私は老紳士にお目にかかる機会がありませんでしたが、「よーし」と言った彼の言葉に共感し、一致団結して立ち上がる日本人に魅了されております。私は当分の間、アメリカにおいて日本を凌駕するロータリー国はないと思っておりますが、しかし、亡父が称賛していた日本のロータリーが衰退の影を見せているのではないかと、不安が押し寄せてきています。

日本のロータリーは、会員数減少とともに、3.5ゾーンから3ゾーンへと縮小されました。インドのロータリアン数が日本を追い越したことで、日本のロータリーが弱体化するとは、もちろん、思っておりません。しかし、世界のロータリーの羨望的であった日本のロータリーが、後退してはなりません。世界の模範となるロータリー国である日本が弱体を見せると、世界のロータリーが後退する結果をもたらすからであります。

日本は2人のRI会長を輩出したロータリー指導国であり、日本のロータリアンは世界社会奉仕面でも先頭走者として活躍しておられます。日本ロータリーの会員増強においても、いろいろな方法がありますが、女性会員を積極的に迎え入れるのも一案であると思われます。韓国では、日本の数を超す女性会員が活動しており、女性ガバナーも3名輩出しております。

敬愛する日本のロータリー指導者の皆さま、いかに経済が難しく、民心が変わるとしても、日本人には「よーし」という精神力があります。皆でともに手に手をつないで前進してまいりましょう。2008—09年度に、会員増強の新しい金字塔を立ててゆこうではありませんか。

末筆ながら、皆さまの新鮮かつ格調高い対応策を期待いたしております。

第36回 ローターアクト地区協議会

ローターアクト地区協議会
実行委員長 畑井福太郎
(函館RAC)

平成20年10月11日(土)。函館市において、函館ローターアクトクラブをホストに、「2008～2009年度国際ロータリー第2510地区ローターアクト第36回地区協議会」が開催されました。ローターアクター20名、ロータリアン14名と参加人数は少ないものでしたが内容は充実したものでした。第11グループ担当地区ガバナ―補佐、地区新世代委員長にも参加頂き、ローターアクトの現状を知っていただけた事と思います。

今回は「ローターアクトを見直そう。確認しよう。」をテーマとして、年々厳しくなるローターアクトを取り巻く環境の中で、ローターアクトが今後も安定的、継続的に活動していくためにはどうすべきなのかを参加者で考えました。地区内8クラブの活動状況を発表し、各クラブの活動や工夫を参考に今後のクラブ運営、地区運営に活かし、ローターアクトの更なる発展を目的として充実した地区協議会になったと思います。

各クラブからは、「1.ローターアクトクラブの例会について(内容、会費、ロータリアンの参加など)」、「2.提唱ロータリークラブとの交流について(ロータリークラブ例会訪問、メーキャップなど)」、「3.ローターアクトクラブとして行っている活動について(どのような事業、活動の運営費など)」、「4.提唱クラブに望む事」の4項目を柱として発表していただきました。

メンバー減少、提唱クラブとの関係、クラブの抱える悩み、改善方法として工夫している事、ローターアクトの知名度をあげるための活動とこれからの活動やローターアクトのあるべき姿を考えるきっかけの一つとなったと思います。今回の地区協議会では、参考資料として「ローターアクトクラブ定款」「ローターアクト方針声明」などの資料も配布し、改めてローターアクトについての規則などについても新入会員だけでなく、ローターアクト会員、提唱ロータリークラブともに再確認の場ともなりました。

今年度も折返しが見えてきたこの時期に、今回のテーマで地区協議会が開催できた事は、次年度に向けて動き出すにあたり、有効なものではないかと思えます。残念ながら地区内ローターアクトクラブ半数が欠席という開催ではありましたが、参加したクラブの今後の活動にも何らかの刺激となったのではないのでしょうか。残念ながら欠席したローターアクターにも広く今回の地区協議会の内容、考え直すべき事を伝えていく事が重要となります。ローターアクトが今後発展していくためにも、参加した人だけのものではなく、会員1人1人の意識を高め、若い力が最大限に引き出される事を期待します。

地区協議会後に開かれた、懇親会ではローターアクト、ロータリアンが友好的に交流し、大いに語り、ローターアクトとロータリーの絆が深まった様に感じました。今後も「親子の関係」を良好な状態で継続し、互いの目標、目的に向かって協力していければと思います。





国際ロータリー第2510地区 2008~2009年度

地区



大会第1日 会長・幹事会



ロータリーソング斉唱



RI会長代理 ヴィセンテ J. カルロス



曾我隆一PG



記念囲碁大会



地区パストガバナー

大会

2008年10月25日^土・26日^日 ロイトン札幌



矢橋ガバナー点鐘



寺島実郎氏



三浦雄一郎氏



大会第2日 本会議



八木大会実行委員長



石谷ホストクラブ会長



吉田・浜松進行役



RI会長代理・ガバナーご夫妻



記念ゴルフ大会

地区大会回顧

伊藤 千秋

(札幌西RC)

国際ロータリー第2510地区の地区大会が2008年10月25日、26日の両日に亘り挙行され、無事に終了したことは誠に慶賀に堪えない。多くの関係者の方々に深甚なる謝意を表する次第であります。

ロータリーは言うまでもなく奉仕（Service）を第一義とする奉仕団体であります。このために世界を挙げて心ある人々が参集し奉仕を第一義とする団体でありましょう。考えて見ますと、私共はこの大義のため目的を達成する具体的、効果的手段として誠に実効のある方法を行って成果を期しています。

それが年一回開催される国際大会、地区大会加えて個々クラブの毎週例会であります。この実態は奉仕の大局の把握に始まり、方法、手段の検討へとステップ・ダウンし、結論、実施へと進むわけであります。

今回の私共の地区大会は上述の主旨では誠に良く整えられた大会であると自負したいのであります。

李東建国際ロータリー会長はそのメッセージの中で『私達の仕事はシンプルです。心と智恵と魂とを注ぎ、命を救うことです。私達の仕事は「夢をかたちに」することです。』と述べています。言や良し、本当に頭が下がります。

又、国際ロータリー会長代理、フィリピン第3810地区のヴィセンテ・カルロス氏はこう述べています。「アジア・第三世界には第2510地区の皆さんが貢献して戴ける緊急の用事がたくさんあるのです。」と呼びかけておられます。これ等は或いはロータリーの会合での恒例かも知れませんが、心して耳を傾けて聴きたいものと思います。

次に触れたい点は地区大会決議であります。「決議第1号」から「決議第10号」にかけての決定であります。これ等の内容を検討して見るに誠に重要なもののあるのを覚えます。単なる思い付きでは決して出来ぬ事項が存在します。慎重さを深く顧みる大切さを感じます。

以上申し述べました事の要は、矢橋地区ガバナーが申される『「夢」をかたちに』に帰着することと思えます。同ガバナーは、夢は未来、将来の単なる希望、憧れではなく現在を引っ張るものであると訴えます。私達は将来を夢みる中に現在の足下、現実に関心を寄せる大事さを忘れてはいけません。そこから総ては出発するのであります。

大会2日目に行われた記念講演、お二人の講師の講演に触れてみます。

・寺島実郎氏「これからの北海道が生き抜く道」

上掲の演題で氏の生涯に関わる具体的な体験を通じ該博な見識をご披露戴き、私共には殆ど不案内な政治、経済の現政府の行政に関与される一面のご紹介も戴きながら貴重な啓蒙を頂戴致しました。特に札幌出身者としての自負からでしょうが、札幌農学校長クラーク、内村鑑三、新渡戸稲造氏等に言及され本道人には今日もっと進取の気象の活性化が必要なのではないかとこの激励を頂戴致しました。

・三浦雄一郎氏「私の夢—世界最高齢でチョモランマに挑む」

上記の演題で齢七十歳を越えて登頂を取行された。健康に十二分に配慮された心身の誠に厳しいトレーニングの成果の結実を見事に果された体験談、又そこに至る尋常一様ならざるトレーニングの実体のご紹介等を戴いた。健全なる精神は健全なる肉体に宿る、の生命の覚醒への教示を戴いた。

今回の地区大会の参加者数は1,500名を優に越えたとのことであるが、この事がロータリアンのロータリーの原点への堅実なる回帰であるならば誠に喜ばしい事象である。

最後に今一度関係者の方々の労を多として心から感謝を表明し、明日からのロータリーの又の力強い歩みを期待したい。

地区大会を振り返って——記念講演事業

地区大会実行副委員長

記念講演担当 石黒 直文

(札幌西RC)

振り返ってみると、動きが始まったのは2年前の2006年の秋だ。当時、実行委員長であった私（2007年6月に会長エレクトの病氣辞退により急遽2007～8年度の会長に選出された私は八木昌興氏に実行委員長をお願いして副委員長となった）が、早急に決めなければならないと考えたことは次の3点だった。

- ① 大会のコンセプト（メインテーマ）
- ② 会場と日程
- ③ ゲストスピーカー（講演テーマと人選）

会場と日程は、2006年11月に、ロイトン札幌+厚生年金会館、2008年10月25～26日に決まった。このとき大会企画・総務担当として議論に加わっていただいたのは、矢橋ガバナーエレクトを始め、大金、八木、石丸、小野江、浅野、浜松の各氏である。

問題は大会のコンセプトだ。何のために地区大会を開くのが決まらなければ、ゲストスピーカーの人選も決まらない。率直に言って、いま北海道の現状はきわめて厳しい。将来に対するビジョンがなかなか持ち得ない。ロータリーの組織人員も一部を除いてギリ貧を続けている。数多くの議論の末、こういう厳しい状況だからこそ、今度の地区大会は、われわれ北海道のロータリアンに対して、将来への夢と希望を示すことのできる地区大会にしたいとみんなが思った。やがて2008～9年度のRI李東建会長の「Make Dreams Real 夢をかたちに」が示された。ガバナーの賛同を得て、われわれが示した地区大会テーマは「北海道 その夢」だった。テーマが決まれば、次は、それに相応しいスピーチであり、スピーカーだ。テーマに沿って、北海道の未来に対する確かな方向を指し示す識者は、誰だ。実行委員会の総務企画担当の委員は、その候補者を5名に絞って論議を重ねた結果、三井物産戦略研究所および日本総合研究所を主宰する寺島実郎氏にお願いしてみようということになった。

北海道の沼田町生まれで、札幌の幌西小学校、手稲中学校、旭ヶ丘高校の卒業生。北海道を愛し、世界的な観点からも歴史的な観点からも、われわれの期待に十分に答えていただけの人。それは寺島さんだ。早速、2006年7月に文書で、われわれの意図するところを伝えて講演依頼するとともに、9月21日に三井物産戦略研究所を訪問し依頼した。正式に応諾する旨の回答があったのは、2007年3月であった。

一方、もうひとりのゲストスピーカー、三浦雄一郎氏が決まったのも、2007年3月である。当初、われわれはメインスピーチのあと数人のディスカッションによるフォーラムを考えていた。しかし、実際の組み立てになると議論が百出してなかなか決まらない。そのとき、「三浦雄一郎さんに頼んだらどうだ」と言い出す人がいた。なるほど、三浦さんは75歳になって、この夏、世界最高齢で、世界最高峰のチョモランマにチャレンジしようとしている。われわれ北海道のロータリアンにとってこれほど勇気を与えてくれる人はいない。また、これほど北海道を愛している人もいない。早速、三浦さんと親しい戸部謙一会員が内意を伺った。3月10日正式に応諾の返事を頂戴し、これで記念講演のビッグ・ツーが決定したのだった。

10月17日、上京、両者訪問。スケジュールの細目を打ち合わせ、当日の当方の出迎え等対応担当者も、寺島担当 大金弘武さん、三浦担当 浅野、小野江両会員にお願いすることとした。当日、舞台上がって感動した。参加者のほとんどが席を立たずに講演を聴こうとしている。率直に言って、従来の地区大会は午前中の行事が終われば、会場はがらがらになってしまう。だが、今回はほとんどの人が席を立たずに、真剣に耳を傾けようとしているのではないか。

寺島さんは、2008年が、まず、時代の潮目が大きく変わる年だと時間軸上の位置付けを明確に示した。北京オリンピックの成功、環境問題に焦点を当てた洞爺湖サミット、さらに百年に一度の経済危機は、間違いなく世界が変わりつつあることを示すものだ。また、アメリカの時代の終わりとはアジアの興隆という地球儀における日本と北海道の座標とベクトルを的確に指し示してくれた。三浦雄一郎さんは、まず、チョモランマ登頂のなまなましいビデオでわれわれの度肝を抜いた。75歳という高齢で過酷な登頂に成功するには、実はなみなみならぬ努力で困難を克服したに違いない。しかし、三浦さんはユーモアに満ちた語り口で、平凡な訓練を倦まず続けることの大切さを淡々と話してくれた。

お二人が、北海道のロータリアンのために残した言葉。寺島さん「他人に依存して成功した国も地域もない。北海道が生きぬく道は、自分で切り開く気概を持つことだ」三浦さん「人は夢に挑戦することだ。決して諦めてはいけない」

ヴィセンテ J. カルロスRI会長代理ご夫妻をお迎えして

戸部 謙一（札幌西RC）

戸部アナマリア（札幌はまなすRC）

当地区大会のRI会長代理として、フィリピンRI第3810地区のヴィセンテ J. カルロスPDG（以下ヴィンス）と令夫人のクリスティーナ（以下ティーナ）がご来道されるとの事で、私が彼と面識があり、また在札幌フィリピン共和国名誉領事でもあることから矢橋ガバナーの依頼を受け、妻アナマリアとエイドを務めることになりました。

私達にとってエイド役は今回で3度目になります。最初は1984～85年度のメキシコ出身のカルロス・カンセコRI会長ご夫妻が札幌にいらっしゃった時です。当時の第250地区ガバナーは道下俊一先生、第251地区ガバナーは札幌西RCの河邨文一郎先生で、両地区合同でRI会長ご夫妻を迎えることになり、アナマリアがメキシコ出身であることもあり私達にエイドを頼まれ、緊張と楽しさを感じながらその責を果しました。又、当年度地区大会のRI会長代理はフィリピンのサビノ・サントス元RI理事で今は亡き札幌西RCの石井会員がエイドをされました。

次は1990～91年度地区大会のRI会長代理が札幌西RCの姉妹クラブであるヴィンスと同地区のマカティ・ウエストRCの親友のオスカー・C. デ・ベネシアPDGの時で、当年度の白石欽一ガバナーや石田幹事にエイドを頼まれ引受けました。令夫人のブーツとアナマリアは大の仲良しでしたし、又、私達はオスカーがガバナーの時、3日間にわたる地区大会にも出席した仲でしたので滞在中は気楽で楽しい日々を彼等と過した事を思い出しています。

そして今年度はヴィンスです。当地区へフィリピンからのRI会長代理として来られたのは3人目となると思います。ロータリーから生まれた友情を大切に、そして感謝しつつ。

次からはアナマリアの記述です。

私アナマリアはロータリアンになってはじめてのエイドです。10月23日に矢橋ガバナーご夫妻と私達は新千歳空港でヴィンスご夫妻を迎え、夕食はガバナーの招待で和食を楽しみました。24日は雨と寒さで大変でしたが、ヴィンスご夫妻と我々4人は札幌市内観光後に小樽市のガラス工芸品やオルゴール館等を見て廻りました。両日の移動中や食事の時に色々な話題が出てとても楽しい一刻が持てた事は良き思い出となっています。

ヴィンスは以前に観光大臣を務めた事もあり、現職の弁護士以外に十数社の社長や役員の任にあり、又コートジボアールの名誉領事も務めている大変多忙な方ですが、同時にロータリーを熟知し、心より愛して活動している事もあり、RI会長代理として日本やアジア諸国の地区大会に何度も出向かれているとの事でした。ティーナもマニラRCのインナーホールの会長も務めたロータリーを良く理解している方で多くの時間を夫と共にロータリーの為に使っている素晴らしいスパウスのようです。又この度の当地区大会出席にあたりマカティ・ウエストRCの会員や数回来札している義兄のジュン・タンブンティンPDGから当地の情報を得て訪問を楽しみにしていたとの事でした。

彼等が新婚旅行に選んだのは日本、滞在中の食事は殆ど和食とのことで日本が大好きなご夫妻でした。又令夫人は、大学時代にフィギュアスケートでフィリピン・チャンピオンになったとの事で次回にお会いする時は私の夫と一緒に滑ろうと約束していました。

大会第1日の歓迎晩餐会では伊藤義郎元RI理事の素晴らしい英語でのスピーチに感動しており、その後同じテーブルの竹山涼一元RI理事ご夫妻、矢橋ガバナーご夫妻との歓談を楽しんでおられました。最後の「手に手つないで」は輪の中に入り温かい友情を感じたと喜んでいました。

第2日ではヴィンスは壇上に残り、ティーナ、矢橋ガバナー夫人と私の3人は遅れてスパウス・プログラムに参加しました。北海道大学の銀杏並木は素晴らしく美しく、その並木を昔の服装でパレードした学生達を見て日本の大学生についての見方も変わったと愉しげに写真を撮っていました。再び会場に戻り、ヴィンスご夫妻は札幌南RCのクリステンセン会員の通訳で三浦雄一郎さんの講演を楽しんでおりました。当日、三浦さんが出版した本にサインをしてもらい記念として彼等にプレゼントしました。

地区大会も無事終了し懇親会の後、札幌西RCの慰労会にも出席して総てが終わりホッとしました。大会中そして27日、千歳空港までの車中でヴィンセご夫妻は大会に参加した多くのロータリアン、若き留学生やインターアクター、ローターアクター達が真面目に又一生懸命会議に参加している姿や地区委員会のブース等での活動内容の報告や計画のPR等を見て感動した事、慰労会で「おつかれさま会」の意味を知り、ホストクラブのメンバー全員が大会の運営に協力した姿を見て嬉しく、その晩はティーナと夜遅くまでこの事を語り合ったとの事でした。又この大会で多くの素晴らしい方々との出逢いがあり記憶に残る楽しく意義ある大会であったと話されておりました。RI第2510地区の皆様がマニラに来られる時には是非声を掛けて下さいとの事でした。

最後になりましたが、大会期間中及びその前後にエイドにご協力、ご支援を戴きました地区大会実行委員会の皆様に心より御礼を申し上げます。

第3700地区のロータリアンを地区大会にお招きして

地区国際奉仕委員会

委員（国際友好担当） **森谷 明弘**
(札幌西RC)

地区大会の開催初日、朱（Joo）ガバナーを団長とする韓国第3700地区のロータリアン26名を千歳空港で通訳の李さんと共にお迎えしました。今回、訪日のロータリアンは自宅を午前4時に起床、6時に大邱（テグ）の空港に集合し、仁川（インチョン）空港で飛行機を乗り継いで千歳空港に12時20分に到着しました。予定の到着時刻よりもず～っと早い千歳空港への着陸だったので我々を一瞬慌てさせました。

この第3700地区との姉妹提携は2004年10月に遠藤秀雄パストガバナーにより締結され、爾来、矢橋ガバナーが地区の国際友好委員長として就任してからは、地区大会の開催毎に相互訪問をくり返し、地区同士のロータリアンの友好と親善を深めてきました。今後は、次のステップとして両地区の共同事業の企画が懸案になっております。

今回、地区大会への参加をいただいた第3700地区のロータリアンは、直前になって為替が超円高・ウォン安にふれた為に、ツアー料金が割増しになったと伺いました。

当日夜のRI会長代理歓迎晩餐会のあとは、市内のカラオケ店に案内しました。早朝からの移動にも関わらず、カラオケ店での第3700地区のロータリアンのパワーには圧倒されました。これが韓国のキムチパワー全開ともいえる様子、次から次へとくり出される歌の数々に、一同満足をいただけた事と思い、案内人としてホッとしたいです。

翌日の大会当日は、ランチに日本食の弁当を食べて頂きましたが、特別に用意した白菜キムチ・オイキムチ・カクテキ三点盛りは大好評で、残さず召し上がられました。一行は毎日、習慣のように食べているキムチにホッとしている様子でした。翌日以降は、小樽・洞爺・登別を観光し、北海道の温泉と若干遅めの秋を堪能して28日（火）に矢橋ガバナーの登美子夫人も千歳空港に見送りにかけつけて頂き、来年春の大邱（テグ）での地区大会の再会を約束して、釜山経由で帰国しました。

次年度の第3700地区の大会は、今回、朱（Joo）ガバナーと共に訪日された若くてエネルギッシュな宋（Song）ガバナーエレクトの下に2009年5月1日、2日に繊維の街・ファッションの街、大邱市（テグ）で開催されます。数多くのロータリアンの参加を願っております。

《第3700地区の概要》

第3700地区の中心都市大邱市（テグ）は人口250万人。世界のポリエステル生産の40%を占める、ソウルから300kmにある繊維都市。

- 93クラブ・会員総数3,373名
- 女性のみクラブ17クラブ・女性会員数468名（2008年4月現在）

スパウス・新世代プログラム同行記

地区幹事 上出 利光
(札幌西RC)

地区大会前日のゴルフ大会は生憎悪天候に遭遇したとの情報が入った。ゴルフ担当村上委員長始めとした関係ロータリアン各位の意気消沈振りが目に浮かぶ。しかし、企画、景品等の準備に大変な手間暇をかけていたのを多くの関係者が見ており、そのご苦労には敬意と感謝です。

地区大会2日目も雨、しかも晩秋の気温との天気予報であった。このプログラムの目玉は、紅葉に染まった北大構内の散策と一般には馴染みが少ない博物館訪問である。地区大会副委員長の石黒さん、ホストクラブ実行委員会総務の小野江さん、宮松スパウスプログラム委員長は、北大等との事前の打ち合わせに十二分に配慮されていたが、如何せん御天道様だけはどうしようもない。早朝ロイトンに向かう車の中でも空だけが気になっていた。

地区大会の議事が進行し、10時前に司会のアナウンスを受け、スパウスプログラム参加者約40名は会場を後にして観光バスに乗り込んだ。宮松委員長は老舗料亭の社長であるが、新米社会人の時の研修で経験した観光ガイド?の実力を遺憾なく発揮し、見事なバスガイドぶり、会場からあつと言う間に北大に到着した。しめた、まだ雨は落ちてこない。正門脇に停車し、構内を博物館に向かった。途中北大第一の観光スポットであるクラーク博士像の前で先ずは、全員で記念撮影。写真撮影はこの道のプロである札幌西クラブの古参ロータリアンの川田氏。ガバナー月信に掲載されるスパウスプログラムの写真の構成、ピントを御覧あれ。

国際ロータリー会長代理ティナ夫人とエイドの札幌はまなすRC戸部アナマリアさんは、遅れて博物館で合流した。博物館では、玄関前で博物館職員、ボランティアの丁寧な出迎えを受け、昭和から使用している講義室で先ずは、オリエンテーションを受けた。矢橋ガバナー夫人を筆頭に妙齢のご婦人達、米山奨学生、インターアクト等と一緒に。久しぶりの古めかしい椅子、机の環境に小生ならずとも昔を思い出し、試験問題が配られるのか?と一瞬錯覚してしまった。

恐竜の骨格標本等の見学に十分な時間を割り、最後はチェンバロの演奏会を楽しんだ。チェンバロはピアノの原型ともいわれている。4年前の大型台風で倒れた北大構内のポプラ材を使用し、北大ポプラの生まれ変わりとしてのチェンバロである。ピアノと異なりその音色は極めて繊細であり、極狭い空間でしか音が届かず、また調律に時間を要する等の事情からこの音色を耳にした方はまれであろう。3曲楽しんだが、最前列に陣取っていたティナ夫人、アナマリアさんからの不意をつく「アンコール」というリクエストに演奏者は、喜んで応えてくれた。

外に出ると一瞬パラパラと来たが、あまり気にならず、この後、13条門に向かって紅葉真っ盛りの銀杏並木で記念撮影し、一路海陽亭に向かった。趣のある広間で料亭の昼食を頂いた。食べ盛りの学生は大盛、お変わりのサービスを受け、これを完食。小生のテーブルでは、札幌西クラブ橋本委員、韓国、中国、台湾、カンボジア等の米山奨学生との楽しい食事の時間であった。

スパウスプログラムを楽しんでいただけたらうか?至らぬところは、ロータリーの寛容の精神でお許しあれ。



地区大会記念 囲碁大会

戸部 謙一 (札幌西RC)

今年度のR1第2510地区、地区大会記念囲碁大会は10月13日に日本棋院北海道本部囲碁会館で開催されました。当日は10グループから25名の参加があり、4段以上の12名がAクラス、3段以下の13名がBクラスに分かれ和気藹々の中で囲碁を楽しみました。

大会はホストクラブの札幌西RCの石谷会長の挨拶で始まり、5時間半の間に各人が4名の方と対局して優勝を争いました。終了後に隣のKKRホテル札幌に移動し、矢橋ガバナー出席のもと懇親会が行われ、その時にA、Bクラスの優勝者及び準優勝者にガバナーよりそれぞれの楯が贈られました。ここに各クラスの5位迄の成績を発表させて戴きます。

	Aクラス		Bクラス	
優勝	中村 孝一	4段 (札幌真駒内RC)	南部 昭憲	3段 (札幌真駒内RC)
準優勝	五十嵐達明	4段 (滝川RC)	内田 豊	2段 (札幌幌南RC)
3位	山口 俊秀	4段 (静内RC)	加藤 嗣郎	2段 (伊達RC)
4位	戸井 敏夫	6段 (札幌幌南RC)	戸部 謙一	初段 (札幌西RC)
5位	伊藤 長英	6段 (苫小牧北RC)	彫谷 吉英	3段 (余市RC)

今年度のA及びBクラスの優勝者は共に札幌真駒内RCの方になっており、地区大会終了後の懇親会では当記念囲碁大会の優勝者として紹介させて戴いております。

この記念囲碁大会の開催にあたりましては、例年の如く伊藤長英PDG、札幌幌南RCの熊谷泰隆7段と高島英寿6段の方々に多大なるご協力、ご支援を戴き無事に大会を終えることができました。又当日は岡崎康午囲碁大会副委員長、川田弘記録委員長の長時間にわたるご協力を戴きました。本当にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、次年度ガバナーのホームクラブ、滝川RC次年度会長の川口義弘氏もお出でになり熱心に見学されておりました。次年度の地区大会記念囲碁大会も盛会であることを祈りつつ、又皆様のご協力に感謝しつつ。

地区大会記念 ゴルフ大会2008を終えて

村上 登 (札幌西RC)

「ゴルフは全天候のゲームだ。中止になるのは雪と落雷のときだけ」作者不詳

2008～2009年度の地区大会がわが札幌西ロータリークラブは矢橋ガバナーの御指導の元各実行委員長中心で会員総力実行されました。

私は24日ゴルフの委員長を命じられメンバーの協力を得て会を盛り上げ、楽しい思い出多い大会であるように準備しました。登録者79名当日のプレイヤー56名キャンセル23名でした。当日はこの日1日だけ大風、大雨に見舞われ、全て私の普段の奉仕活動が悪いと参加の皆さんにいびられまして、平身低頭の連続でした。心ある人には思い出に残る一日になるねーといわれずがる思いでした。

盛りたくさんの賞品を皆さんに公平に配ることが出来て本当にホットしました。参加して頂いたクラブの皆さんは、伊達RC5名、登別RC1名、岩内RC1名、蘭越RC1名、栗山RC2名、岩見沢RC1名、札幌RC4名、北広島RC1名、札幌幌南RC1名、札幌東RC4名、札幌真駒内RC1名、札幌手稲RC4名、札幌西北RC7名、札幌南RC2名、新札幌RC2名、札幌西RC19名、合計56名で大雨でのキャンセルは当日11名でした。賞品が皆さんに多くいきわたる様にと、還暦を境にシニアの部と、一般の部に分けて表彰しました。

見事優勝の荣誉に輝いたのは一般の部、伊達RCの安宅修治さん、シニアの部、伊達RCの小野寺隆之さんベストグロス、シニア二部岩見沢RCの金子賢一さん、一般の部札幌幌南RCの舛田雅彦さんの皆さんでした。おめでとうございます。優勝者には矢橋ガバナーから三越仕立てのグリーンジャケットと今年度チャンピオンと記名入りのエンブレムが贈られました。悪天候と共に良い思い出であって欲しいと願っています。不手際はロータリーの友情でお許しください。参加の皆さん有難うございました。

地区大会を振り返って

地区大会実行委員会 副幹事 石丸修太郎
(札幌西RC)

初めての経験となった、個人としての地区大会の思い出を述べてみたいと思います。矢橋ガバナーの誕生が決った2年前、札幌真駒内クラブが地区大会のホストを務めていた頃は、札幌西クラブがいずれ地区大会のホストを行うということは判っていましたが、まったく実感としては無いものでした。

その後、酒井ガバナー年度に、ひよんなことから地区のIC委員とGSE委員を掛け持ちすることになり、地区の委員会の仕事を垣間見ることができましたのは、結果的にブースの設置などで大変良い経験となりました。また同時期に、矢橋ガバナー年度の地区幹事にノミネートされ、昨年からの準備のための作業が進められ、PETSや地区協議会など様々なところで他のクラブの方々と知りあえたのも、この地区大会の運営には大いに役に立つものとなりました。地区大会に関しては、札幌西クラブの中で昨年の夏に実行委員会が立ち上がり、その中で副幹事として、会計・総務・企画、登録・受付、広報・記録を受け持つこととなりましたが、その後、宿泊・輸送も担当となりました。

物事進めるにあたり、何せ先立つものがどのようになるのかが、まず必要な世の中でありました。これまでの地区大会の決算書を集め分析し、予算作りが私の最初の仕事となりました。登録人数の読み、記念事業への参加人数の読みが鍵でしたが、前年度の函館における地区大会の人数をまずは基礎として予算組みを行いました。その上で、会場となるホテルや会館との事前打ち合わせを行い、会場費や懇親会費などのおおよその費用の見積りを得た後、その他の経費の配分を行うと、まあこじんまりとした地区大会が可能であるとようやく判断でき、実行委員会に報告いたしました。これを基に、実行委員会で記念講演会の企画が検討され、寺島実朗氏に講師をお願いすることとなったのですが、その後、ひよんなことから、三浦雄一郎氏もお呼びしてダブルキャストの講演会が決定してしまいました。当然なのですが、予算を預かる身としてはビックリ仰天、かくなる上は、見込み登録人数の引き上げるしかなく、8月の登録開始より、実行委員長および副実行委員長の方々に各クラブ訪問を要請し、メンバーさんの登録をお願いして回っていただき、その上、ガバナー補佐の皆さんにもグループ内のクラブへの登録協力を要請させていただいた次第であります。その結果、9月半ばになりようやく予算的に目途の立つ登録人数となり、まずはほっといたしました。



また、通常は8月のお盆過ぎには連絡が来るという、RI会長代理の連絡が9月の初旬まで無く、フィリピンからヴィセンテ・カルロス氏の来訪が知らされたのは9月5日でした。連絡があったその日にすぐさま、メールを出して、プログラムへ掲載する挨拶文と写真を要請いたしました。これまでにRI会長代理を幾度も務めている経験からかすぐに対応していただいたのは大変助かりました。その後も、すべてメールでのやりとりで会長・幹事会におけるスピーチや本会議におけるRI現況報告のスピーチを事前に入手することが出来、札幌西クラブの会員が手分けして翻訳を行い、翻訳文を印刷し手配たり、プロジェクターで流すことが出来ました。海外からお客様が来られる場合のメールの便利さをしみじみ感じた次第です。本会議での最後の所感の通訳をさせていただきましたが、昼食時におおよその原稿を持っていたのを見つけて、コピーをいただけたのも大変に助かりました。

1,600余名ものロータリーアンを集めるという一大イベントで、縁の下の仕事を多くさせていただきましたが、台本も無く誠に勝手な指示をどんどん出したにもかかわらず、嫌な顔一つ見せず一緒に作業を行っていただいた札幌西クラブのメンバー全員に心より感謝の言葉を捧げさせて頂きたいと思います。

第1回 ローターアクト自転車リレー報告

地区ローターアクト委員会
委員 蝦名 大典
(札幌幌南RC)

この3~4年の間に我が地区のローターアクトの数は、著しく減少し続けている中で受け皿となるローターアクトクラブ自体までが、減少し始めました。

このことで「今までと同じ活動をしていてもローターアクトクラブの発展は厳しいのではないか」「何かに役立ち、達成感を得られる活動はないか」と話し合い、今回の函館~赤平自転車駅伝を企画しました。参加者全員で襷をバトンに交通安全を訴えた旗を掲げて パーキングエリア等では、事前にアクト会員で作った交通安全の川柳付ティッシュを配布するなどして交通安全を訴えました。



10月12日 AM7時 函館駅にてロータリアンを始め仲間たちに見送られスタートした自転車は、途中で何のトラブルも無くPM4時30分に宿泊地 洞爺湖に到着。その日は早めの夕食をとり 次の日に備えて十分に休息をとりました。



10月13日 AM7時 洞爺湖を出

発しPM4時30分に赤平駅到着。初めての企画にもかかわらず総勢16名で合計375kmを2日間で完走した時、参加者全員が「キツイ」とか「疲れた」ではなく「次はどこからどこへのリレーをしようか」などと話し、仲間と一つの目標に向かって行動をすることの素晴らしさや達成感をかみ締めてのゴールになりました。現実問題としてアクトクラブやアクトの数は減少しています。しかし人間関係が希薄になりつつある現代社会の中で青少年が心一つにして目標に向かい達成感を得ることができ、有意義な時間を共有できるローターアクトプログラムは無くしてはいけないどころか今だからこそ盛り上げていかなければいけないプログラムの一つではないでしょうか。

私自身もローターアクトクラブを経てロータリークラブに入会をさせていただきました。その時の仲間と今でも交流を続けております。これからの青少年たちにも「生涯の仲間作りの場」「有意義な時間を共有できる場」としてのローターアクトクラブを存続しかけがえのない仲間として共に成長していけることを望んでおります。

最後になりましたが、スタートの見送りや差し入れを頂きましたロータリアンならびにローターアクトメンバーにこの場を借りてお礼を申し上げます。「応援ありがとう御座いました。」



平成20年10月16日函館新聞



東は東、西は西

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《オオカミの群れ》

今この原稿を書いているのは、“いちょう”の葉が金色に輝く10月も末の「小春日和」の午後です。「小春日和」は英語でインディアンサマー／Indian summerと言うそうです。晩秋から初冬にかけて続く暖かい日のことです。また秋の収穫を終え長い冬の準備のため、雪が積もる前のこの季節、「人生の晩年などの落ち着いた幸福な一時期」もインディアンサマー／Indian summerと表現します。私ごとですが、今年は腰痛で車いすのお世話になり、その後肺炎に罹りましたが、ようやく健康になり晩秋の小春日和を穏やかに過ごしています。

さて会長幹事の皆さんは就任前にクラブの管理運営についてPETS、地区協議会で研修を受けられました。その研修はRI会長のテーマをはじめRIの重点課題など、どちらかという自分たちの単年度に限られたものでした。もともとロータリーのロータリーたる最大の特徴は一年一年ローテーションすることです。RI会長もガバナーもクラブ会長さんも任期は一年です。しかしロータリーはローテーションしながら創立以来100年間前進を続けてきました。その秘密（絶対要件）はリーダーシップとチームワークでした。ノーベル賞作家、ラディヤード・キプリングのジャングルブックという小説の中に“狼は群れの力であり、群れは狼の力である”という言葉があります。狼は一頭でも強い動物です。その狼が群れを作るとさらに大きな力を発揮します。同じようにロータリアンは地域社会の中の一騎当千の職業人です。そのような人々の尽きることのないチームワークこそロータリーが継続発展するための力の源でした。しかしそれよりさらに基本的なことは、狼の群れにはどの群れにもリーダーがいるということです。ロータリーの歴史を見ればロータリアンは常にリーダーを用意して、これに従い、リーダーを支援しています。近年RIの提唱するDLP、CLPは、まさにリーダーシップとチームワークの強化を目的としたものです。このキプリングのジャングルブックの最初に“東と西のバラード”と言う一節があり「ああ東は東、西は西、この二つが交わることはない」という有名な言葉があります。東と西の相互理解の難しさを表す言葉としてよく引用されます。

しかしこのバラードの最後に「しかし東西の二人の勇者が相向かう時には、東も西もなく、国境や民族や生まれの別もない」と繰り返されています。決して東西の人間が理解しえないことを強調しているのではありませんが、作者の意図が間違っ

《東洋と西洋の奉仕観》

ロータリーは日本にとって外来思想です。ロータリーの背景にある思想は隣人愛・愛（アガペー）を説く中世キリスト教神学です。ロータリーの綱領（目的）は万国共通の理念ですが、キリスト教と仏教では根底にある奉仕観に違いがあります。キリスト教も仏教も他の人々への愛を強調します。なぜ隣人を愛さなければならないのでしょうか。キリスト教は根源的なものとして神を立てます。その上でさらに神は愛を以って人間を作られたので、自分と同じく神の愛によって作られた隣人た

ちを愛してゆかねばならないということを強調します。

仏教はこれに対して、「無我」こそ存在の根本であると考えます。ところで無我といえ一見、全く自己は存在しないというように虚無的に理解されがちです。しかし決してそうではありません。

無我を肯定的な言葉で言いかえれば「自他不二」ということが言えます。自己がないということは、自分と他人とは二つではない、すなわち同じであるということです。このように自己と他人とは存在的に見ても全く同一であるという認識、すなわち自分も隣人も、生きとし生けるものすべて同じものであるという認識に基づいて一切のものを愛せよと唱えるのが仏教です。

キリスト教の根底にあるものは「禁断の木の実」を食べたアダムとイブの原罪説です。ピューリタニズムでは墮落した人間はどんなに修養を重ねても許されません。彼らにとってこの世は涙の谷であり、やがて終わるべき旅路に過ぎません。しかも彼らは神の栄光を増すためにこの世を少しでも神の国に近づけようと努力し、それが神に許される証となるのです。こうしてこの短い人生の旅路はやがて終わるのだから我々は昼のうちに仕事をしておかねばならないという緊迫した気持ちを生みます。この世の楽しみを捨てて、すべてを隣人愛の実践にささげねばならないという巨大なエネルギーがほとぼしり出ることになりました。そして経済活動を、神の栄光をたたえ隣人愛を実践する手段と考えました。これが職業奉仕の原点なのです。ロータリーの奉仕観にも、背景には「罪をつまびらかにし、また許す神」との緊張感があります。アメリカでは、杖をついたお年寄りが交差点を横断しようとしているのを見かけると、たちまちばらばらと数人の人が駆け寄り手を貸します。神様は健常者の心を試すためにハンディキャップを持つ人をおつくりになったのです。

一方日本の社会は東洋哲学（儒教・仏教・神道）が人々の生活を律してきました。特に儒教ではこの世と人間との関係は徹底した楽観主義に立っています。つまり儒教の考え方によると、この世は様々な世界のあり方の中で最上のもの、そしてキリスト教と全く逆に、人間の本性は善であり、修養すれば仏にもなれます。儒教の目指す人間の理想像は君子という表現で示されます。君子は徳が高いといわれていますが、それは道に従うことであり、この道とは一定の理法に従う世界秩序のことです。つまり人倫の道に従うことがこの世で目指す理想となります。儒教ではそうした外面的な作法、世間体を出るだけ守り、そのために自分を抑制します。財団への寄付金も会長さんが1,000円出すなら、皆も右へ習えで1,000円ずつ出します。日本には奉仕の動機に「贖罪」といった意識はありません。信ずる宗教の違いにより奉仕観に決定的な差が生じます。儒教での罪は秩序と調和を破ることであり、それは償いうる過ちであって、キリスト教の原罪といったものとはあまりにも遠くかけ離れています。またアメリカと奉仕観が大きく違うのは日本にはパブリックという横の概念がなかったことです。日本社会は身分的な縦の人間関係で成立していました。

かつて日本の道德規範であった儒教の四書の一つ「大学」の「修身・齐家・治国・平天下」がよく知られていますが、この縦系列の道德律に欠落しているのは、欧米における自立した個人によって形成される「社会」（パブリック）という認識です。「齐家と治国」の間に「社会」が入るべきです。日本の縦の人間関係では人間の相互関係が働くボランティアの生まれる余地はなかったのです。日本人の控えめな態度を美德とする生き方にとって、ボランティアはそれを超える精神的エネルギーを必要とするものでした。外来思想のロータリーが我々にもたらした一番大きな功績は、ボランティアというと単に「困った人を助けてあげる」ことだと思っていたが、むしろ「助けられているのは自分」の方だという新しい価値観を積極的に我々に与えてくれたことです。



「小粒でもピリッと辛い」 第1グループ紹介

地区ガバナー補佐（第1グループ担当）

大西 道祥

（深川IRC）

第1グループは第2510地区の最北端で5クラブあります。それぞれのクラブ会員数は50人に満たず、経済不況を直に受けているようですが、各クラブは地域に根ざした特徴あるクラブ運営で「小粒でもピリッと辛い」活動しております。

深川IRCは今年度創立50周年を迎えます。2009年5月17日（日）に式典を予定していますが、去る10月1日深川市役所を訪れ、市長室において伊藤 崇50周年記念事業委員長より、記念事業としてAED（除細動器）を深川市に5台（市役所庁舎、健康保険センター、道の駅深川、深川小学校、一己小学校）をそれぞれの施設に設置される予定で贈呈式が行われました。「いのち」の救命機器として50周年に大きな奉仕の機会を戴きました。



羽幌RCは羽幌町（人口8,453人）と初山別村（人口1,458人）の2町村を活動区域として奉仕活動の展開しております。会員数は女性1名を含む48名で羽幌町在住44名、初山別村在住4名の構成であり、活動地域の人口206人に1人が当クラブの会員であり、決して少なくはない会員数と思われれます。親睦委員会を中心に家族を含めた活動を展開し、楽しいロータリー活動に重点を置き、毎年3回の献血推進協力、交通安全のための街頭啓発の参加、青少年育成活動の一環として羽幌ロータリー杯少年野球大会の実施、特に2005年から羽幌町自然空間（ピオ・トブ）作りに参加協力し、一部のスペースを「ロータリーの森」と命名され、色々な種類の木を454本の植樹を終え、今年度は植樹した周りの草刈を実施したところです。また例会の開催については夜間例会を月2回設けて、会員相互のコミュニケーション、親睦の和を広めて「ロータリーが楽しい」をテーマで活動推進しております。

妹背牛RCは会員数9名の少数ながら、大変チームワークが良く、地域密着型の活動を真剣に模索し実行しています。今年度も新入学児童への黄傘贈呈、「ジュニア・カーリング大会」の実施で「カーリングの町妹背牛」の町興しに一役買っています。

小平RCは昭和49年設立以来、少人数の小さなクラブではありますが、会員相互の「和」をモットーとして、先輩ロータリアンの築き上げてきた小平RCの灯を末永く受け継いでいけるように努めており、特に家族交流の親睦活動を実施するなど、融和を重視した活動を行っています。

留萌RCは他のクラブではあまり見受けられない例会時発表があります。「3分間情報」です。

過去は情報委員会が、現在は会員研修委員会が約50年間、毎例会ごとにそのタスクをリレーしてきました。ロータリー活動全般にその内容をクラブ会員に語りかけるのです。毎週のクラブ会報にも掲載されるので聞いて読んで、じっくりと身体に染みつけることができるのです。最近の3分間情報の中からお気に入りをおひとつ。ロータリーは着物の裏を整えて着心地を良くするような仕事をしている。身体に密着するのは表ではなく、着物の裏である。ロータリーも生活に密着して住み良い世の中を作ろうとしている。



以上が5クラブの紹介です。各クラブの会長、幹事さんの意向に沿うように原稿を書きましたが、お気に障りましたら「ロータリーの友情」に免じてお許し下さい。

ガバナー公式訪問

静内ロータリークラブ

9月10日（水）

9月10日、当クラブに矢橋ガバナーと第8グループ園ガバナー補佐を迎えてガバナー公式訪問が行われました。午前10時からの会長・幹事会では、矢橋ガバナーより率直なご意見を戴き、なごやかなムードのなか会議を終えることができました。クラブ協議会では、当クラブの活動計画を四大奉仕委員会から説明の後、矢橋ガバナーより質問や講評を戴くと共にRI広報補助金や財団補助金の活用方法について助言を戴きました。

その後の例会の卓話では、RI会長とテーマ「夢をかたちに」の紹介、ロータリー財団の補助金、ポリオ撲滅についての協力がありました。また、アフガニスタンからの米山奨学生やその他の奨学生の現状について説明され、静内ロータリークラブの活動に生かすための貴重なお話を数多く戴きました。

例会終了後、静内インターアクトクラブを訪問されました。



えりもロータリークラブ

9月11日（木）

9月に入り例年ですと「えりも町」特有の秋風が吹く頃なのですが、今年は残暑の厳しい日々が続いておりました。ガバナーが到着される30分ほど前に「十勝沖地震」があり津波警報が発令される等、当地は騒々しい雰囲気でごガバナーをお迎えしました。例会ではガバナーのお人柄か和気藹々の雰囲気の中でクラブの会員も忌憚のない意見交換ができたことを喜んでおります。また、園ガバナー補佐も出席され当クラブへの本音の要望、活動の参考事例、沢山の貴重なご意見を戴き今後の奉仕活動の参考にしたいと考えております。

少人数のクラブであるゆえの悩み、クラブの地理的な悩み等もガバナーにはご理解を戴いたことと存じます。今後も当クラブは会員相互の親睦とロータリーの奉仕の精神を基調に活動してゆく所存ですので、ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。



千歳セントラルロータリークラブ

9月16日（火）

9月16日、矢橋ガバナー、羽芝ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会は開催されました。午前9時30分に例会場であるホテル日航千歳に到着された矢橋ガバナーを、当クラブ出身である羽芝ガバナー補佐、当クラブの井上会長、高塚会長エレクトがお出迎えし、まずは午前10時からフリートークの形式で「会長・幹事会」が行われました。その中で、井上会長からポリオプラスに関してビル・ゲイツ財団から1億ドルの資金援助を受け、同額をロータリー財団が寄付を募るという件について、「クラブ一律の寄付額では会員数が少ないクラブに過剰な負担になるのでは？」との質問に「他クラブのご意見、他地区の状況を考慮し、適切な寄付方法を検討することも選択肢です」と、矢橋ガバナーから地区内の多様なクラブ状況を熟知されたお答えを戴くことができました。

会長・幹事会終了後、引き続き「理事会」にご出席戴きました。当クラブは、CLPを導入していますので、「クラブ協議会」は全会員出席の例会扱いとなっているために、「理事会」へご出席戴くことになりました。「理事会」では、井上会長から当クラブの今年度の事業計画、及び過年度からの継続事業の説明を行った後、矢橋ガバナーに各理事から多様な質問があり、矢橋ガバナーから各々の質問に丁寧にお答え戴きました。

午後12時30分から公式訪問例会が開会され、例会の中、ガバナー講話では、矢橋ガバナーは、年度RI会長李東建のRIテーマ「Make Dreams Real」とRI会長強調事項「水、保健と飢餓、識字率向上」に関連する奉仕活動の依頼について概説されました。ガバナー講評の後、高塚会長エレクトの謝辞により閉会致しました。矢橋ガバナーの例会訪問に、会員一同、心から感謝申し上げます！



恵庭ロータリークラブ

9月17日（水）

矢橋温郎ガバナーと羽芝涼一第7グループガバナー補佐をお迎えして、午前10時より会長、幹事、会長エレクト懇談会に始まりCLPについての注意点等で詳しくお話を戴きました。その後、クラブ協議会に会場を移し当クラブ各委員長によります年間事業計画にも熱心に耳を傾けて戴き貴重なご意見ご指導を戴きました。又、ロータリー財団、米山記念奨学会のお話や交換留学生、青少年育成を強力に推進する意義、会員増強がロータリーの至上命題等についてもアドバイスを戴きました。12時30分より例会に入り点鐘、四つのテストなど唱和後、当クラブの恒例であります「スマイル握手」で各会員と和やかな雰囲気のうち公式訪問例会を無事終了致しました。ありがとうございました。



小樽銭函ロータリークラブ

9月18日（木）

当クラブのガバナー公式訪問は9月18日に行われました。早朝10時、矢橋温郎ガバナー、第6グループ佐藤泰視ガバナー補佐の出席を戴き会長・幹事会を開始しました。冒頭、ガバナーよりRIのテーマについて、又地区目標の説明がありました。ポリオ・プラス1クラブ1,000ドルの寄付は21名の少人数クラブでは負担は大きいですが、何とか会員の賛同を得、ガバナーの要望に沿いたいと話しました。その後、クラブ協議会ではクラブの四大奉仕委員会、委員長より今年度の活動方針を報告、又小委員会も報告しガバナーより総評を戴いた。特にガバナーの豊富な経験やロータリー財団、地区内のクラブの活動状況などのお話をして戴き有意義なクラブ協議会になりました。その後、定例の本年第10回例会が行われました。席上、ガバナーよりRIのテーマと4つの地区目標説明の後、2009年6月にイギリスのバーミンガムで行われる第100回国際大会の参加を勧め、和気藹々のうちに終了しました。



札幌あけぼのロータリークラブ

9月19日（金）

当クラブは17名のクラブで、ガバナーが提唱されましたRI強調事項は全員に認識させ行動を共にして行く所存であります。

難題は会員の増強であります。近年ロータリー活動自体を世の人々に理解されずにある中で、地元へ貢献し未来のロータリアンを育成するという長期的な視野と、現ロータリー年長者の協力により会員増強を実施すべく努力中であります。今年度のクラブ方針は「絆を大切に」と致しました。会員とその家族との親密な信頼関係を作りながら、クラブ会員同志の「絆」を強くし会を盛り立てていきます。我がクラブでは会長・幹事、5人の理事・役員を中心にした委員会構成で1年間のスケジュールを立て実行に移してまいります。

社会奉仕については、小さな事から始め地域に貢献して参ります。世界の貢献には他クラブの計画事項に賛同を得られるものの中から我がクラブとして協力して行く所存であります。この1年間、矢橋ガバナー、大島ガバナー補佐におかれましては、ご多忙かと存じますがご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



倶知安ロータリークラブ

9月24日（水）

午前10時より、矢橋温郎ガバナーと佐藤泰視第6グループガバナー補佐をお迎えして斉藤会長、長谷次期会長、石本幹事が同席して懇談会を開催しました。そこで会長の目標職業倫理について例会で勉強会を実施したい。家族会の開催は日曜日に行い多数の家族に参加をして戴き、会員同士の親睦を深め、出席率の向上と退会者の防止に努めたい。定款・細則の変更の取組中で10月第3水曜日の理事会で決定する予定と報告致しました。それからクラブ協議会を開催し、各委員長より活動計画を発表し、ガバナーよりアドバイスを戴きました。倶知安RCのSAAはずいぶんさびしい人なのですねと言われました。



12時15分より例会を開催し、矢橋ガバナーより国際協議会に出席した際のSAAの権威の強さ、ガバナーの目標を話して戴きました。4つのテストの唱和は毎月行っております。1クラブ1,000ドルは実施致しました。あと1名以上の会員増ですが今努力中です。何とかガバナーの目標に沿ったクラブにして行きたいと思っております。有難う御座いました。今後とも宜しくお願い致します。（斉藤会長談：私事ですが、私が新婚だからと妻に花束を戴き有難う御座いました）

苫小牧ロータリークラブ

9月26日（金）

9月26日、待ち合せ場所（グランドホテルニュー王子）にてお出迎えをし、板谷ガバナー補佐、得能会長、渡辺会長エレクト、櫻田幹事、山崎広報委員長と共に苫小牧市役所を表敬訪問致しました。中野副市長との懇話の中で、「私も苫小牧RCの奨学金を高校生の頃頂いておりました。」というお話から始まりガバナーとしての役割等々共通の話題で盛り上がりました。会場のホテルに戻り、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、公式訪問例会にご出席頂きました。



会長・幹事懇談会では、訪問された各クラブの現状をお話し頂き、共通の悩みに触れられ、今後のクラブ運営に向けて大変参考になりました。クラブ協議会の中で、「苫小牧RCは伝統もあり格式も高いクラブであります。得てしてそういうクラブに共通することですが、」と前置きされ『事業数が少ない』というご指摘は、今後改善する事項と捉えております。また、クラブ協議会に委員長が全員出席して貰ったとお言葉を頂き感謝の念にたえません。公式訪問例会ではRI会長方針「夢をかたちに」、ガバナー地区目標について解りやすくお話をいただき、今年度のクラブ目標達成のために役立ててまいります。

長万部ロータリークラブ

9月29日（月）

矢橋温郎ガバナーと第10グループ上野一義ガバナー補佐、そして大金武夫地区代表幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。朝10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブは会員数10名のミニクラブの現況など説明し、矢橋ガバナーは良く当クラブの現況を把握されていて、社会奉仕活動等にお褒めの言葉を戴いて大変励まされました。

10時30分からは長万部町長への表敬訪問もして戴き、11時から各委員長を中心としたクラブ協議会を行いました。例会では当地名物かにめしの昼食の後、矢橋ガバナー、上野ガバナー補佐、大金地区代表幹事、それぞれからお話を戴き今年度の地区目標の説明を詳しくお話され、当クラブも目標達成に向け邁進して行きたいと思っております。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

函館東RC 池垣清信 会員 10月7日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌RC 松本脩三 会員(5回) 10月24日
 長沼RC 青木雄一 会員(1回) 10月3日
 長沼RC 天野敦子 会員(1回) 10月3日
 長沼RC 清水彰 会員(1回) 10月3日
 長沼RC 高木繁秀 会員(1回) 10月3日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

深川RC 板倉克宏 会員(2回) 10月30日
 深川RC 宮岸徹二 会員(1回) 10月30日
 深川RC 中澤清 会員(4回) 10月30日
 岩見沢RC 北市宗三 会員(4回) 10月21日
 岩見沢RC 向田甚市 会員(4回) 10月21日
 函館RC 太刀川善一 会員(13回) 10月9日

■米山功労クラブ

深川RC 13回 10月30日



(254号)

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

◎ [私の考える経営]

伊藤謙介 2008 8p (D.2690)

◎ [構造改革とこれからの日本経済]

竹中平蔵 2008 8p (D.2660)

◎ [日本のこれから、日本人のこれから]

藤原正彦 2008 8p (D.2580)

◎ [津波が変えた私の人生]

道下俊一 2008 10p (D.2780)

◎ [命を地域で支える]

あたたかな人と人とのつながりをつくろう

鎌田 實 2007 15p (D.2550)

◎ [未知への挑戦]

～箱根駅伝・アテネオリンピックなどを振り返り

澤木啓祐 2008 13p (D.2510)

◎ [メジャーリーグに学ぶ経営戦略]

～日本人の知らないメジャーの常識と人づくり

タック川本 2008 20p (D.2790)

◎ [薩摩の郷中教育と薩摩焼]

西郷隆文 2008 16p (D.2690)

[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

◎ [ロータリーモザイク]

ハロルド T. トーマス著 松本兼二郎訳
2006 329p

50年間のロータリーライフに基づき、一人のロータリアン(元RI会長)が綴った1905~1970年までのロータリーの思想・方針とプログラム、そしてロータリアンのそれぞれの進化の物語です。彼は「ロータリーはロータリアンすべての参加によって初めて出来たものである」と述べています。本書を一読することにより、全てのロータリアンに与えられているロータリー運動への参加の機会と可能性と期待とがはっきり認識できるでしょう。

[申込先: ロータリー文庫 領価1,500円]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

12月のロータリーレート 1ドル=96円

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



中垣 陽一
(滝川IRC)
■入会/ 7月3日
■職業分類/ 脳神経外科



山口 恵子
(滝川IRC)
■入会/ 7月3日
■職業分類/ 飲食業



奥山かおる
(滝川IRC)
■入会/ 10月9日
■職業分類/ 冠婚業



平田 隆
(岩内RC)
■入会/ 9月1日
■職業分類/ 建設業



齋藤 貴之
(札幌モーニングRC)
■入会/ 9月3日
■職業分類/ 都市建築設計



佐藤 良恵
(由仁RC)
■入会/ 9月18日
■職業分類/ 福祉施設



斉藤 昌一
(札幌北RC)
■入会/ 10月20日
■職業分類/ 一般旅行業



米山 道男
(札幌北RC)
■入会/ 10月20日
■職業分類/ 留学生教育

訃 報



土倉 裕之 会員(札幌東RC)
2008年11月7日ご逝去(享年56歳)

【ロータリー歴】

- 1985年7月4日 入会
- 1993~1994年度 世界社会奉仕委員長
- 1997~1998年度 国際奉仕委員長
- 1998~1999年度 社会奉仕委員長
- 2008~2009年度 世界社会奉仕副委員長
- 1994~1996年度 地区青少年交換委員
- 2001~2004年度 地区世界社会奉仕委員長
- 2005~2006年度 地区幹事

ポール・ハリス・フェロー

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.10.31	増減	内女性	
1	深 川	4	36	36	0	3	88.32
	羽 幌	4	48	48	0	1	84.33
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	80.56
	小 平	5	14	14	0	0	72.86
	留 萌	4	45	45	0	0	91.88
	小 計			152	152	0	4
2	赤 平	3	29	28	-1	1	88.00
	芦 別	4	44	44	0	0	91.03
	砂 川	5	52	55	3	0	94.91
	滝 川	5	99	101	2	2	77.00
	小 計			224	228	4	3
3	美 唄	4	38	38	0	0	89.10
	江 別	5	34	34	0	1	89.41
	江 別 西	4	27	29	2	3	90.51
	岩 見 沢	5	87	90	3	0	93.86
	岩 見 沢 東	3	34	35	1	4	82.30
	栗 沢	5	23	24	1	1	93.60
	栗 山	4	26	27	1	2	99.00
	当 別	4	34	34	0	0	91.05
	小 計			303	311	8	11
4	札 幌	4	117	124	7	0	98.40
	札幌あけぼの	5	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	25	0	4	71.74
	札 幌 北	3	43	44	1	6	94.29
	札幌モーニング	5	49	52	3	0	78.88
	札 幌 西	4	62	63	1	4	94.05
	札 幌 西 北	4	39	40	1	5	93.92
	札 幌 手 稻	4	34	35	1	1	99.29
	小 計			387	400	13	21
5	札 幌 東	5	120	125	5	0	97.10
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	66	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	35	36	1	3	94.36
	札 幌 南	3	92	93	1	0	96.47
	札幌大通公園	3	9	9	0	2	92.60
	札幌セントラル	4	14	14	0	6	66.10
	新 札 幌	5	32	32	0	3	91.85
小 計			385	393	8	18	92.31
6	岩 内	4	21	22	1	0	80.59
	俱 知 安	5	46	46	0	4	74.56
	小 樽	4	69	70	1	0	83.72
	小 樽 南	5	73	74	1	0	86.01
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	75.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	78.78
	余 市	5	39	41	2	4	88.50
	小 計			280	285	5	10

10月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,874人(100人)
増加会員数	58人
当月平均出席率	85.98%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.10.31	増減	内女性		
7	千 歳	5	63	64	1	3	76.60	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	84.30	
	恵 庭	4	39	40	1	0	80.91	
	北 広 島	4	17	17	0	0	92.64	
	長 沼	2	20	20	0	3	80.00	
	由 仁	5	10	11	1	1	74.00	
	小 計			184	187	3	8	81.41
8	え り も	4	22	22	0	0	97.72	
	三 石	3	15	15	0	1	93.33	
	様 似	3	23	24	1	1	88.00	
	静 内	5	72	73	1	1	86.97	
	浦 河	4	34	34	0	2	97.79	
	小 計			166	168	2	5	92.76
	9	伊 達	4	53	54	1	0	74.07
室 蘭		4	43	45	2	0	72.27	
室 蘭 東		4	41	41	0	0	66.88	
室 蘭 北		4	34	34	0	2	100.00	
登 別		5	31	31	0	2	80.64	
洞 爺 湖		5	9	9	0	0	85.00	
小 計				211	214	3	4	79.81
10	函 館	4	87	89	2	0	77.61	
	函 館 亀 田	3	45	46	1	2	99.24	
	森	4	34	35	1	0	72.20	
	七 飯	4	16	16	0	0	71.80	
	長 万 部	4	10	10	0	0	85.00	
	函館セントラル	4	24	26	2	1	76.92	
	小 計			216	222	6	3	80.46
11	江 差	4	19	19	0	1	75.00	
	函 館 五 稜 郭	4	55	57	2	0	100.00	
	函 館 東	4	45	45	0	4	85.87	
	函 館 北	4	30	30	0	0	93.11	
	北 斗	5	19	17	-2	2	60.00	
	松 前	3	5	5	0	0	75.00	
	小 計			173	173	0	7	81.50
12	白 老	4	26	27	1	0	78.00	
	苫 小 牧	4	50	54	4	2	80.33	
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	86.54	
	苫 小 牧 北	4	34	34	0	2	94.63	
	小 計			135	141	6	6	84.88
合 計			2,816	2,874	58	100	85.98	

地区カレンダー（12月・1月）

12月 家族月間	
1 (月)	
2 (火)	公式訪問（札幌西RC）
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	地区インターアクト委員会（札幌）
7 (日)	地区青少年交換受入学生送別会（札幌）
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	地区補助金委員会（札幌）
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	次期地区ガバナー補佐会議（札幌）
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	天皇誕生日
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	地区ガバナー指名・諮問委員会（札幌）
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

1月 ロータリー理解推進月間	
1 (木)	元日
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	2009学年度米山奨学生選考試験（札幌）
11 (日)	
12 (月)	成人の日
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	地区ガバナー補佐会議（札幌）
18 (日)	～25 (日) 国際協議会（米国・サンディエゴ）
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	

■米国の金融危機の影響について

ロータリアンの皆さま

ここ数週間の米国金融市場の悪化に関するニュースを受け、この状況が国際ロータリーとロータリー財団に与える影響について、多くのロータリアンから問い合わせをいただきました。私たちの投資は短期的に損失を受けるものと思われませんが、金融市場がひとたび安定すれば投資は回復すると、私たちは信じています。また、ロータリーは、最近の金融業界の悪影響を免れた市場にも投資を行なっているなど、ポートフォリオの多様化を維持しています。ロータリーの投資方針は、これまでも不況に耐えうる健全性を実証してきました。このような慎重な投資管理から判断し、ロータリーのプログラムとプロジェクトをこれまで通り続行することに支障はないものと思われま

す。多くのロータリアンから、特に安定株や保険、予備金に関するお問い合わせをいただきましたので、これらの点についてご説明いたします。

- ロータリー財団とRIの投資ポートフォリオは、米国政府の買取りの対象となった企業（ファニー・メイ、フレディ・マック、AIG）、ほかの金融企業に買収された企業（メリルリンチとWaMu）、会社更生法を申請した企業（リーマン）とは、ほとんど関わりがありません。
- RIはAIG保険に一部加入していますが、同社の保険業務は州と連邦当局に厳密に規制された別個の法人として運営されているため、安全です。
- RIと財団は、ともに、多くのキャッシュ残高を保有しており、本年度現在までの投資以外の収入は、昨年度を上回っています。
- ポリオ・プラス基金の全資金は米国債に投資されており、これは最も安全な投資先です。
- RIと財団は、ともに、損失の際に投資債権を売らずに運営していけるだけの予備金を備えています。

先週、ロータリー財団投資諮問委員会が、ロータリーの独立投資コンサルタントおよび複数の資金運用会社の担当者と会合し、定期的な投資の見直しを行いました。委員会は、RI理事会とロータリー財団が定めた現在の投資方針が、長期的には今後もふさわしいものであることに改めて同意しました。委員会は、どの市場が悪化しても影響を最小限に抑えるため、さらにポートフォリオの多様化に努めるよう管理委員会に提案しました。

ロータリーのシニア・リーダー、事務総長、財団担当職員、ロータリーの投資コンサルタントが状況を注意深く見守っていくことを、皆さまにお約束いたします。私たちの投資と予備金の方針により、ロータリーは今後も世界中で良いことを行なっていけるものと、私たちは確認しております。

心を込めて

国際ロータリー事務総長 エド・フタ（布田）

■次回のGSEプログラムに想う

この度のGSEは今、国民的テーマとして注目されている「スウェーデンの福祉介護」の現状視察並びに体験を目的としたものであり、これからの日本の福祉を担う若い職業人4人と共に学べるということは、大変有意義な事と心が動かされました。思えば17年前にスウェーデンから最初の交換留学生を受け入れた時の思い出が走馬灯のように浮かんで来ますが、彼女、カイセン・ハンソンさんは今ストックホルムの銀行で働きながらフィアンセとの結婚の準備に忙しい日々を送っているとの事ようです。今もって家族付き合いが続けられるのもロータリープログラムの素晴らしさと思っております。

私は、ロータリー活動のエネルギーの大半を交換留学生や財団・米山の若い方々と共に成長する時間に投入してまいりました。若く希望に満ちた人々の澄んだ瞳が大好きです。今回も4人の北海道の若者やスウェーデンで出会う同世代の方々とより親密な交流が出来ると思うと胸がときめく思いであります。未熟な英語技術力、年相応の健康不安もないわけではありませんが、若い方々との交流の喜びや期待の方が勝りリーダーをお引受させていただく決心を致しました。各クラブの皆様には、志高き若き福祉人のご推挙をどうぞ宜しく願い申し上げます。

締め切りは2009年1月15日となっておりますが、各クラブを通じてお申込下さい。

なお、詳細はGSEのホームページをご覧ください。http://www.ri2510.gr.jp/gse/

GSEチームリーダー 奥貫一之（札幌東RC）

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 栗山 RC：例会曜日と例会時間を1月より下記に変更しますので宜しくお願い申し上げます。
火曜日 12:30 → 変更後 月曜日 12:15
- 札幌あけぼのRC：例会場と昼食会場を12月5日より下記に変更しますので宜しくお願い申し上げます。
例会場：ISHIYA内「白い恋人パーク」チュダーハウス2階会議室
昼食会場：レストラン「おうるず」
札幌市西区宮の沢2-2-11-36 電話011-666-1483
※例会変更時のメーキャップ受付は、札幌あけぼのRC事務局で行います。
- 江別 RC：12月18日(木)家族例会 18:30～ 場所：江別市民会館
12月25日(木)、1月1日(木)休会
- 岩見沢 RC：12月18日(木)の例会を下記に変更します。
12月20日(土)家族忘年会 18:00～
12月25日(木)休会
事務局の年末年始休業：12月27日(土)～1月5日(月)
緊急の場合は幹事までお願い致します。
- 岩見沢東RC：12月23日(火)、30日(火)休会
- 小樽 RC：12月9日(火)忘年家族会 17:30～ 場所：ヒルトン小樽
12月23日(火)、30日(火)休会
- 千歳 RC：12月4日(木)休会
12月11日(木)移動例会 場所：ミツミ電機
12月18日(木)クリスマス家族会 18:30～
- 長沼 RC：12月29日(月)休会
- 室蘭 RC：12月18日(木)夜間例会 18:00～ 場所：室蘭プリンスホテル
12月25日(木)休会
- 室蘭東RC：12月3日(水)、31日(水)休会
- 室蘭北RC：12月16日(火)夜間例会「クリスマス家族例会」 18:30～
場所：ホテルサンルート室蘭
12月23日(火)、30日(火)休会
- 白老 RC：12月16日(水)忘年会 18:30～
場所：ウッディ(白老パークゴルフクラブハウス 白老町石山1-1)
12月23日(火)、30日(火)休会
- 苫小牧 RC：12月19日(金)の例会を下記に変更します
12月17日(水)夜間例会「クリスマス会・忘年会」 18:00～
場所：グランドホテルニュー王子

編集後記

年度前半に行われるガバナー公式訪問と年次大会はガバナーの最も大事な仕事の柱である。

年間を通じてこの二大行事がガバナーの精力の7～8割方を占めているといっても過言ではない。その準備から完結まで出身母体クラブの会員を総動員しての大変なエネルギーが消耗される。10月25日、26日に焦点を合わせて繰り広げたホストクラブとしての狂奏曲も終わりを告げ、何が残されたのか気になるところである。地区内の大勢のメンバーを誘い、さてその成果はどうだったのか、どんな印象を残したか、その結果についてはこれから色々伝えられるであろう。兎も角終わった。祭は終わった。感謝。

毎大会で気になる事の一つに開会中の参加者の中途退席である。本会議の午前中の一連のセレモニーが終わり、RI会長代理が演台に立つ頃になるとバラバラと会員の退席が始まる。

遠来の賓客に対してハラハラする場面である。そして午前中のシーンが終るとかなりの人々が街中へ出るか何処へか消える。お陰で心配のタネであった昼食弁当が余った。午後の講演会は、当方としてはあれ程の講師をお迎えしたのにかなりの空席が目立った。何時の大会でもそうであるように。こういった現象は会員の自覚の問題か、または大会企画の問題なのか、いつも当事者の悩みのタネと思われる。

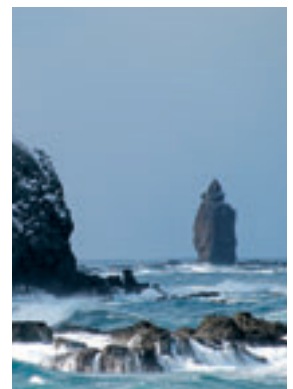
月信5号(11月号)が大会準備と重なり配布が数日遅れた事をお詫びしたい。月信5号は財団月間の特集でした。各関係委員長に登場をお願いし、それぞれの立場からその意義、現状、手法等ご案内戴きました。特別企画の塚原PGのノートもいよいよ序論を終え、本論へと入ってきております。又、札幌大通公園RCの提案、読者はどう捉え、どう反応するか気になるところです。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：積丹半島・ローソク岩
撮影：村上 登 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー一月信

No.7
2009
1

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510 2008-2009 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— ロータリー理解推進月間(ロータリーの広報を考える)
- 4 ————— 第37回 ロータリー研究会報告
第37回 ロータリー研究会詳報
- 8 ————— 第37回 ロータリー研究会に参加して
- 10 ————— ロータリー財団地域セミナーに学んで
- 11 ————— 2009-2010年度G S Eプログラム派遣団員募集締切り迫る!
- 12 ————— 私の“Rotary Notes”
洞爺丸海難慰霊碑
- 14 ————— ガバナー補佐レポート
「IMを終えて」
- 15 ————— ガバナー公式訪問
- 18 ————— 地区WCS委員会報告
「モンゴル日本語教材寄贈事業2007-2008報告」
- 19 ————— ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
- 20 ————— 新入会員のご紹介
文庫通信
- 21 ————— 出席率・会員数
- 22 ————— 2008-2009年度 地区カレンダー
(2009年1月~6月)
- 23 ————— 地区委員会委員の追加について
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

ガバナーメッセージ



新年のごあいさつ

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

■ ■ ■
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

ロータリー年度では、今月から下期に入ります。任期の半分が終わってしまいました。あっという間です。公式訪問で走り回り、並行して地区大会の準備と本番。加えて今年度は大会終了後も12月まで公式訪問が残っていたので、上期は大変充実していました。我ながらよく身体がもつものだと感心します。地区大会はもちろん、公式訪問も自分自身で各クラブを訪問すると決めたからには、代役は立てられません。健康管理に注意し、とにかく途中で倒れることがないよう気をつけておりました。上期を無事終えて安心しましたが、酒井直前ガバナーもこの安堵感を共有してくださっていることでしょうか。なにせ私が倒れれば、代役には直前ガバナーが引っ張り出されることになっておりますので。

下期はといえば、ガバナー・エレクトへのバトンタッチのための期間でもあります。リレーに例えるなら、リレーゾーンに踏み込んだ辺りです。次の走者である渡邊ガバナー・エレクトがPETSや地区協議会で加速をつけて走るのを追いかけて、年度末に確実にバトンを渡すのが私の下期の役目と任じています。

先月号では箱根駅伝に例えました。今月号でリレーでは、さぞかし陸上好きのように思われるかもしれませんが、決してそういうわけではございません。私の会社は知事公館の裏手にあるので、周辺を走れば気持ちよからうとジョギングシューズを買ったものの、絵に描いたような三日坊主。それでは屋内だということで、踏み台昇降の運動器具を通信販売で取り寄せてみましたが、これも続かず。気負うと長続きしないものでしょうか。現在はヒマをみつけてジムのプールで歩いていて、これが近年ではもっとも長く続いています。大学時分は、航空部でグライダーに乗っていました。空を浮かぶだけというイメージとは異なりこの競技、体育会系です。結構な体力を必要とします。半世紀も前の体力はあてにできませんが、上期の慌しさをどうにか乗り越えられたのも、もしかしたらその当時の余力のおかげかもしれません。

上期から下期への移行時、多くのクラブで危惧されるのが退会者の件ではないでしょうか。年度末同様、退会しようという会員さんにとっては、年末もひとつのよい区切りになりえます。斯く言う私は、年度末に退会した経験があります。入会してもうすぐ20年経とうかという頃でした。その年度は石垣ガバナーを支える地区幹事（現在の代表幹事）を仰せ付かり、社屋の一部をガバナー事務所に提供するなど張り切ったものです。が、燃え尽き症候群とでも申しましょうか、とにかく一旦ロータリーから離れたくなりました。

私の前任の地区幹事には任期半ばで亡くなった方もいれば、後任にはやはり任期後に退会した方もいます。代表幹事は、ガバナー以上のプレッシャーを背負っていると言えましょう。私の相方にも相当な御苦労をおかけしているとは思いますが、あと半年お付き合いの程を願います。

退会する方々の理由は様々です。単に面白くないからとのわかりやすいものから、やめたくないけど病気や仕事が忙しくてという残念なものまで。後者を理由に去る方には是非、落ち着いたらまた戻って来ていただきたいものです。そのためには近い会員さんが目を光らせて、そろそろいい塩梅というタイミングで声をかけることも大切です。私が札幌西ロータリー・クラブに復帰したのも、3年経って「そろそろ戻ったら？」と、お誘いいただいたおかげです。そんな出戻りロータリアンの私が、ガバナーです。「そろそろ戻ったら？」が無ければ当然、ガバナーにはなれなかったし、ガバナーになったからこそ出遭えたロータリアンも地区内外に大勢います。会社の朝礼さえ億劫なほど口下手なのに、毎日各クラブでスピーチすることになるうとは。70代になって尚、ひとの人生はわからないものだと痛感しております。

年明け早々、退会の話で恐縮です。やめたくないクラブ、やめてもいつかは戻りたいクラブを目指して、2009年もロータリーを楽しみましょう。

ロータリー理解推進月間（ロータリーの広報を考える）

パスト・ガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

RIでは毎年1月をロータリー理解推進月間に指定しています。これはロータリアンには「ロータリー運動の本質とは何か」を理解してもらい、一般の人には「ロータリーは何をやっている団体か」を知ってもらう月間です。したがってロータリアンとロータリアン以外の人では理解してもらう内容の次元が違います。しかし最近、ロータリー理解推進月間はロータリアンへのアプローチは見られなくなり、一般の方に「私たちがどれだけ良いことをしたか、皆さんのお役に立っているかという事実を知ってもらう」というイメージアップを図るための宣伝・広報の月間になってしまいました。

ロータリアンには「ロータリー運動の本質とは何か」を理解してもらおうとしましたが、では本来『ロータリー』理解推進月間とは、一体全体『ロータリー』の何を理解し、何を推進するのでしょうか？そのためには最初にロータリーという言葉が峻別しておく必要があります。ロータリーという言葉は、①ロータリアン、②ロータリークラブ、③国際ロータリー、そして以上3つを包含した④ロータリーの世界/Rotary Worldという意味で使われています。我々は日常、これら4つを漠然と『ロータリー』という一語で使い分けています。ではロータリー理解推進月間はこれら4つの内のどれを理解するのでしょうか？「ロータリアン」についての理解を深めるのでしょうか？「ロータリークラブ」、「国際ロータリー」の理解を推進するのでしょうか？否、この場合のロータリーは『ロータリー哲学』を意味します。ロータリー理解推進月間に理解しなければならないのは『ロータリー哲学』なのです。その証拠はどこにあるかというと手続要覧（2007年p84）の社会奉仕の中に、1923年、セントルイスの国際大会で採択された決議23—34号があります。この決議は先人の知恵の結晶で、『ロータリー』とは何か、ロータリーとはいかにあるべきかを記したロータリー思想の殿堂であります。その第1項に“Rotary is a philosophy of life”「ロータリーとは人生の哲学のことを言う」とあります。したがってロータリー理解推進月間とは、ロータリー哲学を理解することなのです。特に日本、韓国、台湾の東洋哲学の素養のあるロータリアンはこの言葉に心酔しています。そのため決議23—34号という味気のない呼称ではなく、「セントルイス宣言」の愛称で呼んでいます。少し長くなりますが、その項目を転載します。

《ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕——「超我的奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである》

これを一言で言うならば「ロータリーとは利己と利他との調和の哲学である」といえます。人は迷った時、導いてくれるガイドラインを必要とします。心の中で儲けたい心（利己）と他人に尽くしたい心（利他）とが綱引きをした時には明確なガイドラインが必要です。そのガイドラインの基準となるのが、「超我的奉仕」と「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という2つのロータリーモットーなのです。この2つのモットーはロータリーの主概念なのです。つまりロータリー理解推進月間にロータリアンが学ばなければならないことは、利己と利他との調和の哲学なのです。

しかし近年（約10年前より）、ロータリーは大きく変身しました。原因は何でしょうか。会員の減少です。冒頭に記したようにロータリー理解推進月間はロータリアン以外の一般の人たちにロータリーの善行を強調する月間となりました。ロータリーはもともとライオンズクラブと奉仕観が違い、一般の人への広報は難しい団体です。ライオンズの奉仕は団体で金銭奉仕をします。例会のたびにドネーション（寄付）を募りそのお金で町に救急車を寄贈したり、公園に時計塔を建てたり、ベンチを贈ったりして、街の人々に分かりやすい目に見える奉仕をします。それに比べてロータリーの奉仕の原点は「利己と利他との調和」の哲学を育むことです。そのために例会の親睦を通じて個々の職業人の質を高めるのが目的となります。つまりロータリーの奉仕は個人奉仕、精神奉仕で目に見えません。

このことはロータリアン自身でも明快に理解しがたく、まして一般の人々にはなかなか理解してもらえません。このロータリーの見えない奉仕に対して国際協議会では「新会員を募るにしても、協力団体を求めるにしても、すべてがほかの団体としてのぎを削らなければならなくなった今日、広い意味での広報が私たちの将来のカギであるといえるでしょう」と強調しました。そこでロータリーも「一般の人々の目に見える好ましい公共イメージを広報することによってロータリーに新会員を惹きつける」「メディアを惹きつけるようクラブのプロジェクトや活動を改善する」「ロータリーと報道機関との関係改善」などが強調されるようになりました。今やロータリーもライオンズも会員獲得のためになりふり構わぬ生き残りをかけたサバイバルの時代となりました。ここで過去にRI理事会の採択した広報に関する方針の主なものをロータリー章典より年代順に追ってみましょう。

・1923年の決議34号（セントルイス宣言）

「ロータリークラブが奉仕の実践活動を選択する場合、広報宣伝を主要目的としてはならないけれども、ロータリーの影響力を強める手段として、優れたクラブの事業計画が見事に成功した場合、妥当な広報宣伝を行わなければならない」簡単にいえば、PRはするな。ただし適切な広報媒体があればPRしてもよい。

・1971—72年の理事会方針

「新会員をロータリーに惹きつけ、現会員を引き留めておくのに、広報が重要である」

・1972—73年の理事会方針

「広報をより効果的にするには、決議23—34に従って、各ロータリークラブが奉仕活動をするのが一番望ましい姿なのである」

・1977—78年の理事会方針

「ロータリーと報道機関との関係改善のために、適切な処置を講ずるようにする」

ざっとこんな具合で、決議23—34の広報宣伝を主要目的としない基本姿勢を守ろうとする声明から、積極的に広報に焦点を合わせた活動をすべきであるという意見まで、理事会方針そのものが大きく揺れ動いているのが分かります。

広報宣伝は効果がなければ意味がありません。効果の上がらなかった宣伝とは自分の主張だけで、実際の世の中の動きが黙殺したものであり、成功した宣伝とは実際の世の中の動きに追随したものであるといえます。広報宣伝は一般の人が考えてもいないことを、どんなに宣伝技術を凝らしてみたところで人々に理解させる力はないのです。わざわざ、ロータリアンが自分たちの功績を周囲に宣伝するのではなく、あらゆる場面にロータリアンとしての矜持を持って登場すれば、それが広報になるのです。広報宣伝は、ロータリーの思想普及の精神が表裏一体となっているのでなければ、無意味なことであると思います。

第37回ロータリー研究会報告

パスト・ガバナー 丸山 淳士
(札幌真駒内RC)

2008年11月21日から22日の2日間、今年度のロータリー研究会が東京で開催された。召集者は今年度のRI理事小沢一彦氏（横須賀RC）である。

現ガバナー、元ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーに加え、今年度はガバナー補佐も参加し、文字通り日本におけるロータリー指導者の研究会となった。

19日にはロータリー財団セミナーが開催され、当地区から岩城財団委員長、ガバナーが参加した。20日夜、RI会長歓迎晩餐会があり、小沢RI理事が横須賀RCなので、会員若手（50歳以上は入れないそうである）によるオールディーズの演奏が披露された。また、翌日の希望晩餐会ではこれも横須賀の米海軍第7艦隊軍楽隊による演奏会が披露された。翌日の研究会本会議ではこれも小沢RI理事が後援会長を務めている縁で、小泉元内閣総理大臣が厳重なボディガードの保護の元「日本の進路」という題で講演された。ピチャイ・ラタクル元RI会長がロータリー財団管理委員長代理でお元気に参加され、すばらしい講演もされた。最終日には環境問題や会員増強についての熱い討論も行われ3日間の実のある研究会となった。



第37回ロータリー研究会詳報

直前パストガバナー 酒井 正人
(函館五稜郭RC)

11月19日に開催されたロータリー財団地域セミナーに引き続き、20日にGETS、ガバナー会、RI会長・R財団管理委員長代理（ピチャイ・ラタクル元RI会長）歓迎晩餐会があり、21日、22日の2日間は小沢一彦RI理事（横須賀RC）の招集で第37回ロータリー研究会が東京・台場で開催されました。第2510地区からは矢橋温郎ガバナーご夫妻、渡邊恭久ガバナーエレクトご夫妻、佐々木正丞ガバナーノミニーをはじめとして伊藤義郎元RI理事、富原 薫PDG、石垣博美PDG、伊藤長英PDG、森本正夫PDG、岩城秀晴PDG、佐藤秀雄PDG、塚原房樹PDG、丸山淳士PDGと酒井正人IPDGと多くのパストガバナーとスパウスが出席をしました。

ロータリー研究会は例年この時期にガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーを対象として、RI会長やRI役員、R財団管理委員長等が出席して開催されます。この度は各地区のガバナー補佐にも案内が出され、当地区からの参加はありませんでしたが、各地から35名の学ぶ意欲のある方々が特別参加をしました。

プログラムは前年度同様、国際ロータリーの強調事項すべてのセッションに参加をして欲しいとの計らいで

分科会方式とはせず、全員参加型で行われました。本会議の4つのセッションは「第1＝ロータリーの長期計画とロータリー財団の未来計画」「第2＝ポリオ撲滅プログラム」「第3＝水・保健と飢餓追放・識字率向上～子供の死亡率低下のために～」 「第4＝会員増強」があり熱心な取り組みの発表や意見が述べられました。

特別講演としては講師に元内閣総理大臣小泉純一郎氏による「日本の進路」ともう1題は（財）地球・人間環境フォーラム会長／元環境庁事務次官／前神奈川県知事岡崎 洋氏による「環境問題等について」と題してユーモアに富み興味深い話を聞くことが出来ましたのでその概要を記載します。

2008年11月21日 第1日目

■ 小沢RI理事挨拶 理事会報告

第1セッションでは決議23-34が中心になる。決議23-34の経過については私と渡辺直前RI理事が直接かわっているので後ほど説明したい。

金融危機の財団への影響については11月事務総長から、キャッシュフローが充分あるので当面は心配がないとの報告があった。黒田RI理事エレクトから財政について説明する。

会員増強に関しては来年度から日本は3ゾーンを確保することができた。3ゾーンには10万人が必要なのだが現状97,000人であるので、10万人の回復を早急に実現することを念願にしているので、協力をお願いしたい。

■ 基調講演 RI会長 李 東建

今年度は「夢をかたちに」をテーマに世界の子供たちに焦点を当て、子供たちの健康を増進し死亡率を減少させることである。子供たちの為にロータリアン全体が力を合わせて実行することが大事である。子供たちに希望を与え、新世代の成長を促すのです。

- 1) 地域社会にきれいな水を与える「夢をかたちに」します。公衆トイレを建てるにしても、同時に浄水プロジェクトを実施します。子供たちに良い環境を与え保健のチャンスを与えます。
- 2) 教育を子供たちに与え「夢をかたちに」することは、貧困から抜け出すことになるからです。
- 3) ゲイツ財団のチャレンジで一億ドルを集めることによってポリオ撲滅の「夢をかたちに」します。
- 4) 会員増強が大切です。新しい会員が未来のロータリーの「夢をかたちに」することができるからです。似通った人たちを入会させる傾向がありますが、同世代、似通った職業分類だけで勧誘することでは限界があり、力強いクラブにはならないと思う。ロータリーファミリーを考えると若い人たちの入会が急務です。



これからの若い世代の人たちがクラブ会長、ガバナーになっていくことを祈念している。多様性のあるロータリークラブになることを熱望している。多様性とは、年齢、性別、職業、技能が違うメンバーの集まりである。

■ 挨拶 TRF管理委員長代理 ビチャイ・ラタクル（タイ・トンブリ）

財団管理委員長であるジョナサン・マジアベ元RI会長は病気で休養をとることを余儀なくされた。

古い言葉があります。「水を一口飲んだら、その源を思い出さなければいけない」と。これは50年以上前にロータリーに入会した時以来の私の哲学です。ですから、この研究会に集まって、ともに一口の水を飲んだ以上、私たちの行動の源、特に多彩な方法で奉仕する機会を与えてくれるロータリー財団を忘れてはいけません。

「世界で良いことをする」という財団の使命は決して変わっていません。しかし、世界で良いことをするの

は簡単なことではありません。たくさんの努力と勇気と犠牲とももちろん信念が必要となるのです。

私たちの第一の目標は、ポリオ撲滅です。ロータリーの最も重要な活動となり、非政府団体が行う活動としては歴史に類をみない大規模なものです。

私たちの第二の目標は、年次プログラム基金と恒久基金に対する継続的サポートです。財団プログラム運営のためのいわば燃料を供給します。「毎年あなたも100ドルを」を十分にサポートするのを拒否することは、生き物から酸素を奪い取るようなものです。

第三の目標は、それは「手を貸そう」という運動で、ロータリー世界平和フェロウシップを恒久的プログラムにし、ポリオ撲滅の最終段階をサポートするものです。

四番目の目標は国際ロータリーと協調してロータリーの公共的イメージをさらに高めることです。

第五番目の目標は、「財団の未来の夢計画」の実行に参加していくことです。例えば、マッチンググラント・プログラムはその人気ゆえに、複雑でしばしば効率の悪いプロセスを伴う結果となりました。シンプルな方法ともっと簡単に理解できて実行しやすい、より効率的な仕組みを求めてきたのです。未来の夢計画は、それらの要望に財団が応えたものです。



■ RI5カ年財政計画 RI理事エレクト 黒田正宏（八戸東）

国際ロータリー細則では、ロータリー研究会でRIの財務見通し5カ年計画を発表することが義務づけられています。

- ・2007—08年度の監査前数字であり、確定した数字ではない。またこれは国際ロータリーの財政であり、財団とは別であることを確認したい。
- ・前提条件は人頭分担金48ドルから2010、2011年に1ドル毎増額。会員数は安定とし、一般費3%、交通費5%、長期収益率は7%を前提にしている。
- ・収入は2007から2013の7年間（人頭分担金、国際大会、規定審議会、その他、投資収益で構成される）
- ・経費面では事務局経費は毎年3%増、交通費は5%増を前提にしているが、2011年から赤字転落を予想している。
- ・エド・フタ事務総長から、今回の金融危機に対して職員に非常事態宣言をして事務運営の見直しをしている。運用実績はマイナス9.4%。

■ 2009年国際大会委員長 田中作次（八潮）

バーミンガム国際大会委員の渡辺直前RI理事、藤川委員と共に、国際大会への参加をお願いしている。100回目の国際大会という特別の大会に皆様是非ご参加いただきたい。

■ ロータリー米山記念奨学会報告 理事長 板橋敏雄（足利東）

14億5千万円の寄付をいただき、800人の奨学生を採用した。600の世話クラブでカウンセラーが支援している。

本年度は「ホームカミング制度」を創設し、これは帰国した学友を日本に招き報告をいただく制度である。9地区の賛同を得て地区大会でスピーチをして参加メンバーに大きな感動を与えている。

学友からの貢献が多くある。北京の学友はこれまで100万円の寄付、中国での四川大地震の被災地に入る米山学友や募金活動、宮城地震でも米山学友から義捐金が送られている。

ボストンの中国人学友から1000ドル寄付があった。

■ 講演「日本の進路」 元内閣総理大臣 小泉純一郎氏 講演内容省略

■ 第1セッション「ロータリーの長期計画とロータリー財団の未来計画」

パート1：ロータリーの長期計画

南園義一PDG（防府RC）がモデレーターを務め海沼美智子（東京恵比寿RC）青少年奉仕支援グループアジア担当コーディネーターから、長期計画とRI委員会活動として、青少年活動を中心にインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換委員会合同委員会で青少年プログラムの相乗効果をあげることができるとの発言があった。成川守彦PDGからは長期計画と地区とクラブ活動との関係が述べられた。

パート2：財団の未来の夢計画

財団の未来の夢計画の理想と将来に関する総論をTRF（財団監理委員）田中作次氏から説明があり、未来の夢計画の具体的な活動の展望をRRFC北 清治氏から説明があった。

パート3：討論

時間が無く、発言も限られて特記すべきことは無かった。

パート4：RIの現状と将来への見通し

RI研修リーダー安平和彦PDGから規定審議会、特に日本の現状が述べられ、次期規定審議会には話題になっている決議23-34に関してロータリーの章典及び手続要覧に載せるよう要求する決議案が数件出される。

渡辺RI前理事からはゾーン再編についての説明があり、世界のゾーンがそれぞれ等しい会員数にする動きがあり、日本は現在の4ゾーンから3ゾーンになることが決定している。しかし、3ゾーンでも10万人の会員数がなければならないが、現在それを切っているのでは何とか10万人にしたい。

■ 第2セッション ポリオ撲滅プログラム

橋本 譲PDGをモデレーターとして進行し、RI副会長モンティ- J. オーデナート氏からロータリーとポリオとの関係について述べられた。RIはポリオ撲滅の約束を守るために行動しなければならない、新しい手段と方策を実施しなければならない。2008年にはインド、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの一部に発症は限られる。Type1、Type3にかぎられ、特にナイジェリアのType3に注目されている。インドではtype1は撲滅された。指導者の参加と取り組みが必要であり、一般市民を対象にした資金をクラブに募金することを奨励している。ビル・ゲイツ財団から1億ドルのチャレンジ資金を受け取っており、それには1クラブ1000ドルを拠出しなければならない。

岩井 敏PDGからは「ポリオに命をかけた2人の日本人ロータリアン」と題して、東京麹町RCに在籍していた山田ミネ氏と峰 英二氏の話をして会場からも感動の声が聞こえていた。

日本国立感染症研究所所長宮村達男氏からは「ポリオ根絶計画の人類史的意義」と題しての専門的な話がされ、1960年夕張で大流行したことや、当時、四肢の麻痺が主流であるが呼吸筋の麻痺が多くあり死亡例が多かったので鉄の肺を使用する例が多かった。また、急性弛緩性麻痺には=ポリオ、コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、ギランバレー症候群、横断性脊髄炎、外傷性神経炎等もある。

2008年11月22日 第2日目

■ 2日日本会議 第3セッション「水・保健と飢餓追放・識字率向上」

坂本俊雄PDGをモデレーターとして「水・保健と飢餓追放・識字率向上」について話された。特に子供の死亡率の低下のためには李東建RI会長の強調事項でもある、5歳以下の死亡率を低下させるには水・保健と飢餓追放・識字率向上が欠かされない。2005年は960万人、20%を超える国が12カ国あり、ほとんどがアフリ

力である。シオラオネ共和国が最大で、死亡率は出産によるもの36%、風邪症候群19%、下痢17%、マラリア8%、エイズ3%であった。

ネパールの女性のための識字教育支援、カレン族の小学校へ飲料水浄化装置支援プログラム、トルコの配水管架設、チューク州の飲料水確保等の事例報告もされた。

■ 講演「環境問題等について」前神奈川県知事 岡崎 洋氏 講演内容省略

■ 第4セッション「会員増強」

このセッションでは服部芳樹RRIMCのコーディネーターでクラブが取り組んでいる事例が報告された。

■ オープン・フォーラム

23-34についての質問に対するRI会長の回答

この決議の歴史は1923年セントルイスにある。それは奉仕活動を包括的に表現したものであった。しかし、1927年に四大奉仕部門が明確になった。この最初の決議を重んじることは当然である。2007年11月にロータリーのあるシニアリーダーが決議23-34とポリオへの活動とでは矛盾があるのではないかとの書簡を提出した。理事会はそれを受けて、ロータリー章典から削除する方向となった。しかし、日本の2人のRI理事のご努力により、2008年6月の理事会で手続要覧に掲載されることと、章典には「手続要覧を参照」というコメントを残すことになった。

各クラブが独自にクラブの細則に決議23-34を取り入れることは、RIの細則からも自由であるので心配はない。

日本のシニアリーダーの中でも決議23-34が排除されたと誤解していることは残念である。理事会は日本のロータリアンの心を察し、決議を削除することはもったいないと思っている。引き続き手続要覧に掲載されることを再度確認したい。

(注) 写真は丸山淳士PDGの提供によるものです。

第37回 ロータリー研究会に参加して

ガバナーエレクト **渡邊 恭久**
(滝川IRC)

11月19日(水)からの第1ゾーン～第4ゾーン Aロータリー財団地域セミナーを皮切りに20日(木)はGETS(第2回ガバナーエレクト研修セミナー)、ガバナー会、夜には李東建RI会長ご夫妻、ビチャイ・ラタクルR財団管理委員長代理歓迎晩餐会、21日(金)から22日(土)までロータリー研究会、希望晩餐会が4日間にわたって開催された。このシリーズは、主に日本の地区である4つのゾーンから代表として選挙された小沢一彦RI理事(横須賀RC)が、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、そして今年はガバナー補佐を東京台場ホテルパシフィックLE DAIBAに招集した年一回、600名参加の大きな公式行事で、われわれの第2510地区からは元RI理事、パストガバナー、エレクト、ノミニ、更にご夫人ら16名が参加した。

以下、内容の要点を時系列で報告する。

19日のロータリー財団地域セミナーではマジリアベ財団管理委員長が急病で出席できなくなったことで、日

本で人気のあるビチャイ・ラタクル財団管理委員が代行を務め、その挨拶の中で「現実の世界は様々な変化が起こりつつあることは共有の認識であり、プログラムや手続きは時代に合わせて変化していくものだが、変えていけないものはロータリーの哲学であり使命と言えよう。ロータリーの哲学・理念を維持していくことを明確にし、その方向性を失ってはいけない」と話されたのは印象的であった。

2008年6月のRI理事会で承認された財団の「未来の夢計画」は、現在の複雑で効率の悪い財団の仕組みを新地区補助金とグローバル補助金の2本立てのシンプルに整理し判りやすく、手続きを簡素にして効果を計る事がねらいであると説明され、これから3年間を試験段階として推進し2013年にはこの計画の導入を完了させるとの事である。



20日のGETSでは、本年9月の第1回GETSは34地区全てにエレクトが決まっていなく歯抜けだったが、この第2回GETSは34名全員が揃い、配偶者共々1月に開催されるサンディエゴの国際協議会に向けての最後の国内研修が行われた。

20日夜のRI会長ご夫妻、R財団管理委員長代理歓迎晩餐会は、横須賀ロータリークラブ・ファイネスト・バンドのオールディーズからプロ並みで軽快な演奏から始まったフランス料理の盛大なパーティであった。



21日のロータリー研究会で、小沢一彦RI理事から李東建RI会長ご夫妻、モンテイ・オーデナートRI副会長、ポール A ネットエルRI理事執行委員会委員長、謝三連RI理事等海外からの参加者を紹介し、金融危機の影響を受けても財団はキャッシュフローも余裕があり全く心配はないが、3ゾーンを維持するには10万以上の会員が必要で、現在は97,000人であることから10万人の回復を早急にしたいと挨拶をされた。

基調講演の李東建RI会長は、ロータリーの力で世界の子供達の死亡率を減らしたい。子供達の将来に希望とチャンスを与えるために水・保健・飢餓・識字率の向上などの分野に目を向け「夢をかたちに」を実践して欲しいと力説された。

講演の小泉純一郎元総理はこれからの我が国のテーマは、環境保護と経済発展、食生活と食の安全であり、昭和48年の石油パニックでの教訓と学習効果によって、2年前原油が20ドルで今年は140ドルにも高騰したにも関わらず大きな混乱が起きなかった。更に石油依存度が当時の70%から今は40%に落ちたせいでもあるなど軽妙な語り口で聴衆を魅了した。

22日の講演者は、岡崎洋元環境庁事務次官・前神奈川県知事で、かつては水俣病など公害問題に見られるように対象が明確であった問題から、地球規模で考えなければならない環境問題に発展している。とりわけ温暖化問題は基本的には石油文明の限界であり、新たに太陽エネルギー、バイオ、水素などに頼る技術文明を人類は創り出さなければならないと結論づけていた。

22日のオープンフォーラムでは小沢RI理事が司会をし、活発な意見が交換された。その中で23-34については、李RI会長が質問に答え「2007年11月にあるシニアリーダーから決議23-34はポリオ活動と矛盾すると指摘があり、理事会はロータリー章典から23-34を削除する方向となったが、日本の2人のRI理事の努力で2008年6月の理事会で手続要覧に掲載されることになり、章典では手続要覧参照と記載することを決定した」と説明があった。また、その文言は「歴史的な文献という表現」は過去のことにならないかには「生きた文献と」と理解していると答えられた。閉会点鐘の16時を遥かに超えた熱いフォーラムであった。

来年度は新しくRI理事に就任される黒田正宏エレクトが主宰して、今年と同じく台場で11月17日から4日間開催される事を確認シ夕方解散した。

ロータリー財団地域セミナーに学んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

(札幌南RC・PG)

財団地域セミナーに11月19日（水）参加し、191名の方々と机に向かっているいろいろと指導者のリーダーのもとに学んで参りました。今年は7月11日にもハンドブックを貰ったのですが、その復習になるのかと考えておりました。ところが、新冊子を戴き、その迅速さにはいささか驚いた次第です。

さて、財団も間もなく100周年を迎えようとしているのですが、それにつきまして大きな改革もどきに改正しようとしているようであります。

それでは、説明者の順によって説明致しますと、

1. 寄付金の使い道

未来の夢計画と新補助金の説明が田中作次管理委員よりされましたがRI理事会は2008年6月の会合で、ロータリー財団の夢計画を承認しました。この計画の実施は2010年7月1日から始まりますが、3年間の試験期間中は新補助金プログラムに参加します。参加しない地区でも既存のプログラムをそのまま利用し、2013—14年度から新補助金に移行します。

この先行地区は、2010年7月1日からマッチング・グラントを利用できません。補助金は大きく分けて2種類となります。

- (1) ロータリー財団新地区補助金 (Rotary Foundation District Grants)
- (2) ロータリー財団グローバル補助金 (Rotary Foundation Global Grants)

新地区補助金とは、

地区補助金と同じように、地区に一括して補助金を授与します。

地元地域社会でも海外でも使えます。ロータリーのない国でも事業を実施できます。

グローバル補助金

次の6種類の重点分野を実施します。

- (1) 平和と紛争予防／紛争解決
- (2) 疾病予防と治療
- (3) 母子の保健
- (4) 水と衛生設備
- (5) 基礎教育と識字率向上
- (6) 経済開発と地域開発

この重点分野については当初9年間、この分野に専念することになっています。

これをさらに2種類に分けられます。

- (1) パッケージ・グラント

地区、クラブだけではなく協力組織も加わってプロジェクトが実施される。

- (2) クラブ&地区計画補助金

財団補助金と地区&クラブの拠出金の比率は今までどおりDDFなら1対1、現金なら1対0.5です。

2. これにともなって次のプログラムが廃止される。

マルチイヤー国際親善奨学金

文化研修奨学金

大学教員のためのロータリー補助金

3-H補助金

ボランティア奉仕活動補助金

災害復興補助金

3. この結果、

- (1) 新しい体制作り意見に述べたり、参加できる。
- (2) 財団からより専門的な支援や業務を受けることができる。
- (3) 地区の裁量で使える資金が増える。

以上が、新補助金の説明でありました。

4. 寄付については、

日本が独自の公益認定財団法人を目指していますが、本年12月1日より公益法人制度の改正により、目下その設立に向けて進めているが、この認可を明年6月中を目指しているとの報告があったに止まった。

毎年あなたも100ドルとロータリーカードの利用を実行してほしいとの要望がありました。これを使用することにより財団への寄付が高まることになります。

なお、取扱い業者である“オリコ”も当地区に来て、その要請がなされ矢橋ガバナーと財団委員長との合意をした。

最後になりますが、ポリオ・プラスとチャレンジ寄付のお願いをされました。このように、財団も地域の社会奉仕のニーズに融合した財団になるように改善されつつあると思います。

会員が奉仕する手段としての財団が一人歩きをしているような感があるのを逐次改善しようとしている姿勢が垣間見られるように思います。

1917年のアーチ・クランフ氏の提案した慈善、教育その他社会奉仕の分野でより良きことをするために基金に賛同して協力しましょう。有難うございました。

2009-2010年度GSEプログラム 派遣団員募集締切り迫る！

スウェーデンにありますRⅠ第2360地区と当地区の間でのGSEプログラム（福祉・介護を中心とした特別重点GSE）に参加する派遣団員の募集を行っています。

1. 募集人数 4名（簡単な日常英会話の出来る方が望ましい）
2. 募集期間 2008年11月15日～2009年1月15日（木）必着
3. 選考日 2009年2月1日（日）面接と英会話の簡単な口頭試問もあります
4. 選考結果発表 2009年2月15日
5. 派遣期間 2010年4月24日～2010年5月27日
6. 派遣先 スウェーデンの南西部イエーテボリを中心とした地域
7. 募集資格 社会福祉の中でも身体障害者および高齢者の支援業務に従事する者で、実務経験が最低2年あり、応募時に25歳～40歳の方
8. 派遣訓練 語学を中心とした研修を約1年間（月1回）受講していただきます。
9. 応募方法 各ロータリークラブを通してガバナー事務所へ
10. 連絡先 RⅠ第2510地区ガバナー事務所 GSE委員会
札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル7F
電話（011）207-2510 Fax（011）207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com
http://www.ri2510.gr.jp/gse/



洞爺丸海難慰霊碑

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《七重浜と七飯RC》

だいぶ前になりますが、ガバナー補佐の上野一義さん（七飯RC）から手紙をいただきました。

手紙には以前、函館のIMの時の私のスピーチのコピーと他に新聞の切り抜きが同封されていました。私のスピーチは、「七重浜の青函連絡船『洞爺丸』の慰霊碑を訪ねて遭難者のご冥福をお祈りしたいと長い間願っていたこと。特に船が沈没する際に乗っていた外国人牧師が、自分の救命具を若い学生に与え自分は亡くなったという崇高な献身的行為を聞いていたので、函館に行くたびにその外人牧師の霊に感謝の祈りをささげたいという気持ちが強くあった。幸い上磯RCさんの公式訪問の際、藪下ガバナー補佐に案内されて念願がかない慰霊碑にお参りをする事ができたが、只大きな勘違いをしていた。七重浜に慰霊碑があるので、てっきり七飯RCさんが長年清掃奉仕をされているとばかり勝手に思い込んでいたが、七飯RCさんは亀田の七飯町で同じ『ななえ』でも場所と字が違う。慰霊碑の清掃をクラブの事業として長く続けておられるのは、函館北RCさんだということを知った」という内容でした。

私はわが身を捨てて「超我の奉仕」を实践された外国人牧師については詳しいことは何一つ知りませんでした。同封された新聞の切り抜きにより牧師と彼の子息の詳細を知ることができました。新聞の切り抜きは「核大国の祖国に何を訴えますか」という2008年4月の道新の記事でした。そこには広島平和文化センター理事長にスティーブン・リーパー氏が就任したとあり、「原爆を落としたアメリカの人が?」。当初は被爆者らに当惑を広げる“サプライズ人事”と伝えています。その彼の父が1954年、台風で函館沖に沈んだ青函連絡船『洞爺丸』遭難の際、船に残って女性や子どもの救助に努め、最後は救命胴衣のヒモの切れた少女に自分の救命胴衣を譲って自分は命を落とした外国人牧師ディーン・リーパーさんその人だったのです。母国の戦争文化に厳しい目を向けるスティーブンさんはこの時6歳でした。彼は「連絡船は岸壁からあまり離れていなかったし、父は泳ぎが得意だったので、自分が死ぬとは思わなかったはず。ただ自分だけ助かるうと思えば真っ先に海に飛び込めたのに、父は船が転覆するまで女性や子供たちの救助に当たっていたそうです。自己を犠牲にしても、他の人のために尽くすことが大事だ」という教えは私たち家族の中に残っております。アメリカ人が平和センターの理事長になることは自分にも迷いがありましたが、祖国の過ちを正す行動は間違いではありません」

『洞爺丸』の海難事故からすでに半世紀を経過して今や人々の記憶から遠のいて風化しようとしています。50数年前の外人牧師の崇高な行動が今ご子息に継がれています。正しい史実を知らせていただいた上野さんありがとうございました。長年の胸のつかえが下りました。

《ロータリーは奉仕団体か》

「ロータリーって何ですか?」「はい、奉仕団体です」この応答はかなり誤解を生む危険性をはらんでいます。毎年我々が会費として出しているお金は、ほとんどク

ラブの維持運営費に使われていて奉仕に支出されるお金はニコニコBOXが頼りで、決して額は多くありません。それでいて奉仕、奉仕と声高に叫ぶと世間から誤解されます。「超私の奉仕」というモットーはロータリーの主概念であります。しかしロータリアンは皆、リーパー父子の実践した崇高な「超私の奉仕」を実践できるでしょうか。ベルギー人の修道士ダミアンは、ハワイのモロカイ島で当時だれも顧みなかったハンセン病患者のケアに一生をささげ、自らも罹病して命を落としました。しかしロータリークラブは修道院でもなければ、ロータリアンは修道士でもありません。普通の善意で結ばれて集まった人たちで、決して特別の人達ではありません。「超私の奉仕」という言葉を使わなくても、出来ることならあまり悪いことはせず、良いことを心がけて生きてゆこうよという人たちの集まりであっていいと思います。その善意を育むためにロータリーの例会があり、フェローシップがあり、異業種の交流による切磋琢磨が大事なのです。自分の職業と異なる会員の知恵を毎回の例会で学び自分を高めていきます。ロータリー運動とは個人の善意を育む「人作り運動」なのです。企業の繁栄は経営者の人格の反映と言われています。ロータリアン個人、個人が高められた資質を持って自分の企業を繁栄させることが最大の社会貢献であり、最大の奉仕なのです。ロータリーはこのことを職業奉仕と呼んでいます。自己啓発こそロータリーの最大の魅力でした。社会を改良するには社会の基である個人の心を改良しなければならないとロータリーは信じて疑わないのです。奉仕の実践の前にまず善意の心を涵養することが必要です。ロータリーは奉仕団体ではなく、奉仕の心を育む人たちの集まりなのです。

《国際ロータリーの変身》

国際ロータリーは成人教育の場としての職業奉仕団体から、今や人道的国際ボランティア団体へと変身しました。社会の現象は一点にとどまらず、常に変化します。ロータリーも同じで奉仕プログラムは時代とともに変わります。私はロータリー財団がマクロな視点で世界の弱者を救済することに異議はありません。むしろロータリーの奉仕の課題としてふさわしいものと思っております。

確かにポール・ハリスは「本当に有効かつ実効性ありという合理的な見通しがあるならばどんな革新にも応ずる用意がある」と言っています。しかし「他の慈善事業団体などと功を争うな、ロータリーはロータリーの目的とする範囲のことをすればいい」と釘をさして、「人作りロータリー」「職業奉仕」の理念まで捨てて良いとは言っていない。つまり変えていいのはその時代に即した活動であって、ロータリーの本質を風化させるようなことがあってはならないのです。本来のロータリーの目的は人を作る運動であったはず。それがロータリー運動の魅力でした。

《どんな言葉でも長い間使われていると手垢にまみれふやけてしまうものだ》

これは亀井勝一郎氏の言葉です。ロータリーの「奉仕」という言葉はその代表格といえます。

ロータリーの世界では右を向いても左を見ても奉仕、奉仕の掛け声ばかりで、何か大切なものが失われてしまいました。「奉仕」はもともと宗教上の言葉ですが、神への奉仕から「祈り」が失われたらどうなるのでしょうか。同じようにロータリーの奉仕から「祈り」の心が失われたら単なる慈善団体となります。人間の力には無論限界がありますが、「祈り」とは限界突破のための祈りであり、意思の力でありませぬ。その祈りは不純であってはなりません。金銭の多寡を競い、自己の名声を求めると奉仕は転落します。言い換えればそのとき奉仕は投機心が変わってしまいます。われわれは外国人牧師ディーン・リーパーさんのように自分を滅してまでの奉仕はできませんが、生涯学習の場、ロータリーの例会で絶えず自己の善意を高めていくことが最大の奉仕なのです。



I M を 終 え て

地区ガバナー補佐（第8グループ担当）

園 修
(浦河RC)

補佐を受託したのが昨年10月、12月8日には補佐予定者顔合わせ、今年に入り2月16日、17日はガバナー補佐研修セミナーと地区チーム研修セミナー、3月1日、2日は会長エレクト研修セミナー、4月6日地区協議会、6月1日地区会員増強セミナー、6月8日新旧ガバナー補佐顔合わせ、7月26日地区社会奉仕委員会と札幌、苫小牧へと出張し、その間グループ内の各クラブ訪問、新旧会長・幹事会と結構忙しい日々を過ごしてきました。

矢橋ガバナー年度に入り、ガバナー補佐研修の成果を発揮すべく各クラブ訪問やグループ内の共同事業を計画し、各会長に諮ったところ否決され最初の暗礁、これを模索しているうちにガバナー公式訪問、この訪問と同時にまだ大問題発生。次年度のガバナー補佐が決まらず奔走し最終的には次年度も浦河RCで受ける覚悟で各会長と話し合い、ようやく三石RCの山田博継会員が受託し安心。

10月29日は道営競馬門別開催日で静内RCより提案のあった地場産業を支援しようとのことで第8レースをRC第8グループ冠杯として併せて静内RCの移動例会を競馬場で行い、私も参加して優勝馬への表彰授与をしてきた。そして11月、補佐のメイン事業である第8グループIM（インターシティ・ミーティング）。詳細はクラブ補佐委員会が2ヶ月前から検討してきたので私はただただ精神的苦悩のみ。いよいよ11月16日IM当日、早朝目覚めて挨拶の練習、朝食を摂り9時40分会場へ行くと11時点鐘なのに補佐委員会が全員で既に準備終了しており、仲間の協力に感謝しプログラムを開いて気になるのが参加人数、その心配もなく85名の出席で無事、点鐘に辿り着いた。

クラブ補佐委員会司会のもとホストクラブ会長開会宣言、国歌・ロータリーソング斉唱、参加クラブ紹介と、いよいよガバナー補佐の歓迎挨拶。鼓動を感じつつ演題に上りつめ、私の挨拶に入ったが十分に練習してきたので自分ではスムーズにできたと思っている。

つづいて次年度ガバナー補佐の挨拶があり、さすがに御坊さん、堂々とした見事な挨拶でした。

次に記念講演に入り「パラサイト北海道・自立への道」という演題で不動産鑑定士、カウンセラー、土地区画整理士の掘川裕巳先生の話の内容は「北海道の人口は2000年～2030年にかけて100万人が減少し、高齢人口は54.6%増加する。これに伴い空地、廃屋の増加、維持管理のできない公共施設の増加、利便施設の減少、役所の統廃合、財政収入の減少と住民負担の増大になるので、事業者は人口問題を無視しては商売にならないこと。そこで北海道の自立は、市場はアジア、ロシアの富裕層をターゲットとし、道の食材、道にしかない物を徹底的に搜し、温暖化は北海道にとって農業も観光もプラスに作用し、食料自給率は200%に上げ、原材料輸出型から加工輸出型へ移行する」などのお話で全員感銘して拝聴していたので、このIMは成功したと実感した。

これで補佐の仕事は終わったわけではないが、あとは流れに任せ会員増強や各クラブの事業計画予定の推進をし、第8グループがロータリークラブの輪のごとく円満に楽しく活動できることを願うのみである。

ガバナー公式訪問

函館亀田ロータリークラブ

9月29日（月）

本日、矢橋ガバナー、上野ガバナー補佐と大金地区代表幹事が公式訪問されました。16時から出戸会長、遠藤会長エレクト、山田幹事とポリオ・プラスの件や、会員数の事を懇談され17時からクラブ協議会を行いました。各委員長よりクラブの活動計画を説明し貴重なアドバイスを戴きました。

例会では、ガバナーより新入会員と推薦会員にバッジの授与をして戴き非常に喜んでおりました。

その後、ロータリーバッジの効用やWCSの話を解りやすくして戴き、大変参考になりました。有難うございました。



函館東ロータリークラブ

9月30日（火）

午前10時より、矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐及び大金地区代表幹事と当クラブの会長、幹事、会長エレクト及び副幹事との会長・幹事懇談会を行い、クラブ予算や友好クラブ、ローターアクト等について楽しく意見交換ができました。

続いてのクラブ・アッセンブリーでは各委員会での活動報告、ガバナーとの意見交換、質疑も活発に行われました。その後の例会では、ガバナーより交換学生についてご教示戴き、とても勉強になりました。また、ローターアクト、GSEや財団についてもガバナーよりご説明があり、会員一同有意義な時間を過ごすことができました。最後に大金地区代表幹事より地区大会の登録の御礼を戴き、無事に公式訪問を終えることができました。



函館五稜郭ロータリークラブ

9月30日（火）

9月30日（火）、矢橋温郎ガバナーと大金武夫地区代表幹事、第11グループ光銭ガバナー補佐をお迎えして、午後4時30分より会長、幹事、会長エレクト、副幹事4名による懇談会が始まり、クラブの現況報告をしてCLP実施クラブとしてのクラブ運営について、又ニコニコボックスの使い方についてご意見を戴きました。

午後5時30分からクラブ協議会を開催、今年度の奉仕活動計画の中間発表や各委員長の報告を致しました。

その後、午後6時30分からの点鐘で夜間例会が開催され、ロータリーソングは「四つのテスト」を斉唱した。矢橋ガバナーから地区目標の講話、特にロータリー財団、米山記念奨学会のお話を戴き、最後に全員集合の記念写真撮影をして公式訪問が終了しました。



森ロータリークラブ

10月1日（水）

10月1日矢橋温郎ガバナー、第10グループ上野一義ガバナー補佐、大金武夫地区代表幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事懇談会が出町会長、向中野エレクト、桜田直前会長、石山幹事が出席して行われ、クラブ運営についての助言を戴きました。

引き続き午前11時より行われたクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動計画の内容について説明し、ガバナーよりの確なアドバイスを戴きました。

正午より会員を交えての和やかなうちにも緊張感がある例会が行われ、今年度のRI会長方針「夢をかたちに」、矢橋温郎ガバナーが掲げる地区目標について具体的な説明をいただき、今年度のクラブ運営の目標達成に役立てていきたいと思います。



函館ロータリークラブ

10月2日（木）

10月2日（木）午前10時より、矢橋ガバナー始め、大金地区代表幹事、上野ガバナー補佐を迎えて、会長・幹事懇談会を開き、当クラブの会員の減少の現状と地域の問題点などについて話し合いました。

午前11時より、クラブ協議会で四大奉仕委員会より計画を発表して頂いた後、矢橋ガバナーより講評をいただき、環境保全委員会でのエゾヒキガエルの保護の状況、又、姉妹クラブ、ローターアクトの現状などが各委員長に聞かれ、発表された事についてもご意見をいただきました。

その後は、例会に出席を頂き、矢橋ガバナーより再度、クラブ協議会での問題点など30分間お話しをいただき、ロータリーへの熱い思いが伝わり、なごやかなうちに終了しました。



札幌南ロータリークラブ

10月6日（月）

10月6日（月）、矢橋温郎ガバナーと土谷 享第5グループ担当ガバナー補佐をお迎えして、午前10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会を開催しました。

会長・幹事会ではざっくばらんな意見交換があり、クラブ協議会ではCLPによる組織再編や会員増強運動への取り組みなど当クラブの現況をご説明し、それに対する熱心な質疑などがありました。また当クラブの活動につき貴重なご意見も頂きました。

例会でのガバナーの卓話では、ご自身のロータリー経験という身近な話題から、RI会長方針、ポリオ・プラス、米山奨学会、地区の目標など広範囲にわかりやすくお話し頂き、とても有意義な公式訪問でありました。



当別ロータリークラブ

10月7日（火）

10月7日に矢橋ガバナーと吉野ガバナー補佐が公式訪問されました。はじめに当クラブの三役が歓迎の意を表した後、現況など意見交換をしました。その後、吉野ガバナー補佐司会の元に、クラブ協議会を開催し各委員会の活動など報告しガバナーのコメントを戴きました。クラブ協議会終了後、公式訪問例会を開催しました。例会開催時に、吉野ガバナー補佐から矢橋ガバナーの紹介と共に、前段クラブ協議会が行われたこと、10月26日の地区大会の参加と11月29日に行われる第3グループIMで会いましょうの言葉で始まり、矢橋ガバナーの講話を戴きました。



講話内容 1.財団について 2.米山について 3.ポリオプラスについて

以上の事について宜しくお祈りしますと、ご講話を戴きました。また、イギリス・バーミンガムで国際大会が開催されますが、4%の参加の要請があるので是非ご参加下さいと要請がございました。

最後に、子供たちの救済のために、医薬品やワクチンなどの物資が不足し幼い子供たちが命を落としているので、健康と飢餓救済、識字率向上に取り組む事をRI会長（夢をかたちに）が決定した事のお話もありました。矢橋ガバナー、吉野ガバナー補佐、大変ありがとうございました。

札幌モーニングロータリークラブ

10月8日（水）

去る10月8日（水）に公式訪問をいただきました。前日午後5時30分からの会長・幹事懇談会、クラブ協議会に引き続き、早朝7時30分からの例会で、矢橋温郎ガバナー、大島利一第4グループガバナー補佐には大変お疲れ様でした。



ガバナーからは、交換留学生・GSE・米山奨学生等や地区の現状をわかりやすくご説明いただきました。10月25・26日の地区大会の登録・参加要請を受け、当クラブは移動夜間例会とし、出来る限り多くの会員の参加を呼びかけておりました。

また、ロータリー財団への寄付につきましては、一人年間100ドルをクラブの目標に掲げ努力しております。地区目標達成のため、また、世界中で苦しむ子供たちのために、ガバナーのますますのご活躍を祈りつつ、心強いご指導に感謝申し上げます。

苫小牧東ロータリークラブ

10月9日（木）

10月9日（木）、グランドホテルニュー王子にて高井会長、長岡幹事、斉藤副幹事、小幡SAA副委員長と共に矢橋ガバナー、板谷ガバナー補佐をお迎え致しました。朝食をお取り戴いた後、午前10時に予定されておりました会長・幹事懇談会を行い、CLPを今年度より行い問題点を含め、今後各委員会の方向性のお話を戴き、特に職業奉仕論は難しく国際奉仕とは何か、私達クラブも今一度考えなければいけない問題をご指摘戴き感謝申し上げます。



懇談会が終わりクラブ協議会では、それぞれの委員会に対し貴重なご意見を賜りました。また、ガバナーより例会の卓話の中で、RIのテーマでの強調事項のお話を戴きました。水の汚染、飢餓の追放、識字率の向上について世界では毎年3万人の子供が亡くなり、薬があれば救える事。全てのクラブにRIのテーマをご理解戴きお願いしたいと簡潔に説明戴きました。財団の事にも触れられ大変参考になりました。現在、第2510地区の半分をご訪問されお疲れの事と存じますが、私共を含めたロータリアンの為、今後ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

地区WCS委員会報告

札幌大通公園ロータリークラブより、「モンゴル日本語教材寄贈事業」の報告が届きました。現地を訪問しての検証、交流も実施された旨の報告を頂戴しておりますので、原文のまま掲載させていただきます。この事業により、今後日本とモンゴルの交流がますます深まることをお祈り申し上げます。

地区WCS委員長 出村知佳子（札幌北RC）

モンゴル日本語教材寄贈事業2007—2008報告

札幌大通公園ロータリークラブ会長 大坂 忠

1. プロジェクト名 モンゴル国児童書等贈呈

2. 事業計画

モンゴル国の日本語を学ぶ子供たちに、日本の家庭に眠っている児童書・童話・子供百科事典などを贈る。

事業目的 モンゴルはアジアの中では極めて親切的な国であり、近年は学校で日本語を学ぶ子供達も増えてきています。その子供達に、日本の家庭に眠っている絵本・百科辞典等を送り、初期の日本語学習の参考にして頂くと共に、日本文化を理解して頂く。

対象年齢 第5学年から第8学年（日本の小学5年から中学2年）

贈答品目 絵本（小学校低学年が読むような絵がついたもの）、子供百科辞典、少年少女文学全集、音楽のカセットテープ、日本語検定3・4級程度の教材、童謡などの音楽テープ（日本語を音で覚えるもの）、いろはカルタ等遊具（日本語で遊ぶもの）

3. 事業予算

20万円（相手先負担10%程度）
地区世界社会奉仕委員会資金申請金額 10万円

4. 相手先RC NIISLEL RC（D3450）

国名 モンゴル国
担当者 BOLDBAATAR Sanjsuren

5. 協力RC 大阪天王寺RC

6. 実施経過

書籍収集 2007年10月～12月
収集総数698冊（大阪天王寺からの新書190冊）
百科事典60冊 図鑑40冊 お話絵本200冊
知育絵本100冊 等

書籍梱包 2008年1月27日（札幌大通公園RC有志）

書籍発送 2008年1月28日
（札幌南二条郵便局より中国経由船便）

段ボール 15箱 総重量350キログラム

書籍到着 2008年6月11日

四川大地震及び北京オリンピックの影響により到着が大幅に遅れた

ビデオ等購入 2008年7月24日

購入品 DVD15本 かるた10箱 日本語検定10冊

ビデオ等発送 2008年7月31日

（札幌南二条郵便局より成田経由航空便）

ビデオ等到着 2008年8月5日

7. 検証日及び検証方法

2008年9月2日 第23学校にて到着品の確認及び日本語教室にて日本語を学ぶ子供達に贈答品の使用方法説明

8. 支出明細

2008.1.27 梱包資材 4,946円 東急ハンズ

2008.1.28 書籍送料 97,450円 郵便事業(株)
15箱

2008.7.24 日本語教材 23,520円 紀伊国屋

2008.7.24 ビデオ等 39,689円 紀伊国屋

2008.7.24 かるた 7,352円 セントラル他

2008.7.31 航空運賃 10,200円 日本郵便(株)
合計 183,157円

※モンゴル側では、DVDプレイヤー等を購入していません。

9. 報告者 札幌大通公園ロータリークラブ
担当者 田中利男



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川 R C	成田 雅敏	会員(1回)	11月28日
	児島 俊一	会員(1回)	11月28日
羽幌 R C	成澤 卓爾	会員(2回)	11月28日
	武田 秀夫	会員(1回)	11月28日
江別西 R C	増山 柳	会員(1回)	11月7日
岩見沢 R C	北市 宗三	会員(2回)	11月28日
	小林 弘明	会員(3回)	11月28日
札幌北 R C	谷口 良一	会員(3回)	11月14日
札幌モーニング R C	藤森 敏昭	会員(1回)	11月21日
札幌手稲 R C	阿部 光行	会員(1回)	11月21日
	石田 誠	会員(5回)	11月21日
札幌東 R C	西村 孝治	会員(1回)	11月28日

■ポール・ハリス・フェロー

深川 R C	大西 祥太	会員	11月28日
羽幌 R C	工藤 喜一	会員	11月28日
	忠津 章	会員	11月28日
岩見沢 R C	山本 辰勇	会員	11月28日
伊達 R C	浅水 勝男	会員	11月21日
室蘭北 R C	菅原 悦子	会員	11月28日
森 R C	近藤 宣明	会員	11月7日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

深川 R C	林 憲雄	会員(1回)	11月27日
羽幌 R C	田原 昇一	会員(3回)	11月25日
砂川 R C	畠山 豊	会員(1回)	11月27日
	高橋 秀明	会員(1回)	11月27日
	山田 信一	会員(2回)	11月27日
札幌 R C	伊藤 義郎	会員(4回)	11月20日
札幌北 R C	長太 義雄	会員(3回)	11月12日
	阿部 弘	会員(1回)	11月18日
札幌西 R C	石丸 修太郎	会員(2回)	11月4日
札幌手稲 R C	阿部 光行	会員(1回)	11月20日
	網干 要	会員(2回)	11月20日
札幌南 R C	青木 健次	会員(2回)	11月20日
	菊池 恒	会員(1回)	11月20日
	熊本 努	会員(2回)	11月20日
	黒田 忠	会員(2回)	11月20日
	クリステンセンター	会員(9回)	11月20日
	三浦 義昌	会員(1回)	11月20日
	中道 博	会員(1回)	11月20日
	澤田 隆一	会員(2回)	11月20日
	佐藤 源五郎	会員(4回)	11月20日
	山口 潔	会員(1回)	11月20日
函館東 R C	池垣 信一	会員(1回)	11月18日

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



深沢 彰吾
(余市RC)

■入会/ 7月2日
■職業分類/ 砕石業



菅 雅憲
(余市RC)

■入会/ 7月2日
■職業分類/ 信用金庫



北條 篤
(余市RC)

■入会/ 11月5日
■職業分類/ 自動車修理



石塚 正敏
(北広島RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ ホテル



小田 由三
(伊達RC)

■入会/ 12月2日
■職業分類/ 土木請負業



工藤 光二
(伊達RC)

■入会/ 12月2日
■職業分類/ 自動車学校

文 庫
通 信

(255号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。
今後ともロータリー文庫をご活用くださるよう
お願い致します。

ロータリー文庫 2007~2008年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	68,512	雇用保険料預り金	8,833
普 通 預 金	5,177,135	社会保険料預り金	149,445
定 期 預 金	7,000,000	負 債 合 計	158,278
現 預 金 合 計	12,245,647	正 味 財 産	
仮 払 金	876,300	次期繰越剰余金	12,963,669
合 計	13,121,947	合 計	13,121,947

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	29,088,150	委 員 会 費	1,849,500
雑 収 入	272,478	業 務 費	8,600,353
		貸 貸 管 理 費	9,464,069
		人 件 費	7,623,322
		予 備 費	0
当 期 合 計	29,360,628	当 期 合 計	27,537,244
前 期 繰 越 収 支 差 額	11,140,285	当 期 収 支 差 額	1,823,384
収 入 合 計	40,500,913	次 期 繰 越 収 支 差 額	12,963,669

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

1月のロータリーレート 1ドル=88円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.11.30	増減	内女性	
1	深 川	4	36	36	0	3	85.15
	羽 幌	4	48	48	0	1	92.42
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	91.66
	小 平	4	14	14	0	0	71.43
	留 萌	4	45	45	0	0	79.66
小 計			152	152	0	4	84.06
2	赤 平	4	29	28	-1	1	88.00
	芦 別	4	44	44	0	0	90.38
	砂 川	4	52	55	3	0	94.55
	滝 川	4	99	100	1	2	77.00
	小 計			224	227	3	3
3	美 唄	4	38	38	0	0	84.30
	江 別	4	34	34	0	1	90.45
	江 別 西	4	27	29	2	3	93.96
	岩 見 沢	4	87	90	3	0	91.19
	岩 見 沢 東	4	34	35	1	4	89.88
	栗 沢	4	23	24	1	1	97.90
	栗 山	5	26	27	1	2	96.44
	当 別	4	34	34	0	0	93.39
	小 計			303	311	8	11
4	札 幌	4	117	126	9	0	97.52
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	25	0	4	80.44
	札 幌 北	2	43	44	1	6	89.29
	札幌モーニング	4	49	52	3	0	71.77
	札 幌 西	4	62	63	1	4	96.39
	札 幌 西 北	4	39	40	1	5	91.19
	札 幌 手 稻	5	34	35	1	1	95.38
	小 計			387	402	15	21
5	札 幌 東	4	120	125	5	0	96.06
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	99.58
	札 幌 真 駒 内	4	35	36	1	3	95.71
	札 幌 南	2	92	93	1	0	93.97
	札幌大通公園	2	9	9	0	2	88.90
	札幌セントラル	4	14	14	0	6	64.20
	新 札 幌	3	32	32	0	3	90.91
	小 計			385	392	7	18
6	岩 内	4	21	22	1	0	76.77
	俱 知 安	4	46	46	0	4	71.41
	小 樽	4	69	70	1	0	90.77
	小 樽 南	3	73	72	-1	0	91.31
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	75.00
	蘭 越	2	11	11	0	0	77.27
	余 市	4	39	42	3	4	85.50
	小 計			280	284	4	10

11月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,873人 (100人)
増加会員数	57人
当月平均出席率	85.70%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.11.30	増減	内女性		
7	千 歳	4	63	64	1	3	80.90	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	88.40	
	恵 庭	4	39	40	1	0	75.65	
	北 広 島	4	17	17	0	0	92.65	
	長 沼	2	20	20	0	3	77.50	
	由 仁	4	10	11	1	1	95.00	
	小 計			184	187	3	8	85.02
8	え り も	4	22	22	0	0	93.17	
	三 石	3	15	15	0	1	97.78	
	様 似	4	23	24	1	1	93.70	
	静 内	4	72	73	1	1	77.43	
	浦 河	4	34	34	0	2	100.00	
	小 計			166	168	2	5	92.42
	9	伊 達	4	53	54	1	0	77.70
室 蘭		4	43	45	2	0	66.47	
室 蘭 東		4	41	41	0	0	85.60	
室 蘭 北		4	34	34	0	2	100.00	
登 別		4	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	81.00	
小 計			211	214	3	4	82.44	
10	函 館	4	87	89	2	0	73.45	
	函 館 亀 田	2	45	46	1	2	100.00	
	森		4	34	34	0	0	79.30
	七 飯	4	16	16	0	0	78.10	
	長 万 部	4	10	10	0	0	67.50	
	函館セントラル	4	24	26	2	1	57.69	
	小 計			216	221	5	3	76.01
11	江 差	4	19	19	0	1	77.60	
	函 館 五 稜 郭	4	55	57	2	0	100.00	
	函 館 東	4	45	46	1	4	81.93	
	函 館 北	4	30	30	0	0	91.38	
	北 斗	4	19	17	-2	2	63.24	
	松 前	3	5	5	0	0	60.00	
	小 計			173	174	1	7	79.03
12	白 老	4	26	27	1	0	75.80	
	苫 小 牧	4	50	54	4	2	75.97	
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	87.50	
	苫 小 牧 北	4	34	34	0	2	92.97	
	小 計			135	141	6	6	83.06
合 計			2,816	2,873	57	100	85.70	

2008-2009年度 地区カレンダー

〈2009年1月～6月〉

1月 ロータリー理解推進月間

地区の行事

- 各クラブ半期報告、人頭分担金送金
青少年交換短期派遣生選考試験
10(土) 2009学年度米山奨学生選考試験(札幌)
17(土) 地区ガバナー補佐会議(札幌)
31(土) 財団学友帰国報告会(札幌)

国内行事・国際行事

- 18(日)～25(日) 国際協議会(米国・サンディエゴ)

4月 ロータリー雑誌月間

地区の行事

- 12(日) 地区協議会、地区会員増強セミナー(滝川)
10-11国際親善奨学生応募締切り
18(土) 米山奨学生カウンセラー研修会予定
グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
4(土) 第10・11グループ合同IM

2月 世界理解月間

- 23(月) ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日

地区の行事

- 10-11国際親善奨学生応募開始
1(日) 2009-2010年度GSE派遣団員選考
10(火)～14(土) WCS検証ツアー(予定)
サッポロ・インターナショナルナイト参加(青少年交換)
21(土) 2009年3月終了米山奨学生歓送会予定
28(土) 地区チーム研修セミナー(砂川)
28(土)～1(日) 会長エレクト研修セミナー(砂川)

グループ内の行事・IM、クラブ周年行事

- 7(土)～8(日) 中学校スポーツ大会(札幌手稲RC)
21(土) 第4・5グループ合同IM
21(土) 第9グループIM
24(火) 洞爺湖RC40周年記念式典

5月

地区の行事

- 米山学友主催家族懇親会
10-11国際親善奨学生選考試験
国内行事・国際行事
1(金)～2(土) 第3700地区(韓国)地区大会
グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
17(日) 深川IRC50周年記念式典
17(日) 第1グループIM
羽幌RC30周年記念式典
長沼町国際交流フェスティバル

3月 識字率向上月間

世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)

地区の行事

- 28(土)～1(日) 会長エレクト研修セミナー/地区R財団セミナー、地区米山セミナー(砂川)
09-10国際親善奨学生オリエンテーション
青少年交換学生春期スキー・キャンプ(予定)
グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
7(土) 第7・12グループ合同IM
14(土) 札幌東RC50周年記念式典

6月 ロータリー親睦活動月間

地区の行事

- 14(日) 新旧地区委員長・ガバナー補佐合同引継会議(札幌)
ローターアクト地区年次大会
インターアクト地区年次大会
国内行事・国際行事
21(日)～24(水) 国際大会(英国・バーミンガム)
米山記念奨学会、理事会・評議員会
グループ内の行事・IM、クラブ周年行事
17(水) 新札幌RC25周年記念式典
20(土) 白老RC30周年記念式典

《地区委員会委員の追加について》

地区ローターアクト委員会委員に12月1日付にて千歳セントラルRCの高塚信和会員が選任されましたので、組織図に追加をお願い致します。

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 砂川RC：1月7日(水) 休会
1月14日(水) 夜間例会「新年交礼会」 18:30～
- 江別RC：1月22日(木) 移動夜間例会「新年会」 18:30～
場所：野幌セレモニーホールはやし(江別市野幌町54番地の5)
- 岩見沢RC：1月1日(木)、8日(木) 休会
1月15日(木)の例会は1月13日(火)の岩見沢東RC合同新年交歓会に振替
- 岩見沢東RC：1月6日(火) 休会
1月13日(火) 岩見沢RCとの新年合同交歓会 18:00～
場所：岩見沢平安閣
- 伊達RC：1月6日(火) 休会
1月13日(火) 夜間例会「新年交礼会」 18:00～
- 室蘭北RC：1月6日(火) 夜間例会「新年交礼会」 18:30～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 白老RC：1月6日(火) 休会
1月13日(火) 移動例会「雅楽演奏会」 12:30～
場所：白老八幡神社(白老町本町1-1-11)
1月27日(火) 移動夜間例会「新年家族例会」 18:00～
場所：しらおい経済センター(白老町大町2-3-4)
- 苫小牧RC：1月2日(金) 休会
1月9日(金) 夜間例会「新年家族会」 18:00～
場所：グランドホテルニュー王子

編集後記

クラブの夜間例会は百様百態(小泉元首相流に言えばクラブは色々、例会も色々)。

七飯RCの名物例会に観月会なるものがある。文字通り名月を觀賞する会、平たく言えばお月見である。七飯RCの例会場は地区内きっての豪華を誇る名勝大沼湖畔に立つリゾートホテルである。名峰駒ヶ岳を見渡せる開放された総ガラス張りの例会場だ。その山の端に掛かる満月を一タ觀賞しながらの親睦会である。近隣のクラブにもお裾分けしようと呼びかけるうちに第10・11グループの全てのクラブの有志が集まるようになって早23年経つと言う。負けじと、森RCは春には当地へと相成った。森町の桜は渡島半島随一の松前を凌ぐ偉観だ。そこで春は森RC主催の観桜会、秋は七飯RC主催の観月会と成長した訳である。昨今は単なる親睦会では勿体ないと優れたスピーカーを呼び、正にIMばりの会となった次第である。

7月15日に江別西RCをスタートしたガバナー公式訪問が12月2日の札幌西RC(ホームクラブ)訪問を最後とし

て全スケジュールを完了した。半年に亘るクラブ行脚であった。その間随伴戴いたガバナー補佐の皆さん、又会長・幹事懇談会、クラブ協議会と公式訪問例会をセットして戴いた方々、又温かくお迎え下さった地区内全会員に心よりお礼を申し上げます。その間各種行事(全国レベルの諸会合、地区大会、IM、地区諸委員会、各クラブ周年式典等々)の超過密スケジュールの半年間であった。我々の心配を他所に無事に終えた矢橋ガバナーが心身ともに健康であるのを眼のあたりにして一同舌を巻いた。その余勢で残る任期を全うするよう祈念したい。

本号掲載のMy Rotary Note(塚原PG)の洞爺丸海難悲話を一読。目頭が熱くなった。上野一義ガバナー補佐(第10グループ)の手紙に触発されてその経緯を読み進んで行くうちにロータリーの根幹である職業奉仕に辿り着く次第。昨今、職業奉仕月間等で職業奉仕に困んだ卓話に悩んでいる人には恰好の教材と知った。この手の話心の琴線に触れるのは老いたる所以か。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：大通公園イルミネーション
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.8
2009
2

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 世界理解月間にあたって
—世界理解月間に因んで
- 4 ————— 私の“Rotary Notes”
ロータリーのお稽古
- 7 ————— ガバナー補佐レポート
若者の夢を共有しませんか
- 8 ————— 第3グループIM開催される
- 9 ————— ローターアクト北海道交流会を終えて
- 10 ————— 地区委員会報告
- 12 ————— ガバナー公式訪問
- 15 ————— ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
- 16 ————— 白石欽一パストガバナー追悼
- 17 ————— 訃報／新入会員のご紹介
文庫通信
- 18 ————— ロータリーカードのご案内
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー（2月・3月）
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

ロータリー創立記念日に、
ロータリーを振り返る国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

2月といえば、当地・札幌は雪まつり。今年で60回目になります。人間でいえば還暦です。私が還暦を迎える前、ホームクラブで提唱していたローターアクトの若者たちと一緒に大通公園の会場で雪像を作ったのを思い出します。「第11師団友の会」の関係で真駒内会場にも立ち寄りましたが、今では自衛隊前の会場自体が移転してしまいました。人間同様、イベントも60年生き長らえるに変化しないことはありません。

ロータリー・クラブができて、今月で104年です。白寿から5年経ちました。ポール・ハリスさんは明治元年生まれ。生きていれば140歳です。

何年前か、ポール・ハリスさんのお墓へ行ってきました。米国・シカゴにあります。自分の親の墓参りもそこに外国人の墓参りとは、身内に嘆かれたものです。当家の菩提寺は、岐阜県の大垣にあります。その寺は、所郁太郎の墓を守っています。この人物、幕末の志士です。司馬遼太郎の「美濃浪人」という作品にも登場します。元は矢橋郁太郎といいまして、私の遠縁にあたります。幕末の志士といっても、知ってる人の方が珍しい、知る人ぞ知る志士です。私もよく知っているわけではありません。なんでも井上馨の怪我を治療した医師でもあったそうです。そんな地味な志士のお墓ですが、幕末ファンにとってはかなりな史蹟になるそうで、お寺では記念撮影に訪れる愛好家をよく見かけます。ポール・ハリスさんのお墓も、同じようなものです。マウント・ホープ墓地をうろつく日本人が、地元の方々はどう映るかは別にして、「ロータリーの歴史と伝統の会」の一員としてはこれほどの史蹟はないわけです。

会ったことのないひとのお墓をお参りする動機に、シカゴでも岐阜でも差はありません。会ったことがない、会えなかったひとだからこそ、敬愛の念は強まります。幕末ファンとの違いは、同じロータリアンとして、創設者への敬意が加わる点でしょうか。それも、ロータリー・クラブへ入れたからこそ。

私は一度、札幌西ロータリー・クラブへの入会を断られました。いまだに、何故拒否されたのか、わかりません。当時はただ、審査の結果入会が認められなかった、としか伝えられませんでした。思い当たるフシはありません。さしあたって悪事を働いた覚えは無いし、恨みを買うような振る舞いをするタイプでもありません。考えられるとすれば、一業種一会員の原則に触れていたのか。当時の区域限界は明確なものでした。私の自宅と会社では、札幌西ロータリー・クラブ以外に入会を申請できません。ロータリーに入りたければ引っ越すか、ひたすら札幌西ロータリー・クラブが入れてくれるのを待つしかないわけです。

私の父は、岐阜で大垣ロータリー・クラブの創設幹事を務めました。幼少の頃、自宅で「奉仕の理想」をレコードで聴いた記憶もあります。父は電車を乗り継いで名古屋や三重までメーキャップに走っていました。チャーターナイトに呼ばれば、その土地の特産品を山ほど土産に持たされて帰ってきたものです。父の話から、ロータリーとは地域で立派に仕事をしている職業人の集まりだということはわかっていました。同時に、将来自分もロータリーに入れるようになりたいものだと考えたものでした。入会を申請した頃、若くはありましたが業界内での仕事も任されていました。今思えば夢のような、右肩上がりの経済環境を享受し、商売は順調でした。そんな折、審査にはねられてみて、ロータリーとは斯くも敷居の高い団体かと思い知らされました。どうしたら自分はロータリーへの入会を認めてもらえるのだろうか、悩んだものです。再び入会申請に踏み切るまで2、3年かかりました。ようやく入会が認められたのが1979年、45歳のときです。

一業種一会員だった頃のロータリーを懐かしむ方の話をよく聞きます。メーキャップが前後1週間だった頃のロータリーを懐かしむ方も時折、見受けます。雪まつりが60年で変化しているのだから、100年を超えたロータリーが変わらないわけがない。でも私は、私をロータリアンとして認めるにはまだ早いとはねつけた30年前のロータリーを、懐かしく思います。

世界理解月間にあたって

地区国際奉仕委員長 **阿部 弘**
(札幌北RC)

国際奉仕の基本方針は、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」と、RI定款第4条に書かれております。世界理解月間というのは、国際間の理解を深めて世界平和と親善のために何ができるかを今一度問い質すためにあると思われま



現実には、世界のあちこちでテロや戦争、地震や水害などの自然災害。そして飢餓や栄養不良などの多くの問題が発生しております。それらについて理解を深め、行動を起こすことがロータリアンの責務と思えます。

地区の国際奉仕委員会の任務は、世界社会奉仕委員会（WCS）の活動を支援し、国際親善に努め、国際友好を推進することです。近年の第2510地区WCS活動は目覚しく、特筆に値します。すなわち、東南アジアの国々に対して、水事業、トイレ衛生事業、復興支援事業、教育事業等々の多くの実績を挙げ、世界に誇れる活躍ぶりと言えます。これらの事業を推進し実施し続けてきている出村知佳子委員長以下WCS委員会の皆様のご努力と、それらの事業に参加してこられた20を超えるクラブの皆様に心から敬意を表します。

しかしながら、国際奉仕は地区やクラブの行動だけではありません。国際奉仕の基本精神はロータリアン一人一人の行動にこそあると思えます。色々な事業へ参加できなくても外国へ行けなくても、身近でいくだけでも国際奉仕の精神に沿った行動ができると思えます。外国からの旅行者、外国人留学生、日本に居住している外国の人々などに対して、親切と友情の手を差し伸べることは誰にでもできます。外国から日本に来て淋しがっている人、困っている人、悩んでいる人、悲しんでいる人など、そんな人がいたら近づいて友達になり、温かい手を差し伸べる心がロータリーの心と思えます。

—世界理解月間—に因んで

地区世界社会奉仕（WCS）委員長 **出村知佳子**
(札幌北RC)

2月は世界理解月間です。世界という大きなステージで活動しているロータリーのアクティビティーは多くありますが、世界という名がついている世界社会奉仕活動（以下WCS活動）の理解について触れさせていただきます。

皆様ご存じのように、WCS活動とは活動のステージを国内から世界（海外）へと移した社会奉仕活動です。各地区、各クラブがRIのテーマ、強調事項に沿った社会奉仕活動を発展途上国等にて行います。この中で国内での活動とは少し違った大切なポイントに気付かされることがあります。



2つ以上の国が「人種、文化、宗教」の違いなどを越え1つの事業を共に行い、この間にはロータリーのいう共通の軸を持つての素晴らしい友情も生まれます。この友情に基づいた事業は、決してこちら側の「ひとりよがり」や「押し付け」的な事業であってはならず、文化、宗教、風習、等の違いを理解した上で、相手国の抱えている問題を長期的視野にたった活動であることが大変重要です。当然ながら、こちらのスタイルの複雑な機械を贈ったり、金銭を贈ったりするものでもありません。また、この事業によって新たな被害が起きる事業であつてもいけません。



安全な水を確保する手伝いをする事は、子供達、村人達の生命の維持、健やかな成長につながります。教育、識字への支援は貧困の連鎖を止め、子供達の将来を大きく変える力を持っています。そして、これにより最も大きな喜びを得るのは、支援している私達支援国のロータリアンであることを忘れてはなりません。支援をして頂いているクラブの皆さん、相手国の地区やクラブの皆さんが実際のタイでの検証中に言われた、「ロータリアンでいて本当に良かった」という言葉に大きな感銘をうけたことを今も鮮明に覚えています。その言葉はまさにWCS事業から得た大きな喜びを物語っており、WCS活動に参加をされた各クラブの皆様、相手国のロータリアンに感謝の気持ちでいっぱいです。



WCS事業の実施、成功をはじめ、国際的な活動には相手をよく知り、理解し、遠慮なく議論をし合うことのできる強い信頼関係を作っていくことが大切であることを、WCS活動が教えてくれたことに深く感謝する毎日です。





ロータリーのお稽古

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《人生の峠を超えて／over the hill》

ポール・ハリスは1947年1月27日、79年にわたる生涯をシカゴで閉じました。自叙伝『わがロータリーへの道』はその翌年に発刊されました。ハリスは、その巻頭で「人生70余年」という年齢を／more than three “score” and ten years of life／と表現しています。聖書「詩篇」では「人生70年」の寿命を／three “score” and ten／と言います。“score”は、いわゆるスコア、得点のことですが20という数の単位を表わします。つまり／three “score” and ten／は $3 \times 20 + 10 = 70$ となります。

私もすでに70有余年の馬齢を重ねました。私のロータリーライフを振り返ってみると三度の転機がありました。クラブの幹事・会長時代、ガバナーのころ、パストガバナーになった今の三段階です。三段階の転機といえば皆さんの中にはヘーゲルの弁証法（発展の法則）の「正・反・合」を思い出される方もおられるでしょう。「正」とは物事の最初の未分化の状態、つぎに「反」はこの最初の状態が反省され、そして最後に「合」は正・反を踏まえて高い次元に至った状態で「三部法」とも言われます。ロータリーとは何かと問うと百人百様の答えが返ってきます。ロータリーは何かと答えることより、ロータリーは何をしているのかを語るほうが簡単です。ロータリーは部分的に理解しやすいがその本質は定義しがたいからです。ロータリー運動の本質は三部法で次のように定義できます。『ロータリーとは対立する政治哲学及び文化的価値の違いが唱える「否定」を潔しとせずこれを超越することによって、長きにわたって国際理解を妨げてきた障壁のすべてを乗り越える生き方である。ロータリーはこういうものと対立するのではなく、これらが持つ価値を止揚（矛盾する諸要素を、発展的に統一すること。アウフヘーベン）する。ロータリーは人間性を高める生き方である。人は他者への奉仕を通じてこそ完全な満足を見出すからである』この「三部法」と同じように日本にも物事の発展段階を示す言葉に利休の「守・破・離」という教えがあります。「守破離」とは稽古を積む課程、すなわち修行における三段階の順序を表す言葉です。まず師の流儀を習い、励み、次に独創性を養うことを重視した教えであります。一般的には、「守」は、ひたすら師の教えを守り、繰り返す段階。「破」とは、今まで学んで身につけた教えから一歩進めて概念を破り、独創性を養う段階。「離」は、自在の境地に至り、師の許を離れる段階として説明されます。「守・破・離」は芸道だけではなく学問にも経営にも技術にも、ロータリーにも、すべてにあてはまるものなのです。私も迷いながら歩いてきた自分の「ロータリーライフ」を利休のひそみに倣って振り返ってみます。

《「守」の頃》

入会して6年目でクラブ幹事になりました。クラブ運営の事務方として運営手続きに精通していなければなりません。ひたすら手続要覧と首っ引きの毎日でした。綱領はもちろん、定款・細則、2つのモットー、決議23-34、倫理訓を始めロータリ

一の管理運営に関する組織規定を頭に詰め込みました。しかしロータリーを習うには文献・資料のみでは絵に描いた餅に過ぎません。新クラブの結成や地区会合の設営、公式訪問に備えての準備などクラブ運営の実際面を学ぶには「善智識」が欠かせません。「善知識」とは、仏教の言葉で正しい道理を教え、導いてくれる人を指しています。私は札幌RCの故西條PGを勝手に自分の師・善智識と決めて、ロータリー全般について不明の点があればいつも教えを乞いました。西條PGは博学で小型コンピューターのような博覧強記な方でした。どんな質問に対してもたちどころに答えが出てまいりましたので「歩く手続要覧」と言われた方でした。また当時は中央大学教授、小堀憲介氏主宰の千種会というロータリーの勉強会が札幌で定期的開催されていました。ロータリー発生史、ロータリー思想の理論構造、ロータリー組織の理論構造などを体系的に学びました。私のロータリー理論の基礎は故西條PGと千種会によって築かれました。また地区の文献史料室委員長を務めたおかげで多くの貴重なロータリー文献に触れることができ、「ロータリー哲学とは何か」を知ることができました。クラブ会長になったのは、入会20年目の時でした。会長の任務としてロータリーの知識はもちろん必要ですが、知識よりむしろクラブの運営には人間学とでも言いましょうか、人情の機微を踏まえて「和して同ぜず」の精神の大切さを学びました。

《「破」の頃》

ガバナーに推薦されたのは入会してから28年目の時でした。ガバナーの役目はRIとクラブを結ぶパイプ役です。つまり国際協議会で学んだRIの方針をクラブに伝え、クラブの情報をRIに伝えます。そのために公式訪問があります。ガバナーの最大の任務は公式訪問に尽きます。地区内73クラブを回りましたがそれぞれのクラブは独自の伝統と家風を持っています。各クラブは標準クラブ定款に基づき管理されることになっています。しかしロータリーは社交クラブと呼ばれる社会構造の中で機能している社会性の一番弱いもので、本来それに参加するも参加しないもその構成メンバーの自由意志です。われわれは世のため人のために奉仕の理想を掲げて団結していかなければならないというロータリー運動の崇高性の故にロータリー運動が社交クラブ性を失ってはなりません。ですからロータリーの定款細則などを、国家法を解釈するように解釈したら間違いです。RIの基本方針（1962—03）には『管理に関する定款及び手続き上の制限は、ロータリーの根本的かつ比類のない特徴を保持するために必要な最小限度にとどめられている。このような規定内にあつては、特に地方的実情において、国際ロータリーの方針を解釈し実行するにあたり最大の融通性を認めるものである』と明記されています。比類無き特徴とはもうすでに皆さん御承知の通り職業分類と例会出席の二つです。言い換えるとこの二つだけはロータリーのバックボーン（中核思想）ですから定款に従わなければなりません。RIの管理運営の根底にある基本原則は、加盟クラブの大幅な自主性であります。特に地元のレベルでは、RIの方針の解釈と実施において最大限の柔軟性が認められています。クラブ幹事の時代は組織規定を忠実に学ぶ「守」の時期でした。しかしガバナー公式訪問で学んだことは、「人見て法説け」という柔軟な悟りでした。公式訪問の際、会長・幹事懇談会での最大の問題は「会員減少」でした。ロータリーが魅力を失ったことも事実ですが、なによりも経済構造の変化が大きな要因です。その上過疎化と高齢化が進み、「限界集落」が道内に570もあります。限界集落とは過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のことを指します。「集落」とロータリークラブは違いますが、65歳以上の高齢者がクラブの過半数を占める状態は「限界ロータリークラブ」といえます。また、限界集落を超えた集落は「超限界集落」から「消滅集落」へと向か

います。今まで増強は「ピラミッド型」の人口構成を前提として設計されてきました。しかし我が国の人口構成はすでに「提灯型」へと変化し、今や「すり鉢型」へと変わりつつあります。ロータリーを支えていた地域経済そのものが激しく変化しようとしています。少子高齢化、インターネット、グローバル化の三つがさらに不確実性を加速させています。いまや、地域社会活性化のためにはロータリアン個々の技術の良さだけでは不十分で、従来のビジネスの枠を超えた大胆な改革が必要です。我々はロータリアンである以前に地域社会のより優れた職業人でなければなりません。地盤低下の今、CLPの導入だけが果してクラブ活性化の特効薬となりうるでしょうか。

《離の時代》

パストガバナーになりRIレベルでロータリー運動の「問題点」に触れる機会が多くなりました。

第一にロータリーは巨大化し、官僚化しました。およそ人間の営む組織というのは、政府でもあれ民間団体であれ大きくなればなるほど官僚化します。実際にこなさなければならない仕事量に関係なく、官僚の数はどんどん増え続けていくというもので、もちろん官僚が増えれば、その分仕事がなければなりません。それは実際に必要ではない仕事を創造することでまかなわれます。その仕事を正当化するために隠れ蓑としてやたらに委員会や審議会を作る——今のロータリーも全く同じです。しかし、組織管理の体系として、官僚制に勝るものがないというのも実状です。そして今のRIにとって最大の関心事は会員増強・退会防止です。世界的な会員減少にRIは危機感を覚えています。肝心のロータリー哲学・職業奉仕などの人作り運動は全く無関心です。

第二に、そもそも資本主義経済の成熟した先進工業国とアフリカやインドのロータリーを同じ定款で統治しようというのが間違っています。多額の援助金を出す国と、それを求める国とでは金銭感覚が全く違います。まして先進国の会員は減少して、援助を要する国の会員だけ増えていくとしたらどうなるでしょう。ロータリーの進路を決める規定審議会は援助を要する国の多数の会員の主張が主流となります。以前はロータリーの知識を追い求めました。しかしパストガバナーになって道元禅師の「尋言逐語の解行」（じんげんちくごのげぎよう）と「回光返照の退歩」（えこうへんじょうのたいほ）という言葉の大切さを知ようになりました。尋言逐語の解行とは、他人の言葉あるいは理論・思想のみを追っかけまわし、それに従って物事を考え、理解してゆくことです。回光返照の退歩とは、そのような追従的な理解の仕方から一歩退いて、いわば「意識の光」を、言葉や理論から、自らの心の中に起こる出来事に回らして、それを照らし出し、その照らし出されたその当体とは何であるのかと自らが直接、自らの中の出来事を観察していく、そのような生き方を言います。つまり単なる知識、物知りではない。物と親身に交わる、物事と自分が出会ったとき、身に感じて自分の中に起こる知的な働き、それが考えるということ。とすれば物を外から知ろうとするいわゆる物知りは、まるで考えるということをしていないと気付くはず。苦勞しないで分かったと思うのは、知識が一つ増えただけのことで、そこには何の発明もないことに気付かないでいます。私たちがロータリーに出会ったとき、何を感じ、何を思い、どんな変化が自分の中に起こったか、それを自問自答してみなければロータリーの理想は自分の血肉となりません。まず自分に問うことです。問いを発見することです。ロータリー運動の一番大事なところは、「ロータリーとは何か」を自問し、自分で発見する以外にはないと最近気付くようになりました。



若者の夢を共有しませんか

地区ガバナー補佐（第12グループ担当）

板谷 剛
(苫小牧RC)

■ ■ ■
今年の正月は久しぶりにゆっくりした時間を持つことができました。昨年暮れに札幌の病院に入院して手術を受けましたので、そのリハビリの為にあまり動き回らないようにと医者に言われた事もあって大人しく家の中におりました。

夜中のテレビ番組に「関口知宏が行くヨーロッパの旅」の再放送がありました。彼の番組は昨年見た「中国編」も大変良かった。今回の放送でもつくづく考えさせられたところがたくさん有り、再認識させられました。一人の何処にでも居そうな若者が外国の町々を汽車に乗って訪ね回りますが、それもあまり大きくはない町も含めて。その訪ねた町々で多くの人々との触れ合いがまことに素晴らしい、の一言に尽きます。彼の才能によるところが大きいとは思いますが、偶然出会った人々との色々な会話（英会話ならかなりイケる）、そして歌を歌い、踊り、作詞作曲し、絵を描き、自然に触れ、その素晴らしさに感動し涙を流す。こんな素直で純粋な日本人が、世界に通じるグローバルな日本の若者がいることが、私に大いなる感動を与えてくれました。

受験勉強に明け暮れ、人より少しでもいい学校に入り、社会に出て少しでも高い位置に就き、地位と名声と高収入を得たい。こんな考えの若者を是とする世の中が出来上がってしまったら、日本はつまらない貧相な国になってしまうのではないのでしょうか。

ここからですが、私の独り善がりの独善的な意見になってしまっていますが聞いて下さい。苫小牧ロータリークラブの行っている奨学金制度、高校生一学年3名、計9名の学生さんに、永い間月1万円程度の奨学金を支給しておりました。一人の学生さんにとっては小額かもしれませんが、クラブにとって年間百万円程度の金額が必要になります。その在り方について考え方を改めた方が良くと考え、4年くらい前に現在支給している学生さんが終わったら今までの方法を一旦中止する。勉強をしたいが学費が大変とか、奨学金の性質から言ってそのことも大切な事ですが、現実にはその該当者はあまり多くはおりませんでした。それよりも走らせたなら誰よりも早い、球を投げさせたら誰よりも遠くへ投げられる、相撲を取ったら誰よりも強い、歌を歌わせたら誰よりも上手い、字を書かせたら、絵を描かせたら誰よりも上手い、そんな誰でも持っている可能性や才能を發揮させることが出来る為に、我々ロータリアンが少しばかりの手助けが出来ないだろうか、感受性豊かな若者たちを少しでも増やしたい、そんな考えから如何なる団体、個人を問わず、素晴らしい業績を発表したり、出場したりする場合の経費面での手助けが必要な場合に限り、奨学の意味を含めて、奨励金を出す事にしております。勿論勉学に関しても同じです。人は皆色々な才能、能力を持っており、それを素直に表現し、皆が認め育て合い、共感し合う素直な社会で有りたい、そんな社会も必要ではないのかと思います。

これからは色々な面で世界に通じる若者達を数多く輩出しなければなりません。そのような意味も含めて我々ロータリアンも考えを新たにせねばならないと思います。

第3グループIM開催される

地区ガバナー補佐（第3グループ担当）

吉野 顕隆

（栗沢RC）

去る11月29日（土）岩見沢市栗沢市民センターを会場に、栗沢ロータリークラブをホストとして、渡辺岩見沢市長、矢橋ガバナーをはじめ、域内200名を超えるロータリアンの参加を得て第3グループのIMが開催されました。

環境保全と人間尊重の地球社会を築いていくために、ロータリアンとしていま何をなすべきなのかを「地域に息づく活動でロータリーの夢をかたちに」をテーマに話し合われました。

基調講演として、帯広畜産大学西崎邦夫特任教授から「地球温暖化とこれから」と題しての問題提起を戴いた後、グループ内8クラブよりテーマに基づいた活動事例発表が行われ、次代を担う青少年育成に関しては、中学生野球大会を立ち上げてそのレベルアップと、心身の健全育成を目指して18年になるクラブ、また独自に高校生奨学金制度を設置して、33年にわたり多くの少年の夢実現に力を注いできたクラブ、更にはあらゆる機会を捉えての子供たちとの交流イベントの開催や、学校を通じての教育資金支援に多くの共感を呼んでいました。地域活動については福祉施設への訪問・支援や相互理解の促進、交通安全運動に対する積極的な取り組みや防犯パトロールなど、安全・安心の街づくりに汗を流す姿が浮かび上がっていました。そして、環境問題についても保全活動に対する学習から始まって、ホテル生息地（江別早苗別川）の清掃活動や宮島沼水鳥湿地センター（美唄）への支援、街路清掃や植樹など地域と連携しながら地道に自然保護に取り組む報告がなされたのは、まさに地域に息づく活動に他ならないと思います。この交流を機会に、地域密着に向けた運動が益々盛んになっていくことが期待されています。

真摯な学習を済ませた後は、IMのいまひとつの眼目であります親睦懇親会が盛大に開催され、久しぶりに顔を合わせた会員同士が、日頃の情報交換の中から更に議論の深化がなされていたようであります。

いま、人間社会と自然との共生が声高に論ぜられています。しかし、これは飽くまで人間社会からの一方的な論理で成り立っているような感じがいたします。自然にやさしく人にもやさしい地域社会をつくるために、私たちロータリアンはどのようなアクションを起こせばいいのか、重い課題を胸に会場を後にしたのでした。



ローターアクト北海道交流会を終えて

第2510地区ローターアクト

地区代表 布施 年啓

(赤平RAC)

今回の北海道交流会は11月22日から23日に渡り北海道最東の根室市にて開催されました。参加したアクターの人数は第2510地区より21名、第2500地区より87名の計108名と年々減少傾向にありますが、アクターらしく、少ない人数ながらも北海道を盛り上げようとする熱意で楽しく学び、そしておおいに交流できた今回の交流会だったと振り返って感じております。

1日目は厳粛に行われた開会式を終え、分科会へ…バスで2班に別れ納沙布岬へ向かいました。地元のガイドからの説明を受けながら北方館（北方領土資料館）へと入館しました。そこでは北方領土の歴史が写真や資料で詳しく説明されており、今までほとんど知らなかった北方領土に関する細かい歴史や返還に向けてどのような活動をしてきたかを学ぶ事が出来ました。今後は、微力ながらも返還に向け協力して行きたいと思えます。

懇親会では、第2500地区、第2510地区が絶妙にシャッフルされたテーブルになっており、新人会員が新しい名刺を交換するといったような初々しい場面も少なくはなかったと思います。ゲーム大会ではテーブル対抗戦で景品めざし一丸となりより一層親睦が深まりました。

2日目はスポーツ交流会から始まりました。種目はミニバレーで、運動が苦手な人も得意な人もチームワークでお互いを励まし助け合い短い時間ではありましたが、とてもいい汗を流させてもらいました。スポーツ交流会後すぐに閉会式へと移りました。次年度開催は千歳RACがホストクラブとなり第2510地区が開催することとなりますが、今回7回目となります北海道交流会を盛大に開催した根室RACを中心とした第2500地区の皆様方の勢いをそのままに第8回も開催されることを楽しみにしております。

最後になりましたが、現在全国的にRACの仲間がどんどん減ってきております。非常に残念なことではありますが、この状況を何とか乗り越えなければなりません。我々アクターを心待ちにしている人たちのためにも、アクトの火を絶やすことは絶対に防がなければなりません。これからもアクターらしく共に活動していきましょう。



地区委員会報告

■委員会名： 地区補助金委員会

■委員長： 須田 義雄

■日 時： 平成20年12月10日（水）

■会 場： 札幌パークホテル 桃源郷

■出席人数： 9人

1. 12月10日（水）矢橋温郎ガバナー、岩城秀晴ロータリー財団委員長、補助金委員会、補助金監督委員会の委員参加のもとに11件の申請書を審議いたしました。

2. ロータリー財団地域セミナーハンドブック最新号（2008年11月19日）に記載されている地区補助金に相応しいプロジェクトに準じ、

これに各クラブの最近3年間のロータリー財団寄付金の金額を考慮して審査が行われました。毎年、地区補助金の使用基準が厳しくなり、詳細は同書52から57ページに記載されておりこれらを参考にしました。

3. 今年度の予算は33,000ドルであります。急激な円高により実際受け取る金額は昨年より70万円程減額になる予定で、290万円（1月のロータリーレート：88円）の予算となりました。

4. 12月5日までの申請件数は、例年より多く11件を数え金額も約550万円に達しました。内容別にはサッカーなどスポーツ大会などの参加と援助、植樹、環境保全を目的とする緑化運動（装置使用）、青少年のために森の中のキッズキャンプに木道を作ること、車のアイドリングストップ運動など、CO₂削減を目的としたもので、いずれも直接会員が参加する姿勢がみられました。大きなキャンペーン運動では、今話題になっているビブワクチン接種促進運動、また、花時計の設置、高校オーケストラへの援助、絵図・古文書の寄贈などの11点でありました。

5. 今後後期申請分（6月30日）の予算も残さなければならぬため、採用及び金額決定には多くの意見が出され、11件中10件が採用になりました。しかし、上述の予算の関係上各クラブ共申請金額をかなり減額せざるを得ませんでした。最終的にガバナー、財団委員長の了解を得て決定致しました。

6. 後期予算を若干保留しましたので、未だ申請していないクラブは下半期5月末日まで申請して頂く様、お願いいたします。



- 委員会名： GSE委員会
- 日 時： 平成20年12月18日（木）18：00～
- 会 場： 西鶴三条店（札幌市中央区南3条西4丁目 TEL 219-8088）
- 出席者： 岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、沼舘、石丸、泉、トーキル各委員
岩城財団委員長、奥貫チームリーダー、神部地区幹事

議事内容

1. 派遣メンバー募集について、幾人から問い合わせがあるが、まだ少ないので声掛けを行なうことを委員全員で行なうこと。
2. マスコミに募集内容を取り上げていただく方策をとること。
3. 選考メンバーは、ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員長、リーダー、元リーダーおよびGSE委員で構成すること。
4. 選考は面接によることとするが、その詳細は、来月の委員会までに石丸委員がとりまとめること。
5. 相手のRI2360地区も申請を行い、これで両地区とも準備は整った。
6. 次年度のGSE委員に、札幌西RCより宮崎会員が就任することに受諾を得ていること
7. 小樽RCにもGSE委員選出を要請していること。
8. 次年度GSE委員会の委員長は、沼舘委員が引き受けること。
9. 次回は2009年1月18日に行なうこと。

- 委員会名： GSE委員会
- 日 時： 平成21年1月18日（日）15：00～
- 会 場： ウェルシティ札幌厚生年金会館（札幌市中央区北1条西11丁目 TEL 231-9551）
- 出席者： 岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、沼舘、石丸、泉、トーキル各委員
岩城財団委員長、奥貫チームリーダー、神部地区幹事

議事内容

1. 派遣メンバー募集について、15日に締め切ったが14名が応募してきたこと。
2. その他にも応募の問い合わせがあったが、資格理由などで断ったこと。
3. 2月1日の面接対象者の選考を行なったこと。
4. 選考手続きについて、石丸委員から説明があり、役割分担を行なったこと。
5. 次年度のGSE委員に、北広島RCより馬場会員が就任することに受諾を得ていること。
6. 次年度GSE委員会の副委員長に石丸委員が指名され受諾したこと。
7. 次年度の交換事業について必要資金が確保されるよう地区幹事に要請をおこなうこと。

- 委員会名： IC委員会（ホームページ講習会）
- 日 時： 平成21年1月24日（土）14：00～
- 会 場： 工学院専門学校（登別市札内町184-3）
- 出席者： 光銭委員長、坂井副委員長、大坂、堀江、和田、船越、各委員
若木第9グループガバナー補佐、石丸地区幹事
- ホストクラブ： 登別RC 仲川会長、土生幹事、石井会員
- 参加クラブ： 森RC、札幌RC、蘭越RC、栗沢RC、北斗RC

地区内の5クラブの参加を得て、IC委員会として3回目のホームページ作成の為の講習会が開催されました。堀江委員による巧みな説明で2時間があっという間に過ぎ、有意義な会でした。講習会後場所を移し登別RC、白老RCの方々とIC委員会のメンバーで懇親会も楽しく開催されました。
登別RCの皆様にお世話になり有難うございました。



ガバナー公式訪問

苫小牧北ロータリークラブ

10月14日（火）

10月14日（火）グランドホテルニュー王子にて廣島会長、橋幹事、山田副幹事と共に矢橋ガバナー、板谷ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎え致しました。午前10時からの会長・幹事会はクラブの現況報告をし、和やかな懇談となりました。11時からのクラブ協議会では活発な意見交換が行われ、予定時間を超える会議となりました。

例会でのガバナーの卓話では今年度の地区の方針、ポリオ・プラス、会員増強等のお話を戴きました。例会終了後、記念写真撮影を行い大変有意義な公式訪問となりました。



岩見沢ロータリークラブ

10月16日（木）

例年ですと7月の早い時期にガバナー公式訪問となりますが今年はCLPにより例会の曜日が見直され金曜日より木曜日に変更になりました。矢橋ガバナーには第52番目のクラブとして当岩見沢ロータリークラブをご訪問戴きました。クラブ会員一同待ちにまつた公式訪問であります。

午前10時より吉野第3グループ担当ガバナー補佐、本田ガバナー補佐幹事を交え、会長・幹事懇談会にて以前、岩見沢RCより選出の（故）望月武義ガバナーのお話を戴きました。又、CLPやRI会長の強調事項等をお伺いしました。

11時よりクラブ協議会を開催し各委員長より活動方針や今年度の活動状況をご報告し、矢橋ガバナーよりの確なアドバイスを戴きました。

12時30分より多くの会員参加の下、例会が開催され吉野ガバナー補佐よりご紹介を戴き矢橋ガバナーの熱意をクラブ会員一同感じとり、なごやかなうちに公式訪問を終了いたしました。



函館セントラルロータリークラブ

10月21日（火）

10月21日矢橋温郎ガバナー、上野一義ガバナー補佐、大金武夫地区代表幹事をお迎えし16時より会長・幹事懇談会、17時30分クラブアッセンブリー、18時30分夜間例会・懇親会のプログラムで開催いたしました。クラブアッセンブリーでは各委員長から今年度の活動計画が発表された後、矢橋ガバナーの講評でアドバイスを戴き終了後、記念撮影を行いました。

例会では矢橋ガバナーに講話をお願いし、新会員を始め若い会員の多い創立4年目のクラブへ大変参考になるお話をわかりやすくご指導戴きました。19時20分からの懇親会では地区大会直前の公式訪問ということもあり、ゆっくりと歓談した後、ガバナーに楽しんで戴こうと全員参加でゲームなどを行い和やかなうちに公式訪問を終了いたしました。



白老ロータリークラブ

10月28日（火）

10月28日、第2510地区矢橋温郎ガバナー、第12グループ板谷剛ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問は10時からの会長・幹事会に始まり、続くクラブ協議会では、WCS事業への参加、ポリオ・プラスについてなど活発な意見も出され、ガバナーより適切なお指導、ご助言を戴きました。板谷ガバナー補佐には、当クラブのニコニコボックスの発表について、「これが本来の姿で、それを行えるちょうど良い人数のクラブ」とお褒め戴きました。また、当クラブ例会では、ロータリーソングに続き、今年度地区目標である「4つのテスト」を毎回斉唱しております。このことに対し、ガバナー講評の中でお言葉を戴きました。地区大会が終わって間もない、お疲れのとれない時期の公式訪問、本当にありがとうございました。



あいにくの強風の中、例会に先立ち、当白老ロータリークラブの建物に隣接するポロトコタンにて、紅葉の木々をバックに記念写真を撮影しました。

新札幌ロータリークラブ

10月29日（水）

10月29日、矢橋ガバナー、土谷ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問が行われ、10時からの会長・幹事懇談会の後、クラブ協議会が行われ、各クラブ委員長より活動状況を発表させて戴きました。矢橋ガバナーからはクラブ運営、各委員会活動の内容についての細かな質問やご指導を戴き大変有意義なクラブ協議会を行うことが出来ました。その後12時30分より例会が行われ、矢橋ガバナーより、李東建RI会長の強調事項、財団・米山、ポリオ・プラス、CLP等に関するお話をわかりやすく講話して戴きました。



緊張した雰囲気の中でのガバナー公式訪問ではありましたが、当会員にとって充実した一日であったと思います。矢橋ガバナー有難うございました。

千歳ロータリークラブ

10月30日（木）

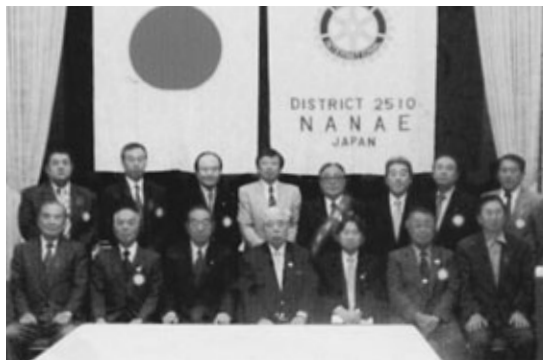
10月30日（木）矢橋ガバナー、羽芝第7グループガバナー補佐をお迎えし、10時半より会長・幹事会を開催しました。当クラブでは、クラブ協議会は割愛し、会長・幹事会の中でクラブの概要をお話し、ご講評を仰ぎました。当クラブの活動については概ね評価を戴くと共に、健康委員会、定款細則委員会の活動内容について質問がありました。次いで、12時半より例会にご出席戴き、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドル拠出、セクハラ保険、李東建RI会長の強調事項、職業倫理等について、予定時間を上回る熱意に溢れたご講話を戴き、会員一同眼から鱗の有意義な時間を過ごすことができました。結びに、当クラブ所属の佐藤パストガバナーより謝辞を申し上げ、無事ガバナー公式訪問を終了致しました。



七飯ロータリークラブ

11月4日（火）

本日、矢橋温郎ガバナー、大金武夫地区代表幹事、及び当クラブの上野一義ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われ、16時から柴田会長、伊藤幹事、菅原会長エレクトによる懇談会を開催しました。



16名の少人数クラブで行っていること、例会は毎回和やかに進んでいるし、テーブルを前に出席会員の笑顔を見ながら会食と会話にと弾み、又、社会奉仕活動のカレンダー市、教育振興への活動等を説明しました。16時30分から七飯町長への表敬方面をして戴き、前日の七飯町文化祭の時、教育振興への活動として戴いた感謝状の御礼をしながらロータリーの活動をして参りました。矢橋ガバナーは町と密接にしているクラブですねとのことでした。17時30分からクラブ協議会を開催し、四大奉仕委員長から年度目標などを説明しました。18時30分から例会をし、矢橋ガバナー、大金地区代表幹事から地区目標等の説明をして戴きました。当クラブもそれぞれの活動を達成に向けて行きたいと思えます。

函館北ロータリークラブ

11月5日（水）

11月5日（水）矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎えして、10時より会長・幹事懇談会を開催致しました。1954年9月26日の台風15号（洞爺丸台風）が引き起こした暴風と高波により洞爺丸をはじめ5隻が転覆沈没という海難史上、1912年のタイタニック号沈没につぐ世界第2の規模で、死者、行方不明1,430人の海難事故でありました。（矢橋ガバナーは、この事故の1週間前に北海道国体のために洞爺丸に乗船したそうです）



当クラブは、社会奉仕事業として例年この洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕を諸先輩の意思を引き継ぎ行って参りました。本年は45周年の節目とし北斗市様のご協力も得て、この洞爺丸慰霊碑の改修工事を無事行い、海難事故から54年経過した今も忘れることの無いよう継続を致しております。

また、函館ハーフマラソンへの協賛（給水場5ヶ所の紙コップ、スポンジの提供）も継続して行くことを矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事に報告を致しました。引き続き11時よりクラブ協議会を開催し、各委員長より活動報告を行い無事終了。また、例会では矢橋ガバナーより卓話を頂き国際大会への一人でも多くの参加を望むというお言葉で終了いたしました。

北斗ロータリークラブ

11月5日（水）

11月5日、矢橋ガバナー、光銭ガバナー補佐、大金地区代表幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。午後4時30分より会長・幹事懇談会、クラブ協議会では貴重なご意見、アドバイスを戴き、また例会の卓話ではRI会長の「夢をかたちに」、強調事項、米山・財団の近況報告、ポリオ・プラス、CLP等、長き時間にわたりお話を戴きました。



当クラブは創立からまだ12年と若いクラブですので大変有意義な時間を過ごせたことに会員一同感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別西RC	島崎 修	会員(1回)	12月12日
岩見沢RC	佐藤 紀征	会員(7回)	12月26日
札幌北RC	福田十太郎	会員(2回)	12月5日
	樋口 正明	会員(3回)	12月5日
札幌西RC	伏木 忠了	会員(3回)	12月12日
	高下 泰三	会員(4回)	12月12日
札幌西北RC	小川 真治	会員(3回)	12月5日
札幌東RC	関根 光晶	会員(1回)	12月12日
	白石 正勝	会員(4回)	12月12日
	広瀬 清	会員(4回)	12月30日
札幌幌南RC	土谷 享	会員(3回)	12月26日
	三国 信樹	会員(1回)	12月26日
	内田 豊	会員(1回)	12月26日
札幌南RC	南舘 全次	会員(2回)	12月5日
余市RC	谷川 淑郎	会員(4回)	12月12日
室蘭RC	木下 博	会員(1回)	12月5日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	関根 光晶	会員	12月12日
余市RC	本多 宏行	会員	12月12日
	清水 義信	会員	12月12日
千歳セントラルRC	須藤 丈	会員	12月5日
室蘭RC	吉澤 政彦	会員	12月5日
函館亀田RC	円馬 正博	会員	12月5日
	金澤 浩幸	会員	12月5日
	笹川 哲二	会員	12月5日
白老RC	山手 康	会員	12月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

留萌RC	河部 勲	会員(1回)	12月25日
	関野 政人	会員(2回)	12月25日
	田中 公一	会員(9回)	12月25日
栗沢RC	井形 昇	会員(5回)	12月18日
札幌はまなすRC	大石 春雄	会員(5回)	12月22日
札幌西北RC	横山 勲	会員(1回)	12月5日
札幌東RC	荒岡幹史郎	会員(4回)	12月25日
	広瀬 清	会員(5回)	12月25日
	西村 孝治	会員(1回)	12月25日
	奥村 義夫	会員(6回)	12月29日
	平 公夫	会員(4回)	12月25日
札幌真駒内RC	金坂 和正	会員(5回)	12月5日
	中原 孝	会員(7回)	12月5日
	吉村 洋吉	会員(19回)	12月5日
札幌南RC	岩城 秀晴	会員(10回)	12月24日
余市RC	本多 宏行	会員(1回)	12月11日
室蘭RC	木下 博	会員(7回)	12月5日
	松岡 健一	会員(6回)	12月5日
室蘭東RC	遊佐 潤	会員(1回)	12月26日
室蘭北RC	及川 力	会員(1回)	12月26日

函館亀田RC	黒川 則男	会員(2回)	12月1日
	松田 武	会員(1回)	12月1日
函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員(4回)	12月10日
函館五稜郭RC	林 真彦	会員(1回)	12月5日
	石尾 清広	会員(3回)	12月5日
	川上 誠	会員(3回)	12月5日
	河村 隆平	会員(4回)	12月5日
	菊地 喜久	会員(3回)	12月5日
	後平幸太郎	会員(3回)	12月5日
	小坂 三男	会員(3回)	12月5日
	藪下 明	会員(3回)	12月5日
函館北RC	小笠原 孝	会員(11回)	12月3日

■米山功労クラブ

札幌東RC	35回	12月25日
余市RC	3回	12月11日
室蘭RC	7回	12月5日
函館五稜郭RC	17回	12月5日
苫小牧北RC	15回	12月26日

白石欽一パストガバナー 逝く

2008年11月6日逝去
(享年89歳)



パストガバナー
白石 欽一 氏

■生年月日(出身地) 1920年1月19日(神戸市)
1941年12月 関西学院大学卒業

■ロータリー歴

札幌手稲ロータリークラブ創立会員(初代幹事)

1977~78年度 クラブ会長

1983~84年度 RI第251地区 国際奉仕委員長

1985~86年度 " 第4分区代理

1986~87年度 " 拡大・増強委員長

1990~91年度 RI第2510地区 ガバナー

1994~98年度 ロータリー米山記念奨学会理事

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

追悼記

白石欽一名誉会員を偲んで

札幌手稲ロータリークラブ
会長 栗津健太郎

白石欽一大先輩が2008年11月6日89歳の生涯をひっそりととじました。故人は札幌手稲ロータリークラブのチャーターメンバーであり、第2510地区のパストガバナーであり、現在は名誉会員でありました。故人が我々に教えてくださったロータリー精神は計り知れないものがあります。白石さんは生前、万が一の場合、誰にも知らせるな、供花、香料は無用のことと言いつけていたそうです。白石さんのお人柄がストレートに伝わってくる話です。札幌手稲ロータリークラブにとってなにもにも変えがたい大切な方を失いました。この喪失感と悲しみにただ涙するのみです。

白石大先輩長い間、我々を導いてくださりましてありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。 合掌

白石欽一名誉会員のご冥福をお祈り申し上げます

札幌手稲ロータリークラブ
副会長 石田 誠

11月25日午後、喪中ががきを見て、パストガバナーで当クラブの名誉会員であります白石欽一様のご逝去されましたことを初めて知りました。手稲ロータリークラブ会員一同突然の御悲報に接し驚きのほかございません。ご在世中は、当クラブは勿論、地区においても多大なご功績を残された白石欽一様に心よりお悔やみ申し上げます。

早速、奥様に電話をして、ご自宅を弔問、30分余りお話をお伺いしましたが、奥様も84歳のご高齢に加えて、看病疲れと精神的なショックのせいでしょうか、入院期間も病院名も忘れておられました。白石さんは亡くなる1週間前の10月31日に一時帰宅され、介護マンション

内の知人らと夕食を共にしながら歓談し、周囲の人たちを笑わせるなど非常に明るくお元気だったそうです。奥様と一夜を共にし、翌日病院に戻りましたが、その後、病状が急変し、5日後の11月6日午後3時40分頃、帰らぬ人となりました。死因は前立腺がんの末期的症状によるものでした。葬儀は身内の方とマンションの人たちでマンション内の仮斎場で営まれました。

28日夜、白石さんの姪御さんからお電話を頂きましたが、白石さんの遺言で「誰にも知らせるな、香典も受け取るな」といわれていたそうです。亡くなられた病院は北海道泌尿器科記念病院で入院期間は9月から2か月だったそうです。白石さんにはお子さんがいらっしやいませんでしたので、東京にお住まいの姪御さんが喪中ががきも用意され東京から郵送されました。

私たち会員一同は、40年の長きに亘り、ご指導ご交誼を賜りながら、ご葬儀に列席することができませんでしたので、この場で白石欽一様の安らかなお眠りとご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

白石欽一名誉会員を偲んで

札幌手稲ロータリークラブ
山地 庸夫

漁業の網元から建材業に転じ、偶々私と同業の道に進まれた白石さん。わが手稲ロータリークラブの創立会員になったのがご縁の始まりで、永く人生を共に歩んで来ました。あなたが荣誉ある地区ガバナーの時は事務所として私共の室を使って下さり、あなたの指名で私があげぼのRC創立の特別代表となり、その他些事ながらも例会の場所移動話の時など諸々好意を頂いたことを忘れません。あなたが名誉会員になって聞けなくなりましたが、嘗てあなたのスピーチには大いに共感があり、お人柄も感じて、いつも善いお話だなと耳を傾けて聴いたのが、懐かしく想起されます。これからも折りにふれ多くの事を思い出すでしょう。有難う


計 報



堀 好夫
(函館亀田RC)

2008年12月10日
ご逝去(享年57歳)

【ロータリー歴】
1989年10月2日 入会
1994~1995年度 幹事
2001~2002年度 会長
その他各委員長歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



瀧野 敏彌
(函館五稜郭RC)

2008年12月10日
ご逝去(享年85歳)

【ロータリー歴】
1970年1月24日 入会(チャーターメンバー)
1972~1973年度 会長
1985~1986年度 第11分区分区代理
2000年12月より名誉会員
ポール・ハリス・フェロー



笹木 和幸
(滝川RC)

2008年11月27日
ご逝去(享年64歳)

【ロータリー歴】
1985年6月30日 入会
1989~1990年度 クラブ職業奉仕委員長
1994~1995年度 幹事
1999~2000年度 副会長
2000~2001年度 会長エレクト
2001~2002年度 会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)、
ベネファクター
米山功労者マルチプル(4回)

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



秋山 集一
(苫小牧北RC)

■入会/ 12月9日
■職業分類/ 印章



遠藤 浩一
(岩見沢RC)

■入会/ 12月11日
■職業分類/ 団体一農業協同組合



豊田 健一
(苫小牧北RC)

■入会/ 12月16日
■職業分類/ 泌尿器科医

文 庫 通 信 (256号)

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

- 最近のロータリー情報源**
- ◎ [ロータリー入門書 2008~2009年度版]
前原勝樹・重田政信 2008 195p
[申込先: 北斗企画 TEL (03) 3811-4350]
 - ◎ [ロータリー情報集]
熊本グリーンR.C. 2008 388p
[申込先: 熊本グリーンR.C. TEL (096) 354-4521]
 - ◎ [ROTARY世界と日本]
ロータリーの友 2008 15p
[申込先: ロータリーの友 TEL (03) 3436-6651]
 - ◎ [素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝①]
戸田 孝 2006 207p
[申込先: 八尾R.C. TEL (072) 991-2129]
 - ◎ [純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報) Part VII]
深川純一 2008 32p
[申込先: 伊丹R.C. TEL (072) 773-1375]
 - ◎ [ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)]
成川守彦 2008 4p (D.2640月信)
 - ◎ [職業奉仕はロータリーの原点!!]
道下俊一 2008 5p (D.2500月信)
 - ◎ [職業奉仕と出前授業]
畑田耕一 2008 3p (D.2660月信)
 - ◎ [職業奉仕について(ガバナーメッセージ)]
勝野露観 2008 3p (D.2640月信)
 - ◎ [ロータリーの職業倫理訓逐条解説(1)~(6)]
青木伸翁 2008 6p (D.2770月信7-12月)
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

2月のロータリーレート 1ドル=88円

ロータリーカード

財団活動に貢献するカード

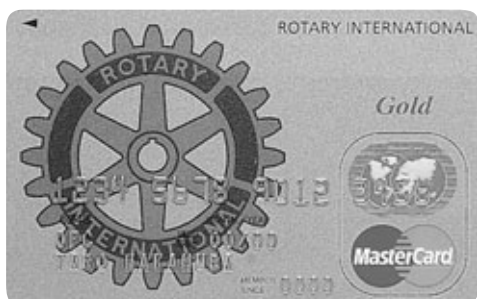
会員の負担なしに財団活動に貢献できるカードはロータリーカードのみであり、その貢献方法は様々です。まず、ロータリーカードのカードショッピングのご利用金額の0.3%が財団に寄付されます。また、ロータリーゴールドカードは年会費10,500円のうち、3,000円が毎年財団に寄付される仕組みになっております。これらの寄付は、今年度からのポリオ1億ドルチャレンジに加算されます。そして、ロータリーカードをご利用した際に貯まるカードのポイントを個人の年次寄付として交換することも可能になりました。これは新しい年次寄付の手段として、とても有効な手段です。

これらの寄付によってカード発行から6年間で、約1,200万円が財団にもたらされました。平成20年度では約450万円が寄付になる予定です。会員ひとりひとりがカードに入会すること利用することで確実に財団活動に貢献しています。

ロータリーカードはクレジットカードとしても非常にクオリティが高く、決してみなさんがお持ちのクレジットカードと比べても機能・特典で劣るものではありません。年会費無料のスタンダードカードであっても海外旅行傷害保障が最高で2,000万円まで付与されております。ゴールドカードは最高5,000万円まで付与されており、他に主要空港での空港ラウンジサービスやロードサービスも付与されております。カードを利用した際に付与されるポイントの還元率も高くスタンダードカードは年間の利用実績に応じて還元率も変化し最大で1.25%になります。ゴールドカードは、初年度から1.25%の還元率を誇っており、ポイントの貯めやすいカードになっております。

先日、各クラブ会長あてにロータリーカードの推進についてご案内文を配布しました。このロータリーカードを第3四半期中に各クラブ3枚の入会をお願いするものです。ロータリーカードの会員数は約5,500枚とロータリアンの数に比べるとまだまだ入会が少ないのが現状です。まずは会員数10,000枚を目指したいと思っておりますのでみなさまのご協力をお願いいたします。

ロータリーのロゴの入ったこのロータリーカードは、ロータリアンの誇りであり、ロータリアンしか持つことのできない会員証のようなものです。ぜひともこの機会にご入会、ご利用をお願いいたします。



● ロータリーカードの特典のご案内・ご入会は ●
ロータリーカード専用ページ <http://orico.jp/rotary>

● ロータリーカードのお問い合わせは ●
オリコカードセンター 受付時間9:30~17:30/年中無休 札幌 011-261-6002

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.12.31	増減	内女性	
1	深 川	3	36	36	0	3	90.91
	羽 幌	4	48	48	0	1	85.35
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	94.44
	小 平	3	14	14	0	0	73.81
	留 萌	4	45	45	0	0	85.23
	小 計		152	152	0	4	85.95
2	赤 平	3	29	28	-1	1	90.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	91.03
	砂 川	4	52	55	3	0	94.09
	滝 川	3	99	100	1	2	82.00
	小 計		224	220	-4	3	89.28
3	美 唄	4	38	38	0	0	89.50
	江 別	3	34	34	0	1	98.04
	江 別 西	3	27	30	3	3	89.99
	岩 見 沢	3	87	91	4	0	89.48
	岩 見 沢 東	3	34	34	0	4	91.67
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.70
	栗 山	2	26	27	1	2	100.00
	当 別	3	34	33	-1	0	89.22
	小 計		303	311	8	11	93.08
	4	札 幌	3	117	124	7	0
札幌あけぼの		3	18	16	-2	1	100.00
札幌はまなす		3	25	22	-3	4	85.11
札 幌 北		4	43	43	0	6	90.52
札幌モーニング		4	49	51	2	0	66.67
札 幌 西		3	62	63	1	4	92.07
札 幌 西 北		4	39	38	-1	5	93.74
札 幌 手 稲		3	34	34	0	1	94.23
小 計			387	391	4	21	90.00
5		札 幌 東	4	120	125	5	0
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	3	65	65	0	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	92.80
	札 幌 南	4	92	87	-5	0	99.08
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	75.00
	札幌セントラル	3	14	14	0	6	75.70
	新 札 幌	4	32	30	-2	3	93.19
	小 計		385	383	-2	18	91.47
6	岩 内	3	21	22	1	0	84.73
	俱 知 安	4	46	46	0	4	67.60
	小 樽	3	69	70	1	0	87.69
	小 樽 南	4	73	73	0	0	89.59
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	80.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	77.27
	余 市	4	39	40	1	4	86.80
	小 計		280	283	3	10	81.95

12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,836人(100人)
増加会員数	20人
当月平均出席率	86.44%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2008.12.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	63	64	1	3	77.60
	千歳セントラル	3	35	36	1	1	82.30
	恵 庭	4	39	40	1	0	82.63
	北 広 島	3	17	17	0	0	90.20
	長 沼	4	20	20	0	3	84.50
	由 仁	3	10	11	1	1	83.33
	小 計		184	188	4	8	83.43
8	え り も	4	22	22	0	0	96.63
	三 石	4	15	15	0	1	95.00
	様 似	2	23	24	1	1	94.40
	静 内	3	72	72	0	1	78.44
	浦 河	3	34	34	0	2	100.00
	小 計		166	167	1	5	92.89
	9	伊 達	3	53	56	3	0
室 蘭		3	43	44	1	0	75.20
室 蘭 東		3	41	39	-2	0	76.60
室 蘭 北		3	34	34	0	2	100.00
登 別		4	31	31	0	2	83.87
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	78.00
小 計			211	213	2	4	82.34
10	函 館	4	87	88	1	0	78.58
	函 館 亀 田	5	45	44	-1	2	95.78
	森	4	34	35	1	0	74.30
	七 飯	3	16	16	0	0	70.80
	長 万 部	4	10	10	0	0	67.50
	函館セントラル	3	24	25	1	1	79.17
	小 計		216	218	2	3	77.69
11	江 差	3	19	19	0	1	85.00
	函 館 五 稜 郭	4	55	54	-1	0	99.55
	函 館 東	4	45	46	1	4	87.43
	函 館 北	4	30	30	0	0	92.24
	北 斗	4	19	16	-3	2	67.70
	松 前	3	5	5	0	0	60.00
	小 計		173	170	-3	7	81.99
12	白 老	3	26	27	1	0	76.50
	苫 小 牧	4	50	52	2	2	76.74
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	84.62
	苫 小 牧 北	3	34	35	1	2	97.97
	小 計		135	140	5	6	83.96
合 計		2,816	2,836	20	100	86.44	

地区カレンダー（2月・3月）

2月 世界理解月間	
1 (日)	GSE派遣団員選考会
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	建国記念の日
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	GSE派遣団員選考結果発表
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	2009年3月終了米山奨学生歓送会（札幌） 第4・5グループ合同IM（札幌） 第9グループIM（登別）
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	洞爺湖RC創立40周年記念式典（洞爺）
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	次年度ガバナー補佐研修セミナー（砂川） 次年度地区チーム研修セミナー（砂川） 会長エレクト研修セミナー（砂川）

3月 識字率向上月間	
1 (日)	会長エレクト研修セミナー（砂川） 地区財団セミナー、米山セミナー（砂川）
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第7・12グループ合同IM（千歳）
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	札幌東RC創立50周年記念式典（札幌）
14 (土)	
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	
22 (日)	GSE派遣団員第1回研修会
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別 RC：2月5日（木）移動例会 12：30～
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）
2月19日（木）移動夜間例会「冬の味覚例会」 18：30～
場所：5丁目花寿し（江別市弥生町12-21）
2月26日（木）移動例会 12：30～
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）
- 江別西 RC：2月17日（火）休会
- 長沼 RC：2月16日（月）の例会を下記に変更
2月15日（日）移動例会（長沼スキー場まつりに参加）
- 室蘭東 RC：2月25日（水）の例会を下記に変更
2月7日（土）第7回あれこれなんでも相談室
場所：室蘭市民会館
- 室蘭北 RC：2月17日（火）の例会を下記に変更
2月21日（土）第9グループIM 場所：ホテル平安
2月24日（火）夜間例会「クラブフォーラム」 18：30～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧東 RC：2月10日（火）～11日（水）
移動夜間例会「支笏湖水濤祭り親睦旅行」 17：45～ 例会
場所：支笏湖温泉休暇村支笏湖（千歳市支笏湖温泉）

《地区名簿の訂正について》

上野一義 第10グループ担当ガバナー補佐のメールアドレスをご訂正下さい。
uekamli@ms6.ncv.ne.jp → uekamli3@msb.ncv.ne.jp

編集後記

昨12月13日（土）第1回の次期地区ガバナー補佐会議が開かれた。各グループよりかねてから推薦を受け審議の結果、渡邊ガバナーエレクトが任命したものだ。各地より12名の嬉しい、しかし良識ある人々とお見受けした。塚原地区研修リーダーより、ガバナー補佐としての役割について長時間にわたる研修の後、各人より自己紹介（主として職業とロータリー歴）と抱負を語って戴いた。渡邊GEと神部次期地区代表幹事は緊張につつまれながらも期するものがあるように見てとれる。正月明けには渡邊GEは国際協議会でたつぷりと絞られて帰国の後、新年度に向けて本格スタートを切る予定だ。大いに期待したい。

世界同時不況は正に眼を覆いたくなるようだ。金融破壊が実態経済を押し流し、秋口以降バケツの底が抜けたようだ。加えて円高が更に追い討ちをかける。来年は全体どんな年になるのか。ロータリーレートにしも大きく変わった。年度当初は106円であった。更にその半年前は122円をキープしていた。今はどうだ。2008年12月のレートは96円、1月の実勢は80円台だ。不況は社会現象をも劣化させる。雇用の打ち切り、内定取り消し、商品流通の停滞、犯罪の凶悪化と多発、モラルの欠如等枚挙に

いとまがない。かつて同じ様な不況時に嘆いていたロータリアンに対し、故河邨文一郎PGが「だからロータリーが必要なんだ」と熱っぽく説いていた姿を思い出す。来年こそロータリーの復権を！

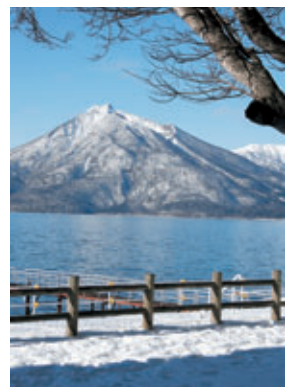
明るく楽しい話題を一席。本号7月号で倶知安RCの斎藤会長に少々触れた。クラブ会長就任と結婚の両手に花という紹介をさせて戴いた。新婚ご夫婦の希望はトワイライトエクスプレスのスイートロイヤルでの新婚旅行だ。しかし仲々切符がとれない。鉄道マニア垂涎的だ。尋常では駄目だと見かねた第6グループガバナー補佐の佐藤君が勇気を出しグループ全員に激をとばし協力を求めた。発売日受付時間午前9時に全員が電話で一斉に予約を入れる。数十名の規模でだ。全国の鉄道マニアを向こうにまわし何回もトライしたが空振り三振の連続だ。結局徒労に終わった。これだけの話なのだが後日談がある。矢橋ガバナーがある席でこの話をしたところ、同席していたさるやんごとなきお方がロータリアンの友情にひどく心を動かされ、後日、斎藤会長夫妻に予約をプレゼントしたという噂を耳にした。しかし確認はとれてはいない。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：支笏洞爺国立公園
支笏湖より恵庭岳を望む
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー一月信

No.9
2009
3

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>





RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 国際協議会出席報告
- 3 ————— ガバナーノミニー決定宣言
- 4 ————— 私の“Rotary Notes”
Stigma 恥辱の烙印
- 6 ————— ガバナー補佐レポート
ロータリーの新たな奉仕を求めて
- 7 ————— ローターアクトクラブは必要か
- 8 ————— 地区委員会報告
- 10 ————— ガバナー補佐会議報告
- 11 ————— ガバナー公式訪問
- 16 ————— ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
- 16 ————— 文庫通信
- 17 ————— 新入会員のご紹介／訃報
- 18 ————— 第3700地区(韓国・大邱)地区大会のご案内
2008-09年度 RIの賞・表彰についてのお知らせ
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー(3月・4月)
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

3月は（私の）後期高齢者月間

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

■ ■ ■

今年の春分の日は3月20日です。

いきなり祝日の話題から入ります。私の誕生日は3月21日です。年によっては、春分の日にあたります。今年はずれたようです。誕生日が休日!などと子どものように喜ぶ無邪気さもすっかり失せてしまいました。それでも土曜日なので、まあ会社は休みです。肝心の春分の日が金曜日ですから3連休。

昔は連休など珍しかったような気がします。「飛び石連休」なんて言葉自体、最近聞かれません。それどころか、国策で月曜日に祝日を移動させての「ハッピーマンデー」。土曜日からの3連休を有意義に使う若者も多いでしょう。私ほどの年代になると、かえってヒマを持って余してしまいます。

月曜日に例会を開催するロータリー・クラブは、祝日だから仕方なく休み、というケースが増えました。加えて任意で休めますので、例会日数の確保が大変なことでしょう。創立時には、まさか月曜を祝日にする制度ができるとは予想できなかったかと思います。

当地区には、土曜日例会のクラブもあります。全国的にみても少数派です。平日のメイクアップが難しいロータリアンには、貴重な補填機会です。平日に集まりづらい会員のために、あえて土曜例会を設定しているクラブもあるやに聞きます。が、多くは半ドンの名残。週休二日制がこれほど定着するとは、やはり創立時には想定していなかったのに違いありません。

規定審議会でロータリーのシステムが変更されたり、国内の制度がいじられたり、国民習慣が変化したり。例会ひとつ開くのに、時代の流れを読まなければなりません。

話が大きくそれました。私の誕生日の話です。昭和9年生まれですから、今月で75歳になります。世に言う後期高齢者です。「後期高齢者医療制度」には、病気になったらお世話になりましょう。それより気になるのが高齢運転者標識。紅葉マークとかシルバーマークなどと称していますが、いわゆる「枯れ葉マーク」です。75歳以上のドライバーは、これを車に貼るのが義務付けられます（今後緩和の方向に向かうようですが）。ようやくジャガーの運転に見合う渋い年頃になったと思ったら、外観をぶち壊すようなシールを貼れと。酷な話です。一方で、確かに運転はしんどくなってきました。公道では事故に気をつけていますが、駐車場でのバックは思うように進みません。枯れ葉マークはシャクですが、いたわってはもらいたい。

天皇陛下も昨年12月で75歳。私は早生まれなので、同じ学年です。最近、御公務の多忙を周囲が心配しているとの報道が増えました。皇室公務や宮中祭祀とは比べものになりませんが、昨年のガバナー公式訪問と地区大会だけでもヘトヘトになりました。それも半年で終わるのが救い。公式訪問と地区大会が毎日、一日中、果てしなく続く状態を想像するだけで動悸が。体調と仕事量が見合っているか。同い年だからこそわかります。

まれに、地区の事情でガバナーを再度務める方がいます。当地区でも、ガバナーが体調を崩したので直前ガバナーにご足労いただいた年度があります。私の再登板無きためにも、（もちろん地区のためにも）ガバナー・エレクトには健康に留意していただきたいものです。

エレクトといえば、旧聞に属しますが、米国大統領。オバマさんの次期大統領としてあれこれ発表する姿が、テレビに映し出されました。演壇に掛けられたマーク、「THE OFFICE of the PRESIDENT ELECT」が目を引きまします。当地区のPRESIDENT ELECT（会長エレクト）が集まるPresidents-Elect Training Seminar（PETS：会長エレクト研修セミナー）は、この号がみなさんのお手元に届く頃には終了しております。おつかれさまでした。

国際協議会出席報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **渡邊 恭久**

(滝川IRC)

ガバナーエレクトとして昨年9月と11月のGETS（国内研修）を既に終え、この度が最後になりますサンディエゴで国際協議会のエレクト研修に参加してまいりました。

日程では、冬期間の道路事情を考慮して、一日早く1月15日に滝川の自宅を発ち、16日の夕刻に成田からロスアンゼルスに向かいました。18日の午前には、ロスアンゼルスの南200kmの会場であるサンディエゴ マンチエスターハイアットホテルに集合したものです。日本からは34人中33人のガバナーエレクトとその配偶者28人。世界からは500余の地区からガバナーエレクトとその配偶者、この協議会の研修リーダーやサポート関係者を加えると1200人を超す大きな会議になりました。サンディエゴ市は西海岸では最も早くスペイン人が上陸した古い町で、今では戦艦ミッドウェイ号が停泊している軍港として有名な都市とのことでした。しかし、この会議の会期中にマチを探索。外食に行くどころかペットボトルも買いにも行けない日程の中で研修が進められたものです。

毎日8：45から本会議場で歌の練習や合唱、9：00点鐘。午前中はおよそRI会長・会長エレクトが席に着く重要課題の講演、本会議が10回。会場では指定された席にエレクトが着席をしているかどうか赤タスキを掛けた文字通り怖いSAAがチェックをとり、もし空いていればその名前を丁寧に確認し、まもなくそこが埋まるという管理の中での本会議でした。午後はRIが用意した各テーマでのグループ討論が14回も行われ、これも厳重な管理下のもと、猿の出来ない雰囲気の設定でありました。夜は、夕食会がいろいろなプログラムで工夫され、ある時は正装を、或いは民族衣装でまつりに参加など国際交流の趣向が施されておりました。25日には、全てのプログラムが恙なく終わり、われわれ日本の一行もサンディエゴからロスアンゼルスのホテルに戻り解散会のあとは自由開放となり、小生は27日に日本に向かうためロスアンゼルスを発ち、29日に帰宅した長い長い2週間でありました。

この協議会での特筆すべきことからは「ビル・ゲイツ氏の2億5500万ドルのポリオ撲滅のためロータリーへの寄附」と、それを受けてロータリーが更に1億ドルを上積みする事をRI理事会・財団管理委員会が決定した「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」であります。1985年に悲惨なポリオから赤ちゃんを救おうとRIの重要項目に掲げ、ポリオに挑戦をしてきて以来、昨年は各クラブ1000ドルを唱えて実施した結果、今日まで4ヶ国の常在国を除いて99%のポリオウイルスを封じ込めたそうであります。しかしもう一押ししなければならない。それは「END POLIO NOW」これが協議会の分科会で最も激しく意見を交わした課題でした。しかし本会議で、インドの元RI会長サプー氏の「ロータリーが職業奉仕を軽んじたなら、ただの奉仕団体である。職業奉仕こそがロータリーである」と力説したのはとても印象的で、確かな手応えを感じさせた国際協議会でした。



本会議場 開会式の国旗入場



姉妹地区の韓国3700地区宋俊起GEご夫妻と小生夫婦



GSE交換のスウェーデン2360地区 Eva Persson GEとの握手

ガバナーノミニー決定宣言

2011-2012年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、熊澤隆樹（小樽RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、熊澤隆樹君を2011-2012年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言します。

2009年1月13日

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎

2011～2012年度 ガバナー・ノミニー



会員名 ^{くま} ^{ざわ} ^{たか} ^き 熊澤隆樹（小樽RC）
生年月日 1940年（昭和15年）1月6日生（69歳）
職業分類 歯科補綴

医療法人社団 熊澤歯科 理事長
所在地 〒047-0032
小樽市稲穂2丁目11番13号

学 歴 1964年（昭和39年）3月
東京医科歯科大学歯学部卒業
1968年（昭和43年）3月
東京医科歯科大学大学院修了

職 歴 1968～69年 東京医科歯科大学文部教官
1969～87年 熊澤歯科勤務
1969～99年 北海道大学歯学部非常勤講師
2001～06年 小樽歯科衛生士専門学校校長
2007～現在 //

ロータリー歴 1980年3月 小樽ロータリークラブ入会
1985～86年度 幹事
1989～90年度 地区副幹事（粉谷ガバナー年度）
1992～93年度 副会長
1996～97年度 地区副幹事（野口ガバナー年度）
1998～99年度 地区国際奉仕委員
1999～2000年度 地区趣味・職業別親睦活動委員会副委員長
2004～2005年度 会長
2005～2006年度 第6グループガバナー補佐事務局長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル



Stigma 恥辱の烙印

国際ロータリー第2510地区
パストガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

シカゴクラブの会報には「世界最初の奉仕クラブ」という言葉が誇らしげに謳われています。

以前にも書きましたが、《どんな言葉でも長い間使われていると手垢にまみれふやけてしまうものです》ロータリーの「奉仕」という言葉はその代表格といえます。ロータリーの世界では右を向いても左を見ても奉仕、奉仕の掛け声ばかりで、何か大切なものが失われてしまったようです。「奉仕」はもともとキリスト教から来た言葉ですが、神への奉仕“serve”から「祈り」が失われたらどうなるでしょうか。同じようにロータリーの奉仕から「人の幸せを祈る心」が失われたらどうなるでしょうか。

仏教の「布施行」も根底にあるものは「祈りの心」です。社寺のお賽銭箱に「喜捨（喜んで捨てる）」と書かれているのを見て、疑問に思われた方もいるでしょう。「捨」とは慈・悲・喜・捨の心で、執着しないということです。「捨」はお布施のことなのです。お布施というと、すぐに「あげること」と考えられますが、本当は「させていただく」という感謝の行為が「施」なのです。一般的にモノをさしあげれば、受けとった人は「ありがとう」といいます。しかし、布施の心からすれば、もらった人だけでなく、施した人も感謝するということなのです。施させていただきまして有り難うございます。「喜捨」することで人は罪深い執着心を捨てることのできるのです。そのために喜んで供えさせてもらうので「喜捨」というのです。

近年、ロータリーは大切な「人の幸せを祈る心」を失い、うわべだけの弱者救済に終始する寄付団体、慈善団体、ボランティア団体になってしまったように思えます。弱者救済はロータリアンの務めですが、中でも金銭奉仕が一番やりやすい奉仕です。人は慈善や寄付をすることによって自分の精神状態は満たされます。ただしその絶対条件は自分より金銭的、精神的、肉体的に不幸な人が存在することです。われわれが幸せであることを確認するためには不均衡な社会が必要です。皆が満ち足りているなら奉仕の必要はありません。ロータリアンにはそんな人はいませんが、一般に「弱者救済」を唱える人々が本当に守りたいのは、「気の毒な人々のために善意を示している自分」という自己満足でしかないことが多いようです。そうしたイメージは、善意の衣を着ているが故に次第に傲慢の雰囲気帯びることになります。しかし、そのような「弱者救済」の論理は、「弱者」が何時までも「弱者」であり続けることを前提にしています。「弱者救済」の論理が幅を利かせている限り、「弱者」は「強者」たることはできないのです。ロータリーの奉仕は本来このような「慈善/charity」「寄付/contribution」「施し/giving」とは異質のものです。ロータリーの奉仕とは、人の不幸を自分の問題としてとらえる純度の高い哲学的な物の考え方なのです。人の不幸に救いの手を差し伸べるとき、救われるのはむしろ手を差し伸べた自分の方だと考えます。なぜなら執着心や醜いエゴの心を捨てることのできるからです。

《奉仕の難しさ》

大事なことは貧しい人々に金銭奉仕をする場合、奉仕を受ける側の気持ちの中の

《貧困のスティグマ》を十分忖度（そんたく）しなければなりません。スティグマ/stigmaの語源はギリシ語で、肉体上の「徴（しるし）」を指す言葉です。奴隷、罪人を表す為に体に刻みつけられるか焼き付けられた「痕」でした。いかにして貧困者に生活の保証を、スティグマ（恥辱あるいは汚名）を着せることなく与えるかということは、英、米の社会政策にとって大きな課題なのです。スティグマの概念は尊厳の喪失、市民権の否定、きまり悪さなどと多様です。貧困という問題に限定して考えれば、それは他者とのかわり合いの場合の依存性といえます。どのような依存の形であれ、依存状態に陥ることはだれも望みません。依存という概念の対語は自立であります。なぜスティグマを人は負うのでしょうか。

人間は元来、経済的存在ではなく社会的存在です。人間の本来の目的は個人的利益を守ることでなく、むしろ社会的名誉、社会的地位を確保することにあるでしょう。古くから世界に広く見られる経済規則は「贈り物には何らかのお返しをするのが至極当然である」という互惠関係（交換）と自助の規範です。この互惠観念の規範からはずれると、やがて依存状態にある人の身分関係を低下させます。「貧困であることが恥ずかしいこと」ではなく、「貧困のために他者に依存することが恥ずかしいこと」であるという訳なのです。我々が経済的に独立できないために、自分および家族の生活を全面的に他者ないし公的秩序に依存せざるを得ない状況を思うとき、あるいは何らかの依存状態にある時に他者から一方的な贈与を受け取る時の「惨めさ」は容易に予測できます。

ノーマルな社会とはギブ&テイクの社会です。互いに人間としての尊厳を持てる社会に施しはありません。私の年代は先の戦争直後の非日常の極限状態を経験しました。進駐軍（米兵）からガム、キャンデーを走行中のジープから投げ与えられました。また学校給食では脱脂乳のお世話になりました。脱脂乳を飲む子供たちの感謝の笑顔が報道されました。しかし子供たちの心はなぜか悲しい複雑な気持ちでした。途上国の少数民族の壁もない小学校、貧しい子供たちに絵本やノートを渡すと精一杯の笑みを浮かべてお礼を言います。しかし誇り高い彼らは与える側の善意の行為をどう受け止めるのでしょうか。依存状態に置かれた人がバランスを回復させるために、相手に与えることができるのは笑みを浮かべることと感謝の言葉だけです。ここに与えることの難しさがあります。与えられる側にも人間としての誇りがあります。我々は奉仕をする際、相手のスティグマに十分気を配らねばなりません。ガンジーは、「真の善行は、純潔な者だけがなし得る。善行をひとつしてやろう」などと考えてから善行するような作為の人間は、もうすでに不純だ」と言いました。スティグマを和らげるには施しをするのではなく、祈りの心を持って喜捨をさせて頂くのです。

《ロータリーのエゴ・他人の金で奉仕する団体》

ロータリーは過去に幾千万の人々に人道的な救いの手を差し伸べてきました。これは偉大なことです。あくまでロータリーの奉仕は個人個人の善意によるもので、それぞれが分に応じて喜捨することによって成り立っていました。しかし市場経済が巨大になり、それが国際的な格差増幅にまでなってくると個人的な善意ではとても手が回らなくなってしまいます。そこでロータリーも他人の金を集めて善行をするという虚構、つまり「他人の金で奉仕する」団体となってしまいました。RIの特別プログラムである「ポリオ」は別格として、WCSもマッチンググラントもロータリーのある国同士の奉仕プログラムです。ロータリーの存在しない地域の弱者は浮世の荒波の中に捨て置かれます。彼らから見るとロータリーはエゴイストの集まりと映るでしょう。ロータリアンとして大事なことは、ロータリー加盟国以外の国の貧困の極限状態にある人たちへも「奉仕の心」を適用して、個人としてユニセフをはじめ、多くの人道的NGOに、心のこもった支援募金活動をする事なのです。



ロータリーの新たな奉仕を求めて

地区ガバナー補佐（第5グループ担当）

土谷 享

（札幌南RC）

矢橋ガバナー年度も、ガバナー公式訪問・地区大会等のハードな上半期を乗り切り、いよいよ仕上げの下半期も半ばに入りました。第5グループとしましては、当面2月21日ルネッサンスサッポロホテルでの第4グループと合同のIMの準備に集中しています。

今年度の第4・第5グループ合同のIMは、RIのテーマ「夢をかたちに」を掲げて講演は「心に夢のタマゴを持とう」と題する2002年ノーベル物理学賞受賞の小柴昌俊先生にお願いしました。そして続くシンポジウムは、「こどものいのちと未来を守る～細菌性髄膜炎ワクチン～」のテーマのもと、コーディネーターをRI2510地区社会奉仕委員長・阪崎健治朗会員に、パネリストを札幌東RC山中樹会員、札幌西RC高下泰三会員、札幌西北RC六倉迪彌会員のいずれも小児科医の三人にお願いしました。このシンポジウムのテーマは、2週間前2月8日に開催された、札幌東RC創立50周年記念継続事業の「ヒブワクチン接種促進運動」の特別講演会『子どもたちのいのちと未来を守るヒブワクチン』を引き継ぐものです。

日本での細菌性髄膜炎は年間600人程度発症し、約30人が死亡し、150人程度が後遺障害を残しています。初期の症状が風邪症状に似ているため早期診断が難しく、けいれんなどの症状が現れた際には、病気が進行し重傷化していることがあります。日本でも先進諸国に遅れること10年以上経てようやく2008年12月19日からヒブワクチンが使用できるようになりました。しかし日本の現在の制度は、希望者のみ費用を自己負担して受ける任意接種であり、若い子育て世代には大きな負担になります。ポリオや三種混合のように国が負担する定期接種化の一日も早い実現を目指して世論を喚起していく運動なのです。まさにロータリーの新しい社会奉仕活動の展開です。まず第4・第5グループに所属する札幌市内の16のRCが札幌東RCと一体となって「ヒブワクチン接種促進運動」を展開し、RI2510地区内にも、そして全道・全国にも輪を広げていくことを願っています。

第5グループ所属の8クラブは、今年度から次年度にかけて周年行事を迎えるクラブが多くあります。これには理由があるのです。前段でお知らせしたように札幌東RCが今年創立50周年を迎えます。実はかつて札幌東RCが創立5周年の年に記念事業の一つとして札幌南RC創立を提唱し、そして25周年の年に新札幌RC創立を提唱したのでした。したがって次年度札幌南RCが創立45年を迎えますし、新札幌RCが今年6月に創立25周年を迎えます。さらに札幌南RCが創立10周年の年に札幌真駒内RC創立をスポンスしましたので、札幌真駒内RCは今年創立35周年を迎えました。他に札幌南RCは札幌清田RCと札幌大通公園RCをスポンスしていますが周年事業からはずれています。ですが創立5周年の年に恵庭RC、創立15周年の年に北広島RCをスポンスしていますので、グループ外ではありますが次年度周年行事が予定されています。

2009年下半期に入りましてもう一つの事業がありました。2月1日に札幌市合唱教育研究会主催の第24回中学校合唱演奏会「合唱の輪」を、札幌あけぼのRCの提唱に応じて、第4・第5グループが合同で共催し、物心両面の支援をすることができました。参加中学校の中には札幌市外からも小樽市銭函中、北広島西部中・緑陽中、恵庭恵北中、余市西中学校等が参加されていました。次年度からはもう少しグループの枠を広げて、ニーズに合わせて対応する社会奉仕活動を検討する必要があります。いずれにしても次年度に期待いたします。



ローターアクトクラブは必要か

地区ローターアクト委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

ガバナー月信9月号「新世代月間」の際にも書かせていただきましたが、もう一度おさらいです。

ローターアクトクラブ（以下RAC）は1967-68年度国際ロータリーの理事会で「国際理解と奉仕活動を通じ指導力と良き市民育成の目的で青年のためのクラブを結成しそれを後援してゆく計画」を採択しました。1968年3月にアメリカで初めてのRACが誕生しました。これは良いプログラムと日本のロータリークラブがこのRAC計画に飛びつきました。遅れること僅か3ヶ月、日本にもRACが誕生します。同年7月我が2510地区で岩見沢RACが、日本で2番目にクラブとして誕生し、今年40周年を迎えました。（記念式典は昨年11月1日盛大に行われました。）その後、地区内にRACがどんどん誕生します。

どんどん生まれたローターアクトクラブは、減少しながら、現在に至ります。

おさらいはここまでで、ではなぜ、安定した運営ができないのか。

それはローターアクトプログラムが単年度事業ではない上、月2回の例会が一年間続くこと。予算がかかる、などロータリアンにとって面倒なプログラムであるからです。

毎年代わるロータリーの担当委員会で、委員の意向がローターアクトクラブに伝わらないことがあった場合、「アクトはなっていない」という感情を持ってしまう。アクトは敏感に反応し、今年のロータリアンは『アクトのことわかっていない』となります。そのまま進むと「アクトはいらない』『ロータリーの為、わざわざ例会になんか行っていない』と悪循環でアクト会員が退会し、例会が衰退し、「アクトクラブは何もやっていない」「アクトはいらない」と負の連鎖になります。

ロータリークラブ自身の広報・PRが必要だと言われづけています。ローターアクトクラブはロータリークラブの精神を理解している18才から30才までの若者です。その輪を増やすと的確な広報ができます。

彼らが30才になり、アクトクラブを卒業退会して、今度はロータリークラブに入会したいと希望を持ってもらうことは、相対するロータリアンの姿勢が影響します。もちろん経済的に難しい場合が多いとは思いますが、「将来、ロータリアンになりたい」とあこがれを持ってもらうことは、我々ロータリアンにとっても喜ばしいことです。その際は即戦力の新人会員が誕生します。

最後にお願ひですが、ローターアクトに多少でも関わるロータリアンは、できるだけ多く声を掛け、対話をしてください。



地区委員会報告

■委員会名： 米山記念奨学委員会

■委員長： 大石 春雄

■日 時： 2009年1月10日（土）

■会 場： 札幌パークホテル

■出席人数： 10人

第二回委員会

1、2009年度米山奨学生受験に関して

- ・受験人数 34名
- ・2510地区割当数 18名
- ・継続者 4名
- ・新規採用者 13名
- ・クラブ支援申込 1名
- ・本日新規採用決定数 14名
- ・補欠採用決定数 6名

2、選考試験について

- ・34名を二つのグループに分け、各グループ新規採用7名、補欠採用3名を選考する。
- ・面接試験の留意点
- ・採用者は2月1日迄に米山奨学会に委員長が報告
- ・合格、不合格通知は米山奨学会より指定校に通知

3、今後の予定

- ・世話クラブ、カウンセラー依頼 2月中旬～3月
- ・世話クラブ等の米山奨学会への報告 3月10日
- ・オリエンテーション案内 3月下旬

4、2008—2009年度行事予定の確認

- ・2009年3月終了者の歡送会
 - 担当委員 竹田委員、黒澤委員
 - 日 時 2月21日（土） 17：00
 - 場 所 センチュリーロイヤルホテル
 - 参 加 者 米山奨学生、カウンセラー、指導教官、地区役員、地区委員
- ・カウンセラー研修
 - 奨学生、カウンセラーオリエンテーション
 - 第3回委員会
 - 担当委員 山下副委員長、高坂委員、丹羽委員
 - 日 時 4月18日（土） 12：00
 - 場 所 センチュリーロイヤルホテル
 - 参 加 者 米山奨学生、カウンセラー、地区役員、地区委員

5、2009—2010年度地区米山記念奨学委員について

6、その他

■委員会名： GSE委員会
■委員長： 岡崎 芳明

■日 時： 2009年2月12日（木）
■会 場： ロイトン札幌
■出席人数： 9人

第15回GSE派遣団員の1次選考者決定

昨年皆様にお知らせいたしました、次年度はスウェーデンのRI2360地区とのGSEプログラムが決まっております。それに伴い昨年11月15日より開始しましたGSE派遣団員の募集に際しましては、地区内のロータリアンの皆様には、暖かいご協力を頂き誠にありがとうございました。

お陰様で本年1月15日に募集を締め切りましたが14名の応募がございました。その後、2月1日に選考委員による論文内容と面接による厳正な試験を行い、14名の中から下記の6名の優秀な派遣団員候補者が選定されました。

この6名の優秀な団員候補者は奥貫派遣チームリーダーの指導により3月より毎月英会話やロータリーの情報を中心とした研修を始めます。

今回は、より優秀な団員を選考する事と補欠団員を育成する為に、6月までの4回の派遣研修を終えた時点で、更に正式な派遣団員として4名を選考いたします。

この度のGSEプログラムはRI2510地区として初めて社会福祉・医療介護を中心とした特別重点GSEという事もあり、北海道社会福祉協議会の皆様のご協力を請けRI2510地区内の福祉介護関連の施設に募集の案内が行き渡り、更に北海道新聞にGSE団員募集の記事が掲載された事もきっかけとなりまして、過去最大の14名の優秀な派遣団員希望者が集まりました。

応募者の推薦に関わられました関係各位のご協力に心より御礼を申し上げます。

これよりGSE委員会は派遣研修を行いながら次年度のGSEプログラムに向け、受入グループを決定し受入体制を構築していく事になります。

RI2510地区の皆様のご更なるご支援を心よりお願い申し上げます。



青田 美穂
(札幌西RC)



羽田野真寿美
(札幌東RC)



松本 かな
(札幌北RC)



大山 毅
(北広島RC)



鈴木 洋史
(札幌手稲RC)



竹内 孝
(札幌清田RC)

***** メッセージ *****

この度、GSE派遣候補生が固まってほっとすると同時に、「いよいよ始まった」という緊張感の内にも、夢と希望に満ち輝く瞳を持った若者達と、1年余りの研修、そして来年5月にスウェーデンへの4週間強の研修旅行に行けると思うと「わくわくした気持ち」が今の実感です。

これから先困難な事も多々出てくると存じますが、各クラブの皆様のご支援、ご指導をお願いしつつ、私自身これからの日本の福祉を背負って立つ若者達の為に少しでも役立つ事が出来る様、微力ではありますが努力を尽くさせていただける幸せをかみしめながら、精進を続けてゆきたいと心しておりますので宜しくお願い申し上げます。

RI2510地区2009-2010年度
GSE派遣チームリーダー 奥貫 一之

ガバナー補佐会議報告

地区幹事 上出 利光
(札幌西RC)

平成21年1月17日(土)、ウェルシティ札幌(厚生年金会館)において矢橋ガバナー年度の折り返し時点でのガバナー補佐会議が開催された。会議の30分前には多くの補佐が既に会場入りし、補佐の諸氏が一体となり、和気藹々の雰囲気であった。

大金地区代表幹事の司会で会議スタート。議事に先立って矢橋ガバナーより、クラブ訪問に際して、ガバナー補佐らの絶大なる支援に御礼の言葉があった。バーミンガム国際大会に1人でも多くのロータリアンの出席を促して欲しい旨の要請をなされた。また地区大会の懇親会における不手際に謝罪があり、各補佐の担当クラブ訪問に際し、ガバナーからのお詫びの気持ちを伝達して欲しい旨の発言があった。

各補佐は担当クラブを既に複数回訪問している方が多く、各クラブの実情を詳細に把握され、報告された。グループ別会長・幹事会の開催も順調に推移しており、各グループ内の連携もスムーズのようで、IMのみならず、その他の活動もグループ内のクラブ間の協力体制が図られている様子が報告された。会員増強の目標達成に向けては、各クラブ、大変な努力をなされているが、昨今の経済状況で、地域そのものの疲弊がさらに進行し、地域が崩壊の危機にある状況が報告された。65歳以上の会員が、過半数を超えるクラブも多くなり、謂わば「限界集落」ならぬ「限界クラブ」になっている中で、ポリオプラスに対する1000ドルの寄附を既に実行済みのクラブが10クラブ程あり、ロータリアンの底力を示している。円高メリットも最大限享受され、できるだけ早いうちに各クラブとも目標達成を図って欲しい。第2グループの神部補佐からは、次年度の滝川開催の地区大会の準備状況について説明があった。渡邊ガバナーエレクトも研修のため渡米し、いよいよ戦闘モードか？

各補佐から活動状況の説明の後、地区研修リーダーの塚原PGから、総評と最近のRIの動向について蘊蓄のある話があった。不勉強な私としては塚原PGのお話を要約して皆さんにお伝えするのは少々冷や汗ものですが、幾つか紹介します。

- 1) ロータリー活動のバイブルは、手続要覧ですが、これに縛られる必要はありません。各クラブは、それぞれの地域の特殊性の反映として、それぞれ特徴を有しています。ロータリーでは、各クラブはその現状にあわせて、工夫する権利を保障されています。これは、経済状況の悪化、人口の減少が厳しい地域にあって、どうやって会員を確保し、退会を防ぐかという議論の中で出た話です。
- 2) 決議23-34に関して。何度からの修正を受けて、現在「手続要覧」の第6章社会奉仕に「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されている。上野ガバナー補佐は、その第1項、——ロータリーは、基本的には、1つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超私の奉仕」の哲学である。——を取り上げ、ひとしきり議論になった。塚原PGから、この決議の背景等の説明があった。この決議は、欧米のロータリアンにはその存在意義に疑問が出るらしい。しかし、RIの中でも日本、韓国、台湾という謂わば儒教の思想を有する国を筆頭にアジアのロータリアンにより強く支持され、その活動のバックボーンをなしている。お二人に刺激され、後日、「手続要覧」の決議23-34を読んでみたが埒があかない。「ロータリー情報マニュアル」の歴史的文書を読んでみた。うーん、ロータリーの歴史は100年に満たないが、重い。ポール・ハリスの「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界と共に変化して生長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書きけられねばならない」を思い出す。時代に合わせるのは容易いが、その歴史の動きを感じるのはしんどい作業である。

ガバナー公式訪問

江差ロータリークラブ

11月6日（木）

11月6日に、当クラブの例会場「レストラン津花館」に矢橋ガバナーをお迎えして、公式訪問の開幕です。第11グループ光銭ガバナー補佐および大金地区代表幹事を従えての公式訪問です。会長・幹事会、クラブアッセンブリーに引き続きクラブ会員総出のお迎えでの例会となり、和気藹々の公式訪問でした。その間、当クラブの様々な奉仕活動についてご説明を申し上げました。馬場山ロータリーの森植樹事業では草刈や植樹、補植を行い今では、栗の木は既に100本を超えています。その他、創立40周年を記念とした社会奉仕活動や職業奉仕についても詳しくお話させていただきました。矢橋ガバナーからはRIの様子や個人の経歴なども伺え、とても有意義な一日でした。



札幌清田ロータリークラブ

11月11日（火）

11月11日（火）矢橋ガバナー、土谷ガバナー補佐のお二人をルネッサンスホテルにお迎えいたしました。午前10時より会長・幹事会を開催いたしました。少人数クラブゆえの問題点をご相談申し上げ、親身になってお答えいただきました。11時よりクラブ協議会を開催いたしました。各委員会から2008—2009年度のこれまでの活動報告とこれからの活動計画をお聞きいただき、ご意見を頂戴いたしました。そのなかで、大人数クラブなみにそろえた委員会の数を会員数に即した数に整理・統合しては、とのご提案をいただき早速とりかかることいたしました。また、来年度当クラブがお引き受けする予定のガバナー補佐の推薦についてもアドバイスを頂戴し、この件に関しましてクラブ内の意見が統一され大きく前進することができました。引き続き12時30分より例会にご出席いただき、地区の現況・活動の方針、ロータリーに対するガバナーの信条等をユーモアを交えて丁寧に情熱的にご説明・ご披露いただきました。ガバナーの、懇切丁寧でそして温かいお話やご対応に会員一同心を動かされました。個人といたしましてもクラブといたしましてもとても有意義な一日を過ごさせていただきましてクラブ会員一同を代表いたしまして心から御礼申し上げます。



札幌セントラルロータリークラブ

11月11日（火）

2008年11月11日にガバナー公式訪問をうけました。ロータリークラブの組織の性格からいうと、公式訪問を受けることは、地区大会に参加するよりもクラブにとって重要だと理解していますので、それなりの準備はしましたが、何しろ質素な小クラブなので、クラブの認証時のパネルや交換したバナーのある事務所で、会長・幹事、ついでエレクトを加えての率直な懇談の折に、ここは居心地の良い場所ですね、とだけ言っていただけてほっとしました。クラブ訪問は通常例会どおりの設営で受け、ガバナーから今期のRIの課題についてお話を聞き、ポリオ・プラスの事業継続にからんでビル・ゲイツが申し出た醸金に応ずるRI側の対応につき、当クラブでは如何すべきや、課題として受け止めました。



札幌真駒内ロータリークラブ

11月12日（水）

矢橋ガバナーは予定よりもかなり早くお着きになり、10時から会長・幹事懇談会を行いました。齋藤会長からクラブ近況を説明し、姉妹クラブや友好クラブのことについてご指導を受けました。当クラブはクラブ定款・細則の改訂を終えているが、定款のクラブの所在地についてはどのクラブも現状と異なっている状況であり、第4、第5グループ合同会長・幹事会で協議し現状に合わせることも検討が必要であろうとのお話もありました。

クラブ協議会、例会では来年の姉妹地区である3700地区の地区大会とバーミンガムで開催される世界大会への協力もお願いされました。さらに財団補助金を活用した事業を是非行ってほしいとのご指導をうけました。



札幌西北ロータリークラブ

11月13日（木）

10時より会長・幹事・会長エレクトとの懇談会、11時よりクラブ協議会を通して、当クラブの現況や各委員会の活動方針を説明しました。小川会長から、当クラブは家庭的な雰囲気重視し、ビジターの皆さんが出席しやすい例会づくりを目指していることが報告され、当クラブの会員であり第4グループガバナー補佐として出席した大島会員からも、親睦と会員相互の交流に引き続き尽力して欲しいとのコメントがありました。例会では矢橋ガバナーから、地区大会の苦労話、最近の青少年交換留学事情、平成21年5月の韓国3700地区大会への参加要請、ポリオ・プラス寄付への協力をお願いなど盛り沢山の話題を随所にユーモアを交えてお話いただきました。



札幌幌南ロータリークラブ

11月14日（金）

数名のお供の方と共に、当クラブの会場に入られるのかと思いき緊張しながらお待ち致しておりましたところ、予定の10時よりも30分以上も早く、しかもおひとりだけでこやかに会場に入られました。

矢橋ガバナーのお人柄が拝見できたように感じられました。まずは、ガバナーより地区大会参加への感謝のお礼の言葉を戴き土谷ガバナー補佐を交え、会場、幹事、会長エレクトとの懇談会では、和やかな雰囲気懇談をとって戴きました。その後、クラブアッセンブリーにご参加いただき、たくさんのご意見を頂戴しクラブ例会におきましてもご自身の体験を交えながら貴重なご意見をたくさん戴きました。

例会の時間が足りないくらいの有意義な内容でございました。

行き届かない面がたくさんあったかと思いますが、矢橋ガバナーとの親交を図れましたことに感謝をいたしましてロータリー活動に励んでまいりたいと思います。



札幌手稲ロータリークラブ

11月15日（土）

11月15日矢橋ガバナー、大島ガバナー補佐をお迎えしクラブ協議会を開催致しました。矢橋ガバナーは地区大会の終了直後にもかかわらず既に10クラブの訪問を終え、我がクラブが11箇所目とのことです。お疲れ様です。申し遅れましたが地区大会ではガバナーのホームクラブであります札幌西RCの皆様には大変お世話になりました。御礼申し上げます。

さて、クラブ協議会では各委員会からの報告に対し熱心に耳を傾けられ、且つ適切なアドバイスを数多く頂きました。また会員からの質問や提案、たとえば「地区におけるCLPの進捗具合・CLPをどう評価されているか」「地区主催でロータリーの大勉強会を開催してはどうか」「ロータリーの神髓が薄れていく現状にどう対処するのか」等に対し、熱心にそして明解にお答え頂きました。矢橋ガバナーのお人柄、物の見方・考え方を知ることができました。最後に地区目標である3項目をぜひ達成するよう檄が飛びました。我がクラブとしても「夢をかたちに」を強力に推進することを誓いました。



札幌北ロータリークラブ

11月17日（月）

11月17日、矢橋温郎ガバナー公式訪問を受け、大島利一ガバナー補佐のご同行を頂きました。10時より会長・幹事会。11時よりクラブ協議会が行われ、地区クラブの実情等をお聞きし大変有意義な会合となりました。

クラブ協議会では、四大奉仕委員会を中心にこれまでの計画と実行状況を発表。

特に当クラブの話題としては、国際奉仕活動、社会奉仕活動について具体的なお話を交わし、他クラブの参考例も聞かせていただきました。例会では当クラブは会員数44名のうち35名が出席し、矢橋ガバナーからは地区大会運営状況等色々苦心された事等お聞きし大変楽しい例会となりました。



札幌はまなすロータリークラブ

11月18日（火）

11月18日（火）矢橋温郎ガバナーと大島ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を午前十時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会、午後12時30分より例会を開催いたしました。

クラブ協議会では当クラブの現況説明と活動計画について説明をさせていただきました。矢橋ガバナーよりクラブ活動に対する多くの実りあるご助言をいただきました。

また、例会での矢橋ガバナースピーチでは、ロータリーへの熱い思いをお聞かせいただきました。その中では、米山奨学生についてのお話やポリオ・プラスの取組状況、新世代の問題点と取組状況について分かり易く説明をしていただき大変実り多い公式訪問でした。



北広島ロータリークラブ

11月25日（火）

11月25日、矢橋ガバナー、羽芝ガバナー補佐、武田地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。午前10時からの会長、幹事、会長エレクト懇談会では、ガバナーに直接、当クラブの悩み等を聞いて戴き、また11時からのクラブ協議会では各委員長からの本年度事業報告にコメントを戴きました。当日はとても天気が良く、会場に使った北広島クラッセホテルからは樽前山、恵庭岳から藻岩山、手稲山までくっきりと見える清々しい一日となりました。



札幌ロータリークラブ

11月26日（水）

矢橋ガバナー、大島ガバナー補佐を迎えての会長・幹事会は午前10時より始まり、会長から先ず当クラブの概況について説明があり、ガバナーからは地区の現況や他地区の活動状況など興味深いお話を頂きました。また次々年度当クラブからガバナーを輩出するに当り貴重なアドバイスも伺いました。午前11時からのクラブ協議会では、四大奉仕委員長から活動状況の報告があり、その後質疑応答では、CLP・DLPやインターアクト・ローターアクト、会員増強など多岐にわたりガバナーからご自身の貴重な経験や豊富なロータリー知識に基づく有益なご示唆を頂きました。午後12時30分からの例会では李東建RI会長の方針に沿った地区の目標についてのお話があり、とりわけ米山・財団、ポリオ・プラスや水の問題についてはガバナーのロータリーに対する熱い思いを会員一同感じ、和やかなうちに会は無事に終了しました。



札幌東ロータリークラブ

11月27日（火）

会長・幹事懇談会、クラブ協議会に続き、矢橋ガバナーのホームクラブを除く第2510地区、最後のガバナー公式訪問例会が開催されました。クラブ協議会では、ガバナー及びガバナー補佐にご挨拶を頂き、ガバナーからはCLPのお話を頂戴しました。四大奉仕委員会を始め、当クラブの全委員長が上半期の活動報告、後半の活動計画を発表した、50周年記念事業に対するご協力をお願いをさせて頂きました。終わりにガバナーより何点かご質問があり、新会員に対するカウンセラーには特に感心された様でした。例会では一人の退席者もなく、矢橋ガバナーの軽妙な語り口で非常に楽しかった、当クラブにとって大変有意義な公式訪問となりました。



札幌西ロータリークラブ

12月2日（火）

2008年12月2日、矢橋ガバナーの公式訪問は73クラブの最後にふさわしく、ホームクラブで行なわれました。63名のクラブ会員は、心よりこの日を楽しみに待っていました。例会場は「お帰りなさい、ガバナー！」の握手攻めでスタートです。

例会に先立ち午前10時より、矢橋ガバナー、大島第4グループ・ガバナー補佐、石谷会長、石丸エレクト、前原幹事で懇談。その後、理事、各委員長が加わりクラブの活動報告を致しました。

例会は、全員参加のアッセンブリー方式です。矢橋ガバナーから、10月の地区大会で手作りをモットーにした当クラブ会員の団結と協調に対してお気持ちを述べられ、会員一同、感激をあらたにしました。他のクラブから指摘された反省点についても伺いました。

また、矢橋ガバナーは会員が数名のクラブから百名を超えるクラブのあり方、CLPの採用の有無など今後のクラブ運営の問題も話されました。どのお話も当クラブと無関係ではなくとても勉強になりました。

これからも、IMや世界大会などご多忙でしょうが、どうぞご夫妻おそろいでお体にご留意なされ、ご活躍されますよう、クラブ会員全員が心よりお祈り申し上げます。

「風雪に耐えしは見せず梅真白」 絢子



公式訪問完了の御礼

昨年7月15日、江別西RCを皮切りに12月2日ホームクラブの札幌西RCまで約半年にわたるガバナー公式訪問を恙無く終了する事が出来ました。

これも一重に温かくお迎え戴きました会長、幹事を始めとする各クラブ会員の皆様、随伴戴きました12名のガバナー補佐の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

公式訪問はガバナーの責務の中でも最重要であるのは無論ことでありますが、これを通して私は大いに勉強をさせて戴き、各クラブの会員一人一人の熱意を戴いた次第であります。これをステップに残る任期を全うする所存であります。

拝顔の上お礼を申し上げるのが本筋ではありますが、とりあえず紙上をお借りして重ねて御礼申し上げます。

ガバナー 矢橋 温郎

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

札幌西RC 矢橋 温郎 会員 1月30日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC 野田 富夫 会員(1回) 1月30日
柳 義文 会員(3回) 1月30日
札幌 RC 市川 唯行 会員(5回) 1月30日
札幌西北RC 大島 利一 会員(2回) 1月30日
小樽南 RC 福島 正紘 会員(2回) 1月16日
岡崎 芳明 会員(2回) 1月16日
立森 成芳 会員(2回) 1月16日
大橋 一弘 会員(1回) 1月16日
千歳 RC 末広 孝 会員(1回) 1月30日
函館セントラルRC 伊藤 道雄 会員(3回) 1月23日
苫小牧北RC 高橋 康則 会員(1回) 1月30日

■ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC 山口 清悦 会員 1月30日
江別西 RC 滝沢 仁 会員 1月30日
小樽南 RC 工藤左千夫 会員 1月30日
千歳 RC 本宮 輝久 会員 1月30日
酒井 宏 会員 1月30日
瀧澤 順久 会員 1月30日
室蘭北 RC 斎藤 泰成 会員 1月30日
江差 RC 前川 敏雄 会員 1月16日
苫小牧 RC 渡辺 健治 会員 1月9日

■ベネファクター

札幌はまなすRC 遠島 芳然 会員 1月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

滝川 RC 細田 光人 会員(5回) 1月7日
中島 健 会員(8回) 1月7日
篠島 弘 会員(5回) 1月7日
上田 英二 会員(2回) 1月7日
札幌 RC 佐々木正丞 会員(1回) 1月22日
札幌西 RC 矢橋 温郎 会員(14回) 1月27日
札幌真駒内RC 神谷 英光 会員(11回) 1月22日
千歳 RC 浅沼 廣幸 会員(1回) 1月27日

千歳 RC 福田 武男 会員(13回) 1月27日
藤本 敏廣 会員(2回) 1月27日
中山 和朗 会員(2回) 1月30日
函館五稜郭RC 酒井 正人 会員(11回) 1月23日

■米山功労クラブ

札幌 RC 25回 1月22日
札幌西 RC 22回 1月27日
千歳 RC 6回 1月27日

文庫 通信

(257号)

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- ◎【異文化の架け橋】
柴田恭子 2008 2p (D.2610)
- ◎【浪漫なしで生きていけない】
三輪休雪 2008 10p (D.2710)
- ◎【地方発!!人づくり国づくり】
川勝平太 2008 12p (D.2710)
- ◎【いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる】
名取美和 2008 4p (D.2820)

- ◎【愛と勇気と感動と】
加藤タキ 2008 12p (D.2550)
- ◎【日本の底力】
麻生太郎 2008 12p (D.2650)
- ◎【人生って支えあえっこ】
牟田悌三 2008 10p (D.2700)
- ◎【ネット社会と子供の危機
～心の発達は大人大い～】
柳田邦男 2008 19p (D.2700)

[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫のホームページが新しくなりました

体裁を一新するとともに、分かりやすく利用しやすくなりました。文献のコピーが注文できます。また、デジタル化した文献「*」はダウンロードできます。どうかお気軽にご利用ください。お問合せは下記事務局まで

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

3月のロータリーレート 1ドル=90円

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



川浪 弘平
(江別西RC)

■入会/
8年12月2日
■職業分類/
税理士



加藤 晶啓
(千歳セントラルRC)

■入会/
8年12月2日
■職業分類/
ビジネスホテル



佐藤 克男
(森RC)

■入会/
8年12月16日
■職業分類/
電気設備業



坂内 重人
(白老RC)

■入会/
9年1月1日
■職業分類/
製造業(種菌)



菅原 義男
(室蘭北RC)

■入会/
9年1月6日
■職業分類/
自動車整備業



菅原 正明
(室蘭北RC)

■入会/
9年1月6日
■職業分類/
花・植木小売業



手島 和枝
(千歳セントラルRC)

■入会/
9年1月13日
■職業分類/
スナック



曽我 浩司
(苫小牧RC)

■入会/
9年1月23日
■職業分類/
地方銀行



辰巳 伸明
(苫小牧RC)

■入会/
9年2月6日
■職業分類/
通信機器販売

訃 報



須藤 久男 会員(倶知安RC)
2009年1月14日ご逝去(享年74歳)

【ロータリー歴】
1969年12月 入会
1988年-89年度 会長

第3700地区（韓国・大邱）地区大会のご案内

当地区と姉妹地区提携をしております第3700地区（韓国・大邱）の地区大会が下記の通り開催されます。今年度、札幌にて開催しました当地区大会には、朱七錫総裁をはじめ大勢の姉妹地区ロータリアンのご参加を戴きました。

大会プログラムの詳細についてはまだ届いておりませんが、当地区内のロータリアン多数のご参加をお待ちしております。韓国への旅程等についてはガバナー事務所までお問合せ下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

大会1日目 2009年4月24日（金） 場所：インタープルゴコンベンションホテル

大会2日目 2009年4月25日（土） 場所：大邱コンベンションセンター

2008—09年度 RIの賞・表彰についてのお知らせ

■会長賞

2008—09年度会長賞プログラムは、李東建会長の「夢をかたちに」のテーマを支えるものです。ウェブサイトから入手できる2008—09年度会長賞要項には、受賞資格を満たすためのさまざまなクラブ活動について詳しく説明されています。受賞資格を得るには、クラブは子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを実施し、2008年7月1日から2009年3月31日までに会員を1名純増させるという会員増強目標を達成し、さらに本要項に挙げられている5つの分野から活動をそれぞれ1つずつ完了させなければなりません。各クラブ会長は、会長賞申込書に記入し署名した後、2009年3月31日までに地区ガバナーに申込書を送る必要があります。

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブについても、要項に挙げられた活動の中から全部で少なくとも4つの活動を実行することで受賞の資格を得ることができます。提唱クラブは、ローターアクトおよびインターアクト会長賞申込書に署名した上、2009年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。

最後に、RI広報賞は、2008年7月1日をもって、RI理事会により廃止されたことのお知らせいたします。広報活動の表彰に関心のあるロータリー・クラブは、会長賞を目指して、受賞資格となる活動を実施することができます。

皆さまの地区で優れた活動を行っているクラブを称え、表彰するためにご協力いただけますようお願い申し上げます。ご質問がありましたら、お気軽に当方までお問い合わせください。

Jesse Allerton, Supervisor, Programs & Presidential Initiatives
(プログラム・会長推進活動担当スーパーバイザー、ジェシー・アラートン)

David Plater, Senior Coordinator, Programs & Presidential Initiatives
(プログラム・会長推進活動担当シニア・コーディネーター、デビッド・プレイター)

ファックス：1-847-866-6116

Eメール：riawards@rotary.org

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.1.31	増減	内女性	
1	深 川	3	36	36	0	3	83.25
	羽 幌	4	48	48	0	1	85.87
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	80.55
	小 平	4	14	13	-1	0	78.85
	留 萌	4	45	43	-2	0	86.25
	小 計		152	149	-3	4	82.95
2	赤 平	4	29	28	-1	1	92.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	91.67
	砂 川	3	52	55	3	0	95.76
	滝 川	4	99	100	1	2	77.00
	小 計		224	220	-4	3	89.11
3	美 唄	4	38	37	-1	0	88.30
	江 別	4	34	34	0	1	89.71
	江 別 西	4	27	30	3	3	85.83
	岩 見 沢	3	87	89	2	0	87.36
	岩 見 沢 東	3	34	34	0	4	87.50
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.80
	栗 山	3	26	27	1	2	100.00
	当 別	4	34	33	-1	0	93.30
	小 計		303	308	5	11	91.10
	4	札 幌	4	117	125	8	0
札幌あけぼの		4	18	16	-2	1	100.00
札幌はまなす		3	25	22	-3	4	77.28
札 幌 北		3	43	43	0	6	88.89
札幌モーニング		4	49	51	2	0	72.90
札 幌 西		4	62	62	0	4	94.44
札 幌 西 北		4	39	38	-1	5	96.38
札 幌 手 稻		4	34	34	0	1	97.80
小 計			387	391	4	21	90.66
5		札 幌 東	4	120	125	5	0
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	90.44
	札 幌 南	2	92	89	-3	0	96.38
	札幌大通公園	3	9	9	0	2	81.50
	札幌セントラル	3	14	13	-1	6	76.90
	新 札 幌	4	32	30	-2	3	95.08
	小 計		385	384	-1	18	92.05
6	岩 内	4	21	22	1	0	85.00
	俱 知 安	3	46	45	-1	4	65.50
	小 樽	4	69	69	0	0	85.94
	小 樽 南	4	73	73	0	0	88.90
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	80.00
	蘭 越	2	11	11	0	0	86.35
	余 市	4	39	40	1	4	87.70
	小 計		280	281	1	10	82.77

1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,836人(102人)
増加会員数	20人
当月平均出席率	86.00%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.1.31	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	64	1	3	78.90
	千歳セントラル	4	35	37	2	2	87.50
	恵 庭	4	39	39	0	0	78.37
	北 広 島	4	17	17	0	0	86.77
	長 沼	2	20	20	0	3	77.50
	由 仁	4	10	11	1	1	85.00
	小 計		184	188	4	9	82.34
8	え り も	4	22	23	1	0	91.30
	三 石	2	15	15	0	1	100.00
	様 似	3	23	24	1	1	96.50
	静 内	4	72	73	1	1	84.13
	浦 河	3	34	34	0	2	89.22
	小 計		166	169	3	5	92.23
	9	伊 達	3	53	55	2	0
室 蘭		4	43	44	1	0	64.54
室 蘭 東		4	41	38	-3	0	80.95
室 蘭 北		4	34	36	2	2	100.00
登 別		4	31	31	0	2	84.87
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	83.00
小 計			211	213	2	4	81.32
10	函 館	4	87	88	1	0	74.28
	函 館 亀 田	2	45	45	0	2	94.16
	森	3	34	35	1	0	77.10
	七 飯	4	16	16	0	0	76.50
	長 万 部	3	10	10	0	0	66.60
	函館セントラル	4	24	25	1	1	71.88
	小 計		216	219	3	3	76.75
11	江 差	4	19	20	1	2	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	55	54	-1	0	100.00
	函 館 東	4	45	46	1	4	85.08
	函 館 北	3	30	30	0	0	90.81
	北 斗	4	19	17	-2	2	64.70
	松 前	3	5	5	0	0	80.00
	小 計		173	172	-1	8	82.60
12	白 老	3	26	28	2	0	80.00
	苫 小 牧	4	50	53	3	2	81.20
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	83.65
	苫 小 牧 北	4	34	35	1	2	93.08
	小 計		135	142	7	6	84.48
合 計		2,816	2,836	20	102	86.00	

地区カレンダー（3月・4月）

3月 識字率向上月間	
1 (日)	会長エレクト研修セミナー（砂川） 地区財団セミナー、米山セミナー（砂川）
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第7・12グループ合同IM（千歳）
8 (日)	2009-2010年度全国会員増強セミナー（横浜）
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	札幌東RC創立50周年記念式典（札幌）
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	2009-2010年度GSE第1回研修会
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第10・11グループ合同IM（函館）
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	地区協議会（滝川）
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	韓国第3700地区大会（大邱）
25 (土)	韓国第3700地区大会（大邱）
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 小樽 R C：例会場及び事務所変更について
小樽グランドホテルが平成21年2月15日をもって閉館となりましたので、2月16日より下記の通り例会場及び事務所を変更致しました。
例会場：グランドパーク小樽 小樽市築港11番3号 電話0134-21-3111
例会日：毎週火曜日12：30～13：30（変更なし）
事務所：〒047-0008 小樽市築港11番3号 グランドパーク小樽内
電話0134-21-3111 FAX0134-21-3401 事務局員：石崎悦子
- 小樽南 R C：例会場及び事務所移転について
小樽グランドホテルが平成21年2月15日をもって閉館となりましたので、2月11日より下記の通り例会場及び事務所を変更致しました。
例会場：㈱ニュー三幸（さんこう） 〒047-0032 小樽市稲穂1丁目3番6号
電話0134-33-3500 FAX0134-32-5670
事務所：〒047-0024 小樽市花園4丁目5番16号 板垣建設㈱内
電話0134-24-1288 FAX0134-22-1431
- 札幌西北 R C：事務所移転について
3月2日より下記住所に事務所を移転致しますので宜しくお願い申し上げます。
事務所：〒060-0054 札幌市中央区南4条東4丁目2番地1 さくら総合会計ビル2階
電話011-200-2066 FAX011-200-2067
E-mail：sap-seihoku.ri2510@dao.or.jp
- 江別 R C：3月19日（木）移動夜間例会 18：30～
場所：レストラン丸め 江別市一番町1-1
- 江別西 R C：3月10日（火）休会
- 岩見沢東 R C：3月31日（火）休会
- 室蘭北 R C：3月17日（火）夜間例会「クラブフォーラム」 18：30～
場所：ホテルサンルート室蘭
3月24日（火）休会（3月26日（木）3RC合同例会の振替）
- 苫小牧 R C：3月6日（金）の例会を下記の通り変更します。
3月7日（土）第7・第12グループ合同IM 15：00点鐘
場所：ホテル日航千歳
3月20日（金）休会

編集後記

昨1月17日開催のガバナー補佐会議は、上半期の各補佐の熱闘を物語るもので、極めて印象深いものであった。忙しい合間を縫っての活動に大変頭の下がる思いで拝聴した。会議後、懇親の場では打って変わってリラックスした様子でそれぞれを互いに労っているシーンは誠に微笑ましい限りとみた。

ガバナー月信も話題にあがり、特にガバナーの巻頭言はすこぶる好評であった。特に従来の特別月間を中心とした堅い話ではなく、ロータリーライフを楽しむガバナーの人間性が垣間見え、中でも第2号（8月号）での「妻から学んだ国際交流の極意」は極めつけと絶賛した人が多い。早いもので既に第9号（3月号）まで発行を終え、残るは後4号のみとなった。今後とも鮮度を失わない編集で臨みたい。

1月27日突然なるメールが飛び込んで来た。発信者はRI青少年交換委員会関係副委員長。「緊急情報」（米国オレゴン州ポートランドで1月24日夜、2人のロータリー交換学生が射殺されるという痛ましい衝撃的な事件が発生しました。日本人の留学生は含まれていません。ニュースによりますと土曜日の夜、ポートランドのダウンタウンで群衆に向けて無差別に発砲されたようです。各地区におかれましては、派遣学生および受入学生に対しまして、より一層の危機管理に努めて戴きたく存じます）詳しく知りたいと思い、新

聞を開き記事を調べたが何も報道はされてはいなかった。

日本のジャーナリストは銃社会のアメリカでのこの種の事件は頻発していて報道価値が薄いのか、ともかく派遣学生の親元の心配は大変なものだと思う。絶対にあってはいけない事だ。この種の偶発的リスク回避はあるのだろうか？気になるニュースである。

1週間程して前記「緊急情報」の続報が入った。それによると1月24日夜、1人の来訪学生の誕生日を祝うため、11名の交換留学生在が人気ディスコへ向って歩道を歩いていた時に惨劇が起こった。失恋で自棄になった青年が群衆に向けて無差別銃撃の後、自殺をしたものである。1人は胸部を撃たれ即死。1人は下腹部を撃たれ死亡。4人は傷を負い入院、又残りは軽傷を負った。死亡した少年は地元学生とペルーからの交換学生。他は仏、台湾、エクアドル、グアテマラ、アルゼンチンの学生である。知らせを受け、直ちに地区青少年委員会は危機管理マニュアルに従って救急センターに駆けつけ、情報把握と関係筋への連絡にあたった。地区ガバナーは翌朝すべての関係先の今後のフォローアップの為、タスクフォースを立ち上げた。以上が概略である。その後の対応については、又詳細が入ると思うが、誠に痛ましい。そして二度と起こってはならない悲劇である。心よりご冥福をお祈り致します。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：第60回札幌雪まつり会場
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.10
2009
4

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 第2510地区 第4・第5グループ合同IM開催記
- 4 ————— WCS検証ツアー報告
- 7 ————— ローターリー雑誌月間によせて
- 8 ————— 会長エレクト研修セミナー報告
- 10 ————— ローターリー財団セミナー・米山セミナー
- 11 ————— ガバナー補佐研修セミナー
地区チーム研修セミナー
- 12 ————— 私の“Rotary Notes”
一粒の麦
- 14 ————— ガバナー補佐レポート
第9グループ
- 15 ————— 第21回 全国ローターアクト研修会の報告
- 16 ————— 札幌東ロータークラブ 創立50周年記念継続事業報告
- 17 ————— ローターリー財団寄付／米山記念奨学会寄付／文庫通信
- 18 ————— 新入会員のご紹介／計報／2009-10年度 地区協議会開催のご案内
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー（4月・5月）
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について
地区組織図の変更について



ガバナーメッセージ

桜の森の満開の下

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

地球温暖化は、暖冬に直結するものと短絡的に考えておりました。冬の北海道は温暖化だろうと、やはり雪が降り積もります。札幌市内のIMでは、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊先生をお招きしましたが、猛吹雪で欠航が相次ぎ到着が危ぶまれました。

その前日、私は第2750地区の大会が開かれたグアムから帰国しました。同地区は東京南部のほか北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオも含まれます。大会は日米をまたぎ、グアムでの開催は10年ぶりだそうです。同期ガバナーからのお誘いを受けて、国内あちこちの地区大会を巡りましたが、国外での地区大会も興味深いものです。10年に1度のタイミングにガバナーとして参加できたのは幸運でした。

早朝の便で札幌へ帰ってきたその日、後続はすべて欠航。これまた幸運です。南の島で思い切り日焼けした顔で吹雪の札幌を歩くのは、季節感を超越した境地です。そんなわけでひと足先に夏を満喫してきましたが、今月から4月。国内ではようやく春の括りに入りますが、道内はまだ雪も残っているし、暖かくなってきたとはいえ暖房を切るにはまだ不安。4月といえば一般的には新年度のスタートですが、ロータリー年度では残り3ヶ月。いよいよ終盤です。すでに次年度のための準備が始まり、先月は砂川で地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区米山セミナーを2日間で怒涛のようにこなしました。準備する側も参加する側も、関係者のみなさんはお疲れになったことでしょう。今月は滝川で地区協議会が、又6月には会員増強セミナーが控えています。

会員増強といえば、先日李東建RI会長から自宅に電話がかかってきました。会員増強がんばってください、との叱咤激励です。通訳を間に挟むと意外に時間がかかります。都合1時間、受話器を握っておりました。他地区ではこんなに会員が増えているのに第2510地区はどうしたの?と問われると、針のむしろ。

確かに目標純増数には遠く及ばない状況です。が、このご時世ロータリーに入って奉仕活動を、という篤志家はそうそうたくさんいるとは思えません。本業に専念したいと退会を申し出る方を引き止めるのも心苦しいほど。経済成長の右肩上がりが終わったのだから、ロータリーも単に増やせ増やせから方針転換しなくてはならないのではないかなあ。なんてRI会長に進言はしませんでした。もちろん会員数のパワーは侮れません。「ロータリーは財団の集金マシン」と昨今揶揄されているような資金力だけではなく、奉仕活動で汗をかくにも人手は欲しいもの。そのためには1年間で退会者がひとり出ても、ふたり新入会員を得られるよう努めるくらいでちょうどよいと考えます。

会員増強の伸び悩みは、ロータリーの魅力云々のほかに世界的な不況が要因です。我が国だけではなく、RI会長を輩出している韓国でも、環境は同じはず。それがわかっていて、それでも会員増強を唱えなければならぬRI会長職というのも因果なもの。裏返せば会員増強を意識しなくなったら、会員減少に歯止めがかからなくなるのかもしれない。その辺の気持ちを汲みながら、通訳さんのたどたどしい日本語を介してRI会長のお言葉を拝聴しました。

韓国の話題になったところで、第3700地区のお話。当地区と姉妹関係を結んで5年になります。正式な締結以前から交流はありました。さかのぼれば私が地区ローターアクト委員長を仰せ付かった当時、アクトの交換事業を行ったことがあります。竹山元RI理事に同行いただき、友好の記念として大邱に桜を植えました。25年前のその桜は、毎年きれいに咲いているそうです。今月第3700地区の大会が開催されます。その桜の開花に間に合えば、四半世紀ぶりの花見に興じたいものです。

第2510地区 第4・第5グループ合同IM開催記

地区ガバナー補佐（第4グループ担当）

大島 利一

（札幌西北RC）

2009年2月21日、第2510地区第4・第5グループ合同のIMが『夢をかたちに』のテーマでルネッサンスサッポロホテルで開催された。詳しい内容については後日、作成される報告書に委ねるとしてIM開催までと、開催当日の慌ただしい流れをこれから開催されるIMの参考になればと思い報告したい。

I まず開催日の設定だが、昨年も2月23日に開催されたがこの時も大荒れの天候であった。2月開催IMのほとんどが天候に恵まれていないと言うデータを基に3月か4月の開催にしたらどうかとの意見もだされたが、地区のスケジュールから、荒天になることを想定しながらも2月の開催と決定した。そして想定していた悪い天候となってしまう、プログラム・総務・司会者達の体重が半減する程の分単位の慌ただしさとなった。「どうにかなるサ、なるようにしかならんべ」と腹を括りノー天気だったのは私だけのようであった。

小柴昌俊先生の東京事務局との連絡の中で渡邊葉子総務委員長は、余りの荒れた天候にフライトの危険と不安を感じ来道の中止を申し込んだ。しかし82歳の先生の頑固な意思を覆すことができず、しかも航空会社からは途中で東京に引き返すか、函館空港への着陸を条件で飛んだとの情報が入り、私達は遅れた時、引き返した時、函館に到着した時それぞれにどう対応するか、頭の中で大回転させながら各委員がホテル内を飛び回っていた。この日は朝から晩まで猛吹雪で一日中荒れ狂っていた。そんな悪天候の中、先生の乗った飛行機は奇跡的に2時間程の遅れで無事に千歳に到着した。この21日は千歳空港に着陸できた飛行機は先生が搭乗したこの便だけであとは全て欠航したのだから、これはもう奇跡と言うほか言葉は見当たらない。敢えて言えばホスト・コホストの精進の良さだと自慢させてもらいたいと思う。

II 基調講演をどなたにお願いするか、基調講演がIMの目玉でもあり、『夢をかたちに』のテーマに添った話をしていただける有名人をと随分と人選に苦労した。『心に夢のタマゴを持とう』の題で出版された2002年ノーベル物理学賞受賞の小柴昌俊先生にお願いすることで交渉を進めた。小柴昌俊先生は平成基礎科学財団理事長として現在活躍されており、財団事務局と西北RC女性のエース渡邊葉子総務委員長が交渉に当たった。出演が決定するまで、又到着までの交渉過程の苦労はそれは大変なもので、経過エピソードは酒を飲む席上でなければとても勿体無い話でいずれば発表する機会もあると思う。小柴先生の「自分でやろうと思ったことは若い人も年配の人もやり遂げる努力が大切で必ず実行できる」と講演され、北海道新聞にも記事としてのりました。



2002年 ノーベル物理学賞
基調講演 （財）平成基礎科学財団 小柴昌俊先生

III 小柴昌俊先生の到着の遅れで、プログラムを変更して札幌北陽中学校の合唱発表をしてもらった。中学校の合唱をプログラムに組み入れたのは、札幌あけぼのRC（第4G）からの提唱で、札幌市合唱教育研究会主

催で ①今年で24回開催と歴史があること。 ②札幌近郊中学校から30数校、参加生徒1,000名以上、出席父兄も1,000数百名と年々規模が大きくなっている。 ③この参加校から毎年全国大会に出場し数多くの金賞・銀賞を獲得しレベルが高いこと。 ④札幌市や教育委員会で後援しているが、経費は全て生徒と父兄が負担している。 ⑤これまで市民会館で発表会を開催していたが今年は市民ホールが建替えられたため使用料が大幅に高くなり子供達の負担が大きくなった。この子供達の合唱の夢を第4・第5Gとして、歌うかたちになる手伝いをと会長・幹事会で各クラブで補助の協力をしようとして承された。RCが共催の形をとった第24回中学校合唱演奏会も盛会に行われた。これに参加した札幌北陽中学校の55名の生徒に合唱発表をしてもらった。子供達の汚れない純粋な歌声と光輝く目を見て涙を流した会員も多くいたと聞いています。これから私たちがどのように演奏会に拘わり支援できるかを考えていただければ有り難いし、支援の継続の輪を広げるための検討が地区へと広がれば今回IMで合唱発表してもらった意義があり、中学生達の『夢』が『かたちに』繋がるのではないのでしょうか。



札幌北陽中学校55名の生徒の合唱『手紙』を披露

Ⅳ シンポジウムのテーマ『こどものいのちと未来を守る～細菌性髄膜炎ワクチン』は札幌東RC（第5G）の50周年記念事業で取り上げられましたが、この細菌性髄膜炎は1歳未満での発症が高く30%以上の死亡と重い後遺症が残るがワクチンで98%防ぐことができる。このワクチンは世界100ヶ国以上で国の事業として接種していますが、日本では接種費用約30,000円が全額個人負担で将来の夢を託す幼児を大切に大きく育てるため、若い両親の経済的負担を軽減する動きの輪を広げたいとの思いでIMのテーマの一つとして取り上げました。このテーマはこれからも継続すべきテーマだと考えております。山中樹札幌東RC会員・高下泰三札幌西RC会員・穴倉迪彌札幌西北RC会員のパネリストのお話をとおして阪崎健治朗（地区社会奉仕委員長）コーディネーターは、医療分野だからその関係者だけに依存するのではなく、ロータリーとしても何ができるか、どんな運動ができるのか、地区とクラブが一体となって研究しアクションプランを模索することを期待すると締め括ってくれました。



第2510地区矢橋温郎ガバナーのユーモア一杯のご挨拶



シンポジウムで『こどものいのちを守る』ため熱弁のパネリスト

第4・第5グループ合同IMが460名の方たちに登録いただき、基調講演では会員の他に中学生・先生・家族・社員と多くの方たちが悪天候の中ご参加していただきました。一部プログラム順序の変更がありましたが、自画自賛となりますが大成功を納めることができました。これは多くのロータリアンの協力とホストクラブ・コホストクラブの一致団結と協力によるものと心から感謝申し上げ2008～2009年度IMの報告とします。ありがとうございました。

WCS検証ツアー報告

地区WCS委員長 出村知佳子
(札幌北RC)

2009年2月10日～2月15日の6日間、2008—2009年度WCS検証ツアーを実施致しました。2006年度から事業を実施しました現地での検証を終えていないインドネシア、ジョグジャカルタ（2006年5月にジャワ島中部地震がこの地区で発生して20万世帯が崩壊6000人以上の方が亡くなりました）にての検証を参加メンバー8名で実施致しました。

第一日目に過去事業、移動図書館事業（札幌東RC—国際奉仕 2007—2008年度）を訪問、私設図書館をスマント氏という男性が全てボランティアで運営をし、再建された自宅も全て開放し、公共図書館の役割をしています。オート三輪で移動する移動図書館も運営し、本を読むことのできない子供たちや人々の為、学校、集会所、孤児院へも出かけ震災の際にもスマント氏の移動図書館で多くの方が励まされました。今後も子供達の教育の為、又成人女性の識字率向上の力になってくれると思います。

次に共同集会所（北斗RC、札幌北RC—国際奉仕）を訪問、子供達がバティック（ろうけつ染め）の練習をしていました。ここでは乳幼児健診、お年寄りの健康診断、出産の場、バティック教室等、様々な用途で使用され集落になくはない存在ですが、2006年の地震で崩壊し集落の方たちが途方に就いていたところ、御支援により再建されました。

今後も集落の方の為になくはない存在として様々な役割をしてくれることと思います。その夜第3400地区の5クラブによる合同例会を開催して頂き、ガバナーはじめ第3400地区ジョグジャカルタのロータリアンの皆様と大変楽しいひと時を過ごしました。当地区クラブの支援した過去の事業、集会所事業、幼稚園支援事業、災害環境教育事業（栗山RC）についても、感謝の言葉がありました。

第二日目の検証は、2007—2008年度復興支援幼稚園遊具設置事業（新札幌RC）の幼稚園を訪問、子供達の大歓迎を受け、踊りや歌の披露もあり楽しい交流ができました。

地震で崩壊した家屋と遊具がオランダのロータリー、日本のロータリー（新札幌RC）により再建され、子供達の笑顔が戻りましたと校長先生からの御言葉でした。



＜移動図書館で紙芝居（函館五稜郭RCより）
を手にするスマント氏＞



＜共同集会所でバティック教室の子供達と＞

その後4つの孤児院を訪問、インドネシア孤児院水事業（砂川RC、岩見沢RC、函館五稜郭RC、滝川RC、※マッチング・グラント手続き中）、インドネシア孤児院寝具寄贈事業（三石RC、札幌北RC、伊達RC、室蘭RC、小樽RC、白老RC、新札幌RC）を視察しました。

水事業は第1号機が設置され、残り10機（合計11）の浄水装置が各孤児院に設置される予定です。

現在は井戸の不衛生な水を使用（燃料費の高騰により、煮沸消毒が困難に）人間らしく生きるための最低限度の環境が整っていない状況をジョグジャカルタのロータリーの皆さんと共に、孤児院の子供たちの為に一刻も早く支援を完了したいと思っております。

寝具事業につきましては、予算50万円で当初150人の子供達へのマットレスの寄贈を予定していましたが、円高の好影響で300人の子供達へ寄贈できることとなりました。

今回は4つの孤児院150人の子供達へマットレスを届け、残り150個はジョグジャカルタRCの皆さんが孤児院の子供達に届けてくれています。床の上にゴザを引いて寝ていた子供達は、マットで寝る生活は夢のようだと喜んでおりました。ジョグジャカルタには20以上の孤児院、1000人以上の孤児達がいて、震災孤児も多くいます。孤児院の子供達の生活環境は想像以上に厳しく、子供達が夢を持って生きていくのに程遠い厳しい環境でした。そんな中で明るく強く生きている子供達の笑顔に私達が逆に勇気をもらい、継続支援の必要を強く感じた検証ツアーだったと感じます。

このインドネシア検証を終え、マッチング・グラントの行われているタイのチェンマイ県へ全員がその足で移動し、チェックダムの工事と、集落の水源を確保するための貯水槽の引き渡し式に参加しチェンマイ県知事、総領事、横田順子女史も参加され、大変貴重な時間を過ごしました。これについては改めて紹介させて頂ければ幸いです。

各事業参加クラブには、各クラブ独自のアイディアで子供達へのお土産を頂戴し、現地調達の手拭、タオルなど生活用品、手作りノート、文具、湯の川中学美術部手作りの紙芝居を届けてきました。乗継のデンパサルではちょっとしたハプニングもありお土産の荷物について税関職員の質問を受け奥深い小部屋に連行？されましたが、なんとか理解を得られ



<再建された幼稚園の子供達と>



<お遊戯と演奏で迎えてくれました>



<孤児院に設置済浄水装置の前で>



<砂川RC会長お手製ノートを手に孤児院にて>

無事通関が完了しました。皆様の真心を本当にありがとうございます。ノート等を手にした子供たちの喜びの笑顔が今でも頭に焼きついております。

参加者8名の皆様への感謝と共に、皆様のコメントを紹介させていただきます。

〈砂川ロータリークラブ 松原重俊会員〉不衛生な井戸水を飲料している子供達へ安全な水の支援、床に直に寝ていた子供達への寝具の寄贈、ノート文具の提供できた事は本当に素晴らしい事だと思います。子供達の笑顔が印象に残っており今後も我々ができることはしてあげたいと思っています。ノート作成に御協力頂いた、砂川IRCメンバー、お手伝いいただいた市民の皆様へ感謝申し上げます。

〈三石ロータリークラブ 中村一重会員〉相手RCの皆様、企画をしたWCS委員会に感謝です。想像以上の厳しい環境の中ですが、子供達は明るく頑張っているのが印象的です。また、チェンマイでの工事はとても貴重な経験をしました。

〈三石ロータリークラブ 出口弘史会員〉相手国のロータリーは訪問の際に本当に親身になり対応をしてくれます。大変な中でも強く明るい子供達に胸を打たれ、ロータリーのWCS支援は素晴らしいと思います。

〈三石ロータリークラブ 山田博継会員〉インドネシアの訪問の際の合同例会では、5クラブからもの皆さんが参加くださり、ツアー参加メンバーの結束も固くなり、ロータリーの輪が一つである事を感じました。事業についても、我々の支援に感謝をし協力してくれました。子供達を見て、我々は感謝して生きなければと強く感じました。

〈伊達ロータリークラブ 和歌宏悦会員〉とにかく驚きました。こんなに厳しい環境の中で強く頑張っている人がいるんだなあとショックを受けました。本当に参加できて良かったです。また、千歳セントラルRCの田口廣委員、札幌東RCの小林隆聖委員が地区メンバーとして、検証、工事に尽力くださいました。8名の皆様、御支援頂きました各クラブの皆様へ心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



〈寄贈したマットレス〉



〈子供達へ文具等、2510の名前を入れて〉



〈千歳空港出発時〉



〈チェックダム工事に参加〉

ロータリー雑誌月間によせて

ロータリーの友地区委員 橋本 信夫
(札幌西RC)

4月は“The Rotarian”、「ロータリーの友」、「ガバナー月信」やクラブ会報など、ロータリー関連雑誌の活用を考える月間です。

特に「ロータリーの友」（「友」）は日本のロータリアンのための機関・情報誌として作られていますが、単に国内のロータリー情報ばかりでなく、優れたエッセイ、時事解説や国際問題の紹介など、きわめて広範な情報が織り込まれております。さらにロータリーの多岐にわたる活動の現況を知ると同時に、ロータリー運動の目的や本質にも触れた格好な読み物として、その良質な内容はロータリアン以外の人々にも読んで頂きたいくなるほどです。

「友」の創刊は1953年、今年で54年目の、経験豊富で活力溢れる壮年期の月刊誌です。通巻670号を越え、最近では毎号10万5千部を発行しています。2002年から今のA4判となり、同時にコンピューター編集に切り替わりました。アナログ社会からデジタル化への過渡期社会のなかで、各クラブ・会員から原稿や資料を手広く集め、さらにロータリーの歴史、RI情報や国際的なロータリー活動の紹介なども加えながらITを駆使した様々な編集努力が重ねられています。

2007年からはホームページの「ロータリージャパン」が広報誌として開設され、ロータリアン以外にもインターネットによる迅速な公開の道が拓かれました。また年1回、11月に発行される「友」の英語版“The Rotary-No-Tomo”には日本のロータリー事情がコンパクトにまとめられているので、国外からの来訪者や外国旅行先での日本紹介に大変重宝がられています。

最近これまでの主要ロータリー国で会員の減少が目立つ一方で、国際的な活動基盤の変動も急速に進みつつあります。現在、国別の会員数では米国372,000人、インド98,600人、日本95,500人とインドが経済発展を反映して日本を抜き、2位に躍進しました。

こうした状況下にあって、日本のロータリーの魅力や綱領の素晴らしさを地域社会にアピールし、活動の再活性化を促しながら会員増強を図るには「友」に優るメディアはありません。

この「友」は会員の機関誌なので、まず会員の投稿をもとに、それぞれの意見の開陳や公開討論、また様々な経験、職業知識などを載せて会員相互の交流とロータリーの啓蒙を図ることを大きな目的としてきました。現在「友」の運営はガバナー会の管理のもとに様々なレベルの会員で構成された「ロータリーの友委員会」に任されています。さらにこれは各クラブ、各地区の会報や月信などの編集経験や地域特性なども反映されるよう半世紀以上もの長い年月をかけて改善されてきました。またロータリーの伝統や綱領の基本に沿って作られているので、これを読むことによってロータリーの心を汲み取ることができますし、また各クラブが新機軸を打ち出す場合も規模に見合った様々なプログラムを参照することができます。

しかし「友」にはRI本部からの援助がないので、独自の財政基盤を持たなければ継続的な発刊が難しくなります。このため「友」への興味を高め、購読意欲をそそらせるよう様々な工夫と努力が重ねられて、今では一般商業誌に劣らないほどの内容を誇るようになりました。

したがってこの購読の拡大によって、「友」の運営基盤が財政的に支えられるばかりでなく、地域社会にロータリーの特色や素晴らしさを伝え、会員増強の機会をも拡張できることから、この購読促進キャンペーンにもロータリー発展の一助としての期待が懸けられているのです。会員の育てたこの「友」がいつも座右に置かれ、クラブ運営や活動の糧として広く活用して頂ければ幸いです。

会長エレクト研修セミナー報告

次期地区代表幹事 **神部 洋史**
(滝川IRC)

去る2月28日(土)と3月1日(日)の2日間に亘って、砂川市民の文化的な交流の場としてJR砂川駅に隣接して新設された地域交流センター「ゆう」において、表記の如く会長エレクト研修セミナー(以後PETS)を開催し、無事終了したので第1日目からプログラムの時系列に則り報告する。

【第1日目】矢橋温郎ガバナーによる開会の点鐘、国歌とロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱した後、渡邊恭久ガバナー・エレクトから参加者の紹介があり、紹介後「基調講演-RIテーマ発表・次年度目標」があった。最初にサンディエゴでの国際協議会の模様や、次年度RI会長 ジョン・ケニー氏(RI会長エレクト)の人となりや略歴を話され、次年度RIテーマについて詳細に説明を受けた。

“THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS”は、「ロータリーの未来は あなたの手の中に」と訳され、ケニー次期RI会長のテーマに則った7つの優先項目の説明がなされた。

- ①「ポリオを撲滅する」
- ②「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」
 - ・地域社会に広め、国際的な地域を築く
- ③「他者に奉仕する能力の増大を図る」
 - ・水・保健と飢餓、識字率向上の奉仕活動に専念
- ④「質的にも量的にも会員組織を世界に拡大する」
 - ・目標達成のために会員を増やす
- ⑤「ロータリー独特の職業奉仕への取組みを協調する」
 - ・職業倫理の高い水準で他に模範を示す
- ⑥「国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」
 - ・指導的役割を担うため、指導者育成を行う
- ⑦「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つため長期計画の手順を実施する」



2009-2010年度のRIテーマとRI第2510地区の基本方針についての説明

次に、2009—2010渡邊ガバナー年度のRI第2510地区の基本方針についての説明がなされた。

「環境・人・子どもに目を向けよう」

と高らかに基本方針を掲げ、それを以下の様に説明した。

「環境は地球人の普遍的テーマ」であり「人は等しく生きる権利がある」と続け、「子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない」と結んだ。そしてさらに地区としての重点目標を

1. 小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぶちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう

と力説され、ついに次年度へ向けての新たなステップを踏み出したわけである。その後、1日目の締め括りとして、塚原房樹次期地区研修リーダー（PG）から「PETSで学ぶこと」の講話を戴いた。

【懇親会】懇親会はJRを跨ぐ近代的な渡線橋を渡って反対側にある砂川パークホテルで開催された。

砂川クラブ千葉 清地区セミナーサポート委員長の歓迎の挨拶、乾杯のご発声を塚原房樹パストガバナーが行い、名刺交換や旧交を確かめ合う良い機会であった。締めは佐々木正丞ガバナーノミニの閉会挨拶で、恒例のロータリーソング「手に手つないで」を輪となり熱唱し散会した。その夜は滝川と砂川の地域経済に貢献した。



【第2日目】PETS第2日目は、早朝8時30分から矢橋温郎ガバナーによる開会の点鐘で目覚め、ロータリーソング「奉仕の理想」でウォーミングアップをして、ホストクラブ会長代理・曾我悦工副会長からの会長挨拶を戴き真剣モードにシフトアップされて行った。

矢橋温郎ガバナーと渡邊恭久ガバナー・エレクトとも簡単なお挨拶で終わられたが、2日目の本題は分科会形式の討論会である。全73クラブの会長と次期ガバナー補佐12名を6つのグループに分け、6つのテーマで各グループの議長役のガバナー補佐の進行に従って討論会を行って頂き、結論が出なくとも討論内容を報告者である、もうお一人のガバナー補佐が全体会議で報告する方式で行った。この分科会での討論会とそれを発表する全体会議での報告会が終了するとPETSの頂点をようやく超えたと云えよう。

昼食をはさんで「財団セミナー」と「米山セミナー」が行われた。無論、これらのセミナーには各クラブには担当委員長の参加が義務付けられているので、続けて報告する。



分科会での熱心な討論風景

ロータリー財団セミナー・米山セミナー

次期地区代表幹事 **神部 洋史**
(滝川IRC)

会長エレクト研修セミナーの第2日目の午後は、各クラブから財団・米山の各担当委員長も参加されて、最初に「ロータリー財団セミナー」続いて「米山セミナー」が開催された。

開会の挨拶は渡邊恭久ガバナー・エレクトが「ロータリー財団セミナー・米山セミナー」に対し共通のご苦労に対するご挨拶で始まった。まず前段の「ロータリー財団セミナー」から報告する。

「ロータリー財団の現況」を地区ロータリー財団委員長岩城秀晴パストガバナー、「国際親善奨学金について」を菅原秀二次期地区国際親善奨学金委員長が報告した。また岡崎芳明地区GSE委員長と沼舘 菜次期地区GSE委員長により「GSEプログラムについて」の解説があった。また須田義雄次期地区補助金委員長から「補助金について」、高橋宣充地区財団学友委員長から「財団学友会について」説明があり、斎藤博司次期地区財団学友委員長からも「財団学友会について」の追加発言がなされた。



財団委員長岩城秀晴パストガバナー



沼舘 しおり次期GSE委員長

15分の休憩をはさんで行われた「米山セミナー」の概要を報告する。このセミナーは一連のセミナーの最後とは思えない位、早退する参加者が少なく思われた。

司会の開会宣言の後、早速(財)ロータリー米山記念奨学会常務理事でもある伊藤長英パストガバナーから「米山記念奨学会の現況について」の講演があった。引き続き「米山記念奨学会寄付について」大石春雄地区米山記念奨学委員長から説明を受けた。また黒澤勝昭次期地区米山記念奨学委員長より「次期の委員会について」若干の説明がなされた。また村上 淳次期地区米山学友委員長からも「米山学友会について」の説明があり、最後は北海道大学博士課程2年の米山奨学生の李炯直(イーヒョンジク)さんの「米山奨学生のお話」を感銘深くお聴きした。



(財)ロータリー米山記念奨学会常務理事伊藤長英パストガバナー



米山奨学生 李 炯直さん(北大博士課程2年)

渡邊恭久ガバナー・エレクトが謝辞を述べ、矢橋温郎ガバナーから講評を戴いて、千葉 清砂川IRC・地区セミナーサポート委員長が閉会宣言を行い、矢橋温郎ガバナーの点鐘で予定のすべてを終了した。

ガバナー補佐研修セミナー

次期地区代表幹事 神部 洋史
(滝川IRC)

2009—2010年度のガバナー補佐研修セミナーが会長エレクト研修セミナー（PETS）と同日で直前の午前11時から開催された。セミナーの内容については以下の通りである。

11：00開会で矢橋温郎ガバナーからご挨拶を戴いた。続いて渡邊恭久ガバナー・エレクトが次年度地区目標と国際協議会報告を行う予定であったが、アウトラインだけで詳細については地区チーム研修セミナーでの基本講演と重複するため省略された。

次に鈴木英也次期地区財務委員長から次年度ガバナー補佐に次年度地区予算（案）について説明を行った。神部洋史次期地区代表幹事より次年度年間計画と公式訪問日程（案）の報告があり、年間スケジュールの確認と公式訪問日程に対するご意見を伺った。また、この後の地区チーム研修セミナーとPETSの進行について（とくに分科会の議長や報告者の決め方の確認とテーマの選び方）、ならびに懇親会およびロータリー財団セミナーと米山セミナーについて説明した。（11：55閉会）

地区チーム研修セミナー

次期地区代表幹事 神部 洋史
(滝川IRC)

2009—2010年度の地区チーム研修セミナーがガバナー補佐研修セミナーに引き続き開催された。セミナーの内容については以下の通りである。

13：00に開会して矢橋温郎ガバナーからご挨拶を戴き、渡邊恭久ガバナー・エレクトが出席者を紹介し、渡邊恭久ガバナー・エレクトがそのまま基調講演を行い「RIテーマ発表・次年度目標及び地区運営基本方針」について熱っぽく語った。（詳細については会長エレクトセミナー報告を参照）

続いて次期地区研修リーダー講話として次期地区研修リーダーの塚原房樹パストガバナーの講話があり、リーダーとしての資質などについて詳しく解説を受けた。この後一旦休憩し再開後、地区組織図（案）について次期地区代表幹事から地区組織（主に3年継続委員長について）の説明があり、多少のご異論があった。次に鈴木英也次期地区財務委員長から地区予算（案）の説明を行い、会員減による収入減で委員会費削減への理解をお願いし了承された。最後に出席された次期地区委員長から委員会事業についての説明を受け閉会となった。（16：15閉会）

【付記】

PETS前に終了していなければならない「ガバナー補佐セミナー」と「地区チーム研修セミナー」をPETS直前の時間帯に設定させて戴いたため、2日間でガバナー補佐・地区チーム・会長エレクト（合計2日必須）のセミナーとPETS懇親会、財団と米山のセミナーを合わせると大変過密なスケジュールとなってしまった。さらに空知での開催のため函館方面へのアクセス時間帯の配慮や交通費節約などの面からすべての参加者、ことに次期ガバナー補佐各位にご迷惑をお掛けした事を心からお詫び申し上げます。



一粒の麦

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《一麦幼稚園》

19世紀も終りに近い、ロータリー誕生前夜のシカゴは、金融恐慌による貧困飢餓、犯罪と伝染病の温床で世界の中で最悪のスラム街でした。しかし敢然と悪に対抗する人たちが現れました。救世軍や社会福音運動、YMCA、婦人キリスト教禁酒同盟など様々な社会改良運動がおこりました。中でも貧民救済のためのハルハウス（Hull House）は、1889年近代社会福祉の母といわれるジェーン・アダムスが、シカゴに設立した施設で、アメリカにおける最初のセツルメントハウス（隣保館）として有名です。セツルメント運動とは、知識人や学生、宗教家たちが、スラム街などの貧しい地域へ移住し、生活に困っている人々に教育を施し自立するための手助けをする運動です。日本でセツルメント運動を始めたのは、世界的なキリスト教の伝道者であり、社会運動家として著名な賀川豊彦氏でした。「賀川豊彦」という名前はたいの年配の人はご存知だと思いますが、どんな人なのかよく知らない方も多いのではないのでしょうか。

自伝的小説、「一粒の麦」「死線を越えて」があり「日本のガンジー」と呼ばれノーベル平和賞の候補にも挙げられたまさに「世界の力ガワ」でした。関東大震災の被災者支援に奔走した賀川豊彦氏が神戸のスラム街に身を投じて日本におけるセツルメント運動を興しました。家のない人のために無料の宿泊所や安く食事ができる食堂を作り病人の介護、仕事のあっせん、幼稚園の設立など、その活動は生活の様々な分野におよびました。当時の日本人としては進歩的自由主義者、キリスト教自由主義者であり社会運動に一生をささげました。その彼が西宮市に「一麦幼稚園」を開園しました。私はご縁があってその幼稚園で2年間お世話になりました。1940年頃の日本は戦雲漂う暗い世相でしたが一麦幼稚園には、今思うとキリスト教自由主義の博愛とリベラルな雰囲気がありました。

幼稚園の名前の「一麦」は、もちろんヨハネの福音書の「一粒の麦」に由来しています。福音書には次の言葉が記されています。

A grain of wheat

“Truly, truly I tell you,

unless a grain of wheat falls into the ground and dies,
it remains alone. But if it dies, it produces a lot of grain.”

一粒の麦

よく言っておきます。

畑にまかれる一粒の麦のように、私も地に落ちて死ななければなりません。

そうしなければ、いつまでたっても、一人のまま、一粒の種のままです。

だが、死ぬば、多くの新しい実が生じ、新しいいのちが豊かに実を結ぶこととなります。

《キリスト教の死生観》

日本人にとって「死」の後にあるのは極楽往生か、地獄へ落ちることですが、キリスト教信者にとって「死」の後にあるもの、それは「復活」です。「復活」をして、永遠の命を得ることがキリスト教の目標なのです。どうしたら「復活」ができるのか？それはイエスを信じることです。イエスを信じるとは、内なる価値観が大きく変わることを意味しますから、生まれ変わることと同じ意味です。イエスを信じ復活をすることによって、神の子として生まれ変われます。（神の子とされること、つまり、からだのあがなわれることを、待ち望んでいます。彼らは、このような希望によって救われているのです）

一方ギリシャの歴史家ヘロドトスは、古代トラキア人（現在のブルガリアを中心とした地域に栄えた黄金文明）は「誕生より死を喜ぶ」と書き残しています。「誕生はこれから経験するであろう幾多の困難を思い嘆き悲しむ。死とはこの世の労苦を果たし終えた至福の時、来世における永遠の幸福を信じているため、葬儀は陽気な賑わいに満ちた祝祭の場であった。我々は誕生を悲しみ、死を喜ぶ」トラキア人の死生観は日本の神道を思わせます。

《あと一日の死生観を持って（亀井勝一郎氏）》

我々は自分の死ぬ日を知らない、明日という日はまだまだ続くと思っています。

しかし確実に死に向かっています。人間として生まれた以上、年齢に関係なく常に死によって脅かされているのが人生だからです。ふだんそれを徹底的に考えないのは、自分だけは大丈夫だろう、まだ当分大丈夫だろうと、いわば自己の生について空想しているからです。自分のいのちを後一日と仮定してみることで。仮定だからまだどこかにのんきな点があると思いますが、とにかく、あと一日しか生きられないと考えて、その時自分はどんな反応をするのでしょうか。自分の生涯は空しかった反省し苦しむのも一日、楽しむのも一日、それなら思い切り楽しむ方を選ぶ人もいるでしょう。また、たとえあと一日でもいいから多少でも人としての心の豊かさを保ちながら自分を偽らない気持ちで生きてみたいと思う人もあるでしょう。「生」とはあと一日と、「死」を目の前に置いた時の自分のギリギリの「願い」だと言っていていいでしょう。人間すべて何らかの「願い」をもっていて、それが人間を生かしています。死を考えることで、心からの願いを改めて自覚することができます。私はロータリーに触れて、私淑する亀井勝一郎氏の「人生 邂逅し 開眼し 瞑目す」という言葉の意味が最近になって解るようになりました。

《ロータリーが書いた社会改良の処方箋》

冒頭に触れましたが、19世紀の末葉から20世紀の初頭にかけてのシカゴでは、さまざまな社会改良運動が occurred。このような時ロータリーは20世紀初頭の病める都市、シカゴを救うために一体どのような処方箋を書いたのでしょうか。そしてどのような運動を展開したのでしょうか。20世紀初頭の混沌としたシカゴで、ロータリーが目指した社会改良の処方箋とは、社会の基である個人の心を教化することでした。ロータリーは人間の徳性の向上が人類社会発展の基本であると信じて疑わないのです。ロータリー運動は地域社会の最も徳性を重んじる職業人の日常の出会いの中から、各自の徳性の改善がなされ、それが各自の識見の広さと判断力の強化につながり、社会を改良しようとする運動です。つまりロータリーは職業人の成人学校なのです。学校は出席しなければ意味がありません。ロータリーも例会出席からすべてが始まります。そこで異業種の良き人々と邂逅し、開眼するのです。自己の人格を改善することが社会改良の処方箋でありロータリー運動の根本目的なのです。ロータリーの魅力はまさに「人作り」運動に尽きます。



第9グループの概略 あらまし

地区ガバナー補佐（第9グループ担当）

若木 日出男

（登別RC）

第9グループは洞爺湖から登別まで、伊達、室蘭を挟んで西胆振地方に位置する。農業、水産業、工業が盛んで支笏洞爺国立公園に指定された観光の要素として、港湾、山、海、湖、温泉に恵まれた地域である。

室蘭RC（創立昭和11年）が伊達RC（創立昭和34年）、室蘭東RC（創立昭和36年）を生み、伊達RCが洞爺湖RC（創立昭和44年）を生み、室蘭東RCが登別RC（創立昭和44年）、室蘭北RC（創立昭和46年）を誕生させるという系譜を持つ。“鉄は国家なり”という大号令のもと大規模な製鉄工業地帯を形成した室蘭は、“出船、入船、それ船船…街（まち）はね、街は繁盛でよいとさのさ…今日も黄金（こがね）の波が打つ…”と室蘭音頭に歌われているように、昭和期は伊達登別を副えに一大経済圏を成していたが、近年は世界の趨勢に抗しがたく製鉄、造船、製油、セメント業に少しずつかげりが見え、西胆振の領袖的な存在であった室蘭地方は元氣、活力がない。

室蘭、室蘭東、室蘭北RCの三クラブは会員200名を超えた時期もあったが、中小企業、町場の商業の活力が失われ、会員120名前後と低迷している。伊達RCは70名以上の会員を有した時もあったが、現在54名といまいち振るわない。食糧の危機と叫ばれている昨今、農業の振興で今一度繁栄をむかえるか。山紫水明の湖と温泉を抱える洞爺湖RCは二度の噴火（有珠山）に遭いながら頑張って9名の会員で命脈を保っている。昨年7月のサミットの開催で、世界にその名と存在を知らしめたあおりを受けて観光客の誘致に期待が持たれる。

抜群な知名度と潤沢な湯量の温泉地を有しながら、規模の大きな産業を持たない登別RCもいまいち冴えない。会員30名を軸に入退会を繰り返している。東アジア諸国（主に台湾、香港、韓国）を中心に徐々にではあるが海外客が増えているが一縷の望みである。

西胆振地方を一体化して、山、海に恵まれた雪も少ない温暖な地の利を生かして、農業、水産、工業技術、観光を最大の目玉として大胆な創意を加えるなら、期待の持たれる地域に変貌する可能性が充分にあります。

しかし、今始まった世界同時不況がちょっと邪魔をしますが、それが沈静した時、第9グループの6クラブは往年の力を取り戻して会員の増加、奉仕活動の活性、更にはロータリークラブの発展につながるのではないかと夢想します。

知里幸恵興味深く 6RC 120人、ビデオ見入る

都市連合会
プログラム

国際ロータリー第2510地区第九グループの第三十七回都市連合会プログラム（インナーシティミーティング）がこのほど、登別市中央町のホテル平安で開かれた。

登別、室蘭、室蘭東、室蘭北、伊達、洞爺湖の六RCが持ち回りで開催しており、今回は登別RCが担当。テーマを「のぼりべつから文化の発信 知里幸恵の物語」自然と共生・共存する魂を求めて

「皆さんの特段の協力に感謝し、有意義に終わることを祈ります」と歓迎の言葉を述べ、来賓の小笠原春一市長があいさつ。プログラ

ムには「アイヌ神謡集」を著した登別出身のアイヌ女性・知里幸恵の生い立ちなどをまとめたビデオを鑑賞。「幸恵に焼き付いているのは登別の海や山、川」などの内容に興味深く見入っていた。

（有田太一郎）

登別出身のアイヌ女性・知里幸恵に理解を深めた都市連合会プログラム

2009年（平成21年）2月24日（火曜日） 室蘭民報掲載

第21回 全国ローターアクト研修会の報告

地区ローターアクト代表ノミネー 安藤 由香里
(札幌南RAC)

全国34地区のローターアクターが年に一度集まる、全国ローターアクト研修会が平成21年2月21日～22日の二日間にわたり、長崎県長崎市（RI第2740地区佐賀・長崎）で行われました。日本国内のロータリアン・ローターアクターが集い、よりよい関係を築き、ローターアクトの発展に努めるという趣旨の元に開催しています。

研修会には金子長崎県知事（欠席のため副知事出席）はじめ田上長崎市長の来賓に加え韓国第3600地区と第3640地区の3名のローターアクターと鈴木第2740地区ガバナーをはじめとする115名のロータリアン、約480名のローターアクトの登録で盛大に行われました。

第2510地区からは、柳地区RA委員長や蝦名地区RA委員をはじめとするロータリアン2名、ローターアクター17名という大人数での登録でしたが、大雪のため飛行機が欠航という惨事にみまわれ、残念ながら参加できないメンバーも数名いました。

今回の大会テーマは、「E」 Evolution（進化）・Ecology（環境問題）・Emotion（感動）・Enjoy（楽しみ）・Eternal（永遠）という5つのEが今回のテーマでした。一般参加者プログラムではEcology（環境問題）に関して、各企業や団体がどのように環境問題に取り組んでいるのかを聴いたり、地球環境についての基調講演を聴いたりと参加したアクターは、自分でできる小さなことはもちろんですが、今後ローターアクト活動をしていく中で環境問題について考え、つなげていければと思います。

一般プログラムと並行に行われていたのが義務出席者会議です。ロータリー部門と地区RA代表・地区RA幹事部門・地区RA代表ノミネー・次期RA地区幹事部門の3つに分かれそれぞれの議題にそって会議をしました。

今、私は地区RA代表ノミネーという立場でこの会議に出席しましたが、各地区の同じ立場の人の意見や各地区の現状、これから自分が地区をどのようにしていきたいかなどいろんな話を聴くことができ、このような会議に初めて出席した私にとっては、とても刺激的でした。自分が次年度どのように地区にかかわっていくか、どうしていきたいのかを考えるととてもいいきっかけになりました。

懇親会では、長崎の伝統芸能の竜踊をみせて戴いたり、長崎県の料理が多数並んでいたりと、少しの時間でしたが長崎を堪能することができました。

次年度に向けて、やりたいことはたくさんあります。各クラブ毎にきちんと例会やその他の活動をするのは基本ですが、地区としてもみんなで協力して、団結して、もっともっと盛り上げていきたいです。みんなが楽しく、充実したローターアクト活動が行えるように少しでも力になればと思います。ロータリアンの皆様、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



札幌東ロータリークラブ 創立50周年記念継続事業

特別講演会

『ヒブワクチン接種促進運動』

～子どもたちのいのちと未来を守るヒブワクチン!～

クラブ会報委員長 上田 進
(札幌東RC)

2009年2月8日、創立50周年の継続事業として当クラブ主催による『ヒブワクチン接種促進運動』～子どもたちのいのちと未来を守るヒブワクチン!～（協賛：札幌市小児科医会）の特別講演会が札幌市医師会館で開催され、休日にも関わらず210名を超える参加者が会場を埋めました。冒頭、星野恭亮会長より、世界で最も貧弱な日本のヒブワクチン接種の重要性を知らせるために、当クラブが率先して取組んでいくとの決意が語られました。



基調講演では、富樫武弘先生（北海道小児科医会会長）より「ヒブ」についての講演を頂き、「全国100万人全ての0歳児に対し、早急に定期予防接種化を行うべきである」という意見で講演を締めくくって頂きました。

引き続き、山中樹会員の進行でパネルディスカッションが行われました。行政によるヒブワクチン接種公的補助の先鞭をつけた鹿児島市で、その実現に尽力された西順一郎先生（鹿児島大学医学部小児科）、多くの細菌性髄膜炎の子どもたちを救ってきた大島美保先生（札幌徳州会病院）、患者ご家族を代表して安達佳織様、そして土谷享RI第2510地区ガバナー補佐の4氏が熱心にお話をして下さいました。また、土谷ガバナー補佐から、RCの奉仕活動の紹介があり、特に全世界でのポリオプラス運動が大きな成果を上げつつあることが報告され、その上で当クラブの『ヒブワクチン接種促進運動』を高く評価し、この運動が他のRCに広がって行くことへの期待を表明して頂きました。

最後に、コーディネーターの山中会員より、休日にも関わらず多くの方々のご参加を戴いたことに感謝するとともに、今後とも当クラブと一緒に『ヒブワクチン接種促進運動』を進めて頂きたいと呼び掛け、二時間半に及ぶ講演会は終了致しました。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

留 萌 R C	関野 政人	会員 (2回)	2月27日
栗 山 R C	小寺 進	会員 (1回)	2月27日
札幌はまなすRC	戸部アナマリア	会員 (2回)	2月 6 日
札幌西 R C	石丸修太郎	会員 (1回)	2月27日
札幌東 R C	朝倉 正人	会員 (2回)	2月27日
札幌清田RC	西澤 寛俊	会員 (1回)	2月27日
	阿部 哲夫	会員 (2回)	2月27日
札幌幌南RC	近藤 浩	会員 (1回)	2月27日
札幌南 R C	川井 一男	会員 (2回)	2月27日
	夏井坂信幸	会員 (1回)	2月27日
新札幌 R C	梅田 鉄夫	会員 (1回)	2月27日
小樽南 R C	斎田 義孝	会員 (2回)	2月13日
恵 庭 R C	弘中 正利	会員 (2回)	2月 6 日
	大川 健一	会員 (2回)	2月 6 日
	山澤 興治	会員 (1回)	2月 6 日
	藤井 哲夫	会員 (2回)	2月20日

■ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	北澤 治雄	会員	2月27日
札幌はまなすRC	松尾 浩之	会員※	1月16日
	柳井 康晴	会員※	1月16日
	光川 眞量	会員	2月 6 日
札幌清田RC	小島 健	会員	2月27日
	三澤 龍子	会員	2月27日
札幌幌南RC	下出 道弘	会員	2月27日
札幌南 R C	櫛引 拓禎	会員	2月27日
倶知安 R C	斎藤 知之	会員	2月27日
	石本 要	会員	2月27日
	鈴木 保昭	会員	2月27日
恵 庭 R C	斉藤 茂生	会員	2月 6 日
	宮内 光則	会員	2月 6 日
由 仁 R C	蜂谷 光雄	会員	2月27日
室蘭北 R C	中田 孔幸	会員	2月27日
登 別 R C	千葉 泰二	会員	2月27日
	仲川 弘誓	会員	2月27日
函館五稜郭RC	鈴木 良二	会員	2月20日
北 斗 R C	佐藤 竜也	会員	2月27日

※ (寄付者訂正)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

札幌南 R C	小林 昌志	会員 (9回)	2月17日
---------	-------	---------	-------

■米山功労クラブ

新札幌 R C	14回	2月24日
---------	-----	-------



〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報として

- ◎ [他人の金で奉仕をするという虚構]
佐藤千壽PG遺稿 2009 8p (D.2790 月信)
- ◎ [ロータリーを見直そう]
千 玄室 2008 8p (D.2650 地区大会)
- ◎ [識字力あれど識智力のない日本]
佐藤千壽・深川純一 2008 18p (D.2680 地区大会)
- ◎ [決議23-34その存続の危機]
田中 毅 2008 12p (D.2710 IM報告書)
- ◎ [ロータリー理解推進月間にあたって]
戸田 孝 2009 1p (D.2660 月信)
- ◎ [ロータリー理解推進月間(ロータリーの広報を考える)]
塚原房樹 2009 2p (D.2510 月信)
- ◎ [ロータリー理解推進月間]
足立功一 2009 12p (D.2500 月信)
- ◎ [ロータリー理解推進月間によせて]
三軒久義 2009 1p (D.2640 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

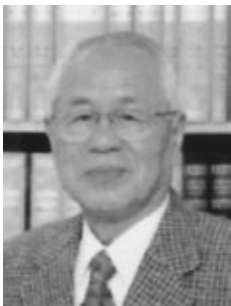
ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

4月のロータリーレート 1ドル=98円

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



蛭原 弘
(滝川RC)

■入会/
09年1月8日
■職業分類/
学校法人



渡辺 浩司
(滝川RC)

■入会/
09年1月8日
■職業分類/
冷暖房設備工事業



藤岡 里美
(滝川RC)

■入会/
09年3月5日
■職業分類/
建設業



小林 信幸
(伊達RC)

■入会/
09年1月13日
■職業分類/
砂糖製造



荒谷 信幸
(室蘭北RC)

■入会/
09年2月24日
■職業分類/
損害保険業



田中 政数
(白老RC)

■入会/
09年3月1日
■職業分類/
建設業

訃 報



佐原正三 会員(函館RC)
2009年2月22日逝去(享年74歳)

【ロータリー歴】
1998年7月30日 再入会
2000~01年度 国際奉仕委員長
2002~03年度 プログラム委員長
その他委員長を
務めました



平野 了 会員(岩内RC)
2009年2月28日逝去(享年81歳)

【ロータリー歴】
1962年4月 入会
(チャーターメンバー)
1964~65年度 副会長
1965~66年度 会長
1974~75年度 分区代理
その他各委員長歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

2009-2010年度 地区協議会開催のご案内

日 時 2009年4月12日(日) 登録開始: 午前9時 本会議開会: 午前10時
場 所 滝川ホテル三浦華園 滝川市花月町1丁目2-26 電話0125-22-2101



国際ロータリー第2510地区 渡邊恭久 ガバナー・エレクト事務所
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル内
電話(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail: rid2510@rotary.gr.jp

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.2.28	増減	内女性	
1	深 川	4	36	35	-1	3	81.31
	羽 幌	4	48	48	0	1	86.41
	妹 背 牛	3	9	9	0	0	77.78
	小 平	4	14	13	-1	0	76.92
	留 萌	3	45	43	-2	0	88.33
	小 計		152	148	-4	4	82.15
2	赤 平	4	29	28	-1	1	89.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	88.29
	砂 川	3	52	55	3	0	96.88
	滝 川	4	99	100	1	2	77.15
	小 計		224	220	-4	3	87.83
3	美 唄	4	38	37	-1	0	81.40
	江 別	4	34	34	0	1	91.91
	江 別 西	3	27	30	3	3	84.44
	岩 見 沢	4	87	89	2	0	89.94
	岩 見 沢 東	4	34	34	0	4	88.28
	栗 沢	3	23	24	1	1	95.60
	栗 山	4	26	27	1	2	97.00
	当 別	4	34	33	-1	0	93.18
	小 計		303	308	5	11	90.22
4	札 幌	3	117	122	5	0	98.48
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	22	-3	4	79.55
	札 幌 北	4	43	43	0	6	95.05
	札幌モーニング	2	49	51	2	0	80.00
	札 幌 西	4	62	62	0	4	94.33
	札 幌 西 北	4	39	38	-1	5	94.08
	札 幌 手 稻	4	34	34	0	1	98.53
	小 計		387	388	1	21	92.50
5	札 幌 東	4	120	123	3	0	96.29
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	3	65	64	-1	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	3	35	35	0	3	92.16
	札 幌 南	4	92	89	-3	0	98.04
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	86.10
	札幌セントラル	4	14	13	-1	6	67.30
	新 札 幌	3	32	30	-2	3	93.54
	小 計		385	381	-4	18	91.68
6	岩 内	4	21	22	1	0	83.75
	俱 知 安	3	46	45	-1	4	67.40
	小 樽	4	69	68	-1	0	86.15
	小 樽 南	4	73	73	0	0	93.88
	小 樽 銭 函	4	21	22	1	2	75.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	81.81
	余 市	3	39	40	1	4	90.00
	小 計		280	281	1	10	82.57

2月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,829人(102人)
増加会員数	13人
当月平均出席率	85.65%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.2.28	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	64	1	3	76.20
	千歳セントラル	4	35	37	2	2	87.30
	恵 庭	3	39	38	-1	0	74.54
	北 広 島	3	17	17	0	0	86.27
	長 沼	4	20	20	0	3	80.00
	由 仁	4	10	11	1	1	72.50
	小 計		184	187	3	9	79.47
8	え り も	4	22	23	1	0	93.47
	三 石	4	15	15	0	1	93.33
	様 似	4	23	24	1	1	94.30
	静 内	3	72	73	1	1	81.41
	浦 河	4	34	34	0	2	83.09
	小 計		166	169	3	5	89.12
	9	伊 達	4	53	55	2	0
室 蘭		4	43	44	1	0	89.56
室 蘭 東		3	41	37	-4	0	82.83
室 蘭 北		3	34	37	3	2	100.00
登 別		3	31	31	0	2	83.87
洞 爺 湖		5	9	9	0	0	100.00
小 計			211	213	2	4	88.77
10	函 館	4	87	86	-1	0	69.77
	函 館 亀 田	4	45	44	-1	2	97.03
	森	3	34	35	1	0	71.40
	七 飯	4	16	17	1	0	66.10
	長 万 部	3	10	10	0	0	73.33
	函館セントラル	4	24	25	1	1	71.88
	小 計		216	217	1	3	74.92
11	江 差	4	19	20	1	2	70.00
	函 館 五 稜 郭	4	55	55	0	0	99.53
	函 館 東	3	45	46	1	4	86.12
	函 館 北	3	30	31	1	0	88.85
	北 斗	4	19	17	-2	2	64.70
	松 前	3	5	5	0	0	60.00
	小 計		173	174	1	8	78.20
12	白 老	4	26	28	2	0	78.50
	苫 小 牧	4	50	54	4	2	87.88
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	83.65
	苫 小 牧 北	4	34	35	1	2	93.14
	小 計		135	143	8	6	85.79
合 計		2,816	2,829	13	102	85.65	

地区カレンダー（4月・5月）

4月 ロータリー雑誌月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	地区協議会 (滝川) 洞爺湖RC創立40周年記念式典
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	米山奨学生カウンセラー研修会他 (札幌)
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	韓国第3700地区大会 (大邱)
25 (土)	韓国第3700地区大会 (大邱)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

5月	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	憲法記念日
4 (月)	みどりの日
5 (火)	こどもの日
6 (水)	振替休日
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	
10 (日)	
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	長沼町国際交流フェスティバル (長沼)
17 (日)	深川RC創立50周年記念式典及び 第1グループIM (深川)
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	羽幌RC創立30周年記念式典
31 (日)	

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 函館亀田RC：例会場の変更について
ホテルオークランドが平成21年3月31日をもって閉鎖となりましたので、4月6日の例会より下記に例会場を変更致します。宜しくお願い申し上げます。
例会場：ロワジールホテル函館 函館市若松町14番10号
電話0138-22-0111
- 江別RC：4月2日(木)移動例会 12:30～
場所：勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103)
4月16日(木)移動夜間例会 18:30～
場所：マキシドルパ(江別市高砂町6 江別市民会館内)
4月30日(木)休会
- 室蘭北RC：4月21日(火)夜間例会 18:30～ 場所：ホテルサンルート室蘭
- 岩見沢RC：4月2日(木)夜間例会 18:00～ 場所：ホテル・サンプラザ
4月30日(木)休会

《地区組織図の変更について》

地区クラブ奉仕委員会委員の山名善久会員(札幌南RC)が2月4日付でクラブを退会されましたので、組織図から削除をお願い致します。

編集後記

IM余話。昨2月21日(土)、第4、第5グループ(札幌地区)と第9グループ(室蘭地区)、きせずして同じ日にIMを開催した。第9グループはさておき、札幌地区のIMは、かの高名なノーベル賞受賞者、小柴昌俊先生をお招きしてご講演を戴いた。折悪しく前夜来のダブル低気圧に見舞われ、羽田発千歳行は全便欠航となったが奇跡的に千歳に降り立った1便に偶々、小柴先生が乗り合わせた次第で、開催者の大島ガバナー補佐、土谷ガバナー補佐をはじめ札幌西北RCの面々全員、安堵の面持ちであった。当日、そうありなんと欠席の場合の代行講演者を在札の方をお願いをしたそうだが、全員とてもノーベル賞授賞者の代理にはとてもとの尻込みで、困った主催者は拝み倒すように丸山淳士PGIにお引受けを戴いた。男気を出したまでは良いが、丸山PGIは緊張のあまり数日準備に追われたとの話。折角だから別の機会にご講演を願いたいものである。

小柴先生の到着が遅れたためアトラクションを先に演じた。ステージ所狭しと50数名の札幌市立北陽中学校の生徒達による合唱だ。その清新な歌声に一同心を洗われるような感じに打たれ、中には涙ぐむ会員まで現れた。出演のいきさつはこうだ。昨年末、札幌あけぼのRCの会長、幹事が思いつめた様子でご相談がありますと、ガバナー事務所に大島ガバナー補佐とお見えになった。テリトリー内の中学校長より合唱祭の援助をお願いされたとの事。その学校には札幌あけぼのRC面々のお子さんやお孫さん達が通ってい

て、PTA会長もメンバーである。毎年、合唱祭の会場が札幌市民会館で開催されていたが、本年新設会館のため使用料が大幅に値上がりし開催者の資金ではどうにもならぬとの事。聞けば各種アカデミックなコンテストと違い、オフに出場に恵まれぬ小規模な中学校を中心に開催されている指導教師達の研究会によるレベルアップの合唱祭で、行政・各機関の援助は全くないとの事。ジンときたガバナーは助力を約束し、第4、第5グループのガバナー補佐に協力を依頼した。結果、各RCより資金提供され(1クラブ数万円程度)無事合唱祭が行われ、そのお礼にとの出演だったわけである。

年度末の各種研修会合が目白押しで開催される。皮切りは砂川RCホストの会長エレクト研修セミナーである。地区内の全ての次期会長の出席を得ての勉強会であった。遠隔地での開催のため、並行してガバナー補佐会議、地区チーム研修セミナー、R財団・米山セミナー等盛沢山の内容であった。ホストクラブの采配は実に見事で会合の成果を上げるのに十分な働きであった。一際目についたのはコーヒーパーに砂川自慢の名物スイーツの数々の出品で出席者の気持ちを和やかに包んだ模様だ。追っかけ地区協議会も4月12日に行われる。新年度に向け各RCの新役員の方々にはご苦勞をお掛けするわけだが、新ガバナーの意を汲んで十分な準備で新年度にのぞまれるよう、切にお願いをする次第です。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：札幌 平岡公園の梅林
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.11
2009
5

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



R1国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 国際ロータリー第2510地区協議会報告
- 4 ————— 私の“Rotary Notes”
薄れゆく神への畏れ
- 6 ————— ガバナー補佐レポート
第6グループ・クラブ紹介
- 7 ————— 第10・11グループ合同 IM開催報告
- 10 ————— 特別寄稿
日本における正三の“職業倫理観”とロータリーの“職業奉仕”
- 12 ————— 第19回 日本ロータリー親睦ゴルフ(JGFR)北海道大会開催のご案内
第28回 全国ロータリークラブ甲子園親睦野球大会出場決定戦のお知らせ
- 13 ————— ロータリー財団寄付/米山記念奨学会寄付/文庫通信
- 14 ————— 新入会員のご紹介/訃報
- 15 ————— 出席率・会員数
- 16 ————— 地区カレンダー(5月・6月)
- 17 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

ロータリーを終わらせないためにも

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

ちょっと衝撃的なタイトルで気を引いてみました。実際のところ、今年度の事業は残り2ヶ月でほぼ終わりがかけています。今回の地区協議会が済んで、次年度のRIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」が地区内に浸透しているところです。さて今年度のテーマはなんだったでしょう。そういえば昨年度のテーマは。答えられるのは、当該年度のガバナーだけかも知れません。

ノミニー、エレクトと、ガバナーに近づくにつれ、やりたいことをどうやって実現させようかと、老いた脳細胞を奮い立たせます。それは楽しい準備期間でもあり、不安も伴います。えてして不安の部分が現実になります。ガバナーは、敬意を表されても権力者ではありません。そのことが、ガバナーになるとよくわかります。思い通りにならないことは多々あります。細かい事業だけではなく、基本方針さえも揺るがされます。当然やるべきことが実現できない、させようとしないうロータリアンが少なからずおります。語弊を恐れずに表すれば、絶望感を抱く事があります。

ガバナーの動きは、すべてガバナー事務所でまとめています。上半期は公式訪問で埋まります。下半期もIMや周年式典など、ある程度の予定が年度始めから入っています。それを確認もせずに行事を組み立てる委員会が多々あります。打診があっても先約があれば、残念ながら欠席せざるを得ません。それは当たり前踏む手順です。既に行事日程は決まっておき、事務所に伝えてみたら行事が重なっていた。それではガバナーは出席できません。日程変更の努力も無く、それを企図して、つまりガバナーを端からはずして行事を進めようという魂胆だとしたら、ガバナー軽視も甚だしいと曲解致しかねない事もあるかも知れません。

こうした話題は、他地区でも聞かれます。どのガバナーも、全方位に通じているわけではありません。不得手な分野もあります。新世代に疎いガバナーの多くが、インターアクトやローターアクトからの情報がまったく無いのに違和感を覚えています。とりわけ事後報告で済ませてしまいます。尋ねれば「だってガバナーは若者に興味ないでしょう」。これを優しい言葉に翻訳すると「新世代の行事でガバナーのお手を煩わせるのめいかなものかと思ひまして」という事かなとも思われます。確かに行き違いがあったのかもしれませんが。新世代活動をあからさまに下位に見るガバナーもいました。そういう年度が続いて、新世代側が辟易して「もうガバナーには頼まない」となったのなら、不幸なことです。しかし、手続きは手続きです。RACやIACの予算編成はガバナーの仕事ですし、交換学生が行くにも来るにもガバナーが国際的な責任を負います。月信を読んでみたら、ガバナーが知らない地区行事の報告が掲載されている事があります。この事態がおかしいと感じられないのでは、おかしい。おかしいと感じられないロータリアンが、若者に何を教えるのか疑問を感じます。

数年前の受入学生の歓迎会の事です。ガバナーが挨拶をしている足元で、派遣・受入学生らはあぐらをかいて座っていました。地区青少年交換委員は誰も注意しません。見かねた出席者の一人が直接、学生に立つよう促しました。学生らは渋々立ち上がりました。

インターネットで「ロータリー」「留学」と検索してみると、派遣候補生の赤裸々な心情がブログに綴られています。ロータリーへの感謝は、1割。あとは「ロータリークラブとかいうのがタダで留学させてくれるらしくてラッキー」「どうせ金持ちの道楽」。赤裸々もここまで来るとお見事です。オリエンテーションでしっかり研修を受けてもらわねば。と思ったら「つまらない。ロータリーなんて嫌い。でも来日している留学生たちと会えるのは楽しみ」。これは全国的な傾向の様です。帰国しても例会に報告に来ない学生もいます。大勢の関係者に物心両面で支援してもらってまで続ける事業なのでしょうか。

昔も好々爺というのはいました。一方で頑固親父、雷オヤジというものも存在しました。礼儀をわきまえない若者に喝を入れる役割を担う大人がいました。新世代活動は、若者を甘やかす事業だと誤解している向きも見られます。このおかしい事業が定着するようでは、ロータリーも終わりです。

何か新世代攻撃になってしまいました。負の部分の具体例を取上げてみました。来月号では楽しい話を書こうと思ったので、敢えて今月号はネガティブな話題を取上げてみました。御容赦下さい。

国際ロータリー第2510地区協議会報告

地区協議会実行委員長 篠島 弘
(滝川IRC)

去る4月12日(日)、午前10時より、滝川市に於いて地区協議会を開催しました。

メイン会場を滝川ホテル三浦華園に、サブ会場にはホテルスエヒロを利用して行いました。午前中の全体会議では、ジョン・ケニーRI会長エレクトの“The Future of Rotary is in Your Hands”「ロータリーの未来はあなたの手の手に」という国際ロータリーのテーマを受けて、第2510地区渡邊恭久ガバナーエレクトは「環境・人・子どもに目を向けよう」という基本方針を示されました。そして、この次年度RI第2510地区の基本方針を説明の後、4つの重点目標を掲げられました。これらの内容についてはガバナー月信No.10(4月号)の8~9頁に掲載されており重複するので割愛します。

次いで、塚原房樹次期地区研修リーダー(PDG)による「ロータリークラブは心の住まい」という演題で、ロータリー哲学を拝聴させて頂きました。

午後からは、会長、幹事、クラブ奉仕部門の3分科会は三浦華園で、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕部門の3分科会はホテルスエヒロに移動して約2時間の間、討議をしていただきました。

分科会終了後は再度、三浦華園に集合し、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4大奉仕部門の各リーダーから分科会報告があり、矢橋温郎DGによるガバナー所感、渡邊恭久DGEの謝辞の後、予定の時間内に地区協議会を閉会しました。

滝川市には大きな建造物が無いため分科会の会場を三浦華園とホテルスエヒロの2ヶ所で実施しなければならず、会場間の移動に関しまして参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。また、今回の地区協議会の運営にあたり、リーダー、サブリーダー、アドバイザーを務めていただきました地区役員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

なお、地区協議会の前日4月11日(土)、午後5時よりホテルスエヒロに於いて地区協議会打合せ会、懇親会、その後の二次会を開催したことを付記しておきます。





渡邊恭久ガバナーエレクト



塚原房樹次期地区研修リーダー（PDG）





薄れゆく神への畏れ

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《ロータリーと資本主義》

米山梅吉氏の三男、米山桂三氏は伝記「ロータリーと父米山梅吉」の中で、ロータリーの歴史について次のような記述をされています。「ロータリー運動というものは社会経済史的に見て、それは資本主義の発達という歴史的必然と資本主義の欠陥を救おうとする人物の出現という歴史的偶然との交錯したところで生まれた運動であると考えている」

もちろん資本主義の欠陥を救おうとする人物とはロータリーの創始者Paul Harrisを指しています。アメリカでは19世紀末から20世紀の初頭にかけて資本主義経済が独占資本主義の段階に達しつつありました。そのため資本主義の欠陥も現れて、労使の対立、抗争も激しくなりました。このような事態の下では、当時としては中産階級を地盤に、労使協調主義や社会改良思想が生まれてくるのは当然でした。Paul Harrisが親しい友人3人と語り、何か社会のためになるような仕事のできる集まりを始めようとしたのが、ロータリーの誕生となりました。ちょうどその時が初期資本主義最盛期の1905年であったことは興味あるところです。ロータリーは誕生のその時から資本主義の欠陥を補う宿命にあったのです。ではPaul Harrisとその仲間達は、どのような手法で資本主義の暴れ馬に手綱をかけようとしたのでしょうか。

《ロータリーは神を抜いたピューリタニズム》

Paul Harrisは、「ロータリーは決して宗教でもなければその代用物でもない。それは古くから存在する道徳観念の現生活における、ことに職業生活における実践にほかならない」と述べました。アメリカで生まれたロータリーはキリスト教のピューリタニズムがベースです。しかしPaul Harrisはロータリーの信仰の自由を表明するため、キリスト教のにおいを消そうと努めました。そこで「ピューリタンの戒律」を「古くから存在する道徳観念」と表現しています。幸い古来すべての宗教に内包している道徳観念は、盗む勿れ、殺す勿れ、姦淫する勿れ、貪る勿れ、嘘をつく勿れという5ヶ条でした。これらは人間の欲望の自戒を説いており、実践活動の指導原理に置き換えると正直、献身、誠意、友愛、寛容、勤勉、隣人愛となるでしょう。ロータリーの草創期一握りのロータリアンたちは資本主義の中で生活しなければならないので、まずその過激な商業上の生存競争の勝利者にならなければなりません。当時のロータリアンたちは皆ピューリタンでした。そこで劣悪な資本家に対抗するために、彼らはその競争の手段としてあくまで正直、勤勉を前提とし、友愛を根本とした企業経営をおこない、商業道徳を上げるということに専念しました。そしてその商業道徳の高揚による行動が信用を生み、やがて自己の企業に利益をもたらし、資本主義の世界で勝利者となっていきました。初期のロータリアンたちは企業経営にキリスト教の教えを実践していったのです。

《薄れゆく神への畏れ》

以前私は自分のガバナー月信に、ロケット開発の父として有名な糸川英夫博士の次のような言葉を紹介しました。「日本の科学には神との緊張感が無い。なぜならニュートンの力学やアインシュタインの相対性理論を取り入れた時、背後にある神は置き去りにしてしまった。政治も経済も同じで、日本では失敗しても神への倫理的責任はあまり問われない」と云われました。ロータリーも同じです。ロータリーは本来中世キリスト教神学の復興運動であります。日本にやって来た時には背後にある神は置き去りにされました。先に触れたようにロータリーはピューリタンの戒律を一般生活の中で道徳として実践しようとする運動であります。特にアメリカは日常生活の中に神が遍在しています。ちなみにアメリカの全てのドル紙幣の裏には「In God We Trust (神に我々は信を置く)」というフレーズが印刷されています。社会の関係性が成立することを保証する主体が神であります。またアメリカ国歌、政治家のスピーチの中にも神に言及する表現が多くあります。ロータリークラブの例会を教会の日曜ごとの礼拝になぞらえることは飛躍しすぎることかもしれません。しかしロータリーの哲学とその組織を考えると、両者が果たしている役割には、共通したものがまったく無いとは言い切れません。哲学と宗教は紙一重です。アメリカのロータリアンの中には日曜ごとの礼拝に欠かさず出ている人はたくさんいるでしょう。彼らは教会の他にロータリークラブの例会にも出ています。ところが幸か不幸か我々の多数はほとんど日常、宗教に関心を持っておりません。その結果、現代の社会は、「物と心」の乖離により嘆かわしい倒錯の世相になりました。戦後、GHQは教育基本法を作り、歴史や文化、伝統、宗教を否定し続けてきたのが原因です。特に宗教観の欠如により、自分の思想で自分を律することをやめた日本人は哲学を失い、ふわふわ波間を漂う根無し草となってしまいました。私は無理やり宗教心を植え付けなくてはならないと言っているのではありません。しかし今の資本主義社会の中で、一つのプレーキとして働くのは宗教意識です。五木寛之氏の言葉を借りると今回の100年に一度といわれる金融不安はかつてアメリカ人の持っていた「神への畏れ」が崩壊したから起きたのです。強欲になり傲慢になってしまったわけです。「金融工学はまやかしかつた」というより「神なき金融工学が崩壊した」のです。個人の意思を離れて怒涛のように動き回るグローバリズムの中でどのように行動することが、合理的であり、倫理的であるのか、ロータリーはここに新しい行動基準を探し求めなければならないのです。

現在の世界は、資本の論理で動いている世界です。端的に言えば金もうけに向かってすべての人が進んでゆく世界だということです。資本の論理はあくまでも論理であってそれ自体何も悪いことはありません。悪いのはその論理のみを是として神を抹殺したことです。

ロータリーに奉仕というコンセプトをもたらしたシェルドン哲学の特徴はデカルトが中世神学とたもとを分かってから250年の歳月を経ている時代に「偉大な未知なるもの」人間を超越するものの存在を認識していることでした。シェルドンは「もしかりに神なる言葉を好まない人があればその代わりに”プロビデンス”と呼んでもよい。森羅万象が存在すれば、それを作ったものがあるはずでありそれがプロビデンスすなわち造物主である。万物に秩序と掟を命ずる宇宙の摂理、つまり自然界の法則も、人間界の法則も等しく天地の理法から免れないものと考えます」と言いました。資本の論理で動いている今の世界に、もしシェルドンの「最も奉仕するもの、最も多く報いられる」「超我の奉仕」という2つの標語が実践されなければ人は住むことはできないでしょう。



第6グループ・クラブ紹介

地区ガバナー補佐（第6グループ担当）

佐藤 泰視

（岩内RC）

第6グループのエリアは丁度、後志支庁のエリアと重なり、7クラブの端と端では車で2時間以上の距離となります。その為か7クラブが一堂に会するのはIMの時ぐらいとなっておりますが、それぞれが特徴を持ったロータリー活動の歴史を積み重ねています。各クラブを歴史の長い順にご紹介します。

1番目は勿論小樽RCです。昨年の11月に創立75周年（1933年、昭和8年12月12日創立）の式典を終えました。谷内会長は「楽しいクラブでありたい」とこの1年を頑張っております。又CLPの導入の準備を進めクラブの更なる飛躍を目指しております。

2番目は小樽南RCです。来年創立50周年（1960年、昭和35年2月5日創立）を迎えるクラブです。今年度は福島会長の元、クラブの充実と四大奉仕の効果的な実践を目指し、又2年間の検討委員会の後、今年度CLPを導入、活気に溢れ、今年グループ内で最も例会出席率の良いクラブです。

3番目は余市RCです。1961年（昭和36年4月29日）創立で会員数は現在40名。CLPを導入して2年目のクラブですが組織編成を大きく3つに別け、中に会員研修委員会があり成果に注目しています。本多会長の「奉仕の実践はロータリアン一人一人が自分の出来る事をするだけで良い」は感じる言葉です。

4番目は岩内RCです。1962年（昭和37年4月10日）創立で会員数は現在22名と最盛期の半分以下と残念ながら低迷しています。今年度永井会長は「感動を共有できる活動を！」をテーマに、クラブの活性化は例会を楽しく、事業への参加が楽しくなる事がメンバーの満足感、達成感となり、「会員増強・退会防止」に繋がると頑張り、又今年度IM開催クラブとし頑張っており戴きました。

5番目は倶知安RCです。1964年（昭和39年12月3日）創立のクラブです。会員数は現在45名中4名の女性会員と3名のオーストラリア人がいます。世界的経済不況の中、まだまだ元気なニセコ地区を擁して活発な地域起こし事業、奉仕活動をしています。斎藤会長は今年度スタート前の昨年6月にご結婚し、新婚生活とロータリークラブ会長と多忙な毎日です。

6番目は蘭越RCです。1968年（昭和43年4月22日）創立のクラブです。会員数11名と小さなクラブですが、本間会長を中心に全員参加型の事業をしていくまとまりのあるクラブです。継続事業もこの地域でなくてはならないものとなり、まさに必要とされるクラブとなっております。又当地区のWCSにも積極的に参加しており、今年度創立40周年を迎え記念事業としてタイ国ノンカイRCのクリーンウォータープロジェクト事業にも参加しています。

7番目が小樽銭函RCです。1975年（昭和50年9月18日）創立のクラブです。会員数は現在22名とクラブは大きくはありませんが、地域に根ざした社会奉仕を中心に頑張っております。又、櫻場会長は会員の親睦を一番として家族会、5回のパークゴルフ大会と会員相互の融和、親睦に努めています。

以上で紹介を終わりますが、各クラブが会員、家族の親睦に活動のウエイトが重くなっているようです。5月を迎え矢橋ガバナー年度も終盤となりました。ガバナー補佐としての責務をとて全うできたとは思えませんが、お会いできた皆さんから沢山の勉強をさせて戴きました。ありがとうございました。

第10・11グループ合同 IM開催報告

ガバナー補佐（第11グループ担当） **光銭 裕二**
（函館五稜郭RC）

国際ロータリー第2510地区 第10・11グループの合同IMは、2009年4月4日（土）午後3時より矢橋温郎ガバナー、酒井正人パストガバナー、第3グループ担当吉野顕隆ガバナー補佐ならびに大金武夫地区代表幹事ご臨席のもと、七飯RC（第10グループ）・函館五稜郭RC（第11グループ）をホストクラブとして、ホテル函館ロイヤルに於いて開催されました。参加ロータリアンは第10・11グループの会員数387名のうち、257名と多数のご参加を頂きました。さらに当日、ロータリアンのご紹介でシンポジウムだけでも参加させてほしいという方も数名いらしたことから、テーマが話題性に富むものであったことをうかがわせました。

定刻午後3時の点鐘に始まり、国歌ならびにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱後、能戸彰IM運営委員長による「開会の言葉」ホストクラブ函館五稜郭RC阿彦治会長の「歓迎の言葉」へと続けました。その後ご来賓及び参加クラブのご紹介、IMリーダー挨拶のち矢橋温郎ガバナーよりご挨拶を頂きました。

すでにご存知のとおり今年度の国際ロータリーのテーマは「夢をかたちに」で、先に開催された地区大会のテーマは「北海道その夢」でした。そこで当グループのテーマもそれを受けて「道南圏その夢：新幹線が拓く道南の未来」としシンポジウムを開催いたしました。シンポジウムのメンバーは

- コーディネーター：公立はこだて未来大学教授 長野 彰先生
- コメンテーター：北海道大学大学院水産科学研究院客員教授
東京穀物商品取引所理事長 渡辺 好明氏
- パネリスト：北海道大学大学院水産科学研究院特任准教授
古屋 温美先生
- パネリスト：北海道商工会議所連合会政策企画部主幹
福井 邦幸氏
- パネリスト：函館バス（株）代表取締役社長、函館RC会員
寺坂 伊佐夫氏

以上の皆様にお話し、2015年新函館駅への新幹線開通に伴って道南圏がどのように変わる必要があるのか、函館が札幌への単なる通過駅にならないための対策はあるかなど、ただ夢を抱くだけではなく、その夢を形にするために新幹線が拓く道南の未来をパネリストの方に報告していただき、合わせて私達ロータリアンに何ができるのかを考えてみることにしました。



る必要性がある。

- ・新幹線開業に向けて、既存のJR路線の廃止代替案ではなく、合わせて地域生活バス路線等にも考慮した新幹線の二次交通網の構築が必要である。これによって広域観光の条件がそろい、点から面への観光が実現する。
- ・ロータリークラブの人的資産がそのパワーを生かす拠点となる必要性がある。

最後にコメンテーターの渡辺好明先生より、「新幹線の開通が目的の達成ではない。新幹線開通は単なるツールであり地域の活性こそが本来の目的である」と述べられた。

記念シンポジウムの内容が、身近でそして近い将来の問題であったこと、そして各パネリスト・コメンテーターの報告内容が非常にわかりやすかった事から、大変有意義な時間を過ごすことができたと考えています。

シンポジウム終了後の午後6時より会場を移し懇親会が開催されましたが、218名という多くのロータリアンの参加をいただき、和気藹々のうちに終了しました。



《IMについて》

1997年のDLP採用により、1998年版手続要覧からIMに関する記載は全て抹消されました。したがってIMは国際ロータリーの正式行事ではなく、現在海外ではIMを開催する地区はほとんど見当たりませんし、当地区においても一般地区資金からのIMへの助成金はなくなりました。このようなことからIMを開催するかどうかはガバナーの裁量で、各グループのガバナー補佐の意向に任されてはいるものの、懇親会を伴ったIM開催は予算的にかなり大変なものがあることも実情です。

そもそもIMの目的は、会員の親睦と知識を広げること、さらに会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されますが、今日本は100年に一度といわれる世界的同時経済不況の中にあります。しかしながらこの大変な時期にあっても、多くのロータリークラブが会員減少という重大な問題を抱えながら崇高な奉仕の理想と会長の強いリーダーシップのもと、それぞれの地域に根ざした奉仕プログラムを立案・実践しています。

また、以前のように一般会員が共に顔を合わせる機会が少なくなったこと、会員数の少ないクラブが多くなって、一つの奉仕プログラムを複数のクラブで行うことも必要になる今だからこそ、IMを通して第10・11グループの会員が一堂に会し更なる親睦を深め、合わせてクラブ間の協調を図ることが必要であると考えます。

《おわりに》

この度のIMが、5年先、10年先の道南圏の未来を予想するものとなり、ロータリアンの活力を引き出す一助となることを祈念しています。

最期にIM開催にご尽力いただいた能戸IM運営委員長、田嶋IM実行幹事をはじめホストクラブの皆様、そしてお忙しい中コーディネーター・コメンテーター・パネリストを快くお引き受けいただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



特別寄稿

日本における正三の“職業倫理観”と
ロータリーの“職業奉仕”地区職業奉仕委員長 網木 保利
(苫小牧東RC)

ロータリー理念の核は「職業奉仕」です。ここで大切なことは、これは職業倫理の高揚という考え方のみを言っているのではなく、奉仕の心と実践が相俟っているということ。それを称してロータリーの専門用語として「職業奉仕」と言われています。

次に職業奉仕の目的は何か。「ロータリーの綱領」第2項によると社会に奉仕する機会を得るために、事業や専門職務に高い倫理基準を保って、世の中にとって有用である全ての職業の価値を理解して、ロータリアン各自の職業に重みを持たせよう。換言すると、企業の根底にある自分のための「利益＝儲け」と他人のための「奉仕＝感謝、恩返し」を一元的に捉えなければならず、企業を繁栄させようと思うなら、この「利己と利他のバランス」の実践が大切なのだと言っています。したがって、私達は職業倫理の高揚に努めるのではなく、職業奉仕実践の結果として高い職業倫理が発揚されるのです。これが原始ロータリーにおける一般奉仕理念であり、お馴染みのA・Fシエルドン(1868—1935)の「He profits most who serves best」(最もよく奉仕するもの最も多く報われる)に始まり、やがて1927年の四大奉仕の分化に伴って現在の職業奉仕に引き継がれてきました。この点を押さえた上で、本日のテーマを進めて参ります。

ところで、日本人が昔から身につけている職業観があります。その代表が鈴木正三(しょうさん)の“職業倫理観”です。あまり聞き慣れない名前かも知れませんが、本来の“職業奉仕”とは違いますが、今日はこれをご紹介します。

今から370年程前の徳川初期、正三は“勤労と禁欲”、商取引における利潤など、職業倫理を日本で初めて説き、日本の近代資本主義精神の形成に大きな影響を与えたことで知られています。

正三(1579—1655)は号を石平道人、通称“しょうぞう”と称していました。本名は“まさみつ”。三河の国(現愛知県)加茂郡足助の庄則定村の生まれです。宮本武蔵と同時代人で、先祖代々松平家に仕えており、また母は今川家の家臣(粟生筑前の守の娘)で、武家の長男ですが、自らは高橋70騎の中のある家を継ぎ、鈴木家は弟に継がせています。昔は戦で殺生が繰り返されるので、鎌倉時代あたりから霊を弔ったり、家の断絶を防ぐため、その家族の中から出家させるケースが多かったのですが、ともあれ、武蔵は剣の道の完成に生涯を捧げましたが、正三は剣を捨てて、禅僧としてその道を極めます。

17歳の時、「宝物集」～(涅槃経第十三)お釈迦様の前身である雪山童子(せっせんどうじ)の話～を読んで感激、真理を究めようとし、そして42歳の時、突然出家、出家後は「しょうさん」と改名し、諸方を行脚し、三州千鳥山や山中村石の平に庵を結び、“燻る生薪(いぶるなまたきぎ)”の荒行の頃にはついに発病し、命を落としかけますが、肉食の実行で助かります。彼の生き様は、生きてこそ修行。修行が成就しないと大勢の人間を幸せに出来ないと考えたのです。2年で体調が回復し再び肉食を止め、その後も活動を行う傍ら、「驢鞍橋」、「万民徳用」、「盲安杖」、「麓草分」などを書き記します。61歳で大悟し、そして1655年6月25日、実弟旗本鈴木重之邸で77歳の生涯を閉じました。

正三の職業倫理観は「職業即(イコール)仏行」で宇宙を主宰するのは仏。万物には仏性が宿っている。その人間が世俗で生きていくに当たっては、何も仏法の悟りを開かなくても、各人が自分の置かれた環境の中で

一瞬一瞬を大事にして、天から預かった自らの職分（天職）にひたすら励むことで、救済されるはずである、と考えました。

晩年になって、職業倫理について「四民日用」という書物を書き記します。四民とは、武士、農人、職人、商人のこと。最晩年には了心庵にて、この「四民日用」に「修行之念願」・「三宝之徳用」とを加えて「万民徳用」として刊行します。

この「万民徳用」には4つの特徴があります。①仕事に打ち込んで、しかも仕事にとらわれない境地の説明 ②思想が世俗社会に深く結びつく構造を持つこと ③職業倫理（心構え）としての勤勉と禁欲と余暇の構造を説明 ④日本で最も早く商業利潤の倫理化、正当化について書き記したという特徴を持っています。ただし、正三の教えは彼の独善によるものではなく日本には過去から連綿と続いてきた大乘仏教以来の思想があります。例えば「神様」。西洋では、神は創造主と崇められ、人間は神の僕ですが、日本では早くから太陽を重んじ、人間一人ひとりを神と捉えます。母を「お日（おかかorおかあ）」又は「お日身（おかみ）」その母を守る父を「お尊（おとう）」と呼び、日本人を太陽を基本にして生きる人として教育されてきました。太陽に感謝し、太陽のようにまあるく、明るく仲よく、和をもって尊しとなす、と。このような日本独自の精神的伝統を言語化し、体系化に成功したのが鈴木正三であり、彼は仏教（禅）の視点から職業人としての根本精神、すなわち禁欲的な経済倫理とそれを支える職業倫理（召命思想）、あらゆる職業はすべて神の救いの道である、と説いたのです。この自らの仕事に、ある種の間人形成の道や職業を通して世の中に貢献していると考えた勤労観は、その後の石田梅岩や二宮尊徳、近江商人らに少なからず影響を与えています。

また、この正三の職業観は、ヨーロッパにおけるマックス・ウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」とも一致しているとして、中村元博士のほか大野信三、山本七平らによって広く内外に知られるようになりました。

日本では、最近特にこの職業倫理、勤労倫理を喪失又は見失ってしまった感がありますが、正三の教えは、人間の基本的な生き方が説かれており、職業を通じて自己を磨き、職業を通じて世の中の役に立つという日本人の職業観の原点がここにあるように思われます。もちろんこれは、当時の日本の民衆の中にも同じ職業観が生きていましたが、彼はこれを言語化、体系化したのです。しかもイギリスにおけるピューリタン革命の指導者だったバクスターが生まれたのは正三より40年程後のことですから、正三の説いた内容が如何に斬新なものであったかを、窺い知ることができます。

このような職業観がやがて270年後のシェルドンの説く職業奉仕理念と相通するのです。日本のロータリアンが職業奉仕に惹きつけられるゆえんであろうか。欧米ではロータリー財団100周年を8年後に控えて、人道支援に偏りがちですが、しかし、冒頭でも述べたとおり、ロータリーの職業奉仕はシェルドンの説く職業奉仕理念です。シェルドンの論文を読まずに職業奉仕を語ることはできません。さらにロータリー倫理訓や日本の過去の職業倫理について歴史を語り合うことも職業奉仕をより深く理解する上で参考になると思います。重要なことは、このシェルドンの職業奉仕を職業奉仕の原点として正しく認識することを基本としつつ、時代の要請に即応したあり方を身につけることで、結果として、現在の会員の保持につながるだけでなく、会員の量的増加と質的強化が実現できると思われます。ただ昨今の度を越えたマネーゲームや不祥事が後を絶たない現状を見るにつけ、心の問題として正三の職業倫理観は日本の伝統ある精神として日本が世界に発信できる、誇れるものであり、その意味で職業奉仕月間に因んであえてテーマに取り上げてみました。

今年の職業奉仕月間で地区委員長の綱木氏が各地のRCに呼ばれ卓話をされました。大変好評であったとうかがいました。（その後綱木氏とお会いする機会があり）そのまま終えるのも勿体ない話なので講話の草稿を戴き掲載したものであります。是非御高覧をお願いする次第です。尚詳細についてお知りになりたい方は綱木氏へ御連絡下さい。（地区代表幹事 大金武夫）

国際奉仕委員会ニュース

第19回 日本ロータリー親睦ゴルフ（JGFR）北海道大会開催のご案内

春光うららかな好季節となりました。皆様におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。さて、今年も「第19回JGFR北海道大会」を下記要項にて開催致します。全国のロータリアン、家族の皆様とプレーを楽しみ、おおいに親睦を計りましょう。第2510地区会員皆様の参加をお待ち申し上げます。

実施要項

- 大会日時 平成21年6月22日（月）午前8時スタート予定
- 大会会場 ザ・ノースカントリーゴルフクラブ
所在地：千歳市蘭越26番地 0123-27-2121
- 参加資格 全国のロータリアン（及び家族・ゲスト）
- 競技方法 18ホールズストロークプレイ（新ペリア方式）
- 参加登録費 お1人：35,000円（夫婦で参加される方2名で65,000円）
（ゴルフプレー代金、景品代、懇親会費、通信費他を含む）
- 参加申込先 第2510地区ガバナー事務所 電話011-207-2510
札幌北ロータリークラブ 灰野 篁 携帯090-2697-7005
長太義雄 携帯090-8900-9184

第19回JGFR実行委員会

- | | |
|----------|---|
| 大会会長 | 矢橋 温郎（RI第2510地区ガバナー） |
| 大会実行委員長 | 金子 賢一（岩見沢東ロータリークラブ） |
| 大会副実行委員長 | 坂田 知樹（岩見沢東ロータリークラブ） |
| 大会事務局 | 灰野 篁（札幌北ロータリークラブ）
長太 義雄（札幌北ロータリークラブ） |

国際ロータリー第2510地区

親睦野球大会に参加して 新しくなった甲子園に行こう！！

野球を通じて親睦の輪を広げよう

第28回 全国ロータリークラブ甲子園親睦野球大会 出場決定戦のお知らせ

- 開催日程 平成21年9月5日（土） 前夜祭
平成21年9月6日（日） 試合日
- 開催場所 新ひだか町静内古川町1丁目1番1号
古川公園 野球場
- ホストクラブ 静内ロータリークラブ

詳細につきましては、静内ロータリークラブまでご連絡をお願いいたします

新ひだか町静内吉野町3丁目1番1号 静内ウェリントンホテル内

TEL 0146-43-2481

FAX 0146-43-2495

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

留 萌 R C	中川 勝美 会員 (1回)	2月27日
滝 川 R C	和作 康市 会員 (1回)	3月27日
江 別 R C	金田 敏雄 会員 (1回)	2月20日
	柏尾 隆史 会員 (1回)	3月27日
	佐伯 宮彦 会員 (1回)	3月27日

■ポール・ハリス・フェロー

滝 川 R C	菅原 章二 会員	3月27日
	相馬 隆男 会員	3月27日
岩 見 沢 R C	竹内 友康 会員	3月31日
栗 山 R C	山崎 信治 会員	3月27日
静 内 R C	天野 晴緒 会員	3月20日
	大森 康正 会員	3月20日
森 R C	野田 剛 会員	3月13日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

滝 川 R C	川口 義弘 会員 (3回)	3月27日
	菅原 章二 会員 (1回)	3月27日
	鈴木 忠男 会員 (5回)	3月27日
札幌真駒内RC	柴田 薫心 会員 (1回)	3月19日

■米山功労クラブ

滝 川 R C	25回	3月27日
札幌真駒内RC	23回	3月19日



(259号)

〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

各地区ガバナー月信より

◎ [ようこそロータリーへ]

濱田 五左衛門 2009 3p (D.2800)

◎ [例会とロータリーの原理原則]

安孫子 貞夫 2009 1p (D.2800)

◎ [ロータリーの根本を考える]

井上 暎夫 2009 3p (D.2660)

◎ [Stigma 恥辱の烙印]

塚原 房樹 2009 2p (D.2510)

◎ [職業と奉仕]

近藤 雅臣 2009 2p (D.2660)

◎ [ロータリーの職業倫理訓逐条解説(7)~(9)]

青木 伸翁 2009 3p (D.2770)

◎ [識字率向上は世界平和への道]

諏訪 昭登 2009 2p (D.2710)

◎ [『ロータリーの森』とその後]

好川 嘉則 2009 1p (D.2650)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

5月のロータリーレート 1ドル=98円

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



オイドフ・
バトバヤル
(札幌大通公園RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
弁護士秘書



秋葉 睦子
(札幌大通公園RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
結婚コンサルタント業



橋口とも子
(札幌大通公園RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
ガス供給業



中村 淳溢
(砂川IRC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
ポリエチレン成型



瀬戸賢一郎
(岩内RC)

■入会/
09年4月2日
■職業分類/
生命保険



金子 雅
(岩見沢RC)

■入会/
09年4月9日
■職業分類/
信用金庫



樋口 道紘
(江別西RC)

■入会/
09年3月24日
■職業分類/
郵便業



望月 孝一
(伊達RC)


■入会/
09年4月7日
■職業分類/
電気工事



武田 司
(札幌モーニングRC)

■入会/
09年3月11日
■職業分類/
建築工事

訃 報



寄木清二 会員(室蘭東RC)
2009年2月15日逝去(享年60歳)

【ロータリー歴】
1988年9月 入会
1995~96年度 幹事
2002~03年度 幹事
2004~05年度 地区幹事
2006~07年度 会長
その他各委員長歴任

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
20年間100%出席



竹内敏雄 会員(恵庭RC)
2009年3月21日逝去(享年83歳)

【ロータリー歴】
1996年7月 入会
環境保全・広報・職業分類委員長
歴任

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.3.31	増減	内女性	
1	深 川	4	36	35	-1	3	86.29
	羽 幌	4	48	48	0	1	90.22
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	77.78
	小 平	3	14	13	-1	0	79.49
	留 萌	4	45	43	-2	0	86.59
	小 計		152	148	-4	4	84.07
2	赤 平	4	29	28	-1	1	98.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	88.51
	砂 川	4	52	55	3	0	97.66
	滝 川	4	99	100	1	2	80.00
	小 計		224	220	-4	3	91.04
3	美 唄	3	38	37	-1	0	85.10
	江 別	4	34	33	-1	1	88.24
	江 別 西	4	27	31	4	3	84.32
	岩 見 沢	4	87	89	2	0	88.22
	岩 見 沢 東	4	34	33	-1	4	82.05
	栗 沢	4	23	23	0	1	91.30
	栗 山	4	26	25	-1	2	96.00
	当 別	5	34	33	-1	0	87.80
	小 計		303	304	1	11	87.88
4	札 幌	3	117	120	3	0	98.77
	札幌あけぼの	3	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	20	-5	4	78.57
	札 幌 北	5	43	42	-1	6	92.37
	札幌モーニング	4	49	52	3	0	74.51
	札 幌 西	4	62	62	0	4	96.42
	札 幌 西 北	3	39	38	-1	5	94.73
	札 幌 手 稲	3	34	34	0	1	96.08
	小 計		387	384	-3	21	91.43
5	札 幌 東	3	120	120	0	0	96.80
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	3	65	64	-1	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	4	94.94
	札 幌 南	5	92	86	-6	0	97.07
	札幌大通公園	5	9	9	0	2	88.90
	札幌セントラル	5	14	13	-1	6	66.15
	新 札 幌	3	32	30	-2	3	87.01
	小 計		385	375	-10	19	91.36
6	岩 内	4	21	20	-1	0	86.25
	俱 知 安	4	46	44	-2	4	62.50
	小 樽	4	69	67	-2	0	83.33
	小 樽 南	3	73	72	-1	0	83.11
	小 樽 銭 函	4	21	22	1	2	72.00
	蘭 越	5	11	11	0	0	81.31
	余 市	4	39	40	1	4	88.30
	小 計		280	276	-4	10	79.54

3月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,797人(104人)
増加会員数	-19人
当月平均出席率	85.88%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.3.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	63	63	0	3	78.30
	千歳セントラル	4	35	38	3	2	83.10
	恵 庭	4	39	37	-2	0	79.66
	北 広 島	5	17	17	0	0	82.35
	長 沼	4	20	20	0	3	78.00
	由 仁	4	10	11	1	1	82.50
	小 計		184	186	2	9	80.65
8	え り も	4	22	23	1	0	93.43
	三 石	5	15	15	0	1	97.33
	様 似	4	23	24	1	1	93.30
	静 内	4	72	73	1	1	79.25
	浦 河	5	34	34	0	2	81.18
	小 計		166	169	3	5	88.90
	9	伊 達	4	53	55	2	0
室 蘭		4	43	44	1	0	64.53
室 蘭 東		4	41	37	-4	0	90.98
室 蘭 北		5	34	38	4	3	100.00
登 別		4	31	32	1	2	83.87
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	92.00
小 計			211	215	4	5	84.32
10	函 館	4	87	83	-4	0	75.04
	函 館 亀 田	4	45	42	-3	2	97.58
	森	4	34	35	1	0	72.90
	七 飯	4	16	17	1	0	64.70
	長 万 部	4	10	9	-1	0	74.90
	函館セントラル	4	24	25	1	1	78.26
	小 計		216	211	-5	3	77.23
11	江 差	4	19	19	0	2	72.00
	函 館 五 稜 郭	4	55	54	-1	0	99.36
	函 館 東	4	45	46	1	4	83.08
	函 館 北	4	30	30	0	0	95.00
	北 斗	4	19	17	-2	2	66.20
	松 前	3	5	5	0	0	80.00
	小 計		173	171	-2	8	82.61
12	白 老	4	26	29	3	0	86.10
	苫 小 牧	3	50	49	-1	2	92.37
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	95.16
	苫 小 牧 北	4	34	34	0	2	95.41
	小 計		135	138	3	6	92.26
合 計		2,816	2,797	-19	104	85.88	

地区カレンダー（5月・6月）

5 月	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	憲法記念日
4 (月)	みどりの日
5 (火)	こどもの日
6 (水)	振替休日
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	
10 (日)	
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	長沼町国際交流フェスティバル（長沼）
17 (日)	深川 R C 創立50周年記念式典及び 第1グループIM（深川）
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	羽幌 R C 創立30周年記念式典（羽幌）
31 (日)	

6月 ローターリー親睦活動月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	2009-2010地区会員増強セミナー（札幌） 新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議（札幌）
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	新札幌 R C 創立25周年記念式典（札幌）
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	白老 R C 創立30周年記念式典（白老）
21 (日)	国際大会（英国・バーミンガム）
22 (月)	国際大会（英国・バーミンガム） 第19回JGFR北海道大会（千歳）
23 (火)	国際大会（英国・バーミンガム）
24 (水)	国際大会（英国・バーミンガム）
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	2008～2009年度 終了

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 砂川RC：5月6日(水)休会
5月20日(水)夜間例会「観桜夜間例会」18:30～ 場所：砂川パークホテル
- 江別RC：5月7日(木)休会
5月21日(木)移動夜間例会 19:00～ 場所：原始林観光(江別市文京台31-4)
5月28日(木)移動例会 12:30～ 場所：勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103)
- 江別西RC：5月5日(火)休会
5月12日(火)夜間例会「観桜夜間例会」18:30～ 場所：トンデン館
5月19日(火)移動早朝例会「合同清掃奉仕活動」06:45集合 場所：野幌運動公園
- 岩見沢東RC：5月5日(火)休会
- 小樽RC：5月5日(火)休会
- 小樽南RC：5月1日(金)休会
5月15日(金)移動夜間例会「お花見(夫人同伴)」18:00～ 場所：朝里宏楽園
5月29日(金)移動早朝例会「ラジオ体操」06:30～ 場所：小樽公園見晴らし亭
- 室蘭北RC：5月5日(火)休会
- 苫小牧RC：5月1日(金)休会
5月15日(金)の例会を下記に変更
5月13日(水)移動夜間例会「お花見例会」18:00～ 場所：グランドホテルニュー王子

閑話休題

去る4月12日、滝川において地区協議会が開催されたが、滝川という地での初めての地区協議会ということで、ホストである滝川IRCの皆さんの並々ならぬ意気込みを感じられた。渡邊恭久ガバナーエレクトの人望も寄与されているものと思われるが、一丸となって事に当たられている様子は、誠にすがすがしいものであった。

午前中のセッションでは、渡邊ガバナーエレクトからRIの方針説明と地区の方針説明があったが、プロジェクターを使いサンディエゴでの風景など取り混ぜて平易な言葉を使われて行なわれ、参加者の理解を促す気配りが感じられた。

また、塚原房樹地区研修リーダーによるロータリーのお話は、坦々とした口調の中に実に味のあるお話が山ほど盛り込まれており大いに勉強となった。昨年7月よりガバナー月信への寄稿シリーズで、その知識の豊富さには感動を覚えていたが、今回のお話により、それは畏敬の念となった次第である。

午後の分科会では、それぞれの部門が大いに実のある話で充実していたと思われるが、会長部門では、予算の承認がスムーズに進み、渡邊ガバナーエレクトの安堵のお顔が微笑ましくさえた。しかしながら、地区の財政の逼迫は大いに気になるところである。

地区協議会の締めめのガバナー所感では、矢橋温郎ガバナーのウィットに富んだお話で会場のムードもすっかり打ち解けたものとなり、散会となった。滝川IRCの皆様には感謝の一言であるが、秋の地区大会ではもう一肌脱いでいただく事になるかと期待している。

クラブ会長エレクト、地区幹事、地区大会副幹事の他に地区GSE委員にまでロータリー活動に足を突っ込んでしまった今年度であるが、残りも2ヶ月と少々。

この間に地区幹事としては月信をこの号を含め3回と地区大会副幹事として地区大会記録誌の編纂と会計の清算、それにクラブ会長エレクトとして次年度事業計画の取り纏めをしなければならない。その上、佐々木ガバナーノミニより次年度地区協議会のホストクラブの依頼を受けてしまい、さらには、次々年度には当クラブの創立50周年を迎えるということで、当面はロータリー活動から抜け出せそうも無い。

しかしながら、自営業の身、時間に気楽な反面、自分の食いつ持は自分で稼がなければならず、業界の役職も引き受けてしまい、どのように時間を工夫できるか、誠にスリルとサスペンスに富んだ1年となりそうである。(石丸)

編集後記

地区挙げての集大成は地区大会である。それに次ぐイベントは年度前に行う数多くある研修会合の中でも大規模な地区協議会である。当地区では総勢5百数十名に及ぶ。新年度より始まるクラブ活動を効果あるものにするための勉強会である。地区内73クラブの精鋭集団ここに集まれの観。時は4月12日。空知の中核都市、滝川であった。

幹事部門では昨年の例に倣い、神部リーダーより冒頭いくつかの質問があった。列挙すると ①幹事に2度以上就任されている人は? ②クラブ事務所を設置もしくは専任の事務員を雇っているか? ③CLPを採用しているか? ④ホームページ、メール連絡等IT他の進行状況。答は①は73クラブ中14名、②は事務所も事務員もいないクラブは17クラブ、③は10クラブ、④は凡そ3分の2であった。結果から判断するに小規模クラブの幹事さんは大変ご苦労の様子である。何分、1人で全てのクラブ・マネージメントを消化しているからであり反面、都会の大規模クラブはプロの事務員にドブツリ依存している構図が浮か

んでくる。それぞれ事情があるにせよ複雑な思いに至る。柔らかめの話題。地区協議会の前夜に分科会のリーダー、サブリーダー、アドバイザーの打合せ会議を終え、夕食後街へ繰り出した。ロータリーご用達の店は大繁盛というのは、遠路前泊の他クラブメンバーがそれぞれ押し寄せ互いに交歓し、正にクラブを超えた広域の俄かファイアサイドミーティングと相成った。翌日の地区協議会を気にしながら席を変えながら相手を変えながら談論風発、正に呉越同舟。愉快な一夜であった。

次いでもう一席。ホストクラブに感謝。全体会議、部門別会議等、次々に変る会場設営、移動、案内誘導、運営管理、茶菓接待と大変目まぐるしい次第を、研修成果をあげるべく細田会長をはじめ滝川IRC会員全員出席でのご努力に参加者全員を代表して衷心より御礼を申し上げる次第。更に10月には地区大会で大挙して押し掛け、又々お世話に相成る事となるわけで楽しみである。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008~2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：北海道神宮の桜
撮影：田宮哲夫 札幌西RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナ一月信

No.12
2009
6

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



R国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— ロータリー親睦活動月間に寄せて
- 4 ————— 国際ロータリー第3700地区 地区大会に参加して
- 7 ————— 「ロータリーの友」とポリオ根絶計画
- 8 ————— 私の“Rotary Notes”
気高き岩頭 (The Great Stone Face)
- 10 ————— ガバナー補佐レポート
第2グループから初のガバナー輩出に燃えて
- 11 ————— テレビ北海道 (TVh) が主催する
「ゴールデンマーケット」に参加して
- 12 ————— ロータリー情報委員秋活動記
- 14 ————— 新入会員のご紹介 / ロータリー財団寄付 / 米山記念奨学会寄付
- 15 ————— 訃報 / 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について / 文庫通信
- 16 ————— 出席率・会員数
- 17 ————— 地区カレンダー (6月)



ガバナーメッセージ

年度末を喜びとともに

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 矢橋 温郎

(札幌西RC)

帝王学というのは、最近では流行らないかもしれませんが、企業や地域、ひいては一国のリーダーを育成するために必要なものとされています。

ロータリーにも、あのひとは将来の会長候補、ガバナーになるひと、と目される方がいます。当地区ではガバナーが高齢化しているため、その次を狙うにはしんどいところですが、他地区の若いガバナーと接して、このひとは近々RI理事になるのではないかと、もしかしたらRI会長とか、と想像するのも楽しいものです。

私は、入会10年目で幹事を務めたとき、次の10年で会長かなと、ずうずうしく計算しました。タイミングよくといいますか、会長のお話をいただく頃に地区の代表幹事を仰せ付けられ、その勢いで退会。会長をやらずしてロータリーを辞めてしまったのは、心残りでした。3年間のお休みを経て、復帰したらすぐに会長。それで満足だったのに、続いてガバナー補佐、揚げ句、ガバナー。あえて出戻りをガバナーにしようという発案と、それを受け入れる懐の深さが、当地区の素敵どころです。

まさかガバナーになるとは思っていなかったもので、何をしたらよいかをじっくり考える余裕はありません。とりあえず自分のロータリアンとしての矜持を思い起こしてみると、「四つのテスト」が真っ先に浮かびました。

「一業種一会員」は「職業奉仕」と共に、ロータリーがロータリーたり得るために必要な要素でした。それを放棄したとき、諸先輩が「ロータリーは終わった」と嘆かれました。ロータリーが普通のボランティア団体になりつつある昨今ですが、根強く支持されているのが「四つのテスト」です。一昨年来、ロータリアンによる犯罪や職業倫理における不祥事の報道が続きます。その都度、多くの会員から「四つのテスト」に背いた」と指弾する声が聞かれました。

そこで、例会での「四つのテスト」の唱和を、地区方針のひとつに挙げてみました。公式訪問で伺うと、あるクラブでは一節ずつ読み上げ、あるいは歌ったりと、みなさん上手に取り入れていました。

それでもロータリアンの不祥事は、絶えません。最近も他地区では、世間を賑わせた方がいます。絶えないといえば残念なことに、子供への虐待も増えています。今年度RIテーマ「夢をかたち」のロゴマークは、母親が子供を抱いている姿を連想させます。親が子を愛しみ育てるなんて当たり前だと思っていました。将来、「子供を虐待しない世の中に」なんてRIテーマが登場しないとは限りません。「一業種一会員」が消えたように、ロータリーも100年もやっていけば、時代に応じた形が求められます。「夢をかたち」した世代が子供虐待に悩むなら、その解決に手を差し伸べるのがロータリーです。少なくとも我が国では、きれいな水や識字率よりも優先して取り組むべき課題になるでしょう。

ガバナー在任中に、後期高齢者の仲間入りを果たしました。75歳の手習いで、携帯をタッチパネルの最新機種に替えました。かさかさの指先は、若者の脂ぎったのよりも操作に適しています。

RIからの連絡がメールで届くというので、仕方なくパソコンも始めました。今ではメールチェックを怠らないよう、週末も会社に来ております。暖かくなってきて、ますますやる気がみなぎってきましたが、ここで終えるのが単年度制のよいところ。

12名のガバナー補佐さん、無理なお願いを黙って聞いてくれてありがとうございました。

地区委員長のみなさん、予算削減の中、工夫しての事業推進に頭が下がります。

73名のクラブ会長さん、区内ロータリアンのみなさん、公式訪問での温かい歓迎を忘れません。

ホームクラブの札幌西ロータリークラブのみなさん、地区大会ではお世話になりました。

大金代表幹事、貴兄の心強いパートナーシップに1年間支えられました。

ガバナー事務所のみなさん、いつもおつかれさまでした。そして最後に、妻に感謝して。

ロータリー親睦活動月間に寄せて

地区クラブ奉仕委員会

副委員長 小田切 房之

(札幌東RC)

私は、札幌東ロータリークラブの会員です。先輩会員から「楽しくなければロータリーでない」と教わって来ました。お陰様で入会以来ロータリーを楽しく過ごしています。例会出席は勿論ですが奉仕活動や親睦を深める為の同好会にも積極的に参加しています。

私達のクラブには、ゴルフ同好会、音楽同好会、パークゴルフ同好会があり、近々軽音楽愛好会が発足しそうな気配です。かつては囲碁同好会もありました。それぞれ活動を少し紹介させていただきます。

・ゴルフ同好会

シーズン中、月例会の他に第5グループにも声を掛けて「ふれあいゴルフ会」も催しています。

・音楽同好会（イーストハーモニー）

かつて受入れ留学生を、お世話していたホストファミリーの方々が留学生のホームシックを和らげようとコーラスを通して励まし交流を重ねてきました。最近では身障施設を訪問して、園生と一緒に合唱し交流しています。5年程前からは全日本ロータリー親睦合唱祭に参加し2年前にはホストも務めました。

本年も6月に名古屋へ40名弱で参加します。

・パークゴルフ同好会

発足新しい同好会ですが、新しい仲間がどんどん増えています。

・軽音楽愛好会

セミプロ級の楽器演奏者達の愛好会です。

今まで納涼家族会や、クリスマス家族会で演奏していましたが正式に発足するそうです。

御存知の様に奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、同様の志を持った会員達が定期的会合を持つことにより交流、親睦を深め更にお互いを理解しあう。この為例会には必ず出席すること（100%出席）を目標とし例会が円滑に運営、機能するように奉仕するとあります。

皆様のクラブに於いても親睦活動プログラムは色々用意されていると思いますが伝え聞いた処によりますと静内クラブでは、「ロータリークラブに入会して甲子園に行こう!!」と呼びかけて会員増強に一役買っているそうです。

趣味を通しての親睦を深める、更に輪が広がって行く素晴らしい事だと思います。困みに「イーストハーモニー」が全日本親睦合唱祭に参加するきっかけになったのは会員のお医者さんが神戸の学会に出席した際、ロータリーバッジを見た同窓の会員から、自分はロータリーで合唱団に入って全国各地の合唱祭に参加しているのだと聞いたのが始まりだと思います。

ロータリーのバッジの話では小生も経験があります。

同業の集まりで島田に行った折り、会議の合間にお互いにロータリアンですね、近くに「米山記念館」があるから明日いつてみないかと誘われました。めったにない機会でしたので、偶然4名程誘って見学に行きました。とても楽しかったですし、その後仕事上の情報交換にも役立ち胸襟を開いて親しくお付き合いをしています。

国際奉仕委員会や新世代委員会を通して世界中のロータリアンと交流をしている会員も多勢いると思いますが、私たちのクラブにも台湾のメンバーとゴルフをしたり雪祭りを案内したり家族ぐるみで親睦を深めている会員がいます。

今回紹介したのはほんの一部です。皆さんのクラブでこんな親睦活動をしているよと言う情報を寄せて頂けたら幸いです。親睦を深めてロータリーをもっと楽しみましょう。

最後に会員増強の為のパンフレットと新会員の為の素晴らしい資料がみつかりました。きっと、お役に立つと思います。購入をお勧めします。

- ・ロータリークラブへ、お入りになりませんか
1冊 100円 申し込み 30部以上
- ・ロータリーへようこそ
1冊 350円

《お問合せ先》

淵上勝夫（勝山RC）

住所：〒911-0804 勝山市元町1丁目7-21

TEL：0779-88-0633 FAX：0779-87-2560

ロータリーの親睦活動

ロータリークラブには、四大奉仕以外に、親睦を深めるために、クラブ独自の特長ある楽しい行事・事業、そして同好会員でつくる趣味の同好会があります。

例会を離れて、会員同士が親睦を深める絶好の機会になります。

ぜひ参加してみてください。

(以下は、ほんの一例です)

楽しい行事・事業

- 三古都RCの友好懇談会
- 知的障害者更生施設支援
- 献血キャンペーンとイベント
- 少年サッカー大会
- プロバスクラブ交流会
- 情報集会を積極的に開催
- 姉妹クラブとの交流事業
- 帰国子女とその家族との交流会
- 無料よろず相談会
- 「世界の京都、まちの市民総行動」へ参加
- 近隣の温泉でリラックスしての例会
- 毎月の最終例会を夜間例会として、音楽、芸能関係の卓話にして家族会としている
- 「母と子のふれあいフェスタ」
- 60才以上の現会員と元会長及び家族で「友輪会」を結成して親睦を図っている。
- 青少年スポーツ大会（柔道/剣道/サッカー等）主催
- フレンドシップ例会（家族やロータリアンでない友人を例会に招く）
- 年5回親睦家族会
- みどりの森の清掃奉仕活動
- 地域在住外国人との交流会
- 納涼合同（他クラブと）例会
- 提唱しているRAC・IACとの共同事業
- 中学校との共同清掃奉仕や会食
- 川と「川クラブ」を結成し、交流している
- 子供達を集めて昔の戸外での遊びを一緒にする

特長ある委員会 (推奨クラブ細則に示されている以外の委員会名)

- ニコニコ箱
 - 歌唱（ソング）
 - 職業情報
 - 社会福祉
 - 国際親善情報
 - 友愛基金
 - 異業種研究
 - 就職相談
 - レディース
 - 健康管理
 - 健康相談
 - 趣味の会
 - みどりの森
 - プロバス
 - 青少年育英会
 - 情報ネット
 - 退会防止
 - 定款細則審議
 - 隣接クラブ協議
 - クラブ基金運営
 - ロータリー文学
 - 鳳凰賞実行
 - 地域交流推進
 - ロータリーボランティア
 - GOOD WILL基金
- など

同好会

- 友の輪会（ゴルフ）
 - 囲碁同好会
 - 静友会（茶道）
 - ひねり会（陶芸）
 - ほろにが会（ビール）
 - パソコン同好会
 - 青丹句会（俳句）
 - 写真同好会
 - 野球同好会
 - テニス同好会
 - 山登り会
 - 歩こう会
 - グルメの会
 - 山歩き同好会
 - コーラス
 - 長寿会
 - 謡曲、狂言同好会
 - 書道同好会
 - 詩吟同好会
 - スキー同好会
 - 無線同好会
 - ボウリング同好会
 - 見学鑑賞同好会
 - 御寺めぐり同好会
 - 麻雀同好会
 - ダンス同好会
 - 古都探求の会
 - 旅倶楽部
 - 釣り同好会
 - ヨット同好会
 - ジョギング同好会
 - 秘湯同好会
 - 気功教室
 - 無名会
 - アウトドア同好会
 - 観劇同好会
 - 男料理同好会
 - P.S会（パスト会長、幹事）
 - ワンダーフォーゲル同好会
 - 書画、骨董、美術同好会
 - IFPC（国際奉仕、平和サークル）
- など

国際ロータリー第3700地区 地区大会に参加して

ガバナー補佐（第2グループ担当） 神部 洋史
(滝川IRC)

【はじめに】

総勢15名の編成で4月23日から26日まで、国際ロータリー第3700地区（韓国大邱地区）の地区大会に出席するため、空路ソウル仁川空港へ向かった。12名が千歳空港から飛び立ち、仁川空港で函館からの酒井パスト・ガバナーご夫妻と韓国語通訳として元米山奨学生の申東煥さんも合流して、ソウル市内のロッテホテルに宿をとった。その夜は結団式よろしく懇親を深めた。翌24日は午前中ソウル市内観光、午後から韓国自慢の新幹線KTXで一路東大邱に快適な電車旅行をした。東大邱駅に到着すると現地の地区スタッフが早速宿泊先のホテル インタープルゴに案内されて到着。休憩後18時から同じホテルで行われた「RI会長代理歓迎晩餐会」に出席した。晩餐会後の二次会も設定されていて懇親を深めた。翌朝はホテル向かいの大型施設「EXCO」で行われた地区大会に出席して盛大に歓待されたので報告する。



『RI会長代理歓迎晩餐会』

地区大会前日（4月24日）18時より中相吉（シン・サンギル）RI会長代理（07-08年度ガバナー）を迎えて、朱七錫（ジュ・チルソク）総裁（＝ガバナー）主催の「RI会長代理歓迎晩餐会」が行われた。

朱ガバナー挨拶、中RI会長代理の挨拶の後、矢橋ガバナーが登壇して朱ガバナーからプレゼントを戴き、矢橋ガバナーがお礼の挨拶を行った。何故か乾杯が無いまま自然と開宴となり食事となったが、暫く経ってから矢橋ガバナーの乾杯（カンペイ）の音頭で会は一応頂点に達した。ところが何かトラブルがあったらしく、それを機に司会者が晩餐会のお開きの宣言をしたため、参加者が一気に帰り始め食事も終わっていないのに、我々だけが取り残される結果となってしまった。仕方なく用意されていた二次会のカラオケルームに移動した。何がどうなっているか事情が呑み込めない我々にとって、救いとなったのは、無理やり同行をお願いした次年度国際奉仕員の谷口君で、それまでの雰囲気をも払拭して盛り上げてくれた。お陰さまで第3700地区のガバナーは勿論、RI会長代理も加わり日韓友好に寄与できた。



中RI会長代理ご夫妻と



朱総裁ご夫妻と



宋俊起ガバナーエレクトご夫妻

『RI第3700地区 地区大会第2日目 本会議』

4月25日9時10分暗転の会場の中、大音響で迎えられた入場式で会場中央の通路から壇上に導かれ手を振りながら壇上まで行進した。その後参加クラブの紹介は、ガバナー補佐を先頭に新設のクラブから順に紹介され、壇上で各クラブ旗を先頭にクラブが紹介され拍手を受けていた。この間30分。さらにガバナーの点鐘の後、黙祷、両国国歌斉唱、ロータリーの綱領朗読、四つのテスト斉話が行われた。

ここまでは前面3箇所のスクリーンにメイン画面が大写しにされ、エレクトーン演奏によるBGMが流れる趣向で会は進んだ。広い会場は全席2,000席位あったと思うが、最初からの円卓席でノンアルコールの飲料やクッキー・フルーツが用意されていた。ガバナーの講演中也ザワザワしていて演者は汗だく、会場は私語が絶えない状況であったが、RI会長代理の挨拶も同様であった。またプログラムがハングル文字でしか表示されていなかったのは、些か困惑した。(これはお互い様と言えるか・・・)

次期RI理事リー・リュウハン(=市長)さんなどの来賓挨拶の後、矢橋ガバナーが挨拶に立ち「友好地区」として過去5年の実績を強調し、当時の第3700地区都載旭総裁と第2510地区遠藤秀雄パスト・ガバナーの年度に無事登別の地で調印に漕ぎ着けた経緯を説明し、その時同行されて調印に立ち会った当時の総裁補佐(ガバナー補佐)の朱七錫現総裁と今回我々と同行された日韓親善協会会長でもある岩城秀晴パスト・ガバナーの名前を挙げて称賛した後、今後の更なる友好を祈念した。

日本人好みに調理された美味しい昼食を戴いた後は会場を後にして、我々一行は再び「ETX」に乗り大邱市を離れソウルに向かった。

3泊4日の強行軍の地区大会出席であったが、参加者全員元気で行動が出来たのも一行の信頼と親睦がより深まったと確信できた旅行でもあった。改めて関係各位に感謝申し上げる次第である。



地区大会で中相吉RI会長代理



円卓で2,000人収容の大会会場



挨拶する矢橋温郎ガバナー



紹介を受ける渡邊恭久ガバナー・エレクト



地区大会会場の朱総裁



物故会員への哀悼舞踊



正宮として作られた宮殿「景福宮」の前で



明洞（ミョンドン）の焼き肉「名所」店の前で



崔鳳洵さん
(チェ・ボンスウン)
研修リーダー



お世話になった方々に、心から感謝いたします。



申東煥さん
(シン・ドゥファン)
元米山奨学生

参加者：矢橋温郎ガバナー、渡邊恭久ガバナー・エレクト、佐々木正丞ガバナー・ノミネー、
岩城秀晴パスト・ガバナー、酒井正人パスト・ガバナーご夫妻、
吉野頭隆ガバナー補佐、土谷享ガバナー補佐ご夫妻、森谷明弘国際奉仕委員（友好担当）、
出村知佳子WCS委員長、谷口正樹次期国際奉仕委員、神部洋史ガバナー補佐ご夫妻
韓国語通訳として申東煥（シン・ドゥファン）北大水産学部大学院研究員（元米山奨学生）



群馬県の地区から派遣されたGSEのメンバーと一緒に

行程：4月23日12時 千歳空港集合、14時 大韓航空機で仁川空港へ、ソウル ロッテホテル泊
4月24日14時 KTXで東大邱へ、18時晩餐会出席、大邱 ホテル インタープルゴ泊
4月25日09時 第3700地区 地区大会参加、14時KTXでソウルへ、ソウルロッテホテル泊
4月26日10時 仁川空港から帰路（12時30分到着、解散）

「ロータリーの友」とポリオ根絶計画

ロータリーの友 地区委員 橋本 信夫
(札幌西RC)

「ロータリーの友」は日本のロータリアンのための機関・情報誌として作られていますが、これには単なる国内のロータリー情報だけでなく、エッセイ、時事解説や国際問題など、きわめて広い守備範囲と質の高い情報が沢山織り込まれております。

最近の「ロータリーの友」には3月号から3回に亘って、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団によるRIのポリオ根絶計画支援の記事が載っています。そこでかつて小生が札幌医科大学衛生学教室でポリオの研究に携わっていたことから、ここではポリオの根絶問題を取上げてみたいと思います。

現在ポリオの常在国はナイジェリア、インド、パキスタンとアフガニスタンの4ヶ国にまで狭められており、ビル・ゲイツの「ポリオのない世界へ」に向けた2億5,500万ドルの拠出表明は、今後のポリオ根絶の弾み車として図り知れない威力を持つものと思われま

す。しかし現在の日本におけるポリオへの関心は、今ひとつ盛り上がりには欠ける憾みがあります。そこで日本の母親を恐怖に慄かせた50年前(1960年頃)のポリオの全国流行と予防成功に至るまでの経緯を掘り起こし、ポリオが遠い途上国の問題としてではなく、現在の新型インフルエンザ同様の身近で切実な生物災害として捉え直すことも必要と思われま

す。第2次世界大戦直後から北米と北欧でポリオが頻発し始め、特に米国では年間数千人の患者が発生するようになりました。しかし当時この小児伝染病には予防法も治療法も全くなかったために、母親たちに大パニックが起こりました。ここから“March of Dimes”「10セント行進」という、庶民の10セント献金をもとにポリオの研究や予防法の開発を支援しようとする大きな社会運動が興りました。

こうして大衆運動で集められた浄財をもとに、当時の超ハイテクであった組織培養法によるソーク(不活化)とセービン(生)の2種類のポリオワクチンが1950年代に開発され、これによって米国でのポリオ流行は一挙に終息しました。当時は厳しい米ソ冷戦の真最中であつたにもかかわらず、一方で米ソのウイルス学者が相互に相手国を訪問して協力し合い、技術の粋を凝らしてポリオの予防対策を推進していたのです。これはその後、人類の美談のひとつとして数えられていることから、ビル・ゲイツもまさしくこの伝統に沿ってRIのポリオ根絶運動に加担したのだらうと思われま

す。日本では50年ほど前の1957~8年頃から、ポリオの散発流行が夕張や札幌近郊で始まり、やがて北海道を皮切りに全国的な大流行に拡大しました。丁度その頃小生たちの研究室で組織培養法によるポリオの血清診断法が確立し、確定診断や疫学調査ができるようになりました。しかし当時日本でワクチンを生産できなかったため、発生地を予測しても手を拱くだけで、具体的な予防対策を取ることができませんでした。

こうして1960年には年間4千人を超す小児麻痺患者の大流行に発展してしまいました。この写真は、1961年にパニックを起こした日本の母親たちが政府にワクチン寄せの大キャンペーンを張って迫った時のもので、全世界に配信されて大センセーションを巻き起こしました。これによって日本政府は米国とソ連から寄贈された生ワクチンの超法規的な導入を決断し、ワクチンの全国一斉投与によって猛威を振るった流行も1961年秋までに劇的に減少して終息しました。

現在常在国でのポリオ患者は1500人ほどにまで減少し、あと一押しで人類の長年の夢であるポリオ根絶の最終段階を迎えようとしています。半世紀前、北海道から始まったポリオの悲惨な全国流行が、当時の先進国の好意によって食い止められた経緯を思い起こしながらポリオプラス運動に対するご理解とご支援をお願いする次第です。



「ワクチンよこせデモ」に参加した母親たち、1961年6月19日、東京

注：1961年6月19日、日本政府に対して行われたソ連製ポリオ生ワクチンの大量輸入要請デモに参加した東京の母親たち。

提供 [モスクワ市「ポリオとウイルス脳炎研究所」(M・P・チュマコフ研究所)]



この写真の送り状
[同 参考]



(ポリオとウイルス性脳炎研究所における筆者) [参考]



気高き岩頭 (The Great Stone Face)

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《ロータリー運動の目的》

ロータリーはうわべだけの人間を作るものではなく、人間の体質改善を行うものです。

ロータリーの内部で体験を積むにつれて、人はロータリアンになっていくのだと、ガイ・ガンディカー（元RI会長）は『ロータリー通解』“A Talking Knowledge of Rotary”の中で述べています。ガイ・ガンディカーはこの言葉をナサニエル・ホーソンの短編『気高き岩頭』から引用しました。そのあらすじを抜粋してご紹介します。[それは深い谷間はすれに、自然がいとも見事な手法で岩肌を削り取り、その岩頭は、遠くから眺めると荘厳な人物の像に似ていました。インディアンの子供が生まれ、その子が偉大なかつ高貴な人となるべき宿命を負うときは、その姿がかの岩頭そっくりになるといふ予言が言い伝えられていました。村の少年アーネストはこの予言をいつも心にとめ、その日の仕事が終わると何時間もじ



っとこの岩頭を見つめ、他の人々の気付かないことをたくさん見出したのです。やがてアーネストは進歩を続け、その部族の村の先達となりました。ある日訪れた詩人と終日語り合ったのち、日没になっていつものように村の者たちに説教をおこないました。彼の言葉は人生そのものの言葉でした。善行と崇高な愛が彼の言葉に満ち溢れていました。アーネストが群衆の前に立つのを見るのは印象的でした。遠方にくっきりと、これから沈まんとする黄金色の夕日の中に、気高き岩頭が高くそびえ、その周りに白い霧がただよう有様は、あたかもアーネストの額に白髪が垂れ下がっているのと同じでありました。彼の仁慈、大悲をたたえる顔を見て、詩人は、その衝動に耐えかねて両手を高々と上げて叫びました。「見よ。アーネストの姿こそ気高き岩頭だ」人はロータリーのなかで、アーネストが気高き岩頭を探求したやり方に従って進歩してゆきます。ロータリアンたちは深い思索に立って、多面的なロータリーを追求し、ロータリアン以外の人たちには見えないことを見通さなければならない]とガイ・ガンディカーは述べています。ちなみにガイ・ガンディカーは関東大震災の時、「東京壊滅する」という知らせを受けるや否や、直ちにRIのなけなしの2万ドルの救援金を東京RCへ送ってくれた日本にとって大恩人です。

《人面の大岩》

小堀憲介氏の訳でガイ・ガンディカーの『ロータリー通解』（A Talking Knowledge of Rotary）を読んだのは20年ほど前でした。このパンフレットには初期ロータリーの先達が開発したロータリーの諸原則が書かれています。特に上記の『気高き岩頭』の文章に触れたとき、会員増強と財団支援と組織管理主体のロータリーに比べて、強いカルチャーショックを覚えました。ロータリーは人間の体質を改善する運動だったのです。この小文に触れて以来『気高き岩頭』は一体どこに実在するのか、あるいは作家のフィクションなのかという疑問が、寝ても覚めても

いつも私を悩ませました。そこでナサニエル・ホーソンの原文なら、あるいは実在の地名が分かるのではないかと彼の作品群を探しました。ホーソンは『緋文字』『七破風の館』の作品で注目されましたが、短編やエッセイ類はあまり日本に紹介されていません。苦心の結果、ついに『人面の大岩』という短編があることを突き止め、はやる心を抑えて一気に読み下ろしました。題名は『気高き岩頭』ではなく『人面の大岩』ですが、英文のタイトルは(The Great Stone Face)で内容も同じでした。ただどこにも場所・地名についてはまったく触れていません。1996年、ポール・ハリスの没後50周年を機に、ロータリーの始祖の足跡(揺り籠からお墓場まで)を訪ねてまいりました。始祖にまつわるまだ知られていない貴重な発見が随所にありました。その旅行の際にも、時折『気高き岩頭』のことが頭をよぎりました。ホーソンはマサチューセッツ州の出身なので岩頭が自然に実在するならマサチューセッツのどこかであろうと推測していました。また登場するインディアンの少年はおそらくマサチューセッツ州の地名の由来となったマサソイト族であろうと私なりに推測していました。しかしニューイングランドのロータリアンたちにこのことを聞いても残念ながらわかりませんでした。

《マサソイト大酋長》

ところが数年前のある日、書店で『ニューイングランド物語』(加藤恭子氏著)という本の題名が目に入りました。ニューイングランドといえばポール・ハリスが自伝の中でロータリーの故郷と言ったようにロータリーの揺籃の地です。もしやと思い買い求め読みました。なんとそこに人面岩についての記述があるではありませんか。「ユリイカ(eureka)！」と思わず叫びました。ユリイカとはアルキメデスが王冠の金の純度を量る方法を発見した時の叫び声から《見つけた! わかった! しめた!》というギリシャ語です。ついに気高き岩頭のモデルとなった場所を知ることができました。積年の胸のつかえが下りました。『ニューイングランド物語』より人面岩に関する記述の部分を抜粋します。[マサチューセッツ州アソネットにあるフリータウン州立公園。かつてはインディアンの聖地だった。車を止め、前の斜面を上がると、それが崖になっていて突然視界が開ける。崖の足元は谷。その谷の向こう側の岩山に、巨大な人面岩が突出している。マサソイト大酋長の横顔としてインディアンたちが祈りをささげたという。マサチューセッツ州とはマサソイトの土地という意味である]

余談ですが1620年、メイフラワー号で新大陸にやってきた102人(ピルグリムズ/巡礼始祖)の人々は最初の冬がやっと過ぎたころなんと半数は冷たい土の下に眠ることになりました。だがマサソイト大酋長と友好関係を持てたことにより彼らの生活は安全なものとなり、翌年の11月、ピルグリムズとインディアンと一緒に新大陸で最初の感謝祭が行われました。戸外のテーブルには、その年獲れた野菜、木の実、野生の七面鳥、鴨、鶉、野生のブドウから造ったブドウ酒が積み上げられました。主客のマサソイト大酋長は、90人の部下と5頭の鹿を手土産に参加したとあります。アメリカに滞在した人なら、困難な冬を生き延びた後の感謝祭がどのように大切なものかご存知でしょう。ピルグリムズはインディアンと一緒に感謝祭を祝ったことは、この国は両者の協力の上に築かれたという建国の友愛神話が根底にあります。すぐにも現地を訪ね「人面岩」を訪ねたいと思いましたが、場所が特定できたのだからいつでも行けると安心してまだ訪問は果たしておりません。せめてネットで人面岩の写真があれば見たいと思い検索しました。幸いにもフリータウン州立公園内にある”Profile Rock”の写真を見つけました。あまり鮮明ではありませんがこれが『気高き岩頭』のモデルとなった大岩です。

どうぞロータリアンの物好きをお笑ください。

シリーズ No.11

ガバナー補佐レポート



第2グループから初の ガバナー輩出に燃えて

地区ガバナー補佐（第2グループ担当）

神部 洋史

（滝川RC）

ガバナー補佐（第2グループ担当）として早や1年を過ぎようとしています。4つのクラブについては既にガバナー月信で紹介いたしましたので詳細については省かせて頂きます。振り返ってみますと64年の私の人生の中で、こんなに充実した時間があつたのかと、実感できた1年でした。

前任の齋木前ガバナー補佐（芦別RC）との新旧ガバナー補佐・会長幹事会から始まり、矢橋ガバナーと同行しました公式訪問、その後すぐに滝川クラブ創立50周年記念式典とIMがあり、あっという間に終えた最初の2か月でした。この間に何回かのクラブ訪問の責務を果たしたのですが、実は私は補佐としての職務の他に次年度代表幹事としての役目があるため、実際には本来の補佐の職責を全うできたのか、自分でも余り自信がありません。しかし、その間にも10月になると矢橋年度メイン事業の地区大会があり、渡邊年度のための勉強の意味で準備から最終章まで見せて頂きました。こんな機会でないと思つて出席はしても中々内部のことまで首を突っ込むことはできないと思つて、補佐としてだけではなく次期代表幹事として、メモを取りながらしっかりと参加して参りました。

実は第2グループとしては初の渡邊エレクトがガバナー・ノミネーという大役を仰せつかった時に、私は渡邊年度のスタッフの一員になることを覚悟していましたが、代表幹事の役職は渡邊年度のガバナー補佐や地区委員長さん方との折衝を行うため、地区の事情を早く勉強できるようにと渡邊エレクトの強い要請により矢橋年度の補佐を経験させて戴いたものですから、矢橋ガバナーには大変迷惑な補佐だったに違いありません。矢橋ガバナーと大金代表幹事に心よりお詫び申し上げます。

しかし時間は容赦なく、今度は真正面から渡邊年度対応のモードで進んで来ます。補佐としてのクラブ訪問を終えるとすぐに12月初めの次年度第1回ガバナー補佐会議、1月にはガバナー・エレクトの米国での国際協議会への出発があり、その間に2月28日ー3月1日の会長エレクト研修セミナーを始めとする各種セミナー準備のため砂川のスタッフとの折衝を繰り返す、エレクト帰国直後に備えました。エレクトの帰国で次年度国際ロータリーのテーマに沿った形の地区運営方針を検討すると云う、充実と言うより過激なスケジュールをこなしました。そして前述の公式会合である各種セミナー（次年度ガバナー補佐研修セミナー・地区チーム研修セミナー・会長エレクト研修セミナー・ロータリー財団セミナー・米山セミナー）を砂川クラブの絶大なるサポートを得て、盛会裏に終える事が出来ました。砂川クラブには心よりお礼を申し上げます。そして4月12日滝川で行いました地区協議会で燃え尽きてしまいました。ご参加下さいました会員の皆様方には、何かとご不便をお掛けしたかも知れませんが、滝川クラブは精一杯知恵を出し合い、心身に鞭打ち頑張ったつもりでございます。一度燃え尽きましたが、7月からの次年度に備えて現在充電中でございます。

矢橋ガバナーには、「お前は私の年度の補佐として何もしていないではないか」とお叱りを受けそうですが、いつも心から「申し訳ありません」と思いつつ、矢橋ガバナーのスタッフとしても先頭に立って突撃したつもりでございます。まだ矢橋ガバナーの補佐でありますので、最後のクラブ訪問や報告書が残っております。6月14日の新旧補佐引継ぎ会議には最後のご奉公を致しますので、どうかご容赦下さいますよう、お願い申し上げます。報告と致します。



テレビ北海道（TVh）が主催する 「ゴールデンマーケット」に参加して

ローターアクト奮闘記

札幌南ローターアクトクラブ
会長 川下 和光

4月26日曜日その日はあいにくの雨模様でした。しかしこの日は、今年度当初から予定をしていたフリーマーケットを行う日、屋内会場と分かっても晴れてくれないかなと願いながら会場へ向かいましたが、私が会場に到着しても相変わらず雨は降り続けていました。

遅れましたが、今回の事業の目的はフリーマーケットを行い、次年度9月12日に行われます当クラブの35周年記念事業の資金調達とタイのバーンサバイへの寄付金を集めることを目的としたものです。バーンサバイ（タイ・チェンマイのエイズ患者のシェルター）には売上金の一部を寄付金として寄贈し、残りを35周年の記念事業資金に利用します。現在、35周年記念事業として計画しているのは以下の事業を予定しています。

- ① 第2この実寮（知的障がい者入所支援施設）ガーデニング作製
- ② 天使の園（北広島市児童養護施設）桜の木植樹 ドッチボールチームへのシャツ、ボールの寄贈を予定しています。

今回のフリーマーケットの出店目的を理解して頂き、多数の品々を提供して頂いた、私たちの提唱クラブであります札幌南ロータークラブ会員の皆様と当クラブの会員の協力で多数の品々を集めることが出来ました。

販売中にはみんなで当地区統一して制作したアクトティーシャツを着て物品販売を行いました。アクトティーシャツでの販売理由はたくさんの方にローターアクトを知っていただけるよい機会だと思ったので行いました。そのおかげで、たくさんの方から「どんな団体なの?」「がんばってね。」と声をかけて頂くことができました。

その結果、売り上げはほぼ予想していた金額を売り上げることができました。

この結果もいつも快くご協力して下さる提唱クラブであります札幌南ロータークラブ会員の皆様アクトのメンバーのおかげで成功させることも出来ましたし、ローターアクトのことを少しでも一般の方に知っていただけたと思います。

これを機にもっともっとローターアクトを一般の方に知って頂けるようにみんなで力を合わせて頑張って活動していきたいと思っています。

最後に、ご協力頂いた提唱クラブの札幌南ロータークラブ会員の皆様ローターアクトのみんなに感謝しています。本当にありがとうございました。



ロータリー情報委員秋活動記

札幌南RC

ロータリー情報委員長 和田 壬三

職業奉仕委員長 佐藤 泰寛

ファイヤーサイドミーティング

“私が、クラブに在籍し続けている理由、経緯、事情など”というテーマで、ルネッサンスホテルの美麗華という中華レストランの洋室にコの字型のテーブルを配置して会議室風にして飲食をしながら、チャーターメンバー初め中堅、2～3年のメンバーも含めて総勢20名で各人がロータリーを如何に楽しんで来られ、それが今日まで続いている秘訣である事を、全員から披露していただき、新入会員の参考にして貰いました。

「同世代の少人数の集まりを始めて、例会とは別に定期的に会食しながら、互いを曝け出して友人になれたお陰で例会が友人に会える場となった。」

「趣味の会・文芸クラブや囲碁クラブ、ゴルフ同好会、カラオケ同好会が当クラブにはあるが、このような会で定期的に親交を深める中で、友人が出来て、例会に出席するのが楽しみになった」といったことで長くロータリーにすることが出来たという方が大半でしたが、ベテラン会員は、自分の健康のバロメーターという方も。

新入会員の方が、本音で自分を語るこのような機会に接した事は無いと感激しておられたことが印象に残っています。

ファイヤーサイドミーティング PART2（職業奉仕委員会共催）

テーマ “私が会社経営で心がけていること、職業人として最も大切にしていること”

社訓は職業に誇りを持つなど世間並みのことが記載されているが、安く、早く、良い仕事を、心を込めてせよと何時も社員に働きかけている。

請負仕事の開始時、中間時、終了時、終了後、そして日常的に毎週1回全社員を集わせてこの様な視点で仕事をしたか、しているか、検証している。（造園業）

顧客にとって何が一番利益になるのかというところを顧客と議論しながら見出して、その目標を目指してすすめている。単なる貸借でも、借り手から見ると貸してくれた方は、助けてくれた方であるし、貸し手から見ると借りた方は、それなりの事情があることを承知だったのだから、その関係を壊さずに解決するのが双方にとって最も望ましい。

亭主が不貞をしていて、息子が引き籠もりになったまま30歳になろうとしている。亭主は、家庭では、徹底した亭主関白だった。離婚したいと相談に来られた方と離婚する目的は何かと議論したところ息子の引き籠もりを直したい、幸せになりたい。ご主人には、愛情が残っている。という事だったので、親業という方法があることを紹介して試しにやってみることにしたところ、亭主が家にいる時間が多くなったなど感じていたある日亭主が息子に「お前いつまで親に頼っているのだ。俺ももうすぐ定年で年金暮らしになる。お前の面倒は見れなくなる。自分のことは自分でせよ」大声で喚いていたので何事かといってみると亭主が座って酒を飲み、息子は立ったままじっとしているところであった。息子が何も反応しないのを見て亭主がいきなり大声で泣き

出し「お前をこんなにしたのは俺のせいだ。俺が悪かった」と畳に手を付き平謝りをした。そのことがあってから息子が、友達と一緒に外出するようになり、全く会話が無かったのに会話ができるようになった、離婚するのは止める。ということになり弁護士は頂けなくなったが良い仕事が出来たと満足している。(弁護士)

宝石商は、石に色をつけて100倍の値段で平気で売るという業界であった。そこで科学的に宝石の真贋を鑑別し、宝石の品質を鑑定する方法を開発して全国に広めて宝石商の地位を確立した。その基となったのがロータリーの真実かどうかの4つのテストであった。(宝石商)

中小企業の経営者に4つのテストを強要すると潰れてしまう。経営者の責任感、経営者の指導力が大事である。(税理士)

ロータリー精神である自利他利を基本としている。従業員には客から信頼される事務所になろうと指導している。(税理士)

正直に、全力で、と心がけて、仕事もボランティアも家庭も全てに立ち向かっている。(保険代理店)

自分を頼っている患者に応えるべく頑張っている。何時も根源的な命について意識している。(内科開業医)

銀行時代からお客様を大事にするよう心がけていた。市民がお客様と思っている。特に弱者の方に少しでも手を差し延べられないか、環境問題に気を配るよう頑張っている。(議員)

仕事は楽しくやりたいと心がけている。(建設業)

四肢を対象とする業務であり、骨折の治療は10分の1なので、四肢の健康のために運動を進めている。(整形外科)

医師、看護師、理学療法士、薬剤師などの技術職ばかりでなく雑役婦を含めて全員に患者の気持ちになって対応するよう。患者の気持ちを深く知るためには、勉強するよう勧めている。病院経営のためには意識的にアホになっている。職員の自発性を引き出すことと失敗を怖れずに仕事ができるようにとの思いからである。(総合病院経営)

社長は社員に嘘を言うてはならない。社員には立派な社会人になりなさいと言っている。(建設資材卸販売)

奉仕をすればいずれは返ってくる。仕事は社会奉仕と思ってやっている。利益は少しでも良い。お客様が満足してくれれば、それが最大の利益だ。(製粉業)

テナントの方が気持ち良く仕事ができるように、テナントのお客様にも気持ちよく利用していただけるようにという気持ちで、本来顧客がすべき電灯の取替えや配管の清掃など、施設全体の印象に影響する様な施設の整備は無償でしている。周辺のごみ拾いや環境整備に心がけている。(不動産賃貸業)

その後の議論の中で、最も良く奉仕するもの最も多く報われるというロータリーの職業奉仕の理念は確かである。中小企業の経営者が4つのテストを実践したら会社が潰れると述べたのは言葉が足りず、真意は、4つのテストを表面的に理解し誤解する経営者がいるということを書いたかただけである。

月信の塚原PGの連載記事は参考になる。この厳しい時代を生き残るためにもロータリーの奉仕の理念は大事であるということで締め括りましたが、この様な本音が語れる企画は、是非又して欲しいという声もあった事をご報告します。

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



加賀谷 伴子
(室蘭北RC)

■入会/
09年3月3日
■職業分類/
税理士



金盛 克之
(札幌はまなすRC)

■入会/
09年4月7日
■職業分類/
電力供給



佐久間 正
(新札幌RC)

■入会/
09年4月8日
■職業分類/
電力供給



平田 幸彦
(苫小牧東RC)

■入会/
09年4月9日
■職業分類/
酒類販売



奥村 敦史
(滝川RC)

■入会/
09年5月7日
■職業分類/
電力業



竹俣 一芳
(苫小牧RC)

■入会/
09年5月13日
■職業分類/
洋紙製造



高野 園子
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年3月18日
■職業分類/
不動産貸付



藤井 純恵
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年4月22日
■職業分類/
仏教



富谷 功
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年5月20日
■職業分類/
ホテル



丹野 紀男
(札幌北RC)

■入会/
09年5月11日
■職業分類/
ホテル



中村 良臣
(栗沢RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
電気工事



二渡 整
(恵庭RC)

■入会/
09年5月13日
■職業分類/
酒精飲料製造

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

室蘭東RC 金澤 智光 会員(1回) 4月17日
黒田 秀雄 会員(1回) 4月17日
佐々木勝男 会員(1回) 4月17日
松田 幹人 会員(1回) 4月17日
村木 一夫 会員(1回) 4月17日

■ポール・ハリス・フェロー

静内RC 在田 恒昌 会員 4月3日
室蘭東RC 小林 進 会員 4月17日
橋本 昭道 会員 4月17日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

美唄RC 大竹 繁夫 会員(5回) 4月3日
岩見沢RC 西川 昇 会員(10回) 4月8日
小樽南RC 荒田 一正 会員(1回) 4月6日
福島 正紘 会員(1回) 4月6日
新倉 吉晴 会員(2回) 4月6日
野村 定玄 会員(1回) 4月6日

小樽南RC 白石 亨一 会員(1回) 4月6日
七飯RC 上野 一義 会員(6回) 4月15日
白老RC 加藤 信雄 会員(1回) 4月27日

■米山功労クラブ

美唄RC 9回 4月3日
小樽南RC 9回 4月6日

計 報



山形道文 名誉会員（函館五稜郭RC）
2009年3月30日逝去（享年81歳）

【ロータリー歴】
1970年1月24日 入会
（チャーターメンバー）
1976～77年度 会長
1993年7月より名誉会員
ポール・ハリス・フェロー



千葉 昭 会員（函館北RC）
2009年3月30日逝去（享年56歳）

【ロータリー歴】
1998年7月29日 入会
2002～03年度 社会奉仕委員長
2004～05年度 会員増強委員長
2006～07年度 地域発展委員長
ポール・ハリス・フェロー



宮谷 悟 会員（岩内RC）
2009年5月2日逝去（享年47歳）

【ロータリー歴】
2005年7月14日 入会
2006～07年度 ニコニコBOX委員長
2007～08年度 新世代活動推進委員長
2008～09年度 財団・米山記念奨学委員長
2007～09年度 地区ロータリーアクト委員

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江 別 R C：6月25日（木）移動夜間例会 18：30～ 場所：レストラン マキシドルパ
- 岩見沢 R C：6月25日（木）夜間例会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東 R C：6月9日（火）休会
6月16日（火）通常夜間例会を時間を変更し 12：30点鐘
6月30日（火）夜間例会 18：00～ 場所：岩見沢平安閣
- 小 樽 R C：6月16日（火）移動例会 12：30～ 場所：市立小樽美術館
6月30日（火）夜間例会 17：45～ 場所：グランドパーク小樽
- 室 蘭 北 R C：6月30日（火）夜間例会 18：30～ 場所：ホテルサンルート室蘭
- 白 老 R C：6月16日（火）の例会を下記に変更
6月20日（土）創立30周年記念式典・懇親会 11：30～
場所：しらおい経済センター（白老町大町2-3-4）
6月30日（火）移動夜間例会「会長・幹事慰労会」 18：30～ 場所：北味（白老町大町）
- 苫小牧 R C：6月19日（金）の例会を下記に変更
6月20日（土）移動例会「白老RC創立30周年記念式典・懇親会」 11：30～
6月26日（金）年度最終夜間例会 18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子

文 庫
通 信

（260号）

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎ [ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐって]
神崎 正陳 2008 5p (D.2570地区大会)
- ◎ [決議23-34の杞憂]
田中 毅 2009 9p (D.2500月信)
- ◎ [ロータリーとは？～ロータリアンであることの意義～]
成川 守彦 2008 9p (D.2760地区指導者育成セミナー)
- ◎ [あなたは何故ロータリアンなのですか？]
中山 義之 2008 19p (D.2770指導者育成セミナー講演録)
- ◎ [パネルディスカッション『会員増強』]
大友恒則（コーディネーター） 2009 13p (D.2800地区大会の記録特集号)
- ◎ [ロータリー知識クイズ]
2009 3p (D.2830西第一分区IM報告書)
- ◎ [ロータリーの職業奉仕]
安平和彦 2009 37p (D.2680職業奉仕セミナー)
- ◎ [ロータリー財団『未来の夢計画』の
パイロット地区申請にあたって]
小船井修一 2009 2p (D.2500月信)
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

6月のロータリーレート 1ドル＝98円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.4.30	増減	内女性	
1	深 川	4	36	34	-2	3	87.37
	羽 幌	4	48	48	0	1	86.41
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	83.33
	小 平	4	14	13	-1	0	78.85
	留 萌	3	45	43	-2	0	86.45
	小 計		152	147	-5	4	84.48
2	赤 平	4	29	29	0	1	93.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	87.84
	砂 川	4	52	56	4	0	96.80
	滝 川	5	99	99	0	2	81.00
	小 計		224	221	-3	3	89.66
3	美 唄	4	38	34	-4	0	91.10
	江 別	4	34	33	-1	1	92.42
	江 別 西	4	27	31	4	3	82.25
	岩 見 沢	4	87	88	1	0	92.73
	岩 見 沢 東	4	34	33	-1	4	83.88
	栗 沢	4	23	24	1	1	95.60
	栗 山	4	26	27	1	2	92.62
	当 別	4	34	33	-1	0	76.54
	小 計		303	303	0	11	88.39
4	札 幌	4	117	115	-2	0	97.33
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	19	-6	4	81.52
	札 幌 北	4	43	42	-1	6	96.34
	札幌モーニング	4	49	52	3	0	73.83
	札 幌 西	4	62	61	-1	4	93.04
	札 幌 西 北	4	39	38	-1	5	96.71
	札 幌 手 稲	4	34	34	0	1	97.80
	小 計		387	377	-10	21	92.07
5	札 幌 東	5	120	122	2	0	97.37
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	100.00
	札幌真駒内	3	35	36	1	4	95.13
	札 幌 南	4	92	86	-6	0	96.15
	札幌大通公園	4	9	12	3	4	87.50
	札幌セントラル	5	14	13	-1	6	67.31
	新 札 幌	4	32	29	-3	2	88.14
	小 計		385	381	-4	20	91.45
6	岩 内	5	21	19	-2	0	86.79
	倶 知 安	4	46	43	-3	4	71.50
	小 樽	3	69	68	-1	0	89.47
	小 樽 南	4	73	73	0	0	85.25
	小 樽 銭 函	5	21	22	1	2	75.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	74.99
	余 市	4	39	41	2	4	88.50
	小 計		280	277	-3	10	81.64

4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,801人(105人)
増加会員数	-15人
当月平均出席率	86.42%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.4.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	63	0	3	78.60
	千歳セントラル	4	35	38	3	2	87.50
	恵 庭	4	39	37	-2	0	80.71
	北 広 島	4	17	17	0	0	88.24
	長 沼	4	20	20	0	3	75.80
	由 仁	5	10	11	1	1	88.00
	小 計		184	186	2	9	83.14
8	え り も	4	22	23	1	0	84.76
	三 石	4	15	15	0	1	100.00
	様 似	4	23	24	1	1	92.20
	静 内	5	72	73	1	1	78.73
	浦 河	4	34	34	0	2	100.00
	小 計		166	169	3	5	91.14
	9	伊 達	4	53	56	3	0
室 蘭		5	43	44	1	0	86.51
室 蘭 東		4	41	37	-4	0	76.60
室 蘭 北		4	34	38	4	3	100.00
登 別		4	31	33	2	2	84.85
洞 爺 湖		5	9	9	0	0	80.00
小 計			211	217	6	5	84.12
10	函 館 館	4	87	84	-3	0	77.09
	函 館 亀 田	3	45	42	-3	2	96.67
	森	4	34	35	1	0	71.40
	七 飯	4	16	17	1	0	70.40
	長 万 部	4	10	9	-1	0	88.80
	函館セントラル	4	24	26	2	1	71.62
	小 計		216	213	-3	3	79.33
11	江 差	4	19	18	-1	2	72.00
	函館五稜郭	4	55	54	-1	0	98.56
	函 館 東	4	45	46	1	4	83.42
	函 館 北	4	30	30	0	0	95.83
	北 斗	4	19	18	-1	2	69.40
	松 前	2	5	5	0	0	80.00
	小 計		173	171	-2	8	83.20
12	白 老	4	26	29	3	0	80.50
	苫 小 牧	4	50	49	-1	2	86.29
	苫 小 牧 東	4	25	27	2	2	85.04
	苫 小 牧 北	4	34	34	0	2	94.53
	小 計		135	139	4	6	86.59
合 計		2,816	2,801	-15	105	86.42	

地区カレンダー（6月）

6月 ローターリー親睦活動月間			
1 (月)	(財) ローターリー米山記念奨学会評議員会 (東京)	17 (水)	新札幌RC創立25周年記念式典 (札幌)
2 (火)		18 (木)	
3 (水)		19 (金)	
4 (木)		20 (土)	白老RC創立30周年記念式典 (白老) 地区ローターアクト年次大会 (札幌)
5 (金)		21 (日)	国際大会 (英国・バーミンガム)
6 (土)		22 (月)	国際大会 (英国・バーミンガム) 第19回JGFR北海道大会 (千歳)
7 (日)		23 (火)	国際大会 (英国・バーミンガム)
8 (月)		24 (水)	国際大会 (英国・バーミンガム)
9 (火)		25 (木)	
10 (水)	地区補助金委員会 (札幌)	26 (金)	地区インターアクト年次大会 (岩見沢)
11 (木)		27 (土)	地区インターアクト年次大会 (岩見沢)
12 (金)		28 (日)	
13 (土)		29 (月)	
14 (日)	2009-2010地区会員増強セミナー (札幌) 新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議 (札幌)	30 (火)	2008~2009年度 終了
15 (月)			
16 (火)			

※ガバナー事務所は6月30日の年度終了後、引き続き残務整理のため9月30日まで業務を行います。

編集後記

米国に端を発した不況の風は、世界中を席卷し更に風速を増しながら産業経済界ばかりでなくあらゆる面に悪影響を及ぼしている。一般の庶民生活においても思想信条においてもはたまたローターリーライフにおいてもである。

御記憶の方も多いと思うが、本マンスリー12号P24掲載の「米国の金融危機の影響について」はRI事務総長エド・フタ氏の緊急通信で我々はこれを一読、背中に冷水を浴びせられた様な気持ちであった。内容は要約すると、世界中から拠出されるRIへの資金管理については有効に利用されるべく各ファンドに預け入れているが、RIの資金管理先は安全であり、一時的に多少の損失があっても必ず市場安定期には収入が得られるとのことであった。資金運用に失敗し破綻する金融機関続出の報にRIは大丈夫との安心感を与える連絡であった。一応、諒としたもののその後の金融状況は更に悪化の一途である。

明けて4月3日のRIニュースでフタ氏の続報が入り、環境は更に悪化し多少の含み損が発生しているが、財団管理委員会は万全の処置をしている。今後、運営費の節約と国際財団活動資金(WF)の削減をするとの決定を下した。しかし崇高なローターリーの奉仕プロジェクトの重要は依然強く、これを推進する事はいささかも揺ぎ無い。かなり状況

は良くないような予感がする。

5月11日、日本事務局の片岡氏より緊急メール。要点は1.財団奨学生の文化研修(3ヶ月・6ヶ月)とマルチイヤー奨学金は中止。2.GSEは2年で完結、1年目は受入か派遣の1つを選ぶ。3.ボランティア奉仕活動補助金全廃。4.マッチング・グラントは70%削減。4.地区補助金は手続きがやはり厳しくなる等々である。新年度では財団資金の活用はかなり制限を受け、次期ガバナー、財務委員長の説明が待たれるところである。

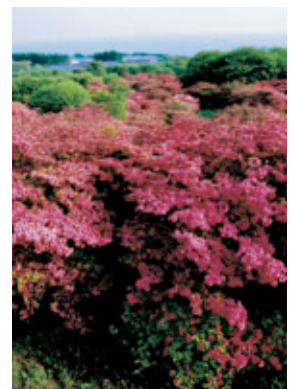
この時期、現行と次期の二つの流れが錯綜する。次年度の一連の研修行事が一通り終了し、各次期ガバナー補佐は現ガバナー補佐と引継ぎ及び各RCの棚卸しに追われていることであり、また各次期委員長は来るべき新年度のプロジェクト立案に腐心していられるであろう事は充分推察できる。それぞれのクラブにおいても新旧入り混じってのクラブ協議会、理事会、各委員会等に毎年の事ながらお互い落ち着くまで気忙しい事である。我々ガバナースタッフもそろそろ店仕舞が近づいてきた。本マンスリーも本号をもって一先ず終わり、2ヵ月後に最終号で本年度の総括をする予定である。1年間の愛読の御礼は改めて最終号にて。蒙御免。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：道南、恵山のつつじ
撮影：蝦名康夫 函館五稜郭RC

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.13
完

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>





R国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 地区ガバナー補佐 退任のあいさつ
- 6 ————— 地区委員長一年間の足跡
- 15 ————— 新入会員のご紹介
- 16 ————— 私の“Rotary Notes”
我々はどこへ行くのか
- 18 ————— ガバナー補佐レポート
第10グループ クラブ紹介
- 20 ————— 第100回国際ロータリー年次大会参加記
- 21 ————— 第1グループIM・深川IRC創立50周年記念式典報告
- 22 ————— 羽幌ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会
- 23 ————— 地区委員会報告／国際奉仕委員会ニュース
- 24 ————— ロータリー財団寄付／米山記念奨学会寄付
- 25 ————— 出席率・会員数



ガバナーメッセージ

気がついたら、終わっていました

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

7月1日、新旧ガバナーが東京に集まりました。これでガバナージャケットを脱ぐことができます。

ガバナー在任中、ロータリー関係行事にはすべて、このジャケットを羽織って出席しました。公式訪問はもちろん、周年式典、IM、奨学生の面接にも。他地区の大会や東京での研修でも着用しました。春夏秋冬1着のジャケットを着通すなんて、学生時代の制服以来です。大人になったら、いろんなデザインのスーツを楽しもうと、勉強・下積みに励んできました。まさか行き着く先が1着のジャケットだったとは。ガバナーはネクタイもお揃いです。まさに制服。あちこちで買った珍しい柄のネクタイも、この1年間は締める機会が殆どありませんでした。

ガバナージャケットを着ることもなくなるのかと思うと、卒業したときの制服への郷愁を思い出します。寝食を共にする、とは人間に対しての言い回しですが、このジャケットはロータリーを共にした相棒といえます。公式訪問にはガバナー補佐、何かの行事には代表幹事など、行動を共にする相方はその都度異なります。しかし常に一緒だったのは、このジャケットだけです。弁当の醤油染みから、挨拶でかいた冷や汗・脂汗まで、このジャケットに染み込んだ染み一つひとつに、思い出があります。染みがいわば、勲章のようなものです。つくづく紺色のジャケットでよかった。これがもっと明るい色だったら、勲章などとしゃれ込んでいる場合ではなく、クリーニングで落とせるか気を使わねばならないところでした。

ジャケット着用時、ガバナー挨拶が無いことはまずありません。公式訪問の時期はほぼ毎日、喋ってました。私が喋っていたのか、ジャケットが喋っていたのか。クローゼットに納めたジャケットは多分、もう着る機会はありません。吊るされたジャケットから、ガバナー挨拶が聴こえるような気がします。耳は遠くなりましたが、幻聴ではありません。ただ、聴こえてくるのが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」だとしたら、それは空耳です。

「ロータリーは分かちあいの心」を受けて、分かちあった心で昨年度、「夢をかたちに」を育てました。かたちになった夢＝未来はどこへ行くのか、というのが今年度です。その解は、渡邊ガバナーのジャケットから聴こえてくることでしょう。

今号表紙の写真は、私の会社で撮影したものです。本来、航空写真測量というのは垂直に地上を写すのが本分で、誤差を極力少なくし、地図作りに最適な写真を撮影するのに注力します。よって、こうした風景を切り取る「斜め写真」は、写真館・写真家の領分でした。最近はカメラの性能が向上したのと、若い人のセンスもあって、きれいに撮れるようになりました。私のガバナー月信最終号の表紙を当社機からの写真で飾れたのは、まさに職業を通じての奉仕を体現できたものと嬉しく思います。

年をとるほど1年は早くなるとは、みなさん共通に感じていることと思います。私にとってのガバナー年度も、あっという間でした。気がつけば、終わっていたような気分です。

2008—09年度は、地区内ロータリアンのみなさんにとって楽しい1年だったでしょうか。そのお役に、ガバナーとしてほんのちょっとでもお役に立てたのなら、私にとって、私のジャケットにとっても、望外の喜びです。

関係各位への感謝の辞は、6月号で書いてしまいました。くどくなりますが、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

1年間、病床に臥せることなく、酒井パストガバナーに御迷惑をかけずに済んで安堵しております。と同時に、渡邊ガバナーには、私が代理で登場する余地が無いほど健康でありますよう祈念申し上げます。

最後に、今後はパストガバナーとして、引き続きみなさんとロータリーを楽しめることを期待し、月信巻頭言の筆を置きます。

地区ガバナー補佐 退任のあいさつ

第1グループ担当
大西 道祥
(深川IRC)

退任のご挨拶

軽い気持ちでガバナー補佐を引き受け、その活動内容、範囲の広さにこれは大変な事を引受けたと後悔する時もありましたが、羽幌RCの温厚で誠実な忠津会長、小平RCの父親のような東海林会長、留萌RCの笑顔を決やさない齋藤会長、妹背牛RCの生真面目で実直な大崎会長、深川RCの喋りのプロの澁谷会長が、クラブ訪問では大変温かく歓迎して下さい、ロータリーの友情を体現する事ができ大変感謝しております。会員の減少は時代の流れではありますが、まだ大変有能な真のロータリアンが第1グループには在籍して下さい、大変力強さを感じました。

ロータリーの魅力とは何かと問われれば、私は迷う事無く、人と人との素晴らしい出会いであると答えます。各自が職業を通して一生懸命奉仕するのは当然であります。異業種間の交わりがどれだけ人間の巾を広げるかを実感してほしいと思っております。

ガバナー補佐を支えてくれた深川IRCの会員の皆様、大変忙しい中、ガバナー補佐室長として最大の努力を払ってくれた大西祥太会員に心からの感謝を申し上げ、ガバナー補佐としての最後の挨拶と致します。

第2グループ担当
神部 洋史
(滝川IRC)

ガバナー補佐を終えるにあたって

第2グループのガバナー公式訪問は例年になく大変暑い最中の7月22日赤平、23日砂川、24日芦別と同日の夕方に滝川の4つのクラブで、各々エレクトも同席した会長・幹事会、クラブ協議会、公式訪問例会という規定の形式で行われた。矢橋ガバナーは各クラブが抱えた問題点を単刀直入に質問され、熱心に適切なご助言をされていた。第2グループは旧産炭地を中心に発展した4市4クラブのため、閉山後は人口減少に歯止めが掛からない状況である。最終的に会員減少がグループ全体として-2で済んだと云うのは上出来だったかもしれない。「増強は厳しいが、退会防止を優先に据える」ことが最重要課題となっている。

ガバナー補佐の重要任務に最低4回のクラブ訪問が規定されているが、グループ内は4クラブにも拘らず、その間の移動に時間が掛かり、各クラブの例会の時間に訪問するのは大変な任務と言える。そんな状況のためクラブ間のメイクアップも多いとは言えなかった。ただここ数年クラブの周年事業が連続し、IMだけでなく記念式典と懇親会がセットになっているため親睦の機会は多く、仲の良いグループである。ガバナー補佐はこれらグループ内を担当するばかりでなく、各種会合に出席する責務があるが、さらに地区委員会への発言の機会を与えて戴くと、もっとやりがいのある仕事になるのかも知れないと感じている。

1年間大変お世話になりました皆様方に深く感謝申し上げます、退任のご挨拶といたします。

第3グループ担当
吉野 顕隆
(栗沢RC)

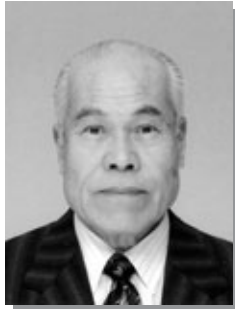
共に栄えよ 我らのロータリー

2009年5月8日(金)第3グループ会長幹事会、親睦パークゴルフ大会並びに一泊研修会が美唄市ビバの湯ゆーりん館で8クラブ16名の会長、幹事がパークゴルフの腕を競い36ホール和気あいあいホールアウト。疲れた身体を温泉で汗を流し成績発表と表彰式そして大懇親会となりました。

8クラブの会長、幹事は一年間のクラブ運営の苦労話し、又各クラブの特色ある親睦活動、奉仕活動等アルコールの量と比例してクラブ自慢、ロータリー理念と現実のギャップに苦笑し100年に1度の世界同時不況の経済危機の中で会社経営から始まり光明の見えない最悪の時に当たった会長、幹事のぼやきで最高潮になりました。さすがKY(空気を読めない)ではと一転クラブ対抗カラオケ大会に突入、ナツメロからデュエットまで盛り上がり1時間の延長をして第3グループの会長、幹事さんがひとつになりました。

最後は「手と手つないで」を大合唱しその勢いで二次会と長い夜が終わりました。本当に私は第3グループのガバナー補佐として8クラブの会長、幹事さんに変なお世話になりました。

ロータリアンの友情に感謝して「ロータリーの夢をかたち」にするため、共に栄えよ我らのロータリーに乾杯致します。サンキュー。



第4グループ担当
大島 利一
(札幌西北RC)

楽しかった補佐活動

札幌西北RCの会長経験者の中からガバナー補佐を選出することになり、ロータリー歴の古い会長経験者が選出候補となっていた。経験の浅い私には無関係と思っていた所、選出期限切れ寸前にお前受けなさいと森本パストガバナーにほとんど業務命令の状態でも分からないままお受けしてしまった。ガバナー補佐の仕事の内容、それよりも難解なロータリー用語を改めて勉強するだけで脳味噌が沸騰しそうになった。

矢橋ガバナーからは4回以上の担当クラブ訪問を義務付けられ、ホームクラブ出席に重点をおいていた私には他クラブの訪問は特に気が重いものとなった。が訪問した全クラブで温かく迎えていただき本当に嬉しかった。各クラブの例会進行や会場の形もそれぞれ特徴がありとても勉強になった。任期中最大の事業であるIMを第4・5G合同で開催しましたが、私はRIテーマの『夢をかたち』だけを採用しただけで、会場・講師・プログラムなど全てクラブの担当会員におまかせで私は御輿の上で鎮座、天気（この日は猛吹雪）だけを気にするだけでしたが全員の協力で大成功で終わりました。この時は一つの事業を行うには普段の親睦活動による会員の結束力の強さだと改めて感じ親睦活動がロータリークラブの基になる。各クラブを訪問して親睦活動の盛んなクラブは例会内が和やかな空気が強く奉仕活動も活発だと感じられました。

私が一年間無事に、いや楽しく勤めることができたのもホームクラブの小川会長を始め全会員のご協力とお世話をしていただいたことで無事に退任することができたものと心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



第5グループ担当
土谷 享
(札幌幌南RC)

一年間を省みて

ガバナー補佐一年の任期を終えるにあたりまして、感謝とお礼のご挨拶を申し上げます。

省みますと、年度スタートの半年以上前から、矢橋ガバナーエレクトの下で協議と研修が始まったのですが、その頃が「未知との遭遇」で一番ロータリーライフを楽しんでいた様な気がします。いよいよ年度が始まりますと、当グループ8クラブによる会長・幹事会の開催や、各クラブ例会に出席させていただき、地区目標の達成と地区大会参加の願いをして廻り、ガバナー公式訪問の折には、各クラブのクラブ協議会にも参加させていただき大変勉強になりました。各クラブの会長・幹事さんをはじめ役員・会員のみなさんにお礼を申し上げます。

今年度のIMIは、昨年同様第4グループと合同での開催でしたが、今年度は第4グループの主管でしたので大島ガバナー補佐をはじめ札幌西北RCのみなさん、そして副主管の札幌幌南RCのメンバーにお世話になりありがとうございました。いざ年度に入ると、あまり考えることもなく無我夢中の一年間だったような気がして反省しています。その罪ほろぼしというわけでもないのですが、後半4月末に、韓国のRI第3700地区大会と、6月末の英国・バーミンガムでの国際大会に、矢橋ガバナーのお供をして夫婦で出席してまいりました（札幌西北RCにお世話になりました）。ありがとうございました。



第6グループ担当
佐藤 泰視
(岩内RC)

1年を振り返って

今年度任期終了のご挨拶を申し上げます。

準備期間を入れますと約一年半の期間でしたが、大変早い時間の経過でした。

ロータリアンとしての活動も不満足不勉強のまま過ごしてきたツケが来まして、クラブ訪問の度に基礎的な部分から予習となりました。そんな私を温かく迎えていただいた各クラブの皆さんに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

振り返ってエピソードを一つ。すぐ思い出すのが矢橋温郎ガバナー年度に入る直前の6月7日、俱知安RCの斉藤知之会長エレクトと新婦実加さんの結婚披露宴です。ご案内のお話は4月のIMの会場で伺いましたがお二人とも結婚には奥手のように初めてのことで、俱知安RCあげての盛大な祝賀会となりました。新郎新婦入場は雅楽の生演奏で厳かに始まりましたが祝宴が進むほどに大宴会になり、あっという間の2時間半でした。3ヶ月後の9月13日第6グループIMの当日、後志4クラブのパークゴルフの開会式で斉藤会長夫妻から実は新婚旅行がまだで、10時からトワイライトエクスプレスの電話予約が始まるので会場の皆さんに電話予約のコールをお願いしたいとのこと、20数名で一斉にコール、つながったのは斉藤会長本人だけ、でも満席とのことでした。（一般には出さない）

後日、矢橋ガバナーの計らいで切符の手配ができましたがなんと当日大雪で運休、二人は次の旅を計画中・・・・・・・・



第7グループ担当
羽芝 涼一
(千歳セントラルRC)

長期計画でクラブの活性化を求めて

私のグループは、自由でのびのびと明るい親愛の雰囲気溢れるクラブの面々です。中でも設立以来の継承事業である長沼RCが提唱する長沼国際交流フェスティバルは、ロータリー活動の一端を強く地区内に発信し、回を重ねる毎に充実した内容となり、私も参加して楽しい一時を過ごしました。又、グループ内を5～8回位適時に訪問し、CLPについて強力に推進すべく楽しい会話の数々が出来得たことに非常に満足しています。

IMの開催も第12グループとの合同で早くから実行委員会を立ち上げ、「地球温暖化環境問題」をテーマに取り上げ、二つのグループの友好の輪を拡げ、かつ全員登録で大成功を収めました。グループ内の融和を図ることは勿論のことですが、すべて長期計画を活動指針とすることで、活性化のスタートラインであることが、相互のクラブの会員に認識されたことに、深く感謝しこの出会いを大切にこれからの活動に活かしていく所存でございます。

本当に一年間振り返ってグループ内の多くの会員の友情に支えられましたことに厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、年度末に第19回日本ロータリー親睦ゴルフ(JGFR)北海道大会をホストし、ガバナーに代わりプレゼンターが出来得たことに深い感銘を受けました。



第8グループ担当
園 修
(浦河RC)

補佐退任に当たって

補佐予定者になってから今日まで会議で札幌へ8回(地区大会含む)グループ内、各クラブ訪問3～4回、IMの準備、次年度補佐の選定、ガバナー月信への寄稿3回、グループ内活動報告(活動予定)3回など随分時間を費やしてきたが一般メンバーは補佐の仕事を理解しているのだろうか?何故ならマスターセッションだけでグループには、どれほど貢献できたのだろうと反省しているからである。

僕、個人は多くの友を得、たくさん勉強をさせて戴いたので有意義な一年ではあったが!

本来、補佐は会員増強しグループ内の活性化を計るのが仕事で、これがあまりできていないのが残念である。

ロータリークラブは未来永劫継続するのでメンバー全員が会長やガバナー補佐を経験すると認識が高まりクラブが活性できるのだが…。

最後に多くの皆様に御指導、御協力を戴き、まがりなりにも任期を全うできたことに感謝し御礼申し上げます。



第9グループ担当
若木日出男
(登別RC)

1年をふり返って

牽引されるだけの会員として永長在籍して来ましたが、非力の上、資質、品格、器量に欠けるものを自認しながら、おこがましくもガバナー補佐を引受けてしまった。

何らこれといった役もこなせず、早や1年は終わってしまい不燃焼の感だけがつのっています。しかし、ガバナーを補佐する役ということで中枢の一部を垣間見ることが出来ました。複合的で多面体であり難解な面もあるが、100年を経てもなお進化の途上にある組織であることを理解しました。歴史は繰り返すと言われるが、ロータリー創始時と同じような混沌混迷の世相が世界的な規模で世の中を席卷している。

果たしてロータリーはこれにどう対処していくのか。創立以来100年の間に二つの世界大戦と二大思潮による混乱を乗り越えて来た、したたかな実績を持つロータリークラブは今後いやす存在となることを確信します。



第10グループ担当
上野 一義
(七飯RC)

少しは学びました

この一年間、研修期間を入れると一年と六ヶ月は瞬間にすぎてしまいました。振り返ると楽しく、充実した期間でした。ガバナー、地区代表幹事、ガバナー補佐、会長、幹事、皆初対面の人で、いまだに人見知りをする私ですが、緊張もすぐに解け楽しく親交を深める事が出来ました。無事任期を完了できたのも皆様の好意と友情のおかげです。改めてお礼申し上げます。

いくらかはお返しをしようとして少しは勉強し、会長・幹事会やクラブ訪問でお話しましたが、充分自分の物となっていない事をお話した為理解しづらかった事でしょう。補佐を終えると何となく淋しくなりますので、10、11グループ合同のバスター補佐会を作ろうと光銭補佐にけしかけています。これまでの経験をいくらかでも生かしグループの発展に寄与できる会にしたいと思っています。



第11グループ担当
光銭 裕二
(函館五稜郭RC)

ガバナー補佐退任にあたって

昨年7月ガバナー補佐就任以来、「早いもので」といいますか「やっと」と申しますか、1年が経過し無事ガバナー補佐の役目を終了することができました。これもひとえに第10・11グループのロータリアンならびに地区役員の皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。さらに第10・11グループ合同のIMIには会員減少という大きな問題を抱えるなか、大変多くのご参加を戴き盛会のうちに終了できたこと、重ねてお礼申し上げます。

ところで今早急に解決しなければならない課題は会員の増強・維持です。楽しくなければ自分の仕事に関係のないロータリークラブには我慢して入会している必要はありません。しかし多くのロータリアンと交友関係を持つことで仕事に有益な考え方が得られることを早い時期に理解できれば退会者は減少するはずで、さらに私たちのロータリークラブが存在する地域住民にロータリーの活動が見えて、地域に必要な奉仕活動を計画・実践していけば会員増強につながると思います。

どうぞこれからも日々変化していく地域社会が私たちに何を求め、何ができるのかをいつも考え、楽しいロータリーライフを継続して戴きたいと願っています。1年間の皆様のご協力に感謝を申し上げ退任の挨拶といたします。ありがとうございました。



第12グループ担当
板谷 剛
(苫小牧RC)

一年間を省みて

あつと言う間の一年間でした。ああしなれば、こうあらねば、もっとロータリーを勉強せねば、あれこれ考えている内に一年間が過ぎてしまいました。自分自身にとりましては、委員長、幹事、会長を経験した3年間分にあたるほどの価値ある一年間でした。

会長・幹事会の開催、例会訪問、クラブアッセンブリーへの出席、グループ内4クラブ対抗ゴルフ大会、そして第2510地区大会、第7グループ・第12グループ合同都市連合会(IM)の開催、白老RC30周年記念式典、等々、すばらしい会員諸氏の絶大なるご協力を頂き、無難にそして成功裡にそれぞれが履行出来ましたことに心から感謝の意を表したいと思います。

矢橋ガバナー、大金代表幹事のお二人には言葉では言い表す事の出来ないほどのご指導とご協力を賜り誠にありがとうございました。ただ残念なのは、ご期待に報いるような会員の増強が出来無かった事です。

最後にすばらしい第12グループのロータリアン皆様の温かいご支援、ご協力に重ねて感謝とお礼を申し上げます。

地区委員長一年間の足跡

退任挨拶

地区オン・ツー・バーミンガム委員会
委員長 丸山 淳士
(札幌真駒内RC・PG)

今年度の第100回という記念すべき年次大会でしたが、主催地が韓国から急遽イギリスに変更になり、世界的不況の中参加者減少が危惧されていたところに、新型インフルエンザの国際的流行が重なり、不安に満ちた大会となってしまいました。

地区ではイギリスの魅力を満喫いただける種々旅行案を考えましたが、申込者が少なく、例年通りの2案を決定することになりました。それでも、北海道ナイトの参加者が50名おりましたので、地区としては例年にくらべてまずまずの参加人員を達成できたと思っております。

今年度は特に年次大会開催委員長に日本の田中作治氏が指名され、例年のない力が入ったお誘いでした。

地区の皆様のご協力に感謝申し上げ、退任の挨拶といたします。

地区会員増強委員会報告

地区会員増強委員会
委員長 酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

期首会員数2,816人に対し今年度4月末の会員数は2,797人であり、19人減ではありますがこの間の入会者数は144人で各クラブが会員増強に十分な努力をしていることがうかがわれます。しかし退会者数が163人で入会者数を上回っております。この傾向は数年前から続いており、退会者を減少させることが最良の会員増強の道であると考えられます。退会者の内訳は多い順に転勤26%、多忙23%、健康17%、死亡8%と続き、明らかに不況が原因と考えられるものが3%でした。退会理由が必ずしも正確に現れて居ない可能性もあるが多忙、健康などの比率が高いことは退会を思い止まらせるほどロータリーの魅力が大きくなかったとも考えられます。入会間もない会員の退会が多いとも言われております。奉仕の有りように失望したからという話もききます。人間関係が原因ともいわれる方もおります。入会後のケアが重要であると言えます。

入会者数を退会者数が上回るので有れば一生懸命増強を頑張っても報われません。退会を思い止まらせるための改善と努力をすることが急務と言えます。100人いれば100通りのロータリーがあり100の価値観があります。互いを認め合い、ロータリアンであることへの充実感を持てるような環境作りが必要であると感じさせられた1年で有りました。

委員長としては地区目標を達成することが出来ませんでしたことを残念に思いますが、今後の課題として会員維持を思考して行かなければと感じております。

新世代委員会活動報告

地区新世代委員会
委員長 松見 修二
(函館北RC)

2009年6月26日・27日の両日にわたり、インターアクト年次大会が駒大岩見沢高校インターアクトクラブのホストの基に盛大に開催されました。

この行事を以て、今年度予定されていた新世代の括りの内にある、インターアクト、ローターアクト、青少年交換のプログラムは全て終了することになります。インター、ローター、青少年交換の活動は各委員会の活動報告をご覧頂くとして、未だ地区会員と新世代に溝があることは否めません。

計画書に挙げた、新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりの広く理解して頂くことが最優先事項になり、今後も各委員会の自主的な情報交換と情報発信が大切です。

あと一年の任期が有りますが、少しでも現実的な実行を図ることを目指したいと思っております。『隼より始めよ』・ロータリアンのご理解をお願い致します。

ご挨拶

地区国際奉仕委員会

委員長 阿部 弘

(札幌北RC)

国際奉仕委員会の役割は、世界社会奉仕委員会（WCS）と国際友好への活動を支援することです。

先ずWCSは今年度も素晴らしい活動を展開しました。2009年2月のインドネシアへの検証ツアー、数々の事業への地区内20クラブの参加、地区大会（札幌）でのブースの展示等です。これらの活動を先頭に立ってリードしてきた出村知佳子委員長並びに委員の方々に心より感謝致します。

又、国際友好としては地区大会（韓国第3700地区）のロータリアン23名の出席参加のお世話、並びに大邱市で開催された第3700地区大会への矢橋ガバナー以下13名の出席参加があります。これらを推進して戴いた森谷明弘委員に感謝致します。

話は変わりますが、本年2月に札幌に在住する中国人男性（50歳）の頸椎症（加齢による椎間板の変性）の手術を行いました。来日して数年になるのですが、日本語を聞くのは良いのですが、話すことが困難な人でした。私は中国語を話せず、術前・術後のコミュニケーションをとるのが大変でしたが、次第に慣れてお互いに手振りと言葉の日本語で意思の疎通をはかれるようになりました。

両手の痺れ、痛み、筋力低下が回復して「また働ける!!」と喜んで元気に退院しました。患者の笑顔が何よりの報酬でした。

国際奉仕の基本理念は、身近な、身の丈（たけ）に合った奉仕であると思います。地区の国際奉仕活動に参加できなくとも目の前の外国の人々に自分のできることを行うのも国際奉仕活動の一つと考えます。困っている外国の人がいたら手を差し伸べましょう。

多彩な1年を振り返って

地区WCS委員会

委員長 出村知佳子

(札幌北RC)

本年度はとても色々な事が起こった事業年度でした。多くのクラブの皆様にご理解を頂き、WCS事業にご参加を頂き、マッチング・グラント申請に発展した事業もございました。これも当地区の各クラブさんのWCS事業が、しっかりと根付いている証と嬉しく思っておりますが、予想をしない資金の枯渇により、事業の実施が延期になりました。多くの子供たちが安全な水等を必要としている中、残念でありましたが、WCSの特性から、完全な単年度の事業は難しいですが、クラブの担当の皆さんが引き継ぎをして頂き、事業を継続支援して頂いていることに深く感謝申し上げます。

また検証ツアーについては今年度は2月10日～2月15日インドネシアジョグジャカルタで実施、孤児院の水事業や寝具事業、移動図書館などに訪問致しました。支援クラブの皆様から子供達へのお土産をお預かりし、届けてきましたが、トランジットで降り立ったインドネシアの空港でそれらについてカスタムからの尋問を受け、「きみだけ一人別室へ来なさい」と言われ、小部屋で尋問を受けましたが、なんとかきりぬけ、「最後にボールペン1本だけもらっていいかい?」と言われ、しかたなくそれだけはそこに置いてきました。ツアーの中では参加者の皆様より真心のこもった交流の大切さを改めて教えて頂きました。

昨年度の課題でありました広報も事業の参加者の皆様のWCS広報の助けもあり、広がっていったことを感じました。今年度は20以上のクラブの皆様にご参加を頂き、心より御礼申し上げます。このような色々な事が起きた年の中、なんとか事業をひとつの形にして年度を終えることができましたのは、WCS事業への労力を惜しまない、素晴らしい委員メンバーに恵まれているおかげと深く感謝しております。毎月委員会を開催し、話し合い、困難も乗り越えることができました。

WCSの実践は、事業が実施された地区の人々の幸せにより、実施クラブの皆様もとても大きな喜びを得ることが出来ます。2009-2010年度もWCS事業をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

地区インターアクト委員会
委員長 戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

私はこの3年間当委員会の委員長を務めさせて頂きましたが、その間に私自身が色々と勉強する機会があり、また多くの貴重な経験をする事が出来たと考えています。思い出に残っているのは、シカゴ、コペンハーゲンやソルトレイクシティ等でのRI世界大会でインターアクト関係のブースで資料等を見て廻った際に、他の委員会に比べその資料は少ない寂しいおもいをした事です。しかし、これらの大会ではインターアクトに縁のある世界の多くのロータリアンとの出会いが多々あり、お互いにこの委員会の活動や方針についての情報交換や意見を述べ合う機会を持てた事はとても良かったと思っています。

又、ブエノスアイレスでの世界大会頃より気が付いた事は、その年度のRI会長のスピーチに青少年に対しての期待や希望に関する内容のものがいつもあった事です。ロータリーは奉仕活動のクラブではなく、奉仕活動をする人達の集まりであり、素晴らしい出会いの場、そして人生の勉強の場でもあります。この事をロータリーはインターアクターやローターアクターに十分に理解してもらい、将来は立派なロータリアンになってもらいたい事、又ロータリーにとっては宝であることを知ってもらいたいと思います。

私はこの1年間を含め委員長を務めた3年間、種々のプロジェクトを考え実行すべく努力して来ましたが実るものは多くはありませんでした。これは地区のインターアクトクラブに関する方々と委員会とのコミュニケーションが充分にとれなかったが故と深く反省している次第です。

最後になりましたが今年度もまたインターアクター、クラブが所属する学校関係の皆様、そして矢橋ガバナー、委員会委員の方々及び多くのロータリアンの温かく友情溢れるご指導、ご協力に対し心より感謝申し上げます。

有難うございました。今後のインターアクトの益々の発展を祈りつつ。

やっぱり大変な一年間

地区ローターアクト委員会
委員長 柳 孝一
(札幌幌南RC)

クラブ幹事も終盤にさしかかり、来年はゆっくりできるなど考えていた昨年の6月、大金地区代表幹事から、7月からまた、ローターアクト地区委員長を再度引き受けてくれと、強引な要請があり「ノー」を言える勇気もなく、何の準備もないまま引き受けたことから始まりました。

2年前とは若干ローターアクトを取り巻く環境は違っていました。地区委員のロータリアンの方々、布施地区代表(赤平RAC)や地区役員、大半のローターアクトを知っていたので、いろいろ助かりました。この2年間提唱クラブのロータリアンをして、アクトとは関わってきましたが、離れてみて「ローターアクトを知らないロータリアンが多い」ということを実感しました。そこでまず、ガバナー月信を使い、できるだけローターアクトをPRすることにしました。今まで7本(この原稿で8本)投稿しました。結果は未確認ですが、原稿はあとにも資料として残せました。

一年間の地区委員会の活動として、7月5日提唱クラブ委員長会議・委員会。10月11日 地区協議会(函館市)。11月1日岩見沢ローターアクトクラブ45周年記念式典。11月22~23日北海道ローターアクト交流会(根室市)。2月7~8日温泉交流会。2月21~22日ローターアクト全国研修会(長崎市)。6月20日地区大会(札幌市)に協力・参加しました。とにかく忙しい委員会です。

ローターアクトが企画した新しい事業の実施を手伝い・支援しました。それは函館駅から赤平市まで約375キロを1台の自転車と2日間総勢16名で交通安全を訴えかけながら、ローターアクトをPRした事業で、いい活動だったと評価したいと思います(詳しくはガバナー月信12月号で)。

次年度は2クラブ少なくなるやや向かい風のスタートになりますが、地区委員・提唱クラブのロータリアン、地区代表はじめ地区内ローターアクターと力をあわせ、この一年が無駄にならないよう精進いたします。

一年を顧みて

地区社会奉仕委員会
委員長 阪崎健治朗
(札幌西RC)

近年のボランティア活動の発展は目を見張るものがあります。古いも若きもかつてこれほどの広がりを見せた時代はなかったと思います。それだけ多くの人の心は他人への関心やサポートすることの大切さを理解し、行動に移すこ

とに芽生えてきたのでしょうか。その目は自分の足元だけでなく、広く地球社会にまで向けられるようになりました。

しかし、その一方では理解に苦しむ現象が多々見られ、不可解な社会の欠陥を見せられているような気がしてなりません。そのために私は「人の絆を創る」ことを願い、クラブのある地域との対話のできる機会を願い、自らも模索してまいりました。しかしクラブにおいては言葉足らずやイメージ不足のためか、実現に至ることができませんでした。反省の一つであります。地区社会奉仕委員会は、ロータリーの原理に基づき、クラブの主体性とロータリアンの自主性にゆだね、支え役に徹しようと努めた一年でした。にもかかわらず、地区への期待の大きいこともまたひしひしと感じ、応えられるような歩みを目指してきました。7月に開催するブロック別の意見交換会は先輩の足跡に習い、100%のクラブからいただいた計画書を手作りによって作成し、集まったクラブの社会奉仕委員長や関係者の方々と一緒に情報を共有し、学びあえたことは大きな収穫であり、継続の必要性を痛感しました。

人数が少なく苦しみながらも、ロータリーの精神を生かそうとするクラブ、人数の多いクラブはそれなりに視野の大きい活動を進められていることが印象的でした。

私個人は委員長という重要なお役に相応しい貢献をなしえないことを深く自省しておりますが、それ以上の感謝は実に多くのロータリアンと出会えた喜びです。その方々からあふれるほどの多くのことを学べたことです。一年を顧みてさまざまな課題が沢山あることを心に覚え決して驕らず、活力ある働きを目指してまいりたいと存じます。

地区職業奉仕委員会報告

地区職業奉仕委員会

委員長 綱木 保利

(苫小牧東RC)

RI会長のテーマ「夢をかたちに」と矢橋ガバナーの地区目標「3項目」に従い、各クラブで、各職場で4つのテストの唱和がさらに行われるように、そして職業を通して“職業倫理をもう一度高める”ように見直すことの奨励を心掛け、「職業奉仕」の普及と実践の呼びかけをいたしました。

今年度の活動の成果として

過去3年間の委員としての在籍の中で会として職業奉仕実践事例集（職業奉仕を通しての地域社会貢献事例や委員会活動報告寄稿の小冊子化）の配布や、さらなる職業奉仕意識の高揚、実践としての「職業に関するクラブフォーラム」「勉強会」や行動の奨励が行われてきましたが、

- ・4年目の今年度も引き続き「クラブフォーラム」「勉強会」や行動の奨励をいたしました。幸い、多くのクラブで実践を頂きました。
- ・地区内のたくさんのクラブから、今年度も「職業奉仕」に関する「例会卓話」の要請を頂きましたので、各委員で分担して、これに応えさせていただきました。
- ・また、今年より新たに加わった「出前授業」・「職場体験」について、登録会員名簿のデータベース化を行い、さらに小学高学年を対象に出前授業の要請があり、実施いたしました。

残念ながら当初計画の中で消化出来なかった部分も多少ありましたが、PGのアドバイスやガバナー、地区幹事はじめ多くの皆さんの温かいご指導、ご協力を頂きながら、この一年を終えることができました。本当にありがとうございました。

委員長退任の御挨拶

地区文献資料室

委員長 肘井 博行

(札幌手稲RC)

地区文献資料室委員長、札幌手稲ロータリークラブの肘井です。

委員会では、この2年間、多数となりました文献の保存方法についてスリム化に努力してきました。他の地区に比類なき文献を保持している訳ですから、「宝のもちぐされ」とならないよう、地区会員及び同クラブの活用を活性化させる必要があります。次年度も委員長を務めることになりましたので、次期はガバナー通信に資料室からの発信、そして利用者、利用クラブの経験などを掲載するなどし、みなさんが利用し易いような広報に努力していく予定ですので、どうぞよろしく申し上げます。

地区クラブ奉仕委員会報告

地区クラブ奉仕委員会
副委員長 小田切房之
(札幌東RC)

本年度は山本委員長の活動計画に則ってクラブ・リーダーシップ・プラン(C.L.P)について地区内のクラブがどの程度導入しているか、関心を持っているかを調査して「効果的なクラブ」運営の一助とする為に「活動計画の指標」の集計をし、4月12日開催されました地区協議会分科会で集計表を配布致しました。この集計は、2~3年継続して行い傾向を把握する予定です。

次に報告の主旨とは異なりますが「例会プログラムの工夫」について記述させていただきます。

数学者・藤原正彦氏は著書「国家の品格」の中で、情緒や形を重んじた日本型文明の可能性を述べています。もしロータリーの中で形を問われるとすれば例会が最も代表的な基準であると考えます。

視点を変えて最近会員増強を推進する中で出席率が険しいとの理由で断られる例があると聞きます。又ロータリーの魅力が薄れて来ているとの声も聞きます。しかしこうしたネガティブな声を真摯に受け止めればポジティブに反転するヒントになる様な気がします。

ITの進化によって情報は洪水の様にあふれ距離も時間も隔たりなく入手出来る様になりました。しかしホットで有用な情報を正しく得られていますか。文化や歴史の造詣は深まっていますか。

もし貴方のクラブのプログラム委員長さんが放送局のプロデューサーの様に真剣に視聴率を意識したらもうチョット内容を工夫できませんか、年間おおよそ40回の例会があります。RIの重点テーマやクラブ事業もバランス良く振り分ける必要はあるかもしれません。しかしもっと自分が聞いてみたい知りたい、皆様にも聞いてもらいたいそんなお宝のスピーカーを探す手だてはしていますか?いくつかのクラブの年間プログラムを拝見しますと出席率が上がるだろうと感じるゲストスピーカーを招いてるクラブがあります。

予算がないから、交通アクセスが・・・、人脈が・・・etc.

ネガティブにとらまえたなら前進しません。一歩踏み出す勇氣、努力が必要だと思えます。

ロータリーの例会に出たら新しい情報が得られた、こんなに知識が豊かになった、今度あの人とこんな話をしてみよう、情報が氾濫していると言う事は世の中が動いている証しのはずです。その中から自分が確かな情報をどこでどなたから入手するのか、その切り口のひとつがロータリーの例会でありロータリアンの友情の様な気がします。

おっくうな例会から魅力のある例会に衣替えするのは今貴方が先鞭を付ける時だと思うのです。そしてそれぞれの例会がその「クラブの品格」として根づく様な気がします。

地区IC委員会報告

地区IC委員会
委員長 光銭 健三
(北斗RC)

前年度の坂井委員長から引き継ぎ、1年目の委員長ということで活動の多くは前年度からの継続事業となりました。

3回目となる「5分でできるホームページ作成講習会」は仲川会長をはじめ登別RCの皆様のご協力をいただき、設備が整った日本工学院北海道専門学校で18名の参加者を迎えて開催することができました。この講習会ではWord Pressというソフトウェアを利用しているため特別な知識を必要とせず、ブログ感覚でホームページを作成、更新できます。これまでの3回の講習会によって5クラブと1委員会がホームページを立ち上げました。現在地区内のホームページ開設クラブは33クラブ、地区委員会では8委員会が開設しています。

IC委員会は毎日のようにメーリングリスト(メールを出すと登録者全員に同じメールが届くシステム)で情報や意見交換をしていますが、時には顔を合わせる会議も必要で、今年度は2回の委員会を開催しました。どちらの会議にも大金地区代表幹事や石丸地区幹事にご出席いただき、たいへん有意義な会議となりました。

地区大会ではブースを開設しました。インターネットコーナーには多くの方に訪れていただき、楽しい情報交換の場となりました。

また委員が分担して情報を配信しているメールマガジンの登録者数は約500名で、1年間で配信したメールは92件でした。

地区ホームページは今年度も11,000回余りのアクセス数がありました。次年度からはデザイン、内容ともに一新する予定で、今まで以上に見やすく早い情報をお届けできるようになります。

この1年間、皆様の温かいご支援を賜り、また委員会メンバーに支えられ、無事に任期を終えられたことを感謝申し上げます。

矢橋年度の終了にあたって

地区ロータリー財団委員会

委員長 岩城 秀晴

(札幌南RC・PG)

財団委員長として2年目の年度になり財団の基本的な理念は、健康の改善、教育の支援、貧困の軽減を通じて、われわれロータリアンが世界理解と善意、平和を推進できるようにすることがロータリアンの使命であるといわれております。加えてポリオは世界的に見れば未だ未だ財団のプログラムによって手を差し伸べることが必要なのです。

このように財団の重要性を十分に知りつつも近年の経済の低下による影響で寄付に対する考え方も低調な状況になっております。また財団の寄付収益が、サブプライムローン問題で投資がうまく行かず、4400万ドルの損失を生じました。先般の財団のセミナーにおいてこの問題が討論されましたが、これも評価損失でペーパーロスであるから心配はないと、田中作次管理委員は説明されておりましたが、私は思うにファンドを単一の基金にしないで、数銘柄のファンドに分散し、リスクも分散されるのではないかと考えられます。

いずれにしても、ロータリー財団には寄付を受けて初めてプログラムが実施されますので、どうか御理解のうえ御協力をお願い申し上げます。

私は多くのロータリアンに御理解を戴きたく、昨年11月の月間には9クラブで卓話をさせて戴きました。大変御熱心に傾聴されておられ、矢張りロータリアンの財団であることに意を強くさせられた次第です。一方、プログラムの方は財団国際親善奨学金で大学レベルの民間の留学プログラムとして奨学生の募集をしておりますが、多くの応募者より試験を実施してその中から合格者として6、7名の方を6ヶ月または1年間の留学資金を支援する制度です。

次にGSE委員会がありまして、来年の4月にスウェーデンから交流をするのですが、当地区からもリーダーのもとに4名の25～40歳までの事業や専門職務経験の浅い文化と職業に関して4週間～6週間の交換旅行をするための旅費を補助するものがあります。また、地区補助金がありまして地区内クラブの奉仕活動または人道的活動を支援することが目的とされている補助金ですが余り知られていない故に応募数が少なく、是非御活動に申請をお願い致します。

財団も改革をしております。未来の夢計画に基づく新補助金として現行を切り替えようとしております。どうかこれからのロータリー財団については2013年までに旧プログラムは廃止されます。従って皆様方には十分な情報を御提供して参りたいと考えております。

また財団学友は元財団国際親善奨学生、元GSE参加者等、元財団プログラム参加者である学友の学友会を設立して将来のロータリークラブ会員になって貰うように支援する委員会もあります。

以上、この1年間の概要をご報告いたしましたので皆様方のロータリー財団に対して更なる御理解と御協力を御願い致します。

国際親善奨学金がなくなる？

地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二

(札幌大通公園RC)

今年度の最大の問題は、ロータリー財団本部が多額の損失を計上し、文化研修とマルチイヤーの奨学生の廃止が1年前倒しされたことである。つまり、すべての奨学生が1学年度になったのである。私がこの通知を受け取ったのは、地区の最終面接の1週間前であった。すでに10～11年度奨学生の募集が終わり、各クラブでの面接も終わっていた。その結果、文化研修に5名、マルチイヤーに2名、1学年度には4名、合計で11名の応募者が最終面接を待っていたのである。

いまさら門前払いするわけにもいかず、各候補者には1学年度に変更しても留学を希望するかについて、面接の際に確認を取った。その結果、文化研修の希望者から2名、1学年の希望者から2名、マルチイヤーの希望者から2名とバランスよく合計6名の合格者を出すことができた。ただし、すべて1学年度の奨学生候補者である。

すでにご承知の方も多いと思うが、新補助金への移行に伴って、国際親善奨学金は廃止される。しかし、奨学金がまったく姿を消すということではない。奨学金は新補助金制度の下で、各地区の独自性を強く発揮できるものに生まれ変わるといことである。本地区は従来のプログラムとの関係で（もちろん国際親善奨学金もその大きな一因であった）、新補助金のパイロット地区となることを見送ったので、他の地区がどのように新奨学金を構築していくのかを見極めたい。本地区にふさわしい奨学金制度を構築していくことができるし、またそうすることが必要でもある。昨年の財団セミナーでは、この点についてまだはっきりしていなかったため、明確な説明ができなかったことをこの場をかりてお詫びしておきたい。

今後は財団セミナーをはじめ、さまざまな機会に地区の会員の皆さんとこの点に関して議論できればと考えている。あと1年、この委員会をあくまでこの委員会の委員として、これからの展望と筋道を明確にした上で、次の方にバトンタッチできればと思う。今後とも本委員会へのご支援・ご協力をいただければ幸いです。

今期GSE委員会を終えて

地区GSE委員会

委員長 岡崎 芳明

(小樽南RC)

今期研究グループ交換委員会の仕事は、次年度スウェーデンR12360地区に派遣する、派遣チームリーダーを決定する事から始まりました。矢橋ガバナーはじめ渡邊ガバナーエレクトとGSE委員、橋本前派遣チームリーダー等の方々により構成されるGSE選考委員会にて、岩城ロータリー財団委員長のご推薦もあった札幌東RCの奥貫一之会員（北海道リハビリ理事長）が決定致しました。次年度のGSEは相手地区が福祉先進国のスウェーデンという事もあり、我が地区初めての重点的GSEとして福祉・介護に関わる方々ばかりを集めたGSEプログラムを計画しました。奥貫派遣チームリーダーはお仕事柄今回の派遣リーダーには適任の方と思われます。

派遣団員の募集に際しましても、過去の経験を生かし、とまかく広範囲に渡り沢山の派遣希望者を募る事に焦点を置きました。まず当地区の全ロータリークラブにポスターと募集依頼文を送り、併せて北海道新聞に掲載、更に奥貫派遣リーダーにお願いし（社）北海道社会福祉会様にご協力を仰ぎ、お陰様でGSE委員会としては最も多い14名の派遣団員希望者が集まり2月1日にGSE選考委員の皆様方により選考試験が行われました。

この度は福祉・介護という職業に現在携わっている方ばかりを集めましたが、職業に取り組む姿勢が素晴らしい方が多く集まり、その中から派遣団員を選ぶ事は今まで以上に難しいものでした。今回は奥貫派遣リーダーのご意見もあり、当委員会としては初めて派遣の4名を決めず、1次選考としまして補欠団員も視野に入れた6名を選び、派遣研修を4ヶ月行い6月27日に成果報告会を開催し正式派遣団員4名と予備派遣団員として2名を決定しました。

私事ですが、今期でGSE委員長を終え次年度は手に掛けたスウェーデンとのGSEプログラムの行方を見届ける為に、もう1年だけGSE委員として残り、沼舘新委員長と石丸副委員長を陰ながらお手伝いさせて頂くつもりです。

ロータリー財団の減収に伴い、GSEプログラムの存続も先行きが不透明になって参りましたが、与えられたプログラムを大切に最後まで皆さんと協力をしながら勤めたいと思っております。

今期毎回委員会に岩城ロータリー財団委員長と神部次期代表幹事が御出席下さいました事に感謝を申し上げますと共に、R1第2510地区ロータリアンの皆様のご協力と関係各位のご協力で心より御礼を申し上げ、今期GSE委員会よりのご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

地区補助金委員会報告

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄

(札幌南RC)

2003年7月から地区補助金制度がスタートしました。今まで広報が行き届いていなかったせいでしょうか、毎年申請件数が10件前後と低調に推移しております。ロータリー財団に寄付した年次プログラム基金の50%が地区財団活動資金（DDF）として返され、このうち地区補助金は毎年約30,000ドルがロータリー財団から送金されて来ます。

今年度は前期と後期と分け受付しましたが、前半低調で直接各クラブに電話して申込み申請を依頼いたしました。年々条件が厳しくなって来ており、今回の審査基準はロータリー財団地域セミナーハンドブック（2008年11月19日）に準じてガバナー、財団委員長、各委員で厳正なる審査を行い、申請12件中11件が認められました。（詳しくはガバナー月信2009年2月号、今年度地区要覧年次報告書に掲載しております）

昨年4月の地区協議会で申請は特に面倒でなく、人道的活動と地域のニーズに応える物であれば、各クラブの社会奉仕委員会を中心に地域と密着したプランを立て、その一部を補助金として支給することなど説明したのですが、十分理解されなかったのでしょうか、申請件数は少なく非常に残念に思っております。

次年度も引き続き委員長を引き受けることになりました。7月1日から受付を開始します。なるべく早期にロータリー財団補助金プログラム申込書を提出して頂き、その都度審査が出来ればと考えています。毎年余剰金を出してロータリー財団本部に返金していることから、ぜひ有効に活用して頂きたくお願いする次第です。

委員長を終えて

地区財団学友委員会

委員長 高橋 宣充

(札幌清田RC)

前委員長より急な引継ぎに始まり、委員としてもまだ一年あまりの私がかどうか任務を終えることができ、今はただ安堵の日々です。本当にいろいろな方にお世話になりました。この場を借りて感謝いたします。

さて財団学友委員会とは元ロータリー財団奨学生、元GSE団員で構成する「財団学友会」の活動に対する支援とロータリー活動への参加促進、また学友に対するロータリークラブへの理解を深めてもらう活動を中心に行っております。

大きな活動のひとつに海外に留学した財団奨学生の『財団学友帰国報告会』を毎年行っております。本年も1月31日に札幌プリンスホテルにてロータリアン、学友合わせて50名の参加があり、学友の体験がいかに貴重なものであるかを知るうえで、またとない機会でありました。これから留学を目指す候補生にも大変参考になったと思います。

またクラブからの要請により卓話の依頼にも応じ、地区大会、ロータリークラブ行事への参加にも学友には協力していただきました。今後も各クラブの活動で学友の参加協力が必要な場合は、メーリングリストも充実しておりますので是非お声掛けをお願いいたします。これからも他地区の学友会との交流、活動を知っていただく為の学友会「ニュースレター」を毎年発行していく予定です。

現在財団学友会は会員が300名を超え各方面で活躍されておりますが、少数ですがロータリークラブの会員として活動している会員もおります。少しずつではありますが、学友には様々なかたちでロータリー活動を理解していただき、将来は会員として参加していただくよう導くのも当委員会の役目と思われまますので各方面のご理解を戴きたいと思っております。今後とも学友会活動への支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

米山記念奨学委員長を終えて思う

地区米山記念奨学委員会

委員長 大石 春雄

(札幌はまなすRC)

今から5年前、2004年の6月に私どもの親クラブであります札幌北RC、竹原前委員長からの電話で、私のロータリアンとしての活動が始まったといっても過言ではありません。米山と言えば、奨学生を受け入れて奨学金を渡し、寄付をすれば良いとしか認識していない私でした。しかし、委員会活動を通し留学生に接する機会が増すほどに、日本に学び母国に帰って良い国にしたいと言う思いで学んでいる留学生が多いことに、感銘を受けました。日本で学ぶことは大変です。生活のためのバイト、寝る時間を惜しんでの研究、第2510地区では年間18名の奨学生しか受け入れることが出来ず、一握りの人しか援助することが出来ませんが、米山記念奨学事業の素晴らしさを体験することが出来、携わったことに誇りを感じます。

竹原前委員長の時の一人当たり寄付金は全国22番目でしたが、私の委員長になって23~24番目となってしまい、私の努力が足りなかったと痛感しております。地区73クラブの内、奨学生が18名ですので、大半のクラブは奨学生と接する機会がないわけです。少しでも多くのクラブに、奨学生と共に訪問し、生の声を聞いてもらう努力が足りなかったと反省しきりです。

私は、委員2年、委員長3年の計5年間、米山記念奨学委員会にお世話になり、とても素晴らしい経験をさせていただきました。竹原前委員長に感謝!!。そして至らない私を助けて下さいました伊藤長英常務理事はじめ委員の皆様にも感謝!!。この米山記念奨学事業が永遠に続くことを祈って、委員長を退任させていただきます。有り難うございました。

地区米山学友委員長を終えて

地区米山学友委員会

委員長 村上 淳

(札幌東RC)

このたび急なことでありますが一身上の都合により、地区米山学友委員長を降りることになりました。米谷前委員長の後を受けて08-09年度から米山学友委員長を仰せつかりましたが、わずか1年間の短い委員長という結果になり大変残念に思います。当時ロータリークラブでの在籍も浅く、また米山奨学会や米山学友会についても初めての経験であり、知識や経験がまだまだ不足している中での就任でしたが、台湾ご出身の米山学友会陳会長並びに見延初代学友委員長・米谷前委員長、更には伊藤米山記念奨学会常務理事・大石米山記念奨学委員長の皆様のご協力のご支援を頂きながら、この1年間なんとか頑張ることができ、とても楽しく務めさせていただき良い経験となりました。特に定例のメインイベントである11月の総会・懇親会や先日の6月の家族懇親会では、多くの学友と奨学生の皆さん並びにご家族の皆さんそしてカウンセラーをはじめロータリアンの皆さんが集い、短い時間でしたが熱心な皆さんと楽しいひと時を過ごしながらコミュニケーションを深めることができ、良い思い出となり嬉しく思っております。また地区で開催される各種交流会やセミナーそして奨学生との遠足会・長沼国際交流会などでも幅広い交流と親睦を深めることができました。

幸い後任には、現地区米山記念奨学委員会の大石委員長に引き継いでいただくこととなり、これまでも両委員会は絶えずコラボレーションを取りながら活動をしてきた関係にあり、米山学友委員会へのご理解も深くとても心強く安心致しております。

第2510地区の米山学友会は、歴史も浅く組織的にもまだ発展途上にあるため、地区米山学友委員会が運営や実務を全面的にサポートしながら協働している段階にあります。今後の米山学友会並びに米山学友委員会のますますのご隆盛と会員の皆様方のご健勝とご発展を衷心よりご祈念申し上げ、退任の御挨拶と致します。

【ロータリーの友】を よりロータリアンの身近なものに

ロータリーの友委員会
地区委員 橋本 信夫
(札幌西RC)

「ロータリーの友」は世界の31ヶ国で発行されているRIの公式地域雑誌の一つで、印刷と電子の二つのメディアによりRIや国内のロータリー情報を会員に提供するべく様々な企画が行われてきました。

これにより「友」委員会では、特に2002年以来「友」の体裁や編集方針を大きく変革させながら読み応えのある紙面作りを目指して努力を重ねてきました。さらに2009年7月から【「ロータリーの友」をよりロータリアンの身近なものに】の方針のもと、国内34地区を3ゾーンに分け、ゾーン別の会議を新設して視点を改めて新しい編集企画を展開することになりました。つまり少人数による密度の濃いゾーン会議をもとに担当地区の問題を深く掘り下げ、よりスピーディーにインパクトのある紙面作りを心がけようとしているわけです。これにより第2510地区は北海道、東北と関東の14地区を含む第1ゾーンに属して編集に参画することになります。

そこでこの編集方針に従って【「友」をより身近なものに】するために、以下の変更を行うことになりました。

編集企画の主なる変更点

① 表紙は、公募写真「祭」で飾る。

表紙の解説は元アサヒカメラ編集長の岡井耀毅氏が担当する。

② クラブ探訪「手に手」の継続と充実を図る。

国内34地区の地区委員から推薦されたクラブの中から、様々な角度からの調査、全国的な配置、クラブの大小などのバランスを取りながら対象クラブを選ぶ。このクラブにプロのライターとカメラマンを派遣し、取材を通して優れた紹介記事を掲載する。

③ テーマを絞った座談会の記事を掲載する。

年間3回ほど、ロータリー活動に関する具体的な体験、例えば「広報活動の実施」、「地区補助金での奉仕実例」、「例会を楽しく有意義にする方法」といった具体的なことを実践者同士で話し合う座談会を開催して紹介する。

④ 「ガバナーのページ」を復活させる。

現在のガバナー執筆の「地区自慢」の代わりに、以前あった「ガバナーのページ」を復活させ、地区の紹介にとどまらず、ガバナーの思いやロータリーに関する幅広い意見を掲載する。

⑤ 「地区のたより」を廃止する。

「地区のたより」は「ロータリー・アット・ワーク」などとの重複が目立つのでこれを止め、地区の特色を出せる新しい形式の特集などを組むようにする。

2007年から電子情報メディアであるWeb「Rotary Japan」が広報誌として開設され、国際大会、国際協議会、地区大会などの模様をWebで詳しく速報できるようになりました。更にRIのホームページ、米山記念奨学会や各地区・各クラブなどもリンクを張って底辺の拡大も図れるばかりでなく、ロータリアン以外にもインターネットによる迅速な公開の道が拓かれました。

この「友」は会員の機関誌なので、まず会員の投稿をもとに、それぞれの意見の開陳や公開討論、また様々な経験、職業知識などを載せて会員相互の交流とロータリーの啓蒙を図ることを大きな目的としています。しかし「友」にはRI本部からの援助がないので、独自の財政基盤を持たなければ継続的な発刊が難しくなります。このため「友」への興味を高め、購読意欲をそそらせるよう様々な工夫と努力を重ねられて、今では一般商業誌に劣らないほどの内容を誇るようになりました。

したがってこの購読の拡大によって、「友」の運営基盤が財政的に支えられるばかりでなく、地域社会にロータリーの特色や素晴らしさを伝え、会員増強の機会をも拡張できることになります。会員の育てたこの「友」がいつも会員の座右に置かれ、クラブ運営や活動の糧として広く活用して頂ければ幸いです。

(参考資料：2009—10年度 ロータリーの友委員会方針 2009年7月1日開催)

青少年に奉仕して

地区青少年交換委員会

委員長 宮崎 善昭

(札幌西RC)

2008～2009年度もロータリアンの皆様を始め多くの方々にご尽力いただき事業を終了することができましたことを感謝申し上げます。

世界のロータリーが青年育成に注目し、次代の世界のリーダーとして奉仕と平和を創りだす人を養成することにエネルギーと資金を投入することは大きな意義のあることです。特に、高校生の長期に渡る国際交流というプログラム手段は、ロータリアンを始め多くの協力者が関わり時間と手間のかかるものです。また、このプログラムに参加した生徒は、人間の「善意」を経験し本気でそのために奉仕する大人の姿を目の当たりにして価値観のパラダイムシフトを経験するのではないかと思います。過去のこのプログラムの参加者との交流が何十年も継続する場合もありますし、自国に帰国してから相互に音信のない人もいますが、1年間異国で生きたという経験（失敗や、躓きもあるでしょう）は必ずや彼らの価値観や人格形成に大きな影響を及ぼすものと信じています。

帰国した生徒の1年後の成長した姿を見ていると彼らに大きな希望を見出すことができ、まさにそのために本委員会が存在し奉仕することの喜びを感じることができます。

ロータリーの原理は政治的ステム構築による有効性を問うのではなく、人間が一人ひとりをいかに大切に、個人の奉仕活動によって理念や理想を実践することを「良し」とする自他共に成長し続けることにあると思います。その意味では、一人ひとりのロータリアンは社会の改革を個人の人的成長によって成し遂げようを試みる壮大なドラマの主人公であるということができるとは思っています。

この3年間本委員会に携わることができ、ロータリーでなければ会うことができなかった多くの人々と出会うことができ、教えられ、支援され、励まされてきたことを覚え感謝申し上げます。

次年度からは新委員長の元に委員会運営がなされますが、今までと変わらないご支援をお願い申し上げます。

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



飯島 康生

(余市RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
ゴルフ場



中川 徹

(倶知安RC)

■入会/
09年6月1日
■職業分類/
歯科医



木村 貢

(江別RC)

■入会/
09年6月11日
■職業分類/
電気事業



澤合 賢一

(札幌北RC)

■入会/
09年6月22日
■職業分類/
経営コンサルタント



平木 正一

(苫小牧RC)

■入会/
09年6月26日
■職業分類/
生命保険



我々はどこへ行くのか

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《あらばしり・中汲み・責め》

早いもので、私の“Rotary Notes”も最終回となりました。ロータリーを愛しているがゆえに、いつもロータリーの行く末を案じて辛口の話が多くなりました。ロータリーを讃えることはやさしい。しかし物事には必ず光と影があります。自分の月信ならともかく、矢橋ガバナーの月信の軒先を借りていながら、つい身勝手にドグマティックな文章になってしまい、われながら読み返す気にもなれず内心忸怩たるものがあります。

ロータリーを学ぶには、科学的なアプローチと哲学的なアプローチがあります。手続要覧を見てもお分かりの通り、ロータリーは実に多くの歯車から成り立っています。「ロータリーを科学する」とは、それらの歯車を別々に分けてその一つ一つについて正確な知識を得ようとするものです。

ただロータリーは年々複雑、細分化しすぎて、相互の連携が難しくなり、木を見て森を見ずの弊害が心配されます。では「ロータリーを哲学する」とは、どういうことでしょうか。科学の対象は存在の一部ですが、哲学のそれはロータリーの存在の全部です。ここで注意しなければならないのは、哲学は存在の全部であるというのは、一つ一つのものを全部知るということでなく、全体を統一的に知るということです。私は月信に原稿を書くにあたり、「ロータリーとは何か」、「ロータリーの奉仕哲学」、「ロータリーの存在理由」など、ロータリーをトータル的にとらえてみたいと思いました。しかし、私は決して科学より哲学的アプローチが優っているとは言いません。科学と哲学はいずれも必要で、相補って完全になるのだと思います。

酒を絞る行程の言葉に「あらばしり・中汲み・責め」の三段階の名前があるそうです。最初に出てくるお酒は薄く濁っていて、これを「あらばしり」といいます。「あらばしり」が出終わると、透明なお酒が出始めます。この透明な部分を「中汲み」といい、香味のバランスにすぐれています。最後に圧力を掛けギュッと絞り取ることを「責め」といいます。私の月信への寄稿も酒を絞るときと同じようなサイクルでした。最初のころの原稿は、内容は乏しいが割合苦労せずに勢いで書きました。中盤はとて「中汲み」の銘酒とは言えませんが、最初のころに比べて、自分の書きたいものが迷わずに頭の中にスムーズに湧いてきました。しかし終盤になるにつれ頭の中が空になり、脳みそに圧力を掛け、ギュッと絞り取る「責め」の苦渋を味わいました。ものを書くには、頭の中に書きたいテーマが浮かんでこなければなりません。テーマが浮かんでも、すぐには書き出さずに、頭の中でそのテーマを自分なりに推敲し、咀嚼して熟成させ、醗酵するのを待ちます。しかし馬齢を重ねると感激が薄れ、最近は特に書きたいものが浮かんでこなくなりました。年齢のせいだけでなく「アルチュー・ハイマー」のせいでしょう。

《対立から共生へ》

第10回日韓親善会議が今年の9月3-4日に韓国のソウルで開かれます。会議は2年ごとに両国で交互に開催されてきました。前々回、第7回日韓親善会議は2005年の9

月、ソウルで開催されました。日本、韓国、台湾からロータリーの指導者が集まり、21世紀の東アジアが目指すロータリーについて語り合いました。その底流にあるものは「対立から共生へ」の志向です。

デカルト以来、二つの異なるものを対立するものとしてとらえる、物心二元論を基盤に発展してきた西洋近代文明、その行き詰まりをどのように打破していくのか？東アジアには、2000年以上も共有してきた伝統的な資産があります。それらをもとに、今こそロータリーの世界にも新しい東アジア文明の存在を発信すべきではないかという、グローバルな見地からの提言がなされました。

二つの異なるものを対立するものとしてとらえるのではなく、「Aであり、また、Bでもある」として捉えるアジアの「じゃんけんの理論」のように、もっとしなやかな共生の論理こそが必要と提言されました。誰もが勝者となり得て、決定的な敗者を生まない社会。対立でなく共生、抗争でなく循環、排斥でなく融和というこうしたアジアの思想が、「裏か表か」というコイントスに象徴される西洋文明との対比で語られ、東アジアのこれからの在り方を、道教の視点からとらえたユニークな文明論は、参加した日韓のロータリアンに深い示唆を与えました。昨今のロータリーは、RIとロータリアンとの齟齬が大きくなったように見受けられます。理想的な組織とは、「全体は個を思い、個は全体を思う」組織です。RI主導の現代のロータリーは、財団支援、会員増強が最大の目的で、その目的達成のために、個々のロータリアンを強力なリーダーシップによる「力の論理」で管理しますが、「ジャンケン文明論」のようにもっとしなやかな共生の論理こそが必要だと感じます。

《我々はどこへ行くのか》

久しぶりに名古屋に行き、名古屋ボストン美術館に寄る機会を得、ゴーギャン展を見ることができました。文明社会に背を向け、「楽園」を求めてタヒチにわたり、魂の叫びを表現し続けた画家の作品に直に触れることができました。大勢の人物群像を深い宗教的思索で描いたゴーギャンの大作、『我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか』という題名の絵を前にして、強いインスピレーションに打たれました。たまたま名古屋へ行く数日前、ロータリー財団は金融危機のため、およそ220億円（全世界の年次寄付2年間分）の投資損失を計上、結果として財団プログラムの大幅な縮小を余儀なくされたというニュースを知りました。「古来金銭を求めて失敗した例は枚挙にいとまがないが、心を求めて失敗した例は寡聞にして聞かず」といわれます。ロータリーは本来、心を求める精神奉仕が本筋でした。しかし今や、人の金を集めて奉仕するという財団中心の金銭奉仕団体になってしまいました。しかし「倫理なき経済は罪悪 経済なき奉仕はたわごと」の言葉通り、ロータリー財団が破綻しては、金銭奉仕は難しくなっていました。

ゴーギャンの絵の題名のように、我々ロータリアンは「どこへ行く」のでしょうか。何を目標に活動したらいいのでしょうか。この命題を、我々は考えて、考えて、考え抜くことが大切です。瑣末的な金銭奉仕にとらわれずに、今一度我々に課せられたロータリーの「根本使命」を考えましょう。そのヒントとしてフランスの知の巨人、ジャック・アタリ氏の言葉をお伝えしてお別れとします。

『みんながボランティアで生きていける社会。お金を必要としない貢献主義社会です。自分が出来ることで社会貢献する。それだけで社会は機能します。今まで金儲けに知恵を出してきました。地位や名誉を得るために知恵を出してきました。その知恵やエネルギーを博愛と利他精神に変えて、超民主主義社会の実現に使って欲しいのです』

会長幹事の皆さん、月信担当の皆さん、一年間ありがとうございました。



第10グループ クラブ紹介

地区ガバナー補佐（第10グループ担当）

上野 一義
(七飯RC)

この一年間、研修期間を加えると、1年6ヶ月は、私にとりまして楽しい充実した時間となりました。ガバナー補佐の任務も皆様の協力のおかげで無事終了しましたし、ロータリーにつきましても少しは学ぶ事が出来ました。感謝しております。

担当クラブの紹介ですが、数回のクラブ訪問をしたとはいえ、状況を完全には把握し切れず、ましてや奉仕活動の現場に立ち会う事も出来ませんでしたので会長さんに、写真一枚と200字ほどの原稿を依頼しました。長文の原稿が多く、400字ほどにカットせざるを得ませんでした。意を尽くせぬ所があるかもしれませんが、御容赦下さい。では北から紹介します。

・長万部ロータリークラブ 会長 井上 正範

会員が9名となりましたが、RIのテーマ「夢をかたちに」を実現すべく、会員一丸となって取り組んできましたが、正直なところクラブの健全な運営を推進するには困難な状況にあります。その中でもクラブ創立40周年を昨年3月に迎えており、今年度は創立記念事業の実施を最重要事業に据えました。地区補助金の支給もあり、6月3日に役場庁舎前の公園に花時計の設置を完了いたしました。花時計は同日、長万部町に寄付し、長万部ロータリークラブの歴史と活動を町民に理解してもらうには絶好の機会となりました。今後は花が色濃くなるにつれ、優しく町民の心に時を刻むものとおもっております。

・森ロータリークラブ 会長 出町 英二

本年度創立45周年を迎え、会員相互の親睦と融和、会員の所属意識の向上を目指して、クラブの長年の夢であった「ロータリー旗」を記念事業として購入しました。機会あるごとに「ロータリー旗」を掲げロータリアンとしての誇りと自負を持って、森町内外の人々にクラブの認知の向上に寄与したいと思っております。強調と融和が生れる楽しい例会、家族を加えた例会、例会案内の携帯メール配信、結婚記念日の花束と会長からのメッセージカード贈呈など、家族の理解と協力を得る事により出席率の向上に努めました。

次年度より導入される「CLP」が円滑に機能するよう、例会で説明し、クラブ細則の改定と周知に努め、次年度年初より円滑なクラブ運営が出来るように致しました。

・七飯ロータリークラブ 会長 柴田 晴史

8月。北海道国際交流センター七飯支部が大学の夏休みに海外留学生を町内に2週間ホームステイさせています。この留学生や関係者20数名を招き「国際交流の集い」として交流を深めており今年には18回目となりました。次は9月末に合行なう「観月会」です。10、11グループの会長、幹事を中心に多数の会員が集まります。長万部、森RCの会員の参加が多いのは3つのクラブの合同例会として始まったなごりです。今年には23回目となり綱木地区職業奉仕委員長の卓話もあり、約60名のRC仲間で親睦を深めました。1月どんと焼きの日には神

社の境内で「チャリティカレンダー市」を行います。暮れに企業や家庭、会員から提供されたカレンダーを格安にて販売し益金は全額社会福祉協議会に寄付しております。今年は4回目となり年々利用者が増えております。



七飯RC「国際交流のつどい」

・函館亀田ロータリークラブ 会長 出戸 秀光

今年度より地区の目標の一つ、例会時に4つのテストを唱和するようにしました。例会場にしていたホテルの閉鎖に伴う例会場の変更を4月に行いました。会員の弔辞を読み上げるのもつらい事でした。

クラブの活動は7月の国際奉仕委員会、9月の社会奉仕委員会、4月の職業奉仕委員会等は継続事業でしたが、11月に新世代委員会により恵山小学校の5年・6年生を社会見学の一環として、新聞の出来るまでの過程の講義と工場見学、その後会員と交流しロータリークラブを知って貰いました。

最後に1名の純増に関しましては残念ながらトータルで3名の減になってしまいました。

・函館ロータリークラブ 会長 藤井 方雄

国際奉仕事業の一環として、鳴物界の人間国宝・堅田喜三久師匠他長唄、三味線、立方の第一人者5名をお招きしました。市内在住外国人留学生19名、一般参加者、当クラブ会員及び同夫人総勢99名が参加し日本の伝統芸術を鑑賞しました。喜三久師匠の太鼓による、波、風、雷、雪等の表現、芝居の呼び込み、撥ねたときの音、には日本の伝統楽器はかくも多様性を発揮し、日本人の繊細な感覚にマッチするものかと改めて驚かされました。三味線の組み立て方、弾き方を勝十郎師匠が軽妙なトークで説明し、時には笑いを誘いながら邦楽の世界に会場を引き込み、留学生に驚きと感動を与えました。最後は師匠全員で長唄「島の千歳」を演じられ日本の伝統芸術の神髄を披露されました。

多数行いました奉仕活動のうち、特に心に残ったものを紹介いたしました。

・函館セントラルロータリークラブ 会長 鍋谷 操子

本年度第一の成果は会員増強です。会員数24名でスタートし、6月5日現在31名です。7名の会員増強を致しました。次年度創立5周年を迎えるにあたり、若い会員の多い当クラブは会員間の信頼度も高く、非常にまとまりのあるクラブとなっています。社会奉仕活動の一端を紹介します。9月19日函館中央警察署前にて秋の交通安全運動を実施し、信号待ちのドライバーにシートベルトの着用と安全運転を呼びかけ、ティッシュ・エコバッグ等を配布しました。

10月30日五稜郭の北洋銀行支店・丸井今井の交差点で、函館でも近年被害が増加している振り込め詐欺の防犯運動をお年寄りや主婦の多い時間帯に実施しました。チラシ・防犯ベルを配布し注意を呼びかけました。

文末になりましたが、矢橋ガバナー、大金代表幹事、ガバナー補佐の皆さん、御指導ありがとうございました。担当クラブの会長・幹事さんお世話になりました。

追記：今年度ほどガバナー月信を熱心に読んだことはありません。木訥な語り口のガバナーの巻頭言、難解ながら読み返す度に新しい発見のある塚原論文、気になるガバナー補佐レポート、裏話的な大金代表幹事の編集後記、読むのが楽しみでした。

第100回国際ロータリー年次大会参加記

地区オン・ツー・バーミンガム委員会

委員長 丸山 淳士

(札幌真駒内RC・PG)

2009年6月21日から24日まで、英国バーミンガムにおいて記念すべき第100回の年次大会が開催されました。2009年バーミンガム国際大会委員会の委員長は日本の田中作治氏でした。



今年初め頃から、メキシコに端を発した新型インフルエンザの影響で、各種の国際大会の開催が危惧される中、6月2日に当該委員会は開催を決定いたしました。その後3日にはWHOが新型インフルエンザのフェーズ6を宣言しましたが、これには各種国際大会などの開催禁止措置はつきませんでした。

当地区からは約50名の参加がありました。半数の25名は地区主催コースで年次大会並びに英国観光ツアーを楽しみました。日本人朝食会も例年通り賑やかに開催され、約2千名の参加がありました。席上、田中作治委員長から今回の日本からの参加者は「ブタにも負けず、トリにも負けない強力な参加者」とユーモアを交え、参加者にねぎらいの挨拶がありました。インフルエンザの影響で参加者が少ないという危惧がありましたが、例年に勝るとも劣らない数の参加者がありました。

北海道ナイトも50名の参加があり現地での親睦を深めました。特筆すべきは札幌西北ロータリークラブが1クラブとしては最多の17名のツアーを組んでの参加でした。雨の多い英国ですが、幸い大会日程中は天候に恵まれ、国際大会の盛り上がった雰囲気とすばらしい英国観光を楽しみました。

2009年バーミンガム国際大会北海道ナイト盛會に開催

6月21日、日本人親善朝食会を皮切りに、本大会、北海道ナイトと開催され、当日朝は小雨もありましたが、夕方より晴れ上がり白夜を楽しむ事もでき、今回の大会で参加の皆様が一堂に揃う北海道ナイトが、リゾートホテル・マリオットで盛會のうちに開催する事ができました。



会は、丸山オン・ツー・バーミンガム委員長歓迎挨拶に始まり、酒井直前ガバナーの乾杯でスタートとなり、50名余の参加メンバーはクラブの垣根を越えて一気に盛り上がりました。

参加ロータリークラブは、岩城パストガバナーの札幌南、熊澤ガバナーノミニーの小樽をはじめ、滝川、札幌東、札幌西、札幌真駒内、札幌西北、函館五稜郭、美唄、苫小牧北、千歳、当別、余市、札幌はまなす、と多くのクラブの参加をいただく事ができました。白夜の中で会は矢橋ガバナーのテーブルスピーチで始まり、約2時間にわたりクラブ・自己紹介などをはじめ「夢をかたち」の熱い思いが語られ、親睦を深める事ができ、思い出深い時間を過ごす事ができました。特に、札幌西北RCより小川会長を筆頭に17名の参加をいただき、会を盛り上げていただきました。参加者の中には、幼児を抱いた若いカップルも含まれ、伊藤年度シンガポール大会の時より始まった「北海道ナイト」の歴史を飾る一幕になりました。写真の満足そうな矢橋ガバナー、小川会長の笑顔をご覧ください。



最後に渡辺ガバナーエレクトの一本締めで終了し、2010年モンリオールの再会を約束し終宴となりました。

翌朝はお楽しみの湖水地方へのバス旅行、ペアールックがお似合いの佐藤パストガバナーご夫妻を始め、元気に出発した一行は6月27日、思い出の沢山つまったトランクと共に帰札いたしました。

(文責 札幌東RC：西村 勉・写真 奥貫一之)

第1グループ IM・深川RC創立50周年記念式典報告

ガバナー補佐（第1グループ担当） 大西 道祥
(深川RC)

2009年5月17日、深川（プラザホテル板倉）にて第1グループIM（都市連合会）を深川RC創立50周年記念式典と合わせて開催した。

当日は第1グループ全員登録、第2グループ、地区役員等170名以上の登録となった。IMのテーマ「クラブ活力の再生～手に手、四つのテストで奉仕の連携を～」の主旨説明を私が挨拶の中で述べ、杉村 修IM実行委員長、澁谷賢治会長の歓迎の挨拶の後、矢橋ガバナーよりセレモニーの中に四つのテストの唱和を入れた事にお褒めの言葉があり、丸山淳士パストガバナーがいかに第2510地区を代表するロータリアンであるかの紹介がありました。

基調講演は丸山淳士パストガバナーが「クラブ活力の再生の道」と題して、ピーター F. ドラッカーの言葉を引用しながら、ユーモア溢れる相変わらずの丸山節で会員に深い感銘を与えました。その中でもリーダーの心得4箇条、①人の言うことを聞く意欲、能力、姿勢、②コミュニケーションの意欲、③言い訳をしない、④仕事の重要性に比べて自分など取るに足りない事を認識すること、が強く印象に残りました。素晴らしい講演であり、道標を示して下さった丸山淳士パストガバナーに心より感謝申し上げます。

「クラブ会長ディスカッション」では、プロのパーソナリティーである澁谷深川RC会長が司会者となり、各クラブ会長の本音を引き出すべく、実に上手に進行された。

「貴クラブ会員のこの1年間の満足度は100点満点の何点？」という質問に個性豊かな会長さん達が異口同音に100点以上の点数を出し、会長は各会員に支えられながら成り立っている事に感謝しているとの発言にさすがと思いました。

「女性会員について」の質問にはフロアーより2名の女性会員の発言もあり和やかな雰囲気の中でのディスカッションとなりましたが、45分という短い時間しか取れなかったのが少し残念でした。

「奉仕の半世紀、連帯感の高揚と資質の向上を」のもと、創立50周年記念式典は姉妹クラブである韓国南海RCより金玆杓会長をはじめ8名の会員の来訪があり国際色豊かな式典となりました。中澤 清実行委員長の式辞で始まり、42年間皆出席の佐々木實パスト会長が特別表彰を受け、お礼の挨拶は万感胸に迫るものがありました。記念事業は深川市に自動体外式除細動器（AED）5台を贈呈致しました。

IM交流会と記念祝賀会を合同で開催し充分な懇親を深めてもらうため、催し物は一切出さず楽しい会となった事を付け加え報告と致します。



式辞を述べる中澤清実行委員長



「会長ディスカッション」の様子

羽幌ロータリークラブ 創立30周年記念式典・祝賀会

羽幌RC（忠津 章会長）の創立30周年記念式典が5月30日、羽幌町中央公民館で開かれ、豊かな社会づくりへの決意を新たにしました。

羽幌ロータリークラブは、昭和54年5月16日、留萌ロータリークラブがスポンサーとなり小平ロータリークラブがコ・スポンサーとして創立され、同6月6日国際ロータリー第2510地区、56番目のクラブとして認証を受けました。

ロータリークラブ杯全道少年少女サッカー大会、少年野球大会など青少年の健全育成、知的障がい者の会への活動支援、献血運動、交通安全旗の贈呈・セーフティーコール参加、タイの研究グループの受け入れ、羽幌に元々あった自然を呼び戻すビオトープ造成支援など、さまざまな地域活動を繰り広げております。

創立30周年式典のスローガンは、「夢、めぐりあい、広げる奉仕、継がれる輪」

点鐘で始まった式典には、忠津 章会長が歓迎の挨拶、来賓、来訪のロータリアンを紹介したあと、實藤吉信実行委員長が「年度ごとの奉仕活動を積み重ね、30年の年月を経てまいりましたが、会員一同心を新たにし、ロータリーの基本理念を継承、次なる世代へのかけ橋となるべく、住み良い町、豊かな社会づくりに邁進することを誓います」と式辞を述べました。

松橋 守記念事業委員長より事業報告があり、初山別村にAED1台、羽幌町にAED2台寄贈するほか、羽幌町には、災害時などにおける緊急避難場所を示す案内標識を寄贈、離島3カ所を含む羽幌町内の指定場所15カ所に設置された旨説明があり、實藤実行委員長から羽幌町長、初山村村長へ記念品の贈呈がありました。

次にスポンサークラブ、コ・スポンサークラブ、ガバナー補佐、チャーターメンバーに感謝状と記念品が贈呈され、歴代会長、幹事に表彰状と記念品が贈呈された。

来賓祝辞では、羽幌町町長 舟橋泰博様、RI2510地区ガバナー 矢橋温郎様、留萌RC会長 齋藤清蔵様から祝辞が述べられました。

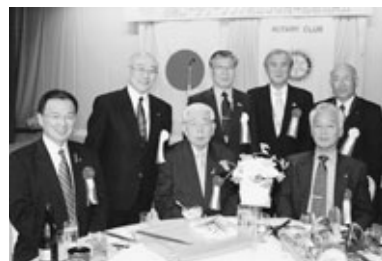
またUHBキャスター京谷和央氏の記念講演「泳いだ、こいだ、走った、伝えた、オロロンライン、北海道の元気力」に耳を傾けていました。講演後、会場をサンセットプラザはぼるに移動して祝賀会が開催され、忠津会長の歓迎の言葉、小平RCの会長代理籠川健次様の乾杯の音頭で祝宴に入りました。

アトラクションとして、羽幌町民吹奏楽団、PowerDVD（羽幌RC30年の流れ）が上映され会場は、楽しい雰囲気になりました。締め音頭は、工藤喜一会長エレクトの三本締めが行われ、最後に出席者全員輪になり、「手に手つないで」を合唱してお開きとなりました。

ガバナー初め遠くから出席いただいた皆様大変ご苦労様でした。



實藤実行委員長の式辞



ガバナーを囲んで



**マッチング・グラント #66571
「チェンマイでのチェックダム群と貯水槽建設事業」が全て完了しました**

地区世界社会奉仕委員会
委員長 **出村知佳子**
(札幌北RC)

当地区では昨年度末より、この「チェンマイでのチェックダム群と貯水槽建設事業」に取り組んで参りましたが、この度事業が全て完了し、報告書もロータリー財団本部に受理され、この事業がファイルに閉じられましたので、ここに御報告を申し上げます。



この事業は2008年3月に申請、同5月にこれが承認され開始となりました。それから約1年間、第3360地区ロータリアンの皆さん、ランナチェンマイロータリークラブの皆さん、地元チェンマイ大学の皆さん、地元の村人の方達、アーミースクールの皆さん、色々な方達がこの作業に参加をし、見事に86のチェックダム群と、集落や近辺の皆さんが利用する150m³の貯水槽が出来上がりました。

マッチング・グラントに私達支援地区として共に汗を流そうということで、2009年2月には地区WCS委員を中心とした8名のメンバーがこのチェックダム工事に参加をし、チェックダム建設を実施してまいりました。

30度以上の気温の中での作業は重労働で、思っていた以上に苦労があるというのを強く感じて帰ってきました。その際の引き渡し式にはBaan Mon doi pui村の皆さん、チェンマイ県知事も参加され、ロータリーの皆さんの愛によって造られたダムと貯水槽をこれからも大切に管理して守って行きますとの言葉を頂き、私共も深い感銘を受けました。第2510地区としても暫くぶりに行われたマッチング・グラントでした。これに至るまでの数年間、この事業を単独で数年間地区内のクラブの皆様が御支援をしてくださり、この事業の有効性、相手地区のきちんとした取り組みを観てきて、私共も数回に渡りこの事業の現場を訪れ、多くの死亡者も出ているこのチェンマイでの雨季の大洪水の問題、それを解決するチェックダムの大切さ、さらにこの事業が生きる為の水の確保にも繋がっていく事業であることを理解して行き、交流も深まり、これがこのマッチング・グラントへと成長するに至りました。このマッチング・グラントの当地区委員3名より、この事業が完了し、地域にて大変意義あるものとなり、報告書の受理、承認がされたので、事業完了し委員会を解散し、この事業はロータリー財団本部ファイルに閉じられました。

これまで事業に御支援を頂いた、札幌東、千歳セントラル、室蘭東、室蘭北、札幌西北、余市、深川、静内各クラブの皆様、建設工事に参加したメンバー8名、チェンマイのすばらしい事業をしている仲間のロータリアンの皆さん、そして事業に御理解を頂きました酒井正人直前ガバナー、矢橋温郎ガバナー、岩城秀晴地区財団委員長、朝倉前地区補助金委員長、須田地区補助金委員長、事業への御協力を本当にありがとうございました。



国際奉仕委員会ニュース

第19回日本ロータリー親睦ゴルフ (JGFR) 北海道大会が2009年6月22日 (月) ザ・ノースカントリーゴルフクラブにて全国のロータリアンとご家族、70名が参加され開催されました。あいにくの雨のため、9ホールの大大会となりましたが、プレー終了後、懇親会 (表彰式) が行われ、おおいに親睦を深めました。



ガバナー補佐



優勝者



高塚氏

	A 部門			B 部門		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	大越 克己	札幌西	71.8	向田 甚市	岩見沢	71.6
2位	谷口 智治	東京世田谷	72.4	公文 重徳	高知南	71.8
3位	舟津 富雄	鳩ヶ谷武南	72.4	畑地 誠	田辺東	72.4
4位	内田 賢治	鎌倉大船	73.0	堀 楷一	総社	72.8
5位	丸山 博之	田辺東	73.4	大塚 哲夫	豊田中	73.2
BG賞	谷口 智治	東京世田谷	G 40	大塚 哲夫	豊田中	G 42

	C 部門 (女性)			ゲスト部門	
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	NET
1位	末永 京子	大垣中	73.2	根ヶ山佳延	73.4
2位	磯賀 穂子	宇都宮西	73.8	末永 義典	73.6
3位	松崎 範子	高知南	74.8	州崎 昭圭	74.8
4位	嶋田 順子	広島安芸	76.2		
5位	大塚多恵子	豊田中	77.2		
BG賞	嶋田 順子	広島安芸	G 51	山口 和雄	G 46

※ベストペアー賞 1位 末永勝昭 末永京子 (大垣中)

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	櫻井 祝	会員(1回)	5月15日
赤平 R C	赤川 清介	会員(1回)	6月5日
	西沢 良知	会員(1回)	6月5日
当別 R C	近藤 勝宏	会員(1回)	6月26日
	泉亭 祐司	会員(1回)	6月26日
札幌あけぼのRC	安澤 正美	会員(2回)	6月12日
	秋野 公孝	会員(1回)	6月30日
札幌幌南RC	山下 信行	会員(1回)	6月26日
	深貝 亨	会員(1回)	6月26日
苫小牧北RC	田辺 信夫	会員(1回)	6月30日
	菊地 芳彦	会員(2回)	6月30日

■ポール・ハリス・フェロー

赤平 R C	佐藤 元紀	会員	6月5日
札幌幌南RC	佐々木雅之	会員	6月30日
札幌西北RC	谷口恵美子	会員	6月30日
滝川 R C	宮崎 英彰	会員	6月19日
当別 R C	浅野 政一	会員	6月26日
	見上喜久雄	会員	6月26日
	永上 巖	会員	6月26日
苫小牧北RC	朝倉 瑞昌	会員	6月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢 R C	青木 司	会員(4回)	5月8日
札幌清田RC	阿部 哲夫	会員(2回)	5月20日
札幌清田RC	小仲美智子	会員(1回)	5月20日
苫小牧北RC	朝倉 瑞昌	会員(1回)	5月27日
苫小牧北RC	広島 薫	会員(1回)	5月27日
江別 R C	郷 和平	会員(2回)	6月8日
滝川 R C	藤井 照也	会員(1回)	6月15日
札幌あけぼのRC	安澤 正美	会員(4回)	6月9日
	秋野 公孝	会員(1回)	6月30日
札幌モーニングRC	藤森 敏昭	会員(4回)	6月11日
	平田 博史	会員(4回)	6月11日
	梅津 征夫	会員(4回)	6月11日
札幌西北RC	谷口 二郎	会員(36回)	6月19日
	出口 修	会員(1回)	6月19日
札幌幌南RC	近藤 浩	会員(4回)	6月22日
	羽部 大仁	会員(5回)	6月29日
	松根壽史男	会員(1回)	6月29日

長沼 R C	清水 慧子	会員(4回)	6月2日
静内 R C	在田 恒昌	会員(1回)	6月5日
浦河 R C	大針 道生	会員(1回)	6月3日
	富田 輝次	会員(1回)	6月10日
函館五稜郭RC	蝦名 康夫	会員(1回)	6月29日
	大日向豊吉	会員(3回)	6月29日
	當摩 浩平	会員(3回)	6月29日
函館東 R C	森元 浩	会員(7回)	6月2日
	宮崎あけみ	会員(2回)	6月9日

■米山功労クラブ

札幌清田RC	3回	5月20日
札幌モーニングRC	14回	6月11日
札幌西北RC	14回	6月19日
札幌幌南RC	17回	6月22日
長沼 R C	3回	6月2日

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.5.31	増減	内女性	
1	深 川	3	36	34	-2	3	94.76
	羽 幌	4	48	48	0	1	87.67
	妹 背 牛	3	9	9	0	0	88.89
	小 平	4	14	13	-1	0	75.00
	留 萌	4	45	43	-2	0	86.88
	小 計		152	147	-5	4	86.64
2	赤 平	3	29	29	0	1	87.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	88.51
	砂 川	3	52	56	4	0	98.17
	滝 川	4	99	100	1	2	79.00
	小 計		224	222	-2	3	88.17
3	美 唄	4	38	34	-4	0	87.00
	江 別	3	34	33	-1	1	89.90
	江 別 西	3	27	31	4	3	83.86
	岩 見 沢	4	87	88	1	0	90.41
	岩 見 沢 東	3	34	33	-1	4	89.23
	栗 沢	3	23	24	1	1	87.30
	栗 山	3	26	27	1	2	97.33
	当 別	3	34	33	-1	0	81.82
	小 計		303	303	0	11	88.36
4	札 幌	3	117	114	-3	0	96.77
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	3	25	19	-6	4	87.72
	札 幌 北	2	43	43	0	6	95.24
	札幌モーニング	3	49	52	3	0	74.68
	札 幌 西	3	62	63	1	4	89.67
	札 幌 西 北	4	39	39	0	5	96.74
	札 幌 手 稻	4	34	34	0	1	94.89
	小 計		387	380	-7	21	91.96
5	札 幌 東	3	120	122	2	0	97.07
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	5	65	65	0	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	3	35	37	2	4	94.57
	札 幌 南	3	92	86	-6	0	95.83
	札幌大通公園	3	9	12	3	4	80.50
	札幌セントラル	3	14	13	-1	6	65.38
	新 札 幌	3	32	29	-3	2	93.22
	小 計		385	382	-3	20	90.82
6	岩 内	3	21	19	-2	0	94.63
	俱 知 安	3	46	43	-3	4	47.00
	小 樽	3	69	67	-2	0	88.02
	小 樽 南	4	73	73	0	0	88.13
	小 樽 銭 函	4	21	22	1	2	72.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	75.75
	余 市	3	39	41	2	4	83.00
	小 計		280	276	-4	10	78.36

5月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,808人 (105人)
増加会員数	- 8人
当月平均出席率	86.16%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.5.31	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	63	0	3	77.40
	千歳セントラル	3	35	38	3	2	73.10
	恵 庭	3	39	37	-2	0	84.76
	北 広 島	3	17	17	0	0	88.23
	長 沼	3	20	20	0	3	83.00
	由 仁	4	10	10	0	1	77.50
	小 計		184	185	1	9	80.67
8	え り も	4	22	23	1	0	80.43
	三 石	3	15	15	0	1	97.78
	様 似	3	23	23	0	1	93.10
	静 内	3	72	72	0	1	80.29
	浦 河	3	34	34	0	2	99.02
	小 計		166	167	1	5	90.12
	9	伊 達	3	53	56	3	0
室 蘭		4	43	44	1	0	93.60
室 蘭 東		3	41	37	-4	0	89.90
室 蘭 北		3	34	38	4	3	100.00
登 別		3	31	33	2	2	84.85
洞 爺 湖		4	9	8	-1	0	84.00
小 計			211	216	5	5	87.59
10	函 館	4	87	86	-1	0	77.68
	函 館 亀 田	3	45	42	-3	2	94.17
	森	4	34	35	1	0	82.90
	七 飯	4	16	17	1	0	79.40
	長 万 部	3	10	9	-1	0	88.30
	函館セントラル	3	24	30	6	1	66.61
	小 計		216	219	3	3	81.51
11	江 差	3	19	18	-1	2	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	55	55	0	0	100.00
	函 館 東	3	45	46	1	4	83.19
	函 館 北	3	30	30	0	0	86.67
	北 斗	4	19	18	-1	2	66.70
	松 前	3	5	5	0	0	80.00
	小 計		173	172	-1	8	81.93
12	白 老	3	26	29	3	0	80.20
	苫 小 牧	4	50	49	-1	2	77.51
	苫 小 牧 東	4	25	27	2	2	88.89
	苫 小 牧 北	3	34	34	0	2	98.96
	小 計		135	139	4	6	86.39
合 計		2,816	2,808	-8	105	86.16	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.6.30	増減	内女性	
1	深 川	4	36	32	-4	2	87.90
	羽 幌	4	48	45	-3	1	86.95
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	94.40
	小 平	3	14	10	-4	0	71.79
	留 萌	3	45	41	-4	0	85.52
	小 計		152	137	-15	3	85.31
2	赤 平	4	29	28	-1	1	86.75
	芦 別	4	44	36	-8	0	86.49
	砂 川	3	52	55	3	0	98.14
	滝 川	2	99	100	1	2	76.00
	小 計		224	219	-5	3	86.85
3	美 唄	4	38	33	-5	0	88.39
	江 別	4	34	34	0	1	94.07
	江 別 西	5	27	30	3	3	85.15
	岩 見 沢	4	87	85	-2	0	93.22
	岩 見 沢 東	4	34	33	-1	4	87.13
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.60
	栗 山	5	26	27	1	2	99.13
	当 別	5	34	31	-3	0	80.25
	小 計		303	297	-6	11	90.49
	4	札 幌	4	117	102	-15	0
札幌あけぼの		4	18	13	-5	1	100.00
札幌はまなす		5	25	18	-7	4	90.23
札 幌 北		4	43	43	0	5	96.47
札幌モーニング		4	49	52	3	0	76.40
札 幌 西		4	62	60	-2	4	90.29
札 幌 西 北		4	39	39	0	5	96.79
札 幌 手 稲		4	34	33	-1	1	94.85
小 計			387	360	-27	20	92.79
5	札 幌 東	3	120	118	-2	0	97.69
	札 幌 清 田	5	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	62	-3	0	100.00
	札幌真駒内	4	35	37	2	4	93.79
	札 幌 南	5	92	80	-12	0	96.92
	札幌大通公園	5	9	12	3	4	91.60
	札幌セントラル	5	14	13	-1	6	52.56
	新 札 幌	4	32	28	-4	2	90.66
	小 計		385	368	-17	20	90.40
6	岩 内	4	21	19	-2	0	71.05
	倶 知 安	4	46	40	-6	4	62.50
	小 樽	5	69	65	-4	0	86.23
	小 樽 南	4	73	76	3	1	94.41
	小 樽 銭 函	4	21	22	1	2	75.00
	蘭 越	5	11	11	0	0	65.45
	余 市	4	39	41	2	4	82.50
	小 計		280	274	-6	11	76.73

6月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,723 (103人)
増加会員数	-93人
当月平均出席率	85.50%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.6.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	63	57	-6	3	77.00
	千歳セントラル	4	35	37	2	2	83.40
	恵 庭	4	39	35	-4	0	81.43
	北 広 島	4	17	15	-2	0	92.67
	長 沼	5	20	20	0	3	86.00
	由 仁	4	10	11	1	1	92.50
	小 計		184	175	-9	9	85.50
8	え り も	4	22	21	-1	0	80.43
	三 石	5	15	15	0	1	97.33
	様 似	5	23	24	1	1	93.70
	静 内	4	72	71	-1	1	82.28
	浦 河	5	34	33	-1	2	96.36
	小 計		166	164	-2	5	90.02
	9	伊 達	5	53	55	2	0
室 蘭		4	43	44	1	0	76.75
室 蘭 東		4	41	37	-4	0	94.60
室 蘭 北		5	34	38	4	3	100.00
登 別		4	31	33	2	2	81.82
洞 爺 湖		4	9	8	-1	0	84.00
小 計			211	215	4	5	84.98
10	函 館	4	87	83	-4	0	77.31
	函 館 亀 田	5	45	42	-3	2	95.00
	森	4	34	34	0	0	75.70
	七 飯	4	16	17	1	0	86.70
	長 万 部	4	10	9	-1	0	83.27
	函館セントラル	5	24	31	7	1	60.65
	小 計		216	216	0	3	79.77
11	江 差	5	19	18	-1	2	72.20
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	99.09
	函 館 東	4	45	43	-2	4	77.55
	函 館 北	4	30	28	-2	0	89.17
	北 斗	4	19	17	-2	1	65.30
	松 前	2	5	5	0	0	30.00
	小 計		173	166	-7	7	72.22
12	白 老	5	26	28	2	0	78.50
	苫 小 牧	4	50	48	-2	2	86.09
	苫 小 牧 東	4	25	27	2	2	96.29
	苫 小 牧 北	4	34	29	-5	2	95.31
	小 計		135	132	-3	6	89.05
合 計		2,816	2,723	-93	103	85.50	

編集後記

漸くにして6月30日を以って矢橋年度は終了し渡邊年度へ移行した。私は今、地区幹事としての業務を終え、残された仕事としての地区要覧の制作と会計決算の作業に入る事となった。思い返せば、矢橋氏が地区ガバナー指名委員会より指名を受けて以来3年に及ぶ長いようで短い航海であった。様々なクラブを尋ね、様々な人々に会い、様々な経験をした。オーバーな言い方をお許し願えれば大変な人生勉強をさせて戴いたという事になるわけである。

そして、改めて一体ロータリーとは何か。それぞれの会員のロータリーに寄せる思いとはそれぞれどんな事なのか、我々は今後ロータリーとどう向き合っていくのか、本当に色々と考えさせられる事が多い。

地区幹事の業務はこれでひとまず終了するわけだが、一年を通じ各地の多くのロータリアンの皆様には、お世話になったお礼を重ねて申し上げたい。しかし、今後共、ロータリーの構成員である事に変わりはない。ロータリーの将来に対するぼんやりした不安といくらかの感傷を覚えながら一年間の編集子としての役割を終える次第。お付き合いに感謝

地区代表幹事 大金 武夫 札幌西RC

早いもので、あっという間の1年であった。さてもロータリーの地区組織は巨大なものである。ガバナー補佐や地区委員とは異なり、手続要覧で細かく規程されている役職ではなく、地区幹事は単なるガバナー事務所のスタッフにすぎない。責任が軽いといえば語弊があるが、本来は外に向かってガバナーの代弁や代理の役割はない。無言、無行で通す事も重要な仕事であると信ずる。黒子に徹することが出来たであろうか？分を過ぎた振る舞いがあつたとすれば本意ではなくお許し願いたい。唯一意見を発するとしたらそれはガバナーに向かってであろう。なんとすれば、地区幹事はガバナー自身から指名され、職務としてではなく、友人として語りかけることができる少数のロータリアンだからである。矢橋年度は僅か4名の地区幹事で事務所を預かった。少数が故に、ガバナーとの意志疎通はスムーズであった。しかし、私を除いた3人の仕事量は大変なもので頭の下がる思いであった。何といっても、地区幹事の一番の役得は、多くのロータリアンと知り合った事に尽きる。以前地区委員で苦楽をともにした仲間とは、今でも3人会と称して3組の夫婦で年一回の温泉旅行を楽しんでいる。一方で、地区やクラブの先送りされてきた問題も自然と見えてくる。この様なご時世、色々な組織のあり方が問われている。ロータリーもしかし。またクラブに戻り、その経験に生かせればと思う。

地区幹事 上出 利光 札幌西RC

地区幹事として月信の編集に携わり1年間本当にいろいろと勉強させて頂いた。その間、地区大会という一大イベントの運営にも参画し、また会長エレクトとしてPETSや地区協議会に参加させて頂き、当地区の活動の主なところを学ぶことが出来たことは幸運であったと言う他ない。また、地区内の多くのロータリアンの方々と知故を得たことも大きな収穫であり、素晴らしい和の広がり心弾むものがある。

しかしながらこの間、個人的にロータリー活動に割いた時間は想像を超えるものであり、今後はクラブ会長としてじっくりとロータリー活動を考えて見たいと思うこの頃である。

ロータリー活動の中心を成す奉仕の精神に関して、他者に対する奉仕を考えた場合、自己の能力と責任を痛感するが、職業業務における緊張感と何ら変わらないということも実感させられ、日々自己研鑽の必要性を身に沁みて感じさせられている。

また、様々な人間模様の中に織り出される奉仕と友情の絆がロータリーとしての宝であることを信じて、これからも活動を続けて行けることを念じている。

地区幹事 石丸 修太郎 札幌西RC

矢橋ガバナーより地区幹事を指名され、早20ヶ月が経過して今回のガバナー月信 No.13で完了を迎える。

ガバナーより指名された時、自分の役割を考えた。第2510地区の全会員にガバナーの意思を最適に伝達するのは、ガバナー月信である。第2510地区の多くの会員に月信を読んで戴くことが最大の目標であった。

月信の内容の充実と共に月信の顔である表紙をどうするか、過去の月信もいくつか参考にさせてもらった。一年間の顔は、殆ど統一されていた。何か変わった顔が出来ないか、矢橋ガバナー月信の顔を何にするかと考え抜いた末にガバナーが旅行好きで世界中、自然を求めて旅をしていることにヒントを得た。

今年度のガバナー月信は、北海道第2510地区の四季の自然を追いかけ、顔にすることを決断した。この一年、北海道の移り行く季節感を月信を通じて感じられたらと。

第2510地区会員がどの位購読して頂いたか判断は出来ないが、過去にない月信の顔と自負している。この影には、口うるさい注文の中、表紙の写真の撮影に協力して戴いた札幌西RC 田宮会員、村上会員、函館五稜郭RCの蛭名会員には、感謝に絶えない気持ちで一杯である。

又、第2510地区会員の方々の中で写真の提供をして戴きながら採用出来なかった会員に対しお詫びを申し上げ、矢橋ガバナーの月信に掛けた思いを伝えて、月信とお付き合い戴いた会員に感謝する次第である。

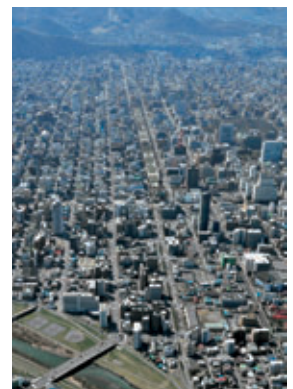
地区幹事 武田 智 札幌西RC

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：未来へ向かって札幌
撮影：矢橋温郎